ノデアリマス、然ルニ此法案ハ特別會計ニ依ッテヤルト云フコトデアリマスカラ、政府ニ於テ負擔ヲセザルヤウナ立前ノヤウデアルノデアリマスガ、其點ニ對シテ如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレルノデアリマスカ、延ヘ相當額ノ補給ヲセナケレバ、ドウシテモ保險料ヲ高クセナケレバナラス、保險料ガ高クナレバ申込者ハナクナル、遂ニ本案ノ趣旨ニ副ハナイ結果ニナルト云フコトヲ惧レルノデアリマス、ソコデ私ハ此保險料ノ決定ニ當リマシテハ、危險率ト云フコトヲ考ヘズニ、山村造林者ノ經濟狀態ニ即スルヤウニ、極メテ低廉ナル料率ニシテ貰ハナケレバナラヌト云フコトヲ念願致ス者デアリマスガ、之ニ對シマシテ政府ニ於キマシテハ、相當補充金ノ負擔ヲセナケレバ到底不可能ノコトト相成リマスルカラ、此點ニ對シマシテ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノガ第一點デゴザリマス

第二點ニハ保險金額ノコトニ付テ御伺致シタイト思フノデゴザリマス、是ハ第十條ニ定メテアリマシテ、勅令ヲ以テ定メルト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ大變本案ニ對シテ關係ヲ持ッテ居リマスカラ、特ニ御尋ヲ致シテ置キタイ、又希望モ申上ゲテ置キタイノデスガ、保險金額ハ低イ標準ニ決メテ置クコトハ、保險ノ點カラ申シマスト、至極安全デアルノデアリマスガ、本案ノ目的ハ再造林ヲ容易ナラシメル、再ビ植林ヲ出來ルヤウニシテヤル、斯ウ云フコトガ其目的デアリマスカラ、少クトモ再造林、再ビ植林ノ出來ル丈ケノ費用ヲ見積ル、即チ實費ヲ見積ルコトガ最小限度トナッテ、其上ニ若干ノ金額ヲ加算セラレルモノト思フノデアリマス、然ルニ一面幼齡林ノ賣價、實際ノ値ト云フコトニ付テ考ヘテ見マスルノニ、植林ノ實費ト云フモノヨリ低廉ナ場合ガ多イ、實際植林ヲシタ本當ノ植林ノ實費ヲ要シタ値ヨリモ、相當ナ年數ガ經ッテカラ賣ヲスル時ニ、其實費ヨリモ安イ、是ハ山村民ノ非常ナ惱ミデゴザイマシテ(拍手)折角長イ苦心ヲシテ、節約ニ節約ヲシテ、サウシテ造上ゲタ植林ガ、賣買ヲスルト云フ時ニナルト、勞力ノ如キハ殆ド値ニ見ラレナイノデス、サウ云フ場合ガ多ク實際問題トシテアルノデゴザリマシテ、此幼齡林ノ各所ニ燒野原ガ澤山出來ルト云フヤウナコトガアッテハ、洵ニ善良ナル山林所有者ガ非常ニ心配ニ堪ヘナイノデゴザリマス、勿論之ニ對シテ政府ニハ何等カノ對策ガアラルコトト存ジマスケレドモ、又嚴重ナル取締ヲセラルヽトモ考ヘマス、併ナガラ斯様ナコトハ取締ノミヲ以テ、安心シテ居ル譯ニ行カナイノデス、何等カノ絕滅スベキ、殆ド安心スルヤウナ何等カノ對策ヲ講ジテ貰ハナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスガ、ソコデ私ト致シマシテハ一ツノ案ヲ持ッテ居ル、其案ハ是ハ保險金ヲ少額ニシテ置ケバ、マアソンナ事ハアリマセヌケレドモ、保險金額ト云フモノハ何處マデモ再造林ノ出來ル、再ビ植林ノ出來ルト云フ實費ヲ最低限度ニ見積ッテ置カナケレバナラヌノデアリマスカラ、相當ナ金額ニナルト思フ、又相當ナ金額ニアラザレバ、到底此法ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、相當ナ金額ニ達スル、ソコデ私ハ再造林ヲ必ズセシメルト云フコトヲ法文ニ規定シテ置ク、法文化シテ置ク必要ガアルト考ヘル、是ニ於テ此心配ナ點ガ取除カレル、斯ウ私ハ考ヘマスルノデ、之ニ對スル何等カノ對策ヲ持ッテ居ラレマスカ、御伺致シタイノガ第二點デゴザイマス

第三點ニハ、森林金融ノ圓滑ヲ期スル爲ニ、二十年生以上ノ山林ニモ、此法案ノ範圍ヲ擴大シテ貰フコトガ出來ナイノデアルカ、是ハ森林ノ金融ハ、金融ノ對象物トシテハ、擔保價格ノ點ヨリ致シマシテモ、實ニ安全理想的ナモノデゴザイマスガ、何分民間ノ火災保險會社ニ於キマシテハ保險料ガ高率デアリマス、尙ホ其上ニ種々ナ費用ヲ要求サレル、場所ガ遠方ニアリ、山間ニアリマシテ、調査ニモ費用ヲ要スル、色々ナ點カラ非常ニ不便ヲ感ジテ居リマスル爲ニ、保險ヲ附スルコトニハ非常ナ困難ヲ致シテ居リマス、仍テ此森林火災國營保險法案ノ中ニ、之ヲ入レテ貰フコトニナリマシタナラバ、金融ノ途ガ非常ニ容易ニ付クヤウニナリマシテ、山村金融ノ梗塞セル經濟狀態ニ多大ナル效果ヲ得ル次第デアリマスルカラ、今日ノ山村民トシテハ熱烈ナル之ニ對スル要求ガ起ルト考ヘルノデアリマスルノデ、二十年生以上ノ山林ニモ、此法案ノ範圍ヲ擴大シテ貰フコトノ要求ガアッタ場合、農林當局トシテハ、ドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカ伺ヒタイ、是ガ第三點デゴザイマス、私ノ質問申上ゲマスル點ハ以上ノ三點デゴザイマス

之ヲ要約シテ申上ゲマスト、第一、山村ノ經濟振興上重大ナ關係ガアルノデアリマスカラ、第一點ノ保險料ハ何處マデモ低廉ニシテ貰ハナケレバナラヌ、低廉ニスル爲ニハ、政府ヨリ相當ナル補充金ヲ支出スル意思アリヤ否ヤ、第二點ハ、保險金額ハ相當高イ所ニ決メナケレバ其目的ハ達セラレナイノデアリマスカラ、高イ所ニ決メテ貰フノハ近所隣リノ山林所有者デゴザリマス、ラレマスカ、御伺致シタイノガ第二點デゴザイマス

第三點ニハ、森林金融ノ圓滑ヲ期スル爲ニ、二十年生以上ノ山林ニモ、此法案ノ範圍ヲ擴大シテ貰フコトガ出來ナイノデアルカ、是ハ森林ノ金融ハ、金融ノ對象物トシテハ、擔保價格ノ點ヨリ致シマシテモ、實ニ安全理想的ナモノデゴザイマスガ、何分民間ノ火災保險會社ニ於キマシテハ保險料ガ高率デアリマス、尙ホ其上ニ種々ナ費用ヲ要求サレル、場所ガ遠方ニアリ、山間ニアリマシテ、調査ニモ費用ヲ要スル、色々ナ點カラ非常ニ不便ヲ感ジテ居リマスル爲ニ、保險ヲ附スルコトニハ非常ナ困難ヲ致シテ居リマス、仍テ此森林火災國營保險法案ノ中ニ、之ヲ入レテ貰フコトニナリマシタナラバ、金融ノ途ガ非常ニ容易ニ付クヤウニナリマシテ、山村金融ノ梗塞セル經濟狀態ニ多大ナル效果ヲ得ル次第デアリマスルカラ、今日ノ山村民トシテハ熱烈ナル之ニ對スル要求ガ起ルト考ヘルノデアリマスルノデ、二十年生以上ノ山林ニモ、此法案ノ範圍ヲ擴大シテ貰フコトノ要求ガアッタ場合、農林當局トシテハ、ドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカ伺ヒタイ、是ガ第三點デゴザイマス、私ノ質問申上ゲマスル點ハ以上ノ三點デゴザイマス

之ヲ要約シテ申上ゲマスト、第一、山村ノ經濟振興上重大ナ關係ガアルノデアリマスカラ、第一點ノ保險料ハ何處マデモ低廉ニシテ貰ハナケレバナラヌ、低廉ニスル爲ニハ、政府ヨリ相當ナル補充金ヲ支出スル意思アリヤ否ヤ、第二點ハ、保險金額ハ相當高イ所ニ決メナケレバ其目的ハ達セラレナイノデアリマスカラ、高イ所ニ決メテ貰フノハ近所隣リノ山林所有者デゴザリマス、

ハナケレバナラヌ、併ナガラ高イ所ニ決メルト、故意ニ保險金ヲ詐取スルヤウナ惡イ人情ガ起ルノデハナイカ、而モ惡イ人情ガ起ッタ場合ニ、近所隣リニ山林ヲ持ッテ居ル者ガ非常ナ迷惑ヲ致シマスカラ、之ニ對スル對策ガアルカドウカ、更ニ私ノ考ヲ申上ゲマスルト、少クトモ其保險金ヲ渡ス時ニハ、再造林ヲ條件トスルト云フコトヲ、法文化シテ戴ク必要ガアルト考ヘマスルノデ、此點ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイノガ第二點デアリマス、第三點ハ、今日ノ此農村經濟ノ極塞セル金融ヲ圓滑ナラシムル爲ニ、本案ノ目的ニナッテ居リマスルノハ二十年生以下デアリマスガ、二十年生以上ノ山林ヲモ本案ノ恩惠ニ浴スルヤウニ、範圍ヲ擴大シテ貰ヒタイ、其意思アリヤ否ヤ、以上三點ガ私ノ質問デアリマス

（國務大臣山崎達之輔君登壇）

○國務大臣（山崎達之輔君）　御答ヲ申上ゲマス、保險料ヲ成ベク低廉ニ致シマスルコトハ、松尾君ノ御希望ノヤウニ大切ナ點デアリマス、デ政府ニ於テ或ル年間ハ一般會計ヨリ繰入ヲ致ス考デアリマスガ、併ナガラ漁船保險ノ場合ニモ申上ゲマシタヤウニ、斯様ナモノハ飽マデ獨立經理ヲ本體トスベキモノデアリマスカラ、一通リ保險加入者ノ數ガ或ル程度ニ達シマスマデ、政府ガ年年若干ノ繰入ヲシテ行カウ、相當ノ保險加入者ガ出來マシタ以後ハ、成ベク獨立經理デヤッテ行クヤウニシタイ、斯ウ云フ考デアリマス

第二ハ保險金額デアリマスガ、是モ松尾君ノ仰セニナリマシタ通リニ、一方カラ言ヘバ保險金額ハ高イ方ガ宜シイト云フコトモ言ヘマスガ、サリトテ或ル程度ヲ越シマスト云フト、第一保險料ガ高ク相成ル譯デアルノミナラズ、或ハ松尾君ノ御懸念ニナリマス通リニ、放火其他ノ不正ナ手段モ隨伴スル譯デアリマスカラ、之ヲ餘リ高率ニ定メルト云フコトハ宜シクナイト思ヒマス、本案ニ於キマシテハ、大體再造林ノ實費ヲ得セシメルト云フコトヲ目標トシテ、保險金額ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、唯松尾君ノ仰シヤッタヤウニ、植林ノ實費ヨリモ時價ノ方ガ却テ安イ場合モアルト云フ御話デアリマスガ、左樣ナ場合ニハ、時價ニ依テ損害額ヲ算定スル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、再造林ヲ條件トスル旨ヲ、法ニ於テ規定シタラバト云フ御意見デアリマスガ、之ヲ强制致シマスコトハ如何カト考ヘラレマスノデ、再造林ヲ督勵スルト云フ方針ヲ以テ行キタイ、但シ保險金額ハ前申上ゲマシタヤウナ、再造林ノ實費ヲ目標トシテ居ル、斯ウ云フコトニ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス

ソレカラ二十年生以上ニ擴大スル考ガアルカト云フ點デアリマスガ、松尾君モ御承知ノヤウニ、幼齡林ニ付テ國ガ保險制度ヲ設ケマスコトノ急務ヲ認メテ、此制度ヲ設ケタ譯デアリマスノデ、二十年生以上ノ森林ニ付テハ、現在モ若干ハ民間ノ保險會社デ取扱ッテ居ルヤウデアリマスガ、政府ノ國營ニ之ヲ取入レルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ一ツ將來ノ問題トシテ考究ヲ致シタイトナイノデアリマス(拍手)今最近一年間ノ數字ヲ擧ゲテ見マスト、遭難漁船ノ乘組員ノ死亡又ハ行方不明ノ數ハ、昭和元年ニ六百六人、二年ニ五百二十人、三年ニ四百七十二人、四年ニ四百十九人、五年ニ四百七十九人、六年ニ千百七十四人、七年ニ五百六十八人、八年ニハ七百十四人、九年ニハ五百九十六人ト云フ工合ニナッテ居ルノデアリマシテ、此九年間ノ合計ガ五千五百四十九人ニ上ッテ居ルノデアリマス、此統計ノ示ス如ク、多キ年ハ千人ヲ越エ、少イ年モ四百人ヲ下ラザル數ニ於キマシテ、平均一年ニ六百十六人ノ漁業勞働者ガ遭難ノ爲ニ、其貴重ナル生命ヲ失ッテ居ルノデアリマス、此外ニ負傷者ガ如何ニ多數ニ上ッテ居ルカト云フコトニハ、申上ゲル必要ハナイト思フノデアリマス、此中ノ大多數ハ、甚ダ低イ賃銀デ、危險ナ業務ニ從事シテ居ルノデアリマシテ、此者ガ死亡或ハ負傷致シマスレバ、忽チ其家族又ハ遺族ガ生活ノ窮乏ニ陷レラレルノデアリマス、然ルニ斯ル場合ニ對シマシテ、今日ハ全國的ナ救濟ノ制度ガ殆ドナイト言ッテ宜シイ、全然皆無デアルトモ申シマセヌケレドモ、斯ノ如キ場合ニ對スル施設ガ甚ダ不備デアリマシテ、此點ヲ從來ノ儘ニ放置シテ置キマシテハ、私ノ考ヘル所ニ依レバ、眞ニ漁村ノ更生ヲ爲シ、或ハ漁業ノ經濟施設ガ備ハレリトハ申シ得ナイト考ヘルノデアリマス(拍手)

今日勞働者ノ業務上ノ負傷竝ニ死亡ニ付テハ、或ハ工場法アリ、或ハ勞働者災害扶助法アリ、或ハ鑛山法等ガ施行セラレテ居リマシテ、斯ル場合ニ關スル規定ガ設ケラレテ居ルノデアリマス、工場勞働者、屋外勞働者、鑛山勞働者ニ對シマシテハ、甚ダ不十分デハゴザイマスガ、幾分カノ對策ガ講ゼラレテ居ルノデアリマス、然ルニ漁業勞働者ニ對シマシテハ、斯樣ナ場合ノ對策ガ全然ナイノデアリマス、偖ニ漁業組合デ遭難救恤ノ事業ヲヤッテ居ルモノモアリマスケレドモ、其數ヲ調査致シテ見マスト、

昭和十二年三月五日　衆議院議事速記錄第十六號　漁船保險法案外三件　第一讀會　三七七

其地方ノ部落民ニ利益ニナルヤウニスル爲ニハ、整理統一ノ方法ヲ改メナケレバ出來ナイト考ヘマス、是等ノ點モ地方山村部落民ノ生活ノ實情ニ照シマシテ、更ニ再檢討サレンコトヲ希望致シマス、是デ私ノ質問ヲ打切リマス

○副議長（岡田忠彥君）　是ニテ質疑ハ終局致シマシタ、各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○中山福藏君　日程第二乃至第五ノ四案ハ、一括シテ政府提出、絲價安定施設法案外一件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（岡田忠彥君）　只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（岡田忠彥君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○中山福藏君　殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（岡田忠彥君）　只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（岡田忠彥君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時六分散會

衆議院議事速記錄第十五號中
正誤

頁	段	行	誤	正
三一〇	二	三八	第一讀會ノ續	第一讀會

內閣印刷局
明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

官報 號外

昭和十二年三月七日

○第七十回帝國議會衆議院議事速記錄第十七號

昭和十二年三月六日（土曜日）
午後二時八分開議

議事日程　第十八號
昭和十二年三月六日
午後一時開議

第一　恩給法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第二　恩給金庫法案（政府提出）　第一讀會
第三　會計檢査院法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第四　國民健康保險法案（政府提出）　第一讀會
第五　保健所法案（政府提出）　第一讀會
第六　結核豫防法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第七　帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第八　朝鮮事業公債法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第九　朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第十　小運送業法案（政府提出）　第一讀會
第十一　日本通運株式會社法案（政府提出）　第一讀會
第十二　昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第十三　昭和七年法律第一號中改正法律案（滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會
第十四　揮發油及アルコール混用法案（政府提出）　第一讀會
第十五　貿易組合法案（政府提出）　第一讀會
第十六　工業組合法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第十七　船員法改正法律案（政府提出）　第一讀會
第十八　樺太市制案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第十九　肥料取締法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十　酒造組合法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十一　日本無線電信株式會社法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十二　特許法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十三　商標法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十四　不正競爭防止法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十五　商法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十六　裁判所構成法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十七　大正十年法律第百二號中改正法律案（定年ニ因ル退職判事檢事ノ恩給ニ關スル件）（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十八　兵役法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

○議長（富田幸次郎君）　諸般ノ報告ヲ致サセマス

（書記官朗讀）

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
昭和七年法律第十二號中改正法律案（造幣局資金拂出ニ關スル件）
日本銀行條例中改正法律案
日本銀行參與會法廢止法律案
貿易調整法案
橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案
（以上三月六日提出）

（左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲玆ニ揭載ス）

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
船員法改正法律案
（以上三月四日提出）

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
護國共同組合法案
提出者
小林　錡君　　助川啓四郎君
篠原　義政君
民族優生保護法案
提出者
荒川　五郎君　　八木　逸郎君
池田　秀雄君　　青木　亮貫君
輸出組合法中改正法律案
提出者　原　玉重君
重要物產同業組合法中改正法律案
提出者　原　玉重君
商業組合法中改正法律案
提出者　原　玉重君
工業組合法中改正法律案
提出者　原　玉重君
劍道ヲ小學校竝青年學校ノ正科目ト爲スノ建議案
提出者　今井　新造君
津大阪府守口間道路ヲ國道ニ編入ニ關スル建議案
提出者
川崎　克君　　一松　定吉君
松尾　四郎君
大阪臨港線電化竝旅客取扱開始ニ關スル建議案
提出者
桝谷　寅吉君　　田万　清臣君
山本　芳治君　　武知　勇記君
直江津港ヲ第二種重要港灣ニ指定ニ關スル建議案
提出者
川合　直次君　　增田　義一君
武田德三郎君　　小山邦太郎君
大杉船戶間鐵道建設ニ關スル建議案
提出者　大石　大君

名護屋ヨリ唐津武雄ヲ經テ雲仙ニ至ル國際觀光道路設置ニ關スル建議案
提出者
愛野時一郎君　富田　等平君
中村不二男君　池田　秀雄君
中村　又一君

地方自治團體ノ名譽職待遇ニ關スル建議案
提出者
佐々木家壽治君　中野　猛雄君
田中　源君　松本　弘君

內地製鹽業者ノ生活安定ニ關スル建議案
提出者
小林　錡君　古河和一郎君
益谷　秀次君　宮脇　長吉君
青木雷三郎君

澁川長野原間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者
木檜三四郎君

官營事業從業員ノ結社權尊重ニ關スル建議案
提出者
川村保太郎君

平驛擴張ニ關スル建議案
提出者
鈴木辰三郎君

（以上三月四日提出）

一去四日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ
第一部選出豫算委員　窪井　義道君
第七部選出豫算委員　角　源泉君
第八部選出豫算委員　林　路一君

一去四日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
鹽出補償法中改正法律案（政府提出）委員
池田　秀雄君
川橋豐治郎君
木下　信君
岡崎久次郎君
飯塚春太郎君
小柳　牧衛君
中　爲成男君
永田善三郎君
石坂　養平君
神保　重吉君
船田　中君
小林　絹治君
高良　宗七君
守屋　榮夫君
福田　耕君
馬場　元治君

一去四日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
關稅定率法中改正法律案（政府提出）外四件委員
辭任中山　福藏君
辭任寺田　市正君
軍事救護法中改正法律案（政府提出）外一件委員
辭任手代木隆吉君
辭任岡田喜久治君
臨時租稅增徵法案（政府提出）外五件委員
辭任松尾　四郎君
補闕岡田　春夫君
補闕高木条太郎君
補闕中井　一夫君
補闕古田喜三太君
補闕作田高太郎君

○議長（富田幸次郎君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、此際御報告申上ゲルコトガアリマス、議長ハ本日午前九時三十分表町御殿ニ參殿致シマシテ、秩父宮殿下ニ拜謁ヲ賜リ、殿下竝ニ紀殿下ノ御渡歐アラセラルヽニ付キマシテ、議院ヲ代表シテ、一路御平安ヲ祈リ奉ル旨ヲ言上致シマシタ、之ニ對シ殿下ヨリ御鄭重ナル御言葉ヲ賜リマシタ、此段謹ンデ御報告申上ゲマス
（拍手起ル）

○松永東君　暫時休憩セラレンコトヲ望ミマス

○議長（富田幸次郎君）　松永君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（富田幸次郎君）　御異議ナシト認メマス、仍テ暫時休憩致シマス
午後二時十分休憩

午後二時三十四分開議

○議長（富田幸次郎君）　休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○松永東君　議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ此際日程第十八ヲ繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（富田幸次郎君）　松永君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（富田幸次郎君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ、日程第十八、樺太市制案ノ第一讀會ヲ開キマス——拓務大臣結城豐太郎君

第十八　樺太市制案（政府提出、貴族院送付）
第一讀會

樺太市制案

樺太市制

第一條　市ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍內ニ於テ其ノ公共事務及法律勅令ニ依リ市ニ屬スル事務ヲ處理ス

第二條　市ノ廢置分合ヲ爲サントスルトキハ樺太廳長官ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ム

市長ハ豫算內ノ支出ヲ爲ス爲市參事會ノ議決ヲ經テ其ノ會計年度內ノ收入ヲ以テ償還スベキ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第七條　本法ニ定ムルモノノ外市ノ境界變更、市公民、市會、市參事會、市吏員、市ノ財務、市ノ監督其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
（國務大臣（結城豐太郎君）　樺太市制案ニ付キマシテ提案ノ理由ヲ御說明申上ゲマス、樺太ハ領有以來既ニ三十年ノ年月ヲ經過致シマシテ、各方面ニ目覺シイ躍進ヲ遂ゲテ居リマスルガ、其町村自治モ亦頗ル向上致シマシテ、樺太廳所在地ノ豐原町ノ如キハ、其形態ニ於キマシテモ、實質ニ於キマシテモ、內地ノ新設ノ市ニ比較致シマシテ、敢テ遜色ヲ見ナイ程度ニマデ發達シテ居ルノデアリマス、斯樣ナ狀態デアリマスルカラ、樺太ニ市制ヲ施行スルト云フコトハ、本島住民ノ多年ノ要望デモアリマスルシ、又一面サウスルコトニ依ッテ町村ノ發達ヲ促ス結果トモナリマス、更ニ樺太拓殖上寄與スル所ガ尠クナイト認メマシテ、本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒宜シク御審議ノ上御協贊アランコトヲ希望致シマス
（拍手）

○議長（富田幸次郎君）　本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付キ御諮リ致シマス

○松永東君　本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（富田幸次郎君）　松永君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（富田幸次郎君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程第一、恩給法中改正法律案、日程第二、恩給金庫法案、日程第三、會計檢査院法中改正法律案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——法制局長官川越丈雄君

第一　恩給法中改正法律案（政府提出）
第二讀會

第二　恩給金庫法案（政府提出）
第二讀會

第三　會計檢査院法中改正法律案（政府提出）
第一讀會

恩給法中改正法律案

恩給法中左ノ通改正ス

第十一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

恩給ヲ受クルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス但シ特別法ノ定ムル所ニ依リ恩給金庫ニ擔保ニ供スルハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ違反シタルトキハ裁定官廳ハ支給廳ニ通知シ恩給ノ支給ヲ差止ムヘシ

第十六條第三號中「實業補習學校」ヲ「青年學校」ニ改ム

第二十四條第二號中「感化院職員」ヲ「少年教護院職員」ニ改ム

第五十九條第三項中「實業補習學校」ヲ「青年學校」ニ改ム

第五十九條ノ二第一項第一號中「計算ス」ノ下ニ左ノ如ク加フ

退職又ハ死亡前一年內ニ昇給アリテ退職又ハ死亡ノ際昇給ナカリシトキ亦同シ

同條第四項ヲ左ノ如ク改ム

實在職期間一年未滿ナルトキハ俸給ノ關係ニ於テハ就職前モ就職當時ノ俸給ヲ以テ在職シタルモノト看做シ計算ス

第六十二條第三項中「小學校」ノ下ニ「青年學校」ヲ加フ

附則

第一條　本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　恩給法施行前ニ戰鬪又ハ戰鬪ニ準ズベキ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シ又ハ此ノ種ノ公務ニ因リ增加恩給（之ニ準ズベキモノヲ含ム）ヲ受ケタル軍人ノ寡婦、父母又ハ祖父母ニシテ軍人死亡ノ當時軍人ト同一戶籍內ニ在リタルモ軍人現役中陸海軍兵籍簿ニ登記セラレザリシ等ノ特別事由ニ因リ扶助料ヲ受クルノ資格ナカリシ者ニハ昭和十二年四月一日ヨリ之ニ扶助料ヲ給ス但シ其ノ軍人ノ遺族ニシテ同日ニ於テ現ニ扶助料ヲ受クル者アルトキハ當該扶助料權者失權シタル後恩給法ニ規定スル順位ニ依リ之ヲ給ス

前項ニ規定スル者ト雖モ軍人死亡ノ當時ニ於テ前項ノ事由以外ノ事由ニ因リ扶助料ヲ受クルノ資格ナカリシ者又ハ其ノ後ニ失權事由アリタル者ニハ扶助料ヲ給セズ

前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シテ樺太廳長官之ヲ定ム

第三條　市ニ市會及市參事會ヲ置ク

市會ハ市ニ關スル事件及法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

市參事會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

市會議員ハ名譽職トス市公民中ヨリ之ヲ選擧ス

名譽職參事會員ハ市會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選擧ス

市會議員ノ選擧ニ付テハ市制第二十二條ノ二、第二十二條ノ三、第三十條ノ三及第三十六條ノ二ノ規定、衆議院議員選擧法第十章、第十一章及第百四十條第二項ノ規定竝ニ衆議院議員選擧ニ關スル罰則ノ例ニ依ル但シ內務大臣及地方長官ノ職務ハ樺太廳長官之ヲ行ヒ議員候補者一人ニ付定ムベキ選擧委員ノ數、選擧運動ノ爲使用スル勞務者ノ數及選擧運動ノ費用ノ額ニ關シテハ樺太廳長官ノ定ムル所ニ依ル

第四條　市ニ市長ヲ置ク

市長ハ市會ニ於テ之ヲ選擧ス

市長ハ市ヲ統轄シ市ヲ代表ス

第五條　市ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令ニ依リ市ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

市ハ前項ノ費用ニ充ツル爲使用料、手數料、市稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第六條　市ハ永久ノ利益トナルベキ事業、舊債償還又ハ天災事變ノ爲必要アル場合ニ限リ市債ヲ起スコトヲ得

異議アリマセヌカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（富田幸次郎君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程第一乃至第三ハ、便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（富田幸次郎君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程第一、恩給法中改正法律案、日程第二、恩給金庫法案、日程第三、會計檢査院法中改正法律案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——法制局長官川越丈雄君

第一　恩給法中改正法律案（政府提出）
第二讀會

第二　恩給金庫法案（政府提出）
第二讀會

第三　會計檢査院法中改正法律案（政府提出）
第一讀會

恩給法中改正法律案

恩給法中左ノ通改正ス

第十一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

恩給ヲ受クルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス但シ特別法ノ定ムル所ニ依リ恩給金庫ニ擔保ニ供スルハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ違反シタルトキハ裁定官廳ハ支給廳ニ通知シ恩給ノ支給ヲ差止ムヘシ

第十六條第三號中「實業補習學校」ヲ「青年學校」ニ改ム

第二十四條第二號中「感化院職員」ヲ「少年教護院職員」ニ改ム

第五十九條第三項中「實業補習學校」ヲ「青年學校」ニ改ム

第五十九條ノ二第一項第一號中「計算ス」ノ下ニ左ノ如ク加フ

退職又ハ死亡前一年內ニ昇給アリテ退職又ハ死亡ノ際昇給ナカリシトキ亦同シ

同條第四項ヲ左ノ如ク改ム

實在職期間一年未滿ナルトキハ俸給ノ關係ニ於テハ就職前モ就職當時ノ俸給ヲ以テ在職シタルモノト看做シ計算ス

第六十二條第三項中「小學校」ノ下ニ「青年學校」ヲ加フ

附則

第一條　本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　恩給法施行前ニ戰鬪又ハ戰鬪ニ準ズベキ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シ又ハ此ノ種ノ公務ニ因リ增加恩給（之ニ準ズベキモノヲ含ム）ヲ受ケタル軍人ノ寡婦、父母又ハ祖父母ニシテ軍人死亡ノ當時軍人ト同一戶籍內ニ在リタルモ軍人現役中陸海軍兵籍簿ニ登記セラレザリシ等ノ特別事由ニ因リ扶助料ヲ受クルノ資格ナカリシ者ニハ昭和十二年四月一日ヨリ之ニ扶助料ヲ給ス但シ其ノ軍人ノ遺族ニシテ同日ニ於テ現ニ扶助料ヲ受クル者アルトキハ當該扶助料權者失權シタル後恩給法ニ規定スル順位ニ依リ之ヲ給ス

前項ニ規定スル者ト雖モ軍人死亡ノ當時ニ於テ前項ノ事由以外ノ事由ニ因リ扶助料ヲ受クルノ資格ナカリシ者又ハ其ノ後ニ失權事由アリタル者ニハ扶助料ヲ給セズ

第一項ノ扶助料ニ付テハ昭和八年九月三十日以前ノ軍人ノ遺族ノ扶助料ニ關スル規定ニ依リ其ノ年額ヲ定ムルノ外恩給法ニ依リ之ヲ給ス

第一項ノ扶助料ニ付テハ恩給法第五條ニ規定スル請求期間ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ起算ス

第三條　北海道廳森林監守ヨリ引續キ同廳森林主事ト爲リ恩給法施行後退職シタル者ニハ其ノ在職年ニ森林監守ノ勤續年月數ヲ通算シ昭和十二年四月一日ヨリ其ノ者ノ受クル年金タル恩給ヲ改定シ又ハ新ニ之ニ普通恩給ヲ給ス

前項ノ規定ハ前項ニ規定スル者ノ遺族ノ年金タル扶助料ニ付之ヲ準用ス

前二項ノ場合ニ於テハ恩給法第五條ニ規定スル請求期間ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ起算ス

恩給金庫法案

恩給金庫法

第一章　總則

第一條　恩給金庫ハ法人トス

第二條　恩給金庫ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

恩給金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ必要ノ地ニ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得

第三條　恩給金庫ノ資本金ハ三千萬圓トシ之ヲ三十萬口ニ分チ一口ノ金額ヲ百圓トス但シ資本金ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ增加スルコトヲ得

第四條　政府ハ五百萬圓ヲ限リ恩給金庫ニ出資スベシ

第五條　恩給金庫ハ主タル事務所ノ責任ハ其ノ

出資額ヲ限度トス

出資者ハ恩給金庫ニ拂込ムベキ出資額ニ付相殺ヲ以テ之ニ對抗スルコトヲ得ズ

第六條　出資者ハ恩給金庫ノ承認ヲ經テ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得

第七條　拂込ヲ怠リタル出資者ニ對シ恩給金庫ガ一月以上ノ相當ノ期間ヲ定メ拂込ノ請求ヲ爲シタルニ拘ラズ出資者ガ拂込ヲ爲サザル場合ニ於テ持分ノ讓渡ヲ恩給金庫ノ原簿ニ登錄シタル後二年ヲ超エザル讓渡人アルトキハ恩給金庫ハ之ニ對シ期限ヲ定メ拂込ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ最モ先ニ滯納金額ノ拂込ヲ爲シタル讓渡人ハ其ノ持分ヲ取得ス

前項ノ規定ニ依ル出資者及讓渡人ノ拂込ナキトキハ恩給金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ該持分ヲ賣却スルコトヲ得賣却ニ依リテ得タル金額ガ滯納金額ニ滿タザルトキハ從前ノ出資者ヲシテ其ノ不足額ヲ辨濟セシムルコトヲ得其ノ者ガ二週間內ニ之ヲ辨濟セザルトキハ前項ノ讓渡人ニ對シテモ其ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ恩給金庫ガ損害賠償及定款ヲ以テ定ムル違約金ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第八條　恩給金庫ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定スベシ

一　目的
二　名稱
三　事務所ノ所在地
四　資本金額及資產ニ關スル事項
五　役員及會議ニ關スル事項
六　業務及其ノ執行ニ關スル事項
七　恩給債券ノ發行ニ關スル事項
八　會計ニ關スル事項
九　公告ノ方法

定款ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ變更スルコトヲ得

第九條　恩給金庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十條　恩給金庫ニハ所得稅及營業收益稅ヲ課セズ

北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ恩給金庫ノ事業ニ對シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ基キ內務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

朝鮮、臺灣、關東州、樺太及南洋群島ニ於ケル課稅ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　恩給金庫ニ付解散ヲ必要トスル事由發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條　恩給金庫ニ非ザル者ハ恩給金庫又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用フルコトヲ得ズ

第二章　役員

第十三條　恩給金庫ニ理事長一人、理事三人以上及監事二人以上ヲ置ク

第十四條　理事長ハ恩給金庫ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ恩給金庫ヲ代表シ、理事長ヲ輔佐シテ恩給金庫ノ業務ヲ掌理シ、理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ、理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ恩給金庫ノ業務ヲ監査ス

第十五條　理事長、理事及監事ハ主務大臣之ヲ命ズ

理事長及理事ノ任期ハ五年、監事ノ任期ハ三年トス但シ再任スルコトヲ妨ゲズ

第十六條　理事長及理事ハ他ノ職業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條　恩給金庫ニ評議員二十人以內ヲ置キ主務大臣之ヲ命ズ

評議員ハ業務經營ニ關スル重要事項ニ付理事長ノ諮問ニ應ジ必要アルトキハ之ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

評議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ三年トス

第三章　業務

第十八條　恩給金庫ハ左ノ業務ヲ行フ

一　恩給法ニ依ル恩給ヲ擔保トスル貸付
二　勳章年金（以下單ニ年金ト稱ス）ヲ擔保トスル貸付
三　恩給法以外ノ法令（地方公共團體ノ條例ヲ含ム）ニ依ル恩給ヲ擔保トスル貸付
四　恩給及年金ノ代理受領竝ニ受領シタル金錢ノ寄託ノ引受
五　前各號ノ業務ニ附帶スル事業

第十九條　恩給ハ其ノ裁定前ト雖モ給與ヲ受クベキコトノ確實ナルモノニ付テハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ爲ス貸付ノ金額ハ裁定後ニ爲ス貸付ノ標準金額ノ半額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十條　恩給金庫ハ先ヅ恩給又ハ年金ノ支給金ヲ以テ貸付金ノ元利ニ充當スベシ

前項ノ規定ニ依リ充當ヲ爲シタル殘餘ノ貸付金ニ付テハ恩給金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ債權ヲ拋棄スルコトヲ得

第二十一條　恩給金庫ハ其ノ債權ヲ確保スル目的ヲ以テ命令ノ定ムル所ニ依リ債務者ニ代リテ恩給及年金ニ關スル請求其ノ他ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　恩給金庫ハ左ノ方法ニ依ルノ外業務上ノ餘裕金ヲ運用スルコトヲ得ズ

一　國債、地方債又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ取得ヲ爲スコト
二　大藏省預金部若ハ銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金ト爲スコト

第二十三條　恩給金庫ハ資本金ノ十分ノ一以上ノ拂込アリタルトキハ其ノ業務ヲ開始スルコトヲ得

第四章　擔保ノ效力

第二十四條　擔保ニ供セラレタル恩給又ハ年金ハ恩給金庫ノミ其ノ支拂ヲ求ムルコトヲ得

第二十五條　公務員（之ニ準ズル者ヲ含ム）ガ其ノ受クル恩給又ハ年金ヲ擔保ニ供シタルトキハ其ノ效力ハ其ノ遺族ノ受クベキ恩給又ハ年金ノ上ニ及ブコトナシ但シ特約ヲ以テ承諾ヲ爲シタル遺族ノ受クベキ恩給又ハ年金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

遺族ガ其ノ受クル恩給又ハ年金ヲ擔保ニ供シタルトキハ其ノ效力ハ擔保ニ供シタル者ノ後順位者ノ受クベキ恩給又ハ年金ノ上ニ及ブコトナシ但シ特約ヲ以テ承諾ヲ爲シタル後順位者ノ受クベキ恩給又ハ年金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條　恩給ヲ擔保ニ供シ恩給金庫ヨリ貸付ヲ受ケタル者ハ其ノ債務ノ完濟ニ至ル迄ハ其ノ恩給ヲ受クルノ權利ヲ拋棄スルコトヲ得ズ

第二十七條　再就職其ノ他ノ事由ニ因リ恩給ガ改定若ハ更正セラレ又ハ年金ガ進級增額若ハ更正セラルル場合ニ於テ恩給金庫ガ改定、進級增額又ハ更正前ノ恩給又ハ年金ニ付擔保權ヲ有スルトキハ恩給金庫ハ當然新恩給又ハ新年金ノ上ニ擔保權ヲ有ス

第二十八條　恩給ヲ擔保ニ供シタル者再ビ就職シ恩給ヲ停止セラルル場合ニ於テハ恩給金庫ハ恩給ノ支給金ヲ以テ辨濟ヲ受クベキ金額ノ範圍內ニ於テ其ノ者ノ受クベキ俸給中ヨリ貸付金額ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得

第二十九條　恩給又ハ年金ヲ擔保トスルニハ其ノ證書ヲ恩給金庫ニ交付スベシ但シ恩給ノ裁定前豫メ之ヲ擔保トスル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條　恩給ノ裁定前豫メ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲シタルトキハ恩給金庫ハ遲滯ナク裁定廳ニ其ノ要旨ヲ申告シ置クコトヲ要ス

第三十一條　前條ノ規定ニ依ル申告ヲ受ケタル件ニ付恩給與ノ裁定ヲ爲シタルトキハ裁定廳ハ恩給證書ヲ恩給金庫ニ交付スベシ

第三十二條　裁定ヲ經タル恩給又ハ年金ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲シタルトキハ恩給金庫ハ遲滯ナク恩給ノ裁定廳又ハ賞勳局及支給廳ニ其ノ旨ヲ申告スベシ擔保權ノ消滅シタルトキ亦同ジ

第三十三條　恩給金庫ニ擔保ニ供セラレタル恩給又ハ年金ニ付證書ノ再發行ヲ爲ス場合ニ於テハ新證書ハ之ヲ恩給金庫ニ交付スベシ擔保ニ供セラレタル恩給又ハ年金ヲ改定、進級增額又ハ更正スルニ當リ新ニ證書ヲ發行スル場合亦同ジ

第三十四條　本章ニ規定スルモノノ外恩給又ハ年金ノ擔保ノ實行ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五章　恩給債券

第三十五條　恩給金庫ハ拂込資本金額ノ十五倍ヲ限リ恩給債券ヲ發行スルコトヲ得但シ其ノ貸付金及所有ニ係ル有價證券ノ現在高ヲ超過スルコトヲ得ズ

第三十六條　恩給債券ハ額面金額五十圓以上トシ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得

恩給債券ハ割引ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得

第三十七條　恩給金庫ハ恩給債券借換ノ爲一時第三十五條ノ制限ニ依ラズ恩給債券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ恩給債券ヲ發行シタルトキハ發行後一月內ニ其ノ發行額面金額ニ相當スル舊恩給債券ヲ償還スベシ

第三十八條　恩給債券ハ賣出ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得

第三十九條　恩給金庫ニ於テ恩給債券ヲ發行セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第四十條　恩給債券ノ消滅時效ハ元金ニ在リテハ十五年、利子ニ在リテハ五年ヲ以テ完成ス

第四十一條　所得稅法、資本利子稅法及有價證券移轉稅法中國債以外ノ公債ニ關スル規定ハ恩給債券ニ之ヲ準用ス

第四十二條　恩給債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

第四十三條　本章ニ規定スルモノノ外恩給債券ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章　會計

第四十四條　恩給金庫ノ事業年度ハ一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄トス

第四十五條　恩給金庫ハ每事業年度ニ於テ準備金トシテ剩餘金ノ十分ノ一以上ヲ積立ツベシ

第四十六條　恩給金庫ハ成立後二十事業年度ノ間ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ政府ノ出資ニ對スル剩餘金ノ配當ヲ減額シ又ハ之ヲ爲サザルコトヲ得

第四十七條　恩給金庫ハ設立ノ時及每事業年度ノ初ニ於テ財產目錄、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ定款ト共ニ之ヲ各事務所ニ備置クコトヲ要ス

出資者及債權者ハ業務時間內何時ニテモ前項ニ揭グル書類ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得

第七章　監督

第四十八條　恩給金庫ハ內閣總理大臣及大藏大臣之ヲ監督ス

第四十九條　恩給金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第五十條　恩給金庫ハ每事業年度ノ初ニ於テ貸付利率ノ最高限度其ノ他貸付ニ關スル條件ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第五十一條　主務大臣ハ恩給金庫ニ對シ業務及財產ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、檢查ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十二條　主務大臣ハ特ニ恩給金庫監理官ヲ置キ恩給金庫ノ業務ヲ監視セシム

第五十三條　恩給金庫監理官ハ何時ニテモ恩給金庫ノ業務及財產ノ狀況ヲ檢查スルコトヲ得

恩給金庫監理官ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ恩給金庫ニ命ジテ業務及財產ノ狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

恩給金庫監理官ハ恩給金庫ノ諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第五十四條　役員ガ法令、定款若ハ主務大臣ノ命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ之ヲ解任スルコトヲ得

第八章　罰則

第五十五條　左ノ場合ニ於テハ恩給金庫ノ理事長、理事又ハ監事ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一　本法ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ
二　本法ニ規定セザル業務ヲ營ミタルトキ
三　第二十二條ノ規定ニ違反シ業務上ノ餘裕金ヲ運用シタルトキ

四 第三十五條又ハ第三十七條第二項ノ規定ニ違反シ恩給債券ノ發行ヲ爲シ又ハ償還ヲ爲サザルトキ

五 主務大臣ノ監督上ノ命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

六 第五十三條ノ規定ニ依ル恩給金庫監理官ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ命ズル報告ヲ爲サザルトキ

第五十六條 左ノ場合ニ於テハ恩給金庫ノ理事長、理事又ハ監事ヲ十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二 第四十七條ノ規定ニ違反シ書類ヲ備置カザルトキ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ又ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ閲覽ヲ拒ミタルトキ

第五十七條 第十二條ノ規定ニ違反シ恩給金庫又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用ヒタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第五十八條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前三條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

第五十九條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十條 主務大臣ハ設立委員ヲ命ジ恩給金庫ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第六十一條 設立委員ハ定款ヲ作成シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル後出資者ヲ募集スベシ

第六十二條 設立委員ハ出資者ノ募集終リタルトキハ出資申込書ヲ主務大臣ニ提出シ設立ノ認可ヲ申請スベシ

前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク出資第一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス

第六十三條 出資第一回ノ拂込完了シタルトキハ出資者ノ總會ヲ招集スベシ

前項ノ總會終結シタルトキハ恩給金庫ハ之ニ因リテ成立ス此ノ場合ニ於テハ設立委員ハ遲滯ナク其ノ事務ヲ恩給金庫理事長ニ引繼グベシ

第六十四條 本法ニ規定スルモノノ外恩給金庫設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十五條 登錄稅法中第六條ノ二ヲ第六條ノ三トシ第六條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第六條ノ二 恩給金庫カ恩給債券ニ付登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ

一 恩給債券又ハ其ノ第二回以後ノ拂込 毎回拂込金額 千分ノ二

二 登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止 毎一件 金十圓

從タル事務所ノ所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ毎一件金二圓ノ登錄稅ヲ納ムヘシ

第六十六條 登錄稅法第十九條第七號中「産業組合」ノ上ニ「恩給金庫、」ヲ、「産業組合法」ノ上ニ「恩給金庫法、」ヲ加フ

第六十七條 印紙稅法第五條中第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五ノ二 恩給金庫ノ發スル出資證券又ハ貸付業務ニ關スル證書帳簿

會計檢査院法中改正法律案

會計檢査院法中左ノ通改正ス

第二條中「部長三員檢査官十二員」ヲ「部長四員檢査官十四員」ニ、「副檢査官專任二十員」ヲ「副檢査官專任二十四員」ニ改ム

第五條中「三部」ヲ「四部」ニ、「檢査官四員」ヲ「檢査官三員又ハ四員」ニ改ム

附 則

本法ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員川越丈雄君登壇)

○政府委員(川越丈雄君) 今回提出致シマシタ恩給法中改正法律案ニ付テ提案ノ理由ヲ申上ゲマス、別途御協贊ヲ願ッテ居リマスル所ノ恩給金庫法案ニ伴ヒマシテ、恩給ノ擔保禁止ノ原則ニ恩給金庫ノ爲ニ例外ヲ認メル必要ヲ生ジタノデアリマス、又大正十二年ノ恩給法施行前ニ、戰鬪又ハ之ニ準ズベキ公務ノ爲ニ傷痍ヲ受ケ、又ハ疾病ニ罹リ、是ガ爲ニ或ハ增加恩給ヲ受ケ、或ハ之ヲ受ケズシテ死亡シタ軍人ガ澤山アリマスルガ、其中或者ノ遺族ハ軍人ト同一ノ戶籍ニハ載ッテ居リマシテモ、兵籍簿ニ載ッテ居ナカッタト云フヤウナ特殊ノ事由デ、其當時ノ法律デハ扶助料ヲ受ケ得ラレナカッタノデアリマス、是等ノモノハ戰鬪等ノ最モ重大ナル公務ノ爲ニ、身ヲ犧牲ニシタ者ノ遺族デアリマスルカラ、特ニ之ヲ現行ノ恩給法ニ於ケルト同樣ニ待遇シマシテ、之ニ扶助料ヲ給スルヤウニシタイノデアリマス、倘ホ大正七年以前ノ北海道廳ノ森林監守ハ、現行恩給法ノ制定當時存在シテ居タナラバ、恩給法上ノ待遇職員トシテ指定セラルベキモノデアリマシタガ、形式上ノ理由カラシテ、當時之ニ恩給性ヲ認メナカッタノデアリマス、今回之ニモ一定ノ條件ノ下ニ、待遇職員同樣ノ待遇ヲ與ヘヨウトスルノデアリマス、以上ノ諸點ノ外、恩給法ノ規定整理等ノ爲ニ、三四點恩給法中ノ改正ヲ要スルコトトナッタノデアリマス、以上ガ本案ヲ提出スルニ至ッタ理由デアリマシテ、詳細ノ點ハ倘ホ委員會等ニ於テ御說明申上ゲルコトト致シマスガ、何卒御審議ノ上速ニ御協贊アランコトヲ御願致ス次第デゴザイマス

次ニ恩給金庫法案ニ付テ提案ノ理由ヲ申上ゲマス、恩給ハ恩給受給者及ビ其家族ガ自身ノ生活ノ資ニ供スベキ性質ノモノデアリマシテ、濫リニ他人ニ讓渡シタリ擔保ニ供シタリスルコトハ、法律ヲ以テ禁止シテ居ルノデアリマス、然ルニ受給者ハ生活ニ彈力性ヲ缺イテ居リマスノデ、不時ノ失費ニ遭遇致シマスルト、其不可ナルコトヲ知リツヽモ、或ハ代理受領ノ形式ニ依リ、或ハ本人受領ノ假裝ノ下ニ、恩給ガ脫法的ニ擔保ノ用ニ供セラレ、之ニ依ッテ金融ヲ受ケテ居ル者モ、其實數ハ甚ダ多キニ上ッテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、而モ其金融ノ實際ヲ觀マスルニ、實金利ハ非常ニ高イノミナラズ、恩給證書ハ金融者ノ手中ヲ轉々シテ、遂ニハ其所在ヲ知ルコトガ出來ナイ場合ナドガ多イノデアリマシテ、恩給ハ之ヲ本人ニ給スルモノデアルト云フ精神ニ背馳スルコト甚シキモノト謂ハネバナリマセヌ、此弊害ヲ矯正シ、且ツ恩給受給者ノ生活安定ノ途ヲ講ズルノ急務ナルコトハ、從來屢〻叫バレタ所デアリマシテ、曩ニ昭和八年ニ恩給法中一部ノ改正ヲ加ヘラレマシタル際ニモ、當院ノ希望條項

ノ一トシテ「政府ハ恩給金融ニ關シ速ニ適當ナル方法ヲ講ゼラレ度」トノコトガ決議セラレタ所デアリマス、以上述べマシタコトハ、多少ノ事情ヲ異ニシナガラモ、勳章年金ニ付テモ認メラルヽ所デアリマス、政府ニ於テハ是等ニ關シ種々適當ナル方策ヲ考究致シマシタノデアリマス、政府自ラ全部ノ資金ヲ支出シテ融通ヲ致シマスコトガ最良法デアリマスガ、國家今日ノ財政狀態ヨリシテ、多額ノ資金ヲ之ニ割クコトハ、困難トスル事情モアリマスルカラ、資金ハ政府等カラ出資致シマスモノノ外、民間ノ餘剩資力カラモ得ルコトト致シマシテ、政府ハ之ニ十分ナル監督ヲ加ヘテ、政府自ラスルト略、同樣ノ效果ヲ擧グルコトトシタイノデアリマス、玆ニ恩給金庫ナル一金融機關ヲ特設スルコトト致シ、之ヲシテ妥當ナル條件ノ下ニ融通ヲ爲サシメントスル所以デアリマス

次ニ會計檢査院法中改正法律案ニ付キマシテ提案ノ理由ヲ申上ゲタイト存ジマス、近年諸官省ノ新設、各般ノ新規施設ハ年ト共ニ漸ク多キヲ加ヘ、特ニ國際時局ノ緊張ニ伴ヒマシテ、國防充實ノ爲ニ必要ナル經費激增ヲ見ルニ及ビ、會計檢査院ニ於ケル檢査事務ノ分量モ俄ニ增加スルニ至ッタノデアリマス、滿洲事件以來已ニ數年ヲ閲シ、在滿諸機構ノ如キモ漸ク平常化スルニ至リマシテ、廣大ナル地域ニ亙ッテノ會計實地檢査ナドニハ、非常ナル手不足ヲ感ズルノデアリマス、斯ノ如キ狀態ヲ以テ推移致シマスコトハ、國家ノ財政監督上誠ニ好マシカラヌモノデアリマス、是ニ於テ會計檢査院ニ於テ、現在ノ三部ニ更ニ一部ヲ增設シ、會計檢査ノ充實ヲ期スル爲ニ、同院ニ部長一人、檢査官二人、副檢査官四人ヲ增員致シタイノデアリマス、是ガ本案ヲ提出スル所以デアリマス、以上ノ二案ニ付キマシテ速ニ御協贊アランコトヲ御願致シマス

○議長(富田幸次郎君) 本案ニ對シマシテハ多數ノ質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許可致シマス――高田耘平君

(高田耘平君登壇)

○高田耘平君 私ハ恩給金庫法案及ビ恩給法改正法律案ニ關聯シテ、二三ノ質疑ヲ致シタイト存ジマス、先以テ總理大臣ニ對シテ伺ヒタイコトガアルノデゴザイマス、ソレハ官吏ノ任用ニ當ッテ、官紀紊亂ノ問題ニ付テデアリマス、卽チ林內閣組織當時ニ於テ、其重要ナル位置ヲ占ムル法制局長官トナリシ川越君ガ、官紀紊亂ノ行動ヲ爲セシコトニ付テ、總理大臣ノ意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

政黨內閣ノ時代ニ於キマシテハ、其何レノ內閣タルヲ問ハズ、常ニ平素一定ノ主義主張ヲ確立シテ置キマシテ、其總裁ニ大命ガ降下スルヤ、直チニ組閣致シマシテ、其政策ノ實行ニ移ルノデゴザイマス、然ルニ最近ニ於ケル齋藤內閣、殊ニ岡田內閣、廣田內閣、林內閣ノ超然內閣ニ至リマシテハ本人ガ常ニ一定ノ政策ヲ持タズ、而シテ又組閣ニ當リマシテモ、大命ガ降下スルヤ、狹キ範圍ニ於テ――大命ヲ受ケタ其人ノ極メテ小部分ノ範圍ニ於テ、其人選ヲ爲スノデゴザイマス、加之組閣ノ場合ニ當ッテ、各省ノ事務官ヲ組閣本部ニ招致シテ、組閣ノ參謀トスルノデゴザイマス、今回林內閣ノ成立ノ場合ニ當ッテ、川越法制局長官ハ其當時大藏省ノ事務次官デアッタニモ拘ラズ、之ヲ組閣本部ニ招致シテ組閣事務ニ當ラシメタノデゴザイマス、政務官ハ其屬スル內閣ト運命ヲ共ニスルノハ當然デゴザイマス、而シテ事務官ハ無論恆久性ヲ一般ニ持ッテ居リマス、而シテ大藏省ノ如キ政策ノ中樞ヲ成ス省ニアリマシテハ、內閣ノ更迭ト共ニ、事務官ハ恆久的ノ性質ヲ持ツモノデアルケレドモ、今日マデ其職ヲ退イテ內閣ト運命ヲ共ニシタノデゴザイマス、小野次官、田次官、河田次官、黑田次官、津島次官、皆然リデゴザイマス、獨リ川越君ニ至リマシテハ、廣田內閣ノ大藏次官ノ地位ヲ去リタルモ、轉ジテ政務官タル法制局長官ニ就任致シマシタノデゴザイマス、私ハ此點ヲ甚ダ遺憾トシマス、是ハ林內閣組閣ニ當ッテデハゴザイマセヌガ、齋藤內閣倒レルヤ、時ノ農相後藤文夫君、時ノ拓務次官河田烈君等ガ、直チニ大命ヲ拜シタル岡田氏ノ膝下ニ走ッテ、數日間其職務ヲ曠廢シテ、自己ノ榮進ニ狂奔シ、陛下ヨリ何分ノ御沙汰アル迄其事務ヲ見ルベキ旨ノ仰セガアッタノニモ拘ラズ、大御心ニ背イタル行動ヲ爲シタルコトハ、是亦私ノ採ラザル所デゴザイマス、更ニ宇垣閣下ニ大命ガ降下シタ場合ニ於テ、現在ノ拓務省ノ拓務局長タル安井誠一郎氏ガ、組閣本部ニ入リ浸ッテ職務ヲ荒怠スルガ如キ、是亦斷ジテ許スベカラザル行動デアルト私ハ信ジマス(拍手)林首相ガ大命ヲ拜スルヤ、組閣本部ニ至リ――其主任者ハ最初十河某デゴザイマシタ、十河某ガ意見ガ合ハズシテ別ルヽヤ、現在ノ法制局長官川越氏ヲ呼ビマシテ、組閣ノ事務ニ從事セシメタルガ如キ、洵ニ官紀紊亂デアルト私ハ思ヒマス、組閣ノ大命ハ拜シマシタガ、總理大臣トナル迄ハ林閣下ハ個人デアリマス、其個人ガ、其一個人ガ現職ノ大藏次官ヲ招集シテ、之ヲ組閣本部ニ呼付ケテ、數日間組閣事務ニ從事セシメタト云フコトハ、洵ニ得手勝手ノ次第デアルト私ハ存ジマス、斯ノ如キハ超然內閣ガ出來テ以來ノ慣例デゴザイマスルケレドモ、事務官ガ其事務ヲ捨テテ、組閣本部ニ行ッテ、組閣事務ニ從事スルト云フコトハ、以ノ外ノコトデアルト私ハ信ジマス(拍手)而シテ其當時大藏省ノ內容ハドウデアッタカト云ヘバ、其當時ノ大藏省ハ、外國爲替ノ問題ガ極メテ急迫ヲ告ゲテ居リマシタ、次官ハ一刻モ其地位ヲ曠シクスルコトガ出來ナイ、サウ云フ狀況デアッタノデアリマス、卽チ此爲替ノ問題ノ爲ニ、日夜管理部長ヲ指揮監督シテ、外國爲替ヲ安定セシメテ、內閣ノ更迭期ニ起リ易イ帝國經濟界ノ動搖防止ニ、全力ヲ傾倒スベキガ當然デアッタラウト私ハ思フノデアリマス、然ルニ川越次官ハ此事務官タルノ位置ヲ捨テマシテ、組閣本部ニ參ッテ組閣事務ニ從事シタト云フコトハ一大失態ト存ジマス(拍手)加之(「議題ト關係ハナイゾ」ト呼フ者アリ)加之、川越次官ハ馬場財政ノ建設者デゴザイマス、三十有餘億ノ厖大ナル豫算編成ノ責任者デアリマス、ソレノミナラズ川越君ハ大藏次官トシテ、國稅ノ整理ハ馬場大藏大臣ノ下ニ於テ定メタルモノヲ實行シナケレバナラヌト、各方面ニ宣傳シタノデゴザイマス、然ルニ現內閣ニ至ッテ豫算ニハ大斧鉞ヲ加ヘラレ、アナタガ立テタル稅制整理ハ根本ヨリ覆ヘサレ、廣田內閣時代ニハ大藏次官トシテアノ豫算、アノ稅制改革、之ヲ主トシテアナタガ掌ッテヤッタノデゴザイマス、然ルニ今度法制局長官ハ政務官デアリマス、政務官トナルヤ、厚

額ニモ自分ガ立案シタル税制案ヲ根本ヨリ覆ヘシ、三十億有餘ノ豫算ヲ非常ニ減少シタ此案ニ同意スルト云フコトハ、幾ラ事務官ト雖モ、私ハ餘リニ何ト申シテ宜シイカ、節操云々ト言フコトハ甚ダ失禮デゴザイマスガ、是デハ私ハ幾ラ事務官ト雖モ、官吏トシテ範ヲ天下ニ示スコトガ出來ナイト信ジマス(拍手)私ハ其點ヨリ見マシテ、河原田内務大臣ガ留任ヲ懇請致シマシタケレドモ、斷然内閣ト共ニ辭職セラレマシタ湯澤内務次官、萱場警保局長及ビ早川警視總監等ノ、此立派ナル行動ニ對シテ敬意ヲ表セザルヲ得ナイノデゴザイマス(拍手)林首相ハ非常ニ責任感ノ强イ御方ト承ッテ居リマス、御令弟白上君ガ何カ間違ヒガ出來タ時ニ、其責任ヲ帶ビテ陸相ヲ辭任セントシタカノ如ク承ッテ居リマシテ、洵ニ此點閣下ニ對シテ深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、然ルニ内閣組織ニ當ッテ、先程申上ゲマシタ、自分ガ大藏次官トシテ立テタル税制計畫ヲ根本ヨリ破壞セラレ、此破壞セラレタ案ニ、恬然トシテ顧ミズ之ニ署名スル、斯ノ如キ者ヲ法制局長官トスル、卽チ事務官ヲ長イ間組閣本部ニ呼付ケテ、事務ヲ曠廢セシメタ、斯ウ云フ行動ハ確ニ林内閣ガ官紀紊亂ヲ爲シタモノデアルト存ジマスルガ、總理ハ之ニ對シテ如何ナル御所見ヲ有セラルヽヤ、此點ヲ先以テ伺フ次第デゴザイマス

次ニハ恩給其モノニ付テ所見ヲ伺ヒマス、是ハ總理大臣デナクテモ宜シウゴザイマス、恩給法ノ改正及ビ恩給金庫ノ制定ハ、現狀ヨリ見テ私共モ必要デアルト存ジマス、大體ノ趣意ニ於テハ贊成スルニ吝ナラザル者デゴザイマス、而シテ此恩給增加ノ問題ハ、我國ノ財政上極メテ重大ナル位置ニアリマス、卽チ昭和十二年度ノ豫算ヲ拜見スルト、恩給、年金ノ支出額ノ豫算ハ一億八千万圓デアリマシテ、昭和元年度ノ一億三千三百万圓、是ハ決算デゴザイマスガ、之ニ比シテ四千七百万圓ノ增加デアリマシテ、一箇年間約四百万圓ノ恩給及ビ年金ノ增加ノ趨勢ニアルノデアリマス、故ニ今後軍人ノ數ハ非常ニ殖エル、一般官吏ノ數モ非常ニ殖エルト云フ傾向ニアリマスルカラシテ、此法律ノ儘行キマスルト云フト、今後十箇年ニ假ニ四百五十万圓ヅヽ增加スルト致シマスレバ、昭和二十二年度ニハ、其總額ハ二億二千五百万圓ニ達スルノデゴザイマス、卽チ國家財政上極メテ重大ナル關係ガアルト思フノデアリマス、私ハ現在ノ恩給法ニ付テ種々ノ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、吾々ハ官吏ガ其退職後生活ノ安定ヲ得ル爲ニ、相當ノ恩給ヲ支出シテ、安ンジテ其職務ニ在ラシメルコトハ當然デアルト存ジマス、併ナガラ其爲ニ國民ノ多數ニ受恩給者ニ對シテ怨聲ヲ放タシメ、或ハソレガ爲ニ年若キマダ前途見込ノアル人ガ、恩給ニ安ンジテ懶惰放逸ニ傾クベキ狀態ニアリトスレバ、是等ノ點ニ付テ相當ニ改正スル心要ガアルト思フノデアリマス、先ヅ現在ノ制度デ申シマスルト、私申上ゲル迄モナク、三十二、三デ恩給ニ浴シテ居ル人モアルノデゴザイマス、私共ハ此場合ニ於テ恩給ノ恩典ニ浴シテ居ルコトガ、相當ノ何カ職業ガナケレバ已ムヲ得マセヌガ、又是等受恩給者デモ、若シ其人ガ病氣ニ罹ルトカ、失業シテ居ルトカ、或ハ又何カ其人ノ生活ガ出來ナイトカ、或ハ又何カ仕事ガアッテモ、少額ノ收入デアル場合ニハ、恩給ヲ支出スルノモ已ムヲ得ナイト思ヒマスルガ、然ラザル場合ニ於テハ、私ハ一定ノ年限以下ニ對シテハ、恩給ヲ受ケル權利ガアリマシテモ、一時之ヲ停止シテ置クト云フコトニスルノガ當然ヂヤナイカト思ヒマス(拍手)卽チ年若キ者ガ恩給ニ衣食シテ、働ケバ幾ラデモ働ケル者ガ、小成ニ安ンジテ居ルト云フヤウナ狀態ガアリマスレバ、是ハ個人ノ爲ニモ、國家ノ爲ニモ、洵ニ惡イノデゴザイマスカラシテ、ソレヲ防グ爲ニ一時受恩給者ノ權利ヲ停止シテ置ク、斯ウ云フ規定ヲ設ケルコトガ必要デハナイカト思フノデゴザイマスルガ、之ニ對スル所見ハ如何デゴザイマスカ、斯ウ云フ意味ニ於テノ改正ヲ爲スノ意思ハナイノデゴザイマスカ

次ニ又恩給ヲ受ケル人ニ、國ト自治體ト二重ノ恩給ヲ受ケテ居ル人ガアルノデゴザイマス、是等ノ人ニ對シテモ何レカノ方法ニ依ッテ、之ヲ重複ニ支拂ハナイヤウニスルカ、或ハ又何カ制限ヲ設ケルカシテ、成ベク國及ビ自治體ノ負擔ヲ少クスルト云フコトガ必要デアルト存ジマスガ、之ニ對スル御意見ハ如何デゴザイマスカ、更ニ第三ハ、是ガ重大問題デアルト思ヒマス、受恩給者ニシテ非常ニ財産或ハ其他ノ所得ガアル者、殊ニ財産ノ所得ガアッテ、恩給ヲ國ヨリ受ケズトモ、相當ノ生活ノ安定ヲ得テ居ル人ガ澤山アルノデゴザイマス、是等ノ人ニ對シテハ、其人ノ年齡如何ヲ問ハズ、恩給ヲ支給シナイコトニスル方ガ當然デアルト思ヒマスルガ、ソレニ對スル御所見如何デゴザイマスカ(拍手)先ヅ此三ツノ點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、私ガ斯ク申スコトハ、現在官吏トカ軍人トカ云フヤウナ者デ、受恩給者トナルベキ人人ニ非常ニ嫌ハレル言論デゴザイマス、併ナガラ此希望ハ、是ハ殆ド恩給ヲ受ケントスル者以外ノ全國民ノ輿論デゴザイマス、何モ三十二三歲ノ人ニ恩給ヲヤラナイデモ宜イヂヤナイカ、相當ニ恩給ヲ受ケズトモ安樂ニ、而モ贅澤ニ暮シ得ルヤウナ人ニ、國家ガ恩給ヲ與ヘル必要ナキニアラズヤトノ考ハ、全國民ニ漲ッテ居ル輿論デゴザイマス(拍手)卽チ斯ル三點ニ付テ政府ガ改正ノ意思アリヤ否ヤト云フコトヲ御伺スルノデゴザイマス

更ニ伺ヒマスコトハ、現在産業組合中ノ信用組合デ、恩給證書等ヲ見返擔保トシテ、此恩給金庫ト同一ナル事業ヲ營ンデ居ルモノハ相當ノ數ニ達シテ居ルノデゴザイマス、私ハ玆ニ其數、金額等ヲ詳細ニ申スコトハ必要ハゴザイマセヌガ、段々此傾向ハ殖エテ來ルノデゴザイマス、故ニ私ハ恩給金庫ノ本金庫ハ之ヲ東京ニ一箇所置クモ宜シイガ、貸付ノ事務ハ、是ハ信用組合ガ各方面ノ市町村到ル處ニアルノデゴザイマスカラシテ、別ニ支店等ヲ設置セズシテ、此貸付ノ事務ト云フモノハ、是ハ各方面ニアル信用組合ニヤラセルト云フコトデ十分デアルト思フ、又サウスルコトガ信用組合其モノノ使命ヲ全ウセシムル所以ト存ジマスガ、之ニ對スル政府ノ所見如何ト云フコトヲ伺フノデゴザイマス

最後ニ伺ヒマスル事柄ハ、私ハ斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル、物價ハ騰貴スル、今日ノ狀況ヲ以テスレバ、各都市到ル處ノ銀行ナリ、會社ナリ、其他ナリハ相當ニ使用人ノ手當ヲ引上ゲナケレバナラヌト存ジマス、物價ハ昂騰スル、而シテ使用人ノ俸給ガ上ラヌト云フコトデハ、到底是ハ其會社ノ爲ニモナリマセヌシ、個人ノ生活ハ安定

出來マセヌ、故ニ私ハ斯ル場合ニ於テ、一般官吏、殊ニ地方廳ナリ、各省ナリノ下級官吏、雇――今日ノ狀況ヲ見マスルト、大學ヲ出ル、先以テ大學ノ生徒ハ相當ノ家庭デ、堅ク隨分質素ニシテモ五十圓、六十圓掛ル、所ガ卒業シテ出ルト云フト、學生中父兄ヨリ送ッテ貰ッタ金程モ貰ヘナイノガ實情デアル、是デハ私ハ下級官吏ト云フ者ハ洵ニ氣ノ毒デアル、故ニ私ハ斯ウ云フ經濟狀態ニアル場合ニ於テハ――私ハ上級官吏ハ此儘デ宜シイト思フ、何トナレバ俸給以外ニ所得ガアルト思フカラデアルガ、下級官吏ハ氣ノ毒デアルト思フノデゴザイマス、殊ニ地方ノ下級官吏ハ氣ノ毒デゴザイマスカラシテ、之ニ對シテ相當ニ俸給ノ引上ヲ斷行スル必要ガアルト思フガ、之ニ對スル政府ノ所見如何、斯ウ云フ點デゴザイマス、以上數點ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒマス

先以テ總理大臣ヨリ組閣當時ニ於テノ、詰リ官紀紊亂ノ問題、申ス迄モナク是ガ一般官吏ニ及ブト云フコトデアレバ、アナタガ是デ宜シイト云フコトニナレバ、組閣本部ニ事務官ガ――事務官トシテ給料ヲ取リナガラ、組閣本部ニ行ッテ、アナタノ命令ノ下ニ組閣ノ事務ニ與ルト云フコトニナレバ、是ハ政務デアリマス、是コソ憂フベキ官紀紊亂ノ問題デアリマス、之ヲ認メルコトニナレバ大變デアリマス、故ニアナタガ便宜上仕方ガナイカラ、事務官ヲ呼ンダト云フノデゴザイマセウガ、ソレデモ一般官吏ハ非常ニ不平ヲ持ッテ居ル、何ダ川越サンハ大藏省ノ事務官デハナイカ、ソレニ爲替管理ノ大問題ガアッタノニ、ソレヲ四五日捨テテ置イテ、事務官トシテノ職務ヲ曠廢シテ、組閣本部ニ行ッタト云フコトニ付テハ、一般官吏ハ非常ナ不平ヲ持ッテ居ル(拍手)アナタハ非常ニ健實ナ立派ナ御方デゴザイマセウ、御令弟ノ間違ノ爲ニ責任ヲ負ハントスル、其耿々タル心理ニ對シテハ、私ハ深ク敬意ヲ表シマス、併ナガラ組閣當時ニ當ッテ、其時事務官デアッタ、而モ大藏次官、財政ノ根本ヲ立テ、大豫算ヲ立テタ此人ヲ持込ンデ來テ、其人ガ法制局長官ニナリ、政務官ニナレバ、打ッテ變ッテ自分ガ大藏省ニ居ッテ組ンダ豫算ヲ全然捨テテ顧ミナイト云フ、此無節制、無節操ナル官吏、之ヲ此儘置イテハ役人ハ到底眞面目ニ仕事ハ致シマセヌ、此儘置イテハ一般官吏ヲ林總理ハ率キルコトハ出來ナイト、私ハ固ク信ズル次第デゴザイマス、此點ニ付テ林總理ノ御信念ヲ伺ヒタイト存ジマス(拍手)

(國務大臣林銑十郎君登壇)

〇**國務大臣(林銑十郎君)**　只今ノ高田君ノ御質疑ニ御答致シマス、高田君ノ御質疑ハ、私ガ組閣ノ時ニ、當時大藏次官デアッタ川越氏ヲ組閣本部ニ招イテ相談シタト云フコトニ付テ、官紀紊亂デナイカト云フ御質疑デアリマス、一應御尤ナ御質疑ト考ヘマスガ、當時ノ特殊事情ト云フコトニ付テモ一應御諒承ヲ願ヒタイ、私ハ御承知ノ通リ官界ニ於テハ殆ド知己ガナイノデアリマシテ、對滿事務局總裁ヲヤッテ居ッタ時ニ、當時川越氏ハ私ノ次長デアリ、謂ハバ官界ニ於ケル所ノ私トシテハ唯一ノ知己デアル、此大命ヲ拜シマシテ實ハ甚ダ恐縮シタノデアリマシテ、官界ノ事情ニモ全ク通ジテ居ラヌ私ガ、果シテ此大任ヲ盡シ得ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、非常ニ苦慮致シマシタ、差當リ此官界ニ於ケル所ノ唯一ノ知人デアリ、現代ノ事情ニ通ジテ居ル川越君ヲ呼ンデ相談スルト云フコトハ、ドウモ私トシテハ已ムヲ得ナカッタト思ヒマス、其中之ヲ法制局長官ニ任ズルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、別ニ之ヲ研究ヲ致シマシテ、前例ガアルト云フコトヲ確メマシタカラ、ソレナラバ宜カラウト云フコトデ處置ヲ致シタ次第デアリマス、最初ノ中ハ已ムヲ得ズ相手ニ招イタノデアリマス、デアリマスカラ私ハ之ヲ以テ直チニ官紀紊亂ト考ヘルコトハ適當デナイト存ジテ居ル次第デアリマス

(高田耘平君登壇)

〇**高田耘平君**　只今首相ノ御答辯ハ、首相トシテハ成程官界ニ精通スル他ノ友人モナイカラ、組閣ノ大命ヲ全ウスル爲ニ、事情ニ通ジテ居ル川越次官、元ノ對滿事務局ノ副總裁ガ知合デアルカラ呼ンダト云フコトデアル、アナタノ事情トシテハ仕方ガナイデセウ、併シソレナラバ何ンデ次官ヲ辭メサシテカラ掛ラヌ、何故アナタハ次官ヲ辭メサシテカラ掛ラナイ、次官ヲ辭メサシテ掛ル、ソレハ結構デスガ、次官ノ現職ニ在ル者ヲ組閣本部ニ招イテ、而モ爲替問題ノ如キ大問題ガアル、之ヲ抛擲セシメテ置イタト云フ、其責任ハドウシテモ官紀紊亂デアルト思ヒマス、私ハアナタノ事情ノ爲ニ官紀ヲ紊亂セシメタト云フコトハアナタノ爲ニ甚ダ遺憾ト存ジマス(拍手)是ハ官紀紊亂デナイト云フコトニハナラヌ、事情ハ御察シスルガ、官紀紊亂ハ官紀紊亂デアリマス、事情ノ爲ニ官紀紊亂ヲ許ス譯ニハ行カヌト思ヒマス、私ハ今後總理大臣ハ唯事情――政黨員ヲ斷ルノモ其時ノ情勢情勢、情勢ダケデハイカヌデス、相當ノ道理ト根據ガナケレバ世ノ中ハ治リマセヌ、事情ヤ情實デヤルコトハイケナイト存ジマスカラ、爾今御注意ヲ願ヒタイト存ジマス(拍手)

(政府委員川越丈雄君登壇)

〇**政府委員(川越丈雄君)**　只今恩給ノ問題ニ對スル御質問デアリマシタガ……

(「身上問題ヲヤレ」ト呼ビ其他發言スル者多シ)

〇**議長(富田幸次郎君)**　靜粛ニ

〇**政府委員(川越丈雄君)**(續)　私ノ身上ニ關スル……

(「官紀紊亂ヲ辯明シ給ヘ」ト呼ビ其他發言スル者多シ)

〇**議長(富田幸次郎君)**　靜粛ニ

〇**政府委員(川越丈雄君)**(續)　只今ノ御質問ニ於テ、私ガ組閣本部ニ林大將ノ招キニ應ジマシテ行キマシタト云フコトガ、官紀紊亂デアルト云フコトデアリマシタ、之ニ付キマシテハ、只今林總理大臣ヨリ御答辯ガアリマシタノデアリマスガ、事私ノ一身ニ關スルコトデアリマスカラ、私ヨリ一應申上ゲタイト思ヒマス、當時私ハ大藏次官ノ職務ニ在リマシタガ、林大將ヨリ自分ノ組閣本部ニ於テ非常ニ手不足デアルカラ、來ッテ手傳ッテ吳レロト云フ御言葉デアリマシタ、私ハ當時大藏省ノ事務次官トシテ在職中デアリマシタカラ、ソレ〱手續ヲ致シマシテ、一日ダケ御手傳ヲ致シタノデアリマス(「ドンナ手傳ヲヤッタ、其内容ヲ言ヘ」ト呼フ者アリ)數日間事務ヲ抛擲シテ居ッタト云フコトデアリマスガ、一日御暇ヲ貰ヒマシテ御手傳ヲ致シタノデアリマス、公務ニ阻碍セザル、公務ニ對シテ差支ナイ

ル生活ノドン底ニ居リマシテ、卽チ百姓ヲ五十年間續ケマシテモ、百姓ニ對シテハ所謂農民年金モナケレバ、農民恩給ト云フモノモ其制度ガナイノデアル、私共ハ此場合ニ於テ恩給ト云フモノ、根本ヲ批判シ、恩給ト云フモノヲ國民ノ名ニ於テ根本的ニ考ヘナケレバナラヌ時代ニ當面ヲ致シテ居ルト云フコトヲ考ヘマス(拍手)ト同時ニ、何處マデモ此恩給ニ對シマシテ、私共ハ、庶政一新、庶政改革ヲ標榜セラレル所ノ現代ノ此政治ノ上ニ立チマシテ、此政府當局ノ立場ニ立チマシテ、先ヅ己レノ犧牲ヲ國民ノ前ニ提供シ、己レノ犧牲ニ依ッテ此將來五年後或ハ十年後ニ於テ恐ルベキ憂患ヲ爲シ禍ヒノ源ヲ成ス所ノ恩給ノ如キヲ、國民ノ前ニ其犧牲ヲ提供致サレマシテ、而シテ其後ニ於テ庶政斷行ノ道ヲ示サレルト云フコトガ、國民ニ對スル態度ノ模範デナケレバナラヌト私ハ斷言ヲ致スノデアリマス(拍手)

諸君、斯ノ如ク致シマシテ此恩給ヲ何ガ故ニ心配致スカト申シマスト云フト、井上君モ申サレタト思ヒマスガ、此日本ノ恩給ハ昭和八年度ノ恩給改正ニ於キマシテ、苦心慘憺、現在ノ恩給局長デアリマスル樋貝君ナドハ最モ熱心ニ御研究ニナッタ一人デアルノデゴザイマスルガ、其時ノ御說明ヲ聽イテ見マスルト、此恩給亡國ヲ防グ一端トシマシテ、例ヘバ一旦退職ヲ致シタ人ガ再ビ職ニ就イタ場合ニ於テ、一時恩給ノ一部ヲ返還スルト云フ制度トスル、或ハ死ンデ居ル人間ガ生キテ居ルヤウナ恰好デ、此幾十万人ノ人ノ中ニハ、故意カ過失カ、多數郵便局ノ窓口ニ行ッテ恩給ヲ失敬スルヤウナ者ガアリ――間違ッテ受取ッタ者モアッタデアリマセウ、之ニ對シマシテハ嚴格ナル査定ヲ施ス爲ニ、恩給調査ト云フヤウナモノヲ設ケマシテ、幾分カ是ガ此恩給增額ヲ防グ手立トナルデアラウト云フ御說明モアッタノデアリマス、ソレカラ此恩給ノ增加ヲ防グ方法ト致シマシテ、年齡ノ若イ、若年恩給ト云フモノニ對スル停止ノ方法ヲ設ケルト云フガ如キ相當ナル方法ニ依リマシテ、其增加ヲ防イデ居ラレマシテ、昭和二十年或ハ二十二年頃ニナルト、此規定ヲ施行スルニ於テハ、我ガ恩給額ガ四千九百万圓バカリ減額スル勘定ニナルト云フ御發表ニナッテ居ルノデゴザイマスルガ、今日ノ如ク益〻非常時ノ波ニ乘リマシテ益〻官公吏增員ヲシテ行ク、軍人ノ如キモ無茶苦茶ニ增員ヲ致シテ居ルト云フ今日ノ場合ニ於キマシテ、其時發表サレマシタル昭和二十年ニナルト云フト四千九百万圓ノ金額ガ減額ニナルト云フアノ計畫ハ、今日ノ場合モ其儘御主張ニナルコトガ出來ルカドウカ、此場合ハッキリシタ所ノ御答辯ヲ御願致シタイト思フノデアリマス(拍手)

諸君、私ガ今一ッ御心配ヲ申上ゲマスノハ、今日ノ日本ノ恩給法ノ立前ト云フモノガ、此一定年限ノ御奉公ニ依ル恩給ヲドシ〳〵呉レテシマフ、サウ致シマスト云フト陸軍御當局ヲ初メ、政府當局ハ勿論、大イニ宣傳ヲ致シマシテ、世ノ中ハ非常時ト言ヒ、今ニモ何カガ――重大ナル爆發ガアルカノ如キ狀態ニ說明ヲセラレ、私共モ其說明宣傳ノ儘ニ今ニ目ノアタリ何物カガ爆發スルヤウナ氣持ヲ懷カサレテ居ルノデアリマス、此爆發ヲ私共ガ想像致シマス時ニ於テ、恩給トノ關係重大ナルモノヲ想像シナケレバナラヌノデアリマス、ソレハ何カ、卽チ彼ノ過去ニ於テハ全ク日本ノ國運ヲ賭シタ所ノ日露戰爭、此日露戰爭ヲ一ッ考ヘマスト、彼ノ日露戰爭ニ於テ、日本ノ危急存亡ニ一身ヲ賭シ、難ニ赴イタ所ノ軍人ハ、其數百万デアッタノデアリマス、然ルニ既往世界戰爭ノ事實カラ考ヘテ見マスト云フト、世界戰爭ヘ、彼ノ佛蘭西ヲ一ッ取上ゲテ見マシテモ、四年間ノアノ戰ニ於テ佛蘭西軍ノ戰死シタ者ノ數ダケデモ百十五万人デアッタト云フコトヲ御記憶願ハナケレバナラヌノデアリマス、此四年間ニ於テ佛蘭西ダケデ負傷シタ所ノ兵隊ノ數ハ三百八十万人デアッタット云フコトヲ御考願ハナケレバナラヌノデアリマス、而シテ戰爭ガ四年目ニ終ッタ時ニ於テ、佛蘭西ノ兵隊ハ五百六十万ノ精兵ガマダ殘ッテ居ッタト云フ此事實、所謂總計一千万人ノ人間ガアノ世界戰爭ニ於キマシテ佛蘭西一國ニ於テ動員シタ數デアルノデアリマスガ、日本ノ恩給法ノ現在ノ立前ヲ維持シテ置クト云フコトニナリマスト、只今陸軍當局、或ハ政府ガ謂フ所ノ或ル問題ガ――此重大ナル問題ガ或ハ遠カラズ爆發ヲ致シマシタ時ニ於テハ、日露戰爭ニ於テ百万人、是ハ私ハ僅カノ數ト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、恐ラク日本ト雖モ今後ニ來ル所謂爆發ニハ、恐ラク五百万、或ハ六百万或ハ八百万位ノ兵隊ヲ動員致シマシテ、日露戰爭ハ十七万ノ戰死者デアリマシタケレドモ、今度ノ戰爭コソハ日本モ六十万人ヤ八十万人ハ戰死スル位ノ覺悟ヲ以テ此爆發ニ備ヘナケレバナラヌト云フコトヘ、私ハ何トシテモ此事實ガ的中スルコトヲ豫言致スノデアリマス、諸君、斯ウ云フ立場カラ判斷ヲ致シテ見マスト、例ヘバ彼ノ露西亞ノ如ク、此日「ソ」關係ノ爆發ヲ先ヅ例ヘテ見マスト、此露西亞ガ今日人口一億七千万ヲ持ッテ、此一億七千万ノ人口ノ中カラ考ヘマスト、愈〻爆發致シマシタ時ニ於テ三百万ヤ五百万ノ人間ガ死ンダ所デ、此露西亞ノ國民カラ見ルト、何處ニ人間ガ死ンダカト云フ位デ、彼等ハ平氣ノ平左衞門デアラウト思フ、斯ウ云フ大戰端ガ開カレマシテ、「ソ」聯ト雖モ愛國心ニ變リハナイ、國ヲ守ル所ノ最後ノ一線ニ戰フト云フ氣持ヘ、何等變リハナイノデアッテ、此場合ニ於テ彼等ガ五百万人位死ンダ所デ、何處デ死ンダノカト云フ位ノ、大キナ人口ヲ擁スル所ノ、此露西亞ト戰ッタ場合ニ於テ、日本ニ於テモ五十万位ノ戰死者、二百万位ノ負傷者ガ出來ルト云フ覺悟ガナケレバ戰ガ出來ナイト云フコトヘ、諸君當然ノコトデアルノデゴザイマス、此時ニ於テ日本ノ恩給法ハ如何デアリマセウカ、コヽガ重大ナル恩給問題ニ關聯シタル事實デアリマス、是ハ何故カト申シマスト、今日戰爭ニ行ッテ戰死ヲスル、戰死者ノ遺族ヲ國家ガ扶助ヲシ其面倒ヲ見ル、其戰死者ノ遺族ノ生活ヲ或ル程度補塡シ、負傷者ヲ恩給ニ依ッテ生活ヲ保護スルト云フコトハ、是ハ國家當然ノ義務デアルト云フコトヲ、私ハ皆樣ニ御聽ヘスルト同時ニ、今日ノ僅カ五十万ノ受給者、中央、地方ヲ合セテ五十二万ノ此受給者ニ對シテ、一億二千万圓ノ國帑ヲ恩給費ニ使ッテ居ル此事實ニ於キマシテ、一旦緩急アリ其緩急ノ直後ニ恩給問題ガ淸算サレル場合ニ於テハ、恐ラク一足飛ビニ十億圓位ノ恩給費ヲ要スルコトニナル、此儘ノ恩給ノ制度デアリマスナラバ、非常ナル支出ガ恩給費ニ向ケラレルト云フコトハ、今日ノ場合必ズ想像シテ置カナケレバナラヌ事實デアルノデアリマス(拍手)此問題カラ見マシテモ、政府當局ハ其日暮シデ、今日自分達ノ懷ロ勘定ガ好ケレバ宜シイ、自分達ガ此非常時ノ波ニ乘リマシテ、國民ガ今日沈默ノ間ニ、勝手至極ナ自分達ノ獨善ナ政策ヲヤレバ宜イト云フ、斯ノ如キ國民ヲ瞞著シタル態度ニ於テ、此獨善主義ノ法案ヲ强行セラレントスルナラバ、恐ラク日本ノ國民ハ一人殘ラズ立ッテ自己ノ生活權ノ主張ヲ爲スコトハ、私ハ今日ヨリ火ヲ睹ルガ如キモノガアルト思フノデアリマス

諸君、此時ニ於テ政府當局ニ特ニ御考ヲ願ハナケレバナラヌノハ、元ニ戾リマスガ、金鵄勳章ハ年金ト云フモノヲ、之ヲ皆樣ニ御披露致シマシテ、此議場ヲ通ジマシテ國民ニ、是ハドウシテモ通ジテ置カナケレバナラヌ重大ナ問題ガアルノデアリマス、政府ハ金鵄勳章年金ト云フモノハ、國家ニ對スル所ノ國民ノ權利デハナイガ故ニ、是ハ世ノ中ノ物價ガドウナラウト斯ウナラウト、是ハ兎ニ角打棄テ、置イテ宜イノデアルト言ハレルノデアリマス、恩給ダケハ世ノ中ノ金ノ價値ガ動クニ從ッテ、其金ノ價値ニ從ウテドンドン上ッテ行クモノデアル、此金鵄勳章年金ダケハ恩典デアルガ故ニ、是ハ權利デナイガ故ニ、幾ラ世ノ中ガ變ッテ行カウトモ、金ノ價値ガ百圓ガ二十圓ニ下ッタ時代ニ於テモ、其儘デ宜イト言ハレルノデアリマス、全クデアリマス、此金鵄勳章年金ハ戰爭ガナケレバ是ハ貰ヘマセヌノデアリマスゾ、戰爭ガアッテアノ砲煙彈雨ノ中ニ立チマシテ、減損能力バカリカ、自己ノ生命、一身ヲ捧ゲ盡シテ、所謂全身ノ悉クヲ、減損能力ヲ減損致シマシテ、而シテ拔群ノ功ニ依リ贏チ得タモノガ金鵄勳章デアル、此金鵄勳章ノ有難キ恩典ニ對シテ、其身分ヲ保チ、其立場ヲ保護スル、保障スル爲ニ賜ッタモノガ金鵄勳章年金デアリマス、此所謂恩典、此恩典ハ其儘デ宜シイト云フコトハ陸軍御當局ノ思想ノ如キニ於テハ、私ハ恐ルベキ當局ノ御考デアルト云フコトヲ申上ゲナケレバナラヌノデアリマス、諸君、私ハ露骨ナコトヲ申上ゲテ見マスト云フト、今日ノ陸軍ハ少將以下ハ戰爭ヲ知ラナイ、戰爭ヲ御存知ヂヤアリマセヌ、少將以下ノ人ニハ、今日失禮デハアリマスケレドモ、金鵄勳章ヲ持ッタ者ハ一人モナイ位デアリマス、ソレデ世ノ中ト云フモノハ洵ニ殘念デアル、勢力關係ガ大キケレバ、是ガ一ッノ團體ノ力、其威力ニ依ッテ問題ハグン〳〵ト解決ヲシテ參リマスケレドモ、如何ナル正義ト雖モ、如何ナル正シイ事柄ト雖モ、ソレニ一ッノ力ガナイト云フト、抵抗力ノ强イ方面カラノミ何事デモ解決ヲシテ行キマシテ、道理ハ引込ム、非道理ガ兎ニ角横行スルト云フ工合ニ於テ、今日マデ愛國ヲ叫ビ、現在日本獨特ノ憲法ダトカ、日本獨特ノ國體觀念トカ强調セラレル所ノ政府自ラガ、例ヘバ此金鵄勳章問題ニ對シマシテ如何ナル御考、如何ナル態度ヲ執ラレタカト云フコトヲ、國民ニ對シテ懇ヘナケレバナラヌノデアリマス、諸君、斯ノ如ク致シマシテ、此所謂金鵄勳章ト一般ノ勳章、畏多イ御話デアリマスケレドモ、金鵄勳章ト一般ノ勳章ト値打ヲ甲乙スル譯デハアリマセヌケレドモ、金鵄勳章ハ戰場ニ臨ミ、百万ノ中ニ於テ士氣ヲ作興シ、全軍ノ模範トナッテ、其最モ優秀ナル所ノ功勞ニ對シ下シ賜ッタモノデアリマスルカラシテ、此非常時デ戰爭ガナイ限リニ於キマシテハ、今日日露戰爭ノ勇者ノ如キ、年々千三百人ノ數字デ以テ、國寶ト云フベキ此金鵄勳章ノ拜受者ハ死ンデ行ッテシマッテ居ルノデアリマス、此儘平和ガ續ケバ、十年ヲ出デズシテ日本帝國ハ、金鵄勳章ヲ貰ッタ軍人ガ居ナクナルノデアリマスガ、一面ニ於テハ戰爭ヲ知ラズ、戰爭ヲシタコトノナイ人間ガ、グン〳〵ト恩給ノ名ニ於テ、國家ノ大キナ負擔ヲ增加シツ、アル此事實、是ハ私共ガ此恩給問題ヲドウシテモ考慮スベキ一ッノ事實デアルノデアリマス、而シテ此金鵄勳章ト云フモノハ、只今ノヤウナ事情デアリマスルガ、一般勳章ト云フモノハ、定期敍勳ト云フモノガゴザイマス、定期敍勳ト申シマスト、何月何日ニナルト勳一等ニナルト云フ、諸君如何デアリマスカ、何時カノ內閣ダッタト思フガ、何月何日マデ續クト、アノ人ガ勳一等ニナルサウダケレドモ、何日デ內閣ガ潰レルト勳一等ニハナレヌト云フ新聞記事ヲ私ハ見タノデアリマスガ、是カラ奧ノ院ハ私御話スル自由ハ持ッテ居リマセヌケレドモ、何月何日ガ來レバ勳一等ニナレルノデアル、何月何日ガ來レバ勳二等ニナレルノデアル、此勳章ト、所謂生死ノ巷ニ百万ノ味方ノ軍勢ノ模範トナッテ、命懸ケノ功勞ノ絕大ヲ賞シマシテ、其偉大ナ勳功ニ依ッテ賜ッタ勳章ト、何月何日ノ到來ニ依ッテ貰フ勳章ト、其價値ノ判斷ヲ願ッテ置カナケレバナラヌノデアリマス、而シテ恩給ト年金、恩給ノ如キモ其通リ、アナタ方ガ新聞紙ヲ通シテ今尙ホ記憶ニ生々シクアルト私ハ思フノデアリマスガ、本年一月ノ二十八九日頃ノ東京大新聞ノ報道デアッタノデアリマスガ、廣田內閣ガ二月一日マデ續クト、廣田サンハ總理大臣ノ恩給ガ取レルト報道シタ、一月三十一日ニ此內閣ガ潰レルト、外務大臣ノ恩給デナケレバ取レヌト新聞ハ書イタノデアリマス、諸君、何月何日ガ來レバ總理大臣ノ恩給ガ取レテ見タリ何月何日ガ來ナケレバ總理大臣ノ恩給ガ貰ヘヌト云フヤウナ此國家ノ恩典、官吏ノ權利ト稱スル其恩給ノ本質ト、平和ノ續ク限リハ、如何ナル働キヲ爲シマシテモ貰フコトハ出來ナイト云フ、此有難イ金鵄勳章ノ年金ト、ドチラガ國家國民トシテ之ヲ尊重シ、之ニ對シテ待遇スベキデアルカト云フコトハ、是亦私ハ說明ノ必要ノナイ一ッノ事柄デアルト私ハ斷言ヲ致スノデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ、此年金ニ對シマシテ私共ガ洵ニ殘念ニ思フ一點ハ、今回ノ此法案ヲ眺メテ見マスト、金鵄勳章年金モ、恩給モ、共々ニ此貸付擔保ノ目的ニナルト云フ規定ニナッテ居ルノデアリマス、是ハ洵ニ或ル意味ニ於キマシテハ驚キ入ッタル所ノ、政府ノ御處置ダト申上ゲナケレバナラヌデアリマス、今日マデ政府ハ常ニ恩給ハ權利デアルケレドモ、又生活ノ資料デアルケレドモ、此金鵄勳章年金ハ國家ノ恩典デアリ、生活關係ニハ何等ノ緣リモナイノデアルカラシテ、世ノ中ガ生活關係ニ於テドウ變化シヨウトモ、其年金ナドハ四十年前ニ拵ヘタ年金デ宜イト云フ御說明デアッタノデアリマスガ、本法案ヲ眺メテ見ルト、ヤハリ金ニ困ッタ場合ニハ、生活ノ糧トシテ、金鵄勳章年金モ恩給ト同樣、貸付擔保ノ仲間入リヲサセヨウト云フ御說明デアリマス、名譽アル金鵄勳章拜領ノ軍人ト致シマシテ、此恩給ノ仲間入リナドハ喜ブベキモノデアルカドウデアルカト云フコトヲ知ラナイト云フヤウナ現狀ニアルノデゴザイマス、諸君、私ハ此場合ニ於キマシテ、此金鵄勳章年金ガ、ヤハリ依然國家ノ給與ト致シマシテ、年額ヲ以テ表ハシタル所ノ年金デアリマス以上、卽チ此金鵄勳章年金ト云フモノハ、皆樣御承知デアラセラレマスル通リニ、明治二十七年ニ出來タノデアリマス、明治二十七年ニ於テ、此年金ハ功七級ニ於テハ六十五圓ト云フ制定デアリマシタガ、日清戰爭ガ愈〻破裂致シマシテ、戰爭僅カ一年ヲ經過シテ二十八年ニナリマスト云フト、世ノ中ノ社會事情ガ變化シ、物價ノ關係ガ一大變化ヲ來シマシタ爲ニ、功七級ノ年金ノ金六十五圓デアッタモノガ、愈〻日清戰爭ノ論功行賞ヲ爲スニ當リマシテ、此世ノ中ノ變化ニ應ジテ、功七級ノ功勞ヲ現ハシタル人ニ對シテ金六十五圓デハ少イカラ、ドウシテモ是ハ金百圓ニシナケレバイカヌト云フノデ、時ノ山縣公ハ之ヲ發議セラレマシテ、滿場一致直チニ之ヲ決定セラレタト云フコトヲ耳ニ致シテ居ルノデゴザイマスルガ、此所謂金鵄勳章ノ年額ト云フモノハ、無標準ニ、唯漫然ト決ッタモノデアルカノ如キ御考ハ、政府諸公ハ餘程御研究願ハナケレバナラヌ點デアルト云フコトヲ私ハ申シテ置クノデアリマス、ソレカラ私ハ此金鵄勳章ノ年金ニ對シマシテ、一ッノ實例的ニ皆樣ニ御聽ヘヲ致シテ續キタイノハ、例ヘバ日露戰爭ニ於キマシテ、上等兵二人ガ戰場ニ見エマシテ、與ニ俱ニ働イタ二人ニ於キマシテ、一人ハ年限ガ滿チマシテ、金鵄勳章ハ貰ヘナカッタケレドモ、恩給ハ貰ッタガ、其日露戰爭時代ノ上等兵ノ恩給ハ四十八圓カ五十圓デアッタノデアリマス、而シテ今一人ノ上等兵ハ武功拔群ノ結果金鵄勳章ヲ戴

正ニ關聯シマシテ、屢〻是ガ對策ガ問題ニナッタノデアリマス、今回内閣ノ恩給局ガ此點ニ鑑ミラレマシテ恩給受給者ノ金融ノ利便ヲ圖ル目的ヲ以テ、本案ヲ御提出ニ相成リマシタコトハ、多トシナケレバナラヌト思フノデアリマス、併ナガラ本案ノ内容ニハ尚ホ改善ヲ要スベキ點ガ多々アルノデアリマス、又本恩給金庫設置ノ根本趣旨タル庶民金融ノ問題ニ付キマシテモ、尚ホ積極的ナ施設ヲ要スルト考ヘラレルノデアリマス、更ニ又現在ノ恩給及ビ年金ノ制度ニ付キマシテモ、改革ヲ要スルト考ヘラレルモノガアリマスルガ故ニ、此點ニ付テ二三ノ質問ヲ試ミタイノデアリマス

第一ハ、政府提案ノ恩給金庫法案ノ第四十六條ニ依リマスルナラバ、恩給金庫ハ成立後二十事業年度ノ間ハ、主務大臣ノ認可ヲ受ケ、政府ノ出資ニ對シテハ、剩餘金ノ配當ヲ減額シ、又ハ之ヲ爲サザルコトヲ得トアリマス、本金庫ハ資本金ガ三千万圓デ、内政府ノ出資金ガ五百万圓デアリマス、政府ノ出資ニ對シマシテ、向フ十箇年ノ間ハ或ハ配當ヲ減額シタリ、或ハ配當シナイコトガ出來ルト規定セラレテ居ルノデアリマス、之ヲ要スルニ、結局此金庫法案ナルモノハ、其他ノ出資者ニ對シテハ配當スルト云フコトガ立前ニナッテ居ルヤウデアリマス、私ハ恩給證書或ハ年金ト云フモノヲ抵當ニシテ金ヲ借リナケレバナラナイト云フヤウナ、窮迫シタル生活ヲ致シテ居リマスル者ニ金融ヲ致シマスルモノデアリマスカラ、出來ルダケ利息ハ低クシナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、所ガ政府ノ提案ニ依リマスルナラバ、政府以外ノ出資者ニ對シマシテハ、相當ノ配當ヲスルト云フコトガ立前デアリマスカラ、結局此金庫カラ貸出シマスル所ノ、其貸出金ニ對スル利息ト云フモノハ、勢ヒ相當高額ニ上ッテ來ルデアラウコトガ豫想セラレルノデアリマス、此點ハ政府自體ガ此法案ヲ出シマスル根本ノ趣旨ニ反シテ居リハシナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、斯ノ如キ金庫ハ宜シク原則ヲ無配當ニシナケレバナラヌ、サウシテ出來ルダケ安イ金利デ以テ便利ニ、簡易ニ貸付ケルコトガ主眼デナケレバナラヌト思フノデアリマス、此點ガ既ニ立法ノ精神ニ於テ誤ッテ居ルト思フ、何故ニ政府ハ之ヲ無配當ニシナカッタノデアルカ、無配當ノ立前ニ於テ、モット安ク、低利ニ貸付ケルト云フ方法ヲ何故ニ執ラナカッタノデアルカヲ聽キタイノデアリマス、隨テ私ハ此貸付金ニ對スル利息ハ相當高イモノニナラウト思ヒマスルガ、一體政府ハドレ位ノ利息ヲ取ラウトシテ居ルノデアルカ、サウシテ又ドレ位ノ金額マデ最高限度貸付ケル目的ヲ持ッテ居ルノデアルカ、此法案自體ニ對シマシテハ、以上三ツノ點ヲ先ヅ御伺致シタイノデアリマス

次ニ私ハ此恩給金庫ヲ設置致サレマシテモ、既ニ今日持ッテ居リマスル所ノ恩給證書、或ハ年金證書ヲ抵當ニ致シマシテ、他カラ既ニ金ヲ借リテ居ル所ノ人達ニ對シテ、此恩給金庫法ノ恩典ニ浴セシメルコトガ出來ルカドウカ、最モ困ッテ居ル者ヲ救フト云フコトデアリマスレバ、現ニ脫法行爲ヲ以テ金ヲ借リテ居ル人々ヲ先ヅ救ウテヤラナケレバナラナイト考ヘル、ソコデ現ニサウ云フ證書ヲ擔保ニ入レテ居リマスル者ガ、此金庫ニ依ッテ借換ヘヨウトシマスル場合ニ、既ニ恩給證書竝ニ年金證書ト云フモノガ手許ニナイ、斯ウ云フ場合ニ於テ此金庫法ニ依ッテ金ヲ借換ヘヨウト致シマスル場合ニ、ソレニ對スル何等カ便宜ナ方法ガアリマセウカ、其方法ナクシテハ、折角恩給金庫ヲ設ケマシモテ、最モ困ッテ居ル人々ハ此恩給金庫ヲ利用スルコトガ出來ナイ結果ニナルト思フ(拍手)現ニ此恩給證書竝ニ年金證書ヲ擔保ニ致シマシテ金ヲ借リテ居リマスル者ハ、先ノ質問者ニ依ッテハ、或ハ二億圓ヲ超シテ居ルトモ言ハレマシタガ、私ノ聞及ブ所ニ依リマスルト、四億圓ヲ超シテ居ルト言ハレテ居ルノデアリマス、此澤山ナ金ヲ借リテ居リマス所ノ人々ニ對シテ、此恩給金庫法ノ制定ニ依ッテ救ハレル所ノ便宜ナ方法ガ、何等カ講ゼラレテアルカドウカヲ御伺シタイノデアリマス

次ニ私ハ庶民金融ノ問題ニ關シマシテ三ツノ御尋ヲシタイノデアリマス現在我國ノ庶民金融機關ト致シマシテハ、貯蓄銀行、或ハ無盡會社、或ハ信用組合、或ハ公益質屋ト云フヤウナモノガアルノデアリマスガ、是等ノ機關ヲ以テ致シマシテハ、尚且ツ俸給生活者、賃銀勞働者、竝ニ小資本ノ中小商工業者ヲ救フト云フコトニハ、尚ホ甚ダ不十分ナノデアリマス、隨ヒマシテ是等ノ人々ノ爲ニ簡易ニシテ便利ナ方法デ、而モ低利デ無擔保ノ信用貸付ヲ行フ所ノ庶民金庫ヲ創設スルコトガ、國民生活ノ安定ヲ圖ル上ニ於テ、最モ適切ナル、緊要ナル施設デアルト考ヘルノデアリマス、而シテ是ハ國家ト致シマシテハ、一日モ早ク實施ヲシナケレバナラナイコトデアルト考ヘルノデアリマス、川越長官ハ前ニ大藏次官デアラレマシテ、サウシテ大藏省ノ内部ニ於テ庶民金庫法案ト云フモノヲ立案爲サッタノデアリマス、所ガ其後法制局長官トナラレマシタ今日ニ於キマシテ、恩給金庫法ハ今議會ニハ提案致シタガ、自分ノ大藏省ニ居ッタ時ニ立案致シマシタ所ノ、庶民金庫法案ヲ今議會ニ御提出ニ相成ラヌノデアリマスルガ、川越長官ハ此恩給金庫法案ト庶民金庫法案トヲ比ベテ、庶民金庫法案ヨリモ恩給金庫法案ノ方ガ先ニスベキ重要ナ問題デアルト考ヘラレマシタカ、其點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、前内閣ハ今申シマスルヤウニ、今議會ニ對シテ庶民金庫法案ヲ提出スルコトニシテ、既ニ豫算ニ其經費ヲ計上シテ居ッタノデアリマス、所ガ林内閣ニナリマシテカラ、之ニ所要ノ經費ヲ削リママシテ、サウシテ此庶民金庫法案ヲ提出ニナラナイヤウニナッタノデアリマス、甚ダ以テ私共ハ遺憾千萬トシテ居ルノデアリマス、私ガ思ヒマスノニ、寧ロ此庶民金融ノ機關ガ完備致シテ居リマシタナラバ、恩給金庫法ノ如キモノハ、是ハ設ケナクテ事濟ム次第デアルト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)恩給證書ヤ、年金證書ヲ擔保ニシテ借金ヲシナクトモ、所謂其庶民金融機關ヲ利用スレバ事足リルノデアリマス、所ガ庶民金融機關トシテ必要デアル庶民金庫法案ヲ退ケテ、恩給金庫法案ヲ出サレタ所ニ、大ナル矛盾ガアルト考ヘルノデアリマス

(議長退席、副議長著席)

更ニ私ノ考ヲ以テシマスナラバ、前内閣ノ時ニ恩給金庫法案ト庶民金庫法案トノ二ツヲ立案ナサレタノデアリマスルガ、私ヲ以テ言ハシメマスルナラバ、今ノ觀點ニ立ッテ此二ツノ金庫ヲ設ケル必要ハ毫モナイ、庶民金庫法案一個デ事十分デアリマス、庶民金庫法案ガ確立致シマシタナラバ、ソレニ依ッテ十分其目的ハ遂ゲラレルノデアリマス、何ヲ苦ンデカ恩給證書ヤ年金證書ヲ擔保ニシテ金ヲ借リル必要ガアルノデアリマセウカ、今日社會ニ庶民ノ金融機關ガ完備シテ居リマセヌカラシテ、法ニ禁ズル所ノ行爲ヲ敢テシテ、恩給證書ヤ年金證書ヲ擔保ニシテ金ヲ借リルノデアリマス、此點ハ根本的ニ政府ノ考ヘ方ガ間違ッテ居ルト私ハ考ヘル、此恩給金庫法、庶民金庫法ト云フモノヲ一ツニ致シマシテ、大キナ庶民金融機關ヲ設置スルコトガ、種々ノ經費ノ上ニ於キマシテモ、亦其資金ノ運用ノ上ニ於キマシテモ、有利デアリ、且ツ效果的デアルト云フコトハ、疑ヲ挾ム餘地ハナイト考ヘルノデアリマス、然ルニ先ヅ第一ニ必要デアルト思ヒマス所ノ庶民金庫ヲ葬ッテ、

サウシテ恩給金庫法案ノミヲ御提案ニナッタ、其理由ヲ伺ヒタイノデアリマス、ヨモヤ庶民金融機關ノ整備ガ必要デナイト云フヤウナ御考デハナイト考ヘルノデアリマス、豫算總會ニ於キマシテモ、此問題ニ付テハ尚ホ十分ニ考ヘル餘地ガアルカラト云フヤウナ御答辯ニ相成ッテ居ルヤウデアリマスガ、然ラバ次期議會ニハ必ズ庶民金融ニ對スル所ノ庶民金庫ニ類スルヤウナ法案ヲ御提出ニナルコトヲ、今御決意ニナッテ居ラレルカドウカ、其點ヲ此際ハッキリ承ッテ置キタイノデアリマス(拍手)今月ノ一日ニ芝公園内ノ協調會館デ全國ノ民衆大會ガ開催サレマシタ、而シテ此大會ニハ中小商工業者、俸給生活者、勞働者諸君ガ、北ハ北海道カラ、南ハ九州ニ亙リマシテ、各地カラ代表者ガ參リマシテ、大會ヲ開催シタノデアリマス、此大會ニ於キマシテ國立民衆銀行法ノ制定ヲ要望スル決議ガ行ハレタノデアリマス、而シテ全國各都市ニ於キマスル所ノ庶民階級ノ間カラ、請願令ニ基ク請願書、數万ノ署名捺印ヲ致サレタモノガ、當日議長富田幸次郎氏ノ手ニ渡サレタノデアリマス、其全國民衆大會ノ決議及ビ請願者、卽チ勤勞庶民大衆ノ要望致シテ居リマスル所ノ金融機關ハ一體何デアリマスカ、ソレハ損失國家補償ノ無擔保ニテ最高五千圓ヲ限度トシテ、年五分以内ノ利子デ中小商工業者ヲ初メ一般勤勞大衆ニ貸付スルコトガ出來ル所ノ、金融機關ノ設置ヲ要望致シテ居ルノデアリマス、勿論今回政府ガ提案致シマシタ所ノ恩給金庫ノ如キ、金儲ケヲ目的ニスルモノデアッテハナリマセヌ、私ガ最初申上ゲマシタヤウニ、損失ハ國家ガ補償スル立前、而シテ非營利主義ノ機關デナケレバナラヌ、出資ニ對シテハ勿論無配デナケレバナラヌノデアリマス、無配當ノ公益法人ニスルカ、國家直接ニ是ガ經營ヲスルカ、何レニ致シマシテモサウ云フ金融機關ノ設置ヲ民衆ハ要望致シテ居ルノデアリマス、政府ハ此勤勞大衆ノ要望ヲ速ニ實現スベキデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、此點ニ對スル所ノ政府當局ノ御所見ヲ御伺シタイノデアリマス

庶民金融機關ニ對シマスルイマ一ツノ質問ハ、公益質屋ニ對スル當局ノ方針ト其態度デアリマス、今日下層民ニ取ッテ最モ簡便ニシテ且ツ廣ク利用セラレテ居リマスモノハ質屋ノ制度デアリマス、試ニ今私ノ住ンデ居リマスル大阪府下ニ於ケル質屋ノ實情ニ付テ申上ゲマスルナラバ、昭和九年ノ大阪府下ニハ質屋ノ數ガ一千三百六十三軒アリマス、此一千三百六十三軒ノ質屋ニ昭和九年ノ一箇年間ニ入質致シマシタ其口數ガ、三百八十七万八百二十六デアリマス、之ニ依ッテ一千六百七十五万七千五百十五圓ト云フ金ヲ貸出シテ居ルノデアリマス、此中デ其一年間ニ受出シマシタ所ノ口數ガ三百十一万八千九百二十二口、其金額ガ一千三百六十九万四千五百八圓デアリマス、是ガ一口當リノ貸出金額ハ四圓三十錢ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、尚ホ其昭和九年中ニ於テ質流レニナッタモノヲ調ベテ見マスト、口數ハ六十二万二千四百九十二、貸出金額ノ總額ガ百七十八万九千九十五圓ト相成ッテ居ルノデアリマス、豫算總會ニ政府カラ出サレマシタ書類ニ依リマスト、全國ニ質屋ノ總數ガ昭和十年ノ末ニハ一万二千五百八十五軒デアリマス、大阪ノ此實情カラ推算致シマスト、一箇年ノ貸出ハ全國デハ約二億圓ニ達シテ居ルト想像スルコトガ出來ルノデアリマス、一體此統計ハ私共ニ何ヲ教ヘテ居ルノデアリマセウカ、僅ニ四圓内外ノ小金ノ融通ニ苦ンデ居ル所ノ細民ガ、斯クモ多イト云フコトヲ教ヘラレルノデアリマス、而シテ是等ノ小口金融機關ノ整備ガ如何ニ必要デアルカト云フコトヲ、同時ニ吾々ニ教ヘラレルノデアリマス、而モ是等ノ普通ノ質屋ガ、最高ガ年ニ三十六割五分ト云フ驚クベキ高率ノ利息ヲ取ッテ居ルト云フコトモ、今議會ニ於ケル豫算總會ニ政府カラ出サレタ書類ニ依ッテ明カデアリマス、斯ノ如キ高率ノ質屋ノ利息ニ苦シメラレテ居ルノデアリマス、故ニ質屋ノ利用者階級ニハ、公益質屋ノ增設ガ絕對的ニ必要デアルト信ズルノデアリマス、思ヒマスノニ公益質屋法ガ出來マシタノハ、憶カ昭和二年デアッタト記憶致シマス、サウ致シマスナラバ今日既ニ十年餘ノ歲月ヲ經テ居ルノデアリマスガ、全國ニ於キマス公益質屋ノ總數ト云フモノハ、今日僅ニ千八十ニ過ギナイノデアリマス、其發達ノ遲々タルニ私ハ歎カザルヲ得ナイノデアリマス、一體此公益質屋ノ設置ガ、斯ノ如キ遲々タル狀態ニアリマス所ノ原因ハ、一ツニハ市町村ニ於ケル理事者ノ理解ノ不足ニアルト思フ、第二ニハ營利的質屋業者ノ反對阻止ニアルト思フ、第三ニハ政府當局ノ冷淡ニアルト思フノデアリマス、今後政府ニ於キマシテハ公益質屋ノ增設ニ對シテ、イマ少シ積極的ノ態度ヲ執ッテ貰ヒタイ、然ルニ拘ラズ是亦現内閣ニ於キマシテハ、公益質屋ニ對スル所ノ豫算ノ十万圓ノ中カラ一万圓ヲ削ラレテ九万圓ニ削減セラレタト云フコトニ付テ、政府當局ノ之ニ對スル所ノ冷淡ヲ、率直ニ表明シテ居ルト思フノデアリマス(拍手)斯樣ナ實情ヲ以テ致シマシテ、現内閣ガ庶民ノ金融ニ對シテ冷淡ナルコトニ付テ、非常ナ不滿ヲ感ゼザルヲ得ナイ(「ヒヤ〳〵」)

次ニ私ハ恩給及ビ年金ノコトニ關シマシテ、二ツノ新シイ政策ヲ政府ニ進言致シマシテ、サウシテ政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、一ツハ國民年金制ヲ確立シテ貰ヒタイト云フコトデアリマス、私ガ主張致シマスル所ノ國民年金制ノ中ニハ、養老年金ト、母子年金ト、癈疾年金トノ、此三ツヲ含ンデ居ルノデアリマス、養老年金ト申シマスルノハ、日本ニ國籍ヲ有シテ居リマスル男女ガ滿六十歲以上ニ達シマシタナラバ、國家ハ毎年一人當リ年額百二十圓宛各人ニ交付スルコトヲ内容ト致シマス、但シ年額ガ一千二百圓以上ノ收入ノアル所ノ者ニ對シマシテハ、此年金ノ交付ヲ辭退スルコトヲ得セシメル、斯ウ云フ内容ヲ持ツノデアリマス、何故斯ウシタ國民年金制ガ必要デアルカト申シマスルナラバ、現職ヲ離レテ老後ノ生活ヲ國家ニ依ッテ保障セラレテ居ル者ハ、官吏ト軍人ダケデアリマス、文官教職員竝ニ其待遇職員ハ在職ガ十七年、准士官以上ノ軍人ハ在職ガ十三年、下士官以下ノ兵士ト警察及ビ監獄ノ職員ハ、在職十二年以上勤務致シマスルナラバ、退職前ノ俸給年額ノ三分ノ一ヲ基礎ト致シマシテ、恩給ガ國家カラ支給セラレテ居ルノデアリマス、其總額ハ今日デハ一億八千万圓ノ巨額ニ達シテ居ルノデアリマスルガ、此受領者ハ昭和九年度末現在ニ於キマシテハ四十六万四千四百七十九人デアリマスガ、是ガ一人當リノ恩給ハ三百五十七圓デアリマス、而シテ其中教職員ノ恩給ハ一人當リ平均ガ七百二十五圓、文官ノ恩給ハ一人當リ平均六百七十圓、陸軍ノ恩給ハ四百五十六圓、海軍ノ恩給ハ一人當リ平均三百七十六圓、警察官、監獄職員、是等ノ者ハ一人當リ平均二百三十四圓トナッテ居リマス、斯ノ如ク官吏ト軍人ノミニハ恩給ヤ年金ガ附與セラレテ、其他ノ國民ニハ老後ニ對スル何等ノ保障ノ制度ガ與ヘラレテ居ラナイト云フコトハ、餘リニモ私ハ不合理デアルト考ヘルノデアリマス(拍手)國家ヲ構成シテ居リマスルモノハ官吏ヤ軍人ノミデハアリマセヌ、寧ロ其構成ノ中心ヲ成シテ居ルモノハ、農工商ニ從事シテ居ル所ノ國民大衆デアルト思フノデアリマス(拍手)農民大衆ハ飯米饑饉ト借金地獄ニ苦ンデ居

デアル、又斯ウ云フ公益法人ノ事業ヲ執行スル上ニ於テ、其方ガ宜シイノデアルト云フコトデアリマスレバ、別ニ其意見ヲ傾聽スルニ吝ナルモノデヤアリマセヌ、細カイ點ハ何レ委員會ニ於テ篤ト……(「姨捨山ハドウシタ」ト呼フ者アリ)最後ニ古手役人ヲ賣込ム姨捨山ニナルノヂヤナイカト云フ御話ガアリマスガ、是ハ社會ノ各方面カラ適當ナ人ヲ選擇スル積リデアリマシテ、御話ノ御懸念ノヤウナ古手官吏ノ姨捨山ニスル考ハ毛頭ゴザイマセヌ

○三浦虎雄君 簡單デアリマスカラ自席ヨリ發言ヲ御許シ願ヒマス

○副議長(岡田忠彦君) 許シマス

○三浦虎雄君 詳細ナル質問ハ委員會ニ於テ致シマスルガ、重ネテ申上ゲテ置カナケレバナラヌコトハ、此機關ハ官吏ノ手ニ依ッテ委員其他ヲ任命セラレル以上ハ、私ガ先程指摘致シマシタヤウニ、古手官僚ノ養ヒ所トナリ、古手官僚ノ喰ヒ物トナル虞ガアリマスカラ、呉レ〴〵モ此點ニ付テハ御注意アランコトヲ願ヒマス、是デ私ノ質問ヲ打切リマス

○副議長(岡田忠彦君) 是ニテ質疑ハ終リマシタ、各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○松永東君 日程第一乃至第三ノ三案ハ、一括シテ政府提出、一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案外二件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○松永東君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時五十五分散會

衆議院議事速記錄第十六號中正誤

頁	段	行	誤	正
三五五	四	一五	アリマセヌカ	アリマセヌ
三五六	三	二四	貿易	國交
三六三	四	一〇	政府ノ	政府ハ

內閣印刷局

官報 號外 昭和十二年三月九日

○第七十回帝國議會 衆議院議事速記錄第十八號

昭和十二年三月八日(月曜日)

午後一時十四分開議

議事日程 第十九號

昭和十二年三月八日

午後一時開議

第一 昭和十二年度歲入歲出總豫算案並昭和十二年度各特別會計歲入歲出豫算案

第二 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲玆ニ掲載ス)

一今八日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

產業組合中央金庫法中改正法律案

產業組合自治監査法案

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案

(以上三月六日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

六大都市ニ特別市制實施ニ關スル法律案

提出者
瀨川 嘉助君 中井 一夫君
福田關次郎君 上田 孝吉君
中 亥歲男君 深澤豐太郎君
小山 松壽君 松永 東君
川橋豐治郎君 戶井 嘉作君
一松 定吉君

大正十二年法律第五十二號中改正法律案(司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル件)

提出者
松永 東君 橋本 祐幸君
森 肇道君

北陸線急行列車運轉區間延長ニ關スル建議案

提出者
齋藤 直橘君 喜多壯一郎君

橿原神宮聖地都市計畫ニ關スル建議案

提出者
福井 甚三君

大井川改修工事促進ニ關スル建議案

提出者
宮本雄一郎君 山口忠五郎君
深澤豐太郎君

國立公園地域擴張ニ關スル建議案

提出者
宮本雄一郎君 深澤豐太郎君
山口忠五郎君

燒津漁港修築助成ニ關スル建議案

提出者
山口忠五郎君 倉元 要一君
宮本雄一郎君 太田 正孝君
深澤豐太郎君 勝又 春一君

盛釜石間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者
志賀和多利君 松川 昌藏君

水質汚濁防止法制定ニ關スル建議案

提出者
森 幸太郎君

私立大學總長學長及敎職員優遇ニ關スル建議案

提出者
加藤久米四郎君 岩崎幸治郎君

私立大學國庫補助ニ關スル建議案

提出者
加藤久米四郎君 岩崎幸治郎君

私立大學國庫補助ニ關スル建議案

提出者
池崎 忠孝君 椎尾 辨匡君

茶業振興ニ關スル建議案

提出者
宮本雄一郎君 宮崎 一君
井上 知治君 山口忠五郎君
田中 亮一君 田尻藤四郎君
深澤豐太郎君 三善 信房君
片山秀太郎君 田中 好君
芦田 均君 服部米次郎君
森 幸太郎君 倉元 要一君
太田 正孝君 勝又 春一君

旣成府縣事業ニ對スル國庫補助金交付ニ關スル建議案

提出者
宮本雄一郎君 小林 錡君
立川 平君 倉成庄八郎君
宮崎 一君 篠原 義政君
岩瀨 亮君 佐藤洋之助君
坪山 德彌君 森 幸太郎君
加藤 賢司君 田中 彌助君
佐々木家壽治君 鈴木辰三郎君
松川 昌藏君 島田七郎右衞門君
東條 貞君 田中 亮一君
山口忠五郎君 深澤豐太郎君
倉元 要一君 勝又 春一君
太田 正孝君

細島港開港ニ關スル建議案

提出者
佐澤 定二君 重松 重治君
勝 正憲君

葉煙草賠償價格引上ニ關スル建議案

提出者
高田 耘平君 中井川 浩君
高松 長三君 西村丹治郎君

鶴見川改修促進ニ關スル建議案

提出者
飯田 助夫君 野田 武夫君

中津川下呂間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者
日比野民平君 原 玉重君

山川枕崎間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者
今給黎誠吾君 井上 知治君
中村 嘉壽君

三戶毛馬內間鐵道敷設速成ニ關スル建議案

提出者
藤井 達二君 小笠原八十美君

銑鐵配給改善ニ關スル建議案

提出者
宮崎 一君

高知縣下田港ヲ指定港灣ニ編入ニ關スル建議案

提出者
尾崎 重美君

自作農地相續稅免除ニ關スル建議案

提出者
伊禮 肇君

米穀重量取引完成ニ關スル建議案

提出者
伊禮 肇君

電柱敷地補償金增額及交付手續簡易化ニ關スル建議案

提出者
伊禮 肇君

自家用濁酒及甘藷燒酎自由釀造許可ニ關スル建議案

提出者
伊禮 肇君

澱川低水工事計畫擴充ニ關スル建議案

提出者
上田 孝吉君 森田 政義君
山本 芳治君

野澤名入間鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者
林 平馬君

明治二十五年三月三十一日 第三種郵便物認可

川口只見間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者　林　平馬君
只見ヨリ古町館岩ヲ經テ田島ニ至ル鐵道速成ニ關スル建議案
提出者　林　平馬君
米澤日中間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者　林　平馬君
須賀川長沼間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者　仲西　三良君
林　平馬君
（以上三月六日提出）

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
第十二回國際オリムピック大會準備速進ニ關スル質問主意書
提出者　笠井　重治君
文政敎育ニ關スル質問主意書
提出者　椎尾　辨匡君
（以上三月六日提出）

一去六日林內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ
商工書記官　大島　永明
第七十回帝國議會商工省所管事務政府委員被仰付

一去六日常任委員補闕選擧ノ結果左ノ如シ
第一部選出
豫算委員　永山　忠則君（窪井義道君補闕）
第七部選出
豫算委員　川橋豐治郎君（角源泉君補闕）
第八部選出
豫算委員　金井　正夫君（林路一君補闕）

一去六日常任委員理事補闕選擧ノ結果左ノ如シ
建議委員
理事　植村嘉三郎君（理事青木亮貫君二月二十五日委員辭任ニ付其ノ補闕）

一去六日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
輸出補償法中改正法律案（政府提出）委員
委員長　田島勝太郎君
理事　川橋豐治郎君　木下　信君
石坂　養平君　小林　絹治君

一去六日特別委員理事補闕選擧ノ結果左ノ如シ
軍事救護法中改正法律案（政府提出）外一件委員
理事　岡田　春夫君（理事手代木隆吉君本月四日委員辭任ニ付其ノ補闕）

一去六日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
樺太市制案（政府提出）委員
服部　教一君　齋藤　直橋君
川崎末五郎君　南雲　正朔君
野村　嘉六君　石坂　豐一君
門田　新松君　南條　德男君
田中　好君

一去六日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
軍事救護法中改正法律案（政府提出）外一件委員
辭任南條　德男君　補闕片山秀太郎君
辭任前田　幸作君　補闕椎尾　辨匡君
一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案（政府提出）外二件委員
辭任田島勝太郎君　補闕牧山　耕藏君
辭任田川大吉郎君　補闕今井　新造君
綿價安定施設法案（政府提出）外一件委員
辭任篠原　義政君　補闕小高長三郎君
農地法案（政府提出）委員
辭任山崎　猛君　補闕田邊　七六君
輸出補償法中改正法律案（政府提出）委員
辭任鶴見　祐輔君　補闕津原　武君
議院法中改正法律案（政府提出）委員
辭任高岡　大輔君　補闕石坂　繁君
鐵道敷設法中改正法律案（政府提出）委員
辭任石川　定辰君　補闕大石　倫治君

○議長（富田幸次郎君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一及ビ第二ハ豫算案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（富田幸次郎君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程第一、昭和十二年度歲入歲出總豫算案竝昭和十二年度各特別會計歲入歲出豫算案、日程第二、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、右兩案ヲ一括シテ議題ト致シマス、豫算委員長ノ報告ヲ求メマス――小山松壽君

第一　昭和十二年度歲入歲出總豫算案竝昭和十二年度各特別會計歲入歲出豫算案
第二　豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

報告書

一昭和十二年度歲入歲出總豫算案竝昭和十二年度各特別會計歲入歲出豫算案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十二年三月六日
豫算委員長　小山　松壽
衆議院議長富田幸次郎殿

附帶決議

一　年度內ニ使用セズト決定シタル金額ヲ豫算ニ計上スルハ違憲ナリ使用セズト決定セザルモ使用ヲ見合セント欲スル金額ヲ計上スルハ妥當ニ非ズ陸海軍經費中各々二千三百万圓ハ後者ニ屬スルモノナリトスルモ一時ノ變則ニシテ斷ジテ先例ト爲スヲ許サズ政府ハ將來豫算ヲ編成スルニ當リ此ノ點ニ付嚴重ニ注意スベシ

二　政府ハ國民負擔ノ均衡ヲ圖ル爲中央地方ヲ通ズル稅制ノ根本的改革ヲ行ヒ且地方財政調整交付金制度ヲ確立シ其ノ案ヲ次期議會ニ提出スベシ

三　政府ハ臨時地方財政補給金ノ配分方法ノ適正ヲ期スル爲官民雙方ヨリ成ル權威アル委員會ヲ設クベシ

四　近時檢事、司法警察官中法律命令ノ精神ニ違反シ人權蹂躪ノ事實アリ政府ハ速ニ其ノ惡弊ノ根絕ニ關シ適切ナル方策ヲ樹立シ以テ國民ノ不安ヲ一掃スベシ

報告書

一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十二年三月六日
豫算委員長　小山　松壽
衆議院議長富田幸次郎殿

（小山松壽君登壇）

○小山松壽君　只今議題トナリマシタ昭和十二年度歲入歲出總豫算案竝昭和十二年度各特別會計歲入歲出豫算案、及ビ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ニ付、委員會ニ於ケル經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス

御承知ノ通リ昭和十二年度本豫算案ハ、去ル一月二十一日提出セラレマシタガ、內閣更迭ノ爲メ二月三日撤回セラレマシテ、二月十五日再ビ提出セラレタノデアリマス、再提出ニ係ル總豫算案ハ、前內閣ノ案ト同樣デアリマシテ、歲入歲出共ニ其總額三十億三千八百五十餘万圓デアリマス、政府ハ此豫算案ノ說明ニ當リマシテ、右ノ內、歲出ニ於テ二億六千九百二十餘万圓ノ使用ヲ見合セントスル考ナル旨ヲ言明セラレ、歲入ニ於テモ亦之ニ應ジテ暫定的ニ稅制ノ改革其他ノ方針ヲ樹テ、相當ノ金額ヲ減少スルコトトシ、其結果實際ノ豫算金額ハ、歲入歲出共ニ二十七億六千九百三十餘万圓トナル旨ノ說明ガアリマシタ、其後二月二十六日ニ至リ、政府ニ於テ總豫算ニ對シ、二億二千三百二十餘万圓ヲ削減スルノ修正ヲセラレタノデアリマス、此修正ノ結果ハ、歲入歲出共ニ二十八億一千五百三十餘万圓トナルノデアリマシテ、前年度實行豫算ニ比較致シマスルト、歲入ニ於テ五億九百七十餘万圓、歲出ニ於テ五億三百八十餘万圓ノ增加ト相成ルノデアリマス

本豫算案ノ審查ニ當リマシテ、豫算委員會ハ去ル二月十七日共第一回ノ總會ヲ開會致シマシテ、三月六日共審查ヲ結了致シマシタ、此間ニ於テ豫算總會ヲ開會シタルコト十一回、分科會ヲ開會シタルコト通ジテ二十四回、總會ニ於ケル質疑者ノ通告ハ三十九名ニ上リ、總テ發言ヲ了セラレタノデアリマス、是ヨリ委員會ニ於テ現レマシタ所ノ重要ナル諸問題ニ付キ、其概要ヲ御報告致シマスルガ、玆ニ特ニ申上ゲテ置キタイト存ジマスルコトハ、委員會ノ開會劈頭ニ於キマシテ、政府ヨリ所謂實際豫算ノ說明ガアリマシタ際ニ、豫算案提出ノ形式ニ付キマシテ、豫算ノ使用見合セト實際豫算ノ問題ニ關聯シテ、多數ノ委員諸君ヨリ憲法又ハ其他ノ法規ニ違反スルモノト認メラル、疑アル旨ノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ政府ハ實際上ノ必要ヨリ、十分ナル期間ナカリシ爲ニ、已ムヲ得ズ實際豫算ノ形式ヲ採ルノ外餘裕ナカリシ旨ヲ述ベラレマシテ、成ベク實情ニ鑑ミ廣キ意味ニ解セラレタキ旨ノ答辯ヲセラレマシタ、尙ホ其修正案ハ成ベク速ニ提出スル旨ノ言明ガアリマシタガ、此事ハ重要ナル問題デアリマシタノデ、暫ク留保スルコトト致シマシテ、一般ノ質疑ニ入リマシタ次第デゴザイマス、其質疑ノ範圍ハ極メテ廣汎ニ亙ッテ居リマスカラ、詳細ハ委員會ノ速記錄ニ就テ御覽ヲ願フコトト致シマシテ、玆ニハ其主ナル數點ニ付テ御報告ヲ申上ゲタイト存ジマス

第一ハ、所謂將來ニ對スル財政ノ見透シ、卽チ後年度ニ亙ル財政計畫ノ樹立ニ關スル問題デアリマス、現下ニ於ケル社會不安ノ重大ナル原因ノ一ハ、將來ニ對スル財政ノ見透シガ明カデナイ所ニアルノデアリマスカラ、後年度ニ亙ル財政ノ見透シニ付テ、確固タル計畫ヲ樹立致シマシテ、社會不安ノ一大原因ヲ除去シ、國民生活安定ノ途ヲ講ズルコトガ、最モ急務デアルト云フコトニ付キマシテ、多クノ委員諸君カラ熱心ニ論議セラレ、政府財務當局ノ善處ヲ要望セラレタノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ、近時我國財政ノ膨脹ハ軍事費ノ增大ガ原因デアリ、此軍事費ニ付テ昭和十二年度分ハ協議ヲ經マシタガ、其後ニ付テハ未ダ見極メ付カズ、今後財務當局ハ軍部ト相協力シテ、財政ノ基礎安定ニ努力致シタキ旨答辯セラレマシタ

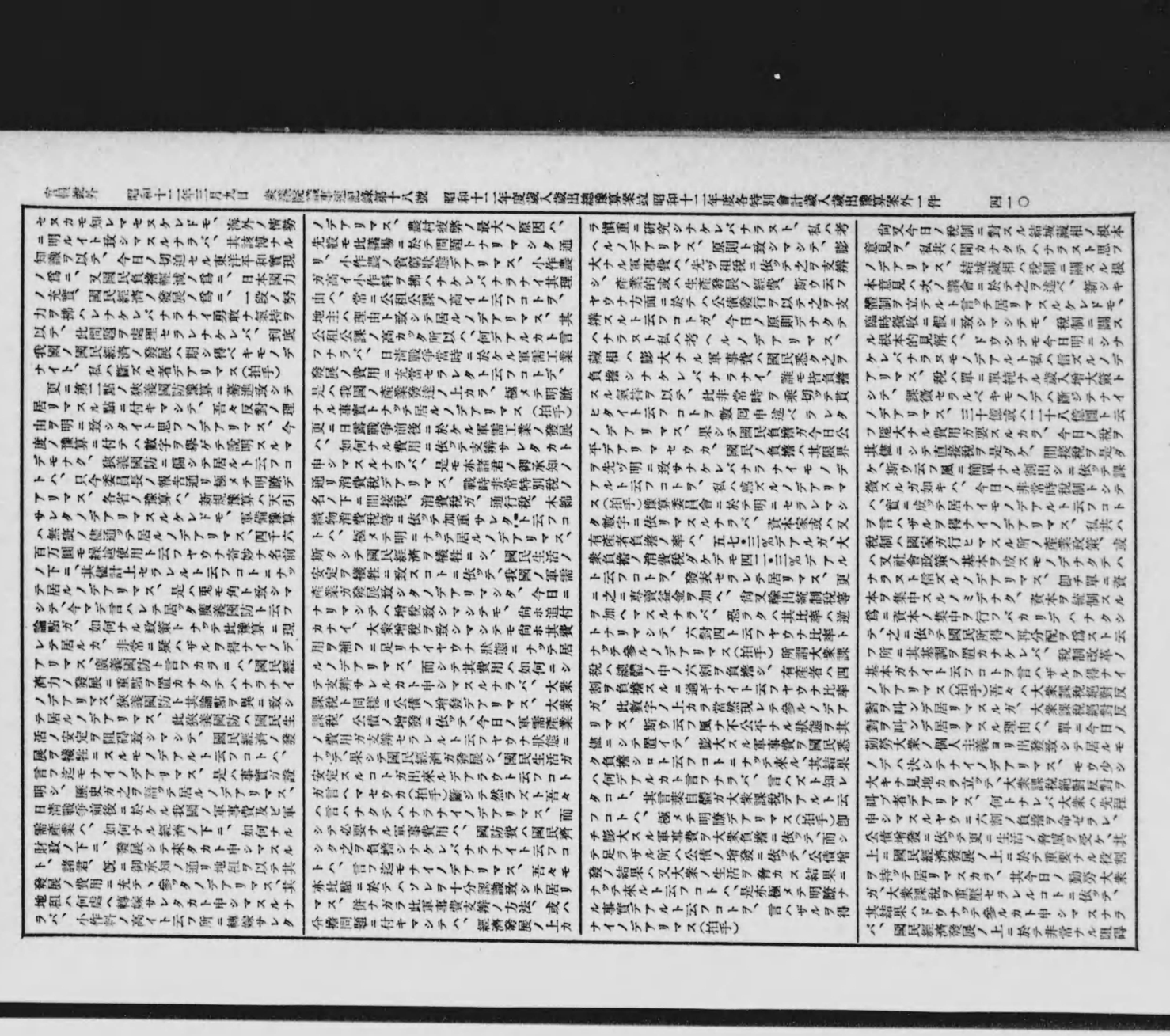
第二ハ、國防、財政、產業等ノ調和ノ問題デアリマス、國防ニ關スルコトハ、固ヨリ一日モ忽ニスベカラザルコトハ當然デアリマスガ、一面財政トノ調和ヲ顧慮シ、國民ノ經濟力ニ鑑ミ、產業ノ發展ヲ圖リ、其生產力ヲ增大シ、國民經濟力ノ根幹ヲ養フコトハ、卽チ一面國防ニ備フルノ途デアルト云フコトニ付キ、重要適切ナル質疑應答ガ重ネラレタノデアリマス、之ニ對スル政府ノ見解ハ、廣義國防ノ充實ハ國力ノ增進デアリ、國力ノ增進ハ財政產業ノ調和一致ニアリトシ、此點委員側ト全ク所見ヲ同ジク致スモノデアルト云フ答辯デアリマシタ

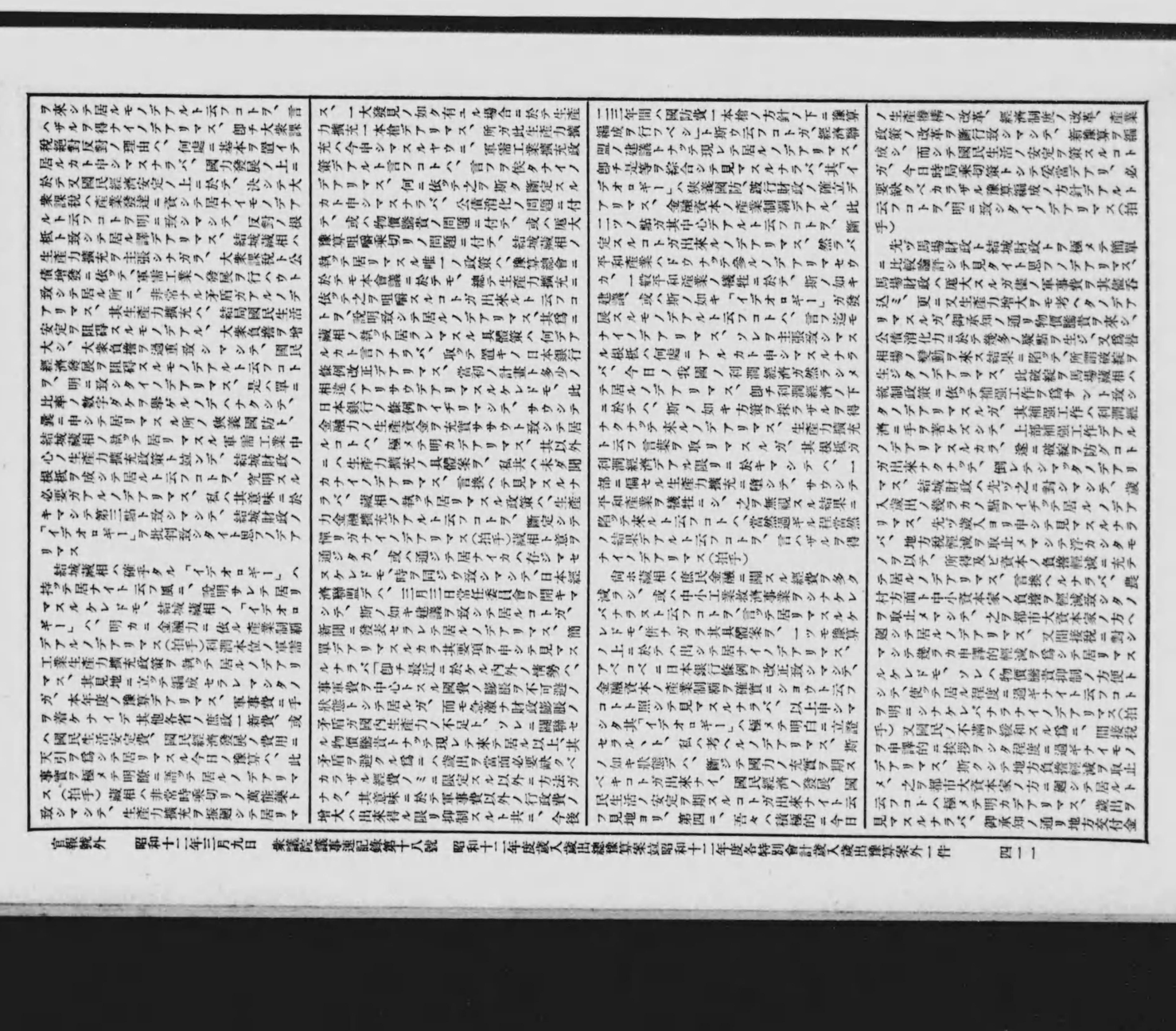
第三ハ、農村ノ救濟振興ニ關スル問題デアリマス、今日ニ於ケル地方農村ノ窮乏ハ洵ニ深刻ヲ極ムルモノデアリマシテ、是ガ對策ハ一日モ急ヲ要スルモノデアルト云フコトガ熱心ニ論議セラレマシタ、之ニ關聯致シマシテ、地方財政調整交付金ノ問題ニ關シマシテモ、速ニ其確固タル計畫ヲ樹立シ、更ニ之ヲ强化シテ、其金額ヲ增加スルノ途ヲ講ジ、地方農村ノ負擔輕減ヲ圖ルト同時ニ、一面ニ於テ副業ノ奬勵、其他ノ方法ニ依リ、農村ノ收入ヲ增加セシムルノ方策ヲ執リ、兩々相俟ッテ其振興ヲ促スコトガ最モ肝要デアルト云フコトニ付テ、委員諸君ト政府當局トノ間ニ質疑應答ヲ重ネ、熱心ニ論議セラレタノデアリマス、此問題ニ關シ政府ハ委員會ノ要望ニ鑑ミ、臨時地方財政補給金ヲ三千万圓增額スルコトヲ言明シ、尙ホ之ニ關スル追加豫算ハ不日議會ニ提案スルコトヲ言明セラレタノデアリマス、尙ホ交付金制度ヲ恒久的ニ確立スルノ意圖アリヤトノ質問ニ對シ、政府ハ地方稅制竝ニ財政改革ニ件ヒ、地方ニ財源ヲ與フル爲メ、其恒久的制度ヲ確立致シタキ意圖アル旨ヲ言明セラレマシタ、又都市ト農村其他ニ於ケル負擔均衡ノ問題ニ付テ、政府ハ中央地方ヲ通ズル稅制ノ根本的改革案ヲ作リ、之ヲ次期議會ニ提出スル意圖アリヤトノ質問ニ對シ、政府ハ其決意アル旨ノ言明ガアリマシタ、尙又地方財政補給金ノ交付方法ヲ決定スルニ當リテ、政府ハ廣ク官民聯合ノ委員會ニ諮リ、實情ニ適スル交付方法ヲ決定スル考アリヤトノ質問ニ對シテ、政府ハ此趣旨ニ鑑ミ、實情ニ卽スル方法ヲ講ジタキ旨ノ答辯ガアリマシタ、尙ホ此問題ニ付テ、地方交付金ノ分配方法ニ關シテモ、都市ト農村其他ノ間ニ於テ均衡ヲ失セザルヤウ、妥當ノ途ヲ講ズベキデアルト云フコトガ力說セラレマシタ、更ニ中小商工業者ノ救濟ニ關シマシテモ、一ノ重要ナル社會問題トシテ、之ニ對シ最善ノ對策ヲ講ジ、國民生活ノ安定ヲ講ズベキデアルト云フコトニ付テ、政府ノ熱意ト努力ヲ要望セラレマシタ、此問題ハ金融問題及ビ鐵材飢饉ノ救濟問題等ニ相關聯シテ、論議ノ重點ヲ置カレタノデアリマス

第四ハ、物價騰貴ノ抑制ニ關スル問題デアリマス、卽チ豫算ノ急激ナル膨脹ト、租稅ノ增徵竝ニ公債增發等ニ伴フ、所謂惡性「インフレ」ヲ防止致シマシテ、物價ノ不自然ナル騰貴ヲ抑制シ、國民生活ヲシテ安定セシムル爲メ、政府ハ最善ノ方途ヲ講ズベキデアルト云フコトガ强調セラレタノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ豫算削減ノミヲ以テ能事終レリトスルモノニアラズ、今後ハ金融其他有ユル方面ヨリ是ガ對策ニ當ル決心デアルト言明セラレマシタ

第五ハ、公債ヲ消化力ノ問題デアリマス、財政ノ膨脹ト共ニ近時公債發行モ巨額ニ達シツヽアルガ、其消化力ニ付テ何等不安ナキヤト云フコトハ、委員會ノ擧ゲテ質サント欲シタ所デアリマス、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、發行其方法宜シキヲ得サヘスレバ、年十億以上ノ公債消化ト雖モ毫モ不安ナク、勿論之ニ關シテハ金融方面ノ連絡統制ニ全力ヲ用フベキモノデアルトノ意見デアリマシタ

第六ハ、人權擁護ノ問題デアリマス、卽チ近時檢察當局ニ於テ人權蹂躪ノ事實甚シキ爲メ、一般民衆ノ指彈ヲ受ケ居ルノ事實ニ鑑ミマシテ、當局ノ十分ナル反省ヲ促シ、斯ル惡弊ノ根絕ヲ期シ、人權尊重ノ途ヲ講ズベシトノ議論ガ、司法政策ノ問題ニ關聯致シマシテ高調セラレタノデアリマス、之ニ對シテ司法當局ハ、指摘サレシ事實ノ或モノニ對シテハ率直ニ其非違ヲ認メ、將來斯ル不祥事ヲ惹起セザルヤウ、檢察當局ニ對シテ大イニ自重ヲ要望シツヽアル旨答辯セラレマシタ、此外、外交問題ニ關シマシテハ、對支、對「ソ」聯ノ外交關係ノ調整ニ關シ、速ニ確固タル方針ヲ樹立シ、國際關係ヲ圓滑ニスルノ途ヲ講ズルコトガ肝要デアルトノ論議ガ强調セラレマシテ、此點ニ付キ特ニ外務當局ノ善處ヲ要望セラレタノデアリマス、又庶政一新ノ實ヲ擧グル爲ニハ、國政ノ全般





ヲ削減致シマシタ、又陸海軍ヲ除ク各省ノ繰延、削減ヲ致シテ居リマス、是ガ爲ニ國民生活安定、或ハ社會事業、庶政一新費、或ハ又其他國策ノ遂行ニ關スル費用ハ、天引サレテ居ルノデアリマス、其結果馬場財政デ考ヘラレマシタ問題ハ、後ヘ繰越サレテ居ルノデアリマス、繰延ベラレマシタ結果、結城財政トシテハ更ニ問題ヲ持越シテ、多クノ問題ヲ論議シナケレバナラナイ結果、事情甚ダ複雜混沌致シテ居ルト云フコトハ、避ケ難イ狀態デアリマス、之ニ對シマシテ都市資本家ノ負擔ヲ輕減スル政策ヲ執ッタ結果、其足ラザル所ハ何處ヘ持ッテ行クカト申シマスルナラバ、公債ノ增發ニソレヲ持ッテ行カナケレバナラナイ結果ニナッテ來ルト云フコトハ、極メテ明瞭デアリマス、言換ヘテ見マスルナラバ、信用「インフレ」ヲ爲サナケレバ、到底其辻褄ヲ合ハスコトガ出來ナイト云フ結果ニ立至ッテ來ルノデアリマス、尚ホ又公債消化ノ問題デアリマスルガ、馬場財政ニ於キマシテハ、ソレヲ統制政策ニ執ッタノデアリマスルガ、結城藏相ハ之ヲ如何ナル方面ニ執ッテ居ルカト申シマスルナラバ、公債價格維持ヲ、之ヲ所持スル者ノ自治ニ一任致シテ居ル點ガ、特色デアルト言ハナクテハナラヌノデアリマス、所持者ノ自治主義デアリマス、所持者ノ自治主義ハ金融資本ノ獨占ヲ意味スルモノデアルト云フコトハ、極メテ明カデアリマス、卽チ公債ヲ所持スル金融資本家ノ自力維持ニ、之ヲ俟ッテ居ルト云フノガ、結城藏相ノ公債消化政策デアルト云フコトヲ、斷ゼザルヲ得ナイノデアリマス、爲替相場安定ノ爲ニハ金ノ現送ヲ爲シテ、今日ノ爲替統制法ニ對スル問題ニ付テハ、言葉ヲ濁シテ居ルト云フヤウナ點ヲ考ヘマシテモ、更ニ又金ノ現送ハ今日各種ノ重要ナル結果ヲ來シテ居ルト云フ點トヲ彼レ此照シ合セマシテモ、金ノ現送ハ憂フベキ結果ノアルヲ攻究シナケレバナラナイト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、馬場財政ト結城財政ト、斯ノ如ク比較致シテ見マスルナラバ、其進ムベキ途ハ同一デアルト云フコトハ極メテ明白デアリマス、唯異ッテ居リマスルノハ、其技術上ノ相違ニ過ギナイノデアル、進路ハ同ジデアリマス、論議サレル課題ハ同一デアリマス、卽チ厖大軍事豫算ヲ如何ニシテ咀嚼スルカ、或ハ又今日ノ免レザル增税ヲ如何ニシテ調節スルカ、公債發行ヲ如何ナル形ニ依ッテ爲シテ、公債消化問題ヲ如何ニ處理スルカ、此課題ハ馬場財政ニ於テモ、結城財政ニ於テモ、同ジク與ヘラレタル課題デアリマスルカラシテ、多少ノ技術ノ相違ガアリマシテモ、進ムベキ途ハ同一ニ陷ッテ來ルト云フコトハ、極メテ明カデアルト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、ソコデ結城藏相ガ將來ノ見透シニ付テ、本會議ニ於テハ、立タナイト云フコトヲ言ハレマシタケレドモ、豫算分科會ニ於テ、我ガ同僚ノ田万委員ノ質問ニ對シマシテ答ヘタ其答辯ヲ、吾々ハ注目シテ見ナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、田万君ノ質問セラレマシタ要點ハ、軍事豫算、生產力擴充ガドン／＼進ンデ行キマスルナラバ、其結果ハ戰爭ト云フ所ニ落ツルノデハナイカ、又今日ノ擴充擴大サレテ居リマスル軍需工業ヲ、直チニ平時產業ニ轉換スルコトガ出來ナイト云フコトニナッテ來ルナラバ、ソレハ「パニック」ヲ來スノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ問題ヲ提供致シマシテ、藏相ノ意見ヲ質シタノデアリマス、之ニ對シマシテ、藏相ノ答辯ハ極メテ注目スベキモノデアリマスル、其一部ヲ讀ンデ見タイト思ヒマス「是モモウ歐羅巴戰爭ノ後ノ不況ノ時ニ痛切ニ嘗メサセラレタ經驗デアリマシテ、何處ノ國デモ、戰爭ノ爲ニ有ユル生產業ヲ其方ニ向ケテ、サウシテ講和後ニ於テハ、ソレ等ノ生產業ガバッタリ止ッタヤウナコトデ、非常ニ苦シイ經驗ヲ嘗メテ居ル、我國ノ生產業ノ擴充ナドニ付テモ、ソレト同ジヤウニ考ヘテ行ッテ宜カラウト私ハ思フノデアリマス、玆ニ唯軍需品ノ需要ヲ充ス爲ニ生產ヲ擴充スルト云フコト、其事ノミニ力ヲ注イデ行キマスト、ソレハ數年後ニ於テ御話ノヤウナ事態ガ起ッテ來ル、或ハ却テ戰爭ヲ惹起スルヤウナコトニナルカ、非常ナ「パニック」ノヤウナモノヲ起スヤウニナルカ、ドチラニカ行クヤウナコトノ狀態ニ立到ラヌトモ限ラヌノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此生產ノ擴充ヲヤル時ニ、既ニモウ其軍需工業カラ平時工業ニ轉換スルダケノ用意ヲシテ行クコトガ非常ニ必要デアリマシテ」中略致シマス「ソレハ非常ニ難カシイコトデアリマス、難カシイコトデアリマスガ、考ヘナケレバナラヌコトデアッテ、其事ニ依ッテ、其考ヲ以テ最初カラ生產ノ擴充ヲヤラヌト、或ル時期ニナッテカラ酷イ目ニ遭フ、斯ウ云フコトダケハモウ承知シナケレバナラヌト思フノデアリマス」斯ク極メテ明瞭ニ答ヘラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ事實ハ如何デアリマセウカ、答辯ダケハ斯ウ答ヘテ置イテ、ヤッテ居リマスル所ノ政策、具體案ハ如何デアリマセウカ、何モヤッテ居リマセヌ、何モヤラズシテ唯軍需工業生產擴充一點張リデヤッテ居ル所ニ、結果ノ恐ルベキコトガアルト吾々ハ今日憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)ソコデ結城藏相モヤリタイト思ッテモ、ヤルコトノ出來ナイヤウナ今日狀態ニ絡マレテ居ルト云フコトヲ吾々ハ考ヘル、當然ノ結果何カ一ッ荒療治ヲシナケレバナラナイ、荒療治ト言ヒマシテモ過激ナル方法デハナクシテ、極メテ合法的ナ組織立ッタ方法ニ依ッテ、結城藏相ノ憂ヘラレルヤウナ結果ノ來ヲザルコト、而シテ國民生活ヲ安定シ、國力發展、經濟力ノ充實スル制度ヲ今日ヨリ爲スニアラザレバ、到底恐ルベキ結果ヲ避クベキコトガ出來ナイノデアルト云フコトヲ、私ハ存ズルノデアリマス(拍手)私ハ其意味ニ於テ產業政策ノ根本改革ヲヤラナクテハナラナイ、經濟制度ノ根本改革ニ、今日ヨリ斧ヲ加ヘテ行カネバナラナイモノデアルト云フコトヲ、第四ニ論ジタイト思フノデアリマス

吾々ノ生產力擴充ハ、全產業ニ對シマシテ生產力擴充政策ヲ執ルノデアリマス、全產業ニ對シマシテ一樣ニ產業發展政策ヲ執ラナクテハナラナイ、ソレニハ今日ノ營利經濟デハ、到底爲スコトハ出來ナイノデアリマス、唯單ニ金融資本ノ充實ニ依ッテ日本銀行條例ヲ改正スルト云フガ如キ、姑息ナル一時ノ間ニ合セノ方策ヲ執ラズシテ、根本改革ヲ爲サナケレバナラナイ、根本改革ト致シマシテハ、先ヅ重要產業ノ國營ヲ斷行シナケレバナラナイモノデアルト思フノデアリマス、或ハ又金融ノ國家管理デアリマスルトカ、重要原料品ノ輸入國家統制ヲ爲ストカ、斯ノ如キ重要產業ニ對スル國家管理ヲ斷行致シマシテ、國力充實、經濟發展ノ基礎工作ヲ、今日ヨリ爲シテ行カナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、若シソレガ今日直チニ爲スコトガ出來ナイトスルナラバ、其前提ノ下ニ、其方向ノ下ニ、一步ソレニ進ム爲ニ生產機構ノ擴大ヲヤラナクテハナラナイ、生產力デハナクシテ生產機構ノ改革、生產機構ノ擴大デアリマス、生產機構ノ擴大ハ勞働者ノ技術、或ハ勞働者ノ熟練、勞働者ノ生產參加、斯ウ云フヤウナ問題ヲ、生產機構ノ中ニ織入レルノデアリマス、生產發展ノ爲ニハ、生產力擴充ノ爲ニハ、缺クベカラザルモノハ何デアルカト言ヘバ、勞働力、勞働者ノ勞働價値ト云フモノヲ、生產ニ參加セシメナケレバナラナイ、勞働者ヲ生產ニ參加サシテ、サウシテ、生產力ヲ擴充サスコトガ、經濟發展ノ基礎工作デアルト云フコトヲ私ハ確信スル者デアリマス(拍手)此點ニ付キマシテ、吾吾ガ斯ク言フダケデハナイ、金融資本家ハ申シマセヌケレドモ、產業資本家ノ大部分ハ、其議論ヲ肯定致シテ居ルノデアリマス、三月一日ノ讀賣新聞經濟欄ニ、產業資本家ノ有力ナル二三ノ方々ガ、斯ウ云フヤウナ意見ヲ發表サレテ居リマス「今マデ經濟ト云ヘバ、金融卽チヤリ繰ヲ主トシ、產業卽チ生產力ヲ從ニ顚倒シテ考ヘテ居タ經濟界ノ指導者ガ抑ヽ誤ッテ居タノダ、吾々ハ政府ガドンナ要求ヲ持ッテ居ルカト云フコトスラハッキリ知ラヌ、放ッテ置カレテモ自前デ生產力擴張ヲヤッテ居ルモノノ、是ハ第一ニ人的要素デ制約サレテ居ル今日、資金ニハ困ラヌガ、熟練シタ技術家ハ容易ニ得ラレヌ爲メ實ニ困難ヲ感ジテ居ル」斯ウ云フヤウナ意見ヲ發表サレテ居リマス、又他ノ產業事業家ハ「吾々ハ過去ニ於テ軍縮ノ爲メ非常ニ苦イ經驗ヲ嘗メタガ、軍備擴張デ生產力擴充ヲ急ニ騒イデモ、後デ是ガ火ガ消エタヤウニナッテハ實ニ困ル」「同時ニ技術ノ進步改善モ必要デ、熟練工トカ、技師トカ總テ吾々ノ手デ養成セネバ生產ノ擴充ガ出來ルト云フモノデハナイ」「軍需工業デ、國民ノ血稅ヲ拂フ軍需品デ大キナ利益ヲ擧ゲ、二割モ三割モ配當シテハナラヌコトハ當然デ、社內保留デ生產設備ノ充實整備ヲ圖ルベキデアラウ」斯ウ云フヤウナ意見ガ、勿論產業資本家ノ立場カラデアリマスルケレドモ、生產力擴充ハ金融本位デ爲スベキモノデハナイ、勞働者ノ技術、生產ニ於テ重要ナル技術ノ發展ヲ、擴充ノ中ニ強ク考ヘテ行カナケレバナラナイモノデアルト云フ點ヲ、明ニサレテ居ルノデアリマス、在來唱ヘラレテ居リマシタ分配機構ノ改革、斯ウ云フヤウナ問題モ私ノ申シマスル生產機構ノ擴充ノ中ニ織入レテ生產力發展ノ爲ニ、生產力機構改革問題ノ中ニ包容致シマシテ、經濟發展ニ之ヲ導イテ行カセルコトガ、最モ宜カラウト私ハ思フノデアリマス、結城藏相ハ一切ノ事柄ガ無理ヲシチヤイカヌ、無理ヲシテ、或ハ又法律ノ力デ、上カラノ命令デ强制シチヤイカヌト云フコトヲ言ハレマス、言ハレマスルケレドモ、結城藏相ノ生產力發展自體ハ、一方ニ偏シテ居ルノミナラズ、且又一方ニ偏シテ居ル結果、非常ニ無理ガアッテ、必要缺クベカラザルモノト思ヘル生產力擴充ノ重要要素ヲ無視シテ居ルト云フ結果、ソコニ無理ガ暴露スルト云フコトヲ私共ハ指摘シナケレバナラヌト思フノデアリマス(拍手)是ト同樣ニ農業產業ノ發展モ、亦農村ニ於ケル耕作者ノ立場ヲ十分ニ保護致シマシテ、自作農小作農ヲ通ジマシテ、耕作ノ價値ガ農業生產發展ノ上ニ於テ、極メテ重要ナルモノデアルト云フコトヲ、生產機構改革ノ中ニ織入レナケレバナラヌモノデアルト、私ハ思フ者デアリマス、卽チ耕作者ノ價値ヲ保障スルノデアリマス、耕作其モノノ力ヲ農業生產ノ中ニ深ク織込ムノデアリマス、農作物ノ價格ハ、隨テ其結果保障セラル、ノデアリマス、災害ガアリマシテモ、其價格ニ變動ガナク、或ハ又其價格ノ變動ニ因ッテ耕作者ガ非常ナ損害ヲ被ムルト云フヤウナコトヲ無カラシムル結果ヲ、來サシメナケレバナラナイノデアリマス、又小作爭議等ニ惱ンデ居リマスル今日ノ不合理ナル農村經濟狀態ノ、根本改革ヲ致シマシテ、耕作者ノ地位ト耕作ノ價値ヲ農業生產發展ノ上ニ於テ、承認致シテ行キマスルナラバ、必ズヤ農業生產ハ今日ノ狀態ヨリ一轉致シマシテ、發展スルデアラウト云フコトヲ、私共ハ考ヘルノデアリマス、耕作者ヤ或ハ勞働者ヲ以前ノヤウニ奴隷ノ、或ハ又機械ノヤウニ考ヘテ、或ハ又單ニ一片ノ通告ヲ以テ解雇シテシマフト云フヤウナ、生活不安ノ狀態ニ突落シテ置イテハ、生產力發展ガアリ得ル筈ハ斷ジテナイノデアリマス(拍手)

私ハ其意味ニ於テ都市工業ニ於キマシテハ、產業發展政策トシテ勞働組合法、或ハ又勞働協力法――勞働者モ產業ノ片一方ヲ擔フノデアル、勞働者モ此產業ノ發展ニ參加スルノデアルト云フ事實ヲ、國家ハ明ニ致シマシテ、其勞働ノ價値ヲ國家ガ承認スル、農村ニ於キマシテモ、小作人ヲ農奴トシテ扱ハズシテ、或ハ又小作料不支拂ノ理由ヲ以テ土地カラ追拂フト云フヤウナコトヲセズシテ、耕作者ノ立場ヲ十分ニ容認シタ耕作保護法、農民保護法ト云フヤウナ新シキ農業生產發展策ヲ執ッテ行キマスルナラバ、必ズヤ國民經濟發展、國民生活安定ノ政策ハ樹立セラル、ト云フコトヲ、確信シテ疑ハナイ者デアリマス(拍手)　斯ル生產機構ノ擴充ヲ爲スコトニ依リマシテ、國民生活ハ安定スルノデアリマス、勞働大衆ノ生活ヲ安定シ、農民大衆ノ生活ヲ安定シ、又ハ同樣ナル方法ヲ以テ、今日ノ中小事業家ヲ救濟シ、勤勞大衆ノ生活ヲ安定スル爲ニ、根本政策デアリマスル產業機構ノ改革、經濟組織ノ改革ヲ斷行致シマシテ、國力ノ充實發展ヲ圖ル政策ヲ、執ラナクテハナラナイト思フノデアリマス、其結果必ズヤ國民購買力ハ增進致シマセウ、必ズヤ自然增收モ期シテ待ツベキモノガアルノデアリマス、民力涵養、國力充實ノ基本ハ其處カラ出發セナケレバ、斷ジテナラナイノデアリマス、單ニ上層ノ工作ヲ爲シテ、一時的ナ統制政策ヲ執ルトカ、或ハ又金融ニ偏シテ居リマスル所ノ一時的政策ヲ執ル、斯ノ如キコトニ依ッテハ斷ジテ國力ノ充實、民力ノ涵養ハ圖ラレナイノデアリマス、又豫算分科會ニ於キマシテ、軍需工業ノ利潤統制問題ニ關シマシテ、同僚田万委員ガ陸海軍大臣ニ質問セラレマシタ、其質問ニ對シマシテ、陸海兩大臣ハロヲ揃ヘテ、今日ニ於テハ軍需工業ノ利潤統制ヲ爲ス考ハナイ、平時ニ於テハ軍需工業ノ利潤統制問題ニ付テハ、今考ヘテ居ナイト云フニベナイ返事ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ルコトニ依ッテ國防ノ充實ガ完成サレマセウカ、國防ノ充實ノ根柢ハ何處ニ在ルカト申シマスルナラバ、民力ノ涵養デアリマス、其根柢デアリマスル今日ノ利潤經濟ニ對シテ斧鉞ヲ加ヘナケレバ、斷ジテ國防ノ充實ハ無イト云フコトヲ言ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)私ハ斯ル見地ニ立ッテ、今日ノ軍事費用ノ細目ニ付テモ國民代表デアリマスル所ノ議會ハ、十分檢討スル機會ヲ持タナクテハナラナイ、必要デアルナラバ軍事費調査委員會ヲ設置スルコトガ宜シイト思フ、或ハ又外交問題ノ調查委員會ヲ議會自ラガ設置シマシテ、本當ニ眞劍ナル氣持ヲ以テ、此問題ノ檢討ニ當ラナクテハナラナイ、議會ハ萎縮セズシテ是等ノ問題ニ付テ、率先其內容ヲ審議スル責任ヲ國民カラ負ハサレテ居ルト云フコトヲ、私ハ信ズル者デアリマス(拍手)吾々ハ斯クシテ國防ノ充實ノ根柢ハ何ニ在ルカト申シマスルナラバ、營利經濟ノ改革ニ在ル、營利經濟ヲ改革シテ、民力ノ涵養ヲ圖ラナケレバナラナイト云フ見地ニ立ッテ、今日ノ豫算ノ組替ヲ要求致ス次第デアリマス、結城藏相ハ生產力擴充問題ヲ、金融資本ヲ通ジテ論ジテ居ルノデアリマス、其結果ハドウナッテ參リマセウ、或ハ又國民悉クガ今日ノ費用ヲ負擔ショウ、斯ウ云フ風ニ言ッテ居リマス、勿論吾々モ非常時ニ於テハ、オ粥ヲ啜リ、米ト鹽ニ依ッテ生活ヲ維持スルコトヲ、敢テ辭スル者デハ斷ジテナイノデアリマス、而モ今日ノ營利經濟ノ下ニ於テハ、片一方デオ粥ヲ啜リナガラ、多クノ國民ハ其飢ヲ凌イデ居ルニ拘ラズ、營利產業、軍需發展ノ爲ニ非常ナル利益ヲ懷ロニ捻込ンデ、悠々タル生活ヲ爲ス階級ノアルト云フコトヲ、御

諒承願ハナケレバナラナイノデアリマス(拍手)斯ル偏頗ナル今日ノ經濟機構ヲ改革スル必要ガアルノデアリマス、利益ガ一方ニ吸收セラレルヤウナ事柄デハ、斷ジテ國防ノ充實ヲ爲スコトガ出來ナイ、結城藏相ハ率直ナル氣持ヲ以テ、今日ハ非常時ダカラ軍部ト互ニ手ヲ組ンデ、――狹義國防ニ驀進シテ居ル今日ノ狀態ヲ考ヘテノ言葉デアラウトハ思ヒマスルガ、軍部ト手ヲ組ンデ此非常時乘切リヲヤラナクテハナラナイト言ッテ居ルノデアリマス、軍部ト抱合ッテ政府ハ豫算編成ニ進ンデ行カナケレバナラナイト言ハレテ居リマスルガ、其抱合ハ遂ニ狹義國防、軍需生產力擴充ト、二ツニ依ル抱合心中ニ終ルト云フコトヲ、私ハ斷定シテ憚ラナイノデアリマス(拍手)吾々ハ斯ク考ヘマシテ、何レノ點ヨリ論ジマシテモ、今日ノ豫算ハ狹義國防ニ偏シ、軍需生產擴充政策ニ墮シ、遂ニ國民生活安定ヲ期スルコトガ出來ナイ、國民生活ヲ犧牲ニシテ一部ノ者ヲ肥ヤシテ居ル結果ニナッテ居ル、此豫算ニ絕對ニ反對ヲシナケレバナラナイノデアリマス(拍手)私ハ斯樣ナ理由ヲ以チマシテ、茲ニ返上論ヲ致ス次第デアリマス、豫算總會、或ハ又委員長ノ報告等ニ依リマシテモ、今日ノ豫算ニ對シマシテ、非常ナ不滿ヲ諸君ハ持ッテ居ラレルコトヲ聽イテ居ルノデアリマス、不滿ヲ持ッテ居ラレル結果ガ、贊成論ニ落著クト云フコトハアリ得ザルコトデアラウト思フノデアリマス(拍手)ドウカ諸君ハ眞ニ國民代表ノ見地ヨリ、今日ノ國民大衆ノ生活ヲ如何ニスルカ、國民經濟ノ發展ヲ如何ニスルカ、此問題ニ立ッテ、極メテ明朗ナル立場ヲ以テ、私ノ此反對意見ニ御贊成アランコトヲ希望致ス次第デアリマス(拍手)

○**議長(富田幸次郎君)** 勝正憲君

(勝正憲君登壇)

○**勝正憲君** 只今議題トナッテ居リマス豫算各案ニ對シマシテ、私ハ委員長ノ報告ニ贊成ヲスル者デアリマス、現內閣ハ廣田前內閣ノ編成シタル三十億三千八百万圓ノ總豫算ニ對シマシテ、二億二千三百万圓ノ削減ヲ加ヘ、之ニ對シテ衆議院ノ協贊ヲ求メツヽアルノデアリマス、今之ヲ仔細ニ檢討致シマスレバ、前豫算ニ對シマシテ、漫然タル削減ヲ加ヘタルニ止マリマシテ、何等一貫セル主義方針ヲ認メルコトガ出來マセヌ、又何等國策トモ見ルベキ施設ノ認ムベキモノガナイノデアリマス、唯單ニ一時ノ急ヲ凌ガンガ爲ニ、便宜的ノ應急豫算デアルト申スノ外ハナイノデアリマス、議會ノ開會中ニ內閣ノ更迭ヲ見ルヤウニナリマシタ爲ニ、林內閣ハ匆々ノ間ニ豫算ノ修正ヲ爲サナケレバナラナイコトニナリマシテ、十分ナル審議ヲ盡スノ餘日ガナク、遂ニ此結果ヲ見ルニ至ッタモノデアリマスノデ、其間洵ニ同情スベキ點ハアリマスケレドモ、此豫算ニ對シマシテ、政府ニ對スル幾多ノ根本政策ニ觸ル、所ノ質問ヲ試ミマシテ、其說明ヲ聽キマスルノニ、多クノ場合ニ於キマシテ、組閣匆々デアルカラ、追テ愼重研究ノ上デ改メテ提案ヲスルト云フヤウナ答辯バカリデアリマシテ、實ニ政府御自身スラ十分ナル確信ノナイ豫算デアルカノヤウニ見エルノデアリマス、隨テ本豫算ニ對シマシテハ、吾々ヨリ見マスレバ、幾多ノ不備、幾多ノ缺點ヲ有シテ居ルト認メルノデアリマス、併シナガラ此短期ノ審査期間ニ於キマシテ、之ヲ徹底的ニ修正スルノ遑ガナイノト、一方內外ノ情勢ニ鑑ミ、國家大局ノ上ヨリ觀察致シマスレバ、此際此豫算ヲ成立セシメマスルコトガ、極メテ必要デアルト認メマシテ、茲ニ本豫算ノ通過ニ贊成ヲスル次第デアリマス(拍手)

斯樣ナ次第デアリマスカラ、吾々ガ此豫算ヲ協贊セントスルニ當リマシテハ、色々ト警告ヲ申上ゲタイ點ガアルノデアリマス、又此豫算ノ實行ニ對シマシテ、幾多ノ要望ヲ致シタイ點ガアルノデアリマス、廣田內閣ハ彼ノ三十億ノ大豫算ヲ發表致シマスルヤ、屢々タル世論ガ起リマシタ、即チ此厖大豫算ニ基ク國費ノ大膨脹ノ結果、輸入ノ激增ヲ來シハセナイカ、輸入ノ激增ノ結果、國際貸借ノ均衡ヲ破ッテ、爲替ノ逆調ヲ來スヤウナコトハナイカ、軍需品工場ノ擴張ノ結果、資本ノ固定ヲ促シ、金利ノ反騰ヲ招キハシナイカト云フヤウナ、色々ノ非難ノ聲ガ起リマシタ、殊ニ著シキ點ハ、此國費大膨脹ノ結果、以上述ベマシタ諸原因ト相俟ッテ、物價急騰ヲ招來スル虞ハナイカト云フ點デアリマシテ、而シテ林內閣ハ是等ニ付テ考ヘラレマシテ、此豫算ノ中カラ二億六千九百万圓ノ削減ヲ試ミラレタノデアリマス、此中ニハ例ノ問題トナッテ居ル所ノ四千六百万圓ノ軍事費ヲ含ンデ居リマスガ、假ニ其儘ニ認メルト致シマシテモ、此削減額ノ中ニハ、地方稅ノ減稅ノ財源デアル所ノ二億二千万圓ノ地方財政調整金ヲ含ンデ居リマスカラ、中央ト地方トヲ通ジテ見マスレバ、結局一億二千万圓內外ノ豫算ノ減少ニ過ギナイノデアリマス、此僅カナル豫算ノ減少ヲ以テ、到底物價激騰ノ趨勢ヲ抑ヘルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、此點ハ二月二十二日ノ豫算總會ノ席上ニ於キマシテ、私ノ質問ニ對シテ大藏大臣モ御認メニナッタ所デアル、ソコデ吾々ノ大イニ憂慮スル點ハ、本豫算ノ實行ノ結果、急激ナル物價ノ騰貴ヲ招來シ、貿易ヲ萎靡セシメ、產業ノ根本ヲ脅カシ、延イテハ國民生活ノ安定ヲ阻碍セントスルヤウナ危險少シトシナイノデアリマス、此點ガ本豫算ノ實行上最モ注意スベキ點デアラウト思フノデアリマス、政府ハ本豫算ノ實行ニ際シマシテ、大イニ其運用ヲ愼ミ、或ハ積極的ニ、或ハ消極的ニ、物價ノ昂騰ヲ抑制シテ、萬遺算ナカランコトヲ期セラレタイコトヲ警告ヲ致ス次第デアリマス(拍手)

又此豫算ヲ見マスルニ、其歲出ニ於キマシテ、前年ニ比シテ五億五千八百万圓ノ增加ヲ致シテ居ル、其財源トシテ實ニ二億九千二百万圓ノ增稅ヲシテ、一擧三割一分ヲ超ユル所ノ大增稅ヲ計上シテ居ルノデアリマス、國民負擔ノ增加實ニ容易ナラナイモノガアルノデアリマス、國民ノ膏血ヲ要求スル此大豫算ヲ施行セントスルニ當リマシテ、政府ハ深ク思ヲ茲ニ致サレマシテ、與ヘラレタル豫算ノ範圍內ニ於テ、十分ナル國費ノ節約ヲ努メルト共ニ、其效果ヲ十分ニ發揮スルコトニ、最善ノ方途ヲ講ゼラレンコトヲ要望スル者デアリマス

一般會計ノ總豫算二十七億二千万圓ノ中ニハ、十四億九百万圓ノ軍事費ヲ含ンデ居ルノデアリマス、而モ此軍事費ハ、前年度ニ比ベマシテ三億五千万圓ト云フガ如キ巨大ナル增加ヲ示シテ居リマス、之ニ對シテ吾々ノ心配スル所ハ、假令是ダケノ大豫算ヲ協贊シマシテモ、我國ノ工場ノ能力ガ之ヲ許サナイデアラウ、其結果各方面ニ無理ガ生ズルデアラウト云フコトデアリマシタ、然ルニ政府ノ御答辯デハ、官立ノ工廠及ビ民間ノ工場ヲ通ジテ、十分之ヲ消化スルコトガ出來ルト云フ答辯デアリマシタガ、或ハ左樣デアルカモ知レマセヌ、併ナガラ官立ノ工廠ヲ十分ニ活動サセ、向ホ足ラザル所ハ民間ノ工場ニ註文スルト致シマシテモ、ソレ等ノ民間ノ工場ハ、從來供給シテ居ッタ所ノ製品ノ製造ヲ止メマシテ、軍需品ノ製造ニ移ル、左樣ニ相成リマスレバ、一般製品ノ供給不足ヲ告ゲマシテ、物價騰貴ノ一大原因トナル虞ガアリマス、假ニ一歩ヲ讓リマシテ、是等ガ旨ク調節セラレタト假定致シマシテモ、此軍需品ノ原料ハ、ドスルカト云フ大キナ問題ガ殘ルノデアリマス、此軍需品ノ生產ニ要スル各種ノ材料ノ原料ハ、果シテ此短期間ノ內ニ、我國ノ市場カラ之ヲ供給スルコトガ出來ルデアリマセウカ、此原料材料ノ不足ノ爲ニ、其急激ナル値上リ、延イテハ一般物價ノ急騰ヲ其結果或ハ內地ニ於テ供給ガ出來ナイ爲ニ、之ヲ輸入ニ俟チマシテ、其爲ニ貿易尻ヲ惡化セシメ、爲替ノ暴落ヲ惹起スヤウナ事ハナイカト云フヤウナ疑問ガ簇出致スノデアリマス、政府ハ此豫算ノ實行ニ方リマシテ、是等ノ點ニ深ク思ヲ致サレマシテ、以上申述ベタル所ノ惡結果ヲ未然ニ防止スルコトニ、十分ナル用意アランコトヲ要望スル者デアリマス(拍手)

明年度ノ總豫算二十八億一千万圓ノ中ニハ、十四億九百万圓ノ軍事費ヲ含ンデ居ル、其割合ハ正ニ五割ニ達シテ居リマス、世界各國未ダ曾テ見ザル所ノ比率デアリマス、世間デ之ヲ軍事豫算デアル、國防豫算デアルト申シマスルノモ、洵ニ無理カラヌコトト存ズルノデアリマス、現下ノ國際情勢ヨリ致シマシテ、國防ノ充實ハ國家ノ急務デアリマスケレドモ、此國防費ノ急激ナル增加ニ對シマシテハ、何人モ驚ク所デアリマス、尙ホ之ニ加フルニ昭和十二年度分ノ豫算ニハ、巨大ナル繼續費ガ之ニ伴ッテ居ルノデアリマス、陸軍省所管ニ於キマシテ約十九億圓、海軍省所管ニ於キマシテ約十三億圓、其金額ヲ合計致シマスレバ、三十二億圓ト云フガ如キ巨大ナル繼續費ガ附イテ居ルノデアリマス、其年度割ヲ見マスレバ、一年度ニ於キマシテ陸海軍合計六億三千万圓ヲ超ユル年モアルノデアリマス、殆ド每年五億圓以上ノ繼續費ガ、今後七年、八年ニ亙ッテ支出セラナケレバナラヌト云フ狀況ニナッテ居ルノデアリマス、尙又之ニ加ヘマスルニ、陸海軍ノ國防充實ニ伴ヒマシテ、繼續費ノ外ニ驚クベキ巨額ナル經常費ガ、之ニ加ヘラナケレバナラヌト云フコトデアリマス、彼此レ思合セマスレバ、昭和十三年度以降ノ我國ノ財政ト云フモノハ、實ニ飛躍的ノ膨脹ヲセントスル態勢ニ置カレテ居ルト申シテモ宜イノデアリマス、此驚クベキ巨大ナル國防費ノ急增ヲ如何ニ調理シ、如何ニ按排シテ行クベキカト云フコトハ、此林內閣ニ下サレタル所ノ至重至大ノ使命デアルト考ヘルノデアリマス、國民ハ目ヲ刮ッテ此財政ノ調理ヲ如何ニスルヤト云フコトヲ凝視シテ居ルノデアリマス、政府ハ十三年度以降ノ豫算ノ編成ニ方リマシテハ、我ガ國民ノ經濟力ノ測定ヲ誤ラズ、十分愼重ナル考慮ヲ盡シマシテ、是ガ措置ニ對シ萬全ヲ期セラレンコトヲ、深ク政府ニ警告ヲ致スノデアリマス(拍手)

此二十八億圓ノ厖大ナル豫算ヲ審議スルニ方リマシテ、吾々ノ最モ心配ヲ致シタ所ハ、今後我國ノ財政ノ見透シガ果シテ如何ニ相成ルデアラウカト云フ點デアリマス、國債ノ總額ガ既ニ百億圓ヲ超エテ居ル、而モ每年度七億圓、八億圓ト云フガ如キ赤字公債ヲ連發シテ、漸ク辻褄ヲ合セテ居ルト云フガ如キ、我國財政ノ現狀ヲ眺メル時ニ於テ、何人ト雖モ我國ノ財政ノ將來ハドウナルデアラウカト云フコトヲ、心配ヲ致サナイ者ハナイデアラウト思フノデアリマス(拍手)吾々ハ結城大藏大臣ニ對シマシテ、政府當局ハ果シテ如何ナル見透シヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ質シ、之ヲ公表シテ、國民ヲシテ安心セシメ、我ガ社會不安ノ一大原因ヲ除去スルノ必要ヲ說イタノデアリマスガ、結城大藏大臣ハ、財政ノ見透シハ付キマセヌト言明ヲセラレタ、苟モ一國ノ財政ノ衝ニ當ラレル者ガ、財政將來ノ見透シガ付カズ、無計畫ノ財政ヲ行フト云フヤウナコトハ、是ハ實ニ容易ナラヌコトデアル、斯樣ニ考ヘマシテ、更ニ此見透シニ付キマシテ質問ヲ致シマシタル所、見透シガ付カナイ譯デハナイガ、其數字的ノ見透シハマダ付イテ居ラナイト云フ御答辯デアリマシタ、併シ財政ノ主ナ要素ハ數字デアリマス、將來ノ財政計畫ヲ數字ニ依ッテ之ヲ確立スルニ非ザレバ、財政ノ計畫ハ立ッテ居ルモノトハ見ラレマセヌ、此將來ニ對スル財政ノ見透シヲ付ケテ、一日モ速ニ國民ニ知ラシメ、之ニ依ッテ以テ國民ヲシテ現內閣ノ財政ニ信賴セシムルト云フコトガ、實ニ急務デアルト信ジマス、結城大藏大臣ガ財政ノ見透シヲ躊躇セラル、大ナル原因ヲ、私ハ想像致サナイデモナイノデアリマス、大イニ御苦心ノ存スル所ヲ十分御同情ハ申シテ居ルノデアリマスガ、財務當局ト致シマシテハ、何トシテモ萬難ヲ排シテ此見透シヲ付ケテ、之ヲ國民ニ告ゲナケレバ國民ハ安心ヲ致シマセヌ(拍手)社會不安ノ原因ヲ去リ、財界ノ安定ヲ期セシムルコトハ出來ナイノデアリマス、此問題ハ實ニ本期議會ニ於テ三回、四回繰返サレタル所ノ問題デアル、願クハ大藏大臣ハ次ノ議會迄ノ間ニ、此財政計畫ヲ確立シ、之ヲ堂々ト國民ニ發表セラレンコトヲ、今日ヨリ豫メ要望ヲ申上ゲテ置ク譯デアリマス(拍手)

我國ノ今日ノ財政ノ現況ハ、遺憾ナガラ之ヲ健全デアルト言フコトハ出來ナイノデアリマス、國債ノ總額ハ百億ヲ超エ、年々歲入ノ不足ノ爲ニ巨額ナル公債ヲ發行シテ、漸ク歲計ノ辻褄ヲ合ハシテ居ル現況デアル、而シテ歲出ハ近キ將來ニ於テ減少スル見込ノナイノミナラズ、大イニ增加セントスル形勢デアリマス、此狀態カラ判斷致シマスレバ、我國ノ財政ハ大ニ健全性ヲ缺イテ居リマス、之ニ對シテ何トカ根本的ノ更生ノ策ヲ講ジナケレバナラナイト云フコトハ、天下萬人ノ認ムル所デアリマス(拍手)此財政ノ健全性ヲ取戾スコトハ、別ニ妙案ハアルモノデハアリマセヌ、出來得ル限リニ歲出ヲ節約シテヤル、忍ビ得ル所ヲ飽マデモ忍ンデ、歲出ノ節約ヲヤルト同時ニ、大イニ歲入ノ增加ヲ圖ル、特ニ經常的ノ歲入ノ增加ヲ圖ルノ外ハナイノデアリマス、此經常的歲入ノ增加ヲ圖ルニハ、第一ニ增稅ガ考ヘラレマス、又官業收入ノ增加ト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、更ニ大ニ考ヘナケレバナラナイコトハ、大イニ產業ノ發展ヲ圖リ、之ニ依ッテ國富ヲ增加シ、國民所得ヲ增加シ、歲入ノ自然增加ヲ圖ラナケレバナラナイト云フ點デアルノデアリマス(拍手)何人モ口ヲ開キマスレバ、產業ノ發展ト云フコトヲ申スノデアリマス、ケレドモ其實案ハドウデアルカト云フコトヲ吟味致シマスレバ、頗ル空疎ナルコトガ多イ、漠然タル抽象論ニ終ルコトガ多イノデアリマス、歷代政府ノ爲ス所ヲ見マシテモ、實ニ一定ノ方針ヲ缺イテ居ル、八方美人デアル、アレニモ少シ、是ニモ少々ト云フヤウナヤリ方デアリマシテ、更ニ其焦點ガハッキリシナイノデアリマス(拍手)私ノ信念ヨリ致シマスレバ、我國ノ產業ノ隆興ハ外國貿易ノニ俟ツノ外ハナイノデアリマス、我國ハ位置カラ申シマシテモ、我國ノ天然資源ノ關係カラ申シマシテモ、何レノ方面カラ觀察致シマシテモ、外國貿易ヲ振興シ、國際貸借ヲ改善シ、全世界ニ雄飛スルコトヲ以テ產業獎勵ノ目標トセナケレバナラヌト信ジマス(拍手)併シ私ハ此處デ外國貿易論ヲ致サントスルモノデハアリマセヌ、ケレドモ一例ヲ擧ゲテ見レバコンナ問題モアル、ソコデ我國ノ產業ノ振興ヲ圖ルニハ、何カ大キナ目標ヲ定メテ、之ニ向ッテ官民全力ヲ擧ゲテ突進スベキデアル、アレモ宜シ、是モ宜シト云フヤウナ、總花主義デハイケナイト信ズルモノデアリマス(拍手)是ニ於テ私ハ政府ニ要望スルノデアル、政府ハ宜シク我國ニ於ケル產業ノ重要性ト產業ノ適應性トニ鑑ミ、綜合的產業政策ヲ確立シ、之ヲ大目標トシテ有ユル施設、有ユル指導ヲ行ヒ、全國民ヲ擧ゲテ突進シテ、此集中勢力ニ依ッテ以テ大イニ產業ノ興隆ヲ圖リ、以テ眞ノ健全財政ノ基礎ヲ作ルベシト申スコトデアリマス(拍手)是ガ卽チ我黨多年ノ主張デアル、單ニ增稅其他ノ增收ノミニ依リ財政ノ立直シヲヤルコトハ、非常ニ困難ナルコトデアル、此產業ノ發展ニ依ッテ眞ノ健全財政ノ目的ヲ達成スベキコトヲ要望スルモノデアリマス

政府ハ財政上臨時應急ノ措置トシテ、臨時租稅增徵法其他二三ノ新稅法ヲ明年度■

堅持ニナランコトヲ、衷心カラ御願シテ趣旨辯明ヲ終リマス（拍手）

○議長（富田幸次郎君） 大口喜六君

（大口喜六君登壇）

○大口喜六君 私ハ先刻豫算委員長ヨリ御報告ニ相成リマシタ決議ヲ附帶致シマシテ、只今議題トナッテ居リマス昭和十二年度歳入歳出豫算案外一件ニ對シマシテ、其全部ヲ認ムル者デアリマス、決議案ハ元、政民兩黨ノ共同提案ニナッテ居ルモノデアリマシテ、豫算總會ニ於キマシテモ、政友會カラハ木村正義君ガ此決議案ヲ提出サレタノデアリマスガ、民政黨ノ御提案ト同一文章デアリマスカラ、朗讀ヲ省略サレタノデアリマス、今日委員長ノ御報告カラ見マスト、ドウモ其處ガ徹底シテ居ラナカッタヤウニ考ヘマスカラ、一應此處デ此附帶決議ヲ念ノ爲メ朗讀致シタイト考ヘマス、附帶決議

一　年度内ニ使用セズト決定シタル金額ヲ豫算ニ計上スルハ違憲ナリ使用セズト決定セザルモ使用ヲ見合セント欲スル金額ヲ計上スルハ妥當ニ非ズ陸海軍經費中各々二千三百万圓ハ後者ニ屬スルモノナリトスルモ一時ノ變則ニシテ斷ジテ先例ト爲スヲ許サズ
政府ハ將來豫算ヲ編成スルニ當リ此ノ點ニ付嚴重ニ注意スベシ

二　政府ハ國民負擔ノ均衡ヲ圖ル爲中央地方ヲ通ズル税制ノ根本的改革ヲ行ヒ且地方財政調整交付金制度ヲ確立シ其ノ案ヲ次期議會ニ提出スベシ

三　政府ハ臨時地方財政補給金ノ配分方法ノ適正ヲ期スル爲メ官民雙方ヨリ成ル權威アル委員會ヲ設クベシ

四　近時檢事、司法警察官中法律命令ノ精神ニ違反シ人權蹂躙ノ事實アリ
政府ハ速ニ其ノ惡弊ノ根絶ニ關シ適切ナル方策ヲ樹立シ以テ國民ノ不安ヲ一掃スベシ

斯ウ云フノデアリマス、ソレデ私ガ先ヅ一應附帶決議ノ各條項ニ對シマシテ理由ヲ申述ベマシテ、ソレカラ更ニ進ンデ本豫算案全體ニ對シマスル意見ヲ、開陳致シタイト考ヘマス

附帶決議ノ第一項デアリマスガ、申ス迄モナク現内閣ハ去ル二月三日ヲ以テ、一先ヅ現内閣ノ提案ニ係ル昭和十二年度歳入歳出總豫算案竝ニ其他諸案ヲ撤回致サレマシタ、サウシテ同月十五日更ニ前内閣ノ提出ニ係ル豫算案ト、全然同一ノモノヲ提出サレタノデアリマスガ、結城大藏大臣ハ其後本會議ニ於キマシテ、其御演説中ニ、昭和十二年度歳出ニ於テ議會ニ提出シテアリマスル金額三十億三千八百五十餘万圓ノ中、約二億六千九百万圓ダケ、年度内ニ於テ使用ヲ見合セントスル考デアリマスト述ベラレタノデアリマス、次イデ政府ハ吾々ニ對シマシテ、昭和十二年度一般會計歳出實行見合セ經費調ト題スル印刷物ヲ渡サレマシテ、其各省別ノ金額ヲ示サレタノデアリマス、然ルニ現内閣ハ二月二十六日ニ至リマシテ、曩ニ提出サレマシタ豫算案ニ對スル正式ノ修正案ヲ提出サレマシタガ、ソレニ依リマスルト豫算ノ節減額ハ二億二千三百餘万圓デアリマシテ、藏相ノ御演説竝ニ曩ノ印刷物ニ較ベマスト四千六百万圓ノ相違ガアリマス、ソレハ申ス迄モナク、陸海軍兩省ノ見合額各〻二千三百万圓ヲ除外サレタル結果デアリマス、ソコデ起ル問題ハ此陸海軍兩省ノ見積額ハ、何故ニ其他各省ノ見合額ト區別シナケレバナラナイカト云フコトデアリマス、政府ノ説明セラルヽ所ニ依リマスルト、所謂軍事費ハ切詰メラレル所マデ切詰メタモノデ、何レノ款項ニ屬スル經費ノ使用ヲ見合スベキカハ、豫メ定メ難イ事情ガアル所カラ、豫算ノ各項目ニ亙リテ修正スルコトハ、不可能デアルト言ハレルノデアリマス、ソコデ考ヘネバナリマセヌノハ、假令如何ナル事情ガアルニ致シマシテモ、若モ此見合額ガ最初カラ其年度内ニ於テ使用セズト決定セラレテ居リマスル以上ハ、之ヲ豫算面ニ計上スルノハ明ニ違憲ト致サナクテハナリマセヌ、又豫メ使用セズト定ッテ居ラヌニ致シマシテモ、既ニ使用ヲ見合スベキ意思ヲ表示セル金額ヲ豫算ニ計上スルノハ、決シテ妥當ト申スコトハ出來マセヌ、即チ今度ノ問題ハ急激ナル政變ニ當リマシテ、短時日ノ間ニ豫算ヲ修正スベキ必要上カラ來タレル變則的行爲デアリマシテ、只今申シタ中ノ後者ニ屬スルモノデアルト考ヘマスガ、併シ此變則ハ決シテ前例ト爲スベキモノデハアリマセヌ、篤ト將來ヲ戒メネバナラヌノデアリマス、私共ハソレ故ニ深ク政府ニ此點ヲ警告致スノデアリマス

次ニ附帶決議ノ第二項ト第三項トヲ一括シテ説明致シタク存ジマスガ、申ス迄モナク我ガ國現時ニ於ケル國民負擔ガ不均衡デアリマスコトハ、實ニ著シイモノデアリマス、殊ニ地方税ニ於テ其最モ甚シイモノアルコトヲ認メマス、試ニ昭和十一年度ニ於ケル地方財政ノ狀況ヲ見マスルト、其歳入出總額ハ各〻十八億九千餘万圓デアリマシテ、其中租税收入ニ屬スルモノガ六億五千三百餘万圓デアリマス、ソレニ對シ國税豫算總額ハ、約九億二千三百万圓デアリマスガ、其實國税ノ過半ハ所謂間接税デアリマシテ、直接税ト見ラルベキモノハ其中約四億圓ニ過ギヌノデアリマス、然ルニ前ニ申シマシタ地方税六億五千万圓ハ、殆ド全部ガ直接税デアリマス、斯ウ云フコトヲ考ヘマシテモ、地方税ノ國民負擔ニ及ボシマス影響ハ、國税ヨリモ寧ロ甚ダ大ナルモノアリト考ヘラレルノデアリマス、斯ノ如ク地方税負擔ノ過重ニナリマシタ結果ト致シマシテ、殊ニ府縣ト府縣、都市ト農漁山村トノ間ニ於ケル不均衡ハ、次第ニ深刻化スルノミナラズ、近時我國ノ經濟情勢ガ、地域ニ依リ著シク跛行的ニ發展スル結果トシテ、所謂富ノ分布ハ其地域ニ依リテ、益〻甚シキ差異ヲ生ズルニ至ッテ居リマス、隨テ唯サヘ貧弱ナル農漁山村ハ益〻疲弊ニ趨キ、其負擔ニ堪ヘザラントスル狀況ニアリマス、之ニ對シマシテ前内閣ノ内務省地方局ハ、昨年十二月二十八日ノ官報附錄ニ於キマシテ、地方財政及税制ノ改革ニ付テ、斯ウ云フコトヲ言ウテ居ラレマス、即チ「地方税ノ輕減ニ依リ國民負擔ノ不均衡ヲ是正スルト同時ニ、一面各地方團體ニ對シテハ其必要トスル財源ヲ保障シ、地方財政ノ中軸トナルベキ獨立財源ハ努メテ之ヲ充實セシメ、尚ホ不足スル部分ニ對シテハ國庫ヨリ調整的ニ交付金ヲ補給シ、以テ總テノ地方團體ノ財政ノ確立ヲ期スルコトヽシタ」ト述ベラレテ居リマスガ、其趣意ニ於キマシテハ洵ニ私共多年ノ主張ト一致スル所ガアリマス、唯前内閣ニ依リマシテ發表セラレマシタ税制改革ノニ至リマシテハ、幾多重大ナル疑問ガアリマシテ、未ダ以テ其全部ニ贊成致シ兼ヌルモノガアリマシタガ、前内閣ノ總辭職ニ依リマシテ、實ハ其疑問ヲ質シ、意見ヲ交換スルノ機會ヲ失ッタノデアリマス、然ルニ現内閣ハ曩ニ前内閣ノ提出セル税制改革案ヲ撤回シ、之ニ代フルニ臨時租税增徴法ヲ以テセラレマシタガ、地方税ニ關シマシテハ全然白紙ニ還元サレルト同時ニ、内務省經常部ニ於テ前内閣ノ地方財政交付金二億二千万圓ヲ削除シ、其臨時部ニ於テ臨時地方財政補給金七千万圓ヲ計上セラレタノデアリマス、元來前内閣ノ地方財政ニ關スル施設ハ、戸數割ヲ初メ地方税廢減ノ財政トシテ、昭和十二年度ニ於キマシテハ、國庫カラ二億二千万圓ノ調整金ヲ支給スルト云フノデアリマシタガ、併シ其一面ニ於キマシテハ、國税ニ於テ約四億二千万圓ノ增税ヲ爲ス計畫デアリマシタコトハ、申スマデモナイノデアリマス、然ルニ現内閣ノ修正案ヲ以テ前内閣案ニ比較致シマスルト、ドウ考ヘマシテモ、槪シテ郡部ハ市部ニ比シテ均衡上、不利益ニナルコトハ、爭

フベカラザルノ事實デアリマス、政府ノ說明致シマス所ニ依リマシテモ、郡部ハ市部ニ比シテ三千七百万圓ダケ割合ガ惡クナルヤウデアリマスガ、此政府ノ算出方法ニ致シマシテモ、亦多少ノ疑問ガアリマス、勿論二億二千万圓カラ七千万圓ヲ差引キマシタ殘リノ一億五千万圓全部ガ、郡部ノ損失ニナルヤウニ考ヘマスノハ誤リデアリマス、併シ少クトモ郡部ニ於テ四千万圓内外ノ不均衡トナルベキコトハ、推斷スルニ難クアリマセヌ、此點カラ考ヘマスト今度吾々ノ要求ニ依リマシテ、政府ガ更ニ地方補給金三千万圓ヲ增額シ、補給金ノ總額ヲ一億圓トナスコトヲ言明セラレマシタコトハ、當然ノ處置デアルト考ヘテ居リマス、即チ之ニ依リマシテ幾分ナリトモ地方負擔ノ均衡ニ資セネバナラヌト、吾々ハ考ヘルノデアリマス、併シ是ハ謂ハバ唯應急的ノ手段デアリマシテ、決シテ根本的ノ方法デハアリマセヌ、要ハ中央地方ヲ通ジテ不均衡ナル税制ヲ根本カラ改メネバナラヌノデアリマス、而モ地方團體ニ對シマシテハ、何處マデモ自治ノ本體ヲ鞏固ニシ、其基礎ヲ確立セシムルコトガ大切デアリマス、隨テ前ニモ申シマス如ク地方財政ニ對シマシテハ、先以テ不均衡ナル税制ヲ改革スルト同時ニ、努メテ其中軸トナルベキ獨立財源ヲ、充實セシムルコトガ大切ダト思ヒマス、而モ尚ホ不足スル部分ニ對シテハ、國庫ヨリ補給金ヲ支出スルノ要アリト信ズルノデアリマス、政府ハ宜シク此點ニ深ク想ヒヲ致サレマシテ、次期議會ニハ必ズ其具體的方策ヲ當議會ニ提出セラレンコトヲ要望スル者デアリマス（拍手）更ニ差當ッテハ、此補給金ノ配分方法デアリマス、是ガ實ハ頗ル研究ヲ要スベキモノデアルト思ヒマス、假令府縣ト府縣トノ間ニ於テハ、如何ニモ均衡ヲ得テ居ルヤウニ思ハレマシテモ、偖テ其地方々々ニ就テ見マスルト、實ニ甚シキ不均衡ガアリマス、即チ富裕ナル府縣ノ一町村ト、貧弱ナ府縣ノ一町村トガ境ヲ接シテ居ル場合ナドハ、明瞭ニ其著シキ不均衡ヲ目擊致スノデアリマス、其隣接シテ居ル町村ト町村トハ、殆ド程度ニ於テ同一デアリマシテモ、其屬スル府縣ノ程度ニ依リマシテ、甚シキ利不利ガアルノデアリマス、又同ジ府縣内ニアリマシテモ、納税額ト人口等トノ關係ニ依リマシテハ、相當ナ市街地デアリマシテモ貧弱町ト認メラレ

（議長退席、副議長著席）

寂シイ農村ガ却テソレ以上ノ等位ニ置カレテ居ル實例ハ、決シテ少クアリマセヌ、是ハ實ハ机上ノ議論ダケデハ決シテ透徹致シマセヌ、而モ不幸ニシテ茲ニ缺クル所ガアリマスレバ、折角ノ補給金モ其效力ナキノミナラズ、却テ不均衡ヲシテ大ナラシムルノ虞ガアルト考ヘマス（拍手）私共ガ此事情ニ明カナル民間ノ權威者ヲモ加ヘマシテ、ソレニ關スル委員會ノ組織ヲ要求致シマスルノモ實ハ是ガ爲デアリマス

次ハ第四項デアリマスガ、之ニ付キマシテ他ノ諸君ヨリ、既ニ豫算委員會、其他ニ於テ相當ニ論議サレマシタノミナラズ、今後モ他ノ案ニ於テ論議サレル筈デアリマスカラ、此際私ハ說明ヲ略シマス、是デ附帶決議ニ付キマシテハ略〻說明致シマシタガ、是ヨリ私ハ本豫算案全體ニ付キマシテ聊カ意見ヲ述ベタイト考ヘマス

去ル二月十五日ヲ以テ現内閣ガ我ガ衆議院ヘ再提出致サレマシタ昭和十二年度歳入歳出豫算案ハ、前内閣卽チ廣田内閣ガ曩ニ當議會ニ提出致シマシタモノト同樣デアリマシテ、一般會計ニ於テ歳入歳出總額各〻三十億三千八百餘万圓デアリマスコトハ、既ニ前ニモ申述ベタ如クデアリマス、卽チ之ヲ前年度ノ實行豫算額ニ對照致シマスルト、約七億三千三百万圓ノ增加デアリマス、然ルニ現内閣ハ其後二月二十六日ヲ以テ此豫算ニ修正ヲ加ヘマシタコトハ、是モ前ニ申述ベタ如クデアリマスガ、其後三月三日ニ至リマシテ、政府ハ再度ノ修正ヲ行ヒマシテ、結局一般會計ニ於ケル歳入歳出ハ其總額各〻二十八億一千三百餘万圓トナッタノデアリマス、卽チ之ヲ前内閣ノ提案ニ比較致シマスルト、總計ニ於キマシテ二億二千五百餘万圓ノ減額トナッタ譯デアリマス、然ルニ試ミニ其内容ヲ見マスルト、陸軍省要求額七億二千七百餘万圓、海軍省要求額六億八千百餘万圓ハ、前内閣ノ豫算ト何等變リハアリマセヌ、唯其中ニ於テ各〻二千三百万圓ノ使用見合セヲ發表シテ居ラレルノニ過ギヌノデアリマス、而モ一方ニ於キマシテハ、國税ニ於テ二億六千九百餘万圓、關税ニ於テ二千二百餘万圓ノ增税ヲ實行スルコトニナッテ居リマスガ、是モ前ニ申ス如ク、所謂地方交付金トノ通リ拔ケ勘定、卽チ一億五千万圓ヲ除外シテ考ヘマスト、實ハ前内閣ノ增税案ト其金額ガ殆ド一致スルノデアリマス、其他煙草ノ値上ニ依ル增收額約二千五百万圓ニ致シマシテモ、印紙税等ノ改正ニ依ル增收ニ致シマシテモ、廣田内閣案ト大キナ相違ハナイヤウニ思ハレマス、サウシテヤハリ七億七千二百万圓ノ公債ヲ發行セネバナラヌコトニナッテ居ルノデアリマス、元來我國現時ノ財政ニ於キマシテ、最モ憂慮サレテ居ル所ノモノハ、歳出ノ激增ニ對シテ歳入ノ伴ハザル點デアリマス、勿論假令歳出ハ增加致シマシテモ、當然的ニ之ニ伴フベキ歳入ノ增加ガアリマスレバ、何等憂フルニハ當ルマイト考ヘマス、併シ今日ノ現狀ヲ以テ致シマスレバ、茲ニ著シク歳入出ノ不均衡ガアルノミナラズ、斯ル狀態ガ此後果シテドレダケ繼續スルノカ、其見透シサヘ付カヌト云フノデアリマス、是デハ到底國民ノ安心ヲ得ラルベキ所以デハアルマイト考ヘマス、實ハ國民生活ノ安定ト云フコトハ、何時ノ内閣デモ申シテ居リマス、是ハ申スマデモナク政治ノ要諦デアルト考ヘマス、現内閣モ亦ソレヲ强調致シテ居ラレマスガ、併シソレガ爲ニハ何ト申シマシテモ、先以テ國家財政ノ基礎ガ安定シナクテハナラヌト思ヒマス、歳出ハ何處マデ激增スルノカ、而モ歳入ハ之ニ伴ハズ、增税ニ加フルニ依然トシテ赤字公債ヲ以テシ、尙且ツ其先ノ見透シサヘ付カヌト云フコトデアリマスレバ、縱令百万言ヲ費スト雖モ、決シテ國民ハ衷心ヨリ納得スルモノデハアリマセヌ（拍手）此點カラ申シマスト、前内閣ノ豫算モ現内閣ノ豫算モ、實ハ結論ニ於キマシテハ五十歩百歩デハナカラウカト考ヘマス、結城大藏大臣ノ御説明ヲ承リマスト、前内閣ノ豫算ニ削減ヲ加ヘラレマシタノハ、主ニ物價ノ騰勢ヲ抑制スル一ツノ手段デアッタモノト考ヘマス、然ルニ其豫算ノ削減額二億二千五百餘万圓中、一億五千万圓ノ交付金ハ、前ニ申シマシタ如ク、所謂通リ拔ケ勘定デアリマシテ、歳入ニ於テソレダケノ增税額ヲ減ジタ代リニ、歳出ニ於テ地方財政調整交付金ヲ減額シタト云フノニ過ギヌノデアリマス、卽チ取ルモノヲ減ジタト同時ニ、與フルモノヲモソレダケ削ッタノデアリマス、サウシテ其結果ハ偶〻以テ地方ト都會トノ不均衡ヲ大ナラシムルコトトナッタニ過ギヌノデアリマス、サウ考ヘマスト、實際ノ削減額ハ僅ニ約七千五百万圓デアリマシテ、之ニ陸海軍兩省ノ見合セ額四千六百万圓ヲ加ヘマシテモ、其節減額ハ一億二千百万圓バカリニ過ギヌノデアリマス、三十億圓餘ノ豫算額中、僅ニ一億二千万圓ノ削減ヲ行ッテ、ソレデ我國ノ物價騰貴ガ抑制サレルト云フノハ、少シク疑問デアリマスガ、併シソレガ確ニ國民的心理ニ投ジタコトハ、事實デアッタト思ヒマス、由來此世ノ中ノコトハ如何ナル良法ト雖モ、急激ナル變化ハ何處ニカ惡影響ヲ齎スモノデアリマス、假令前内閣ノ財政方針ガ已ムヲ得ナカッタト致シマシテモ、前年度ノ豫算額二十三億五百万圓ニ比シ、今年度ノ三十億三千八百万圓ハ、我國ノ現狀ニ於テ

如何ニモ急激ナル變化デアリマス、是デハ國民ヲシテ何トナク不安ノ念ヲ起サシムルコトニナリマス、卽チ物價ノ騰貴來ヲ思ハシメタノモ、免ルベカラザル所デアッタト考ヘマス、サナキダニ世界ハ物價騰貴ノ趨勢ニアリマス、ソコヘ此急激ナル財政ノ膨脹デアリマス、而モ我國ノ現狀ニ於テ、生產力ハ到底此豫算ヲ消化スルニ不足デアルト見ラレテ居リマス、サスレバ輸入ノ增加ハ必然デアルト考ヘラレマスルガ、更ニ一月八日ノ爲替管理强化ニ關スル省令ハ、一層國民ノ心理ヲ刺戟致シタモノト思ヒマス、ソレニ政府ハ既ニ昨年ニ於テ煙草ノ値上ヲ行ヒマシテ、物價騰貴ノ範ヲ示スヤウナコトヲ致シテ居リマス、ソレノミナラズ前內閣ノ增稅案中ニハ、必ズヤ物價騰貴ノ趨勢ヲ誘導スベク思ヘル、モノガ少クアリマセヌ、サウナルト思惑ノ自ラ物價騰貴ニ向フノモ、亦當然ノ趨向デアッタモノト存ジマス、此結果ハ果シテ何處ヘ行ッタノデアリマセウカ、或ハ物價取締令ノ發動サヘ見ルデアラウカト噂サレタノデアリマス、ソコヲ看取サレタル結城藏相ガ、先以テ豫算ニ削減ヲ行ヒ、且ツ稅制ニ一大修正ヲ加ヘ、以テ人心ノ轉換ニ資セント致サレマシタコトハ、應急ノ措置トシテ恐ラクハ當然デアッタカト考ヘマス、然ルニ其豫算修正ノ事蹟ヲ檢討致シマスト、ソコニハ又所謂結城財政ニ少カラザル矛盾ヲ發見スルノヲ遺憾ト致シマス

第一ニ現內閣ガ削除サレタル經費二億二千五百万圓中、前內閣ガ見テ以テ國民生活ノ安定費トナシタモノガ決シテ少クアリマセヌ、其中地方財政交付金ニ付テハ、既ニ前ニ述ベタル如クデアリマスガ、其他災害防除對策費ノ如キ、農山漁村經濟ノ更生振興費ノ如キ、中小商工業振興施設費ノ如キ、保健及ビ救護施設擴充費ノ如キ、實ニ枚擧ニ遑ナキ程デアリマス、ソレノミナラズ多年吾々ノ要望セル砂防工事ニ關スル經費ヲ削除シ、又ハ河川ノ改修、港灣ノ修築、道路ノ改良ニ關スル經費ヲ削減又ハ繰延ベタルガ如キハ實ニ思ハザルノ甚シキモノデアルト私共ハ考ヘマス(拍手)是デハソレデナクテモ疲弊セントスル地方ヲシテ、益〻窮乏ニ落サシメントスルモノデアリマシテ、間接直接ニ國民生活ノ安定ト相逆行スルモノデアルト申サネバナリマセヌ(拍手)思フニ前內閣ノ十四億圓ノ軍事費ニ對シ、已ムヲ得ザルモノト認メ、之ヲ豫算ニ計上スル以上ハ、多少ナリトモソレト相竝行シテ國民ノ生活安定、竝ニ一般產業ノ振興ニ對シテ、施設スル所ガナクテハナラヌト考ヘラレタモノデアルト推察致シマス、果シテ然リトスレバ、所謂其狙ヒ所ハ決シテ誤ラナカッタノデアラウト思ヒマス、唯人ヲシテ如何ニモ急激ナ變化ヲ思ハシメル所ガアリマシタノハ、洵ニ千慮ノ一失トモ言フベキモノデアラウカト考ヘマス、然ルニ現內閣ハ其弊ヲ矯正センガ爲ニ、却テ地方ヲ閑却セルノ嫌ガアリマス(拍手)是ハ洵ニ憂フベキノ現象デアルト言ヘネバナリマセヌ、前ニモ申ス如ク十四億圓ノ軍事費ヲ認ムル點ニ於キマシテハ、現林內閣モ亦前內閣ト變リハアリマセヌ、之ヲ認ムル以上ハ、愈〻此豫算ノ實行サル、場合ニ於テ、益〻軍事的工業ノ發展スルノハ當然デアリマス、而モ我國ノ現狀ニ於テ、其生產力ガ果シテ之ニ應ジ得ラル、ヤ否ヤ、結城藏相モ既ニ過日ノ議場ニ於キマシテ、ソレニ對スル大ナル疑ヲ告白シテ居ラレマス、然ルニ我國ニ於ケル生產力中、所謂消費財ニ關スル部分ニ於キマシテハ、倘ホ相當ニ餘剩アルモノト私共ハ考ヘテ居リマス、懸念サル、ノハ專ラ軍需財乃至生產財ノ生產力デアリマス、假ニ軍需財ノ生產力ヲ陸海軍ノ工廠ニ於テ十分ナリト致シマシテモ、其軍需財ノ原料タルベキ資材ノ供給、又ハソレ等生產設備ノ擴張ニ要スル資材ノ必要ヲ考ヘマスト、結局今後ニ於ケル輸入ノ增加ハ免ルベカラザルノ歸結デアルト考ヘラレマス、スレバドウシテモ爲替ノ下落ニ思ヒ及バネバナリマセヌ、ソコデ馬場前藏相ハ、ソレニ對スル法令ノ强化ヲ以テ、ソレヲ統制ショウトサレタモノト思ヘレマスガ、今ノ結城藏相ハ、其裏ヲ行ッテ金ノ現送ヲ企テラレタモノト考ヘマス、私ハソレニ付テモ茲ニ一言ダケ申シテ置キマスガ、我國ノ現在ニ於キマシテ、少シバカリノ金ヲ現送致シマシタトテ、强ヒテ憂フルニハ及バヌト思ヒマス、併シ是ハ極メテ經濟上重大ナル問題デアリマス、理由等ハ申シマセヌガ、其方法ト時期、ソレカラ數量ニ付キマシテハ、今後極メテ愼重ナル考慮ヲ拂レタイモノデアリマス、動モスレバ、例〻以テ輸出ヲシテ減退セシムルヤウナコトガナイトハ限リマセヌ、申スマデモナク、此上爲替ノ下落スルコトハ宜シクアリマセヌガ、サリトテ又爲替ノ急騰スルコトモ極メテ禁物デアリマス、ソレト同時ニ內地ニ於ケル通貨ノ統制力ニ付テモ考フル必要ガアリマス、斯ウ云フコトヲ結城藏相ニ申シマスルノハ、所謂釋迦ニ說法デアリマセウガ、極メテ重大デアリマスカラ、私共ノ意ノアル所ダケハ此處ニ明ニ致シテ置キタイト思ヒマス

ソコデ更ニ考ヘナケレバナリマセヌノハ、軍需工業以外ノ所謂一般產業デアリマス、軍需工業ノ發展モサルコトデアリマスガ、ソレガ爲ニ一般產業ガ壓迫サレルヤウナコトガアリマシテハ、ソレコソ實ニ容易ナラザル惡影響デアリマス、殊ニ軍需工業ハ前ニモ申ス如ク、多クハ固定セル所ノ性質ヲ有シマス、隨テ一般消費財ニ對スル工業ニ比シテ、其資本ノ回轉度數ハ餘程少イモノデアルト見ナケレバナリマセヌ、申スマデモナク增稅又ハ專賣品ノ値上ハ、政府ノ力ニ依ッテ一般國民ノ懷ロカラ資金ヲ中央ヘ吸收スル結果トナリマス、サウシテソレガ回轉度數ノ極メテ少イ工業ニ投ゼラレルコトトナリマスレバ、民間ノ資金ハ次第ニ壓迫サル、、道理デアリマス、隨テ何トカシテ其資金ヲ民間ニ還元スルコトノ考ガ大切デアルト思ヒマス、然ラザレバ極メテ少數ナル大都市ノ關係當局者ノミガ、惠マレルコトトナリマシテ、大多數ノ國民、殊ニ農漁山村竝ニ中小商工業者ハ、益〻其窮乏ニ苦シムニ至ラウト吾々ハ考ヘザルヲ得マセヌ(拍手)實ハ中央地方ヲ通ジテノ稅制改革ニ致シマシテモ、產業ノ振興策ニ致シマシテモ、今日ノ場合ハ結局目標ヲ此處ニ置カナクテハナラナイト信ズルモノデアリマス(拍手)實ヲ申シマスト、我國ノ家庭的組織ハ殆ド世界ニ類例ガ少イノデアリマス、ソレニ依ッテ世界ニ特殊ナル中小工業、又ハ家庭的工業ガ發達シテ居リマスノガ實ニ我國デアリマス、隨テ今日ノ場合ハ益〻ソレガ發達ヲ圖リ、例ヘバ部分工業ノ如キ、時代ニ適應セル產業ニ對シ、所謂農漁山村ニ於ケル餘剩勞力ヲ利用スル等、之ヲ現代化スルコトガ大切ダト考ヘマス、又現ニ現代化シツ、アルモノモ少クナイノデアリマス、私ハ一層之ニ力ヲ注グコトガ、極メテ重大ナル現政府ノ一責任デアルト考ヘテ居リマス(拍手)我國ノ現狀カラ申シマスト、軍需工業ノ發展ト同時ニ、マダ〱滿洲ニハ事業ガ起ラネバナラヌト思ヒマス、スレバ之ニモ投資ハ行ハレネバナリマスマイ、サウ考ヘマスト顧ミテ益〻內地ニ於ケル一般的經濟力ノ發展ニ、留意致サネバナラヌト考ヘマス、サウシテ一般國民ノ富力增進ノ爲ニハ、何ト申シマシテモ地方、殊ニ農漁山村ノ振興ヲ必要ト致サナクテハナリマセヌ、是ガ出來テサヘ參リマスレバ、公債ノ續ク位ハ私ハサノミ惧レルニ當ラヌカト考ヘマス(拍手)ソレカラ更ニ注意セネバナリマセヌノハ、今後發展シマス所ノ軍需工業ノ將來デアリマス、斯ル事業ハ何時シカ所謂飽和ノ時ガ來ナクテハナリマセヌ、結局ハ戰爭カ恐慌カト云フヤウナコトガ言ハレマスガ、私ハ決シテ其ノ言葉ヲ無稽ノ形容詞トハ思ヒマセヌ(拍手)實ニ今日カラ深ク此事ハ考慮スベキ重大ナル問題デアルト考ヘテ居リマス、過日結城大藏大臣ハ、ソレニ對スル私ノ質疑ニ答ヘラレマシテ、軍部ニ於カレマシテモ其時ノ轉換方法ニ付テ、考ヲ持ッテ居ラレルヤウニ申サレマシタガ、勿論サウナクテハナラヌ筈デアリマス、併シ事實ハ決シテ机ノ上デ申スヤウナ容易イコトデハナカラウト考ヘマス、サウ云フコトデアル、ナラバ明日ト言ハズ、今日只今カラ既ニ其覺悟ヲ持ッテ進マレネバナラナイト私ハ深ク考ヘテ居リマス、是等ノ諸點カラ考ヘマスト、先刻モドナタカラカ御話ガアリマシタ如ク、私モ此豫算中ニハ不滿ノ點ガ決シテ少クアリマセヌ、唯私共ハ今日所謂大局ニ立脚スルコトノ大切ナルコトヲ考フル者デアリマス(拍手)私共ガ茲ニ嚴重ナル監視ノ下ニ、嚴格ナル條件ヲ附帶致シマシテ、更ニ意見ヲ盡シテ本案ニ贊成致シマスノモ、實ハ是ガ爲メデアリマス、私ハ之ヲ以テ終リト致シマス(拍手)

○副議長(岡田忠彥君)　中村三之丞君

(中村三之丞君登壇)

○中村三之丞君　只今上程中ノ昭和十二年度總豫算各案ニ對シマシテ、委員長報告通リ贊成ノ意ヲ表明スル者デアリマス、所謂豫算組替返上論ハ自己ノ理論ニ囚ハレ、而モ責任ヲ回避セントスルモノニ過ギナイノデアリマス(拍手)更ニ實際ニ於キマシテハ豫算ノ不成立ノ結果ヲ招クノデアリマスルカラ、時局ノ重大性ニ鑑ミマシテ、之ニ到底贊成ノ意ヲ表スルコトハ出來ナイノデアリマス、我黨ハ夙ニ財政、國防、產業三全主義ヲ唱道シ、其理想ノ實現ニ努メツ、アルノデアル、「吾々ハ此見地ニ立ッテ林內閣ノ豫算案ノ認ムベキハ之ヲ認メ、主張スベキハ强ク主張シ、更ニ警告ヲ與ヘテ居ルノデアル、陸軍海軍ノ四千六百万圓ノ見合セ額ノ如キハ、削除スベキガ當然デアッテ、同志ヨリモ强硬意見ガ出タノデアリマスルガ、吾々ハ時局ノ重大性ニ鑑ミ、且ツ大藏大臣ノ決心ヲ諒トシテ、是等ニ向ッテ警告ヲ與ヘ、贊成ヲ致シテ居ル次第デアリマシテ、更ニ吾々ハ政府ニ向ッテ、根本的對策ノ實行ヲ要求シ、以テ現下ノ時局ニ對處シ、國家ノ興隆ニ資セントスル次第デアリマス

最近或ハ高橋財政、馬場結城財政ナゾト、一ツノ社會通念乃至社會常識トナリツ、アルヤウデアル、而モ馬場財政ハ高橋財政ヲ修正シ、結城財政ハ馬場財政ヲ修正是正シテ居ルモノ、如クデアル、併ナガラ其是正乃至修正ノ間ニ間隙ヲ生ジ、或ハ前進シ、或ハ後退シ、ソコニ一貫セル財政政策ノ存在セザル感ヲ國民ニ與ヘツ、アルコトハ、吾々ノ洵ニ遺憾トスル所デアリマス(拍手)隨テ議會ハ例ヘバ交付金ニ對シマシテモ三千万圓ノ增額ヲ爲シタ、斯樣ナル態度ニ出ルコトガ、或ル意味ニ於テ私共議會ノ使命デアルト思フノデアル、之ヲ以テ政治取引ト爲スガ如キハ、餘リニ僻ミ根性デアルト言ハナケレバナラナイノデアル(拍手)

併シナガラ吾々ガ結城大藏大臣ニ希望シ要求シナケレバナラナイ點ハ、唯結城大藏大臣ノ修正方針ガ、勝正憲氏ノ言ハレマシタ如ク、唯漫然タルモノデアルト云フコトデアル、例ヘバ二月十五日ノ本會議ニ於キマシテ、「私ハ形ノコトハ餘リ能ク存ジマセヌガ、兎ニ角澤山使ハナケレバ宜イヂヤナイカ、斯ウ云フ議論デアリマス」ト明白ニ答ヘラレテ居ルノデアル、一見率直ナル言明ノ如ク見エルノデアリマスケレドモ、苟モ一國ノ大藏大臣ニシテ先任者ノ編成セル豫算ヲ修正セラレル以上、一定ノ方針ト計畫竝ニ是ガ實現ヲ期スル熱意トガ、ナケレバナラナイ筈デアル、結城藏相ハ就任日淺キニ藉ロシテ、國民ノ熱望スル負擔ノ均衡ヲ目的スル根本的稅制ノ改革ヲ後廻シニ致サレタノデアル、農山村又ハ漁村ノ過重ナル負擔ヲ輕減スルニ、特ニ意ヲ用ヒツ、アリト稱シツ、、七千万圓ノ地方補給金ヲ以テ十分ナリトシ、議會ノ要求ニ依ッテ初メテ增額ヲ決意シタルガ如キハ、大藏大臣ノ農山漁村ニ對スル認識ニ對シテ、私共ハ缺クル所アリト言ハナケレバナラナイノデアリマス(拍手)更ニ中小商工業者ニ對シマシテハ、其振興ヲ策スル爲メ、不斷ノ注意ヲ拂フノ必要アリト明言セラレツ、、商工組合中央金庫出資拂込金三十万圓、工業組合共同施設費補助十二万五千圓、下請工業助成金三十万圓ヲ削除致シテ居統計調査費補助二十五万圓ヲ削減シ、商工業ラレルノデアル、金額小ナリト雖モ是等ガ現下我國ノ中小商工業者ノ振興ニ對シテ、非常ナル力ヲ與フルモノデアルトスルナラバ、是等ヲ漫然トシテ削除削減セラレマシタル大藏大臣ノ、我ガ中小商工業者ニ對スル眞意那邊ニ在ルカヲ、吾々ハ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)故ニ吾々ハ斯ル盲目的修正ニ遺憾ノ意ヲ表シ、將來ノ對策ヲ要望スルノデアリマス

財政ト經濟トノ調和連繫ハ、特ニ此際最モ吾吾ノ力說シ、政府ニ向ッテ警告シ、要求ヲシナケレバナラナイ所デアル、物價抑制ニ對シテ豫算ノ關係ヲ滑カナラシメントスル大藏大臣ノ意圖ハ、吾々諒トシマスガ、若シ物價ノ騰貴ガ豫算ノ急激ナル增加ニアリトスルナラバ、政府ノ購買力、卽チ政府ノ物資需要ノ點ニ向ッテ、相當ノ考慮ヲ加ヘテ行カナケレバナラナイ筈デアル、然ルニ一般會計ハ只今先輩ヨリ申サレマシタガ、例ヘバ特別會計ニ於キマシテモ鐵道省、遞信省ノ如キ、最モ物資ヲ要スル點ニ向ッテモ、相當ノ考ヲセラレナケレバナラナイ筈デアル、鐵道省ハ三百三十万圓、遞信省ハ六百万圓ノ見合セ額ニ過ギナイノデアル、若シ豫算ノ急激ナル膨脹ガ所謂物價騰貴ヲセシムルト言フナラバ、是等ノ物資ヲ需要スル所ノ官廳ノ豫算ニ對シマシテモ、倘ホ一層ノ考慮ヲセラルベキガ當然デアッタラウト私ハ思フノデアル

次ニ大藏大臣ハ議會ニ於ケル答辯ニ於テ、歐米ニ於ケル景氣回復竝ニ軍備擴張ガ、世界的ニ物價ノ騰貴ヲ促シツ、アルト言ハレテ、政府ノ物價問題ニ對スル新ナル見解ヲ示サレテ居リマス、若シ世界物價ノ騰貴ガ我ガ經濟ニ影響ヲ與ヘルモノデアルトスルナラバ、是等ニ對シテ如何ナル方策ヲ以テ對應スベキカト云フコトニ付テハ、何等大藏大臣ハ吾々ニ示サレテ居ラナイノデアル、又最近ニ於ケル物價騰貴ノ尖端ハ、何人ト雖モ常識的ニ知悉スルガ如ク、軍需品ニ依ッテ切ラレテ居ルノデアル、鋼材ノ如キハ約十八割ノ暴騰デアリマス、固ヨリ是等ハ世界的鐵飢饉、銑鐵輸入ノ不圓滑等ニ因ルモノデアリマスケレドモ、思惑買惜ミヲ助長シタル我ガ配給組織ノ不完全ニ原因スル所、多大ナルモノアリト言ハナケレバナリマセヌ、單ニ鋼材ノミデハアリマセヌ、一般商品ノ配給組織ノ完備ノ爲ニ、物價抑制手續ノ上ニ於テモ、政府ハ相當ノ對策ヲ講ジナケレバナラナイ筈デアル、然ルニ吾々ハ之ニ對シテ何等政府ノ對策ニ接シテ居ラナイノデアル、爲替ノ動搖ガ、國內物價ニ影響ヲ及ボシマスコトハ申ス迄モアリマセヌ、去ル一月八日大藏省令第一號ニ依ル爲替管理ノ强化ハ、原料ノ輸入ヲ不便ナラシメ、延イテハ輸出ノ伸張ヲ阻ムコトハ、我國貿易ノ事情ヨリシテ考慮ヲ要スルノデアル、併ナガラ現在ノ爲替水準ヲ維持シ、爲替惡化ノ國內經濟ニ影響ヲ及ボスコトヲ防止セントスルナラバ、爲替管理法ノ運用ニ、深甚ノ注意ヲ要スルモノアリト信ズルノデアル、馬場財政ハ二十一億ニ上ル公債ノ低利借換斷行、低金利ノ採用、銀行合同ノ遂行、大藏省預金部ノ短期資金市場ヘノ連繫ヲ圖リ、既ニ急進的ニ金融統制ニ出デントスル姿勢ヲ示サレタノデアル、結城藏相ハ此際之ヲ修正シ、自然的ニシテ急激ナル人爲手段ヲ避ケ、一種ノ誘導的金融政策ヲ目標トシテ居ラル、ヤウデアル、斯ル藏相ノ政策ハ如何ナル結果ヲ生ズルカ、洵ニ將來ニ屬スルト言ハナケレバナリマセヌ

併シ吾々ハ此際主張シナケレバナラナイコトハ、是ハ銀行合同方針デアル、馬場前藏相ノ銀行合同方針ガ、金融機關ノ健全性ヲ圖ル爲ニアッタト云フ點ニ於テハ、吾々モ認メル所デアリマスケレドモ、一方却テ地方金融財閥ヲ結成セシメ、地方金融ガ中小商工業者ニ打撃ヲ與ヘタコトハ、是ハ斷ジテ否定スルコトハ出來ナイノデアル、故ニ吾々ハ現存セル地方中小銀行ヲ守立テ、以テ地方ニ於ケル中小産業者ニ對スル金融ノ便ヲ圖ラシメルコトガ、最モ適切ナル銀行政策デアルト言ハナケレバナリマセヌ

公債ノ消化ハ豫算ノ實行上、洵ニ重大性ヲ有シテ居ルノデアル、高橋藏相ノ傳統政策デアル公開市場政策ハ、恐ラク其操作ノ完全ヲ示シテ、現大藏大臣ニ依ッテ採用セラル、デアリマセウ、而シテ我國ニ於ケル内國債所有者ノ分布狀態ヲ見マスルニ、銀行四十億圓、預金部二十億圓、信託會社竝ニ保險會社ハ約四億五千万圓、政府關係共濟組合約一億九千万圓、簡易生命保險約一億四千万圓、其他一億四千万圓ヲ保有致シテ居ルノデアル、大藏大臣ハ公債ノ消化ハ財政ニ對スル信用ニ依ルモノナリト言ハレタコトニ對シテ、私共ハ不同意ヲ表スル者デハアリマセヌ、洵ニ其通リデアル、併ナガラ是ト同時ニ公債ニ應ズル國民全般ノ資力竝ニ部門ト云フコトニ付テ、考慮スル要ガアルト私ハ思フノデアル、公債消化ノ方策トシテ、預金部、簡易生命保險、信託會社竝ニ保險會社、政府關係共濟組合等ニ公債保有ヲ増加セシメル工作ヲ施スベキ餘地ハ、尚ホ私ハ十分存スルト思フノデアル、政府ガ郵便局ノ窓口ヨリ公債ヲ賣出シ、所謂公債ノ民衆化ヲ圖ラレントスルコトハ適切ナル手段デアル、併ナガラ徒ラニ事務費乃至宣傳費ヲ要シテ、效果ノ擧ラナイ場合ナキヤウ、之ニ對シテハ萬全ノ對策ヲ要求セザルヲ得ナイノデアル、我國ノ金融機關ハ所謂銀行タル中央銀行、特殊銀行、普通銀行、農工銀行等、系統的ニ今日ノ發達ヲ示シテ居ルノデアル、吾々ハ金融機關ノ公共性ノ發揮ト、産業ノ助長發達ニ寄與スル使命ヲ完全ナラシメ、時代認識ヲ新ニシテ、政府ノ指導ト監督ノ必要ヲ認メル者デアリマス、豫算ノ消化ハ生産費ノ擴充ニ依ルモノデアリ、生産力ノ擴充ハ活潑ナル金融機關ノ機能發揮ニ依ルモノデアルト云フナラバ、此際吾々ハ此感ヲ深ク致スノデアリマス、殊ニ重工業ノ發展、國防經濟ノ完成ノ上ニ於キマシテハ、興業銀行等ノ劃期的活躍ヲ私共ハ希望シ、之ヲ緊要ト認メルノデアリマス、併ナガラ最近是等ニ關シテ、日本銀行ノ條例改正ニ絡ンデ種々ナル論議ガ行ハレテ居ルノデアリマス、大藏大臣ハ是等ニ對シテ議會ニ於テ、世間ニ傳ヘラレテ居ルガ如キ改正ハ、自分ハ行フモノデハナイト言明致シテ居ラレルコトハ、洵ニ至當ナル答辯デゴザイマシテ、吾々ハ現在ノ長期産業資金ノ擴充ハ、之ヲ大イニ行ハナケレバナラヌト信ジマスケレドモ、日本銀行ハ日本銀行ノ本然ノ使命ニ則ッテ、其範圍ヲ脱セナイヤウナ注意ヲ致スト云フコトガ、目下ノ急務デアルト私共ハ考ヘザルヲ得ナイノデアル

再軍備、卽チ通俗ニ謂フ國防充實ハ、洵ニ世界的現象ノヤウデアリマス、是ニハ三ツノ部面ガアリマス、第一ハ軍備ノ機械化乃至化學化デアリ、第二ハ國防産業ノ勃興デアリ、第三ハ所謂其國家ノ環境ニ應ズル自主的軍備ノ强化ト云フコトデアル、大體斯ノ如キ三ツノ部面ヲ以テ、現在世界ニ於ケル再軍備ハ進ミツヽアルヤウデアル、我國ニ於テ軍事費ガ相當以上ノ増加ヲ致シテ居ルコトハ申ス迄モアリマセヌ、加之吾々ノ深ク玆ニ考ヘナケレバナラヌ點ハ、現在ノ軍備ト云フモノガ、一國ノ經濟力ト經濟組織ト連繋スルニ至ッタト云フコトデアリマス、卽チ國防經濟ノ形態ヲ執リツヽアルト云フコトデアリマス、殊ニ軍部兩省ノ顯在的軍事費、是ノミニ止マラズシテ、例ヘバ商工省ニ於ケル燃料政策、鐵鋼政策ニ關スル經費、或ハ遞信省ニ於ケル海運事業、航空事業ニ關スル經費ノ如キハ、是ハ一面ニ於テ平和産業ニ寄與スル經費デゴザイマスルガ、他面ニ於キマシテハ隱レタル軍事費、卽チ潛在的軍備費デアルト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、斯ル顯在的乃至潛在的軍備費ガ、人間ノ人的要素ト同時ニ、厖大ナル物質的要素ヲ求メツヽアルト云フコトニ、吾々ハ深ク注目シナケレバナラナイノデアリマス、是ハ我國ノ陸海軍ノ豫算ヲ見マシテモ、或ハ海軍ニ於ケル艦船、兵器、機械等ノ費用ノ増加、陸軍ニ於ケル物件費ノ増加ノ如キハ、過去數年間ニ於テ約五倍以上ニナッテ居ルト云フコトニ於テ明白デアリマス、卽チ是ニ於テ問題トナリマスル所ハ、國防産業ト云フモノノ地位如何ト云フコトデアリマス、卽チ我ガ國民經濟ニ於ケル此國防産業ノ地位如何、將來如何ト云フコトデアリマス、最近ノ例ヲ見マスルニ、軍工業ニ關スル新ナル資本ノ計畫ハ、昭和六年ノ五千五百万圓ヨリ、昨年ハ二億万圓ヲ突破シテ居ルト云フ狀態デアリマス、併ナガラ我國ノ現在ノ經濟ノ資力ヲ以テ致シマシテモ、此重工業ニ關スル輸入品ト云フモノハ、相當以上ノ金額ヲ示シテ居ルノデアリマス、貿易月報第十四、第十五、第十六類ヲ併セマシテ考ヘマスルナラバ、最近ニ於キマシテ重工業ニ關スル貿易ニ於テ輸入セラレタル金額ハ、大體五億万圓ニ上ッテ居ルノデアリマス、固ヨリ是等ニ關スル輸出モアリマスルケレドモ、輸入超過ト云フモノガ、此重工業關係ニ於テ二三億以上ニ及ンデ居ルト云フコトデアリマス、若シ此點ガ我ガ國内ニ於ケル國防産業ノ擴充ノ爲ニ、尚ホ其拍車ヲ掛ケルニ至リマシタナラバ、玆ニ所謂貿易上ノ「バランス」ニ相當ナル異狀ヲ呈スルト云フコトニナラザルヲ得ナイノデアリマス、隨テ私共ノ考ヘル點ハ、斯ル國防産業ノ我國ノ經濟上ニ於ケル地位ニ鑑ミマシテ、之ニ對應スル所ノ策ヲ立テナケレバナラナイ、或ハ内外資源ノ確保ト、原料國策ノ實施、有期産業資金ノ確保等ヲ具體化シナケレバナリマセヌ、併ナガラ何レガ國防産業ナリヤ、何レガ平和産業ナリヤト云フコトハ、劃然タル區別ハ不可能デアリマス、或ハ自動車ハ平素ニ於テハ交通ノ利便ヲ圖ル所ノ平和産業デアリマス、併ナガラ一朝事有ル場合ニハ、是ハ戰場ニ持ッテ行カレルノデアリマス、故ニ今日國防産業、平和産業ト、劃然タル區別ハ付ケ得ナイ點モアルト思ヒマスケレドモ、少クトモ吾々ハ現在ノ日本ノ狀態ニ於テ、國防産業ノ確立ヲ圖ルトスルナラバ、同時ニ平和産業ヲ確立セシメ、平和産業ト國防産業ノ連繋ヲ密接ニシテ、玆ニ所謂軍事費ト云フモノノ消化ガ豫算ノ上ニ於テ最モ圓滿ニ行ハレ、生産ノ上ニ於テ最モ圓滿ニ行ハレルト云フ方策ヲ立テルコトガ、私ハ最モ必要デアルト思フノデアリマス(拍手)

次ニ軍事費ト云フモノガ、政府ノ放出資金トシテ如何ナル形態ヲ以テ、農村經濟竝ニ都市經濟ニ及ボスカト云フコトハ、洵ニ重大ナル問題デアリマス、陸軍省ノ豫算委員會ニ於テ配付セラレタル統計ニ依レバ、昭和十一年ニ於ケル陸海軍ガ民間ニ註文セラレテ居リマスル金額二億万圓ノ中、農村ニ廻リマスモノハ僅ニ二千八百万圓、其他ハ都市ニ廻ルノデアリマス、卽チ農村ニ廻ル分量ノ少イコトハ之ニ依ッテ明白デアリマス、何故カナラバ、元來軍需工業ナルモノハ山村ニ俄ニ興リ得ルモノデハアリマセヌ、農村ニ俄ニ興リ得ルモノデハアリマセヌ、現ニ陸軍ノ註文先ヲ見マシテモ、軍需工業地帶ハ現存ノ工業地帶デアルト言ッテ宜イ、卽チ東京、名古屋或ハ阪神地方ヲ中心トスルモノ、或ハ石川、富山或ハ山口、廣島、九州ニ於キマシテハ福岡等デアリマス、卽チ是等ノ地方ハ從來ニ於ケル天然資源ニ富ミ、交通便ニシテ、元來カラ所謂工業地帶デアッタ處デアリマス、故ニ軍需工業地帶ト云フモノハ、工業地帶ガソレニ代リ得ルト云フノデアリマシテ、此點ハ深ク吾吾ハ考ヘル必要ガアル、故ニ此軍需景氣ニ依ル所ノ跛行狀態ヲ成ルベク訂正スル爲ニハ、是等ノ軍需品註文ガ、ヨリ多ク農村其他地方ニ廻ルト云フ方策ヲ立テナケレバナリマセヌ、併シナガラ今俄ニ地方ニ工業ノ力ガ出來、今俄ニ農村ニ産業設備ヲ作ルト云フコトハ、中々出來ナイノデアリマスカラ、是ニ於テ國家ノ活動ハ、之ヲシテ行ハシメナケレバナラヌノデアリマシテ、是レ第一ニ工業ノ地方化、第二ニ下請工業ノ助成、第三ハ農村工業ノ確立ヲ圖ルト云フコトガ、今日ノ急務トスル所以デアリマス(拍手)

林内閣ノ政綱中ニ、内外ノ經濟狀態ニ適切ナル統制ヲ實施シ、而シテ國民創造力ノ發揮、企業心ノ勃興ヲ助長セントスルコトヲ聲明致シテ居ラレルノデアリマス、是ニ於テ吾々ハ總テノ經濟ノ基調ヲ成ス所ノ所謂現存經濟機構ト、統制經濟機構トニ付テ、吾々ハハッキリシタ道ヲ進マナケレバナリマセヌ、豫算返上論者ノ或人ハ、利潤經濟ニ向ッテ徹底的改革ヲ加フベキコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、利潤經濟ニ對スル徹底的改革ガ「ナチス」ノ言フガ如キ利潤論デアルカ、或ハ社會主義的經濟組織ヲ顯現セントスル意味ナルヤ、私共ハ不明デアリマスルケレドモ、營利經濟ガ一面ニ於テ弊害ヲ及ボシテ居ルコトハ認メマスルケレドモ、少クトモ營利ト云フ個人ノ利益ヲ得ントスル其觀念ガ、唯單ニ弊害ノミヲ釀スト云フガ如キハ、私ハ餘リニ囚ハレタル議論デアルト信ズルノデアル(拍手)吾々ハ適切ナル統制ト云フ林内閣ノ政策、又吾々ノ主張スル自治的統制ト云フコトヲ主張スル所以ハ、吾々ノ主張スル此統制經濟ト云フモノハ、卽チ自由經濟ノ弊害ヲ認メルガ、統制經濟ニ餘リニ强化セラレタ結果、又統制經濟其モノニ新シイ弊害ヲ及ボスト云フコトヲ匡正スル意味ノ、私共ハ考ヲ以テ進マナケレバナラナイト思フ(拍手)

卽チ統制經濟ガ少クトモ次ノ四ツノ點ニ於テ新ナル弊害ヲ及ボサウトシテ居リマス、第一ハ國民經濟上ニ於ケル獨占的傾向ヲ助長シ、却テ國家ト國民ノ公ノ利益ノ促進ヲ阻ミツヽアルト云フコトデアル、第二ハ國民各自ノ活動ニ依ル利害關係ノ一部ノミ個人ノ受クル報酬ニ反射スルニ過ギナイノデアリマスルカラ、其結果社會ノ要求スル全體ノ利益ノ爲ニ、國民ノ活動ガ消極的ニナルト云フ傾向ヲ持ッテ來テ居ルト云フコトデアル、第三ハ國民各自ガ將來ヲ豫見シ、判斷スル能力ノ不完全トナルノ結果、經濟上ノ調和ヲ亂サントスル傾向ガ、統制經濟ノ新ナル弊害トシテ存シテ居ルト云フコトデアル、第四ハ統制經濟ハ多クノ官吏ヲ要スルニ至リマスルコトハ、彼ノ露西亞其他ニ於テモ明白デアル、若シ統制經濟ヲ强化スルト云フナラバ、多數ノ官吏ガ必要デアル、而モ其官吏ガ、何等經驗ナキ官吏ガ經濟ノ中樞ヲ握リ、而モ彼等ガ經濟界ノ實情ニ通ゼザル爲メ、經濟ノ敏活ヲ缺キ、不安ト混亂ヲ起シツヽアルト云フコトハ、馬場財政ノ下ニ於テ明白ニ吾々ハ經驗ヲ致シテ居ルノデアル(拍手)故ニ私達ハ自由經濟ノ弊害ヲ認メテ、或ハ助長統制ヲ行フト云フコトニ付テ、認識ト主張ヲ有シテ居リマスケレドモ、自由經濟ノ弊害ヲ矯メントシテ現レテ來タ統制經濟ガ新ナル弊害ヲ生ジテ、生産ノ混亂ト分配ノ不調整ヲ來シテ居ルト云フコトハ、是ハ今日私達ハ大イニ考ヘナケレバナリマセヌ(拍手)故ニ私達ノ統制手段ハ自由經濟カラ統制經濟ニ移行セントスル其過渡時代ニ於ケル弊害ヲ徹底的ニ調整シテ、以テ圓滿ナル國家竝ニ經濟ノ發展ヲ圖ラウトスルノガ、吾々ノ自治的統制ニ外ナラナイノデアリマシテ(拍手)吾々ハ一部ノ主張セラル、如ク、或ハ計畫經濟、或ハ其他露西亞式ノ經濟ヲ日本ニ持ッテ來ルト云フガ如キハ、斷然トシテ反對セザルヲ得ナイ次第デアル(拍手)

顧ルニ林内閣ハ、去ル一月廣田内閣ガ自壞作用ノ中ニ自ラ終焉ヲ告ゲマシテ、未曾有ノ政局混亂ノ後ニ林内閣ハ成立シ、第七十議會ニ臨ンデ居ラレルノデアリマス

（副議長退席、議長著席）

或ル意味ニ於テ結城大藏大臣ハ國民的好意ノ中ニ迎ヘラレタヤウデアリマス、然ルニ其經濟財政方針ヲ觀ルニ、恰モ大藏大臣ガ民間ニ居ラレタ當時ノ實業家的意識以外、何モノモナイヤウニ私共ハ考ヘルノデアル(拍手)卽チ吾々ガ今期議會ヲ通ジテ大藏大臣ノ所見其他答辯ニ接シテ、大藏大臣トシテノ結城氏ノ經綸ニ未ダ接觸セザルノ感ナキ能ハザルモノガアリマス、吾々ハ國家生命ノ永遠ヲ信ジ、財政ノ基礎ヲ確立シ、以テ非常時ニ對處センコトヲ國民ト共ニ要望スルモノデアル、吾々ハ我黨ノ年來ノ主張デアル財政、國防、産業三全主義ニ則リ、昭和十二年度豫算ノ各案ヲ承認スルト同時ニ、結城財政ノ爲サントスル所ヲ嚴重監視セントスルノデアリマス、之ヲ以テ贊成ノ演説ト致シマス(拍手)

○議長(富田幸次郎君)　東郷實君

（東郷實君登壇）

○東郷實君　私ハ只今上程ニナッテ居リマス豫算各案ニ對シ委員長ノ報告ニ贊成スルモノデアリマス、既ニ多數ノ諸君カラ論議ヘ盡サレタノデアリマスカラ、私ハ成ベク是等ノ諸君ト重複シナイ方面カラ論議シタイト思ヒマス、殊ニ我黨ト致シマシテハ既ニ大口君ガ代表シテ意見ヲ具サニ述ベラレタノデアリマスカラ、斯ル方面ニ付テハ一切私ハ省略致シタイト存ジマス、私達ガ不滿ナガラモ此案ニ贊成スル所以ノモノハ、時ガ所謂非常時デアルカラデアリマス、内外有ユル方面カラ論ジテ來テ、極メテ大切ナル時期デアリマス、此非常時ニ處スル爲ニハ、不滿ナガラモ此豫算ヲ認メルコトガ、眞ニ國家ニ盡ス所以ナリト私ハ信ジマス(拍手)

先程來豫算返上ノ議論ヲ拜聽致シマシタガ、中ニハ吾々ノ非常ニ同感ナ點ガアルノデアリマス、併ナガラ私達ハ大政黨ト致シマシテ、吾々ノ行動ハ直チニ政治ノ實際ノ上ニ大切ナル結果ヲ齎スコトヲ忘レテハナリマセヌ(拍手)吾々ガ豫算ヲ否認スルト致シマシタナラバ、恐ラク林内閣ト致シテハ總理大臣ガ豫算總會ニ於テモ言明セラレタヤウニ、總辭職ヲサレルカ、サモナクバ解散ノ途ヲ執ラレルコトデアリマセウ、而シテ私ハ現内閣ノ現狀カラ觀テ、恐ラク斯ル場合ニハ總辭職ヲサレルコトト信ジマス、議會開會中ノ政變ガ如何ニ國政ノ進行ノ上ニ、國運ノ進展ノ上ニ大キナ故障デアルカハ、此間ノ政變ニ於テ吾々ハ具サニ體驗ヲ致シテ居リマス、此上此議會開會中ノ政變ヲ招來スルガ如キハ、今日ノ非常時ニ於テ吾々ハ敢テ之ヲ欲スルモノデハアリマセヌ、是ガ私達ガ此豫算ニ贊成ヲ表スル一ツノ原因デアリマス、假ニ林内閣ガ解散ヲ敢テシタト假定致シマシタナラバ、是亦私ハ此非常時局トシテハ決シテ其結果ハ有益ナリト考ヘマセヌ、人心ノ今日ノ不安ヲ一日モ速ニ安定セシムルコトガ、私ハ今日ノ政治上ノ急務ナリト信ジマス、吾々ハ解散ヲ回避スルモノデナイ、併ナガラ解散ノ結果ガ國家ニ與フル所ノ恐ルベキ結果ヨリシテ、吾々ハ此解散ヲ致サナイ方ガ國家ノ進運ノ爲ニ結構ナリト信ズルノデアリマス(拍手)是ガ吾々ガ此豫算ニ贊意ヲ表スル第二ノ理由デアリマス

（發言スル者アリ）

○議長(富田幸次郎君)　靜肅ニ

○東郷實君(續)　先程モ申シマシタヤウニ、既ニ論議ハ盡サレテ居リマスカラ、諄諄シクハ申上ゲマセヌガ、併ナガラ十二年

醜ト、熱意トヲ示スコトガ出來ナイト云フコトハ、私共ハ頗ル不滿ニ感ズル所デアリマス(拍手)斯ウ云フ立場カラ致シマシテ現內閣ヲ認メルガ爲ニ、此豫算ヲ贊成スル者デハナイノデアリマス、或ハ現內閣ト豫算トハ固ヨリ不可分ノ關係ニアルヤウニ思ハルル方ガアルカモ知レマセヌガ、私共ハ現內閣ガ今回退カレマシテモ、次ニ來ルモノガ此豫算ヲ以テ又實行シ得ルモノデアッテ、決シテ現內閣ヲ信任スルト云フコトト、此豫算ノ成立ヲ認ムルコトトハ一ツデナイト思ウテ居リマス、此事ハ先年昭和四年ノ豫算ノ成立ノ場合ニ於テ、其壇上ニ於テ論ジタコトデアリマスルガ、前年ノ豫算モ不成立デアッテ、不成立ヲ重ネルト云フコトハ國運ノ進展ニ副ヘナイカラ、現內閣ニハ絕對不信任デアルケレドモ、此豫算ハ成立ヲ認メル、贊成スル、速ニ內閣ガ迭ッテ、良キ內閣ニ依ッテ此豫算ノ實行ヲ求メルト云フコトヲ論ジタノデアリマスガ、測ラズモ私ノ申シマシタヤウニ朞月ニシテ前內閣ハ倒レマシテ次ノ內閣、卽チ其豫算ノ成立ニ反對シテ居リマシタ次ノ內閣、濱口內閣ガ其實行ノ衝ニ當ッテ之ヲ行ハレタノデアリマス、サウ云フコトモアリ得マスルヤウニ、私共ハ今日ノ重大ナル時局ノ考カラ致シマシテ、此豫算ノ成立ニ贊成スル者デアッテ、現內閣ヲ信任スルガ爲デハナイト云フコトヲ第一ニ明ニスルノデアリマス、併シソレハ不信任ヲ表明スルト云フコトデハナイト、言フノハ何故カト言ヒマスト、今日マデノ經過ニ於キマシテハ、私共ノ期待ニ反シテ信ズルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシテ、茲ニ私共ガ期待シマスルヤウナコトヲ、今後充實サル、コトガ出來タナラバ、又ソコニ信任シ得ルコトモアラウカト存ジマスルガ、其點ハ何處デアルカト言ヒマスト、過去ノ組閣匆々ノ混雜ヤ、或ハ前內閣ノ政策豫算ヲ踏襲致シマシテ、倉卒ノ間ニ之ヲ行ヒマスルコトニ付テハ、幾多ノ差支ヤ矛盾ヲ生ズルト云フコトハ已ムヲ得ナイト存ジマスルガ、今後政局ヲ擔當シテ行クト云フコトデアリマスルナラバ、少クトモ先ヅ第一ニハ此重大ナル時局ヲ本當ニ認識セラレマシテ、之ヲ擔當スルガ爲ニハ、閣員一致シテ眞ニ重大ナル覺悟ヲ以テ之ニ當ランケレバナラヌモノデアルト存ジマス、卽チ段段不祥事件等ガ續發シマスル根柢ニ於テハ、七十年來行ハレマシタ所ノ開國進取、非常ナ發展ヲ致シマシタモノノ、其中ニ多クノ弊害ト混雜ト衝突トヲ含ンデ居リマシテ、是等ノ爲ニ思想上ニハ混亂ニ陷リ、生活上ニハ不安甚シク、遂ニ民意ノ一致ヲ缺クヤウニナリマシテ、此東亞ノ大勢ヲ制シ、世界ヲ指導シ得ベキ重大ナル時機ニ際シナガラ左顧右眄、十分ニ其手腕ヲ恣ニスルコトガ出來ヌ狀態ニ陷ッテ居ルト云フコトハ、上下一同遺憾至極ノコトデアリマス、ソレ故ニ是等ノ弊ヲ根本的ニ芟除シマシテ、擧國一致ノ大精神ヲ發揮シテ共々ニ東亞ヲ安ラゲ、世界ヲ導クノ態度ニ邁進セラレンケレバナラヌモノデアルト存ジマスルガ、此爲ニハ小ナル瑾ヲ捨テラレマシテ、茲ニ更始一番、大ナル覺悟ヲ以テ一致協力セラレルコトガ必要ダト存ジマスルガ、其爲ニ先ヅ第一ニ求メマスルコトハ此財政上カラ申シマスレバ、結城財政ト云フ言葉ガ段々用ヒラレ、色々ノ論議ヲ見マシタケレドモ、是マデノ間ハ馬場財政ヲ補綴シタモノデアリマスカラ、固ヨリ矛盾ガアル、不都合ガアル、何レ是ハ根本的ニ立直サルベキモノト存ジマスルガ、併ナガラ其根本的ニ立直セラレマスルコトハ、今マデノ御考デハ如何ナルモノデアラウカト存ズル、卽チ片鱗ヲ見テ全豹ヲ窺フコトガ出來ル譯デアリマスルガ、段々論議サレテ居リマスルヤウニ、都市ニ厚ウシテ農村ニ薄ク、又特殊ノ利益ヲ保護セラレマシテ、一般的ノ福利ヲ輕ウセラレルヤウナ、所謂資本金融機構ニ幸ヒスルモノガ多クシテ、全體ノ國民福利、殊ニ下層福利ヲ充實シテ行クト云フコトニ對スル著眼ガ、甚ダ乏シイヤウニ見エルノデアリマス、之ヲ推シテ今後ノ方策ヲ立テラレマスルナラバ、眞ニ國運ノ嚮フベキ所トハ反對ノ形ニナルト存ジマス、ソレ故ニ今日馬場財政ト矛盾シテ居リマスルコトハ、私共ハ大シタ非難ヲスベキモノデハナイト思ヒマスケレドモ、既ニ芽ヲ出シテ居リマスル結城財政ノ嚮フ所ハ、却テ國運ノ嚮フ所ト相反シタルモノデナイカト云フ所ニ非常ナ疑ヲ持ッテ居ル者デアリマス(拍手)ソレ故ニ此點ニ於キマシテハ、全ク從來ノ銀行家デアリ、金融業者デアリ、一部資本家ノ共鳴ニ動イテ居ルト云フ態度ヲ改メラレマシテ、本當ニ國民ノ根本ノ痛ミト、惱ミト、苦シミトヲ救フト云フ立場カラ、擧國一致邁進シ得ベキ國運ヲ切リ開クト云フ立場カラ、財政ノ建設ヲ圖ラレルト云フコトニ、改革一番セラレンコトヲ希フ者デアリマス

次ニハ今度ノ豫算ガ言フマデモナク先程來論議サレマスルヤウニ、十四億餘ノ大部分ガ軍費デアリマシテ、軍事豫算ト云ッテモ宜イ位ニ軍備ガ多キヲ占メテ居ルノデアリマス、サウシテソレニ關シマシテハ海軍ハ不脅威、不侵略ト云フコトヲ標榜シテ居ラレルノデアリマスルガ、陸軍ノ態度ガ或ハサウデナイカト見得ルヤウナモノガアッテ、世界ノ疑ヲ惹キマスル所カラシテ、私共ハ發言ノ機會ガ甚ダ少イガ爲ニ、同志ヲ以テマシテ有ユル機會ニ此軍部ノ立場ヲ極メテ明快ナラシメルコトニ努メテ參ッタノデアリマスガ、先日笠井議員ノ質問ニ對シテ、對支問題ノ際ニ、特ニ杉山陸相ヨリシテ我陸軍ハ決シテ大陸政策ト云フヤウナモノヲ別ニ持ツモノデナク、眞ニ侵略的意圖ヲ有モノデアッタナラバ、滿洲事變ニ於テ滿洲ヲ、熱河事件ニ於テ北支ヲ、上海事變ニ於テ南支ヲソレ〳〵占領シ、占有スルコトガ出來タノデアルガ、斷ジテサウ云フコトヲシナカッタノハ、我國ガ侵略意思ヲ有シナイト云フコトヲ明ニスルモノデアルトノ意思ヲ明ニセラレマシタガ、サウ云フ意味ニ於テ、卽チ日本ノ行ク途ハ北守南進政策デモナク、大陸政策デモナイ、何レニ向ヒマシテモ、不脅威、不侵略ノ立場ヲ執リマシテ、極メテ平和的發展ヲ希フモノデアル、到ル處ニ我ガ國民ノ大飛躍ヲ念ズルモノデアッテ、決シテ滿蒙ノ一角ヲ以テ我ガ生命線トシ、委任統治ノ南洋ヲ以テ海ノ生命線トスルヤウナ、偏狹、矮小ナ考デナクシテ、陸ハ陸行カン限リ、海ハ海行カン限リ、到ル處ニ我ガ國民ノ發展地域ヲ拓クト云フコトヲ理想トスルモノデアッテ(拍手)大理想ト云フモノハ、不脅威、不侵略ノ下ニ護ラレテ行クノデアル、此不脅威不侵略ヲ守ッテ行ク爲ニハ、適切ナル軍備ノ充實ガ必要デアルカラ、此軍備ノ充實ノ上ニ、確實ナル平和ヲ企圖シテ、ソコニ產業的發達、文化的發達ヲ企圖シテ、我ガ大日本ガ悠久ナル、古ヨリ持ッテ居リマスル國運ヲ益々恢宏シテ、而モ獨リ我ガ大日本國民ノ幸福ヲ全ウスルノミナラズ、世界萬國ト共ニ其福祉ヲ全ウスルト云フ大使命ヲ明ニスルト云フコトニ必要ナル軍備ナルガ故ニ、此軍備費ヲ出スノデアリ、國民ガ多クノ苦シミヲ以テモ、之ニ捧ゲントスルト云フコトガ本當ノ行ク途デアルト信ズル者デアリマス(拍手)斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、軍部ハ今日ニ於テハ其求ムル所ノモノガ與ヘラレマシタ、私共ハ是レ以上大イニ增セト云フノデハナイノデスガ、今日ニ於テ兎ニ角其求ムル所ガ與ヘラレマシテ、海陸ニ於テ脅威ヲ感ゼザルダケノ準備ハ之ニ依ッテ出來ルト云フコトデアリマスルカラ、ソレヲ十分ニ實行セラレマスル必要ガアリマスルガ、同時ニソレハ國防ノ不安ヲ感ゼザル限リニ於テハ、成ベク徐々ニ之ヲ實行セラレマシテ、我ガ國內ノ產業能力ガ受入レルコトヲ第一ノ標準トシテ、努メテ資本ガ國外ニ逃ゲマセヌヤウニ、我ガ國內產業ノ發達ニ培ヒツ、軍備ノ充實ヲ圖ッテ行クト云フコトニ努メラレマシテ、ソレガ爲ニハ今問題ニナッテ居リマスル二千三百万圓ヅ、ノ問題ニ限ル必要ハ決シテアリマセヌノデ、五千万圓ヅ、デモ、七千万圓ヅ、デモ宜シイ、繰越シニナルモノハ十分ニ繰越シナサレテ、サウシテ必要ナル軍備ハ現在ノ豫算ノ中デヤルコトハヤルノデアリマスガ、大體ノ私共ノ考デハ、此豫算ヲ脊負ッテヤルト云フコトガ決リサヘスレバ、日本ノ國民意思ト云フモノハ明瞭ニナルノデアリ、國策ト云フモノハ明ニナルノデアルカラ、ソレハ出來ル程度デ徐々ニヤッテ居テ、國防ノ不安ヲ醸サザル限リニ於テハ、ソレハ行ッテ差支ナイモノデアルト感ズルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、繰越シ得ベキモノハ十分ニ繰越サレタイト思フノデアリマス、斯樣ニ一面產業ヲ維持シ、一面民心ヲ安ンジ、一面財政ヲ安泰ナラシメテ、而モ國防ヲ充實シテ行クト云フ立派ナ途ガアルモノダト信ズルノデアリマス、此意味ニ於テ陸海軍部ハ十分ニ其軍備的方面ヲ實行スルニ當ッテ經濟的方面ニ心ヲ用ヒラレンコトヲ希フモノデアリマス

同時ニ又私共ハ軍部ニ願フ所ノモノガアリマス、ソレハ昨年來具體的ノ事實ニナッテ居リマスル肅軍デアリマスルガ、此肅軍ガ段々ト共歩ヲ進メテ居ルト云フコトハ存ジマスルケレドモ、先頃ノ廣田內閣ガ崩壞致シマシタ後ニ起ッタ事件ヲ見マシテモ、其次ノ宇垣氏ガ腰碎ケニナリマシタ事情ニ察シマシテモ、其處ニマダ多クノ肅正シナケレバナラヌ責任ガアルト云フコトヲハッキリ感ジマス、殊ニ一般ノ軍教育ノ上ニ於キマシテハ、更ニ大イナル肅正ヲ加ヘラレマシテ、本當ニ御勅諭ニ遵ヒ、御詔ニ遵ッテ行ク、軍人ハ此大御心以外ニハ動カヌト云フコトニ付テ、決ッテ居ルコトデアリマスルケレドモ、ソレヲモット徹底セル教育ヲシテ軍人精神ヲ振作シ、本當ニ皇國ノ誇タラシメルヤウニ御導キアラムコトヲ願フノデアリマス(拍手)斯樣ナ軍備ヲ充實セラレマスルコトハ、國民ガ多大ノ負擔ヲ忍ビ、非常ナ苦痛ヲ忍ンデ此軍備ヲ充實シテ行カウト云フ國民的熱意ヲ受入レルト同時ニ、軍ガ此肅軍ヲ全ウセラレルト云フコトハ、當然ノ責任デアルト存ジマスルカラ、深ク之ヲ願ッテ置ク次第デアリマス

更ニモウ一ツ現內閣ノ行ッテ行カレマスルコトニ付テ申シタイコトハ、現內閣ガ、今回ノ急速ナル場合ニ處シテ行ハレマシタル中ニモ、先程來議論ノアリマシタヤウニ、生產方面ニ關シマスル、或ハ農村ヲ苦シメ、或ハ商工業、或ハ災害防止、或ハ河川改修等ノ費用ヲ食止メテ居リマスルヤウナ缺陷モ多々アリマスルガ、殊ニ私共ガ最モ遺憾ニ感ジマスルコトハ、現內閣ガ文政教育ニ關スル思想ガ甚ダ缺如シテ居ル事柄デアリマス、凡ソ國家ガ文武竝ビ立チ、教育ヲ根本トスルト云フコトハ、今更申ス迄モナイコトデアリマス、然ルニ現內閣ガ發表シマシタル政綱ノ上ニハ、教育ニ關スルコトガ殆ド言ウテナイノデアリマス、若シ强ヒテ言ヒマスレバ、國體觀念ヲ明徵ニシ、敬神尊皇ノ本義ヲ明ニスルト云フコトガ、教育ノ一基礎ヲ成スト云フコトニ引付ケル時ニ、其關係ヲ有スルダケデアリマシテ、明ニ教育ニ關スル何等ノ言明ヲ持タヌノデアリマス、事實ニ於キマシテハ、今ニ至ルマデ組閣以來四十日ヲ過ギマシテモ、專任ノ文相ヲ置クコトモ出來ズ、前內閣ガ國策ノ一ツトシテ考ヘマシタ義務教育延長ヲモ葬リ、其他教育施設ニ關シマスル幾多ノ研究費目、教育費目ヲ削除致シマシタ、實ニ教育ヲ無視スルコト甚シキモノガアルノデアリマス、斯樣ナ事柄ハ教育界方面カラ立ッテ大イニ爭フ者、主張スル者ガナイ爲ニ、虐ゲラレルノデアリマスケレドモ、國家ノ教育ヲ虐ゲテ行クト云フコトハ國民ノ精神生活ノ根柢ヲ破ルモノデアリマシテ、軈テ永遠ニ發達スル所ノ基礎ヲ傷ケルモノデアルト言ハナケレバナラヌノデアリマス、而シテ其教育ト云フ中ニモ、最モ基礎トナリマスルモノハ、言フマデモナク大ナル研究デアリマス、殊ニ今日ハ國防ノ上カラ論ジマシテモ科學戰デアリマス、巨砲大艦ガ必要デアリマスケレドモ、是等ノ建造ヲ現在致シマスルヨリハ、其ノ敵艦ヲ動クコトノ出來ナイヤウニスルヤウナ大キナ科學能力ノ研究ト云フモノガ、一層必要デアリマシテ、軍備ノ上カラ申シマシテモ、研究費ヲ多大ニ出スト云フ必要ガアリマスノニ、實際ノ費目ヲ見マスレバ、研究費ハ甚ダ少ク、而モソレガ軍內ノ研究費ニ用ヒラレルノデアリマシテ、國家全體ノ研究費ニ用ヒルト云フコトガ、甚ダ少イノデアリマス、大イニ研究ヲ奬勵シ、科學ノ發達ヲ圖リ、思想ヲ健全ニ培フト云フコトガ必要デアリマス、更ニ前內閣ガ計畫致シマシタ義務教育ヲ、茲ニ提案サレナカッタト云フコトハ、ソレハ文部省ノ人達カラハ非常ニ殘念ニ思ウテ居ルニ相違ナイト思フ、ノミナラズ全國ノ教育家ガ、非常ニ情ナク思フダラウト思ヒマスケレドモ、私ハ義務教育其事ニ關シマシテハ、聊カ別途ノ意思ヲ持ッテ居リマスルカラ、義務教育案ヲアノ儘出サレナカッタト云フコトハ、茲ニ不平ニ思フ者デハナイ、特ニ單ナル延長ヲ求メル者デハナイノデアリマス、其事ハ本日ノ議場ニ於テハ、政友ノ方カラモ論議サレマセヌヤウデアリマシタガ、一昨日ノ豫算總會ニ於キマシテ、政友ノ方カラハ其事ヲ論議サレテ居ルノヲ承リマシテ、私モ兼ネテサウ云フ御議論ト承ッテ居ッテ、共鳴シテ居ルノデアリマスルガ、元來義務教育ト云フモノハ、明治初年以來、歐羅巴ノ個人主義ノ思想ノ上ニ行ハレル教育、卽チ個人主義デ、全ク個々ノ勝手ニ放任スルコトガ出來ズシテ、其父兄、保護者ニ子弟教養ノ義務アルコトヲ命ジタノガ義務教育デアリ、又各人ガ或ル學齡期間中、就學ノ義務アルコトヲ定メタモノデアリマシテ、今日ト雖モ或ル程度迄ハ父兄ニ教養ノ義務モアリ、學齡兒童ニ就學ノ義務モアルモノト認メマス、併ナガラ今日行ハレマスル所ノ國家ノ教育ト云フ上カラ申シマスルト、十分ナル國民教育ヲ行フ必要ガアル、國民教育ヲ行フト云フコトニ付テハ、是ハ恰モ國防ヲ國家ガ致シマスルヤウニ、國民教育ハ又國家ガ行ハネバナラヌノデアリマス、單ナル個人ノ教養ノ義務デアリマスルナラバ、ソレハ或ル限度ノ下ニ、各人ノ自由ヲ許スコトガ出來マスルケレドモ、本當ニ國民トシテ此國體ニ遵フ、同胞親和、共同一致ノ生活ト云フコトヲ育テ、參リマスル爲ニハ、ドウシテモ國家ガモット力アル所ノ國民教育ヲ行ハナケレバナラヌノデアリマス(拍手)私ハ義務教育制ヨリハ國民教育制度ヲ確立スルコトガ必要デアルト考ヘマスルシ、共立場カラハ恐ラク四年制度ガ尙ホ義務教育トシテ殘サレテモ、其後ノ教育制度ハ全然國民教育制度ニ改メラレルコトガ、必要デアルトモ存ジマスカラ、是等ノ點ニ付テハ今回出サレナカッタト云フコトヨリハ、私ハ義務教育ヲ出サナイデモ、教育尊重ノ精神ヲモット充實スルコトガ、今回ハ必要デアッタト思フケレドモ、其事ハ過ギタルコトト致シマシテ、現內閣ガ存續シテ其命ヲ果サントシマスルナラバ、必ズ此教育ヲ尊重シ、教化ヲ充實シテ行クト云フコトニ十分ナ力ヲ注ガレマセヌケレバ、本當ニ民心ヲ指導シ、國運ヲ發展スル所以デハナイト存ジマス、斯樣ナ意味カラ致シマシテ、結城財政モ、其財政ノ向フ所ヲ改メ、軍部モ——決シテ軍民離反スルナドト云フコトハナイノデアリマス、軍民一致シテ本當ノ國軍トナッテ、國防ヲ充實スルト共ニ、皇軍ノ意氣ヲ益々旺盛ナラシメルト云フコトガ必要デアリ、此總テニ國民ノ生活ヲ安定ナラシメ、又行政機構ヲ確立シ、サウシテ庶政一新ノ實ヲ擧ゲマスト共ニ、稅制ノ負擔

(二) 行政ノ敏速、簡易ヲ期シ得ル樣地方行政組織ヲ整理スルコト（各種組合ノ併合整理ヲ含ム）

(三) 徹底セル選擧公營制度ヲ根幹トスル選擧法改正案ヲ立ツルコト

(四) 負擔ノ均衡ヲ目標トシ殊ニ戶數割ノ廢止ヲ眼目トスル中央地方ノ稅制改革ヲ行フコト（不當課稅ニ對スル救濟制度ヲ含ム）

(五) 廣義國防、國民生活ノ安定ヲ圖ルタメ諸般ノ產業經濟政策ヲ確立スルコト

(六) 國民健康保持ノ施設ヲ充實スルコト（保健省ノ設置ヲ含ム）

(七) 航空事業ノ發達ヲ圖ルコト（航空省ノ設置ヲ含ム）

(八) 法科偏重技術輕視ノ弊ヲ矯メ適材ヲ適所ニ用ヒ得ル樣官吏任用法ノ改正ヲ爲スコト

此條件ニ付キマシテハ、恐ラク政府ニ於キマシテモ十分御諒承ノコトト思ヒマス、否少クトモ御諒解出來得ルコトト考ヘマス否少クトモ御諒解出來得ルコトト考ヘマス、ソレデアリマスカラ事新シク此內容ノ說明ハ申シマセヌ、併ナガラ此希望條件コソハ、現時ノ弊政ヲ打破スル二對シテ、最モ有效ニシテ適切ナモノト私共ハ信ジマス、ソレデアリマスカラ、政府ハ此意ヲ體シマシテ、萬遺憾ナカランコトヲ期シテ貰ヒタイノデアリマス、此意見ヲ具陳致シマシテ、此豫算案ニ對シマシテ贊意ヲ表スル次第デアリマス（拍手）

○議長（富田幸次郎君）　是ニテ討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ニ入リマス、但シ豫算案中、皇室費ハ協贊ヲ要セザル費目デアリマスカラ、之ヲ省キマス、兩案ノ委員長報告ハ孰レモ可決デアリマス、兩案ヲ一括シテ委員長報告通リ決スル二贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

（贊成者起立）

○議長（富田幸次郎君）　起立多數

（拍手起ル）

○議長（富田幸次郎君）　仍テ兩案共委員長報告通リ可決確定致シマシタ（拍手）是ニテ昭和十二年度本豫算案ヘ議了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後七時二十四分散會

衆議院議事速記錄第一五號中

正誤

頁	段	行	誤	正
三三一	二	一八	所譯	所謂

內閣印刷局

官報號外　昭和十二年三月十日　衆議院議事速記錄第十九號　議長ノ報告

官報 號外

昭和十二年三月十日

○第七十回帝國議會衆議院議事速記錄第十九號

昭和十二年三月九日（火曜日）
午後一時四十九分開議

議事日程　第二十號
昭和十二年三月九日
午後一時開議

質問

一　國體及士風ノ隆汚ニ關スル質問（田川大吉郎君提出）

二　世界資源再分割ト新國策樹立ニ關スル質問（縣田關次郎君提出）

三　衆議院議員選擧法中改正法律案提出ニ關スル質問（青木亮貫君提出）

四　廣田內閣ノ辭職ト林內閣ノ成立ニ關スル質問（尾崎行雄君提出）

五　精神的國防充實ニ關スル質問（中村又一君提出）

第一　國民健康保險法案（政府提出）　第一讀會
第二　保健所法案（政府提出）　第一讀會
第三　結核豫防法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第四　小運送業法案（政府提出）　第一讀會
第五　日本通運株式會社法案（政府提出）　第一讀會
第六　帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第七　朝鮮事業公債法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第八　朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第九　昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第十　昭和七年法律第一號中改正法律案（滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會
第十一　鑛員法改正法律案（政府提出）　第一讀會
第十二　揮發油及アルコール混用法案（政府提出）　第一讀會
第十三　貿易組合法案（政府提出）　第一讀會
第十四　貿易調整法案（政府提出）　第一讀會
第十五　工業組合法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第十六　昭和七年法律第十二號中改正法律案（造幣局資金繰出ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會
第十七　日本銀行條例中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第十八　日本銀行參與會法廢止法律案（政府提出）　第一讀會
第十九　橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第二十　東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第二十一　製鐵事業法案（政府提出）　第一讀會
第二十二　大正九年法律第五十三號中改正法律案（關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會
第二十三　地方鐵道補助法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第二十四　大正九年法律第五十六號中改正法律案（北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會
第二十五　商法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十六　肥料取締法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十七　酒造組合法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十八　日本無線電信株式會社法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十九　特許法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十　商標法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十一　不正競爭防止法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十二　裁判所構成法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十三　大正十年法律第百二號中改正法律案（定年ニ因ル退職判事檢事ノ恩給ニ關スル件）（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十四　兵役法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十五　產業組合中央金庫法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十六　產業組合自治監查法案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

○議長（富田幸次郎君）　諸般ノ報告ヲ致サセマス

（書記官朗讀）

一今九日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

軍機保護法改正法律案

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員田川大吉郎君提出國體及士風ノ隆汚ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員縣田關次郎君提出世界資源再分割ト新國策樹立ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員青木亮貫君提出衆議院議員選擧法中改正法律案提出ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員尾崎行雄君提出廣田內閣ノ辭職ト林內閣ノ成立ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中村又一君提出精神的國防充實ニ關スル質問ニ對スル答辯書

（以上三月九日受領）

國體及士風ノ隆汚ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十二年二月二十五日

提出者　田川大吉郎

國體及士風ノ隆汚ニ關スル質問主意書

一　林大將ガ內閣組織ノ大命ヲ奉行スルニ當リ陸軍當局ハ三當局ノ名ニ於テ林大將ニ先ンジテ現陸相ヲ候補者ニ推薦シ以テ林大將組閣ノ努力ヲ一時不安ノ

明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

間ニ彷徨セシメタルノミナラズ陸軍三當局ハ事實上大命拜受者以上ノ特別權能ヲ有スル者カノ如ク疑訝セシムルニ至ツタ。

海軍大臣ノ推薦ニ關シテモ略〻同樣ノ經過曲折ヲ見タ。

二　以上ノ經過及ビ事實ハ此ヨリ先キ宇垣大將ガ組閣ノ努力ニ對シ經驗シタル事實ト相俟ツテ大權ノ御發動及ビ之ニ恭順シ奉ルベキ陸軍ノ態度ニ對シ不測ノ疑ヲ抱カシムルニ至ツテ居ル。

假ニ宇垣大將組閣ノ場合ニ於テ陸軍ノ現役將官中大臣タル資格アル者ガ一人タリトモ進ンデ大命拜受者ノ奉行ヲ助ケントスル者ナク孰レモ紛々タル聚議ニ辟易シ各辭讓シテ之ヲ阻礙シ之ヲ傍觀シタトイフコトハ解スベカラザル始末デアル。

斯ノ如キ場合資格アル者ハ萬難ヲ侵スモ身ヲ挺シテ大命奉行者ノ努力ヲ助クベキデナカツタカ、而シテ其ノ人ガ一人モ無カツタトイフコトハ臣節ノ弛廢士風ノ萎靡甚シイカナ地ニ墮チタリト慨スベキモノデナイカ。

三　文部大臣ハ右ノ事實ヲ以テ(一)我ガ國體ニ關スル國民教育ニ何等ノ惡影響ヲ及ボサナカツタモノト爲シ今後ニモ及ボス虞レノナキモノト爲スカ、(二)若クハ幾分カノ惡影響ヲ及ボシタモノト爲シ今後ニモ及ボス虞レノアルモノト爲スカ。

甲　若シ第一點ノ如シトセバ其ノ理由如何、

乙　若シ第二點ノ如シトセバ之ヲ匡救スルノ方法如何、

四　國體明徵ノ論頗ル盛ンナリト雖モ今回ノ如キ事實ヲ國民萬衆ノ前ニ公演シテ之ヲ等閑ニ付シ去ルニ於テハ國體ノ本義却ツテ蒙晦セラレ國體ノ尊嚴ニ對スル國民的遵奉ノ美風漸ク衰微ノ端ヲ啓カンコトヲ虞ル、總理大臣主トシテ文部大臣ノ之ニ對スル見解如何。

右及質問候也

昭和十二年三月九日

內閣總理大臣　林　銑十郎

衆議院議長富田幸次郎殿

衆議院議員田川大吉郎君提出國體及士風ノ隆汚ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員田川大吉郎君提出國體及士風ノ隆汚ニ關スル質問ニ對スル答辯書

質問ノ趣旨ニ付テハ我ガ國體ニ關スル國民教育ニ惡影響ヲ及ボスガ如キ事實ハナカリシモノト思料ス

右及答辯候也

昭和十二年三月九日

內閣總理大臣　林　銑十郎

文部大臣　林　銑十郎

世界資源再分割ト新國策樹立ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十二年二月二十五日

提出者　福田關次郎

世界資源再分割ト新國策樹立ニ關スル質問主意書

一　南方國策ニ付テ

我ガ國現下ノ最大問題ハ日本民族生活權確保ノ爲新ナル國策ヲ樹立スルコトデアル而シテ從來ノ北方中心國策ニ再檢討ヲ加ヘテ世界資源就中南方資源利用ノ積極的國策ヲ立テ人類生存、更生日本建設ノ劃期的方途ノ實現ヲ圖ルコトコソ帝國ノ生クベキ最高ノ方針ナリト信ズル

惟フニ難局ヲ打開シ國力ノ充實、國民生活ノ安定ヲ期センニハ枝葉末節ノ革新ニ非ズシテ其ノ根本ニ觸ルルコトガ肝要デアル現內閣ハ庶政一新ヲ組閣ノ使命トサルルニ拘ラズ斯ル國家ノ根本指針ニ何等ノ對策ナキハ遺憾千萬ニ思フガ此ノ重大問題ニ對シ政府ハ如何ナル所見ト具體案トヲ有セラルルカ

二　國家ノ困窮ト生活ノ不安ニ付テ

我ガ國過剩人口ノ重壓ガ齎ス農村ト都會トノ現世地獄ノ修羅場ヲ政府ハ認識サレツツアリヤ一年間ノ人口增加ハ約百萬人此ノ人口ニ與フベキ土地資源ハ何レニアリヤ

假ニ農家ニ五人ノ子女ガ出生スルトシテ其ノ中長男一人ヲ殘シテ他ノ子女ハ悉ク他ニ送リ出サザルヲ得ナイノガ一般的實情デアル而モ五反百姓生活ノ實際ハ一人ノ生存ヲ辛ウジテ可能ナラシムルモ他ノ四人ヲ留メルダケノ餘裕ナク僅ノ旅費ヲ與ヘテ異郷ノ空ニ捨テルノ悲慘ナル狀態ニアルノデアル從テ都會ノ社會不安ハ日々ニ募リ惡事、醜行、思想ノ惡化隨處ニ起ル是等ハ皆社會ノ罪、國家ノ責任デアルト云ハネバナラヌガ政府ハ斯ル不安ナル現實ニ對シ如何ナル考ト對案ヲ有セラルルカ

三　帝國ノ實力ト國防力ニ付テ

政府ハ國民ノ實力ト國防力トハ常ニ一致スベキコトヲ强調サレタガ國民ノ收入ト國防トガ果シテ調和サレツツアリヤ狹小ニシテ憫ムベキ我ガ國ノ資源ヲ以テシテハ政府ノ思フガ如キ國民ノ實力ハ到底アリ得ナイト信ズルガ如何

日本ノ現狀ハ米國ノ一州「サウス・ダコタ」ト殆ド同一面積ノ耕地ヲ以テ內地人約七千萬人分ノ生活費ヲ稼ガネバナラヌ實情デアル日本國民ノ收入實力ハ他ノ列强ニ比肩シ得ナイ其レ故國防上他ノ列强ト並行スルコトハ不自然性ガ國民ノ一年間ノ收入程度ヲ比較スルコトニ依テ判斷シ得ラルル即チ各國中一人一年間ノ收入ハ濠洲七七〇圓、英七四〇圓、米七三〇圓、蘇聯五一〇圓、獨逸四一八圓、佛四〇〇圓、伊二三五圓、日本二〇四圓デ七百圓臺ニ對シ二百圓臺ハ餘リニモ悲慘デアル近時憂慮サルル國民ノ體位低下ハ保健衞生施設ノ不備ニ因ルニ非ズシテ人間一人ノ生存ニ必要ナ「カロリー」補給ノ不足ニ原因スルコトヲ特筆大書シテ政府ノ猛省ヲ促シタイ政府ガ此ノ原則的窮乏打開ニ何等再檢討ヲ加フルコトナク國民生活ノ安定ヲ叫ブハ思ハザルノ甚シキモノト云ハネバナラヌ土地資源ノ乏シキ日本國民ノ生活不安ハ年月ト共ニ增加スルハ明白デアル政府ハ以上ノ實勢ヲ以テ如何ニシテ國防ノ安固、國民生活ノ安定ヲ期スルノ見込ナルヤ

四　庶政一新ヨリハ國策ノ根本的轉向ガ急務デアル

我ガ國從來ノ大陸政策ノ一本建ニハ大ナル誤謬アリト思フ此ノ際此ノ誤リヨリ轉向シテ新ナル國是國策ヲ樹テ國家國民ノ向フベキ指導原理ヲ與フルコソ國難打開ノ根本デアル現時ニ於テ已ニ此ノ困憊ヲ呈ス一朝十億ニ近キ蛸配的赤字公債廢止後ノ慘狀ハ戰慄スベキモノガアル政府ハ斯ル場合ヲモ考慮シ之ガ對策ヲ有スルヤ

人口對策トシテ農業ノ改良、產兒ノ制限、極度ノ工業化、消費ノ世界化ト云フガ如キハ萬全ノ策デハナイ其ノ行詰リハ日貨ノ世界的排斥、輸入超過ノ漸增ニ依テ明デアル要ハ好適ノ植民地コソ窮乏日本救濟ノ根本ト信ズル

抑〻我ガ國從來ノ國策ガ資本家擁護ニ墮シ增加大衆ノ生活權ヲ輕視シタルハ千載ノ恨事デアル政府ハ速ニ斯ル誤リ

ヲ打破シテ過剩人口ニ正常ナル生存ノ途ヲ與ヘ國力ノ培養、生產ノ增加ヲ促進スルハ刻下ノ急務ト思フガ政府ノ所見如何

重ネテ問フ政府ハ以上ノ如キ誤リタル國策下ニ內部的庶政一新ヲ斷行シテ果シテ何物ヲ獲得シ得ラルルノ見込ナルヤ本員ハ從來ノ國策ノ根本的轉向ナクシテ革新ヲ斷行スルモ國力ノ充實、國民生活ノ安定ハ絕對不可能ト思フガ政府ニハ安定ノ確信アリヤ

五　大陸政策ノ誤謬ト北守南進策ニ付テ

我ガ國人口ノ增加ハ主トシテ中產以下ノ無資本國民層ニ於テデアル從テ資本ヲ要スル所ハ過剩人口ノ捌口トハナリ得ナイ殊ニ北方移民ノ有望ナラザルコトヲ速ニ自覺スベキデアル朝鮮ガ日本ノ有ニ歸シテ移民ハ逆輸入トナリ內地勞働界ヲ脅迫シタル事實ハ明瞭デアル又滿洲ニハ日本勞働者ヤ移民ハ殆ド入ルベキ餘地ガナイ生活「レベル」低キ苦力ニ日本ノ勞働者ハ對抗不能デアリ且寒冷ハ日本人ニ適セズ又同國ノ工業農業ニモ日本人ヲ使用シテハ收支相償ハヌコトトナル斯ル寒冷ノ貧地ガ如何程擴大スルモ防備戰線ノ擴大ニ因リ國費濫費ニ流ルルノミニテ過剩人口ノ捌口トハナリ得ヌ强テ移民ヲ決行セントセバ莫大ノ補助金ヲ要スル我ガ國ノ財力ニハ斯ル餘力ガナイ現ニ廣田內閣ニ於テ樹テタル僅ノ滿洲移民計畫サヘ財力不足ノ爲半減サレタルニ非ズヤ滿洲建國以來已ニ五年內地ヨリノ移住民ハ僅ニ十三萬人（拓務省取扱ハ四萬有餘人）一年間百萬人ノ增加ニ斯ル事實ハ無價値ニ等シイト云ハネバナラヌ政府ハ之ニ對シテ如何ナル認識ト對策トヲ有セラルルカ

六　南方資源再分會議ト國策一新ニ付テ

以上ニ依テ我ガ國ノ窮乏及民族生存上ノ急迫ト不自然性トハ明ニナツタ

茲ニ現時歐米ノ對日輿論ヲ綜合スルニ人口ト資源トノ關係ハ世界中日本ニ於テ最モ酷デアル而モ日本ニハ國內發展ノ餘地ナキヲ以テ馬來血統デ熱帶ニ適スル日本人ハ南太平洋上ニ人口ノ捌口タル土地ヲ求ムベキコトヲ確認シ更ニ斯ル領土保有國ハ自國民ノ勞力ヲ以テ之ヲ開拓シ得ザル故ニ進ンデ之ヲ日本ニ讓渡スベシト高調シ又日本ニ人口吸收ノ門戸ヲ解放スルコトヲ得ルヤ否ヤハ世界戰爭ヲ誘致スルヤ否ヤノ大問題デアルト論ジ日本ハ滿洲ヲ得タルモ滿洲ハ人口ノ捌口トハナラヌ何トナレバ寒冷ハ日本人ニ適セズ從テ日本ノ進ムベキ道ハ南方及東部デアルト結論スルモノノ如クデアル世界ノ輿論ニシテ斯ノ如シ況ヤ國際正義人道ハ必ズヤ日本ノ立場ヲ理解シ資源再分割ノ當然性ヲ認識スルモノナルコト疑ヲ容レヌノデアル而シテ是ニハ窮迫日本ノ實狀ヲ世界ニ披瀝シ日本ハ英國ノ既得植民地或ハ米國植民地ニハ一切手ヲ觸ルルコトナク、南太平洋上ノ勞力不足ナル島嶼ニ我ガ過剩人口ノ平和發展ヲ遂ゲルノ外日本ノ生クベキ途ナキ苦境ヲ世界ニ訴ヘ最善ヲ盡シテ植民地再分會議ノ如キモノノ成立ヲ期スベキデアル日本ノ要求ガ已ムナキ人口ノ捌口ヲ求ムルノ外何等野心ナキ誠意ヲ示シ且一定ノ形ニ於テ公約スルニ至ラバ延テハ以テ軍縮ノ世界的目的モ自ラ達成シ同時ニ世界平和確立ノ基本タルベキヲ疑ハヌ

要スルニ日本人口問題ハ實ニ一切ノ社會科學的ニモ政策的ニモ凡有ラユル問題ノ根本デアル自今帝國ノ進ムベキ對外政策ノ中樞ハ此ノ根本ニ基クベキデアルト信ズル

以上ノ各項ニ對シ政府ノ所見ト決意ノ程ヲ承リタイ

右及質問候也

昭和十二年三月九日

內閣總理大臣　林　銑十郎

衆議院議長富田幸次郎殿

衆議院議員福田關次郎君提出世界資源再分割ト新國策樹立ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員福田關次郎君提出世界資源再分割ト新國策樹立ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、日本民族ノ生活權ヲ確保スルノ肝要ナルハ論ヲ俟タス之カ爲政府トシテハ何レノ方面ヲ問ハス世界各方面ニ對シ平和的且經濟的ニ發展センコトヲ期シ銳意努力中ニシテ南方ニ對シテモ益〻努力スヘキカ之カ實施ニ當リテハ相手國ノ立場ヲモ考慮シ愼重ヲ期セサルヘカラスト考ヘ居レリ

二、我カ國過剩人口ノ重壓カ社會不安ヲ齎ラシツツアルコトハ我カ國內ノ土地資源ノ不足ニ依ル處大ナルモノアルヲ認ムルヲ以テ之カ對策トシテ邦人ノ世界各方面ニ於ケル平和的經濟的發展ヲ促進シ貿易移民等ノ助長ヲ期スルト共ニ國內產業ノ振興ヲ計リ居レリ

三、政府ニ於テハ我カ國資源ノ不足ニ鑑ミ產業ノ振興貿易ノ伸張ヲ計リ國力ノ根幹ヲ培フト共ニ邦人ノ海外移住竝企業進出ニ對スル助長ノ方途ヲ講シ以テ國防ノ安固ト國民生活ノ安定トヲ期シ居レリ

四、人口問題ノ對策ニ付テハ其ノ方策一ニシテ足ラサルモ海外移民ノ獎勵及企業進出ニ付テハ格段ノ努力ヲ要スルモノト認ム仍テ政府ハ其ノ所期セル庶政一新ト併セテ前記諸施設ニ特ニ力ヲ用ヒ居レリ

五、對滿移民ハ既定ノ大方針ニシテ專門家ノ多年ニ亙ル研究竝ニ既ニ實施セラレ居ル試驗移民ノ成果ニ鑑ミ必ス成功スルモノト確信シ多數移民送出ニ努メツツアリ

六、人口ノ稠密竝資源ノ缺乏ニ直面シ居ル帝國ノ實情ヲ世界ニ披瀝シ人口ノ捌ケ口及國內產業ニ必要ナル市場及資源ノ開放ヲ要望スルト共ニ併セテ帝國ニ於テ何等領土的又ハ侵略的意圖ヲ有セサル次第ヲ闡明スルノ要アルハ勿論ナリ之カ爲政府ニ於テハ常ニ機會アル每ニ之カ闡明ニ力メ居レルカ植民地再分會議ヲ提唱スルカ如キハ現下世界ノ實情上適切ニ非スト認ム

右及答辯候也

昭和十二年三月九日

拓務大臣　結城豐太郎

外務大臣　佐藤　尚武

衆議院議員選擧法中改正法律案提出ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十二年二月二十五日

提出者　青木　亮貫

衆議院議員選擧法中改正法律案提出ニ關スル質問主意書

庶政一新ノ根本、立憲政治ノ確立ハ選擧法ノ改正ニアリ然ルニ政府ハ口ニ庶政一新立憲政治恰循ヲ唱ヘ乍ラ既ニ成案トナレル選擧法改正案ヲ未タ本期議會ニ提出セサルハ吾等ノ頗ル遺憾トスル所ナリ吾等ハ速ニ政府カ選擧法改正案ヲ本期議會ニ提出スルコトヲ要求ス政府ハ之ヲ提案スル意思アリヤ

右及質問候也

昭和十二年三月九日
　　內閣總理大臣　林　銑十郎
　衆議院議長富田幸次郎殿
衆議院議員青木亮貫君提出衆議院議員選舉法中改正法律案提出ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
（別紙）
　衆議院議員青木亮貫君提出衆議院議員選舉法中改正法律案提出ニ關スル質問ニ對スル答辯書
現行衆議院議員選舉法ニ關シテハ之ガ改正ヲ要望スル向少カラザルモノアルニ鑑ミ前內閣ニ於テハ特ニ選舉制度調査會ヲ設置シテ其ノ改正要綱ニ付種々調査審議セシムル所アリ昨年末ニ至リ同調査會ノ答申ヲ得テ改正法律ノ立案ニ著手シタルモ之ヲ議會ニ提案スル爲必要ナル諸般ノ手續ヲ了スルニ至ラザリシモノナリ、現內閣亦現行制度中改正ヲ要スルモノアルコトハ之ヲ認ムル所ナリト雖モ之ヲ議會ニ提案スルガ爲ニハ諸種ノ重要ナル手續ヲ經ザルベカラザル等ノ事情モアリ改正法律案ヲ會期切迫セル今期議會ニ提出スルコトハ困難ナリト思料ス
右及答辯候也
昭和十二年三月九日
　　內務大臣　河原田稼吉

　廣田內閣ノ辭職ト林內閣ノ成立ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
昭和十二年二月二十七日
　　提出者　尾崎　行雄
　廣田內閣ノ辭職ト林內閣ノ成立ニ關スル質問主意書
第一問　今回ノ政變ニ關スル事態ホド不思議ナモノハナイ。廣田內閣ハ何故ニ辭職シタノカハッキリワカラナイ。世間ニ傳フル所ニ依レバ、一月二十一日ノ衆議院ニ於テ一議員ノ質問ガアッタ後、寺內陸相ガ突然解散論ヲ主張シ其結果廣田首相ハ突然總辭職ノ決心ヲシタヤウデアル。元來衆議院議員ハ民意ヲ代表スル爲ニ選擧セラレタモノデアルカラ前ノ總選擧以後ニ於テ國民ノ意思ガ大ニ變化シ、現在ノ議員ガ民意ヲ代表シテキナイト云フ證據ガナケレバ議會ハ解散スベキモノデナイ。ヨシ理不盡ニ解散ヲ主張スルニシテモ、ソレハ議會再開前ニ爲スベキコトデアッテ平生ノ如ク議會ヲ開キ僅カニ質問演說ノ始マッタバカリノ所デ解散論ヲ提出スルガ如キハ常識外レノ言動デアル。若シ閣僚中ニ此ノ如キ非常識ナ主張ヲ爲スモノガアッタナラ總理大臣タルモノハ親切丁寧ニ其心得違ヒヲ說キ諭シテ過ヲ改メサスベキデアル。若シドウシテモ過ヲ改メナケレバ、其閣僚ダケヲ辭職セシメテ平生ノ如ク國務ヲ進行スベキデアル。陸相ガ辭職スレバ其後任者ガ得ラレナイト云フガ如キハ、　天皇陛下ノ任免大權ヲ蔑如スル所ノ思想デアッテ、苟モ帝國臣民タルモノハ　聖意ニ背イテ就任ヲ拒ムガ如キ不臣ノ振舞ヲスル筈ガナイ。病氣其他萬止ムヲ得ザル場合ノ外ハ何人ト雖モ　陛下ノ任命ヲ拒否スルコトハ出來ナイ。殊ニ軍人タルモノハ、此觀念ガ一層强クナケレバナラヌ。故ニ陸相ノ後任ヲ撰定スルガ如キハ決シテ難事デハナイ。然ルニ廣田首相ガ內閣ヲ投ゲ出スニ至ッタノニハ何カ隱レタ事實ト理由ガナケレバナラヌ。只表面ニ現ハレタ事態ダケデハ廣田內閣總辭職ノ理由モ原因モ一切ワカラナイ　新內閣ハ將來再ビ此ノ如キ不可解ナル政變ヲ惹起シ以テ上ハ宸襟ヲ惱マシ奉リ、下ハ國民ヲ困迷セシムルガ如キコトナカラシムル爲詳細ノ顚末ヲ公表スベキデナイ乎。

第二問　民政、政友ノ兩大政黨ハ四名ノ大臣ヲ內閣ニ送ッテ居リ四大臣ハ政府案ニ總テ贊成シテ居ルカラ、タトヘ多少ノ波瀾ハアッテモ結局陸海軍ガ要求シテキル所ノ軍備充實ニ關スル議案ハ大體ニ於テ今回ノ衆議院ヲ通過スルニ相違ナイ。然ルニ解散スレバ總テノ議案ノ實行ハ少クトモ三四ケ月後レルノミナラズ兩大政黨ヲ正面ノ敵トシテ總選擧ニ臨メバ、如何ナル手段方法ヲ施シテモ、兩黨以上ノ政府黨議員ヲ得ルコトハ出來マイ。六十年間培養シ來ッタ政黨ノ地盤ハ二回ヤ三回ノ解散ニ依ッテ崩壞スルモノデナイ。其上ニ政府ガ之レヲ正面ノ敵トシテ挑戰スレバ元來政府案ニ贊成スル心算デアッタ所ノ兩大政黨モ多分之レニ反對スベク餘儀ナクサレルデアラウ。サスレバ軍備充實案ト其關聯法律案ハ、大ニ延期セラルルバカリデナク或ハ實行スルコトガ出來ナクナルカモ知レナイ。海軍大臣ガ軍備充實案ヲ通過サセル爲ニ解散ニ反對シタノハ當然ノコトデアル。故ニ陸相ガ强ヒテ解散ヲ主張シタトスレバ、軍備充實案以上ニ重大ナ國家的問題ガナケレバナラヌ。ソレハ果シテ何デアッタ乎。解散ニ依ッテ其目的ヲ達シ得ベキ軍備充實以上ノ大問題モナイノニ濱田代議士相手ノ問答ニ於ケル言語ノ枝葉末節ニ囚ヘレテ卒然解散ノ決心ヲ起シタトセバ、ソレハ事ノ大小輕重ヲモ辨ヘザル人物ノ所行デアッテ苟モ國務大臣タル者ノ爲スベキ所デハナイ、寺內伯ガ此ノ如キ小人物デナイコトハ疑ヲ容レナイカラ、此ノ點ニ於テモ隱レタ重大ナ事實ガアッタノデアラウ。政府ハ國家ノ爲又寺內伯ノ名譽ノ爲ニ之ヲ公表スベキデハナイ乎。

第三問　內閣總辭職ノ後　陛下ハ常例ニ依ッテ後任首相ノ推薦ヲ西園寺公ニ御諮詢ニナリ、公ハ宇垣大將ヲ奏薦シタ。元來宇垣大將ニ對シテ、陸軍部內ニ反對ガアルコトハ世間周知ノ事實デアル。故ニ西園寺公ガ大將ヲ奏薦スルニ當ッテハ其反對ヲ押切ルダケノ手段方法ヲ考ヘタ後デナケレバナラナイ筈ダ。又宇垣大將モ十分ノ考慮ヲ費シテ大命ヲ拜受スベキデアッタ。一旦大命ヲ拜シタル後、陸軍部內ノ反對ニ會ッテ、大命奉行ニ支障ヲ生ズルガ如キ事アッテハ、畏レ多クモ　陛下ノ御威光ニ關係スルカラデアル。然ルニ西園寺公モ宇垣大將モ此ノ注意ヲ怠リ、　陛下ニ對シテ他ノ職司ニ比スレバ一層深ク服從ノ義務ヲ負フ所ノ陸軍軍人ノ反對ヲ受ケテ、內閣組織ノ大命ヲ奉行スル能ハズ、爲ニ　陛下ノ御威光ニモ關ハルベキ事態ヲ招來スルニ至ッタコトハ、殘念至極ナ次第デアル。此ノ顚末ニ付テモ世間ニ知ラレザル事實ガアル筈デアル。政府ハ一切ノ事實ヲ發表シテ國民ノ疑惑ヲ解クト同時ニ、　陛下ノ御威光ヲ發揚シ奉ルベキデハナイ乎。

第四問　宇垣大將ノ組閣進行中陸軍ハ三長官會議ニ於テ宇垣內閣ニ陸相ヲ送ラナイコトニ決定シタルガ如キ報道ガ屢〻新聞紙上ニ　現ハレタガ、　陸相ノ任命ハ申スマデモナク　陛下ノ大權デアッテ、何人モ此ノ大權ノ運用ヲ阻止シテハナラナイ。　陛下ガ宇垣大將ヲシテ內閣ヲ組織セシメントシ給フニ當ッテ陸軍ノ三長官ガ之レニ反對スルガ如キハ、軍職ニ居ル者ノ絕對ニ爲スベカラザル所ト思ハレル。又三長官トハ陸相、參謀總長、敎育總監ノ事デアラウガ、此ノ場合ニ於テ主要ノ位置ヲ占ムル陸相寺內大將ハ、　陛下寄託ノ職務ヲ奉行スル能ハズシテ辭表ヲ奉リ、待命中ノ身分デアル。只管恐懼謹愼シテ罪ヲ闕下ニ待チ國家必要ノ常務以外ニハ何事ニ付テモ意見ナド述ブベキデナイ、一步退イテ此ノ場合陸相ハ恐懼謹愼スルコトヲ要セズ、平生ノ如ク職責ヲ執行シ得ベシトスルモ、三長官會議ニ於テ、內閣組織ノ大命奉行ヲ阻止スル結果トナル如キ決議ヲ爲スコトハ、　陛下ニ對シテ畏レ多キ次第ト思ハレル。
若シ　陛下ガ隈板內閣組織ノ時ノ如ク、陸海軍大臣ニ對シテハ、內閣組織ノ大命拜受者ノ奏薦ヲ待タズ、直接ニ任命大權ヲ御使用遊バサレタナラバ三長官ハ如何ニシテ其過ヲ謝スルデアラウ乎。只辭職スルダケデハ濟マナイデアラウ。又宇垣內閣組織中ニ陸軍ノ總意トカ、軍ノ意向トカ稱スルモノガ、屢〻新聞紙上ニ發表セラレタガ、苟モ軍人タルモノハ內閣組織ハ無論ノ事、其他ノ政治問題ニ付イテモ、其意見ヲ公表スルコトハ陸軍刑法ヲ以テ禁ゼラレテ居ル。故ニ內閣組織ト云フガ如キ政治問題ニ關スル、陸軍ノ總意ト稱スベキ意見ハ絕對ニアリヤウ筈ガナイ。所謂陸軍ノ總意ナルモノハ僅カニ數名若クハ數十名ノ意見ニ過ギナイモノト思ハレルガ、ソレニシテモ演說若クハ文書ヲ以テ之レヲ世間ニ公表スルコトハ、陸軍刑法第百三條ノ禁ズル所デアル。政府ハ何故ニ之等ノ刑法違反者ヲ不問ニ付スル乎。
（參　照）
　陸軍刑法第百三條
　政治ニ關シ上書、建白其ノ他請願ヲ爲シ又ハ演說若ハ文書ヲ以テ意見ヲ公ニシタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第五問　單ニ外間ニ漏レタダケノ事跡ニ據レバ、　天皇陛下ハ宇垣大將ヲシテ內閣ヲ組織セシメントシ給ヒ、陸軍ハ之レニ反對シ遂ニ　陛下ノ御希望ハ行ハレズシテ、陸軍ノ意見ガ行ハレタヤウニ見エル。卽チ　陛下ノ大命ヲ奉行セントスル者ト陸軍三當局者トノ間ニ確執ノ存シタル影響トシテ　陛下ガ却ッテ御讓步遊バサレタヤウニモ見エル。帝國臣民タルモノ誰カ此ノ畏レ多キ事態ノ出現ニ對シテ長嘆大息セザルモノガアラウ、是レニハ必ズ世上ノ憂懼ヲ一掃スルニ足ルベキ事實ト理路ガアルデアラウ。政府ハ速ニ之レヲ發表シテ世ノ忠臣義士ヲ安堵セシムベキデハナイ乎。

第六問　一月三十日及二月一日ニ於テハ聲明書若クハ當局談ノ形式ヲ以テ、陸海軍兩省ノ意見ト稱スルモノガ發表セラレタガ、此ノ意見ハ果シテ何人ノ意見ナル乎。
其大臣ハ何レモ待命中デアッテ、大臣以外ニハ省ヲ代表シテ、政治的意見ヲ發表シ得ベキ人ナク、發表スル者ハ各〻刑法違反ノ行爲トナル。而シテ未ダ何人モ之レガ爲ニ處罰セラレタコトヲ聞カナイ。苟モ肅軍ト云フ以上ハ之等ノ刑法違反者ヲ處分シ、以テ將來ノ禍根ヲ芟除スルヤウニシナレバナラヌ。
陸海軍以外ノ各省官吏ト雖モ、其戴クベキ大臣ニ付テ多少ノ意見ヲ持タナイモノハナカラウガ、何レノ省ノ官吏モ、同志ヲ糾合シテ之レヲ公表シタ事ハナイ。然ルニ陸海軍兩省ノ將校ダケガ、ソレヲ爲スガ如ク頻々新聞紙上ニ公表サレテキル。他省ノ官吏ハ選擧權ノ行使ヲ許サレテ居リ、其仕事モ直接間接ニ政治ニ關係スルモノガ多イ。ソレデモ尙ホ新大臣ノ御任命ニ對シテハ意見ヲ公表シナイ。然ルニ政治ニハ最モ緣ノ遠カルベキ將校卽チ選擧權ノ行使スラ許サレナイ所ノ軍人ガ大命拜受者ニ向ヒ軍部ノ名ヲ藉リ、各種ノ要望ヲ爲シタガ如ク公表サレテキルガ、世評ニ敏感ナル當局者ハ未ダ其取消ヲ命ジナイ。若シ此ノ如キ事實アリトセバ、是レハ由々シキ大事デアッテ、殷鑑遠カラズ五・一五事件ニ在リ、二・二六事件ニ在リ、斯ノ如キハ畢竟スルニ、政治ニ關與スベカラザル軍人ガ政治ニ關與シ、又ハ之レニ興味ヲ持ッタ爲ニ起ッタ不祥事ニ外ナラナイ。今ニシテ軍紀ヲ肅正セザレバ、將來モ亦類似ノ不祥事件ガ起ラヌトハ何人モ保證スルコトハ出來難イ。故ニ全國人民中ノ心アルモノハ何レモ右等ノ報道ヲ讀ンデ深ク憂慮シテキル。政府ハ世ノ浮說流言ヲ一掃スルニ足ルベキ事實ヲ發表スルト同時ニ、軍紀ヲ肅正シ、セメテハ普通文官ガ遵守シテキルダケノ規律ヲ軍人ニモ、遵守セシムル意圖ナキ乎。

第七問　內閣組織ノ大命ヲ拜シタ者ハ其奏薦スベキ大臣ト其擔當スベキ官省トノ關係ヲ考慮スルハ宜シイガ、公然其推薦方ヲ當該官省ニ依賴シテハ、組閣大命ノ一部ヲ他人ニ讓渡シタ事ニナル。是レ亦　陛下ニ對シテ畏レ多イ事デアッテ、任免大權ノ輕視ト評セラレテモ、辯解ノ言葉ハナカラウ。然ルニ林大將ハ、陸海軍大臣ノ推薦ヲ辭表提出中ノ現任大臣ニ依賴シタト世間ニハ傳ヘラレテキル。マタ其上ニ待命中ノ兩大臣ガ提出シタ候補者ハ自己意中ノ候補者ト異ッテキタ爲一時組閣ノ困難ヲ生ジ、其事ノ　聖聽ニ達スルヤ、陛下ニハ宸襟ヲ惱マセラレ深夜宮中ノ重臣ヲ御召シニナッタトモ傳ヘラレテキル。カクテ一時ハ行キ惱ンダガ、林大將ハ自己ノ意見ヲ屈シ、辭職待命中ノ兩相ニ讓步シテ漸ク組閣ノ大命ヲ奉行スルヲ得タト云ハレテキルガ、是レ亦主客顚倒ノ甚シキモノデアッテ、任免大權ノ威嚴ニモ關係スベキ事柄デアル。口ニ國體明徵ヲ稱ヘル人々ガ斯ノ如キ過失ヲ犯スニ至ッタノハ、實ニ遺憾千萬デアル。
此事ニ就テモ、世上ノ誤解ヲ解クニ足ルベキ隱レタル事實ガアラウト思ハレルカラ、首相ハ自己及陸海兩省ノ名譽ノ爲ニ之ヲ發表スベキデナイ乎。

第八問　任免大權ハ、　天皇ノ大權中最モ大切ナモノデアル。他ノ大權ハ何レモ責任者ノ進言ヲ待ッテ御行使遊バサレル事ニナッテキルカラ、ソノ責任ハ輔弼ノ大臣ニ歸スルガ、內閣組織ノ場合ニ於テハ、諸大臣ガ總辭職ヲシタ際デアルカラ輔弼ノ責任者ガナク、　陛下自ラ直接ニ之ヲ御行使遊バサレル手續キトナル。我ガ國デハ元老ニ御諮詢ニナッテキルガ、之ハ藩閥政治時代ニ於ケル特殊ノ事情ニ出テ起ッタ慣例デアッテ、現在ノ如ク藩閥ガ旣ニ消滅シテ、上御一人ト下萬民ノ間ニハ何人モ介在スル事ナク「義ハ君臣、情ハ父子」ト大正天皇ガ仰セラレタ通リ君民一致ノ關係ヲ實現シテ居ル時代ニ於テハ、何人ニモ御諮詢ナク、　天皇自ラ其事ニ當ラセ給フ方ガ朝廷ノ爲ニモ、人民ノ爲ニモ好イヤウニ思ハレル。林首相ハ君國ノ爲メ從來ノ慣例ノ改善ヲ奏請スル意圖ナキ乎。

第九問　元來元老ナルモノハ、憲法ニモ法律ニモ何等ノ規定モナイ一種特別ノ重臣デアルカラ、ソノ進言ガ誤ッテモ制度上責任ヲ負ハセル　コトハ出來ナイ。ソノ元老モ現在ハ西園寺公一人デアッテ、近年ノ公ノ奏薦ハ世人ニ滿足ヲ與ヘテキナイ。殊ニ今回宇垣大將奏薦ノ結果ニ至ッテハ、實ニ慨嘆ニ堪ヘザルモノガアル。宇垣大將ニ對スル陸

軍ノ反對モ、若シソレガ極祕裏ニ行ハレタナラ、世間一般ハ知ラズニ過ギタデアラウガ、不幸ニシテ白晝公然萬衆環視ノ間ニ行ハレタ。而シテ啻ニ宸襟ヲ惱マシ奉レルノミナラズ、斯ノ如キ惡結果ヲ生ジタ以上ハ、西園寺公タルモノハ、タトヘ制度上責任ナキモ道義上其責ニ任ゼザルヲ得マイ。

遡ツテ考フルニ　明治天皇ノ聰明絕倫ナル新内閣組織ノ適任者ニ就テ、他人ニ御諮詢遊バサルベキ必要ハナカツタノデアル。唯ゞ明治中興ノ大業ハ主トシテ　陛下ノ御稜威ト薩長ノ武力トニ依テ成就シタモノデアツテ、一歩ヲ誤レバ建武中興ノ挫折ヲ再演スルノ憂モ絕對ニナイトハ保證出來ナカツタノデアル。武力ヲ以テ北條ヲ斃シタ後ヘ、後醍醐天皇ノ英武ヲ以テスルモ、尙ホ尊氏ガ北條ニ代ルコトヲ防止シ得ラレナカツタ。　明治天皇ノ英明ナルコト、後醍醐天皇ノ比デナク、又薩長人士ノ勤王心ニ富ムコト、尊氏等ノ比類デナカツタコトハ論ズルマデモナイガ、武力ヲ以テ武門政府ヲ斃シタ者ヘ、動モスレバ斃サレタ者ニ代ル傾向ヲ持ツテキル。加之當時ノ長閥ハ陸軍ヲ、薩閥ハ海軍ト警視廳ヲ掌握シテ、他縣人ノ進入ヲ許サナカツタカラ、　明治天皇ガ此ノ兩藩閥ヲ御操縱シ給フ爲ニハ一方ナラズ御苦心遊バサレタコトハ申ス迄モナカラウ。此關係カラ、陸海軍ノ對立モ起リ、兩藩閥ノ首領等ニ元老ノ優遇ヲモ御與ヘニナツタノデアル。内閣組織ノ場合ニ方ツテハ、兩藩ノ權衡ヲ維持シ且ツ其歡心ヲ繫グタメ、元老ニ御諮詢ニナルコトガ、最モ賢明ナ御處置トシテ、人物選擇ノ必要ヨリモ寧ロ兩藩ノ權衡維持歡心收攬ノ爲ニ、此慣例ハ起ツタノデアル。然ルニ明治ノ末年ニ至ツテハ、薩長兩藩閥ノ根柢ハ全ク崩壞シ、　陛下ト國民トノ關係ガ直接ニナリ、其結果トシテ、全國ノ同志ヲ集メテ組織シタ政黨ノ首領タル伊藤公ヤ西園寺公ガ、三回マデモ内閣ヲ組織スル事ニナツタ。薩長人ニ限定サレテキタ總理大臣ハ、薩長以外ノ人物デモ之レニ就キ得ルヤウニナツタ。大正ノ中頃此ノ形勢ハ益ゞ成熟シ、兩大政黨ノ首領ガ代ル代ル内閣組織ノ大命ヲ拜スル事ニナツテ、勢ノ趣ク所遂ニ桂、田中兩大將ノ如キモ、藩閥ノ殘壘ヲ捨テ政黨ノ人トナルニ至ツタ。言換レバ薩長ヲ土臺トセズ、國民ヲ土臺トスルヤウニナリ、又全國人民ハ薩長ト云フ中介物ヲ經ズシテ、直接ニ天皇ヲ奉戴スルコトニナツタノデアル。我ガ政界ハ明治年間ト大正以後ハ全クソノ趣キヲ異ニシテキル。斯ノ如ク内閣ガ國民ヲ基礎トシテ成立スルコトニナツタ以上ハ、藩閥時代ニ賢明ノ御處置デアツタ所ノ内閣組織者ヲ元老ニ御諮詢ニナル慣行ハ既ニ前世ノ遺物トナリ、現在ノ時勢ニハ適應シナイモノトナツタ。故ニ今日以後ハ元老ノ推薦ヲ待タズシテ、直接ニ任命大權ヲ御使用遊バサルベキデアラウ。若シ元老ニ御諮詢ニナラズ、　陛下自ラ任免大權ヲ直接ニ御行使遊バサレタナラ、近來ノ如キ結果ハ起ラナカツタデアラウト思ハレル。政府ハ内閣總辭職ノ際ニ於ケル任免大權ノ御發動ニ關シ斯ノ如ク奏請スルコトヲ時勢ニ適應スル臣節トハ思考セザル乎。

第十問　西園寺公ガ、元老ノ御優遇ヲ辭退サレタ後、新内閣組織ニ當リ、若シ世間ノ事情ヲ御聽取リニナル必要ガアル場合ニハ、將來ハ全國民ヲ代表スル所ノ、衆議院議長及貴族院議長ニ御諮詢ニナルコトガ、最モ適當ナ御處置カト思ハレル。但シ貴衆兩院議長ガ、從來ノ如ク政治的野心ヲ抱キ、若クハ一黨一派ノ人デアツテハ此ノ大任ニ當ラセルコトハ出來ナイカラ、將來ハ兩院議長ニハ最モ公明正大ニシテ、政治的野心ノナイ人格者ヲ選任スルコトニ改メナケレバナラヌ。

衆議院ガ議長候補者ヲ選擧スルニ方ツテハ全ク黨派的觀念ヲ捨テ、院中第一ノ人格者ヲ擧ゲ、全院一致シテ之ヲ選擧スベキデアル。英國ニ於テハ、多數黨ガ少數黨中ノ人格者ヲ物色シテ、之レヲ議長ニ推薦シタキ旨ヲ少數黨ニ交涉シ、滿場一致ヲ以テ選擧シタ實例スラアル。其議長ハ一切黨派的感情ヲ拭ヒ去ッテ、最モ公平嚴肅ニ職務ニ當リ議會ハ幾度代ッテモ議長ハ再選セラレルコトニナッテキル。我ガ國デモ、ソノ位ノ事ハ出來ソウナモノダ。將來ハ議長候補者選擧ノ際ニ於ケル從來ノ惡慣例ヲ變改シテ、現在ノ元老ニ代ッテ　陛下ノ御諮詢ニ奉答シ得ル人物ヲ擧ゲルヤウニシタイモノデアル。但シソノ場合ニ於テモ、　陛下ニ於カセラレテハ、止ムヲ得ザル必要アル時ノ外ハ、兩院議長ニモ御諮詢アラセラレナイ方ガ宜シカラウカト恐察シ奉ル。　陛下ノ英明ナル如何ナル人物ガ、新内閣組織者トシテ、最モ適當デアルカハ、必ズ御承知ノコトト思フ。然ルニ直接　聖斷ヲ下サズ、公然重臣ニ御諮詢ニナレバ、其奉答ガ多少　聖慮ニ協ハザル場合ニモ、之ヲ御採用ニナラナケレバナラナイ事情モ起リ得ルデアラウカト思ハレル。且ツ重臣等ノ奉答ト思ヘバコソ、之ニ反對スルモノモアラウガ、　陛下直接ノ大命ニハ何人ト雖モ反對スルガ如キコトハナイ筈デアル。

林首相ハ從來ノ慣例ノ御改易ヲ奏請シ奉ルベキ他ノ何等ノ方法モナシトスル乎。

右及質問候也

昭和十二年三月九日

内閣總理大臣　林　銑十郎

衆議院議長富田幸次郎殿

衆議院議員尾崎行雄君提出廣田内閣ノ辭職ト林内閣ノ成立ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員尾崎行雄君提出廣田内閣ノ辭職ト林内閣ノ成立ニ關スル質問ニ對スル答辯書

第一問、第二問、第三問及第五問ニ付テ
質問ノ趣旨ハ何レモ現内閣ノ關知セザル事實ニ關スルモノニシテ、答辯ノ限ニ非ザルモノト思料ス

第四問ニ付テ
陸軍刑法第百三條ノ罪ヲ犯シタル者アラバ之ヲ不問ニ付スルノ意思ナシ

第六問ニ付テ
一月三十日及二月一日發表セラレタリト稱セラルル陸海軍兩省ノ意見ハ如何ナルモノヲ指稱セラルルヤ判明セザルモ世ノ浮說流言ニ對シテハ之ガ一掃ニ付適切ナル方策ヲ講ズルト共ニ軍ノ紀律肅正ニ付テモ亦萬遺憾無キヲ期シ居レリ

第七問ニ付テ
陸海軍大臣任命ノ奏薦ニ關シ任免大權ヲ冒瀆シ國體明徵ノ精神ニ反スルガ如キ事無ク、又世上ノ誤解ヲ招クガ如キ隱レタル事實モ無シ

第八問、第九問及第十問ニ付テ
内閣組織ノ大命降下ニ關スル點ハ論議ヲ避クルヲ適當ト認ム

右及答辯候也

昭和十二年三月九日

内閣總理大臣　林　銑十郎
海軍大臣　米内　光政
陸軍大臣　杉山　元

精神的國防充實ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十二年二月二十七日

提出者　中村　又一

精神的國防充實ニ關スル質問主意書

一　我カ國ノ經濟的國力ハ英米等ニ比シ豐富ナラスト思料スルト同時ニ國防費ノ負擔ハ亦頗ル輕カラスシテ際限ナキ物質的軍備ノ擴張ハ國力ノ耐フル所ニ非スト信ス然レトモ國防ハ世界ノ形勢、隣國ノ狀況ヲ顧ミスシテ我ガ國獨リ軍備ヲ制限遠慮シ得ヘキニ非サレハ帝國現在ノ國防計畫ハ其ノ必要ナル程度ヲ超エ居ルモノトハ信セサルカ今後國防ノ有形的設備ニ於テ出來ルタケ整理節約ヲ爲シ而モ國防ノ完璧ヲ期スル上ニ於テ精神的國防充實策ヲ實施スルノ意思アリヤ如何

二　既往日露戰役ノ實際ニ徵スルニ同戰役直前一九〇三年三月ノ露紙ハ日露戰爭ハ日本ノ自殺ヲ意味スト迄報道シ當時露國軍備ノ有形的設備ハ我カ國ノ其レニ比シ十倍二十倍ノ强大ヲ思ハセタル程ナリシニ寧ロ天祐トモ觀ルヘキ戰勝ヲ續ケタリ是レ陣中將卒ノ士氣全ク昂リテ所謂金鵄勳章精神ノ活動旺盛ナリシニ因ルモノト思惟スルカ政府ニ於テハ此ノ際精神的國防充實ノ根本策トシテ軍人精神ノ鼓舞作興、思想善導ノ爲長クモ明治二十三年二月十一日金鵄勳章御創設ノ詔ニ「金鵄勳章ヲ創設シ將來武功拔群ノ者ニ授與シ永ク天皇ノ威烈ヲ光ニシ以テ其忠勇ヲ獎勵セントス」ト宣ハセラレタル御趣旨ニ基キ戰役殊勳者待遇改善ニ付相當ノ處置ヲ速ニ爲ス意思アリヤ如何

三　戰役殊勳者ニ對スル金鵄勳章年金ハ明治二十七年功七級ハ六十五圓ニ制定セラレ翌二十八年貨幣價値ノ變動等ニ依リ金百圓ニ改正シテ日淸戰役論功行賞ノ際實施シタルモノナルカ日露戰役當時ヲ回顧スルニ出征軍人中例ヘハ恩給年限ニ達シ恩給ヲ受領シタル一等卒上等兵ハ四五十圓程度ノ恩給ヲ給與セラレタルニ功七級年金ヲ受領シタル殊勳者ノ一等卒ハ金百圓ノ年金ヲ受領シ乃チ「恩給、年金ヲ羨ム」程社會羨望ノ的トナリ忠勇ノ鼓舞獎勵ニ資シタルモノナルカ今日ニ於テハ恩給法數度ノ改正ニ依リ前記一等兵ノ恩給カ金二百圓前後ニ增額セラレ現在ニ於テ功七級年金ハ百五十圓ニシテ「金鵄勳章年金、恩給ヲ羨ム」カ如キ狀態ニテ其ノ他殊勳者ノ待遇ハ總テノ點ニ於テ多年忘却セラレ居ルコトハ誠ニ遺憾ノ次第ナルカ政府ニ於テハ金鵄勳章御創設ノ詔ニ對シ奉リ又金鵄勳章年金令ノ趣旨ニ副ヒ居ルモノト信スルヤ如何

四　政府ハ戰役殊勳者ノ精神的待遇方法ヲ考慮シツツアリト言フカ其ノ方法範圍ハ如何ナルモノナリヤ具體的實施ノ方策如何

五　金鵄勳章年金ノ增額改正ハ他ニ波及スル點アリトノ言明ナルカ假令恩給亡國論ヲ爲ス者ハ多少アリトシテモ國民中金鵄勳章年金亡國論ノ意見ヲ持ツ者ハ一人モナシト確信スルカ政府ノ所見如何

六　林内閣總理大臣ハ陸軍大臣當時院外ニ於テ殊勳者優遇ノ必要ヲ認メラレ當時大角海軍大臣ト共ニ精神待遇方法ノ一端トシテ國有鐵道乘車特典ノ實施ヲ希望サレタルコトアリシカ今日殊勳者ノ精神的待遇トシテ眞ニ實行セムトスル有效適切ナル具體案ヲ有スルヤ然リトセハ其ノ内容ノ要領如何

右及質問候也

昭和十二年三月九日

内閣總理大臣　林　銑十郎

衆議院議長富田幸次郎殿

衆議院議員中村又一君提出精神的國防充實ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員中村又一君提出精神的國防充實ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、精神的國防充實ハ之ニ努力中ナリ

二、昭和十二年一月二十一日提出質問第三號戰役殊勳者待遇ニ關スル質問主意書ニ對シ昭和十二年二月二十三日附ヲ以テセル答辯書(五)、(六)ニ於テ答辯セル通リナリ

三、五、前項答辯書(一)ニ答辯セル通リナリ

四、六、種々優遇ノ方法ヲ講ジツツアリ、尙ホ引續キ研究中ニ屬ス

右及答辯候也

昭和十二年三月九日

内閣總理大臣　林　銑十郎
陸軍大臣　杉山　元
海軍大臣　米内　光政

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ揭載ス)

一　政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

(第一號)昭和十一年度歲入歲出總豫算追加案

(特第一號)昭和十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

製鐵事業法案

大正九年法律第五十三號中改正法律案
(關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)

地方鐵道補助法中改正法律案

大正九年法律第五十六號中改正法律案
(北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)

(以上三月八日提出)

一　議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案
提出者
宮脇　長吉君　八角　三郎君

蠶絲業組合法中改正法律案
提出者
淸水留三郎君　門田　新松君
小山邦太郎君

傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案
提出者
中村　又一君　江藤源九郎君
一松　定吉君　原口初太郎君
川橋豐治郎君　藤山　貞吉君

衆議院議員選擧法中改正法律案
提出者
牧野　賤男君　小林　錡君
牧野　良三君　名川　侃市君
益谷　秀次君　紅露　昭君
宮崎　一君　篠原　義政君
青木雷三郎君　中井　一夫君
立川　太郎君　立川　平君

阿波池田川之江間鐵道敷設ニ關スル建議案
提出者
本多眞喜雄君　田村　秀吉君
小野　寅吉君　武知　勇記君
松田喜三郎君　村上紋四郎君
尾崎　重美君　高島　兵吉君

利根川沿岸築堤ニ關スル建議案
提出者
豐田　豐吉君

新居濱ヨリ別子ヲ經テ伊野ニ至ル鐵道建設ニ關スル建議案
提出者
小野　寅吉君

私立大學總長學長及教職員優遇ニ關スル建議案
　提出者　永山　忠則君
私立大學國庫補助ニ關スル建議案
　提出者　永山　忠則君
霧島國立公園ノ施設促進ニ關スル建議案
　提出者　陣　軍吉君
宮崎小林間鐵道速成ニ關スル建議案
　提出者　陣　軍吉君
釜石本莊間鐵道速成ニ關スル建議案
　提出者　小山田義孝君
　　信太儀右衛門君
　　土田　莊助君
雪國地帶ノ鐵道敷設速成ニ關スル建議案
　提出者　八田　宗吉君
野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案
　提出者　八田　宗吉君
湖南鐵道敷設ニ關スル建議案
　提出者　八田　宗吉君
野澤柳津間田島只見間坂下喜多方間鐵道敷設ニ關スル建議案
　提出者　八田　宗吉君
磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園指定ニ關スル建議案
　提出者　八田　宗吉君
水澤遠野間鐵道建設ニ關スル建議案
　提出者
　　志賀和多利君　松川　昌藏君
水澤大船渡間省營バス運轉ニ關スル建議案
　提出者
　　志賀和多利君　松川　昌藏君
國際競馬場設置ニ關スル建議案
　提出者
　　倉成庄八郎君　佐保　畢雄君
　　西岡竹次郎君
長崎港修築ニ關スル建議案
　提出者
　　倉成庄八郎君　佐保　畢雄君
　　西岡竹次郎君

長崎港ニオイルステーション建設ニ關スル建議案
　提出者
　　倉成庄八郎君　佐保　畢雄君
　　西岡竹太郎君
竹內式部山縣大貳ヲ尋常小學校教科書ニ復活ニ關スル建議案
　提出者　今井　新造君
巡査及看守ノ待遇改善ニ關スル建議案
　提出者　松本治一郎君
小開墾助成ニ關スル建議案
　提出者　松本治一郎君
家畜商組合法制定ニ關スル建議案
　提出者
　　岡田　春夫君　坂東幸太郎君
　　手代木隆吉君
書道振興奬勵ニ關スル建議案
　提出者
　　川崎　克君　安藤　正純君
　　大竹　貫一君　安部　磯雄君
[illegible]賠償價格引上ニ關スル建議案
　提出者　岡本實太郎君
私立大學總長學長及教職員優遇ニ關スル建議案
　提出者
　　內ケ崎作三郎君　野村　嘉六君
　　荒川　五郎君　原　夫次郎君
　　平川松太郎君　一松　定吉君
私立大學國庫補助ニ關スル建議案
　提出者
　　內ケ崎作三郎君　野村　嘉六君
　　荒川　五郎君　原　夫次郎君
　　平川松太郎君　一松　定吉君
官幣大社阿蘇神社造營ニ對シ國費支辨ニ關スル建議案
　提出者
　　安達　謙藏君　伊豆　富人君
　　松野　鶴平君　三善　信房君
　　大麻　唯男君　藏原　敏捷君
　　中野　猛雄君　石坂　繁君
　　木村　正義君
鐵道豫定線追加ニ關スル建議案
　提出者　植原悅二郎君
鐵道豫定線追加ニ關スル建議案
　提出者　服部　崎市君
敦賀武生間海岸鐵道敷設ニ關スル建議案
　提出者
　　猪野毛利榮君　添田敬一郎君
　　齋藤　直橘君　熊谷五右衛門君
　　福田　耕君
浮世繪美術館建設ニ關スル建議案
　提出者
　　窪井　義道君　眞鍋　儀十君
　　土倉　宗明君　木村　武雄君
（以上三月八日提出）

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
林野整備案ニ關スル質問主意書
　提出者　小坂　梅吉君
財政經濟軍備及外交ニ關スル質問主意書
　提出者　尾崎　行雄君
宮崎縣下各河川發電水利使用及官有林野解放等特種財源保有ニ關スル質問主意書
　提出者　伊東　岩男君
千葉縣綠海村ニ於ケル縣警察隊ノ部落封鎖小學校舍破壞教育勅語冒瀆竝無政府村ノ出現及學童迫害ニ關スル質問主意書
　提出者　土屋淸三郎君
（以上三月八日提出）

一昨八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
樺太市制案（政府提出、貴族院送付）委員
　委員長　野村　嘉六君
　理事　服部　敎一君　門田　新松君
　理事　西村金三郎君（理事中山福藏君本月四日委員辭任ニ付其ノ補闕）
　理事　上田孝吉君（理事藤山貞吉君昨八日理事辭任ニ付其ノ補闕）

一昨八日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
關稅定率法中改正法律案（政府提出）外四件委員
　辭任渡邊玉三郎君　補闕中　亥歲男君
　辭任松山常次郎君　補闕松岡　俊三君
　辭任田中　養達君　補闕馬場　元治君
郵便法中改正法律案（政府提出）委員
　辭任綾部健太郎君　補闕西方　利馬君
一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案（政府提出）外二件委員
　辭任今井　新造君　補闕田川大吉郎君

○議長（富田幸次郎君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、本日ノ日程ニ掲ゲマシタ質問一乃至五ハ、何レモ政府ヨリ答辯書ヲ受領致シマシタ、仍テ日程ヨリ之ヲ省キマス、尙ホ質問ノ答辯ニ對スル意見陳述ノ申出ガアリマスガ、是ハ適當ノ機會ニ許可スルコトニ致シマス――是ヨリ法律案ノ議事日程ニ入リマス、日程第一乃至第三ハ、便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（富田幸次郎君）　異議ナシト認メマス、仍テ日程第一、國民健康保險法案、日程第二、保健所法案、日程第三、結核豫防法中改正法律案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス――國務大臣河原田稼吉君

第一　國民健康保險法案（政府提出）　第一讀會
第二　保健所法案（政府提出）　第一讀會
第三　結核豫防法中改正法律案（政府提出）　第一讀會

國民健康保險法案

國民健康保險法

第一章　總則

第一條　國民健康保險ハ相扶共濟ノ精神ニ則リ疾病、負傷、分娩又ハ死亡ニ關シ保險給付ヲ爲スヲ目的トスルモノトス

第二條　國民健康保險ハ國民健康保險組合（以下組合ト稱ス）之ヲ行フ

第三條　保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ徵收シ又ハ其ノ還付ヲ受クル權利及保險給付ヲ受クル權利ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

前項ノ時效ノ中斷、停止其ノ他ノ事項ニ關シテハ民法ノ時效ニ關スル規定ヲ準用ス

組合ガ規約ノ定ムル所ニ依リテ爲ス保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ徵收ノ告知ハ民法第百五十三條ノ規定ニ拘ラズ時效中斷ノ效力ヲ有ス

第四條　國民健康保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セズ

第五條　保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セズ

第六條　保險給付ヲ受クル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フルコトヲ得ズ

第七條　組合若ハ組合ノ事業ヲ行フ法人又ハ保險給付ヲ受クベキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戸籍ニ關シ戸籍事務ヲ管掌スル者又ハ其ノ代理者ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

第八條　保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ組合ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ組合ハ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

市町村ガ前項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以內ニ其ノ處分ニ著手セズ又ハ九十日以內ニ之ヲ結了セザルトキハ組合ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

第一項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ他ノ公課ニ先ツモノトス

第九條　營利ヲ目的トセザル社團法人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケ組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

第十條　本法中地方長官トアルハ二以上ノ道府縣ニ跨ル組合若ハ組合ノ事業ヲ行フ法人又ハ國民健康保險組合聯合會ニ付テハ之ヲ主務大臣トス

第十一條　本法中町村又ハ町村長トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第二章　國民健康保險組合

第一節　總則

第十二條　組合ハ左ノ二種トス
一　普通國民健康保險組合
二　特別國民健康保險組合

組合ハ法人トス

第十三條　普通國民健康保險組合ハ其ノ地區內ノ世帶主ヲ組合員トシ、特別國民健康保險組合ハ同一ノ事業又ハ同種ノ業務ニ從事スル者ヲ組合員トシ之ヲ組織ス

第十七條第一項但書ノ規定ニ依リ被保險者タル資格ナキ者ハ組合員タルコトヲ得ズ但シ其ノ世帶ニ被保險者タル資格アル者アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

普通國民健康保險組合ノ地區ハ市町村ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

第十四條　組合ヲ設立セントスルトキハ發起人ハ規約ヲ作リ組合員タラントスル者ノ同意ヲ得テ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ニ成立ス

第十五條　組合ノ規約ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
一　組合ノ名稱
二　事務所ノ所在地
三　組合ノ地區（特別國民健康保險組合ニ在リテハ組合員ノ範圍）
四　組合員ノ加入及脫退ニ關スル事項
五　被保險者ノ資格ノ得喪ニ關スル事項
六　其ノ他重要ナル事項

第十六條　普通國民健康保險組合ニ付其ノ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上組合員タル場合ニ於テ地方長官必要アリト認メ其ノ組合ヲ指定シタルトキハ組合員タル資格ヲ有スル者（特別ノ事由アル者ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ除ク）ハ總テ組合員ト爲ルモノトス

第十七條　組合ハ組合員及組合員ノ世帶ニ屬スル者ヲ以テ其ノ被保險者トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ
一　健康保險ノ被保險者
二　他ノ組合又ハ組合ノ事業ヲ行フ法人ノ被保險者
三　特別ノ事由アル者ニシテ規約ヲ以テ定ムルモノ

前項ノ規定ニ拘ラズ組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ世帶ニ屬スル者ヲ包括シテ被保險者ト爲サザルコトヲ得

第十八條　組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ規約違反者ヨリ過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第十九條　組合ハ事業ニ支障ナキ場合ニ限リ被保險者ニ非ザル者ヲシテ組合ノ施設ヲ利用セシムルコトヲ得

組合ハ前項ノ規定ニ依リ組合ノ施設ヲ利用スル者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ依リ利用料ヲ請求スルコトヲ得

第二十條　本法ニ規定スルモノノ外組合ノ管理、財產ノ保管及利用方法其ノ他組合ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二節　事業

第二十一條　組合ハ被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ療養ノ給付、分娩ニ關シテハ助產ノ給付、死亡ニ關シテハ葬祭ノ給付ヲ爲ス但シ特別ノ事由アル組合ハ助產ノ給付又ハ葬祭ノ給付ヲ爲サザルコトヲ得

組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ給付ニ併セテ其ノ他ノ保險給付ヲ爲スコトヲ得

特別ノ事由アル組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ第一項ノ給付ニ代ヘテ療養費、助產費又ハ葬祭費ヲ支給スルコトト爲スコトヲ得

第二十二條　療養ノ給付、助產ノ給付又ハ葬祭ノ給付ヲ爲ス組合其ノ給付ヲ爲スコト困難ナル場合其ノ他必要アル場合ニ於テハ其ノ都度之ニ代ヘテ療養費、助產費又ハ葬祭費ヲ支給スルコトヲ得

第二十三條　組合ハ療養ノ給付ニ要スル費用ノ一部ヲ其ノ給付ヲ受クル者（給付ヲ受クル者組合員ニ非ザル場合ニ於テハ其ノ屬スル世帶ノ組合員）ヨリ徵收スルコトヲ得

第二十四條　組合ハ被保險者ノ健康ヲ保持增進スル爲左ノ施設ヲ爲スコトヲ得
一　疾病又ハ負傷ノ豫防ニ關スル施設
二　健康診斷ニ關スル施設
三　保養ニ關スル施設
四　其ノ他健康ノ保持增進ニ關スル施設

第二十五條　組合ハ其ノ事業ニ要スル費用ニ充ツル爲組合員ヨリ保險料ヲ徵收スス

組合ハ特別ノ事由アル者ニ對シ保險料ヲ減免シ又ハ其ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第二十六條　組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ一定期間保險給付ヲ受クル者ナカリシ世帶ノ組合員（組合員ノミヲ被保險者トスル組合ニ在リテハ保險給付ヲ受ケザリシ組合員）ニ對シ其ノ期間ノ保險料ノ一部ヲ拂戻スコトヲ得

第二十七條　保險給付ノ種類範圍支給期間及支給額、保險料ノ額徵收方法及減免其ノ他保險給付及保險料ニ關シ必要ナル事項ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第三節　管理

第二十八條　組合ニ組合會ヲ置ク

組合會ハ組合會議長及組合會議員ヲ以テ之ヲ組織ス

組合會議長ハ理事長ヲ以テ之ニ充ツ理事長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ行フ

組合會議員ハ組合員ニ於テ之ヲ互選ス

第二十九條　組合會ノ議決スベキ事項左ノ如シ

一　收入支出ノ豫算

二　事業報告及決算

三　收入支出ノ豫算ヲ以テ定ムルモノノ外新ナル義務ノ負擔又ハ權利ノ拋棄

四　準備金其ノ他重要ナル財產ノ處分

五　組合債

六　規約ノ變更

七　其ノ他重要ナル事項

前項第一號及第四號乃至第六號ニ揭グル事項ノ決議ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十條　組合會ハ組合ノ事務ニ關スル書類ヲ檢閱シ、理事ノ報告ヲ請求シ又ハ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

組合會ハ議員中ヨリ委員ヲ選擧シ前項ノ組合會ノ權限ニ屬スル事項ヲ行ハシムルコトヲ得

第三十一條　組合ニ理事數人ヲ置ク

理事ハ組合會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任スル但シ特別ノ事由アルトキハ組合員ニ非ザル者ノ中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クベシ

普通國民健康保險組合ニ在リテハ特別ノ事由ナキ限リ前項ノ規定ニ拘ラズ理事中ニ關係市町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル吏員ヲ加フルモノトス

第三十二條　理事ノ中一人ヲ理事長トス

理事長ハ理事ニ於テ之ヲ互選スル但シ前條第三項ノ決定ニ依ル理事アルトキハ特別ノ事由ナキ限リ之ニ付選任ス

理事長故障アルトキハ規約ノ定ムル所ニ依リ他ノ理事其ノ職務ヲ代理ス

第三十三條　組合會成立セズ又ハ其ノ議決スベキ事項ヲ議決セザルトキハ理事ハ地方長官ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事項ヲ處置スルコトヲ得

第三十四條　組合若ハ組合ノ事業ヲ行フ法人又ハ組合會ニ於テ議決スベキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ組合會成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ理事之ヲ專決スルコトヲ得

第三十五條　前二條ノ規定ニ依リ處置ヲ爲シタルトキハ理事ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ組合會ニ報告スベシ

第三十六條　組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ理事長及理事以外ノ役員ヲ置クコトヲ得

第三十七條　組合分割、合併又ハ解散ヲ爲サントスルトキハ組合會ニ於テ之ヲ議決シ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第三十八條　合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ成立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

分割ニ因リテ成立シタル組合ハ分割ニ因リテ消滅シタル組合又ハ分割後存續スル組合ノ權利義務ノ一部ヲ承繼ス

前項ノ規定ニ依リ承繼スル權利義務ノ限度ハ分割ノ議決ト共ニ之ヲ議決シ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第三十九條　組合ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第四十條　組合解散シタルトキハ理事清算人ヲ爲ス

前項ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキハ地方長官清算人ヲ選任ス清算人缺ケタルトキ亦同ジ

清算人ハ組合ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

清算方法及財產處分ニ付テハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ清算方法及財產處分ノ變更ヲ命ジ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三章　國民健康保險組合聯合會

第四十一條　組合及組合ノ事業ヲ行フ法人ハ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲國民健康保險組合聯合會（以下組合聯合會稱ス）ヲ設立スルコトヲ得

組合聯合會ハ法人トス

第四十二條　組合聯合會ヲ設立セントスルトキハ規約ヲ作リ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

組合聯合會ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ニ成立ス

第四十三條　組合聯合會ノ規約ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　組合聯合會ノ目的及事業

二　組合聯合會ノ名稱

三　事務所ノ所在地

四　加入及脫退ニ關スル事項

五　經費ノ分賦ニ關スル事項

六　其ノ他重要ナル事項

第四十四條　組合聯合會ニ總會、理事長及理事ヲ置ク

總會ノ組織竝ニ理事長及理事ノ選任ニ關スル事項ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第四十五條　本章ニ規定スルモノノ外組合聯合會ニ關シテハ第十八條乃至第二十條、第二十九條、第三十條、第三十二條第三項第四項及第三十三條乃至第四十條ノ規定ヲ準用ス

第四章　監督及補助

第四十六條　主務大臣及地方長官ハ組合若ハ組合ノ事業ヲ行フ法人又ハ組合聯合會ニ對シ其ノ事業及財產ニ關シ報告ヲ爲サシメ、其ノ狀況ヲ檢査シ、規約ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十七條　組合若ハ組合ノ事業ヲ行フ法人又ハ組合聯合會ノ役員ニ欠缺若ハ故障アルトキ又ハ其ノ役員其ノ執行スベキ職務ヲ執行セザルトキハ地方長官ハ官吏又ハ其ノ他ノ者ヲ指定シテ其ノ職務ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ職務ノ執行ニ要スル費用ハ組合若ハ組合聯合會ノ負擔トス

第四十八條　地方長官ハ組合若ハ組合ノ事業ヲ行フ法人又ハ組合聯合會ノ決議又ハ行爲法令、規約、主務大臣若ハ地方長官ノ命令若ハ處分ニ違反

シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキ又ハ其ノ事業若ハ財產ノ狀況ニ依リ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員ヲ解職シ又ハ組合若ハ組合聯合會ノ解散ヲ命ジ若ハ組合ノ事業ヲ行フ法人ニ對シ第九條ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第四十九條　國庫ハ豫算ノ範圍內ニ於テ組合及組合ノ事業ヲ行フ法人ニ對シ補助金ヲ交付スルコトヲ得

道府縣及市町村ハ組合及組合ノ事業ヲ行フ法人ニ對シ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第五章　審査、斡旋、訴願及訴訟

第五十條　保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ國民健康保險委員會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキ民事訴訟ヲ提起スルモノトス

前項ノ審査ノ請求ハ時效ノ中斷ニ關シテハ裁判上ノ請求ト看做ス

第五十一條　組合若ハ組合ノ事業ヲ行フ法人又ハ組合聯合會ト、醫師、齒科醫師、藥劑師其ノ他ノ者又ハ其ノ團體トノ間ニ於ケル保險給付ニ關スル契約ニ關シ紛爭ヲ生ジタルトキハ國民健康保險委員會ハ當事者ノ請求ニ依リ其ノ解決ニ付斡旋ヲ爲スコトヲ得

第五十二條　國民健康保險委員會ノ組織、審査及斡旋ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十三條　組合ノ爲シタル保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分又ハ第八條ノ規定ニ依ル滯納處分ニ不服アル者ハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ二以上ノ道府縣ニ跨ル組合ニ關スルモノニ在リテハ內務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルモノトス

第五十四條　本章ニ規定スル審査ノ請求、訴ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分又ハ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以內ニ之ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テ審査ノ請求ニ付テハ訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第百五十八條ノ規定ヲ準用ス

第六章　罰則

第五十五條　組合若ハ組合ノ事業ヲ行フ法人又ハ組合聯合會第四十條第五項又ハ第四十六條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタルトキハ其ノ役員又ハ清算人ヲ百圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

保健所法案

保健所法

第一條　保健所ハ國民ノ體位ヲ向上セシムル爲地方ニ於テ保健上必要ナル指導ヲ爲スベシ

第二條　保健所ニ於テハ左ノ事項ニ付指導ヲ行フ

一　衞生思想ノ涵養ニ關スル事項

二　榮養ノ改善及飮食物ノ衞生ニ關スル事項

三　衣服、住宅其ノ他ノ環境ノ衞生ニ關スル事項

四　姙產婦及乳幼兒ノ衞生ニ關スル事項

五　疾病ノ豫防ニ關スル事項

六　其ノ他健康ノ增進ニ關スル事項

第三條　保健所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ北海道府縣ニ跨ル組合ニ關スル事項ハ市之ヲ設置スルモノトス

保健所ニハ其ノ事業ノ執行ヲ便ナラシムル爲支所ヲ置クコトヲ得

內務大臣必要アリト認ムルトキハ第一項ノ公共團體ニ對シ保健所ノ設置ヲ命ズルコトヲ得

第四條　本法ニ依ル保健所ニ非ザレバ其ノ名稱中ニ保健所ヲルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ但シ內務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　保健所ノ設備ノ使用又ハ保健所ニ於テ行フ業務ニ付テハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外使用料又ハ手數料ヲ徵收スルコトヲ得ズ

第六條　國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ保健所ニ關スル經費ノ支出ヲ爲ス公共團體ニ對シ其ノ支出額ノ二分ノ一以內ヲ補助ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

結核豫防法中改正法律案

結核豫防法中左ノ通改正ス

第一條　醫師結核患者ヲ診斷シ環境上病毒傳播ノ虞アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ速ニ行政官廳ニ屆出ヅベシ

第二條第一項及第三條中「結核患者」ヲ「病毒傳播ノ危險アル結核患者」ニ改ム

第六條　主務大臣ハ結核患者ニシテ環境上病毒傳播ノ虞アルモノヲ收容セシムル爲北海道府縣市其ノ他必要ト認ムル公共團體ニ對シ結核療養所ノ設置ヲ命ズルコトヲ得

第七條第一項ヲ左ノ如ク改ム

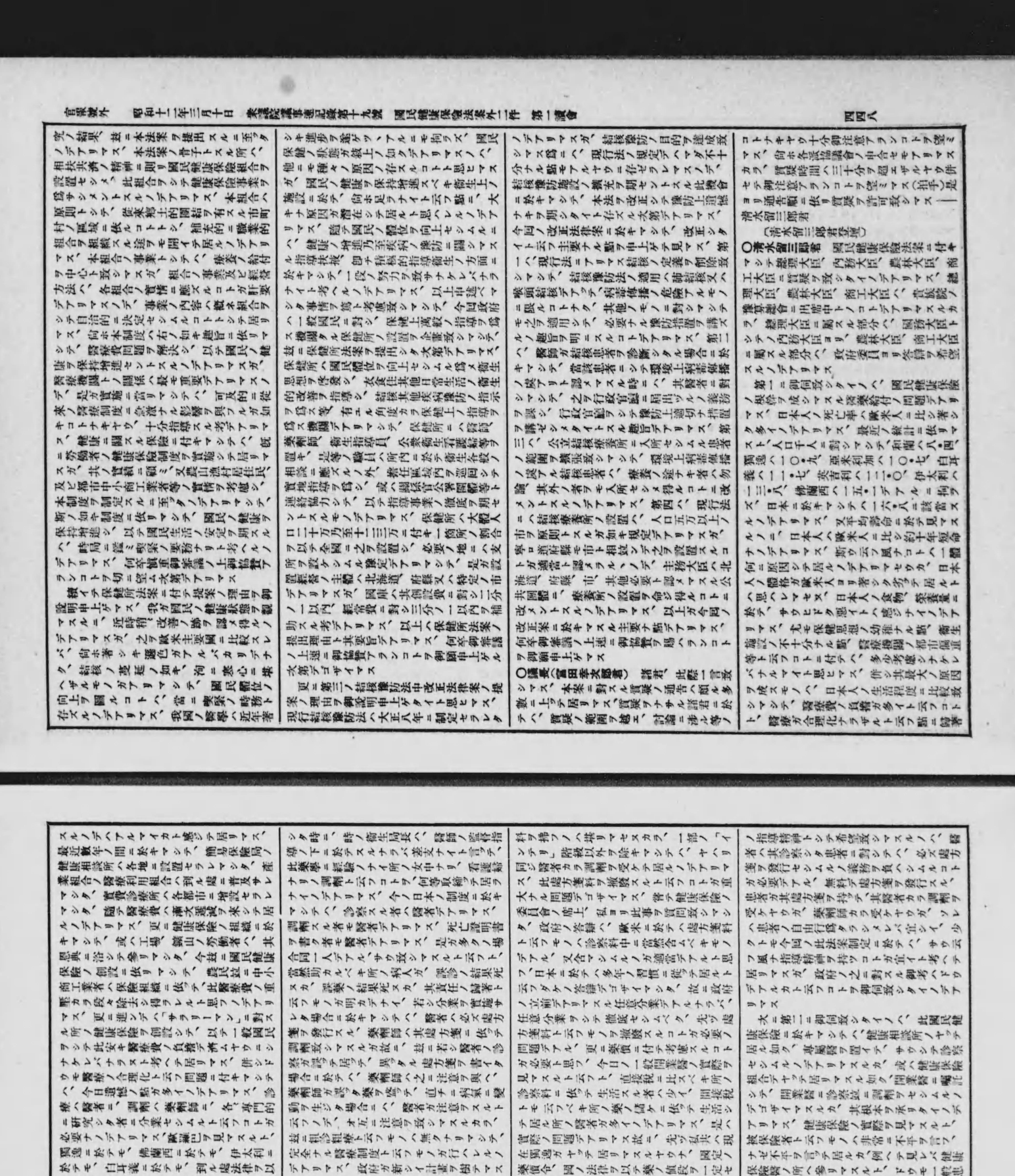
地方長官ハ環境上病毒傳播ノ虞アル結核患者ニシテ豫防上特ニ必要ト認ムルモノヲ前條ノ規定ニ依リ設置スル結核療養所ニ入所セシムルコトヲ得

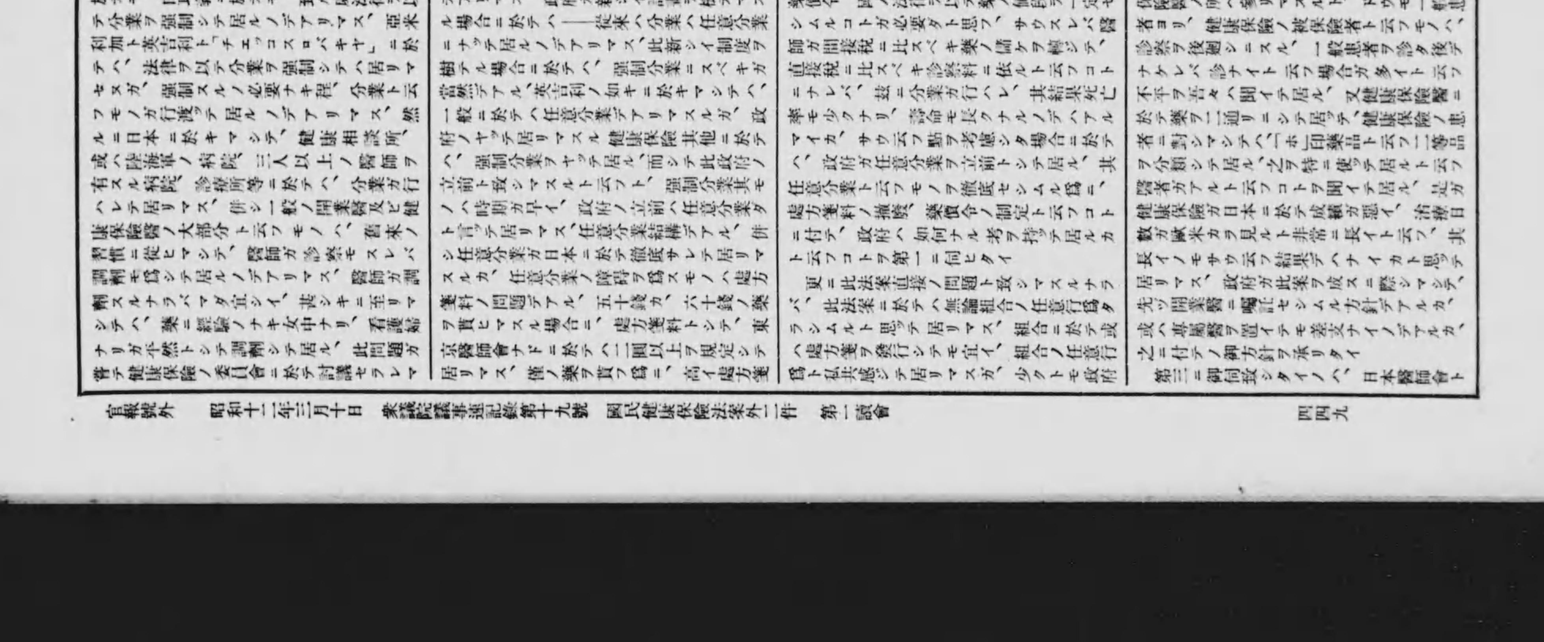
第十條中「療養ノ途ナキ結核患者」ヲ「環境上病毒傳播ノ虞アル結核患者」ニ改ム

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○國務大臣（河原田稼吉君）　玆ニ國民健康保險法案ヲ提出スルニ當リマシテ提案ノ理由ヲ說明致シマス、國民ノ健康ガ國力進展ノ原動力デアリマシテ、其保持增進ヲ圖ルコトハ極メテ必要デアルト考ヘマス、而シテ是ガ爲ニハ幾多ノ方法ガアリマセウガ、傷病ニ際シ必要ナル醫療ヲ受ケシメ、速ニ健康ノ恢復ヲ圖ルコトハ、最モ肝要ナコトデアリマス、然ルニ醫療ヲ受ケルコトニ關シ、第一ニ問題トナルノハ醫療費ノ負擔デアリマシテ、一度傷病ニ際會スルヤ、一時ニ多額ノ失費ヲ要スルコトハ、一般國民ニ取リマシテ洵ニ苦痛トスル所デアリマス、其結果十分ナル醫療ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フコトハ、國民保健及ビ國民生活安定ノ見地ヨリ觀テ、忽ニスベカラザル重大事デアリマス、殊ニ最近ニ於ケル農山漁村居住民、都市中小商工業者等ノ疲弊ハ深刻ナルモノガアリ、斯ル人々ニ取ツテ醫療費ハ相當經濟的重壓トナツテ居ルノデアリマス、此醫療費問題ヲ根本的ニ解決スルニハ、共同ノ力ト平素ノ用意トニ依ル保險組織ヲ以テ、最良ノ策タルコトヲ認メルノデアリマス、國民健康保險制度案ヲ作成シマシテ、社會保險調査會ニ諮問致シマシタ所、現下ノ社會情勢ニ照シ必要ナル施設トシテ、滿場一致ヲ以テ可決セラレタノデアリマス、更ニ第六十九議會ニ於キマシテ、國民健康保險法制定ニ關スル建議ガアリ、又昨年六月社會事業調査會ニ於テモ、本制度ノ速カナル施行ヲ要望セラレタノデアリマス、仍テ政府ハ是等ノ建議及ビ答申ニ基キマシテ、鋭意研





過ト云フヤウナモノハ、十分御承知ノコトト諒承シテ宜カラウト、斯ウ云フ風ニ思ッテ居リマス

ソレカラ醫療ヲ掌ル開業醫ヲシテ摩擦ヲ深カラシムルヤウナコトハイカヌデハナイカ、第九條ノ法文ニ關係シテノ御意見ガアッタノデアリマス、是ハ先程川島サンニ御答申上ゲマシタヤウニ、決シテ第九條ノ趣旨ハ、醫療利用組合ヲ奬勵スルト云フノデハナクシテ、度々私ガ申上ゲマシタヤウニ、現在出來テ居ル若干ノモノハ、此外ニ同ジヤウナ人、同ジヤウナ組合員ヲ以テ、更ニ別個ノ國民健康保險組合ヲ作ラセル必要ハナイデハナイカ、現在良クヤッテ居レバ、其モノヲ國民健康保險組合トシテ代行セシメテ宜シイデハナイカ、斯ウ云フ點ニ過ギナイノデアリマス、隨ヒマシテ現在アル醫療利用組合ニシテ、或ハ赤字ニ惱ンデ居ルトカ、或ハ其成績ガ宜シクナイト云フヤウナモノニ付キマシテハ、法文ニ規定シテアリマスル所ニ依ッテ地方長官ガ之ヲ認メナイノデアリマス、其中ノ成績ノ良ク差支イナイモノニ付テノミ認メルノデアリマス、中ニハ色々アリマシテ、一例ヲ擧ゲテ見マスルト云フト、埼玉縣ノ越ケ谷ニ於ケル組合ノ如キモノハ、中々成績ガ良ク行ッテ居ルコトハ天下周知ノ事實ノヤウデアリマス、即チ越ケ谷ノ町ノ戸數ガ九百五十七戸、人口四千五百三十四人ニ對シマシテ、組合員ガ六百九十六人、組合ノ關係者デ其醫療ノ利益ヲ受ケテ居ル者ガ四千百人、醫者ヲ八人程雇傭シ、且ツ齒科醫師三人程ヲ雇傭シテ、其成績ガ大變良ク行ッテ居ルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、是ハ唯一例ニ過ギマセヌガ、所謂從來ノ醫療利用組合ノ中デモ、成績ノ良ク差支ナイモノハ、ソレヲ認メテヤッテ宜イノヂヤナイカ、斯ウ云フ意味デアリマシテ、現在アル醫療利用組合悉クヲ代行機關トシテ認メルト云フ意味デハナク、又更ニ將來此醫療利用組合ヲ奬勵スルト云フ意味デハナイノデアリマス、何處マデモ健康保險組合ト云フモノヲ本旨トシテ進メテ行キタイト云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス

ソレカラ賣藥ヲ現在産業組合デ強制配給ヲシテ居ルト云フヤウナ御尋デアリマシタガ、是ハ自ラ別問題デゴザイマスケレドモ、強制配給ト云フコトハナイヤウニ伺ッテ居リマス

ソレカラ團體契約ノ問題デアリマスガ、是亦先程私ガ御答申上ゲマシタヤウニ、大體ニ於テ法文ノ上ニ於テハ、先ヅ組合ノ自由ト云フコトヲ立前ニスルノガ適當デアル、新ニ團體契約ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ法制化シマスト云フト、自ラソコニ非常ナ窮屈ヲ生ジテ、却テ組合ノ不便ヲ來シ、又醫者トシテモ、所謂或ル意味ニ於ケル切磋琢磨ト言ヒマスカ、サウ云フコトヲ失フ虞モアリハセヌカ、唯實際ニ於キマシテ、先程私ガ申上ゲマシタヤウニ、各地方々々ニ於キマスル開業醫ノ仕事ト云フコトモ、是亦尊重シナケレバナラヌノデアリマシテ、國民ノ一部トシテ、ヤハリ其方ノ仕事ヲ直グ失フヤウナコトニナリマスコトハ、是ハイカヌ事デアリマスバカリデナク、組合員ノ立場カラ申シマシテモ、成ベク廣ク各種ノ醫者ニ掛リ得ルト云フコトガ必要デアリ、適當デアリマスカラ、斯ウ云フ風ナ趣旨ヲ省令ニ規定シテ、廣ク診療ヲ受ケ得ルヤウニサセタイ、斯ウ云フコトニサセタイノデアリマス、其結果トシテハ御承知ノ通リ、現在醫師ト云フモノハ、醫師會ト云フ強力ナ團體ヲ作ッテ居ラレルノデアリマスカラ、自然ト醫師會トノ團體契約ト云フモノガ多分ニ行ハレルダラウ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、且又是ガ今日ノ我國ノ醫療ノ實況ニ徵シマシテ、適當デアラウト考ヘルノデアリマス、サリナガラ之ヲ法定シテ、現在強力ナル醫師會ト云フモノニ、更ニ是ダケノ強制權ヲ與ヘルト云フコトハ如何デアルカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、デ先程來私ガ申上ゲマシタヤウニ、國民健康保險法ト云フモノハ、所謂醫療ノ機會ニ餘リニ惠マレテ居ラヌ階級ノ人々ヲシテ、醫療ノ機會均等ヲ得セシメルト云フ趣旨ニアルノデアリマスカラ、是ハ今日ノ制度トシテ最モ必要デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマスルノデ、是ハ決シテ撤回スル意思ハゴザイマセヌ

又第九條ニ付キマシテモ、先程申上ゲマシタヤウナ極ク簡單ナ考デアルノデアリマスルカラ、ソレ程御論議ニナラヌデモ宜イノヂヤナイカ、斯ウ云フ位ニ思フノデアリマス、又團體契約ニ付キマシテハ、先程私ガ申上ゲマシタヤウニ法定致スノハ適當デナイ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

ソレカラ國民健康保險法ハ、私モ就任以來研究ヲ遂ゲマシテ、是ガ今日我國ノ實況ニ於テ適當デアリ、必要ト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、是モ私ノ意思ト、斯ウ云フ風ニ御諒承下サッテ差支ナイト思ヒマス、且ツ開業醫制度トノ調和、是ハ先程私ガ申上ゲマシタヤウニ、現在ノ事實ト云フモノハ、相當尊重シテ行カナケレバナラヌノデアリマスカラ、此調和ト云フモノニハ行政上ノ考ヘ方、行政上ノ措置トシテモ、出來ルダケ摩擦ヲ避ケテ調和ヲ圖ルト云フコトハ、是ハ適當ナコトト考ヘマス

更ニ國民健康保險法ト離レマシタ保險所ノ問題デアリマスガ、是ハ先程御話ニナリマシタヤウニ、地方ノ或ハ十三万乃至二十万位ノ人口ノ處ニ一箇所位ノ割合ヲ以テ、此施設ヲ設ケマシテ、一般ニ廣ク國民ノ體位ノ上昇、或ハ健康ノ相談、或ハ榮養ノ相談ト云フコトニ當ラシメル、是ハ廣イ意味ニ於テ國民ノ健康ヲ增進シ、其體位ヲ上進セシメルト云フ一ツノ施設デアリマス

ソレカラ結核豫防ノ問題デアリマスガ、是ハ私ガ專門ノ方ニ申上ゲルノハ聊カ烏滸ガマシイノデアリマスガ、大體ノ統計ニ於テ、我國ガ一番文明諸國ノ中ニ於キマシテ、結核患者ノ最モ多イ甚ダ不名譽ナル狀態ニ在ルノデアリマス、大體ノ統計ヲ見マスト云フト、一年ノ死亡者ガ約十三万人、一万人ニ付テ十九人ノ患者ガアリ、全國デ百三十万人位ノ患者ガアルダラウト云フ見込デアリマス、是ハ今日ノ文明國中ニ於テ、我國ガ最モ其比率ガ多イノデアリマシテ、是ハ甚ダ不名譽千萬ナコトト言ハナケレバナラヌバカリデナク、國家ノ最モ重大ナル關心事デ、最モ痛心ノ事柄デアルト言ハナケレバナラヌ、之ヲ何トカシナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ國民ノ幸福ノ上カラモ、或ハ國家ノ發展、或ハ國防ノ上カラモ、或ハ産業振興ノ上カラモ、重大ナル問題ト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ一方ニ於テハ消極的ナ手段トシテハ、成ベク結核ノ傳播ヲ防ギ、積極的ノ手段ト致シマシテハ、結核患者ノ療養ニ國家ガ出來ルダケノ施設ヲシテ、成ベク之ヲ無カラシムルト云フ途ニ向ッテ進ムト云フコトガ、最モ必要ナヤウニ思フノデアリマス、其消極的ノ方面トシテ、此度結核豫防法ノ改正案ヲ提出致シマシテ、一方ニ於テ御醫者サンニ屆出ノ義務ヲ負ハシメル、サリナガラ是ハ尊敬スベキ醫師ノコトデアリマスカラ、罰則其他ヲ以テ強制シナイ、德義的ノ義務ヲ負ハシメル、其他或ハ傳播ノ虞アル者ニ付テハ適當ナル規定ヲ設ケル、斯ウ云フコトデアリマス、積極的ノ方面ニ於キマシテハ、先程私ガ申述ベマシタ保健所モ一ツノ施設デアリマスガ、其他結核患者ノ病床ヲ少クモ五六年ノ間ニ三万床ニ殖ス、即チ國立ノ結核病床ヲ設ケマスト共ニ、一方地方府縣市町村ノ設備ニ對シテ補助スル、斯ウ云フ風ニ結核療養ノ施設ヲ出來ルダケ進メテ行ッテ、サウシテ結核患者ヲ少クシテ、國民全體ノ幸福竝ニ産業ノ發達、國力ノ振興ヲ期シタイ、斯ウ云フ風ナ次第デアルノデアリマス

（青木亮貫君登壇）

○青木亮貫君　今内務大臣ノ御答辯ニ依リマスト、此國民健康保險法案ハ、相當ノ機關ニ諮ッテ十分ノ協調ヲシタ上ノ案ノヤウナ御話デアリマシタガ、豈圖ランヤ、社會保險調査委員會ニ於キマシテハ、第九條ノ産業組合ヲシテ保險組合ノ診療機關ヲ代行セシメルナドト云フコトハ、寸毫モ話ガナカッタト言フ、ソレハ現在我黨カラ出テ居リマス調査委員ガ明言シテ居ラレルノデアリマス、牽強附會ニモ、有ユル會議デ十分ノ協調ヲ遂ゲタナドト仰シヤルコトモ、全ク其場逃レノ御答ノヤウニ思ハレル、ソレカラモウ一ツハ、今大臣ノ御言葉ノ中ニ、第九條ハソンナニ論議スル程ノコトデモアルマイト思フト云フコトデアッタガ、私ハサウ云フ信念デオ居デニナルコトガ間違ヒダト云フコトヲ申上ゲタイ、（拍手）産業組合ト云フモノハ經濟産業ノ機關デアッテ、診療ナンカノコトニ仲間入ヲサシテ、オ負ケニ其診療機關ノ代行ヲヤラセヨウナント云フコトハ、飛ンデモナイ間違デアルト私ハ思フ、ソレガ論議スル程ノコトデモアルマイト云フヤウナ御考デアルカラ、大變ナ間違ナンデアル、是ガ骨子ナンデアル、ダカラ之ニ向ッテアナタガ簡單ニ御取扱ニナルコトヲ、私ハ甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマス、保健所及ビ結核豫防法ノ問題ニ於テハ、是ハ又他日委員會ニ於テ詳細御尋モスル積リデアリマス、私ハ農林大臣ガオ居デニナリマセヌカラ、内務大臣ニ御尋スルノハ方角違ヒカモ知レマセヌガ、元來産業組合ハソレ程マデニ診療機關ニ何故立入ル、産業組合ハザックバランニ申セバ、出シヤバリ過ギテ居リハシナイカ、（「ヒヤ〳〵」拍手）産業組合ハ經濟産業ノ機關デアッテ、之ニ向ッテハ私共モ十分力ヲ副ヘ、ドウゾシテ其發達ヲ期シタイト思ヒマスルガ、診療機關ノ代行ナドト云フコトハ、是ハ片腹痛イ話ダト思フ、之ニ向ッテ今一應誠實ナル御答ガ願ヒタイト存ジマス

（國務大臣河原田稼吉君登壇）

○國務大臣（河原田稼吉君）　社會保險調査會ニ付議シマシタノハ、此法案ノ全部デアリマシテ、唯第九條ニ付キマシテハ、今青木サンノ仰セニナリマシタヤウニ、是ハ其全體ノ骨子ニ何等ノ關係ガナイト云フヤウナコトカラ、後ニ入ッタノデアリマスガ、法案全部ハ只今申上ゲマシタヤウナ、各種ノ人ヲ網羅スル社會保險調査會ニ於テ愼重審議セラレタルモノデアリマス、ソレカラ第二ノ第九條ノ問題デアリマスガ、是ハ私ハ度度誠實ニ御答致シテ居ルノデアリマシテ、決シテ第九條ニ依ッテ産業組合法ニ依ル醫療利用組合ノ獎勵ヲスルト云フ意味デハナイ、唯現在出來テ居ル醫療組合ノ中ニ於テ、良イノハ更ニ改組サシテ、國民健康保險組合ト云フヤウナモノニ作リ直サセルトカ、或ハ別個ニ同ジヤウナ人ヲ以テ作ラセルマデノ餘計ナ手數ハ必要ナイノヂヤナイカ、詰リ今日出來テ居ル少數ノ良イモノハ、其儘認メテヤッテモ宜イデハナイカト云フヤウナ趣旨ニ外ナラナイノデアリマシテ、之ニ依ッテ大イニ醫療利用組合ノ普及獎勵ヲスル意味デナイコトハ、私ガ度々申上ゲル通リデアリマス

○青木亮貫君　簡單デアリマスカラ此席カラ御許ヲ願ヒマス

○副議長（岡田忠彦君）　宜シウゴザイマス

○青木亮貫君　今内務大臣ハ、九條ノ如キハ後カラ入レタト云フ御話デアリマスルガ、是ハ尚更怪シカラヌト思ヒマス、恐ラクハ是ハ内務省ナリ社會局ノ御意思デナカッタノヲ、何等カ外ノ方面カラ强要サレテ入レタモノト思ハレル、産業組合ガ斯樣ニヤリマスルコトガ、果シテ保險組合ニ是ナルカ非ナルカト云フコトヲ、能ク御考ヲ願ヘナクテハナラヌ、ドウゾ此邊ニ於テ私ハ御答ヲ承ラウト思ヒマセヌガ、十分御考慮ヲ願ッテ、他ノ場合ニ又御說明ヲ伺ハウト存ジマス、是デ私ノ質問ハ打切リマス（拍手）

○副議長（岡田忠彦君）　武田德三郎君

（武田德三郎君登壇）

○武田德三郎君　私ハ議長ヨリノ御注意モアリマスルノデ、成ベク簡單ニ質問致シタイト存ジマス、既ニ今マデノ質問者ニ依リマシテ、大體ノ要點ハ盡サレテ居ルト思フノデアリマスガ、之ニ對スル内務大臣ノ答辯ガ甚ダ了解ニ苦シム點ガアリマスノデ、重ネテ簡單ニ御伺ヲ致シタイト存ジマス

先ヅ第一ニ私ハ内務大臣ニ御伺ヲ申上ゲタイコトハ、斯樣ナル重大ナル社會立法ノ制定ヲナサルニ當ッテハ、私ハ其用意ガ不十分デアルノデハナイカト云フ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、從來ノ民間デ行ッテ居リマスル所ノ醫療保險組合ノ實績ヲ見マシテモ、亦産業組合ノ醫療利用組合ノ實績ヲ見マシテモ、其結果ハ甚ダ面白クナイ實績ヲ示シテ居ルノデアリマス、而シテ左樣ナ面白カラザル結果ヲ招ク所以ノモノハ何デアルカト申シマスナラバ、私ノ理解スル所ニ依リマスト、先程青木君カラモ御話ノアリマシタヤウニ、此健康保險ノ根本ニナリマス所ノ健康調査ト申シマスカ、竝ニ之ニ伴フ所ノ罹病率ト云フヤウナモノガハッキリ致サナイカラ、隨テ此醫療組合其他ノ結果ガ合理的ニ行ハレナイノデハナイカト思フノデアリマス、元來現行保險法ガ實施サレル場合ニ、政府ノ御見込ヲ聽イテ見マスト、一人一箇年ノ診療ノ期日ヲ約十七日位ニ御認メニナリ、一日ノ醫療費ヲ五十錢位ニ御見込デアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、然ルニ實際ノ成績ハドウデアルカト云フト、私ノ承ル所ニ依ルト、一人ノ診療日數ハ十五日、又一日ノ醫療費ハ僅ニ二三十錢ノ低イモノニナッテ居ルト云フコトデアリマス、是ハ何ノ爲メデアルカ、即チ罹病率ト云フモノガ分ラズ、オ負ケニ先ヅ良イカラヤラウヂヤナイカト云フヤウナコトカラヤッタ結果ガ、其組合ノ經濟ガ保テナイノデアリマス、而モ現行保險法ハ御承知ノ通リ政府ガ之ニ向ッテ法律ニ依ッテ保險給付ノ十分ノ一ヲ、政府ハ補助スルコトノ法律上ノ規定ガアルノデアリマス、而シテ又雇主ハ其保險料ノ半額ヲ負擔スルコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、斯樣ナ種々ナル點ニ於テ、此保險組合ニ便宜ヲ與ヘテ居ッテサヘモ、尚ホ政府ノ見込通リ行カヌト云フコトハ、是ハ事實ノ證明スル所デアリマス、是等ノ點ヲ考ヘテ見マスト、政府ハ此社會立法ヲ致サル、上ニ於テ、十分ナル用意ニ缺ケテ居ル所ガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、内務大臣ハ如何樣ニ御考ニナリマスカ

尚又此問題ニ關聯シテ私ガ内務大臣ノ御意見ヲ承リタイコトハ、此問題ガ今日ノ實情ニ於キマシテ非常ナ面倒ナ問題ニ化シテ居ルノハ何デアリマセウカ、或ハ一面ニ於テ全國ノ醫師ガ足竝ヲ揃ヘテ之ニ反對シテ居ル、先日東京ニ於テ千五百人ノ全國ノ醫師ガ寄ッテ、之ニ反對ノ意思ヲ表明シテ居ルト云フ事實モ聞イテ居リマス、斯樣ナコトハ大抵内務省ニ於テモ想像ノ付ク事柄デナケレバナラヌノデアリマス、承レバ全國ニ醫師ノ總數ハ五万人アルト云フコトデアリマス、其家族關係者ヲ集メマシタナラバ非常ナ多數ノモノデアリマセウ、又是等ノ人ト連絡ヲシテ居ル所ノ藥劑師、又賣藥業者ト云フヤウナモノヲ數ヘマスルナラバ、全國ニ於テ何百万ト云フ利害關係ガアルノデアリマス、一國ノ地方農村ノ人民ニ向ッテ適當ナル醫療ヲ加ヘテヤリタイト云フ其御趣旨ハ、吾々モ滿幅ノ贊成ノ意ヲ表スルノデアリマスルガ、一面ニ於テ何百万ト云フ醫者、賣藥業者竝ニ藥劑師等關係業者ノ生活問題ト云フモノモ、是亦内務省トシテハ御考ニナラナケレバナラヌ筈デアル、然ラバ斯樣ニ重大ナル利害ノアル問題ヲ御提案ニナリマスルニ當リマシテハ、是等ノ各利害ノ異ッテ居ル階級ノ人々ト、如何ナル調和ヲ圖ラウカト云フコトニ向ッテハ、大體ノ御見透シガナケレバナラヌ筈ダト思フノデアリマス、然ルニソレダケノ用意ナク、突然――

ヲ分擔スルト云フ産業協力ノ趣旨ニ出來テ居ルノデアリマシテ、今日提案致シマシタ國民健康保險法ノ趣旨トハ、自ラ其性質ヲ異ニスルノデアリマス、國家ノ補助ニ付キマシテハ、成ベク多イノヲ多ト致シマスケレドモ、一面ニ於キマシテ國家ノ財政ト云フコトモ考ヘナケレバナラヌノデアリマスルカラ、今日ニ於キマシテハ、先ヅ此程度デ已ムヲ得ナイト考ヘテ居ルノデアリマス

(武田德三郎君登壇)

○武田德三郎君　私ノ質問ニ對スル内務大臣ノ御答ハ、少シク才門違ヒノ點ガアルヤウニ思ヒマスルカラ、詳細ノコトハ委員會デ伺ヒマスト致シマシテ、私ノ質問ニ對シテ著シク見當違ヒノ點一二ダケヲ、重ネテ御伺ヲ致シタイト思ヒマス、私ハ第九條ノ代行機關ノ點ニ付キマシテ、先程申上ゲタル如ク、二百ノ中十七シカ相當ナ成績ヲ收メテ居ナイト云フコトデアリマスルト、アトノ百八十以上ノモノハ代行ガ出來ナイト云フコトニ相成ルノデアリマス、内務大臣ノ御說ノ通リデアリマスルナラバ、左樣ナ場合ニ其保險組合ヲ作ル計畫ヲ致ス所ニ於テ、保險組合ト利用組合ト云フモノハ、二ツ竝立スルコトハアルデハアルマイカト云フコトヲ申シタノデアリマス、左樣ナ場合ニドチラモ存在シナイコトニ相成ルデアリマセウ、或ハ又此利用組合ガアッテ、代行ノ資格ガナイト云フヤウナ場合ニ、其或ル地域ニ更ニ保險組合ヲ作ラントシテモ、其利用組合ガアル爲ニ、又保險組合ノ組織ガ困難デアラウト云フコトデ、出來ナイト云フ處ガアルデハアリマセヌカ、是ハ斯樣ニ二ツ出來タ場合ニハ、同ジヤウナモノガ二ツ出來テ競合ッテ雙方共困ルト云フヤウナコトニ對シテ、内務大臣ハ如何ナル御取扱ヲ爲サルカト云フコトト、又利用組合ガ卽チ赤字利用組合デ、地方長官ノ代行ヲ許サナイヤウナ組合ノアル處ニハ、此保險組合ノ組織ガ困難デナイカ、斯樣ナコトヲ承ッテ居ルノデアリマス

ソレカラモウ一ツハ、若シ二ツ竝立シタ場合、利用組合ハ産業組合デアリマスルカラ、農林大臣ガ之ヲ所管ヲ致サレマセウ、又利用組合ト致シマシテモ、保險組合ノ働キヲ爲ス上ニ於テハ、内務大臣ガ御所管デアリマスルカラ御監督ニナル、此時ニ農林大臣ト内務大臣トノ御監督ノ上ニ於テ、玆ニ一ツノ矛盾ガ生ジハシナイカト云フコトヲ私ハ伺ッタノデアリマス、此點ニ向ッテ重ネテ御說明ヲ煩ハシタイト思ヒマス

ソレカラモウ一ツ團體協約ノコトニ付キマシテハ、私ハ先程申上ゲタヤウニ、團體協約ヲ法定ニ於テ認メル方ガ、此立法ノ趣旨ヲ實現スル上ニ於テ便利デハアリマセヌカ、斯樣ナ意味ニ於テ御尋ヲ致シタノデアリマス、卽チ先程モ申上ゲタルヤウニ、保險組合ト開業醫ト個人ト交渉スル場合ニ於テハ、其交渉ニ非常ナ面倒ガアルノデアリマス、保險組合ガ力ノ強イ時ニハ、開業醫ガ之ニ引摺ラレテ非常ナ困難ナ立場ニナルノデアリマス、卽チ仰シヤル通リニ醫療金ヲ引下ゲテ、條件ヲ惡クシテ、自分ノ生活ノ脅威ヲ蒙ルヤウナ條件デ承諾シナケレバナラヌト云フコトガアリマス、又之ニ反シテ開業醫ガ強イ時ニハ、此保險組合ガ非常ニ不利ノ立場ニナルヤウナ條件デ約束ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ、困難ガ生ジハシナイカト私ハ惧ルノデアリマス、之ヲ團體協約ヲ致ス場合ニ於キマシテハ、日本醫師會ハ内務大臣ノ監督ノ下ニ成立ッテ居ル團體デアリマスルカラ、内務大臣ガ相當ナ牽制ヲ爲サルコトハ出來ル、又一面ニ於テ保險組合モ同樣ニ内務大臣ノ監督下ニアルモノデアリマスルカラ、同ジク内務大臣ノ監督下ニ於テ、内務大臣御自身ガ適當ナル標準ノ契約案ヲ示シテ、雙方ノ間ニ然ルベク斡旋ト申シマスルカ、相當ナ御考慮ヲ加ヘラレテ、圓滿ニ契約ガ出來ルト云フ、非常ニ便宜ナ方法ガアリハシマスマイカ、斯樣ニ私ハ質問ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ向ッテ内務大臣ノ御所見如何ト云フコトヲ伺ッタノデアリマスルカラ、此意味ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス

(國務大臣河原田稼吉君登壇)

○國務大臣(河原田稼吉君)　御質問ガ多岐ニ亙ッテ居リマシタノデ、私ノ答辯ガ漏レマシテ甚ダ恐縮ニ存ジマス、第一ノ利用組合、第九條ノ問題デアリマスガ、是ハ御尋デハアリマスガ、假ニ代行ト云フコトヲ認メマセヌデモ、ヤハリ醫療利用組合ト云フモノハ、之ヲ禁止スルノデハナイノデアリマスカラ、假令第九條ガナクテモ、作ル場合ニハ醫療利用組合ト云フモノハ出來テ行ク、國民健康保險組合ト云フモノハ強制シナイノデアリマスカラ、若シ此法ガ施行セラレマシテモ、或ハヤハリ從來ノ醫療利用組合ト云フモノハ出來テ居ッテ、國民健康保險組合ト云フモノガ出來ナイカモ知レズ、或ハ更ニモット澤山出來テ行クト云フコトガアルカモ知レナイノデアリマシテ、醫療利用組合ト云フモノニ付テハ、本法ハ何等觸レテ居ラヌノデアリマス、唯第九條ニ於テ現在良イモノダケニ代行ヲ認メテヤラウ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、ソレカラ醫療利用組合ハ、所謂産業組合トシテ農林大臣ノ所管ニ屬スル、然ルニ醫療ニ關シテハ内務大臣ノ所管デアルカラシテ、其間ニ自ラ各種ノ矛盾ヲ生ジナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマシタガ、是ハ法文ニアリマスヤウニ、第一次ノ監督機關ハ地方長官デアリマシテ、私ガ申ス迄モナク地方長官ハ各省大臣ノ指揮ヲ受ケルノデアリマスカラ、其點ニ於キマシテ第一次ノ監督機關ガ一ツデアリマスレバ、自ラ其間ニ矛盾ヲ避ケ得ルデアラウト思ヒマス、且ツ又私ガ申ス迄モナク政府ト云フモノハ、各省ニ分立シテ居ルノデハナイノデ、自ラ其間ニ融合統和ヲ圖ルト云フコトハ難クナイノデアリマスカラ、假令管轄ガソレ〲分レテ居リマシテモ、其點ニ付キマシテハ必シモ御心配ハ要ラヌノデアラウト、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、ソレカラ團體契約ヲ法律ヲ以テ認メル方ガ便利デハナイカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ私ガ先程御答致シマシタヤウニ、一ツハ團體契約ト云フモノヲ強制致シマスルト、必シモ醫師會トノ契約ヲ爲サズシテ、大キナ、例ヘバ健康保險組合ガ出來マスル時ニ、ソコデ一ツノ立派ナ醫療機關ヲ作ルト云フ場合ニハ、ソレヲ禁ジテマデ醫師會トノ團體契約ヲ強制スルト云フコトハ必要デナク、且ツ又ソレハ自然ニ反スルヤウニ思フノデアリマス、且ツ又ソレ等ヲ適當ニ按排シタラ宜カラウ、内務大臣ハ醫師會ヲ監督シ、健康保險組合モ監督スルノデアルカラシテ、適當ニ監督ヲシタラ宜カラウト、斯ウ云フ御言葉デアリマシタガ、私ガ申ス迄モナク、醫師會ハ醫師法ニ依リマシテ、可ナリ強大ナル權限ヲ與ヘラレテ居ルノデアリマス、卽チ或ハ醫師ノ犯則行爲等ニ付キマシテモ、之ヲ處分スル權能ガアリ、且ツ又藥價ヲ定メル權能ヲ持ッテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ是等ノ法律上ニ重大ナル權能ヲ持ッテ居ル醫師會ニ對シマシテ、サウ何デモカデモ干涉スルト云フコトハ出來ナイ、之ヲヤリマスレバ、寧ロ先程來御叱リヲ受ケテ居リマス官僚獨善ノ弊ヲ却テ起スノデハナイカト、斯ウ云フ風ニモ思フ位デアルノデアリマス、隨ヒマシテ是ハ私ガ先程來申上ゲマスルヤウニ、法律上ニハ強制セズシテ、實際ニ於テ其實情ナリ、地方ノ事情ニ合フヤウニ指導シテ行ク方ガ宜カラウ、而シテサウ完全無缺ナ病院ヲ造ッテ、大キナ組合ガ出來ルト云フコトハ、直チニ豫想ガ出來ナイノデアリマスカラ、而モ國民健康保險組合ハ、組合員ヲシテ廣ク各種ノ醫師ニ掛カリ得ルダケノ自由ヲ保有シナケレバナラヌト云フコトヲ、省令ニ於テ規定スル積リデアリマスカラ、結局ニ於キマシテハ、自ラ其地方ニ

於キマスル醫師會若クハ其他ノ團體ト自然契約ガ出來ル場合ガ多カラウ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、先程來私ガ申上ゲマスルヤウニ、是ハドウシテモ法ヲ以テ團體契約ヲ強制スルト云フコトハ適當デナイ、現ニ度々申シマスヤウニ、勞働者ノ健康保險ニ於キマシテモ、決シテ其團體契約ヲ強制シテ居ラヌ、自然ニ委シテ適當ニ處置セラレテ居ルノデアリマスカラ、其方ガ最モ時宜ヲ得テ居ルヤウニ私ハ思フノデアリマス

○武田德三郎君　只今ノ内務大臣ノ御答辯ニ對シテハ、尙ホ滿足デアリマセヌガ、詳細ハ委員會ニ讓リマシテ、私ノ質問ハ是デ打切リマス

○議長(富田幸次郎君)　服部崎市君

(服部崎市君登壇)

○服部崎市君　只今上程ニ相成リマシタル國民保健ニ關シマスル三法案ハ、今期議會中最モ重要ナル社會立法ト致シマシテ、是ガ審議ヲ愼重ニ進メマスルハ當然ノコトト存ズルノデアリマス、我國現下ノ非常事態ニ際シマシテ、當局ハ敢テ之ヲ保健國策ト致シマシテ提唱サレテ居ルノデアリマスルガ故ニ、私ハ其中デ特ニ保健所法案ニ關シマシテ、日頃ノ所信ノ下ニ質問ヲ致シマシテ、ソレ〲ノ所管大臣カラ御答辯ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス

凡ソ一國ノ政治ヲ行フニ當リマシテハ、敎育上、産業上、軍事上ト言ハズ、次代國民ノ繁榮ヲ基準トシテ、根本方策ヲ立テナケレバナラヌト思フノデアリマス、此目的ニ對シマシテ至大ナル關係ヲ有シマスル國民ノ健康狀態ガ、我國現在ノ如ク、諸外國ト比較致シマシテ、統計ノ上カラ見マシテモ、實ニ憂慮ニ堪ヘマセヌ劣惡ナル狀態デアルノデゴザイマス、勤勞ト國防トニ耐ヘナケレバナラヌ強健ナ身體ト、確固タル精神力トヲ、最モ切要ト致シテ居リマスル此時ニ當リマシテハ、國家ノ重要問題ト致シマシテ、眞劍ニ考慮サレナケレバナラヌト存ジマス(拍手)而シテ玆ニ提案サレマシタル本法案ハ、卽チ國策トシテ對策ヲ具現セラルベキモノト期待シテ居リマシタ法案デアルト思フノデアリマス、曩ニ廣田前内閣ニ依リマシテ庶政一新ガ提唱セラレマシタ中デ、最モ國民ノ歡心ヲ買ヒマシタモノハ、卽チ國民生活安定策ト云フコトデアッタノデゴザイマス、其際閣議ニ於キマシテハ、餘リ難カシイ問題ニ手ヲ觸レテハトノ或種ノ心遣ヒカラカ、先ヅ第一ニ取上ゲラレマシタモノガ、國民保健施設ノ擴充ト云フ、何處カラモ苦情ヤ異論ノ出ナイ新政策デアッタノデアリマス、殊ニ是ガ政治的中性ヲ帶ビタ題目デアリマシタダケニ、社會政策ノ角度カラ何トカシテ成案シ、國民生活安定ト云フ、約束手形ノ有力ナル穴埋ニスルノニハ恰好ナモノト致シマシテ、進捗セラレタノデアリマシテ、保健所創設案モ此波ニ乘ジテ生レタモノデアルト思フノデアリマス(拍手)國民健康保險制度竝ニ無醫村對策ト共ニ、内務省當局ノ誇示致シマスル三位一體ノ保健施設ト致シマシテ、現林内閣ニ引繼ガレタノデアリマス、隨テ先ヅ國民健康保險制度ニ依ッテ、自治的ナル保險組織ヲ採用シ、主ニ農村方面ニ於キマスル醫療費負擔問題ヲ解決致シ、無醫村對策トシテ醫者ノ無イ村ヲ救ヒ、更ニ保健所制度ニ依ッテ、平素國民ノ保健思想ヲ啓發シテ、罹病ノ豫防ヲスルト云フノデアリマスカラ、國家大業ニ取ッテ社會立法トシテ實ニ有難イ事デアリ、此種ノ施設ハ大イニ普及徹底サレナケレバナラヌト深ク信ズルノデアリマス(拍手)併ナガラ政府ノ意圖セラレマスル今回ノ保健所ノ如キモノハ、既ニ歐米諸國ニ於テハ「ヘルス・センター」ト云フ機構ニ依ッテ、都市ト云ハズ、農村ト云ハズ總テニ普及徹底セラレマシテ、相當ナル成績ヲ擧ゲテ居ルト聞イテ居ルノデアリマス、英國ニ於キマシテハ、此保健所ニ類シマスル兒童健康相談所網ガ完成セラレマシテ、ソレニ依ッテ成功ヲ收メテ居ルノデアリマス、其他米、獨、佛ハ固ヨリ、葡萄牙「ポーランド」「ユーゴスラビヤ」「ビルマ」「シンガポール」香港、蘭領印度等ニモ普及シテ居リマシテ、日本ガ今日漸ク此制度ヲ採用スルニ至リマシタノハ、寧ロ文明國ト致シマシテ恥カシイ事ト謂ハネバナラヌト思フノデアリマス(拍手)而モ我ガ國民ノ體位ハ、先ヅ乳兒ノ死亡率ニ於テ見マシテモ、歐米ノ重立ッタ國ノ倍以上ヲ示シテ居リマスルシ、殊ニ多クハ産ムケレドモ、多クヲ殺スト云フ、大キナ無駄ノ上ニ、更ニ悲シムベキ事ハ、十歲前後カラ死亡率ハ年ト共ニ累進致シマシテ、二十歲前後ニ於キマスル死亡率ガ非常ニ高イト云フコトデゴザイマス、「トラホーム」患者ガ約九百万人ト謂ハレ、蛔蟲、十二指腸蟲保有者ニ至ッテハ、農村居住者ノ約八割ニ及ンデ居ルト云フコトデゴザイマス、「チブス」ハ歐米諸大國ニ比シマシテ二十倍以上ヲ示シ、尙ホ結核患者ハ逐年增加ノ傾向デアリマシテ、殊ニ肺結核患者ニ至リマシテハ二十万以上ニナッテ居ルト云フコトデアリマス、是デハ平均年數ノ永カラウ筈ハアリマセヌ、人生五十年トハ生命ノ短イノヲ嘆ジタ言葉デアリマスルケレドモ、我國ノ平均年齡ハ其五十歲ニスラ達シマセズ、米國ナドハ既ニ六十歲ニ近イト云フノデアリマスガ、我國ハ四十二歲半ト云フノデアリマスカラ、實ニ憂慮スベキ狀態デアルト謂ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ル狀態デアリマスレバコソ、今回ノ此施設ガ案ジ出サレタモノデアルト思フノデアリマス、ソコデ此對策ト致シマシテ、本案ニ依ッテ十分ナル是ガ施設ト考ヘラレヽルノデアリマスルカ、私ハ此點ヲ當局ニ御伺ヲ致シタイト思フノデアリマス、殊ニ保健所ガ國民保健ノ中樞機關トシテ、其意義ト使命ガ重大視セラレル以上ハ、唯單ニ病魔豫防ニ因ル醫事的保命ノ消極的施設ニ止マルコトナク、尙ホ一層進ンデ體育指導ニマデ進マネバナラヌト考ヘルノデアリマスガ(拍手)其點ニ付キマスル當局ノ御考モ承リタイト思フノデアリマス(拍手)國民健康ハ正ニ國家活動力ノ源泉デアリマシテ、國運進展ノ基礎ヲ成スベキ絕對的要素デアリマス、國民ノ體力上進ノ爲ニ積極的ニ働キ掛ケル契機トセラレナケレバナラヌト思フノデアリマス、此際政府當局ノ國民體育國策ニ對スル爲政者トシテノ理想ヲ喚起セラレタイト存ズルノデアリマスガ、本案ニ依ッテ十分ナリト考ヘラレルノデアリマスルカラ、御伺ヲ致シテ置キタイト思ヒマス(拍手)

殊ニ近時我國ニ於キマスル醫學ノ進步發達ハ、先進諸國ヲ遙ニ凌駕致シマスコト驚嘆ニ値スルモノガアルノデアリマス、人口ト醫師トノ割合モ、人口約千四百人ニ對シマシテ醫師一人ノ割トナッテ居リ、諸外國ニ比シテ醫師ノ數ガ必シモ少クハナイノデアリマス、然ルニ一般衞生ノ劣惡ナル情勢ニ在リマスコトハ、從來ノ我國衞生行政ガ兎角警察的取締ニ偏重シ勝チデアリマシタ弊害ニ負フ所ガ大デアルノデハアルマイカト思フノデアリマス、本法案ノ如ク防病ノ指導事業ヲ初メ、一般國民ノ健康相談竝ニ體位向上ノ指導ニ當ルベク、廣ク庶民ニ利用サセル立前ノモノニシテ、所謂御役所氣質ノ臭味ヲ除イテ、明朗ニ大マカニ運行セラレナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスガ(拍手)其邊ノ御所見ノ程ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、更ニ保健所機能ヲ十分ニ發揮セシムル爲ニ醫師、齒科醫師、藥劑師、衞生指導員、公衆衞生看護婦等ヲ職員トシテ配置セラルヽニ當ッテ、體育方面ノ指導者ヲ之ニ加ヘラレマスル意思ハナイカドウカト云フコトデアリマス、現在醫療機關トノ圓滿ナル提携ニ留意スル爲ニ、治療ノ域ニ進マザルヤウニ規定セラレテアルト聞キマスルケレドモ、之ヲ明文化シテ置ク必要ハナイカト云フコトデアリマス、農村ニ主力ヲ注グノデアリマスケレドモ、都會ニ於テモ

是ハ忽セニスベカラザルコトト考ヘルノデアリマスガ、其按排ハ如何デアリマスカ、又經費ノ點ニ付キマシテモ、如何相成ッテ居ルノデアリマスカ、併セテ伺ッテ置キタイト思ヒマス、尚ホ既存ノ保健相談所ノ如キモノニ對スル方針モ明ニセラレタイト思ヒマス(拍手)

大體以上御尋ヲ致シマシタコトハ、保健所ニ對シマス當面ノ問題ダケデアリマスガ、私ハ本保健所法ガ制定セラレマシテ、治療ノ方面ヲ健康保險組合ニ委ネテ行クモノデアッテ、保健所ガ治療ニマデ及バナイト致シマスナラバ、寧ロ一歩ヲ進メテ之ヲ體育ノ指導機關トスル立前カラ、體育問題ニ付テモ當局ノ御意思ノアリマス所ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

國民體位ノ向上ノ爲ニハ衛生施設、教育制度、國民生活ノ改善等、各種因子ノ十分ナル綜合的成果ニ俟ツベキハ固ヨリデアリマスガ、其内體育運動ノ振興ト云フコトガ、飽マデモ中樞的重要性ヲ持ツモノデアルコトハ、何トシテモ動カシ難イ事實デアルト存ジマスルガ故ニ、此際聊カ體育「スポーツ」界ノ現狀ニ言及致シマシテ、當局ニ御質疑ヲ致シタイト思フノデアリマス、卽チ我ガ日本ノ「スポーツ」界ノ飛躍的發達振リハ、之ヲ單ニ「オリムピック」競技種目ニ依ッテ見マシテモ、非常ナル發達ヲ致シテ居ルノデアリマス、千八百九十六年ニ希臘ノ「アゼンス」ニ國際「オリムピック」ガ催サレマシテ以來、先回ノ伯林大會マデ數ヘマスルト、十一回ニ相成ッテ居ルノデアリマス、殊ニ我國ガ初メテ千九百十二年ニ「ストックホルム」大會ニ金栗、三島ノ兩選手ヲ送リマシテ以來、七回ノ「オリムピック」大會ニ參加致シテ居リマスガ、其當初ノ成績カラ見マスト、洵ニ隔世ノ感ガアルノデアリマス、第九回ノ「アムステルダム」ノ大會ニ於キマシテ、織田、鶴田ノ兩選手ニ依ッテ日章旗ヲ揭ゲラレマシテカラ今日マデ三回デアリマス、其間技術ノ上ニ、記錄ノ上ニ、總テノ上ニ隔世ノ感ガアルノデアリマシテ、殊ニ水泳ニ於キマスル世界制覇ノ偉業ノ如キハ、眞ニ世界ヲ驚歎セシメマシタモノデアルト言ハナケレバナラヌト思フノデアリマス(拍手)此輝ヤカシイ此過去ニ對シマシテ、顧ッテ、我ガ國民體位ノ現勢ヲ見マシタ時ニハ、洵ニ憂慮ニ堪ヘナイモノガアリハシナイカト思フノデアリマス、卽チ競技ニ於テハ進歩シ、漸次技術ニ於テ發達ハ致シマシタケレドモ、ソレト反對ニ國民ノ體位ハ非常ニ下落ヲ致シテ居リマスコトヲ見逃スコトハ出來ナイノデアリマス、是ハ體育向上ヲ目的トスル「スポーツ」ガ、必ズシモ體育向上ノ目的トスルモノデナカッタ所カラ來ル缺陷ガ、漸ク指摘サレルニ至ッタモノデハアルマイカト思フノデアリマス、國民體位向上ノ眞實ノ叫ビガ澎湃トシテ「スポーツ」界ニ擡頭シテ參ッタノモ見逃スコトノ出來ナイ事實デゴザイマス、今日體育運動ト稱セラレルモノノ中ニハ、最初カラ體育的ナ意圖ノ下ニ作ラレマシタル體操ノ如キモノモ、極メテ自然ニ發達シタ運動ヲ後ニ體育ノ手段トシテ採入レ、利用サレテ居ルモノト、所謂「スポーツ」ノモノトガアルノデアリマス、「スポーツ」ヲ樂シンデ居ル間ニ健康ニナリ、活動能力ガ增大シ、生活ノ規律ガ立テ來、其上精神ガ段々練レテ、公共的ナ訓練ガ出來テ來ルト云フコトニナレバ、實ニ結構ナコトデ、之ヲ體育運動トシテ取上ゲ、助成奬勵ヲ行ヘル、文部當局トシテハ、飽マデモ之ヲ其目的ニ副ハシムルヤウ、眞ニ常ニ適切ナル指導、監理ヲ爲スベキ責任ガアルト考ヘルノデアリマスガ、當局ハ如何御考ニナッテ居ルノデアリマスカ、御伺致シマス(拍手)國民體育ノ振興ノ最モ急務トサレテ居リマスル今日、政府ハ體育ニ關シテ一層確固ナル國家的大方針ヲ立テ、之ニ基キ十分正シキ體育運動ノ實施ヲ指導促進スルコトガ必要デアリマシテ、是ガ爲ノ行政機構ノ改革竝ニ改善等ニ考ヲセラレナケレバナラナイト思フノデアリマス、隨テ今日行政機構ノ改革ヲ意圖セラレテ居リマスル政府ニ於キマシテハ、體育衛生省ノ設置マデ進ンデ爲サル御意思ガアルカナイカ、御伺ヲ致シマス(拍手)

更ニ此目的ヲ達成致シマス爲ニハ、大學ニ體育ヲ正科トセシムルト共ニ、更ニ進ンデハ體育大學ノ設置ヲ企圖セラレマスル意思ハナイカ、此點文部大臣ノ御意向ノアリマス所ヲ明ニセラレタイト思フノデアリマス、尚ホ當今大日本體育協會ヲ初メ、其他運動競技團體ニ於キマシテモ、體育問題ニ付テ著シク關心ヲ增シマシテ、努力ヲ傾倒セラレテ居リマスコトハ、洵ニ結構ナコトト思フノデアリマスガ、第十二回「オリムピック」東京大會モ招致開催セラル、此機會コソ、國際競技ノ展開ヲ基トシテ、國民體育振興ヲ實トシテ、全キ成果ヲ收ムベク、當局トシテハ如何ナル方策ヲ有セラレマスルカ、又「オリムピック」大會ニ對シマシテ、積極的ニ指導援助ヲ爲ス意思ガアリヤ否ヤト云フコトヲ御伺致シタイノデアリマス(拍手)尚ホ國民體位向上ノ叫ビハ、先程内務大臣モ仰セニナリマシタ如ク、單ニ運動團體關係者ノミナラズ、非常時國軍ニ於テモ、近年來徵兵檢査ノ結果ニ現レマシタル壯丁ノ體位ノ下落ニ對シマシテ、大ナル關心ヲ持ッテ居ラレルト云フコトデアリマス、軍部ハ勿論、各方面ニ於キマシテ、此問題ニ對シマシテハ、大ナル衝動ヲ與ヘテ居リマスルガ爲ニ、私ハ茲ニ昭和十年度ニ於キマスル徵兵檢査ノ結果ヲ示シマシタル統計ヲ持合セテ居リマスカラ、是ハ議長ヲ通ジマシテ速記錄ニ殘シテ置キタイト思フノデアリマス

以上申述ベマシタ如ク、國民保健、體位向上ノ問題ハ、文武、農工商、何レノ部門ヲ問ハズ、貧富、上下階級ノ別ナク、個人トシ且ツ社會人トシテ、一樣ニ念願スベキ幸福ノ根源トナルモノデアリマスルガ爲ニ、此國策ヲ徹底サレマスルナラバ、社會政策ノ數多ノ件モ、亦之ニ依ッテ解決セラルベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、尚ホ統計ノ示スガ如ク、貧弱ナル狀態ニアリナガラ、一般ノ關心トナラナイト云フノハ、一ツハ我國ガ幸カ不幸カ、國民體力ノ極限マデ試メス大試練ニ遭遇シナカッタ結果ニ外ナラヌト思フノデアリマス、卽チ體力、精神力ノ最大試練ハ、戰爭ヲ外ニシテハ求メ難イモノガアルノデアリマス、過去ノ總テノ戰爭ハ、幸ニ何時モ皇軍ノ優秀ナル壯丁ノ體力ト智力ニ依ル大捷デアリマシテ、勿論國民ノ熱烈ナル愛國的精神力ヲ後援トシテ居ッタニハ違ヒアリマセヌケレドモ、國民總動員ノ大試練ハ受ケテ居ナイノデアリマス、是ハ他ノ歐洲大戰ノ慘禍ノ背後ヨリ盛返シツヽアリマスル諸國ハ固ヨリ、諸外國ノ實ニ旺盛ナル體育運動ノ興隆ガ、勿論軍備ノ充實ニ勢件シテハ居リマスルケレドモ、世界ノ情勢ヨリ考察致シマシテ、政府ハ此國防ト生活安定ノ大目的ノ爲ニ、體育衛生省ノ設置ニ依ル庶政刷新ノ先鞭ト致サレル決意ヲ有セナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ特ニ林總理大臣ヨリ御意見ヲ承リタイト思ヒマス(拍手)

最後ニ世界ノ祭トシテ、全世界ノ若人ノ熱ト、純情ト力ヲ奮ヒ起タセマシタ國際「オリムピック」第十二回ノ開催ヲ東京ニ愈々決定サレタノデアリマス、當時ノ我ガ國民ノ熱意ハ世界ヲ動カシ、珍シク國民外交ノ成功トシテ狂喜シタノデアリマシタガ、爾來半歳ヲ經過致シマシテ、「オリムピック」組織委員會ガ實行計畫ヲ立テ、體育協會初メ運動團體關係者ガソレ〳〵ノ立場デ準備ヘ致シテ居ルノデアリマスガ、今日兎角ノ批評ノ中ニモ、概括的ナ成案ヲ得タト言ヘレマスルケレドモ、其内容ノ專門的進捗ニ當ッテハ、經費ノ點デ全ク委員會ノ自繩自縛ニ陷ッテ居ル狀態デアルト聞キマスガ、其點ニ對シマシテ如何ナル御考ヲ持ッテ居リマス

カ、若シ然リト致シマスルナラバ、政府ニ於テモ委員ヲ出シテ是ガ機構ニ參ジテ居リマスル以上ハ、實情ヲ十分ニ精査シテ、總費額ノ增加ヲ國庫、其他ノ補助豫算ニ立テテ何故議會ニ協贊ヲ求メラレマセヌカ、私ハ此點ヲ明ニセラレタイト思フノデアリマス(拍手)

「オリムピック」大會ハ單ナル國際競技タルニ止ラズ、主催國ト致シマシテハ、其國民精神カラ、其文化全般ニ亙ッテ、國家ハ能力ノ試練ニ於テ、大イニ國威ヲ世界ニ發揚スベキ歷史的大事業デアルト思フノデアリマス(拍手)前回獨逸ガ經濟的危機ニ立ッテ、尚ホ彼ノ大施設ヲ行ヒマシタモノハ、結局國家興隆ノ意識ヲ宣揚シタニ外ナラヌト思フノデアリマス、而モ我國ハ皇紀二千六百年祭ヲ理由ニ、世界ノ賓客ヲ集メ、少クトモ其前後ニハ世界ノ視聽ヲ集メテ、所謂名譽ノ孤立アル邦家ノ眞ノ姿ヲ示スベキ、此天與ノ機會ヲ空シクスルハ、何ト致シマシテモ私共ノ愛國心ガ容サヌ所デアルノデアリマス、私ハ國民代表ノ府タル議會ニ於キマシテ、此國家的大事業ノ翼贊ヲ議シ、明治神宮外苑ノ聖域ヲ完備シテ、我國青年ノ士氣ヲ鼓舞致シマスル源泉タル永久ノ道場トシテ、一方大乘的ニ之ヲ國民體位向上ニ資スル絕好ノ機ト信ジマスルガ故ニ、議政壇上ヨリ篤ト政府ノ經綸、抱負ヲ質シタイト思フノデアリマス(拍手)

以上申上ゲマシタコトハ、ソレ〳〵ノ御所管ノ大臣、竝ニ政府委員ヨリ御答ヲ得タイト思ヒマスルガ、折角國民保健ノ向上ヲ圖リ、體育國策ノ根本ヲ立ツル目的ノ爲ニ、保健所法案ヲ提出セラレタノデアリマスルカラ、其發揚ノ爲ニモ、十分ナル御答ヲ戴キタイト存ジマシテ、右ノ御質疑ヲ致シタヤウナ次第デアルノデアリマス(拍手)

○國務大臣(河原田稼吉君) 第一ノ御尋ハ、

(國務大臣河原田稼吉君登壇)

此保健所ノ現在ノ計畫ヲ以テ十分デアルカドウカ、斯ウ云フ風ニ諒承致マシタガ、理想トシテハ尚ホ進ンデモット致シタイノデアリマスガ、取敢ズアノ程度ニ止メザルヲ得ナイノデアリマス、尚ホ進ンデ體育指導マデ實行スルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、指導員ヲ置クマデニハ至リマセヌガ、學校衛生官トカ、或ハ青年團トモ連絡ヲシマシテ、十分ニ此方面ニモ働カセルヤウニ致シタイト思ヒマス

第二ニ此保健所ノ施設ヲ成ベク役所的デナク、民衆的、一般的ニ明朗ニヤレ、斯ウ云フ御意見デアリマシタガ、全ク御同感デアリマシテ、出來ルダケサウ致シタイト思ヒマス

第三ニ農村バカリデナク、都會ノ方ヘモ注意セヨ、斯ウ云フ御意見デアリマシタガ、是亦全ク御同感デアリマシテ、此設置ノ趣旨モ單ニ農村バカリデナク、殊ニ都會ニ於キマスル段々體格ノ劣弱ニナルト云フコトニ付キマシテ、十分ナル注意ヲ致サセタイト思ヒマス

第四ニ保健所ハ治療ヲスルカドウカト云フ御尋ノヤウニ伺ヒマシタガ、是ハ他ノ醫師トノ關係等モアリマシテ、治療ノ方マデ手ヲ出スコトハ如何カト思ヒマス、唯衛生健康ニ付キマシテ、現存ノ相談所ト十分連絡ヲ取ッテ、一般ノ保健ニ邁進致サセタイト思ヒマス

第五ニ體育運動ノ振興ト云フコトニ付キマシテハ、是亦全ク御同感デアリマシテ、今日一般國民バカリデナク、工場、鑛山等ニ於ケル從業員ニ對シテモ、種々ナル勸獎手段ヲ執リマシテ、此方面ノ奬勵ニ努メテ居ルノデアリマス

第六ニ體育振興ニ付テノ行政機構ヲ改革シテ、或ハ體育衛生省ト云フヤウナモノヲ作ル意思アリヤ否ヤト云フコトデアリマスガ、是ハ先程御答致シマシタヤウニ、重大ナル問題デアリマスノデ、今日マダ御答ヲ致シマスル時機ニ到達致シテ居リマセヌ

第七ニ體育大學ヲ設置スル意思アリヤ否ヤト云フ問題ニ付キマシテモ、今日マダ其意思アリト云フヤウナ御答辯ヲ致ス時機ニ達シテ居ヲヌノデアリマス、體育向上、壯丁體位ノ劣弱ニ陷ルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ國家トシテ重大ナ問題デアリマスカラ、各種ノ機關ヲ動員致シマシテ、體位ノ向上ト云フコトニ付キマシテ、十分ナル注意ト努力ヲ致シタイト思ヒマス

○服部崎市君 先程御尋ヲ致シマシタ中

(服部崎市君登壇)

デ、直接保健所法案ニ關シマスル質疑ノ點ニ付キマシテハ、大體内務大臣ノ御答辯ニ依ッテ諒承ヲ致スノデアリマス、併ナガラソレニ關聯致シマシテ、眞ニ保健所ノ機能ヲ十分ニ發揮致シマスルノニハ、進ンデ體育ノ指導ニマデ至ラナケレバナラヌト言及致シマシタコトニ對シマシテノ御答ガナカッタヤウデアリマス、殊ニ第十二回東京「オリムピック」大會ニ對シマスル政府ノ方策ノ片鱗スラ伺フコトノ出來ナイコトヲ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス(拍手)是ハ今日伺フコトガ出來マセネバ、適當ナル機會ニ於テ御答辯ヲ戴キタイト思ヒマスルシ、尚ホ其機會ガアリマセヌ場合ハ、書面ヲ以テヽモ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、殊ニ現時ノ「スポーツ」界ノ現狀ヲ見マシテモ、全ク自由放任ニセラレテ居リマスル結果ト致シマシテ、曩ノ亞米利加ノ大會ノ如キモ、亦獨逸ノ大會ノ如キモ、其大會デ大ナル成績ヲ收メマシタニ拘リマセズ、其結果ニ於テ色々ナル非難ガ起ッテ居ルノデアリマス、是ハ政府ガ「スポーツ」ノ統制ヲセズ、餘リニ之ヲ放任シテ居ラレマスル結果ニ外ナラヌト思フノデアリマス、隨テ政府ハ「スポーツ」ヲ統制スルト云フコトハ、是ハ或ル意味ニ於テ考ヘナケレバナラヌカト存ジマスガ、善キ意味ニ於テ之ヲ指導シ、善キ意味ニ於テ之ヲ統制シテ、國家ガ助長發達サセルト云フコトニ指導シナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスガ、其點ニ對シテ今少シク御所見ノアリマスル所ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス(拍手)

○國務大臣(河原田稼吉君) 體育ノ指導ニ

(國務大臣河原田稼吉君登壇)

關スル保健所ノ働キニ付キマシテハ、先程私ガ御答致シマシタヤウニ、特ニ指導員ヲ置クマデノ施設ニハナッテ居リマセヌガ、青年團トカ、或ハ學校衛生官等ト特ニ連絡ヲ保チマシテ、體育ノ指導ト云フコトマデモ努メサセタイ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、「オリムピック」ノ問題ハ、是ハ私ガ御答ヲ落シマシタ、段々政府ニ於テモ、或ハ其他ノ機關ニ於テ、著々研究竝ニ實施ノ歩ヲ進メテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ私ヨリモ文部省ノ政府委員カラ御答スルノガ便宜ト思ヒマスカラ、思召ノ趣旨ハ能ク傳ヘテ、適當ノ機會ニ御答辯致サセルコトニ致シタイト思ヒマス、其外「スポーツ」ノ問題ニ付キマシテモ、是亦同樣デアラウト思ヒマスカラ、是等ノ點ハ能ク申傳ヘテ置キマス

○服部崎市君 只今ノ御答辯デアリマスガ、私共ノ聞イテ居リマスルノニハ、「オリムピック」ノ組織委員會ニ對シマシテ、各省ノ次官ガ參加致シテ居ラレルト云フコトデアリマス、之ニ參加シテ居ラレマスケレドモ、ソレハ名ノミデアリマシテ、實際ニ積極的ノ協力ヲ致シテ居ルト云フ風ニ見エナイノデアリマス、或ル場合ニ於テハ費用ノ點ニ於テ、或ル場合ニ於テハ責任ノ轉嫁サレルコトヲ恐レテ、積極的デナイト云フ非難ガアリマスカラ、十分其點ハ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ヲ以テ私ノ質疑ヲ終リマス(拍手)

○議長(富田幸次郎君) 中井一夫君

○中井一夫君 私ハ現ニ御上程ニ相成ッテ

(中井一夫君登壇)

居リマスル國民保險法案外數件ニ關係致シマシテ、其案自體竝ニ我國ノ保健衛生ノ一般ニ關スル問題ニ付テ、政府ニ數個ノ質問

其他ノ部門ニ於キマシテハ、少キハ一人、多キモ一年ヲ通ジテ四十名ニ足ラヌノデアリマスルケレドモ、獨リ醫科ノ部門ニ於キマシテハ、實ニ九百人ノ多キニ及ンデ居ルノデアリマシテ、是ハ正ニ一日ニ三人餘ノ醫學博士ガ出來テ參ルト云フコトデアリマス、固ヨリ醫科ハ他ノ分科ト異リマシテ、研究題目ガ非常ニ多イノデアリマスカラシテ、自然他ノ分科ヨリ學位ヲ受ケル者ノ多イコトハ、私モ亦之ヲ承知シテ居リマスケレドモ、從來ノ實情ニ見マスルト、少クトモ論文ノ審査ニ付テ、學位授與ノ點ニ付テ、嚴正ト愼重トヲ缺ケルモノノアルコトヲ否ムコトハ出來ナイノデアリマス、現ニ此學位授與ノ問題ニ關係致シマシテ、昨年長崎醫科大學ニ起リマシタ不正事件ノ如キ其一例デアリマシテ、吾々國民ハ唯博士トサヘ云フナラバ、無條件デ之ヲ信頼スルト云フ氣風ガアルノデアリマスルカラシテ、學問ノ權威ノ爲ニモ、此博士號ノ授與ト云フコトニ付テハ、政府ハ格段ノ注意ト監督ヲセラレテ、殊ニ醫學博士ノ問題ニ付キマシテハ、嚴重ナル態度ヲ以テ臨マルベキデアルト信ズルノデアリマスルガ、內務大臣ノ國務大臣トシテノ立場ヨリ御所見ヲ承リタイト存ジマス

終リニ御尋致シタイコトハ、斷種法ノ制定ニ關スルコトデアリマス、卽チ精神病其他遺傳的ノ惡疾ヲ有シマスル人間ガ、國家社會ニ流シマス所ノ害毒ト云フモノハ、如何ニ甚大デアルカト云フコトハ申ス迄モナイノデアリマス、隨ヒマシテ斯ノ如キ人間ノ種ヲ斷絕セシメルガ爲ニ、又之ニ依ッテ國民全體ノ健康ヲ增進セシメルノ資ト致シマスルガ爲ニ、所謂斷種法ト云フモノガ、米國、獨逸、其他ノ國々ニ於キマシテ行ハレテ居ルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、而シテ最近我國ニ於キマシテモ、政府ハ此斷種法ヲ制定スルガ爲ニ、種々調査研究ヲシテ居ラレルト云フコトヲ承リマス、又或者ハ恐ラク近イ議會ニ、此法律ヲ提出セラレルノ意思ガアルデアラウトマデ言フ者ガアルノデアリマス、此際政府ハ其所見ヲ明ニ致シマシテ、サウシテ此問題ノ解決ニ付テ如何ナル意思ヲ持ッテ居ラレルカ、之ヲ承リタイト思フノデアリマス

以上數點、各方面ニ亙ッテノ質問デゴザイマスケレドモ、此際御答辯ヲ仰イデ、更ニ不審ノ點ガアリマシタナラバ、改メテ御尋ヲ致スコトニ致シマス(拍手)

(國務大臣河原田稼吉君登壇)

○國務大臣(河原田稼吉君) 色々ノ御尋デアリマシタガ、先ヅ第一ニ先日上野デ醫師會ガ開カレマシタ時ニ、警察官ガ關係方面ニ出テ、色々ノ所謂脅迫者ヲ取締ルヤウナ態度ヲヤッタ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ私事實ヲ存ジマセヌカラ、能ク調ベマスガ、併シ私ノ想像デハ、外ノ色色ノ無賴漢ナドトハ違ヒマシテ、立派ナ紳士デアリマスカラ、ソレ程ノヤウナ事ガアッタモノトハ、私ニハ想像致サレマセヌガ、此點ハ尙ホ能ク調査致シマス

ソレカラ第九條ノ問題デ、私ガ之ヲ入レテモ問題ハ起ラヌダラウト云フヤウニ御答シタヤウニ御話ニナリマシタガ、私ノ述ベマシタ趣旨ハ、是ハ根本ノ國民健康保險法全體トシテハ、極ク些細ナ部分デアッテ、全體トシテ重要ナ部分デナカッタカラ、アトカラ段々研究ノ結果、根本趣旨ハ社會保險調査會ニ掛ケタノデアルガ、斯ウ云フ風ナ大シタ問題デナイモノハ、アトカラ入レテモ宜カラウト云フコトデ入レタト、斯ウ云フ意味ニ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ此點モ必シモ醫師會等ニ不意討ニ出シタノデハナイノデアリマシテ、十二月ノ醫師會ノ大會ニハ、當時明瞭ニ此第九條ノ點ヲ說明シタト云フコトデアリマシタ、是ハ係ノ役人ノ申シマスコトデ、信ジテ宜イト私ハ確信致スノデアリマス

ソレカラ何カト色々ナ摩擦ヲ成ベクナクスル方ガ、內務行政トシテ最モ適當デナイカト云フヤウナ御意見デアリマシタガ、是ハ御尤デアリマシテ、私モ成ベク社會ハ協調圓滿ニ行クノガ最モ宜イノデアリマスカラ、成ベク摩擦ヲ少クシタイト思ヒマスガ、一面ニ於キマシテ御醫者サンハ、兎モ角醫師會ト云フヤウナ强力ナ團體ヲ持ッテ居ッテ、直チニ其利害ナリ意思ヲ、ソレ〱ノ方面ニ訴ヘルコトガ出來ルノデアリマスガ、此國民健康保險ノ恩澤ニ浴ショウト云フ多數ノ極ク困ッタ人ハ、數ハ多イケレドモ、纏ッタ意向ヲ表示スルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテハ、私ハ皆樣ト共ニ十分ナル同情ヲ拂ヒタイト思フノデアリマス(拍手)

ソレカラ衞生組合法ヲ制定シテ、衞生組合ニ法人格ヲ與フル必要ハナイカト云フ御意見デアリマスガ、是ハ先程御述ニナリマシタヤウニ、之ニ法人格ヲ與ヘルコトノ可否ト云フコトニ付テハ、從來色々問題ガアリマシテ、御述ニナリマシタヤウニ、所謂此仕事ハ市町村ナリ何ナリ、所謂自治團體ノ仕事ト混同スル所ガアリマスノデ、容易ニ法人格ヲ與ヘテ、地方市町村ノヤウナ自治體以外ニ、斯ウ云フ組合ニ法人格ヲ與ヘルコトガ、適當ナリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、非常ニ問題ト爲スベキ點ガ多イノデアリマス、隨ヒマシテ此點ハマダ結著致サヌノデアリマス、ソレナラ此健康保險組合アタリニ法人格ヲ與ヘル必要ハナイチヤナイカ、斯ウ云フ御意見ノヤウニ伺フノデアリマスガ、是ハ衞生組合トハ自ラ性質ヲ異ニシテ——所謂衞生組合ノ方ハ、或ル傳染病ノ豫防トカ云フヤウナ、市町村ノヤッテ居ル仕事ノ手傳ヲスル、若クハソレト同ジヤウナ仕事ヲスルノデアリマスガ、此國民健康保險組合ト云フモノハ、全ク醫療ヲヤルダケデアリマシテ、市町村ノヤッテ居ラヌ仕事ヲヤルノデアリマスカラ、是ハ別個ニ法人格ヲ與ヘテ少シモ矛盾シナイト思フノデアリマス

ソレカラ保險料徵收ノ問題デアリマスガ、是ハ所謂普通ノ會社等ノ保險ト違ヒマシテ、國民健康保險ニ於キマシテハ、直チニ醫療ヲ致シテヤルノデアリマス、他ノ會社等ノ保險ニ於キマシテハ、保險料ヲ拂ヘナカッタ場合ニハ、保險ニ對スル反對給付ヲ與ヘナイト云フコトデ濟ミマスガ、此組合ハ醫療ヲ爲スト云フコトガ主眼デアリマシテ、保險料ノ納付ト云フモノハ、ソレ〱ソレニ對スル對價トシテ納メルノデアリマスカラ、假令保險料ノ納付ガナクテモ、病人ヲ差措イテ其儘放ッテ置ク譯ニハ行カヌノデアリマス、直チニヤハリ適當ナル醫療給付ヲ致サナケレバナラヌ、併シサレバト云ッテ、保險料ノ納付ヲ滯納スル者ニ付テ、其儘放任シテ置キマスト云フコトハ、其人ダケナラ宜シウゴザイマスケレドモ、此組合ト云フモノハ、皆ガ持寄ッテソレ〱ノ負擔ヲシテ、サウシテ維持シテ居ルノデアリマスルカラ、ヤハリサウ云フ滯納者ガ澤山出ルト云フコトニナリマシテハ、他ノ人ガ困ルノデアリマス、ダカラヤハリ是ハ相當强制徵收ノ途ダケハ開イテ置クコトガ必要デアル、斯ウ云フ風ニ思ヒマスガ、併ナガラ實際ノ施行トシテハ、サウ濫リニ强制徵收、先程御例示ニナリマシタヤウナ、困ッタ人ノ布團ヤ鍋釜マデ持ッテ行クト云フコトハサセナイデ、ソコハ穩當ニ行クモノデアラウ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

ソレカラ賣藥營業ノ問題デアリマスルガ、是ハ根本ハ農林省ノ政府委員ノ方カラ答ヘラレルダラウト思ヒマスガ、內務省ノ關係トシテハ、ヤハリ賣藥營業者ト同樣ニ許可ヲ必要ト致シテ居ルノデアリマス、許可ノ手續ハ濟ンデ居ルヤウデアリマス

ソレカラ公娼廢止ノ問題デアリマスガ、是ハマダ內務省トシテハ決定致シテ居ルモノデハナイノデアリマスカラ、大體左樣ニ御諒承ヲ願ヒマス

ソレカラ迷信類似ノ取締ニ付キマシテハ、是ハ只今御述ニナリマシタヤウニ、隨分色色ナ弊害ガアル場合ガ見ラレルノデアリマス、之ニ付キマシテハ警察犯處罰令ニ依リマシテ、出來ルダケ取締ノ勵行ヲ致シタイト思ヒマス

ソレカラ博士號ノ問題デアリマスガ、是ハ私カラ御答スルノハ聊カ筋外レノヤウニ思ヒマスノデ、內務省ニ關スル限リニ於テ御答ヲ致シテ置キマスガ、學位ヲ所謂醫業廣告トシテ認メルカドウカ、之ヲ或ハ取締ルベキカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ相當研究ヲ要スル問題ト致シマシテ、目下研究中デアリマス

ソレカラ斷種法ノ問題デアリマスガ、是ハ將來優良ナル國民ヲ作ッテ行ク上ニ於キマシテ、一ツノ見識デアリマシテ、洵ニ御尤ナ御意見トハ存ジマスルガ、事重大デアリマスルシ、且ツ遺傳性疾患ノ範圍トカ、或ハ其發病ノ程度トカ、斷種法ノ效果、其他ニ付キマシテ、是ハ愼重ナル研究ヲ致サナケレバナラヌノデアリマスカラ、一寸輕輕ニ此法ヲ制定スルト云フ風ニ御答出來兼ネルノデアリマス

(政府委員小平權一君登壇)

○政府委員(小平權一君) 只今ノ全購聯ニ對スル御質問ニ御答致シマス、先程私ガ全購聯ノ御質問ニ對シテ御答致シタノデアリマスガ、其意味ハ、前議會ノ豫算分科會ニ於キマシテ、私カラシテ全購聯ハ賣藥ヲ致シテ居リマスケレドモ、自ラ製造致シマセヌト、斯ウ御答シタノデアリマス、其後自ラ製造シテ居リマセヌト云フコトニ付キマシテ、本日御質問ガアッタノデアリマスガ、其意味ハ、全購聯ハ自ラ工場ヲ持ッテ居リマセヌノデ、他人ノ工場ニ於キマシテ、全購聯ノ配置シマス藥劑師ノ指揮ニ依ッテ製造スルモノヲ全購聯ニ引受ケテ、ソレヲ配給致シテ居ルノデアリマスカラ、其實質ヲ捉ヘテ、私ハ前議會ニ於テ自ラ製造致シテ居リマセヌト、斯ウ御答シタノデアリマス、左樣御諒承願ヒマス

(中井一夫君登壇)

○中井一夫君 全購聯ノ賣藥ノ營業販賣ト云フコトニ付キマシテハ、只今小平部長ノ答ヘラレタコト自體ソレガ營業ニ相成ルノデアリマス、然ルニ其事實ヲ自ラ認メナガラ、之ヲ營業ニアラズト云フガ如キコトハ、卽チソレヲ三百代言ノ言ヒ方ナリト云フノデアリマス(拍手)願クハ更ニ此問題ノ調査研究ヲ遂ゲラレテ、速ニ適當ナル、且ツ嚴重ナル處置ヲ執ラレンコトヲ希望致シマス

內務大臣ノ御答辯ニ付キマシテハ、一々私ハ之ヲ承服スルコトハ出來ヌノデアリマス、併ナガラ此保險組合ニ於ケル保險料ノ徵收、其處分方法ノ殘酷ナル結果ヲ見ルガ如キコトノ問題ニ付テノ御答辯、此點ニ付テダケハ一言申述ベナケレバナラヌト思ヒマス、此問題ハ色々御說明デゴザイマシタガ、結局私ヲ、否吾々國民ヲ承服セシムルコトガ出來ヌコトハ申ス迄モナイノデアリマスルガ、現ニ此徵收法ノ餘リニモ嚴重デアルガ故ニ、最近大阪市ニ於キマシテハ、非常ナル一ツノ社會問題ヲ惹起致シタノデアリマス、卽チソレハ昨年ノ九月ニ健康保險料滯納ノ爲ニ差押ヲ受ケタ大阪ノ一印刷業者ガ、憤激ノ餘リ大阪府健康保險課ノ泉尾出張所ニ侵入致シマシテ、府廳ノ建物ノ內ニ於テ所長以下四人ノ課員ヲ殺傷致シマシタ、更ニ石油ヲ打撒イテ放火ヲ致シタト云フ事實ガアルノデアリマス、而シテ其原因ハ卽チ印刷工場ヲ持テル印刷業者トシテ、僅カ十數圓ノ健康保險料ヲ滯納致シマシタニ對シマシテ、此泉尾出張所ノ役人達ハ、卽チ只今問題トナッテ居リマスル所ノ此條文ヲ適用シテ、サウシテ之ヲ差押ヘ、直チニ競賣ニ付シタノデアリマスガ、此印刷營業者ガ唯一ノ財產トシテ持ッテ居リマシタ時價千五百圓ノ印刷機械ヲ、僅カ十數圓ノ保險料滯納ノ爲ニ打賣ッテシマッタノデアリマス、是ガ爲ニ此印刷業者ハ其商賣ヲスルコトガ出來ナクナッテ、國家ノ保險ノ爲ニ是ダケノ殘酷ナル目ニ遭ハサレルト云フ以上ハ、誰ヲカ恃マウト云フノデ、自ラ泉尾出張所ニ出掛ケテ行ッテ、所長以下四人モノ者ヲ殺傷致シマシテ放火スルコトニ相成ッタノデアリマス、只今本法案ニ付キマシテ、特ニ一項ヲ擧ゲテ私ガ御質問致シマシタニ付キマシテハ、斷ジテ將來憂ヒノナイ問題デハナイノデアッテ、現ニ此事實ガアルト云フコトヲ私ハ知ッテ居リマスカラ、特ニ之ヲ申述ベテ、政府ニ警告ヲ發シ、旁々所謂相互ニ村ノ者町ノ者等ガ抱合ウテ安樂ニ暮サウト云フノガ、此保險組合法ノ精神デアルナラバ、滅多ニ行ハヌ手續デアラウケレドモ、斯ノ如キ殘酷ナル、悲慘ナル結果ヲ來スガ如キ處分方法ハ、思切ッテ御取リニナルト云フコトガ當然デアルト考ヘマシタカラ、之ヲ申上ゲタノデアリマス、敢テ此實例ヲ內務大臣ニ更メテ申述ベテ、內務大臣ノ御再考ヲ願ヒタイト思ヒマス

(國務大臣河原田稼吉君登壇)

○國務大臣(河原田稼吉君) 只今御述ニナリマシタ大阪ニ於キマスル實例ハ多少違フ所モアリマスガ(「ノー〱」)其事實ハアッタヤウデアリマス、是ハ併シ工場鑛山ニ於ケル健康保險組合ノ例デアリマシテ、現ニ仕事ヲヤッテ居ル人デアッテ、其事情ニ於キマシテハ色々ノ關係モアルヤウデアリマスガ、併シソレ以來十分ニ保險課長或ハ保險所長ニ注意ヲ加ヘマシテ、無理ナコトノナイヤウニ致シテ居リマス、唯此國民健康保險組合ノ問題ニ付キマシテ、度々ノ御言葉デアリマシタケレドモ、是ハ先程私ガ申シマシタヤウニ、大勢ノ人ガ集ッテ、金ヲ出シ合ッテ維持シテ居ルノデアリマスカラ、其一人ノ人若クハ團體ノ何等滯納ニ對スル處分法ヲ規定シテ置キマセヌト、滯納ノ人ガ殖エマス、サウスルト結局其組合トシテノ經營ガ成立タナクナッテ、結局ハ組合員ノ他ノ人ニモ迷惑ヲ及ボスヤウニナリマスカラ、ヤハリドウシテモ滯納ノ場合ニハ、斯ウ云フ手段ニ依ルゾト云フコトハ、規定シテ置クコトガ必要ノヤウニ思ヒマス、唯度々申シマスヤウニ、殘酷ナ處置ハスベキモノデハナイ、斯ウ云フ風ニ存ズルノデアリマス、尙ホ又此國民健康保險組合ノ組合員ヘ、所謂極貧者ニアラズシテ、極貧者ト云フノハ救護法ニ依リマスノデ、兎ニ角若干ノ持寄リノ出來ル者ヲ集メルノデアリマスカラ、成ベク其心掛ヲ良クスルト云フ意味ニ於キマシテモ、或ル意味ノ强制徵收手段ヲ設ケテ置クコトガ適當ト思フノデアリマス

○議長(富田幸次郎君) 政府ノ答辯ハナイヤウデアリマス、中井君、宜シイデスカ——行吉角治君

(行吉角治君登壇)

(「贊成カ反對カ、先ニ言ッテ與レ」ト呼フ者アリ)

○行吉角治君 贊成ダ(拍手)提案致サレマシタ國民健康保險法案ニ付キマシテ申上ゲタイ、本案ハ多年醫療問題デ苦ンデ居リマシタ所ノ、中產階級以下農山漁村ノ貧困者ノ醫療及ビ保健保護等ニ對シマシテ重大ナル關係ヲ持ツト共ニ、跛行的保健行政ヲ是正改革致シマス使命アルノミナラズ、卽チ大衆ノ貧困防止ヲ目的トスルモノデアルガ故ニ、吾々國民ノ代表者ト致シマシテハ、本案ノ審議ニ當リマシテ、極メテ愼重、眞劍ナル態度ヲ以テ議決スベキ責務ガアルノデゴザイマス(拍手)現時我國ノ醫學醫術ガ世界ニ冠タルノ發達ヲ遂ゲマシテ、約八千有餘人ノ醫學博士ヲ算フルニ至リマシタコトハ、國民健康上洵ニ喜ブベキコトデゴザイマス、然ルニ此發達ハ唯醫療醫學及ビ病理學ノミニ偏シマシテ、一方的ノ發達ノミニ貢獻致シマシテ、一般大衆ノ治療、社會衞生、豫防醫學等、國民體位ノ向上ニ必要ナル保健行政竝ニ醫療制度ニ對

シテハ、全ク無方針、無統制ノ悲觀的狀態ニ置カレテアルノデゴザイマス(「ヒヤ〳〵」拍手)ソレハ一體何ニ原因スルカ、我國ノ醫術ガ開業醫制度ノ發達ノ儘ニ放任致サレマシテ、營利中心主義トナッタカラデアリマス(「ヒヤ〳〵」拍手)速ニ此偏在的、跛行的醫療制度竝ニ保健制度ヲ是正改革致シマシテ、國民大衆ノ負擔ノ輕減ヲ期スベキデアリマス、尙ホ國民體位ノ低下ハ、直接ニ內治外政ヘ固ヨリ、國防問題ニ重大ナル關係ヲ持ツモノデアリマス(拍手)吾々國民ト致シマシテハ、現下ノ非常時ニ對シテ、第一番ニ國防問題ヲ考ヘナケレバナリマセヌガ、國防費、軍事豫算等ヲ厖大ニ計上致シマシタノミデ、眞ニ國防ノ充實ヲ完備スルコトハ出來得ナイノデゴザイマス、即チ官民協力一致イタシマシテ其完成ヲ期スルコトガ、是ガ現下ノ國民ノ使命デアルト思フノデゴザイマス、現下ノ國民ノ務メデアルト思フノデゴザイマス、就中全國約七割ノ數字ヲ示シテ居リマスル所ノ農村ノ子弟コソ、實ニ軍務ノ中樞ト言ハナケレバナリマセヌ、然ルニ現時農村ニ於ケル壯丁ノ體位ノ低落致シマシタコトハ、實ニ著シキモノガアルノデゴザイマス、昭和十年ノ徵兵檢査ノ成績ヲ見ルニ、丙丁種ガ約四割ノ多數ヲ占メテ居ルノデゴザイマス、都市ト農村トノ體位ノ比較ヲシテ見マスルト、都市ニ於キマシテハ千人ヲ單位ト致シマシテ、其死亡率ハ約一七%ヲ示シテ居ルノデゴザイマスガ、空氣モ宜シイ、勞働モ非常ニ旺ンデアル所ノ農村ニ於キマシテ、却テ反對ノ現象ヲ示シテ居リマスノハ如何デスカ、而モ千人ヲ單位ト致シマシテ、約二〇%ノ數字ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、此原因タルヤ何カラ來ルモノデアリマセウカ、農村ノ疲弊困憊極リナキ貧困ヨリ來ルモノト云フコトハ、論ヲ俟タナイノデゴザイマス、社會局ノ統計ニ依リマスト、國民ノ醫療費負擔額ハ各一戶當リ二十五圓前後ヲ要スルト稱サレテ居ルノデゴザイマス、現時ヤカマシク唱ヘラレテ居ル所ノモノハ、農村ニ於ケル戶數割撤廢ノ問題デゴザイマス、一戶當リ平均一圓五〇錢乃至二圓ノ戶數割スラ滯納スル者ノ多クアル農村ニ於キマシテ、二十五圓ト云フヤウナ重壓的醫療費ノ負擔ガ堪ヘ得ルデアリマセウカ、之ヲ如何ニシテ救濟スルカ、即チ醫師ノ地域的分布ノ偏在ヲ是正致シマシテ、農村ヘノ回收ヲ期シ、醫療費ノ大衆化ヲ圖ッテ、負擔ノ輕減ヲ圖リ、又豫防醫學ノ普及發達ヲ圖ルト共ニ、醫療ト社會的施設トノ關聯ヲ密接ニ致シマシテ、國民保健ノ發達、國民體位ノ向上ヲ期スルコトデアリマス、以上ハ醫療行政是正改革ノ根本策デアルト思フノデゴザイマスガ、此理由ニ基キマシテ、次ノ數點ニ亙リマシテ政府ノ所信ヲ質サントスルモノデアリマス

第一、近時開業醫ハ全ク營業化シテ居ルガ、之ニ對シテ營業稅類似ノ課稅ヲスル用意アルヤ否ヤ、我ガ日本ノ醫術ハ昔カラ仁術ヲ以テ任ジテ居ルノデアリマシテ、國民大衆ハ之ニ對ッテ常ニ敬意ヲ拂ッテ居ルモノデアリマス、法律ニ依ッテ定メラレテ居ル所ニ依レバ、醫ハ營業ニアラズトアリ、而モ其醫師ニ致シマシテ、今回本案ノ提出セラレルヤ全國津々浦々ヨリ三千五百名ノ醫師代表ガ上京致シマシテ、上野精養軒ニ於キマシテ醫師大會ヲ開キマシテ、本案ニ對シ修正決議ヲ致シタノデゴザイマス、其目的ハ自己ノ利害得失ニ重點ヲ置イタモノデゴザイマス(拍手)醫師ハ國民ノ生命ヲ預ルベキ重大ナ責任ガアリマス、此重大ナル責任ヲ沒却致シマシテ、多クノ醫者ハ多クノ患者ヲ放棄致シマシテ、自己ノ利害得失ノ爲ニ、斯ル行動ヲ執ッタト云フコトハ、國民大衆ニ對シテ實以テ不親切極マルモノト言ハナケレバナリマセヌ(「其通リ」ト呼ブ者アリ)苟モ醫者タル者ガ仁ヲ忘レ、己ヲ忘レ、自ラ營業タルコトヲ是認シタモノデアリマス、全ク營業化シマシタ所ノ開業醫ニ對シテ、當局ハ斷然營業稅類似ノ課稅ヲ致ス必要ガアルト信ズルノデアリマス、此點當局ノ御所見ヲ御尋致シタイ

第二ハ醫藥分業法案ヲ提出スル意思アリヤ否ヤ、先年醫藥分業法案提出サレルト同時ニ、今回ト同ジヤウニ全國ノ開業醫ハ之ニ猛烈ナル反對ヲ起シタノデゴザイマス、其結果ト致シマシテ、醫藥分業法案ハ有耶無耶ノ裡ニ葬リ去ラレタノデゴザイマス、此時國民大衆ハ口ヲ極メテ政府當局ト、國民ノ代表者デアル所ノ吾々議員ニ對シテ痛罵ヲ浴ビセタノデゴザイマス(「ノー〳〵」「ヒヤ〳〵」)苟クモ吾々代表者タル者、其責務ヲ忘レテ、而モ一部ニ制限ヲ加ヘラレテ居ル所ノ有産階級ノ僅ニ全國六万ノ醫者ニ味方ヲシタ、而モ甚シキニ至リマシテハ、裏面ニ何モノカガアッタ如ク錯覺ヲ起シタノデゴザイマス、國民ノ代表者タル者、此點注意ヲ要スルコトデアルト思ヒマス、今回提出サレマシタ所ノ法案ニ對シテ、本員聞クニ堪ヘナイ風說ヲ聞クノデゴザイマス、本員全ク之ヲ信ジタクナイノデゴザイマス、巷間傳フル所ニ依リマスト、今回モ醫師會ニ於キマシテハ、今日迄ノ經費二十數万圓ヲ使ッタト傳ヘラレテ居ルノデゴザイマス、全國カラ集リ來リマシタ所ノ醫者ノ代表者ガ三千人ヤ五千人上京致シマシテ、滯在致シマシタカラト申シマシテ、二十數万圓以上ノ金ノ要ル筈ハナイト思フノデゴザイマス(拍手)而モ吾々政黨人ト致シマシテ、現時ハ政黨ノ信用挽回ニ獻身的努力ヲ拂ッテ居ル途上デアリマス、斯ル忌ハシキ風評スラ聞クノハ堪エ忍ビ得ナイノデアリマス(拍手)醫師會側ノ言分ヲ聽イテ見マスルト、醫藥分業法案ト同樣ニ本案モ葬リ去ラレル自信アリト申シテ居リマス、恐ラク此醫師會ノ言分ハ、本員一人ガ耳ニ致シタノデハナイト思フ、吾々國民ノ代表者タルモノハ、此時ニ當リマシテ議會ノ權威ノ爲メ、議員ノ信用ノ爲メ、愼重ナル態度ヲ以テ之ニ臨マナケレバナリマセヌ(拍手)政府ハ大衆ノ貧困防止ヲ目的トスル限リハ、醫藥分業法案ヲモ提出致シマシテ、眞ニ其完成ヲ期スベキモノデアルト考ヘルモノデゴザイマス、先輩諸兄登壇致サレマシテ、全國ニ三百万ノ藥屋アリ、六万ノ醫師アリ、本案ニ依ッテ其生活ニ脅威ヲ感ズルコトニナルト論ゼラレタ、然ラバ本案提出サル、ト同時ニ、若クハ次ノ議會ニ於キマシテ、醫藥分業法案ヲ政府案トシテ提出サル、コトガ現下ノ急務デアルト信ズルモノデアリマス(拍手)此點特ニ政府當局ノ御所見ヲ伺ヒタイ

第三開業醫ノ中ニハ暴利ヲ貪ル者アリ、之ニ對スル當局ノ取締方法如何、醫師法ニ依ッテ定メラレマシタ法規アルニ拘ラズ、都市農村ヲ通ジマシテ貧困者ノ往診ニ對シテ之ヲ無下ニ拒絕スル醫者ガアル、尙ホ一回ノ往診料三十圓五十圓ヲ貪ル醫者ガアル、藥價ノ如キモ一定ノ規定ハアルガ、ソレニハ但書ガ附シテアルノデゴザイマス、但シ高價藥ニ限リ其限リニアラズ、然ラバ都市農村ヲ通ジマシテ、貧困者ハ名醫ノ診察ヲ受ケルコトモ出來ネバ、高價藥ヲ服用スルコトモ出來得ナイ狀態ニアルノデアリマスガ、之ニ對スル當局ノ取締方法、而モ之ヲ法律化シテ嚴格ニ御取締アランコトヲ切望スルモノデアリマス、此取締方法如何

第四健康保險組合ニ加入スル力ノナイ貧困者ニ對シテハ、當局ハ如何ナル對策アリヤ、都市ト農村ヲ通ジマシテ、病氣ニ罹ッテモ醫者ニ掛カルコトガ出來得ナイ者ガ多クアル、殊ニ農村ニ於キマシテハ、最近益〻增加致シマスシ、醫師ハ段々都會ニ集中スルヤウニナッテ參リマシタ、其結果ト致シマシテ全國三千四百箇町村ハ、唯一人ノ醫者モ居ナイ町村ガアルノデゴザイマス、之ヲ無醫町村ト致シマシテ放任サレテ居ルモノデアリマス、斯ル狀態ニ付キマシテ貧困者ニ國民健康保險組合ト云フ至極結構ナル救濟機關ガ出來上リマシテモ、之ニ加入スルコトガ出來得ナイ貧困者ガ多數アルトシタナラバ、之ニ對シテハ政府ハ積極的ニ對策ヲ講ズル必要ガアルト思フノデゴザイマス、此點特ニ此對策ニ付テハッキリ御答ヲ賜リタイ

第五ハ本案ノ運用ヲ誤ル時ハ、却テ惡結果ヲ招來スル虞アリ、之ニ對スル當局ノ取締方法如何、本案ハ第九條ノ定メル所ニ依レバ、代行機關ヲ設ケ、之ニ經營ヲ委ネテ其運用ヲ爲サシムルトアルガ、是ハ相扶共濟自治的産業組合ヲ此經營ニ當ラシメルモノナリト考ヘルガ、其點至極結構デアルト思フガ、現在多クアル産業組合ノ中ニ此種ノ健康保險制度ヲ既ニ實施サレテ居ルモノガアル、中ニハ頗ル不合理千萬ナルモノガアル、一例ヲ擧ゲレバ、醫療費ヲ滯納致シタル患者ニ對シテハ、往診ヲ拒絕セシメタル事實ガアルノデアリマス、尙ホ醫師ニ於テモ普通患者ト差別待遇ヲ故ラニ爲ス者ガアルノデゴザイマス、其結果ト致シマシテハ、醫療低下ヲ招來致シテ、貧困防止トナラズシテ、却テ醫師ノ大衆搾取トナル虞ガアル、又組合加入員ノ不良被保險者ヲ製造スルガ如キ懸念ガアル、尙ホ此運用方法ニ付キマシテ、當局ノ意見ヲ承リタイ、以上第一、第二、第三、第四、第五ノ本員ノ質疑ニ對シテ政府當局ノ率直ナル親切ナ御答ヲ賜リタイ(拍手)

(國務大臣河原田稼吉君登壇)

○國務大臣(河原田稼吉君) 第一ノ御質問ハ醫者ニ對シテ營業稅ヲ課スル意思アリヤ否ヤ、斯ウ云フ御尋デアリマシタ、外國ノ事例ヲ申上ゲテ見マスト云フト、營業竝ニ相當重稅ヲ課シテ居リマス處ハ、墺太利トカ獨逸ノ「ブレーメン」「リッベン」ト云フヤウナ方面デアリマス、英吉利ハ、ヤハリ營業稅トシテ割合ニ輕ク課シテ居ル、斯樣ナ狀況デアリマス、醫業ニ對シマシテ營業ヨリモ特ニ輕ク課シテ居リマスノハ、即チ勤勞竝ノ取扱ヲ爲シテ居ルノハ米國トカ佛蘭西トカ云フヤウナ國々ノヤウデアリマス、我國ハ從來醫ハ仁術ト云フ取扱ヲ受ケテ居リマシタノデ、ヤハリ尙ホ此風習ヲ維持シテ、成ベク醫ハ仁術ナリト云フ風習ヲ存續致サセタイヤウニ思フノデアリマス、隨ヒマシテ只今直グ營業稅ヲ課スルト云フヤウナ所マデハ行カヌシ、又サウ云フコトヲスルノガ善イカ惡イカ、尙ホ十分ノ考究ヲ要スルト思ヒマス

ソレカラ醫藥分業法案ヲ提出スル意思アリヤ否ヤ、是ハ一面カラ申シマスト云フト、洵ニ立派ナ御見識ト考ヘルノデアリマスガ、併シ一方ニ於テハヤハリ我ガ國民ノ衞生思想ノ狀態トカ、或ハ患者ノ便不便ト云フヤウナコトモ考慮致サナケレバナラヌノデアリマシテ、此點ニ付テハ尙ホ愼重ナル講究ヲ加ヘタイト思ヒマス

開業醫中可ナリ高イ藥價等ヲ取ル者ガアルノデ、即チ此暴利ヲ取締ル方法ハナイカ、又之ヲ法制化スル必要ハナイカドウカト云フ御尋デアリマシタガ、藥價ノ制定若クハ診察料ノ制定ト云フモノハ中々ムツカシク、且ツ色々ナ傳統ガアリマシテ、是亦今日直チニ法律ヲ以テ規定スル――而モ藥ニハ色々ナ價格ノ違ヒガアリマシテ、所謂藥價令ノ制定ノ必要アリヤ否ヤト云フヤウナ問題モアリマスノデ、是亦急ニ斯ウ云フ規定ヲ設ケルヤウナ譯ニハ行カヌノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

ソレカラ第四ノ組合ニ加入スル力ノ無イ者ニ付テハ如何ナル對策ガアルカト云フ、洵ニ御同情ノアル御言葉ヲ伺ッタノデアリマスガ、仰シャル通リ可ナリ農村其他ニ於テ組合費ノ負擔ニモ堪ヘヌヤウナ氣ノ毒ナ人ノアルコトハ事實デアリマスカラ、一方ニ於テ組合ニ對シマシテ、相當ノ補助ヲ國家カラ致シテ居ルノデアリマスカラ、假令組合費ガ直チニ納入出來ナクテモ、出來ルダケ町村等ニ於テ、全町村ノ人ヲ困ッテ居ル人モ網羅シテ行ケルヤウニシタイト思ッテ居リマス、併シドウシテモ組合ノ事情デ、總テノ人ヲ網羅スルコトガ出來ナイト云フ事情ガアリマスナラバ、サウ云フ風ナ特殊ノ人ニ對シテハ、所謂救護法等ヲ活シテ、適當ノ救濟ヲ國家竝ニ公共團體ニ於テ致シテ行クノガ適當ト思ヒマス、ソレカラ國民健康保險法ノ施行ニ付キマシテハ、ソレゾレ其施行ヲ適正ニ指導監督致シマシテ、成ベク惡結果ノ生ジナイヤウニ致シタイト思ヒマス、九條ノ規定ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、全部ヲ認メルノデハナク、唯良イノダケヲ認メタイト云フ積リデアリマス

○議長(富田幸次郎君) 行吉君宜シイデスカ

○行吉角治君 委員會デ……

○議長(富田幸次郎君) 山口久吉君

(山口久吉君登壇)

○山口久吉君 私ハ國民健康保險法案ニ對シテ總理大臣ト內務大臣トニ極メテ簡潔ニ質問ヲ致シマス、只今總理大臣ガ見エテ居リマセヌカラ、國務大臣トシテ內務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ、先ヅ內務大臣ニ對シテハ、國民ノ醫療國策ニ對スル將來ノ見透シニ付テ其御所見ヲ御尋シタイノデアリマス、歐洲大戰後、各國ハ戰後ニ於ケル所ノ國力ノ回復ニ對シテ根本的ノ對策ト致シマシテ、國民ノ健康保持增進ニ多大ノ關心ヲ以テ主力ヲ傾倒シタ、サウシテ其施設ニ對シテ色々行ウタコトハ周知デアリマス、彼ノ獨逸ガ大戰直後ニ於ケル所ノ國民ノ勤勞能率ハ、戰前ノ四分ノ一ニ減退シテ居リマシタ、體質ハ二十五年前ニ低下シタ、其爲ニ獨逸ニ於ケル所ノ國民ノ健康保持ノ方針ヲ統一シタ所ノ、醫師法ニ依ッテ改正セラレタ衞生行政ノ強化ヲ期シテ、極力其回復ヲ圖ッタ爲ニ、僅カ十數年デ著シク體質ガ向上シタ事實ガアリマス、英國モ「トランスバール」ノ變亂後ニ於テ、同樣國民ノ體質ガ減退シタノガ、衞生省ヲ設置シタ爲ニ、其減退ヲ取戾シタト云フ實績モアリマス、今ヤ我國ニ於テモ滿洲事變後ニ於テ國際政局ト云フモノハ頗ル緊迫シテ居リマス、非常時局ヲ乘切ッテ、之ニ對スル所ノ態度ヲ決メナケレバナラヌト云フノデ、嚢ニ軍部ガ發表シタ所ノ廣義國防――國防ノ充實モ、文化ノ發達モ、或ハ產業ノ發展モ、窮極スル所ハ國民ノ健康ニ其基礎ヲ置カナケレバナラヌト云フコトハ、誰人モ知ッテ居ル所デアリマス、最近ノ徵兵檢査ノ例ヲ通シテ見マシテモ、壯丁ノ體質ト云フモノハ、驚クベク惡化シテ居リマス、例ヘバ壯丁ガ身長ハ增スケレドモ、體重ガ伴ハナイ、或ハ結核性ノ胸部ノ疾患ヲ持ッ所ノ人達ガ多クナル、近視眼ガ激增スル、徵兵ニ不合格ノ壯丁ガ累年增加スルヤウナ傾向ニナッテ居リマス、是ハ一ニ壯丁ノ體質ノ根源ト云フモノハ、出生前ニ於ケル母胎內ニ胚胎スル其モノニ由ッテ原因スルノデアル、ソレハ衞生ヲ輕視スル所ノ政治ノ結果デアリマス、同時ニ無能無統制ノ衞生行政機構ノ結果、由來スルコト私共ハ斷言セザルヲ得ナイ、尙ホ一般國民ノ死亡率ハ諸外國ニ較ベテ段々比例ガ高クナッテ來ル、平均壽命モ益〻低下スルノミデアリマス、乳兒ノ死亡率ニ至リマシテハ非常ニ多イ、是等保健衞生上ノ顧慮スベキ狀況ト云フモノハ、各省ニ分割サレテ居ル所ノ割據的ノ行政ノ不統一、不徹底ガ齎ス所デ、私共ハ此弊害ヲ打破シナケレバナラヌト思フノデアリマス(拍手)隨テ各局課ヲ統制致シマシテ、衞生國策遂行ノ爲ニ、中央ニ統轄行政機關タル所ノ衞生省ヲ設置スベキ必要ヲ軍部ハ提唱シテ居ルノデアリマス(「ヒヤ〳〵」)是ガ動機ニナリマシテ、從來動モスレバ顧ラレナカッタ所ノ保健國策ガ、廣田內閣ノ所謂庶政一新ノ波ニ乘ッテ、急進政策ト云フヤウニナッテ現ハレテ來タノデ、朝野ハ之ニ視聽ヲ聳テ、來タノデアリマス、然ルニ現林內閣ハ廣田內閣ノ後ヲ承ケテ本

官報號外　昭和十二年三月十日　衆議院議事速記錄第十九號　國民健康保險法案外二件　第一讀會

案ヲ提出致シマシタ、内務省ガ言フヤウニ、現内閣唯一ノ社會立法デアル此法案ヘ、私共ハ政府ノ保健國策ニ對スル施政方針ノ片鱗ヲ出シテ居ルモノト云フコトヲ思フノデアリマス、單ニ内務省ノ言フヤウナ、社會的立法ノミニ偏シナイト私ハ思ヲテ居ル、其處ニハヤハリ保健國策ノ片鱗ガ現レテ居ルト思フノデアリマス、私共ハ本案實施ニ依ッテ、國民ノ大多數ヲ占メ居ル農山漁村民竝ニ中小商工業者等ガ、社會保健ノ理由デ醫療ノ慶福ヲ普及サレルコトハ、非常ナ感激ヲ以テ國民ト共ニ欣ブ所デアリマス、併ナガラ其運營如何ニ依ッテハ却テ恐ルベキ弊害ヲ醸シテ、保健國策ノ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイカモ知レナイト云フコトヲ思フ、我國ニ於テハ從來世界獨特ノ自由開業醫制度ト云フモノガアリマス、ドナタガ色々非難シ、攻撃爲サレテモ、此制度ハ有難イ致シテ居リマス、日本國民ノ大部分ノ病氣ノ治療ヲ開業醫家ガ之ヲ擔當シテ居リマス、過去ニ於テ開業醫家ガ國民ノ保健衛生ノ上ニ盡シタ功績ハ絶大ナルモノガアルノデアリマス、今日ト雖モ開業醫家ガ挺身世ノ病氣ノ治療ノ衝ニ當ッテ、其職務ヲ遂行シ、國家ノ爲メ社會ノ爲ニ奉公ノ誠ヲ盡シテ居ルト云フコトダケハ、私ハ認メナケレバナラヌト思フ、然ルニ斯ノ如キ職責ヲ果シツヽアル所ノ個個ノ醫家ノ生活竝ニ、其社會的地位ハドウデアリマスカ、其收入ハ減ルト共ニ、日々ニ低下シテ居ルノデハアリマセヌカ、我國ノ美風ノ一ツデアル此存在、開業醫制度ガ次第ニ崩レツヽアルト云フコトハ、誰人ニ於テモ否ムコトガ出來ナイノデアリマス、卽チ最近ノ社會的經濟的ノ傾向ハ醫療費ノ輕減ノミニ重キヲ置イテ、諸種ノ醫療機關ハ之ヲ目標ニ致シマシテ、雜然トシテ統一モナク、指導方針モナク濫設セラレテ、五万ノ開業醫ノ將來ハ實ニ悲觀スベキ狀況ニナリツヽアルノデアリマス、更ニ極端ナル理論家ヤ經濟家ハ言フ迄モ居ル、本案ノ實施ニ依ッテ開業醫ガ苦境ニ陷ラウトモ、ソレハ營業上ノ利害ノ衝突デアルカラ、已ムヲ得ナイデハナイカ、滅ビルモノハ滅ビヨト云フヤウナ聲モ聞エル、私共ハサウシタ結果ハ國家ノ爲ニ、君國ノ爲ニ甚ダ恐ルベキコトデアルト云フコトヲ考ヘザルヲ得ナイ、少クモ我國ノ保健衛生ノ前線ニ立ッテ奮闘シ努力シテ居ル所ノ開業醫家ガ、沒落過程ニ追詰メラレツヽアル現在、更ニソレガ一層深刻ニナレバ醫學ノ進歩モ、醫療ノ發達モ阻碍サレルト云フ事實ヲ思ハナケレバナラヌ、本案創設ニ當ッテ斯ウシタ醫者ニ對スル所ノ正シイ認識ヤ、醫療ノ本質的認識ガ、動モスレバ缺如シテ居ル、ソレデアルカラ中央衛生會ノ如キ權威アル所ノ醫事衛生ノ諮問機關ガアルニモ拘ラズ、政府ハ敢テ諮問セズ、唯小乘的ナル官僚獨善ノ考ノ立場ニ於テ、寥少ノ報酬デ、强イテ個人契約主義ヲ强行シヨウトスルヤリ方ハ、我國ノ自由開業醫制度ノ長所タル醫者ト患者トノ個人信賴關係ヲ云フヤウナモノヲ維持シヨウトモセズ、疾病ニ對スル醫師ノ自由選擇ノ慣行ニ相反スルヤウナ制度ヲ作ッタノデアルト私ハ思フ、是ガ國民ノ保健竝ニ社會政策上ノ理由ヲ揭ゲテ居ル所ノ本案ノ完璧ヲ期スルコトニナルカドウカ、却テ我國古來ノ開業醫制度ノ根本的變革ヲ來サントスルノデハナイカト思フノデアリマス、政府ハ將來開業醫制度ヲ認メテ之ヲ維持助長スル、斯ウ云フ方針ノ下ニ於テ、其助長發達ヲ期スル考ガアルカドウカト云フコトガ一點デアリマス

更ニ一歩ヲ進メテ醫療機關ノ公營カ、或ハ國營カヲ實行スル意思ガアルカト云フノガ第二點、最後ニ是等ノ保健國策ノ徹底的强化ヲ圖ル爲ニ、衞生省ノ設置ヲ爲ス意思ガアルカト云フコトガ其第三點デアリマス

更ニ私ハ内務大臣ニ對シテ御尋シタイ、本案ニ對シテ全國五万ノ開業醫ノ醫師會ノ團體契約ヲ認メヨト云フコトト、第九條ノ削除ヲ熱烈ニ要求シテ居ル由ヲ來タ所ノ原因ハ如何ナルモノデアルカ、其所見ヲ御伺シタイノデアリマス、本案ヲ此儘實施スル時ニハ、現行健康保險制度ヨリカ、更ニ低額ノ醫療ヲ强要スル所ノ懸念ヲ多分ニ持ッテ居ルノデアリマス、試ミニ政府ガ過去十一箇年ノ健康保險事業費ニ付テ、昭和九年マデ九箇年間ノ統計ノ示ス所ニ依レバ、微收シタ所ノ保險料竝ニ國庫負擔金トノ實收入ハ、三億二千五十餘万圓ニシテ、實際支出シタ金ヲ控除スルト、政府ノ管掌ノ分ガ一千十五万九千圓ガ殘ッテ居ル、組合ノ分デハ三千四百十四万二千九百八十三圓殘ッテ、合計四千四百三十万二千八十三圓ト云フ莫大ナ殘金ガアルノデアリマス、更ニ十年度、十一年度ノ殘額及ビ利子等ヲ加算スレバ、五千万圓程度ノ金ガ殘ル譯ニナッテ居リマス、斯ノ如ク五千万圓ニモ垂ントスル莫大ナ金ヲ社會局ハ如何ナル意思ニ依ッテ貯ヘ置クヤ、將又如何ニ此金ヲ處分セントスルカ、甚ダ諒解ニ苦シム所デアルト言ハレテ居リマス、斯ル一面ガアルニモ拘ラズ、治療報酬ノ低下ヘ健康保險ノ十年間ノ經過ガ物語ッテ居リマス、政府ハ醫者ニ對シテ不當ノ廉價診療ヲ表面カラ强要シテ居ル、ソレバカリデハナイ醫療組合モ奬勵シ、助長シ、非醫者ノ安價治療機關ト云フモノノ開設ヲ喜ンデ居ルヤウナ傾向ヲ帶ビテ居ル……（議長……定足數ガアルカ」ト呼フ者アリ）更ニ官公又ハ半官的ノ大病院ノ輕費診療ヲ容認シテ、側面カラ民間醫療ト云フモノヲシテ低減セザルヲ得ザラシメルヤウナ政策ヲ採ッテ居ルコトヘ、内務當局ノ能ク御存ジノコトト私ハ思フノデアリマス……

○議長（富田幸次郎君）　山口君、山口君、一寸御待チ下サイ――講長ハ定足數ヲ缺イテ居ルト認メマスカラ、散會致シマス

午後七時十四分散會

（服部緒市君演說參照）

昭和十年度ノ我國徵兵檢査ニ於ケル壯丁ノ體格檢査表ヲ見ルニ

受驗者千人ニ對シ甲種合格二百九十七人、第一乙種百十五人、第二乙種二百五人、第二丁種三百十八人、丁種六十三人トイフ割合デ、甲種ノ二百九十七人ヘ前年ノ二百八十九人ニ比シテ遙ニ上位ニアリ、最近ノ高率ト云ハレル昭和五年ノ二百九十三人ニ比シテモ尙且ツ上位ニアル

又身長ニ於テモ大正元年ノ平均五尺二寸ニ對シ昭和十年ノ平均ハ五尺二寸九分ヲ示シ二十三年間ニ九分ノ增加ヲ見セ、體重ニ於テモ大正元年ガ十三貫八百三十匁デアッタニ對シ、昭和十年ニハ十四貫十匁トナリ、之亦百八十匁ノ增加ヲ示シテ居ルガ、是ハ身長體重ノ增加ノ割合ガバランスノトレタモノデハナイ、是等ノ數字上ハ一見壯丁ノ體位向上ノ如ク思ハルヽガ、實際ニハ然ラズ、殊ニ現役竝ニ補充兵タリ得ル甲乙種ノ合計ト、國民兵又ハ之ニモ適セザル丙丁兩種ノ合計トノ割合ニ於テ、甲乙兩種合計ノパーセンテージハ逐年下向ノ趨勢ニアル

卽チ大正十一年カラ十五年頃マデハ丙丁兩種ノ合計ハ壯丁千人ニ對シ二百五六十人内外ヲ示シテ居タモノガ昭和二三年頃ニ至ッテ三百五十人内外トナリ、最近四、五年間ハ三百八九十人カラ四百人ヲ突破スルノ憂フベキ狀態ヲ示シテ居ル

官報 號外

昭和十二年三月十一日（木曜日）

午後一時三十四分開議

○第七十回帝國議會衆議院議事速記錄第二十號

議事日程　第二十一號

昭和十二年三月十一日

午後一時開議

第一　國民健康保險法案（政府提出）　第一讀會（前會ノ續）

第二　保健所法案（政府提出）　第一讀會（前會ノ續）

第三　結核豫防法中改正法律案（政府提出）　第一讀會（前會ノ續）

第四　小運送業法案（政府提出）　第一讀會

第五　日本通運株式會社法案（政府提出）　第一讀會

第六　帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會

第七　朝鮮事業公債法中改正法律案（政府提出）　第一讀會

第八　朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案（政府提出）　第一讀會

第九　昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會

第十　昭和七年法律第一號中改正法律案（滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會

第十一　船員法改正法律案（政府提出）　第一讀會

第十二　揮發油及アルコール混用法案（政府提出）　第一讀會

第十三　貿易組合法案（政府提出）　第一讀會

第十四　貿易調整法案（政府提出）　第一讀會

第十五　工業組合法中改正法律案（政府提出）　第一讀會

第十六　昭和七年法律第十二號中改正法律案（造幣局資金拂出ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會

第十七　日本銀行條例中改正法律案（政府提出）　第一讀會

第十八　日本銀行參與會法廢止法律案（政府提出）　第一讀會

第十九　横荘鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會

第二十　東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關渉ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會

第二十一　製鐵事業法案（政府提出）　第一讀會

第二十二　大正九年法律第五十三號中改正法律案（關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會

第二十三　地方鐵道補助法中改正法律案（政府提出）　第一讀會

第二十四　大正九年法律第五十六號中改正法律案（北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會

第二十五　商法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第二十六　肥料取締法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第二十七　酒造組合法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第二十八　日本無線電信株式會社法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第二十九　特許法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十　商標法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十一　不正競爭防止法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十二　裁判所構成法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十三　大正十年法律第百二號中改正法律案（定年ニ因ル退職判事檢事ノ恩給ニ關スル件）（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十四　兵役法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十五　産業組合中央金庫法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十六　産業組合自治監査法案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

（左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲鼓ニ揭載ス）

一今十一日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

北海道舊土人保護法中改正法律案

一今十一日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

刑事訴訟法中改正法律案

外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法律案

明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
昭和十年度第一豫備金支出ノ件
昭和十年度特別會計第一豫備金支出ノ件
昭和十年度特別會計豫備費支出ノ件
昭和十年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件
自昭和十一年一月至同　年三月　昭和十年度第二豫備金支出ノ件
自昭和十一年一月至同　年三月　昭和十年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
自昭和十一年一月至同　年三月　昭和十年度特別會計第二豫備金支出ノ件
自昭和十一年一月至同　年三月　昭和十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
昭和十一年度第二豫備金支出ノ件
昭和十一年度特別會計第二豫備金支出ノ件
昭和十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件
（承諾ヲ求ムル件）
（以上三月九日提出）
防空法案
海外移住組合聯合會ニ對スル政府貸付金ノ出資等ニ關スル法律案
農村負債整理資金特別融通及損失補償法案
（以上三月十日提出）

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
理容師法案
提出者
中山　福藏君　內藤　正剛君
一松　定吉君　川橋豐治郎君
紫安新九郎君　松田　正一君
濱野徹太郎君　眞鍋　儀十君
牧山　耕藏君　戸井　嘉作君
服部　崎市君
衆議院議員選擧法中改正法律案
提出者
戸澤民十郎君　青木　亮貫君
武知　勇記君
建築士法案
提出者
小西　和君　熊谷　直太君
野村　嘉六君　倉元　要一君
増田　義一君　志賀和多利君
手代木隆吉君　星島　二郎君
（以上三月九日提出）
金錢債務臨時調停法廢止法律案
提出者
升田　憲元君　紅露　昭君
立川　太郎君　南條　德男君
池田　清秋君　山本　粂吉君
金井　正夫君　岡本實太郎君
牧野　賤男君　名川　侃市君
牧野　良三君　清瀨　一郎君
村岡　吾一君　一松　定吉君
（以上三月十日提出）
國道四號線竝縣道改修ニ關スル建議案
提出者
坪山　德彌君　松村　光三君
船田　中君
國道四號線竝縣道改修ニ關スル建議案
提出者
高田　耘平君　岡田喜久治君
高松　長三君　木村　淺七君
大門　恆作君　森下　國雄君
弘前田代間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者
工藤十三雄君　菊池　良一君
田代ヨリ岩崎若ヘ深浦ニ至ル鐵道敷設ニ關スル建議案
提出者
菊池　良一君　工藤十三雄君
帝國圖書館完成ニ關スル建議案
提出者
內ケ崎作三郎君　石坂　豐一君
牧野　良三君　片山秀太郎君
河上　哲太君　山道　襄一君
三好榮次郎君　漢那　憲和君
一松　定吉君
盲啞教育義務制ニ關スル建議案
提出者
村岡　吾一君　內ケ崎作三郎君
山枡　儀重君　野村　嘉六君
牟岐室戸間鐵道建設速成ニ關スル建議案
提出者　紅露　昭君
川井石井線阿野加茂名線中津石井線齒ノ辻國府線省營自動車運轉開始ニ關スル建議案
提出者　紅露　昭君
劍山一帶ノ地域ヲ國立公園指定ニ關スル建議案
提出者　紅露　昭君
橘丹生谷間省營自動車運輸開始ニ關スル建議案
提出者　紅露　昭君
德島驛改築竝德島臨港鐵道敷設ニ關スル建議案
提出者　紅露　昭君
阿波池田川之江間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者
紅露　昭君　玉置吉之丞君
河上　哲太君　大木貞太郎君
三尾　邦三君　生田　和平君
盲啞教育義務制實施及就學奬勵金交付ニ關スル建議案
提出者　紅露　昭君
荒川改修工事速成ニ關スル建議案
提出者
松永　東君　高橋　泰雄君
鈴木康太郎君　出井　兵吉君
宮崎　一君　横川　重次君
太刀洗原開墾國營ニ關スル建議案
提出者
野田　俊作君　鶴　惣市君
沖　藏君　原口初太郎君

唐津港第二期修築工事實現ニ關スル建議案
提出者　藤生安太郎君
宮崎縣中央縱貫鐵道建設ニ關スル建議案
提出者　伊東　岩男君
北海道農業金融政策ニ關スル建議案
提出者
山本　厚三君　澤田　利吉君
一柳仲次郎君　淺川　浩君
坂東幸太郎君　手代木隆吉君
大島　寅吉君　南雲　正朔君
國分川及久万川改修速進ニ關スル建議案
提出者
長野　長廣君　尾崎　重美君
杣山神社昇格ニ關スル建議案
提出者
齋藤　直橘君　斯波　貞吉君
北海道ニ無水アルコール工場設置ニ關スル建議案
提出者
山本　厚三君　澤田　利吉君
一柳仲次郎君　淺川　浩君
坂東幸太郎君　手代木隆吉君
大島　寅吉君　南雲　正朔君
刑務所看守ノ待遇改善ニ關スル建議案
提出者　小久江美代吉君
那賀川改修工事促進ニ關スル建議案
提出者　紅露　昭君
伊豆沼國營開墾ニ關スル建議案
提出者　大石　倫治君
農耕地開發及農業用公共施設改良計畫樹立ニ關スル建議案
提出者　西田　鋭吉君
牛淵川改修區域擴張竝工事促進ニ關スル建議案
提出者　小久江美代吉君
宇島港第二期修築ニ關スル建議案
提出者
末次虎太郎君　片山秀太郎君
犀川築城間竝添田油須原間鐵道建設ニ關スル建議案
提出者
末次虎太郎君　片山秀太郎君
日田守實間鐵道建設ニ關スル建議案
提出者
末次虎太郎君　清瀨規矩雄君
特務艦富士保存ニ關スル建議案
提出者
八角　三郎君　熊谷　直太君
田子　一民君
庄川改修促進ニ關スル建議案
提出者
松村　謙三君　島田七郎右衞門君
土倉　宗明君　寺島　權藏君
野村　嘉六君　石坂　豐一君
（以上三月九日提出）
牟岐室戸間鐵道敷設ニ關スル建議案
提出者　田村　秀吉君
那賀川改修工事促進ニ關スル建議案
提出者　田村　秀吉君
德島高知間縣道ヲ國道ニ編入ニ關スル建議案
提出者　田村　秀吉君
建國ノ功臣ヲ祭神トスル神社ノ社格昇進ニ關スル建議案
提出者　松尾　四郎君
鹽賠償價格低減計畫停止竝製鹽業指導助成ニ關スル建議案
提出者
長尾秀太郎君　戸澤民十郎君
金澤樽見間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者
猪野毛利榮君　木村作次郎君
神保　重吉君
久留米ヨリ福島山鹿ヲ經テ熊本ニ至ル鐵道速成ニ關スル建議案
提出者
野田　俊作君　松野　鶴平君
木村　正義君　鶴　惣市君
沖　藏君
社會事業助成法制定ニ關スル建議案
提出者　河野　密君
在外子弟ノ教育ニ關スル建議案
提出者　石坂　繁君
久万川改修ニ關スル建議案
提出者
大石　大君　佐竹　晴記君
恩給金庫貸付業務ニ關スル建議案
提出者　尾崎　重美君
岡崎多治見間鐵道敷設ニ關スル建議案
提出者
服部　英明君　岡本實太郎君
延丁ノ待遇改善ニ關スル建議案
提出者
小久江美代吉君　戸澤民十郎君
大阪和歌山間國道改修速成ニ關スル建議案
提出者
松田竹千代君　小山　谷藏君
木次三次間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
提出者
升田　憲元君　木村小左衞門君
原　夫次郎君　俵　孫一君
櫻內　幸雄君
北海道港灣漁港修築速成ニ關スル建議案
提出者
山本　厚三君　一柳仲次郎君
坂東幸太郎君　澤田　利吉君
手代木隆吉君　岡田　春夫君
大島　寅吉君
北海道鐵道敷設速成ニ關スル建議案
提出者
山本　厚三君　一柳仲次郎君
坂東幸太郎君　澤田　利吉君
手代木隆吉君　岡田　春夫君
大島　寅吉君
舊屯田兵善後處置ニ關スル建議案
提出者
坂東幸太郎君　一柳仲次郎君
岡田　春夫君
耕地政策確立ニ關スル建議案
提出者　小野　寅吉君
德佐高森間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
提出者　窪井　義道君
植林樟腦樹國有ニ關スル建議案
提出者
武知　勇記君　青木　亮貫君

保健省設置ニ關スル建議案
提出者　鏑木忠正君　岡田春夫君　大島寅吉君　齋藤直橘君

三國港改修ニ關スル建議案
提出者　齋藤直橘君　喜多壯一郎君

水量メーター檢査制度改正ニ關スル建議案
提出者　中崎俊秀君　横山金太郎君

落合稲渡間鐵道敷設ニ關スル建議案
提出者　片山一男君

多摩秩父八ケ岳國立公園設定ニ關スル建議案
提出者　八並武治君　宮澤胤勇君　田島勝太郎君　斯波貞吉君

阿蘇國立公園地域ニ高千穂編入ニ關スル建議案
提出者　田尻藤四郎君　三善信房君

川南村ニ區裁判所出張所設置ニ關スル建議案
提出者　田尻藤四郎君

宇島甘木間國營自動車運轉ニ關スル建議案
提出者　末次虎太郎君

蒲生田岬ニ國立燈臺建設ニ關スル建議案
提出者　紅露昭君

海部川改修ニ關スル建議案
提出者　紅露昭君

日和佐川改修ニ關スル建議案
提出者　紅露昭君

徳島市ニ高等水産學校設置ニ關スル建議案
提出者　紅露昭君

徳島桑野間鐵道ガソリンカー運轉ニ關スル建議案
提出者　紅露昭君

二軒屋及立江ヲ起點トシ勝浦山分ニ至ル省營自動車運輸開始ニ關スル建議案
提出者　紅露昭君

國道二十一號線中改良工事速成ニ關スル建議案
提出者　紅露昭君

伊野新居濱間鐵道建設ニ關スル建議案
提出者　佐竹晴記君

國有林野處分法制定ニ關スル建議案
提出者　氏家清君　高田耘平君　内ケ崎作三郎君　奥山龜藏君　信太儀右衛門君　工藤鐵男君　鶴見祐輔君

濁酒釀造許可ニ關スル建議案
提出者　氏家清君

國有林野整備ニ關スル建議案
提出者　氏家清君　高田耘平君　内ケ崎作三郎君　奥山龜藏君　鶴見祐輔君　工藤鐵男君　信太儀右衛門君

浪江川俣間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者　氏家清君　粟山博君

除隊兵士ニ軍服給與ニ關スル建議案
提出者　氏家清君　内ケ崎作三郎君

巡査任用資格ノ改正ニ關スル建議案
提出者　中村又一君

長石硅石等ヲ鑛山法ニ編入ニ關スル建議案
提出者　氏家清君　奥山龜藏君

地方産物ノ鐵道運賃輕減ニ關スル建議案
提出者　氏家清君　比佐昌平君

船引浪江間鐵道敷設ニ關スル建議案
提出者　氏家清君　湊季松君　粟山博君　仲西三良君

新宮若櫻間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
提出者　小畑虎之助君　田中武雄君　古河和一郎君　清瀬一郎君

地方自治團體議員ノ待遇ニ關スル建議案
提出者　小畑虎之助君　池本甚四郎君　飯田助夫君　大門恒作君　田中源君　中野治介君　佐々木家壽治君　宮本雄一郎君　盛島明長君

國分川改修ニ關スル建議案
提出者　大石大君　佐竹晴記君

裁判所書記竝雇ノ待遇改善ニ關スル建議案
提出者　小久江美代吉君　松井郡治君　服部英明君　岡本實太郎君

國有林野拂下ニ關スル建議案
提出者　小林三郎君

（以上三月十日提出）

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

鹽專賣ニ關スル質問主意書
提出者　小西和君

（以上三月九日提出）

華族制度改正特權階級權益制限ニ關スル質問主意書
提出者　松本治一郎君

（以上三月十日提出）

一去月九日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

輸出補償法中改正法律案（政府提出）委員
辭任山口忠五郎君　補闕宮本雄一郎君

絲價安定施設法案（政府提出）外一件委員
辭任小高長三郎君　補闕篠原義政君

一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案（政府提出）外二件委員
辭任木村吉太郎君　補闕服部教一君
辭任奥山龜藏君　補闕鈴木康太郎君

鐵道敷設法中改正法律案（政府提出）委員
辭任三善信房君　補闕天長正守君
辭任尾崎天風君　補闕東條貞君

一昨十日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第一部選出請願委員　蔭山貞吉君

一昨十日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

郵便法中改正法律案（政府提出）委員
辭任宮澤清作君　補闕志賀和多利君

絲價安定施設法案（政府提出）外一件委員
辭任小山倉之助君　補闕日比野民平君

農地法案（政府提出）委員
辭任陣軍吉君　補闕林路一君

議院法中改正法律案（政府提出）委員
辭任井阪豐光君　補闕藏園三四郎君

臨時租税増徴法案（政府提出）外五件委員
辭任池本甚四郎君　補闕村岡吾一君

○議長（富田幸次郎君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、議事日程第一乃至第三ノ三案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キ、前會ノ議事ヲ繼續致シマス――山口久吉君

第一　國民健康保險法案（政府提出）　第一讀會（前會ノ續）

第二　保健所法案（政府提出）　第一讀會（前會ノ續）

第三　結核豫防法中改正法律案（政府提出）　第一讀會（前會ノ續）

（山口久吉君登壇）

○山口久吉君　私ハ一昨日ノ質問ヲ繼續致シマス、總理大臣ニ對スル質問ハ終リマシテ、内務大臣ニ對シテノ質問ヲ中途デ止メテ居リマスカラ、内務大臣ニ對シテ續行致シマス、併ナガラ質問ノ前ニ、大體内務大臣ニ對シテ、ドウ云フ點ヲ御尋シツヽアッタカト云フ概略ヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス、全國五万ノ開業醫ガ醫師ノ團體契約權ヲ認メヨ、第九條ノ削除ヲ熱烈ニ要求シテ居ルガ、由テ來タ此原因ニ對シテ、如何ナル所見ヲ持タレテ居ルカト云フ點ニ付テ、私ハ色々ノ方面カラ御尋シタイト思フノデアリマス、本案ヲ此儘實施スルヤウナ場合ハ、現行ノ健康保險制度ヨリ、更ニ低額ノ醫療ヲ強要セラルヽヤウナ懸念ガアルノデハナイカ、多分ニ斯ウ云フ點ヲ含マレテ居ルト云フ、此點ニ付キマシテハ、政府ガ過去十一箇年ニ、健康保險ノ事業費ニ付テ、昭和九年マデノ九箇年ノ統計ニ依ッテ示ス所、徴收シタ所ノ保險料竝ニ國庫負擔金ノ實收入三億二千五十餘万圓、之ヲ實際支出シタモノヲ控除スル場合ニ、恐ラク五千万圓位ノ剩餘金ガ殘ッテ居ル筈デアリマス、此金ヲ一體ドウ云フ風ニ處分シヨウト考ヘテ居ラレルノカ、何故蓄ヘテ居ラレルノカ、何故斯ウ云フ所ノ疑問ガアルカト申シマスト、半面ニ於テ低額ナル所ノ報酬デ醫療ヲ行ハセテ居リナガラ、斯ウシタ莫大ナ金ガ殘ッテ居ルデハナイカト云フ此疑問デアリマス、現在治療報酬ノ低下ト云フモノハ、健康保險ノ十年間ノ經過ガハッキリ物語ッテ居ルノデアリマス、政府ハ醫師ニ對シテ不當ノ廉價診療ヲ正面カラ強要シテ居リマス、診療組合ヲ奬勵シテ居ッタリ、之ヲ助長シテ居リマシテ、非醫者ノ安價治療機關ト云フモノノ開設ヲ喜ビ迎ヘテ居ルヤウナ傾向ガアリ、更ニ官公立、半官的大病院ノ營利輕費診療ト云フモノモ容認シテ居ル、側面カラ民間ノ醫業ヲシテ已ムナク低減セザルヲ得ザラシメルガ如キ政策ヲ政府ノ執ッテ居ルコトハ、内務當局ハ能ク御承知ノコトト思フノデアリマス、斯ル情勢ノ下ニ於テ本案ガ實施セラレル曉ハ、國民健康保險ノ範圍ハ、將來國民ノ八割マデ被保險者トナルノデアッテ、治療費ハ限定セラレテ居リナガラ、診療ノ方ハ擴大セラレテ、ドウシテモ開業醫トシテハ、良心ニ恥ザル治療ヲ爲スコトガ出來ナクナルト思フノデアリマス、已ムヲ得ズ玆ニ粗診粗療ト云フコトニナル、斯ウ云フ虞ガ多分ニアル、ソレガ國民ノ健康ニ及ボス不利益ハ甚大ナルモノト思ハザルヲ得ナイ、此見地ニ立チマシテ、醫師會ノ團體契約權ノ確保ハ、即チ醫師ニ對シテ監督權竝ニ統制權ノ強化トナッテ、其弊害ヲ防グコトガ出來ルト思フノデアリマス、第九條ノ削除ハ、端的ニ申スナラバ、醫師會ノ統制權ヲ完全ナラシメル上ニ必要デアリマス、同時ニ醫業ノ獨立性ノ破壞ヲ防止スル上ニ於テ、重大性ヲ有スルモノト考ヘル、現在醫師ノ身分權ヲ支配シテ居ルモノハ内務大臣デアリマス、内務省トシテハ事務上ノ所管ヲ衞生局ガヤッテ居ル、其他ニ身分權ニ關與シ得ルモノハ醫師會ト中央衞生會デアリマス、故ニ此醫師會ハ會員タル醫師ニ對スル身分權ヲ有シ、同時ニ處分權モ發生シテ居リマス、處分權ト致シマシテハ、内務大臣ハ業務ノ停止、免許ノ取消ノ二ツガアリマス、醫師會デハ戒告、過怠金、免許取消等ノ處分申請權ガアリマス、倘ホ業務ニ關スル制限ハ、種々ノ法規デ制限ヲ設ケラレテ居リマスガ、其處分ト致シマシテハ、體刑ダノ罰金刑或ハ科料等ノ制度ガアリマス、斯ウシタ行政上ノ仕組ノ下ニ於キマシテ、開業ノ醫師ハ全部醫師會員デアルカラ、醫者ニ對シテ其直接ノ監督ハ醫師會ニナッテ居リマス、醫師會ノ最高監督ハ内務大臣ニナッテ居ルノデアリマス、故ニ此醫師會ハ法令ニ依ッテ内務大臣カラ醫事衞生ノ改良發達ニ關シ委ネラレタル監督權ヲ有スルモノデ、其監督權ノ發動スル所、團體權ノ確立セラルヽコトハ必然デアリマス、此最高監督者デアル所ノ内務大臣ハ、自己ノ手足トナッテ醫者ヲ監督スル醫師會ノ統一ガ能ク取レマシテ、鞏固ノ存在トナッテ、其職能ヲ發揮セシムルコトヲ望ムベキコトハ、私ハ當然デアラウト思フノデアリマス、斯クシテコソ醫師會ニ對シ監督指導ガ十分ニ私ハ行ハレルダラウト思フ、隨テ其醫師會ノ使命ヲ十分ニ發揮サセル爲ニ障碍トナルヤウナコトハ除去スルガ、必然内務大臣ノ責務デアルト思フノデアリマス、然ルニ其團體力ヲ弱體化シ、更ニ破壞セントスル理由ハ、一體何處ニ在リヤト云フコトヲ御尋シタイ、昭和十年四月社會局長官カラ日本醫師會長宛ノ通達ニ依リマスルト、

醫師、齒科醫或ハ藥劑師、寧藥業者、產婆等ノ諸團體ニ協力致シマシテ、完璧ヲ期スル法案ノ創定ヲシテハ如何ナルモノデアルカ、此點ニ付テノ御考ヲ明確ニ御伺シタイノデアリマス

（國務大臣河原田稼吉君登壇）

○國務大臣（河原田稼吉君）　山口サンカラノ御尋ハ、一昨日丁度途中デ切レマシタノデ、ソレ等ニ關聯シテ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一、一昨日從來實行セラレテ居リマスル健康保險ノ事業ニ於テ、可ナリノ金ガ殘ッテ居ルノデハナイカ、是ハ斯ウ云フ風ニ殘スコトハ、即チ低價診療ヲ成ベク助長シテ行ク其一例デアルガ、夥シイ金ガ殘ッテ居ルデヤナイカ、五千万圓以上ノ金ガ殘ッテ居ルデヤナイカ、是ハドウ云フ譯ダ、斯ウ云フ御諚ガアリマシタヤウデアリマス、取敢ヘズ其點ニ付テ先ニ御說明申上ゲテ置カウト思ヒマス、健康保險ノ事業ニ付キマシテハ、御承知ノ通リ國、即チ政府ガ管理致シテ居リマスル保險ノ仕事ト、組合ノ自治ニ委シテアル仕事ノ二通リアリマスガ、組合ノ方ノ自治ニ委シテアリマス仕事ニ付キマシテハ、大體ニ於テ不時ニ如何ナル事ガ起ルカ分ラヌノデアリマスカラ、大體一年分位ノ醫療費ト云フモノヲ積立テテ置ケト云フ規定ガアリマス、政府管掌ノ方ニ於キマシテモ、ヤハリ同樣ノ趣旨ニ基イテ、一年分位ノ醫療費ト云フモノヲ積立テルヤウナ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、國家ガ社會政策ノ見地ノ上カラモ、先ヅ第一ニ考ヘナケレバナラヌ問題ト思フノデアリマス、私ガ度々申上ゲマスルヤウニ、世ノ中ノ仕事ハ、成ベク摩擦ヲ少クシテヤッテ行クコトハ必要デアリマスケレドモ、併シ一面ニ於キマシテ、或ル重大ナル事項ガアリマスルナラバ、ヤハリ之ヲ國家トシテハ實行スルト云フコトガ必要デアリマス、主タル問題ハ、團體契約ヲ公認スルカ、ソレカラ第九條ノ點デアリマスガ、是亦私ガ度度申上ゲタヤウニ、醫師ト云フモノハ、從來法規ノ下ニ重要ナル權利ヲ與ヘラレタ、強力ナル團體ヲ作ッテ居ルノデアリマス、是レ以上ニ一面ニ於キマシテ、更ニ所謂團體契約ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ、法制上ノ根據ヲ與ヘルコトハ、是ハ國家トシテ考ヘテ如何ナモノデアラウカト云フコトヲ、特ニ愼重ニ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、更ニ度々私ガ申上ゲマスルヤウニ、醫者ト國民健康保險組合トノ間ニ於キマシテハ、是ハ或ル程度マデ自由ニ委セル方ガ宜イ、組合員ヲシテ成ベク廣イ範圍内ニ於ケル醫療ノ機會ヲ得セシムルト云コトハ、固ヨリ必要デアリマスルガ、其根本方針ノ下ニ於キマシテモ、中ニハ組合ガ十分發達シテ居ル場合ニ於テ、或ハ完全ナル病院ヲ持チ、ソレ〴〵分科ノ醫者ヲ雇傭致シテ居リマスルヤウナ場合ニ於キマシテハ、其自治ニ委シテ少シモ差支ナイ、強ヒテサウ云フコトヲ禁止スル必要ハ少シモナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、

組合ノ契約ニ付テ醫師會ト契約スルモ、將又工場嘱託醫デモ、附近ノ醫師デモ、組合ノ自由意思デアルカラ、ソレヲ妨ゲヌヤウニ云々、此起案理由ニ曰ク、將來國民健康保險ノ布カレタ際ニ、醫師會ノ結束ガ堂固デアル場合ニハ、障碍トナルト云ヤウナ起案理由ガ附サレテ居ルノハ、取モ直サズ結束力即チ團體制ヲ破壞セントスル意思ガアルコトヲ、窺ヒ知ルコトガ出來ルノデアリマス

最後ニ醫事衛生ノ改良發達ノ爲ニ、醫師ノ指導監督ヲナサル自治體ヲ醫師會以外ニ認メントスル意思アリヤ否ヤ、即チ診療利用組合、國民保健組合、此二ツノモノハ醫師ノ指導監督ハ如何ニスルカ、將來醫師會ニ委ネズシテ、又ハ醫師會ノ手カラ奪ハントスル理由ハ那邊ニ在リヤ、即チ指導權監督權ニハ必然處分權ト云フモノガ附隨シテ居ル爲ニ、完全ト效果ヲ發揮シ得ルモノデアリマス、隨テ此處分權ヲ奪ッタ指導權ト云フモノハ、恰モ無力ナ、空念佛ノヤウナモノト思ハレル、サウシタ理由ガ、團體契約權ノ確保、即チ醫師ノ監督權確保ヲ望ム、第九條ノ削除ハ醫師會ノ統制ヲ完全ニセンガ爲メナリトノ主張ガ、熱烈ナル要求トシテ現ハレ來ッタノデアリマス、內務大臣ハ之ニ對シテ如何ナル所見ヲ有スルヤ、宜シク內務大臣ハ日本國民全體ノ福祉增進ト國運發展ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲メ、更ニ本案ヲ出シ直シテ中央衛生會ニ諮問シ、或ハ保健衛生ノ前衛トシテ活動シテ居ル所ノ全國ノ醫師ヲ多クノ場合ニ於キマシテ、國民健康保險組合法ヲ施行致シマシテモ、直チニサウ云フ風ナ完全ナル組合ガ、澤山出來ルト云フ譯ニハ行カヌノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ、ソレ〴〵組合員ヲシテ、成ベク廣キ範圍ニ於ケル醫者ニ掛ル自由ヲ得セシムルコトガ必要デアリマスカラ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ、多クハ團體契約ト云フモノガ結ビ難イデアラウ、又政府ト致シマシテモ、右申シタヤウナ組合員ヲシテ、或ル特定ノ醫者バカリデナク、成ベク廣イ範圍ニ於ケル醫師ニ掛リ得ルヤウニ爲サシムベク、省令等ヲ規定スル積リデアリマスルカラ、多クノ場合ニ於テハ、サウ云フ風ナ結果ニ自然ナルデアラウト思ヒマスガ、併シ只今申上ゲマシタヤウニ、之ヲ必ズ醫師團體ト云フモノト、團體契約ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ規定致シマスルコトハ、實際ニ於テモ適當デナシ、又一面ニ於キマシテ、非常ニ强イ權力ヲ持ッテ居リマスル醫師團體、其外ニ今日ニ於キマシテハ、團體契約ヲ强制スルヤウナ規定ハナイノデアリマス、斯ウ云フ風ナ醫師ノ團體ニ限ッテ、團體契約ト云フモノヲ法律上ノ根據トシテ與ヘマスト云フコトハ、今日適當デナイト斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

第九條ノ問題ニ付キマシテハ、是亦私ガ度々申上ゲマシタヤウニ、現在アリマスモノニ付キマシテ申シテモ、相當ナル成績ヲ擧ゲ、相當ナル設備ヲ持ッテ居ッテ、而モ立派ニ經營シテ居ルヤウナモノニ付キマシテハ、組合員ハ全ク同ジデアッテ、而モ全ク別箇ノ組合ヲ作ラセルト云フコトハ、二重ノ手續デアリ、且又現在色々ノ設備ヲ持ッテ居ル、或ハ病院トカ、或ハ其外ノ設備ヲ持ッテ居リマス場合ニ、別箇ニ作ッテ、其財產等ヲ又別ノ國民健康保險組合ノ方ニ委讓スルヤウナ手續ヲヤリ、而モソレガ組合員ガ遙フ節スルト云フコトヲ極力仰シヤッテ居リマスルガ、其意ヲ事實ノ上ニ現ハス、其實意トシテハッキリ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラ詳細ニ亙リマシテハ委員會ニ於テ又質問致シマス

（國務大臣河原田稼吉君登壇）

○國務大臣（河原田稼吉君）　只今御答漏ガアリマシテ甚ダ恐縮デアリマシタ、第一ノ今回ノ法案ト云フモノガ、社會政策以外ニ於テ保健國策ト云フモノヲ十分ニ含ンデ居ルノデアルカラ、サウ云フコトトスレバ、何故ニ醫師會トカ、或ハ中央衛生會等ニ諮問ヲシナカッタカト云フ御尋ノヤウニ拜承致シマシタ、是ハ只今御述ニナリマシタヤウニ、社會政策ト保健國策、困窮ナル人ニ對シテ國家ノ恩惠ヲ與ヘシムルト云フコトト、更ニ國家全體ノ考ヘ方トシテ、九千万國民ノ健康ヲ增進セシムル、體位ヲ增進セシムルト云フ趣旨ニ出デテ居ルコトハ申スマデモアリマセヌ、此問題ニ付キマシテハ、過日モ御答致シマシタヤウニ、社會保險調査會ト云フ、權威者ヲ網羅シタ一ツノ委員會ガアリマシテ、是ニハ日本藥劑師會ノ會長、日本齒科醫師會ノ會長、サウ云フ人々モ網羅シテ居ルノデアリマス、唯第九條ノ點ハ、先般來私ガ申上ゲマシタヤウニ、初メ社會保險調査會ニ掛ケマシタ後ニ入ッタモノデアリマシテ、此第九條ハ寧ロ枝葉ト考ヘルノデアリマスガ、此法案自體ト云フモノハ、サウ云フ風ナ權威者ノ議ニ掛ケテ、全體ノ贊成ヲ得テ立案セラレタモノデアリマス

ソレカラ第二ハ醫療國策、醫療國營、更ニ進ンデ衛生省若クハ保健省等ヲ作ル意思アリヤ否ヤト云フ風ニ伺ヒマシタ、此醫療國營ト云フ問題ハ、非常ニ重大ナル問題デアリマシテ、直チニ實行スルト云フ御答辯ヲ致ス譯ニハ行カヌト思ヒマス、現ニ先日來御述ニナリマシタヤウニ、日本ニ於ケル開業醫ノ功績、開業醫ト云フモノハ、日本ノ國民ノ實生活ニ能ク合ッテ居ルト云フヤウナ點カラ考ヘマシテモ、直チニ醫療國營ト云フコトニ手ヲ染メルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、十分愼重ナル考慮ヲ重ネナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、衛生省若クハ保健省ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ行政機構全體ニ關スル問題デアリマシテ、各種ノ行政、サウ云フモノヲ綜合考究致シテ決定致サナケレバナラヌノデアリマスカラ、只今直チニ其何レニスルヤヲ御答スル時期ニ達シテ居ラヌノデアリマス

○議長（富田幸次郎君）　山口君、モウ宜シイデスカ——土屋清三郎君

（土屋清三郎君登壇）

○土屋清三郎君　吾々ノ同胞デアル日本國

民ヲシテ、一人タリトモ餓エテ食ヲ得ザル者ナク、一人タリトモ病ンデ醫療ヲ受クルコトノ出來ナイ者ノナイヤウニショウト云フコトハ、吾々ガ議會人トシテ多年ノ希望デアリマシタ、只今玆ニ上程サレマシタ國民健康保險法案ハ、政府ノ說明ニ依リマスルト云フト、吾々ノ多年希望シテ居ッタ所ノ、國民全體ニ對シテ醫療ヲ普及シヨウト云フコトデアリマスルノデ、吾々ハ最モ愼重ニ案ノ內容ヲ檢討シテ見タノデアリマス、ノミナラズ一昨日來吾々ノ同僚諸君ノ質問、之ニ對スル政府ノ答辯ヲモ承リマシタガ、承レバ承ル程吾々ハ此案ニ對シテ重大ナル疑義ヲ懷クノデアリマス、併シ私ハ今日其一々ヲ擧ゲ玆ニ質問スルコトハ致シマセヌ、其根本ニ對シテノミ質スノデアリマスルカラ、其意味ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、醫療普及ノ眼目ヲ何處ニ置クカト云ヘバ、國民ヲシテ何人タリトモ自由ニ醫師ノ診察ヲ受クルコトガ出來、何人タリトモ醫療ヲ受クル均等ノ機會ヲ與ヘルコトデアリマス、然ラバ其方法ニハドウ云フ方法ガアルカ、今日マデ調ベタ所ニ依リマスレバ、大體ニ於テ之ヲ三ツニ分ケルコトガ出來ヨウト思ヒマス、一ツハ日本古來ノ開業醫ト云フ制度ヲ基礎トシテ、之ヲ善用スルコトデアリマス、今一ツハ保險ノ方法デ、危險ヲ多數國民ガ分擔スル、其方法ヲ基礎トスルノデアリマス、更ニ今一ツハ公共團體又ハ國ヲ主體トシテ醫療ヲ普及スル所ノ、所謂公營デアリマス、此案ハ只今現レマシタ此案ハ、其第二ノ保險ヲ基礎トスル方法ニ據ラレタヤウデアリマスルガ、現在政府ガヤッテ居ル所ノ醫療方法ヲ見マスルト云フト、社會局デヤッテ居ルモノノ中ニモ、保險制度ニ據ルモノモアレバ、或ハ救護法ノ如キモノガアルト、又只今現レテ居ル結核豫防法ノ如ク、公營ノ方法ニ據ルモノモアリマス、或ハ又遞信省ノ簡易生命保險ノヤウナヤリ方モアルノデアリマス、政府ハ此方法ヲ採用スルニ、何ヲ眼目トシテヤッタノデアルカ、此方法ガ國民大衆ニ向ッテ醫療ヲ普及スルニ、最モ善イ方法ナリト認メラレタル所ノ、其根據ハ何處ニアルカ、之ヲ第一ニ內務大臣カラ御答辯ヲ戴キタイ

ソレカラ第二ニハ、此國民保險法案自體デアリマス、此案ガ議場ニ現ルヽマデニ、幾度カ政府ガ新聞其他ニ發表シタ所ニ依リ、又一昨日來說明サレタ所ニ依リマスルト云フト、名前ハ國民保險法デアリマスルケレドモ、其實ハ町村ヲ主體トスル所ノ町村醫療組合デアッテ、之ニ保險ノ考ヲ注ギ込ンダモノデアル、隨テ之ヲ國民保險法ト言フノハ當ヲ得ナイト思フノデアリマス、ソレカラ是モ政府ノ今マデ發表サレタ所デアリマスルガ、此制度ニ依リマスレバ、全國ニ毎年五百乃至六百位ノ醫療組合ヲ町村ニ設ケサセ、サウシテ二十年ノ後ニ全國ニ普及ショウト云フノダサウデアリマス、或ハ最近ニ於テハ本年醫療組合ガ出來テ、其土地ノ者ハ其恩惠ヲ受ケマセウガ、隣村ニ於テハ十年、二十年後デナケレバ、其恩惠ニ浴スルコトガ出來ナイ、是デハ全面的ニ醫療ヲ普及サセヨウトスル趣旨ニ副ハナイノデハナイカ、ソレカラ此組合ヲ組織スルノハ自由デルカ、加入モ隨テ任意デアル、ソレデアルト體ノ弱イ者ハ先ヅ加入シテ、健康ナル者ハ加入ヲ避ケルノデハナイカ、ソレバカリデハナク、一旦或ル病氣ガ流行ッタ場合ニハ、組合ガ町村ト云フ小サナ區域デアルカラシテ、其危險ヲ組合員全體ガ分擔スルコトガ出來ナクナッテ、忽チニシテ組合ハ經濟的ニ破綻ヲ來スノデハナイカ、卽チ保險ノ趣旨ニ適ハザルモノデアルト思フガドウデアルカ、其上ニ此醫療ヲ土地ノ開業醫ニ委託スル、總テソレハ組合ノ任意デアルト云フコトデアルガ、然ラバ如何ニシテ其醫療ノ內容ヲ監督スルカ、是等ノコトヲ考ヘテ見マスルト云フト、此國民保險制度ト云フモノハ、謂ハバ二十年ノ歲月ヲ要シテ、バラ〳〵ニ全國ノ各町村ニ、ボツリ〳〵組合ヲ組織サセテ、サウシテ其土地ノ開業醫ノ協力ヲ得テ多年ノ問題ヲ解決スルト云フコトデアッテ、國民全體ニ對シテ醫療ノ機會ヲ與ヘ、由テ以テ此趣旨ニ副ハナイノデハナイカ、今日世界各國ハ醫療普及ノ方法トシテ、段々此國民保險制度ヲ採ッテ居リマス、併ナガラ日本ノヤウナ斯ウ云フ制度ヲ採ッテ居ルモノヘ、僅ニ世界ノ小國デアル所ノ丁抹ダケガ、古クカラ自然的ニ町村ニ斯ウ云フ組合ガ發達シ、ソレガ今日全國的ニ形ヲ成シテ居ルト云フダケデアッテ、ソレ以外ノ國ニ於テハ斯樣ナ制度ヲ採ッテ居ル處ハアリマセス、ソレハ何故デアルカト言ヘバ、被保險者ニ全面的ニ均等ノ機會ヲ與ヘルコトガ出來ズ、醫師ノ監督ガ出來ナイト云フ點ニ、大ナル缺陷ヲ存シテ居ルト思フノデアリマス、況ヤ保險其ノモノハ一人ノ危險ヲ出來ルダケ多數ニ分擔スルト云フ趣意デアルニ拘ラズ、其危險ノ分擔ハ此制度デハ到底出來ナイノデアリマス、左樣ナ色々ナ缺陷ガアルニ拘ラズ、世界ニ於テ最モ古クカラ自然的ニ出來テ來タ小國ノ例ヲ捉ヘテ、之ヲ日本ニ採用シタノデハ、今日一日モ早ク醫療ヲ普及スル制度ガ急ヲ要スルト云フ國論ニ副ハナイデハナイカ、之ヲ採用シタル根據ヲ內務大臣ニ承リタイ

ソレカラ次ニ是ハ內務大臣ト遞信大臣ニ承リタイ、遞信省ニハ御承知ノ通リ簡易生命保險局ガアッテ、今日ハ國民ノ殆ド半分ヲ被保險者ニシテ居ッテ、サウシテ其被保險者ノ健康保持增進ノ爲ニ、色々衞生ノ施設ヲ致シテ居ル、全國ニ澤山ナ健康相談所ヲ置イテ居ル、其處ニハ應急ノ醫療設備モヤッテ居ルヤウニ承ッテ居リマス、隨テ遞信省簡易保險局ニ於テハ、單ニ生命保險バカリデハイケナイ、進ンデ健康保險マデモヤラナケレバ國民大衆ガ救ハレナイト云フノデ、先年來此制度ニ付テ可ナリノ研究ヲ遂ゲ、其意見ハ內務省ノ社會局ノ案ト前後シテ發表セラレテ居リマス、ソレニ依リマスト、全國ヲ一ツノ區域トシテ、既成ノ色々ノ公ノ施設ニ依ッテ救ハレテ居ル者ヲ除イタ國民ノ大部分ヲ、此國營ノ健康保險制度ニ依ッテ醫療ヲ受ケサセヨウトシテ居ッタノデアリマス、現ニ昨年政府ニ於テ內閣調査局ニヘ、一方ニハ社會局ノ國民健康保險制度案ガ問題トサレ、他ノ一方ニハ遞信省ノ簡易生命保險局デ作ッタ所ノ案ガ問題トサレテ、調査局ニ於テハ此方ガドウカ宜クハナイカト云フノデ、案議中ニ、內閣ガ倒レタト云フコトヲ承ッテ居ルノデアリマス、隨テ此案ハ今度ノ內閣カラ出タ案デアリマスルケレドモ、マダ內務大臣モ十分ニ檢討サレテ居ラナイデハナイカ、遞信大臣モ其所見ヲ十分ニ述ベテ居ラレナイデハナイカ、恐ラク二人ガ此處デ額ヲ合セタナラバ、必ズ矛盾シタ所ノ議論ヲスルノデハナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、遞信大臣ハ此內務省ノ不徹底ナル所ノ國民健康保險法案提案ニ對シテ、如何ナル所見ヲ持タレテ居ルノデアルカ、此點ニ付テ遞信大臣ノ所見ヲ承リタイ

ソレカラ次ニ本案ヲ玆ニ出スヤウニナッテカラノ內務當局ノ醫師會ニ對スル態度デアル、內務大臣ハ日本醫師會ノ總會毎ニ醫師會ニ臨マレテ、サウシテ其式辭ノ中ニ、我國ノ醫療ハ日本古來ノ開業醫制度ヲ基礎トシテ改善サレテ行カナケレバナラナイト云フコトヲ毎回述ベテ居ル、殊ニ昨年十一月ノ總會デハ、潮內務大臣ハ特ニ其式辭ノ中ニ、近ク國民健康保險法ヲ作ル積リデアル、其實施ニ對シテハ特ニ醫師會ノ協力ニ俟タナケレバナラヌト云フコトヲ述ベラレテ居リ、其上ニ此案ガ先年來醫師會ニ綱領ヲ示サレタ場合モ、或ハ社會保險調査會ニ掛ケラレタル場合モ、產業組合トノ關係ニ付テハ一言モ及バレテ居ラナイノミナラズ其社會保險調査會ニ於テ調査委員ノ一部カラ、產業組合ニ關スル意見ノ出タ場合ニ、社會局當局ハ、國民保險組合ト產業組合トヲ云フモノハ、全然其根柢ヲ異ニスルモノデアッテ、之ヲ一緒ニスルト云フコトハ出來ナイ、其意味カラ此產業組合ヲ醫療組合ニ代行スルト云フコトニ付テ、斷然拒絕シテ居ルバカリデナク、當時事務官デアッテ、其後地方ノ警察部長ニ行カレタ人ハ、態ト其反駁文ヲ非公式ニ發表セラレテ居ルノデアル、ソレマデニ行ッタ所ノ內務大臣ガ、今度此案ヲ提出スルニ際シテ、長イ間相談ヲシテ手ヲ握ッテ參ッタ所ノ醫師會ヲ袖ニシテ、サウシテ反對ヲシテ居ッタ所ノ產業組合ト提携シテヤラウト云フヤウナ改正案ヲ出サレタ、其心境ガ僅ノ間ニ變化シタ所ノ根據ハ何處ニアルカ（拍手）世間ハ之ヲ以テ政治的ノ眞操ノナイモノデアルト、斯ウ言ッテ居ルノデアル、此點ニ付テ眞摯ナル御答辯ヲ承リタイ

第四ニ承リタイノハ、今日我國ノ衞生行政ニ關スル所ノ機構ハ、極メテ複雜シテ居ッテ、殆ド收拾スルコトノ出來ナイ狀態デアル、例ヘバ此國民保險制度案ガ社會局カラ出來マシタ場合ニ、衞生局ハ其所見ヲ異ニシテ、省ニ於テ可ナリ採メタコトハ世間周知ノ事實デアル、又遞信省ノ簡易保險局ガ是ト反對ノ意見ヲ發表サレテ、社會局ト遞信省保險局トノ間ニ可ナリノ縺レガアッタコトモ、亦天下周知ノ事實デアル、斯樣ナ不合理ナ今日ノ行政組織、是デ國民全體ニ對スル醫療普及ノ制度ヲ實施スルト云フコトハ困難デハナイカ、況ヤ今日醫療機關ノ分布狀態ヲ觀マシテモ、都會ニハ非常ニ普及シテ居ッテ、地方ニハ非常ニ少イノデアル、此分布ヲドウスルカ、又今日ノ如ク社會生活ガ、文明生活ガ人類ノ體質ヲ段々退化シテ行ク狀態ニ於テハ、之ヲ如何ニ豫防スルカ、或ハ國民ノ體質ガ段々退化シテ、榮養ガ段々衰ヘテ行ク云フ現狀ニ對シテ、如何ナル救濟方法ヲ執ルカ、國民ノ衞生知識ガ非常ニ幼稚デアルガ、此狀況ヲドウスルカ、醫療ヲ防ゲル所ノ資藥ノ廣告ガ全面的ニ各新聞ニ現レテ、是ガ爲ニ國民ノ神經ハ非常ニ過敏ニナッテ、資藥ニ對シテ國民ガ今日支拂ッ所ノ金額ハ、年額殆ド三億ニ垂ントシテ居ルト云フコトハ、是亦天下周知ノ事實デアル、甚シキニ至ッテ最近是等ノ資藥業者ハ小學校ニマデ喰入ッテ、小學時代カラ藥ヲ飲マセヨウトスルヤウナ宣傳マデ段々ヤッテ居ルノデアル、斯樣ニ一方ニハ誤レル醫療ニ關スル見解ガ、營利業者ニ依ッテ極メテ惡性ニ宣傳サレテ居ルノヲ放任シテ置イテ、他面健全ナル衞生知識ヲ國民ニ得セシメルコトニハ全然無關心デアル、是等ノ狀態ヲ十分ニ吟味シテ、國民ノ衞生ヲドウスルカ、國民ノ醫療ヲドウスルカ、ソレニハ先ヅ行政機構ヲ改革シナケレバナラヌ、醫師ノ教育ヲ改メナケレバナラヌ、其分布ヲ適當ニシナケレバナラヌ、醫療ヲ妨グル所ノ一切ノモノニ對シテ、政府ノ權力ヲ以テ嚴重ナル筈錢ヲ加ヘナケレバナラヌ、斯ウシタ後ニ初メテ本當ノ醫療國策ヲ樹テラレナケレバナラヌノデアル、現內閣ノ聲明ト副ハナイデハナイカ、廣義國防ノ意味ニ於テモ、是ハ全然考ヘ直シ、行政機構ヲ一新シテ國策ヲ樹立スル、其一ツノ中ニ此醫療普及ノ問題ハ決定サレナケレバナラナイト思フノデアリマス、會期切迫シタル今日ニ於テ、政府ガ成立匆々內容ニ對シテ十分ナル檢討モナク、政府各省ノ間ニ可ナリノ摩擦ノアル所ノ案ヲ玆ニ持出シテ、議會ニ於テノ摩擦ヲ憂慮スルガ如キハ、政府自ラ己レヲ知ラザルノ甚シキモノナリト私ハ斷ズルノデアル、以上ノ點ニ付テ內務大臣竝ニ遞信大臣ノ確ッカリシタ御答辯

ヲ要求シマス(拍手)

(國務大臣河原田稼吉君登壇)

○國務大臣(河原田稼吉君)　土屋サンカラノ御尋ヲ要約シテ見マスト、第一ハ元來健康衞生ノ問題ハ、ソレ〳〵社會保險的ニヤル方法モアリ、又醫者ノ開業醫制度ト云フヤウナコトデ行ク方法モアルガ、一體ドッチヲ採ルカ、斯ウ云フ御尋ノヤウニ拜承致シマシタ、是ハ先日來私ガ度々申上ゲマスヤウニ、必シモ一ツノ主義ノ下ニ方策ヲ樹テテ、ソレニ膠著シテ居ル必要ハナイノデアリマシテ、如何ニスレバ氣ノ毒ナ人々ニ對シテ醫療ノ機會ヲ與ヘ得ルカ、斯ウ云フ所デアルト思フノデアリマス、而シテ今回提案致シマシタ國民健康保險制度ト云フモノハ、所謂純然タル極貧者救濟ト云フ意味デハ必シモナイ、所謂極貧者ニ對シマシテハ救護法其他ノ施設ニ依リ、大體ニ於キマシテ、所謂中產以下ノ農漁山村ノ住民竝ニ中小商工業ニ從事シテ居ルヤウナ人、若干ノ收入ハアルケレドモ、病氣ニナッタ時ニハ非常ナ悲慘ナ思ヒヲシナケレバナラナイト云フ人ニ、平素カラ若干ヅヽ積立テ、必シモ國家ノ慈惠デハナイ、自分ノ力モ其中ニ入ッテ居ルノダト云フ立前デ行クノガ、今日國民ノ自力更生ノ上カラモ必要デアル、斯ウ云フ風ナ趣旨カラシテ、單ニ恩惠ダケデハナイ、皆ガ力ヲ合セテ、ソレニ國家ガ相當ノ援助ヲシテ、斯ル悲慘ノ事ノナイヤウニ、安心シテ自分ノ業務ニ勉强ガ出來ルト云フヤウナコトニサセタイト云フノガ、此國民健康保險法ノ要旨デアリマス、併ナガラソレバカリデ今日ノ醫療ヲ完備スルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、過日來同時ニ又提案致シテ居リマスル保健所ノ法トカ、或ハ豫算ノ上ニ現ハレテ居リマスル結核療養所ノ施設ヲ擴張スルトカ、或ハ無醫村ニ對シテ醫者ヲ多クスル施設ヲヤラシテ、助長スルトカ云フヤウナ方法ヲ立テヽ、居ルノデアリマス、其外救護法ヲ改正致シマシテ、其救護ノ範圍ヲ擴張スルトカ、有ユル手段ヲ盡シテヤッテ行クト云フノガ、國家ノ社會政策ノ上カラモ、亦保健行政ノ上カラモ必要デアル、何デヤラナケレバナラヌト云フヤウナ、一定ノ主義ノ下ニ膠著スル必要ハナイノデアリマスガ、此國民健康保險法ト云フノハ、只今私ガ申上ゲマシタヤウニ、或ル程度マデ自力ヲ入レ、ソレニ對シテ國家ガ十分ナル便宜ト助力ヲ與ヘル、斯ウ云フ立前ニ出來テ居ルノデアリマス、私ハ一般ノ斯ウ云フ風ナ種類ノ人、即チ國民ノ中堅ヲ成シテ居リマスル所ノ、斯ウ云フ風ナ人々ニ對スル施設トシテハ、單純ニ國家ノ恩惠デナク、斯ウ云フ風ナ保險制度ニ依ッテヤッテ行クト云フコトガ最モ適當デアッテ、私ハ此制度ト云フモノガ今日最モ適當スルヤウニ思フノデアリマス

ソレカラ第二ニ、一體國民健康保險法ト云フヤウナ大キナ名前ヲ掲ゲテ置キナガラ、町村單位ト云フヤウナコトデ、所謂羊頭ヲ懸ゲテ狗肉ヲ賣ルト云フヤウナモノデハナイカ、斯ウ云フ風ナ御話ノヤウニ伺ヒマシタ、是ハ私ガ申ス迄モナク、唯名前ダケデアリマシテ、實ハ此法制定ノ際ニモ、或ハ庶民ト云フヤウナ名前ヲ用ヒル方ガ宜イノデハナイカ、庶民健康保險組合ト云フヤウナ名前ガ宜イノデハナイカト云フヤウナ議論ガ出タノデアリマスガ、併ナガラ特ニ國民ノ中ノ或種ノ人ニ、庶民ト云フヤウナ名前ヲ附ケルコトハ、私ハ宜シクナイト云フ意味ニ於キマシテ、所謂最モ差障リノナイ國民ト云フ名前ヲ附ケタ譯デアッテ、國內全體ノ人ヲ網羅シテ大キナ組合ヲ作ルト云フ意味デナイコトハ、是ハ私ガ申ス迄モナイコトト思ヒマス、單ニ名前ダケニ過ギナイノデアリマス、而シテ何故ニ町村ヲ單位トスルカト申シマスト、是ハ私ガ申ス迄モナク、今日我國ノ自治體ト云フモノハ、大體ニ於テ町村ト云フモノヲ單位トシ、或ハ市ヲ單位トシテ居リマスルガ、斯ウ云フモノガ單位トナッテ發達ヲシテ來テ居リマス、而シテ我國ハ外國ト違ヒマシテ、所謂隣保相助ノ觀念ト云フモノハ非常ニ發達シテ居ル、此點ニ於テハ私ハ先程土屋サンガ御例示ニナリマシタ丁抹ナドトハ、餘程似テ居ルノデハナイカト思フ、即チ單ニ個人主義デナク、病氣ヲシタ場合ニハオ互ニ隣近所ハ助ケ合フ、是ハ非常ナ美風デアリマシテ、此風ハ益〻助長ヲシテ行ッテ宜イ問題デハナイカ、斯ウ思ヒマス、即チ一町村內ニ於キマシテ、オ互ニ知合ッタ者ガ一ツノ團體ヲ作ッテ、サウシテイザ病氣ト云フ場合ニ、急ニ金ガ要ルノデアルガ、其急ニ金ガ要ルト云フノヲ、平素カラ節約ヲシテ若干積立テヽ居ッテ、病氣ニナッタ場合ニ安心シテ醫者ニ掛カレル、斯ウ云フ途ヲ開クコトガ最モ適當デアッテ、所謂町村ヲ單位トスルト云フコトガ、我國ノ長イ間ノ傳統ニモ適ヒ、今日ノ實情ニモ相應シ、將來亦斯ウ云フ風ニシテ地方ノ基礎ヲ固メテ行クト云フコトガ、私ハ最モ適當デアルト、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、而シテ町村ヲ單位トシテ澤山出來マスレバ、自ラ是ガ全國ニ普及スル譯デアリマシテ、段々ト是ハ助長奬勵シテ行クト云フコトニ致シテ行キマスルナラバ、相當ノ年月ノ中ニハ、我國ニ於キマスルサウ云フ風ナ階級ノ人々ガ、安心シテ生活ヲ爲シテ行クコトガ出來ル、只今土屋サンノ仰セニナリマシタヤウニ、一番人生悲慘ナルモノハ、明日ノ日ニ食ヘナクナルト云フコトト、更ニ病氣ヲシタ時ニ、其前途ガ分ラナイト云フコトガ、一番悲慘ナコトデアリマスルカラ、サウ云フコトヲ安心シテ醫者ニ掛カレルト云フコトデ、光明アル生活ヲ數年――何年掛ルカ分リマセヌケレドモ、我國ノ國民ノ大多數ガ、サウ云フ安心シタ生活ガ出來ルヤウニ爲シ得ルト思フノデアリマス、更ニ此組合デハ身體ノ弱イ者バカリ入ッテ、サウシテ丈夫ナ者ハ入ラヌト云フヤウナコトニナルト、結局ハ算盤ガ立タヌデ倒レテシマヒヤセヌカ、斯ウ云フヤウナ御尋デアリマシタガ、是ハ申ス迄モナク所謂家族制度デアリマシテ、組合員ト云フモノハ、大體ニ於テ其家長カ何カガナルコトデアリマシテ、其一家ニ於ケル家族ト云フモノガ、其恩惠ニ浴スルコトニナルノデアリマスカラ、一家ノ內ニ總テ丈夫ナ人バカリ揃ッテ居ルト云フコトバカリモナシ、一家ノ內ニ總テ弱イ人バカリ集ッテ居ルト云フコトモナイノデアリマスカラ、大體ニ於テ私ハ町村ノ相當ナ人ガ之ヲヤラウト云フ場合ニハ、相當ナ人ガ入ッテ行ク、弱イ人ニ限ルト云フコトハ恐ラクナイノデハナイカ、且又大體ニ於テ平均ヲ取ッテ見マスト、農村等ニ於ケル一年ノ醫療費ハ、二十四五圓ニ當ッテ居ルヤウニ計算サレテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ風ナ金ヲ分割シテ納メテ行ク、斯ウ云フコトデ行クノデアリマスカラ、大體ニ於テ之ヲ作ルト云フ積リニナッテ、其町村ノ人ガ肚ヲ合セ心ヲ合セルナラバ、自ラ全體ガ組合ニ加ハッテ行ク、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、尙ホ更ニ其市町村內ニ於テ三分ノ二以上ノ人ガ作リマス場合ニハ、場合ニ依ッテ地方長官ハ之ヲ强制スルコトガアル、斯ウ云フ規定ヲ設ケテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ御心配ノヤウナ弱イ者バカリデ、終ヒニ經濟ガ取レヌヤウニナリハセヌカト云フコトハ、私ハナイデアラウ、斯ウ云フヤウニ思フノデアリマス、尙ホ先程御述ニナリマシタヤウニ、我國ニ於キマシテハ、都市ト農村トノ間ニ於ケル醫師ノ分布ニ於テ非常ナ不均衡ガアル、是ハ仰シヤッタ通リデアリマス、此點ニ付キマシテハ種々ナル方法、例ヘバ無醫村ニ對シテハ醫者ヲ置クヤウニ國家ガ奬勵スル、是ハ豫算ノ上ニ掲ゲテ居リマス、斯ウ云フヤウニ色々ノ方法ニ於テ、一方ニ於テハ健康保險組合ト相俟ッテ行キマスナラバ、國民ノ所謂生活安定ヲ達成スルコトガ出來ルデアラウ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

ソレカラ醫師會ノ問題デアリマスガ、是ハ先程來度々御話ガ出マシタヤウニ、我國ニ於ケル開業醫ノ制度ト云フモノハ、是ハ一ツノ尊重スベキ制度ト思フノデアリマスガ、隨ヒマシテ歷代ノ內務大臣ト云フモノモ、ソレニ對シテ相當ノ敬意ヲ表シテ居ル、是ハ私ガ申ス迄モアリマセヌ、デアリマスカラ例ヘバ社會保險調査會等ニ於キマシテモ、日本醫師會ノ代表トシテ日本醫師會長、或ハ日本齒科醫師會長ト云フ者ガ加ハッテ、重要ナ發言權ヲ持ッテ居ルノデアリマス、先程此法案第九條ニ於キマシテ、是ハ元來社會保險調査會ニ於テ掛ケテ後ニ入レタノデハナイカ、是ハ其ノ通リデアリマスガ、是ハ先日來私ガ申上ゲマシタヤウニ、其必要アリト認メテ、卽チ現在十分發達シテ居ルモノハ、是ハドウモ除外スル必要ハナイ、代行サセル方ガ便利デアル、斯ウ云フ所カラ出來タノデアリマシテ、是ハ私ハ別ニ論議ヲ致ス譯デハアリマセヌガ、團體契約、此議場ニハ關係ナイコトデアリマスガ、醫師會ニ於テ團體契約ヲ必ズ法定セイト云フコトヲ主張サレテ居ルヤウデアリマスガ、當時ノ社會保險調査會ニ於テ、日本醫師會ヲ代表サレテ居ル日本醫師會長ガ、サウ云フ主張ヲサレテ居ラナカッタ、法定セヨト云フコトハ主張ガナカッタヤウニ私ハ思ヒマス、デアリマスカラ、ソレガ其時ニ出タカラ、後カラ入レルノハ惡イト云フ筋ノモノデナク、ヤハリソレヲ今日主張サレルノハ、ソレ〳〵ノ理由ガアルコトト私ハ思ヒマスガ、必シモ贊成ハシマセヌガ、併ナガラ何等カノ理由ニ依ッテ、今日日本醫師會等ニ於テ主張サレテ居ルノデアリマスガ、ソレハ私ハ少シモ咎メナイト同ジヤウニ、ヤハリ第九條ノ規定ガ、其當時出來テ居ナカッタカラ、其後ノ狀況ニ依ッテ入レルト云フコトハ少シモ差支ナイ、斯ウ云フ風ニ私ハ思フノデアリマス、先程御述ニナリマシタヤウニ、國民ノ體位ヲ上進シ、國民生活ノ安定ヲ圖ルト云フコトハ、今日國家ノ急務デアリマシテ、有ユル點ニ於テ國民生活ノ安定ヲ圖ルト云フコトハ必要デアリマスガ、併ナガラ總テノ點ニ國家ガ何デモ彼デモヤルト云フコトハ出來ナイノデアリマスカラ、焦眉ノ急デアル病氣ニ罹ッタ場合ノ醫療ノ機會ヲ均等ナラシムルト云フコトガ、一番先ニヤラナケレバナラヌ事デアリマシテ、私共ハ斯ウ言ッテ論ジテ居ル間ニ、醫者ニ掛レナイデ非常ニ悲慘ナ狀態ニアル人ガ澤山アルト思フノデアリマスカラ、一刻モ早ク此國民健康保險法ヲ制定致シマシテ、出來ルダケサウ云フ人ヲシテ醫療ノ機會均等ニ至ラシムルコトヲ私ハ切望スルノデアリマス

尙ホ簡易保險ト國民健康保險トノ差異デアリマスガ、是ハ何レ遞信大臣カラ御答ガアラウト思ヒマスガ、簡易保險ハ所謂私ガ申ス迄モナク生命保險デアリマシテ、此國民健康保險ト云フモノハ、卽チ社會保險デ、醫療ノ機會ヲ與ヘシムルト云フコトノ目的デアリマシテ、死ンダ場合ニ所謂葬祭費トカ、助產費ト云フモノハ與ヘマスケレドモ、別ニソレニ對シテ金ヲ幾ラヤルト云フヤウナコトヲ目的ト致シテ居ルモノデハナイノデアリマス、此點ダケヲ申上ゲテ置キマス(拍手)

(國務大臣伯爵兒玉秀雄君登壇)

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君)　土屋君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、土屋君ガ御述ニナリマシタ通リニ、遞信省ニ於キマシテハ、大正十一年カラ簡易生命保險ニ於キマシテ健康相談所ヲ設ケテ居リマス、是ハ主トシテ被保險者ヲ中心ト致シマスルノデ、被保險者ノ健康ノ保持增進ヲ目的ト致シテ居ルモノデアリマス、簡易保險ノ發展ニ連レマシテ、健康相談所ノ數モ漸次增加ノ傾向ヲ持ッテ居リマスガ、此健康相談所ニ於キマシテハ、只今申上ゲマスル通リニ、被保險者ヲ中心ト致シマシテ、其健康ノ相談ニ應ズル事柄ヲ原則ト致シテ居ルノデアリマス、唯其中ニ已ムヲ得ザル場合ニ於キマシテノミ、之ニ或ハ醫療ヲ與ヘ、診療ヲスルコトガアリマスケレドモ、原則ト致シマシテハ、被保險者ニ對スル健康ノ相談ニ止メテ居ル次第デアリマス、斯ノ如キ次第デアリマスルカラ、今日只今問題ニナッテ居リマスル國民健康保險法案トハ、毫モソコニ對立矛盾

ガナイノデアリマス、政府ト致シマシテハ、斯ノ如キ近代的社會立法ガ速ニ成立致シマシテ、相協調シテ其實ヲ擧ゲル事柄ヲ熱望シテ已マナイノデアリマス(拍手)

(土屋清三郎君登壇)

○土屋清三郎君 只今内務大臣ハ、焦眉ノ急ニ迫ッテ居ル此氣ノ毒ナル病人ヲ、一刻モ早ク救フ爲ニ此制度ヲ設ケルノデアル、斯ウ云フ御答辯デアリマス、私ハサウデアレバコソ、十年モ二十年モ掛ルヤウナ案ヲ廢メテ、全面的ニ國民ヲシテ醫療ノ機會ヲ得セシムルヤウニシテハドウカト言フノデアリマス、丁抹ノ例ヲ御擧ゲニナリマシタガ、丁抹ト日本ノ農村ハ全然違フノデアリマス、國ハ極ク小サク、東京市民ヨリマダ僅カノ人口デアル、其狹イ區域ノ中ニ於テ、農村ハ裕福ニナッテ居リマスルカラ、自然ニ村々ノ此醫療組合ガ發達シタノデアリマス、日本ノ今日ノ農村ハドウデアリマスカ、政府ガ生々シイ御經驗ヲ御持チニナッテ居ルヤウニ、今日ノ農村ト云フモノハ、實ニ堪ヘラレナイ氣ノ毒ナル狀態ニ在ルノデアル、ソレデアレバコソ、交付金ノ要求ガアレダケ熾烈デアッタデハアリマセヌカ、日本ノ農民ニソレダケノ餘裕ガアルナラバ、丁抹ヨリモモット早ク此施設ハ出來テ居ルノデアル、ソレガ出來ナイノガ日本ノ今日ノ農村ノ實情デアル、サウデアリマスカラ、今日サヘ困ッテ居ル所ノ農村ニ向ッテ、此施設ヲ任意的ニ作レト言ヒマシテモ、一番必要ナル貧村ハ一番後廻シニナッテ、此組合ヲ早ク作リ得ル所ノ富裕ナル村ノ方ガ、先ニ出來ルノデハナイカ、是ハ内務大臣ノ御考ト全ク矛盾シタ結果ヲ見ルノデアリマス、ノミナラズ此制度ヲ見マスルト、診察ヲ受ケル場合ニモ、治療ヲ受ケル場合ニモ、患者ハヤハリ一部ノ金ヲ持ッテ行カナケレバナラヌノデアル、一部ノ金ヲ持ッテ行カナケレバ診察ヲ受ケラレナイノデアル、吾々ノ要求スル所ハ、日本國民デアル以上、庶民階級ハ少シデモ工合ガ惡ケレバ、何時デモ只デ醫者ニ診テ貰フヤウニシタイノデアリマス、只デ治療ヲ受ケルヤウニシタイノデアル、ソレデナケレバ醫療ニ對シテ、庶民大衆ニ均等ノ機會ヲ得セシムルト云フコトハ出來ナイノデアル、ソレデ私ハ此處デ先程カラ質問シテ居ルノデアル、此保險制度ガ一番宜イト云フナラバ、此保險ヲ全面的ニ國營ニシテ一度ニヤル、サウシテ其醫療ヲ——歴代ノ内務大臣ガ果シテ日本醫師會ヲ信用シ、開業醫制度ヲ尊重スルト云フナラバ、現ニヤッテ居ル所ノ他ノ方法ト同ジヤウニ、醫師會ト契約ヲシテ、開業醫全部ニ此保險ノ診療ヲ擔當サシテ、患者ニ對シテハイツ何時デモ、ドノ醫者デモ選擇シテ掛レルヤウニ、而モ一文ノ金ガナクトモ、病氣ノ場合ニハ何時デモ行ッテ只デ診察ヲ受ケテ、只デ治療ヲ受ケラレルヤウニシナケレバ、醫療ニ對スル施設ト云フモノハ徹底シナイノデアル、之ヲ吾々ハ聽イテ居ルノデアル、此點カラ言ッテ、此國民健康保險制度ト云フモノハ、全ク金ヲ持ッテ行カナケレバ診察ヲ受ケラレヌ、治療モ受ケラレヌ、サウシテ貧村ガ一番遲レテ、富裕ナル村ダケガ先ニ出來ル、最モ遲レタル外國ノ制度ヲ如何ニモ物珍シゲニ取上ゲテ、是コソ庶政一新、國民生活ノ安定ヲ期スル醫療普及ノ制度ナリト言フニ至ッテハ、吾々ハ實ニ驚クノ外ハナイ、遞信大臣ノ御答辯ハ、私ノ問ヲ御了解ニナッテ居ラヌ、私ハ簡易生命保險ノ施設ヲ聽イタノデハナイ、遞信省ハ簡易生命保險ヲヤッテ、國民ノ大部分ヲ其加入者ニシテ、既ニ今日マデニ契約ガ三十億圓ヲ突破シテ居ル實情デアル、遞信省簡易保險局ガ進ンデ國營ノ國民健康保險制度ヲヤッテ、二十万ノ手足ヲ持ッテ居ル郵便局ヲ動員シテ、サウシテ國民ノ大部分ヲ加入サシテ、集金ノ働ヲサシテヤッタナラバ、是コソ本當ニ理想的ノ國民保健制度ガ出來ルデハナイカ、斯樣ニアナタノ部下ハ長イ間研究シテ、發表サレテ居ル、其苦心ハ玆ニアナタノ所カラ現レタル大部ノ本トナッテ公ニサレテ居ルノデアリマス、此點ヲ私ハ承リタイ、之ニ付テ遞信省ハ、社會局ノ今日ノ不徹底ナル案ニ對シテ、如何ナル考ヲ御持チニナッテ居ルノデアルカ、以上ニ付テ承リマス、御答辯ガアルトナシニ拘ラズ、細カイコトニ付テハマダ澤山缺陷ガアリマスカラシテ、是ハ委員會ニ於テ十分質問應答ヲシテ、勝敗ヲ決シタイト思ヒマス(拍手)

(國務大臣河原田稼吉君登壇)

○國務大臣(河原田稼吉君) 第一ノ御尋ハ、國營ニデモシテ徹底的ニヤラナケレバ仕樣ガナイヂヤナイカ、斯ウ云フコトニ伺ヒマシタガ、一度ニヤレルノハ、ソレハ一番理想デアリマスガ、併ナガラ國家トシテハヤルベキ仕事ガ澤山アリマス、私ガ申ス迄モナク、一方ニ於テハ國防モヤラナケレバナラヌ、或ハ土木ノ方ノ關係モシナケレバナラヌ、產業ノ助長モシナケレバナラヌ、サウ云フモノガ綜合シテ、初メテ一國ノ發展ト云フコトガ見ラレルノデアリマシテ、保健衞生ノ見地カラ、之ヲ國營其他ノ方法ニ依ッテ、徹底的ニスルコトハ望マシイコトデアリマスガ、一面國家財政其他ノコトモ考ヘナケレバナリマセヌカラ、ヤハリ是ハ漸進的ニ行クヨリ外ハナイ、更ニ又私ガ先程申上ゲマシタヤウニ、必シモ國家ノ慈惠、惠ミト云フコトデナク、ヤハリ若干ノ力ノアル者ハ、自分ノ病氣ヲ治スコトニ付テ、其力ヲ出スト云フコトハ私ハ當然ト思フ、隨ヒマシテ唯總テ施療的ニヤルト云フコトニ付キマシテハ、私ハ直チニ贊成シ得ナイノデアリマス

ソレカラ第二ニ、ヤハリ一部ノ負擔ヲスルデハナイカ、全部組合ノ費用デヤッテ與レルノデハナイデハナイカト云フ御尋デアリマシタ、是ハ其通リデアリマシテ、一部負擔ヲ命ズルコトニナッテ居リマス、サリナガラ是ハ總テ病氣ニナッタ時ニハ、組合費デ以テ總テ始末ヲシテ與レルト云フコトニナリマスト、場合ニ依ルト濫リニ診療ヲ願出ス、組合ハ他カラ金ガ出テ來ル譯デナイ、組合員各自ガ負擔スルノデアリマスカラ、組合員各自

ガ無闇ニ大シタコトデナクトモ、醫者ノ診療ヲ受ケルト云フコトニナリマスト、組合ガ成立タナイ、ソレ等ヲ制限スル意味ニ於テ、病氣ニナッタ時ニ若干持ッテ行ク、健康ノ人モ負擔シテ居ルノデアルカラ、病氣ニナッタ時ニ若干ノ金ヲ持ッテ行クト云フコトハ適當デアラウ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

(國務大臣伯爵兒玉秀雄君登壇)

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 土屋君ノ再度ノ御質問デアリマスケレドモ、詳細ノコトハ委員會ニ於キマシテ申述ベルコトニ致シタイト思ヒマス

○土屋清三郎君 簡單デスカラ此席デ發言スルコトヲ御許シ願ヒマス

○議長(富田幸次郎君) 許可致シマス

○土屋清三郎君 診察ヲ只デ何處デモ受ケラレルト云フ制度ガ、一番庶民階級ニ醫療ヲ受ケサセルニ必要ナノデアリマス、是ハ絶對ノ條件デアリマス、現ニ……

(「空想ダ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ)

○議長(富田幸次郎君) 靜肅ニ

○土屋清三郎君(續) 空想デナイ、現ニ佛蘭西ノ如キハ、國民健康保險法ヲ實施シテ居リマシテ、庶民階級ハ何時タリトモ醫者ノ所ニ行ッテ、只ダ診察ヲ受ケラレル制度ニナッテ居ル、若シ政府ガ本當ニ此決心ヲ以テ——今ノ内務大臣ノヤウニ、醫師會ト喧嘩ヲスルヤウナコトハ絶對ニイケナイ、若シ私ガ當局デアッタナラバ醫者ヲ信用シテ、日本醫師會ト契約シテ、全國ノ開業醫ト契約シテ、自由ニ只デ診療ヲ受ケラレルヤウニスル、此相手ヲ信用スル所ノ度量ガナクテ、是ダケノ仕事ヲスルコトハ無理デハナイカ、之ヲ第一ニ考ヘナケレバ、庶民階級ニ對シテ均シク醫療ノ機會ヲ得セシムルコトハ、斷ジテ出來ナイト云フコトヲ、此機會ニ内務大臣ニ御注意申上ゲテ置キマス

○議長(富田幸次郎君) 三宅正一君

(三宅正一君登壇)

○三宅正一君 私ハ國民健康保險法案、結核豫防法中改正法律案竝ニ保健所法案、其他現内閣ノ提出サレマシタ保健諸法案ニ對シマシテ質問ヲ試ミタイト考ヘルノデゴザイマス

私ハ第六十九議會、前議會ニ於キマシテ、國民健康保險法制定ニ關スル建議案ヲ提出致シマシテ、是ガ通過シ、更ニ同僚佐藤謙之輔君ト共ニ、潮内務大臣ニ對シテ、本議會ニ國民健康保險法案ヲ提出スル意思アリヤ否ヤノ點ヲ、質問主意書ヲ提出致シマシテ、サウシテ是ガ成立ヲ翹望シテ居ッタノデアリマス、幸ニシテ色々ノ點ニ於テ、未ダ十分デナイ點ハアルケレドモ、未ダ曾テナイヤウナ保健ニ關シマスル色々ノ法案ガ、本議會ニ提出サレマシタト云フコトニ付キマシテハ、私ハ心カラ感激ニ燃エテ居ル者デアルノデゴザイマス(拍手)唯私ハ此際内閣總理大臣ニ問ヒタイ點ガゴザイマスノハ、保健、衞生、國民體位ノ問題ニ付テ、現内閣ハドノ程度ニ重要視シテ居ルカト云フ一點デアルノデゴザイマス、私共ハ七大國策ノ中ニ、現内閣ガ保健政策ヲ加ヘテ居ラナイト云フ一點ニ於テ、現内閣ハヤハリ落第ヲシテ居ルト云フ點ヲ認メザルヲ得ナイノデゴザイマス、保健國策ヲ重視シナイ議會、保健政策ヲ輕蔑スル政府、私ハ是ハ文明ニ遲レテ居ル「バロメーター」デアルト考ヘルノデゴザイマス、鐵道行政ノ爲ニ一省ヲ設ケ、遞信行政ノ爲ニ一省ヲ設ケナガラ、モット重要ナル國民體位ノ問題ニ付テ一省ヲ設ケザルガ如キ、此議會ト此政府ト云フモノハ、其點ニ於テ時代遲レデアルト云フコトヲ吾々ハ痛感致シテ居ルノデゴザイマス(拍手)特ニ一昨日議場ガ此問題ニ付テ定足數ヲ缺キマシタト云フヤウナ點ニ付キマシテ、竝ニ醫科出身ノ代議士ガ出テ居ラレマスルカラ、吾々ハ保健政策ニ付テ教ヲ乞ヒタイト考ヘテ居ルノデアルケレドモ、醫科出身ノ代議士ガ鐵道ヲ引張ルコトニハ狂奔サレルケレドモ、保健政策ニ付テ政府ヲ指導シ、國民ヲ指導スル、何等ノ積極的ナ抱負經綸ヲ御出シニナラナイト云フ所ニモ、日本ノ遲レタル一面アリト吾々ハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)此點ニ付キマシテ、政府ハ我國ノ保健政策ヲドノ程度ニ重視シテ居ルノデアルカ、衞生局カラ或ハ社會局カラ、バラバラニ保健政策ヲ出ス程度ヲ以テ、我國ノ國民ノ體位ハ之ヲ維持出來ルト御考ニナッテ居ルノデアルカ、ソレトモ衞生問題ハモット重大デアッテ、鐵道大臣ヨリモ、遞信大臣ヨリモ、内務大臣ヨリモ、内閣ニ於テ最モ重要ナル地位ヲ占メルノガ保健大臣デアルト云フ位ノ信念ヲ以テ、オヤリニナッテ居ルカドウカト云フ點ニ付テ、私ハ内閣總理大臣ニ先ヅ此點ヲ承リタイト考ヘルノデゴザイマス

(私語スル者多シ)

○議長(富田幸次郎君) 靜肅ニ

○三宅正一君(續) 第二ニ私ハ内務大臣ニ御質問申上ゲタイノデゴザイマスガ、今日ノ我國ノ醫療行政ハ果シテ成功シテ居ルカ失敗シテ居ルカ、私ノ見ル所ヲ以テスレバ、我國ノ醫療行政ハ徹底的ニ破產シテ居ル、陸軍ガ衞生省設置ノ聲明ニ於テ言ッテ居リマスル通リ、我國ノ醫學ハ治療醫學ニ於キマシテハ獨逸ノ壘ヲ摩シタト言ヒマス、醫學博士ハ日ニ三人ヅ、出來ル、醫學博士ガ巷ニ充チ、開業醫ガ街ニ滿チテ居リナガラ、三千五百ノ村ニ醫者ガ居ラナイ、而シテ町ニ於キマシテモ、貧乏ノ爲ニ醫者ニ掛レナイ者ガ激增シツ、アッテ、國民ノ體位ガ年々低下シツ、アルト云フコトハ、我國ノ醫療行政ガ徹底的ニ今日ニ於テハ失敗シテ居ルノデアルト云フ點ヲ、内務大臣ハ御認メニナルカドウカト云フコトヲ、私ハ先ヅ質問シタイノデアル(拍手)

而シテ此點ヲ内務大臣ガ御認メニナルナラバ、然ラバ我國醫療行政ノ失敗ノ原因ガ何處ニアルカト云フ點ニ付テ、内務大臣ニ承リタイノデゴザイマス、私ノ見ル所ヲ以テスレバ、我國ニ於ケル醫療行政ノ失敗ノ第一ノ原因ハ、統一的保健行政ノ缺如デアル、而シテ特ニ保健社會政策ノ缺如ガ、我國

ノ醫療行政失敗ノ第一ノ原因ナリト私ハ考ヘテ居ルノデアル、御醫者サンガ幾ラ出來タ所デ、金ガナケレバ掛レナイト云フコトハ、土屋君ノ言ハレタ通リデアル、金ガナクテハ掛レナイ、民衆ノ收入ヨリモ醫療費ノ方ガ高過ギテ掛レナイト云フ、是ガ眞ナラバ、醫者ハ何人出來タッテ國民ノ體位ハ決シテ上ラナイノデアル、而シテ今日ノ如ク患者ガ來ナケレバ醫者モヤッテ行ケナイト云フ醫療制度ヲ有ッテ居リマスル我國ニ於キマシテ、醫療制度自體ガ豫防醫學ニ進出スルコトハ出來ナイノデゴザイマス、今日ノ醫療制度ハ豫防醫學ニハ進出出來ナイ制度ニナッテ居ル、其處ニ私ハ我國ノ所謂醫療トカ云フモノノ失敗シテ居ル所ノ重大ナル點ガアルト考ヘル（拍手）即チ治療醫學ノ如キ醫療問題ノ末デアル、積極的ニ國民體位ノ維持ヲ圖ルニハ、即チ豫防醫學ガ重大デアル、豫防醫學ガ重大ナルノミナラズ、更ニ積極的ニ吾々ガ重大ナリト考ヘル點ハ、國民體位ノ向上ニハ、治療醫學、豫防醫學ヨリモ、更ニ生活環境ノ改善ニアルト信ズルノデアリマス（拍手）即チ榮養ノ問題、住宅ノ問題、休養ノ問題、勞働ノ問題、體育等ノ諸條件ニ付テ、統一シタ國民體位ノ積極的改善ヲ圖リ、國民生活ノ安定ヲ圖リ、貧乏ノ根絕ヲ圖ルコトガ、即チ體位向上ノ中心眼目デアルト吾々ハ考ヘテ居ルノデアル（拍手）此點ニ付テ今日積極的ニ指導サレルノガ、僅ニ內務省ノ外局デアル社會局ガ關與サレ、產業組合關係ニ於テ、僅ニ農林省ガ所謂保健問題ニ付テ關與サレ、遞信省ガ簡易保險ノ金ヲ以テ僅ニ健康相談所ヲヤッテ居ラレル、此程度ヲ以テシテ、ドウシテ日本ノ國民ノ積極的體格ノ擴充ガ圖ラレ得ルト考ヘルノデアリマスカ、其例トシマシテハ、一昨日ノ議場ニ於テ行吉代議士ガ指摘シタ通リ、空氣ノ良イ農村ニ於テ千人ニ付テ二十人死亡シ、空氣ノ惡イ町ニ於テ十七人死亡スルト云フ事實ハ、空氣ノ問題ニ非ズシテ、農村ガ貧乏デ窮迫シタ結果、斯樣ニ死亡率ガ殖エテ居ルト云フコトヲ、證據立テルモノデアルト考ヘルノデアリマス、其他ニモ附屬的ノ原因ガアルニ違ヒナイケレドモ、私ハサウ考ヘル、而シテ都會ニ於キマシテモ、貧乏地區ニ於テハ死亡率ガ高イ、日本橋ニ於ケル死亡率ト、本所、深川ニ於ケル死亡率ハ、內務省ノ統計ニ依ルト倍ニナッテ居ル、此事實ハ貧乏ト生活ト住宅ノ關係ニ於テ、單ニ醫者ダケ多ク居ッテモ駄目デアルト云フコトヲ、證據立テル所以デアルト考ヘルノデアリマス

更ニ徵兵檢査ノ報告ニ付テ、陸軍省ノ小泉醫務局長ノ名前ヲ以テ發表サレタ所ニ依ルト、丙種、丁種ガ四割ニナッテ居ル、千人ノ中デ四百人ハ丙種、丁種ニナッテ居ル、而シテ丙種、丁種ガ多イ地區ハ、東京、大阪等ヲ中心ニスル大都市ノ近所ガ多イ、是ガ第一、第二ノ現象ハ、青森縣ガ千人ニ付テ四百人以上、沖繩縣モ四百人以上デアル、此陸軍ノ出シマシタ統計ハ、心ナキ統計デアルケレドモ、心ノ眼ヲ以テ見ルナラバ、都市ニ於ケル壯丁ノ體格ノ惡クナッテ參リマシタノハ、長イ時間勞働スル、勞働條件ノ劣惡化、過勞、斯ノ如キ都市ニ於ケル集團衞生ト云フモノノ缺如ハ、今日ノ個人開業醫ニ依ッテ何等改善サレル所ナクシテ、益々大ナル死亡率ヲ來シタト共ニ、日本ニ於ケル最ニ貧乏地區デアル沖繩縣ト青森縣ニ於テ、都市ニ匹敵スル壯丁體格ノ劣惡ヲ見タト云フコトハ、諸君吾々ハ愼然トシテ恐レナケレバナラヌト思フガ、內務大臣ハ如何ニ御考ニナルノデアリマスカ、ソレヲ御聽キシタイノデゴザイマス、斯ノ如キ結果、即チ日本ニ於ケル結核ハ、幼年工ヲ虜使スルコトデアル、長時間勞働ノ結果デアル、不衞生ナル工場環境ニアルコトハ明白デアル、而シテ工場ニ於テ女工ガ肺病ニナルト云フト、都會ニ置クノガ惡イト云フノデ、肺病ト云フ病名ヲ附ケズニ、風邪ト云フ名ヲ附ケテ田舍ニ歸シマシテ、都會デ肺病ニシテ其責任ハ、之ヲ田舍ニ轉嫁セシメテ居ルト云フノガ、今日ニ於ケル我國ノ工場勞働ノ實情ト考ヘマスガ、內務大臣ハ此點ニ付テ如何ニ御考ニナルノデアリマスカ（拍手）即チ私ハ統一的ノ保健行政ノ意味ハ、單ナル衞生省ノ設置デハ駄目デアル、一昨日ノ議場ニ於テ衞生省ヲ設置セヨト云フ議論ガアッタガ、衞生省ヲ設置シタダケデ何ガ出來ル、醫者ダケデ何ガ出來ル、社會省ヲ兼ネ、勞働省ヲ兼ネ、福祉省ヲ兼ネ、安寧省ヲ兼ネル所ノ——防貧、福祉、勞働保護ト保健衞生ヲ兼ネル所ノ社會衞生省ノ設置ガ、今日日本ノ國ニ於テ要求サレテ居ル所ノ、大ナルモノデアルト考ヘルノデアリマスガ、內務大臣ハ如何ナル御考デアルカ、之ヲ承リタイノデアリマス

第二ノ我國醫療行政失敗ノ原因ハ、今日ノ開業醫制度ノ缺陷ニアルト考ヘルノデアリマス、我國現在ノ醫療組織ハ、開業醫制度ガ九割デアッテ、開業醫ヲ本體トシテ居ルコトハ明白デアル、併ナガラ開業醫制度ハ土屋君ノ言ハレルガ如ク、日本古來ノ制度デハナイ、封建時代ニ於テハ御殿ノ抱ヘ醫ガ醫業ノ本體デアッタ、御殿醫ガ醫業ノ本體デアッタ、醫ヲ資本主義ノ發生ト共ニ、商人ガ發達シテ町醫者ト云フノガ出テ來テ、明治ノ御一新ニナッテ、資本主義ニナッテ、町醫者ノ發展シタノガ開業醫デアッテ、開業醫ハ資本主義ト共ニ發達シタ、資本主義的醫療組織ガ、即チ開業醫制度ナリト吾々ハ考ヘルガ、一體內務大臣ハ此點ニ付テ如何ニ御考ニナルカ（拍手）私ハ今日マデノ開業醫ノ所謂功勞ヲ誹議スルノデハナイ、開業醫ノ諸君ニ對シテ大イナル敬意ヲ拂ヒツヽモ、時代ト共ニ開業醫ノ制度ガ行詰ッテ來タコトニ付テ能ク御考ニナリ、政府モ亦之ヲ考ヘテ、サウシテ之ヲ指導シナケレバ、我國ノ保健衞生ハ斷ジテ適當ナル展開ヲ爲シ得ナイト考ヘルノデアル、開業醫制度ノ特質ガ何處ニアルカト言ヘバ、第一ハ、開業醫制度ハ營利主義醫療制度デアルト云フ點デアル、營利主義醫療制度ハ、如何ニ御醫者サンノ必要ガアッテモ、

儲カラヌ處ニハ開業セナイト云フ制度ガ、即チ營利主義ノ本體ヲ持ッテ居ル開業醫制度デアル、私ハ開業醫ガ惡イト言フノデハナイ、惡イト言フノデハナイガ、儲カラヌ處ヘ行ッテハヤレナイカラヤラナイノデアル、開業醫ヲ攻撃スルノデハナイ、開業醫ノ制度ノ本質ト云フモノハ、如何ニ必要ガアッテモ儲カラヌ處ヘ行ッテハ開業セヌト云フ制度デアル、隨テ三千四百ノ村ニハ醫者ガ居ラナイノデアル、而モ町ニハ醫者ガ餘ッテ居ルケレドモ、貧乏ナ者ハ醫者ニ掛カレナイ、ダカラ社會的ニハ町ニ於ケル中產階級以下ハ、醫者ノ惠ミニ浴スルコトガ出來ナイト云フ現狀ニアルコトヲ、私ハ否定スルコトハ出來ナイト考ヘルガ、此點ニ付テ內務大臣ハ如何ニ考ヘルカ（拍手）

而シテ第二ニ、開業醫制度ノ特質ハ無統制醫療制度デアルト云フコトデアル、斯ノ如キ經濟學的術語ヲ以テスレバ無政府的醫療制度ガ即チ開業醫制度デアル、儲カリサウナ處ヘバラ〳〵開業スル、何處ニカ必要ガアッテ開業スルト云フノデハナイ、籤引ト同ジダ、勝手ニ開業スル制度ガ、即チ私ハ今日ノ開業醫制度デアルト考ヘル、隨テ開業醫制度ハ、醫療費負擔ヲ爲シ得ザル層ニハ、恩惠ヲ及ボシ得ザル制度デアル、醫療費ノ拂ヘナイ者ニハ恩惠ヲ及ボサナイノデアル、デアルカラ御醫者サンガ主觀的ニ如何ニ仁術ナリト考ヘラレテ居リマシテモ、其本質ニ於テ患者ガ來ナケレバ、病人ガ出來ナケレバ、決シテ食ッテ行ケナイ制度デアル、醫者ガ風邪ガ流行ラナケレバ、「インフルエンザ」ガ流行ラナケレバ食ッテ行クコトガ出來ナイ制度ガ、即チ開業醫制度デアッテ、本人ノ主觀的意思ニ拘ラズ、是ハ非人道的ニシテ不合理ナル制度デアルカラ、斯ノ如キ制度ヲ以テシテ病人ヲ積極的ニ減ラシ、豫防醫學デアルトカ、或ハ積極的ニ體位向上ニ寄與貢獻スル所ノ社會醫學等ニ進出スルコトガ出來ナイノハ、開業醫制度ノ現況ヲ現ハスモノデアルト考ヘルノデアリマス、此點ニ付テ內務大臣ハ如何ニ御考ニナッテ居ルカ、隨テ私ハ今日ニ於キマシテハ、我國醫療制度ハ其本體ヲ開業醫制度ニ置クベキ時代ハ過去ッタト斷定スルノデゴザイマス（拍手）

次ニ無醫村ノ問題ニ付テ私ハ考ヘタイ、無醫村ニ內務省ガ寄付金ヲ以テ如何ニ診療所ヲ御作リニナッテモ醫者ガ行カナイ、何故無醫村ニ今日ノ制度ヲ以テシテハ醫者ガ行カナイカ、私ノ見ル所ヲ以テスレバ、無醫村ニ醫者ガ行カナイノハ、經濟的ノ理由ト、技術的ノ理由ト、文化的ノ理由トガアル、經濟的ノ理由ハオ金ガ入ラヌカラ行カナイノデアル、是ハ明白デアル、國民健康保險法ハ、此點ニ付キマシテハ一ツノ問題ヲ解決スルト考ヘル、第二ハ技術的ノ理由デアルガ、今日ノ如ク專門ニ分レ、「レントゲン」ヲ持チ、血清ノ檢査ヲシ、內科、外科、產科ト分レマシテ、專門化シテ、之ヲ綜合化シテ病院組織ニシナケレバ、完全ナル治療ヲ爲シ得ナイ、山ノ中ヘ醫者ガ行ッテ、顯微鏡モ持タズ診療サセテ、鍼井竹庵ノ眞似ヲシヨウト云フモ、技術ヲ愛スル醫者ハ、金ヲ幾ラ出シテモ行カナイ、此醫療技術ノ點ガ、即チ無醫村ニ醫者ノ行カナイ理由デアルト私ハ考ヘルノデアル、更ニ文化的理由トシテ、大學ヲ出、專門學校ヲ出タ醫者ガ、寂漠荒寥タル山村ニ於テ、教養モナイ民衆ト共ニ居ルコトニ付テ、今日ノ醫者ガ行クコトヲ拒ンデ居ル、此三ツノ點ヲ解決シナケレバ駄目デアル、私ハ無醫村ニ醫者ヲ配置スル所以ノモノハ、三井財閥ノ恩惠ニ依ルノデナクシテ、醫療組合ノ制度ニ依ル本院ヲ作ッテ、其分院ニ醫者ヲ配置スル、サウスレバ分院ニ行キマス醫者ハ、本店支店ノ關係ニ於テ、專門的ニ本院ノ「レントゲン」モ利用出來ルカラ、一定ノ特定手當ヲ出セバ技術的良心ヲ滿足サセテ、無醫村ヘ喜ンデ赴任スルト云フ點ニ於テ、統制的醫療制度デアル醫療組合ニ依ル外ハ、無醫村ニ醫者ヲ配置スル途ガナイト私ハ考ヘルガ、其點ニ付テ內務大臣ハ如何ニ御考ニナルカ、而シテ更ニ此結果ハ、開業醫自體ノ生活難トナッテ襲ヒ掛ッテ來タノデアル、村ヘハ醫者ハ行カナイ、町ニハ醫者ガ餘ッテ居ル、然ルニ今日ノ狀態ニ於キマシテハ、醫者ハ一體町ニ居ッタッテ、流行ルカ流行ラナイカハ神樣ヨリ知ラナイ、食ッテ行ケルカ食ッテ行ケナイカ、全ク博奕打ト同ジデアル、流行サヘスレバ、今日ノ狀態ヲ以テスレバ、ソレハ倉ノ出來ルコトハ明デアル、患者ガ來ルカ、來ナイカ向フ樣委セデアル、何万圓カ借金シテ玄關ヲ開イテ待ッテ居テモ、是ハ信濃川ニ釣糸ヲ垂レテ居ルノト同ジデ、御客ガ引懸ッテ來レバ儲カルガ、引懸ッテ來ナケレバ儲カナイト云フ所ニ、今日ノ開業醫制度ノ博奕性アリト私ハ考ヘルノデゴザイマス、國家ガ澤山ノ金ヲ使ヒマシテ、御醫者サンヲ養成致シマシテ、ソレガ生活ノ不安ニ曝サレルト云フ制度ハ、極メテ不合理デアル、一定ノ人口ニ一定ノ醫者ヲ配シ、「メデカル・センター」及ビ「ヘルス・センター」ヲ置キマシテ、即チ網ノ目ノ如ク統制的醫療行政ヲ行ヒマスコトハ、我國ニ於ケル醫療分布ノ問題ヲ解決スル所以ナリト考ヘルガ、河原田內務大臣ハ此點ニ付テ如何ニ御考ニナルカ、私ハ拜承スタイノデアル、故ニ醫療制度ハ醫療國營ノ方向ニ向ッテ進ムカ、然ラズンバ非營利主義ノ共同的ナ、計畫的醫療制度ニ向ッテ進マナケレバナラヌ段階ニアルト考ヘルノデゴザイマスガ、私ハ今日醫療利用組合ガ非常ナ反對ガアリマスルニモ拘ラズ、續々トシテ出來ツヽアル所以ニ云フモノハ、開業醫制度ノ深刻ナ行詰リニ面シテ、民衆ガ自然發生的ニ、民衆ノ創造力ニ依ッテ共同シテ作リマシタノガ、即チ今日ノ醫療組合竝ニ醫療同盟ノ組織ナリト云フコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、開業醫制度ニ反抗致シマシテ、或ハ之ニ反撥致シマシテ出來マシタ制度ト致シマシテハ、開業醫制度ノ缺陷ヲ改メル爲ニ出來マシタ制度ト致シマシテハ、實費診療所ガアリ、醫療組合

ガアリ、慈善病院ガアリ、而シテ官公立ノ所謂公立病院ガアル、所ガ此官公立ノモノニ對シテハ、醫師會ハ手ヲ下スコトハ出來ナカッタケレドモ、醫療組合、實費診療所、醫療同盟、慈善病院等ニ付キマシテハ、遂ニ醫師會ノ政治的勢力ヲ以テ、昭和八年醫師法ヲ改正シテ、非醫師ノ經營スル實費診療所ノ途ヲ杜絶致シマシタ點ニ於キマシテモ、私ハ醫師會ノ反動性ガ鼓ニ現レテ居ルモノデアルト云フコトヲ考ヘザルヲ得ナイノデゴザイマス、醫療組合ノ問題ニ付キマシテハ、一昨日ノ議場ニ於テ、實ニ無智ニシテ低劣ナル御批評ヲ拜承シテ、天下ノ諸君ト共ニ私ハ憤リヲ感ジタノデアル、一體アンナ材料ヲ何處カラ取ッテ來タカ、アレハ皆嘘デアル、是ハ後カラ申シマスガ、醫療組合ハ一體何處カラ出來タカ、日本ニ於ケル流行ハ東京カラ流行ッテ來ル、醫療組合ハ東京カラ出來タノデハナイ、最モ醫者ニ困ッテ居ル、最モ文化ニ遲レテ居ル青森、秋田、岩手ニ於テ、農林省ノ奬勵ヲ俟タズ、自然發生的ニ、民衆ノ創意ト協同ノ手デ出來上ッタノガ、卽チ醫療組合ノ制度デアルト云フコトヲ申上ゲルノデアル、醫療組合ノ光ハ北方ヨリ來ル、醫療組合運動ヲ、私ハ昭和年代ニ於ケル「ワット」ノ蒸汽機關ノ發明ニモ比スベキ、偉大ナル文化ニ對スル寄與ナリト考ヘテ居ルノデゴザイマス

諸君、今日政府ガ提出サレマシタ保健所法案ニ對シマシテ、日本醫師會ガ一度大會ヲ開キマスレバ、此法案ノ運命ガ危ブマレル程、此醫師會ハ力ヲ持ッテ居ルノデアル、地方ニ於キマシテ縣醫師會ガ擧ッテ反對シ、日本醫師會ガ擧ッテ反對致シマスル中ニ於テ、民間ノ微々タル力ヲ以テ、其反對ト鬪ヒマシテ、有ユル困難辛苦ヲ致シマシテ、青森ヨリ秋田、秋田ヨリ新潟、岩手、石川、九州ト及ンデ參リマシタ、我國醫療組合運動コソハ、實ニ殉難者ノ運動デアッタト云フコトヲ、苦勞ヲシタ代議士ハ、ソレ位ナコトガ分ラナケレバ――醫師會ノ「パンフレット」ヲ持ッテ、ソンナコトヲ言ッテ居ッタンヂヤ、此次ハ必ズ落選スルト云フコトヲ、私ハ豫言シテ置クノデアル(拍手)而モ青森縣ニ於テ出來マシタ事例ヲ吾々ハ考ヘテ見テモ分ルケレドモ、國家ハ必要ガアリマスルナラバ、日用品ノ値段ヲ下ゲマスル爲ニ、公設市場ヲ作ッテ値段ヲ下ゲテ居ル、小賣商人ノ如キ弱者ノ地位ニ在ルモノデアッテモ、是ガ値段ヲ上ゲタノデハ、消費者ニ影響スルト云フ際ニ於テハ、公設市場ヲ作ル、家賃ヲ下ゲマスル爲ニハ、公營住宅ヲ作ルノデアル、醫師會ハ獨占的ナ「ギルド」團體タル特權團體ニ依ッテ、是ヨリ安クスルト罰金ヲ取ルト言ッテ頑張ッテ居ル、民衆ノ收入ガ之ニ及バナイ、ダカラシテ小賣商人ノ暴利ヲ抑ヘル爲デモ公設市場ヲ作ラシテ居ルナラバ、何ガ故ニ醫師會ガ動モスレバ横車ヲ押サウト云フコトヲ牽制スル一ツノ牽制劑トシテ、醫療組合ガ出來ルコトヲ、今日モット政府ハ奬勵シナイカト云フコトヲ、私ハ社會政策ノ見地ヨリ御尋ヲセザルヲ得ナイノデゴザイマス(拍手)

諸君、而モ醫療組合ガ出來マシタ結果ハドウダ、青森縣ニ於キマシテ、青森市カラ一里出ルト往診料ヲ十圓取ッテ居ッタノガ、醫療組合ガ出來タ結果一圓ニ下ッタ、博士ノ診察料ガ只ニナッタ、醫療費ハ青森縣ノ發表致シマシタ發表ニ依レバ――私ノ聞キマシタ發表ニ依リマスルナラバ、一人三十一圓ノ醫療費ガ、殆ド九圓、十圓ニ下ッタ、一戶ニ付テ、是ガ出來タ結果、雙方ノ勉强ニ依ッテ非常ニ下ッテ、農村更生ノ上ニ於テハ非常ナ重大ナル意義アリト云フコトヲ、初メテ青森縣當局ガ悟ッタト云フ事實ヲ、私ハ拜承シテ居ルノデゴザイマスケレドモ、是ガ出來テ、ソレヂヤ開業醫ガ食ヘヌヤウニナッタカ、食ヘヌヤウニナラナイ、開業醫モ特權ノ惰眠ヨリ覺メテ、努力シタ、又勉强シタ、醫療組合ト開業醫ト切磋琢磨シテサウシテ時代ト共ニ醫療費ガ下ッテ參リマシテ、民衆ノ負擔力ト合ヒツヽアルト云フ所ニ、醫療組合ノ大キナ社會性ガアルト云フコトヲ、認識セザルヲ得ナイト考ヘルノデゴザイマスルガ、河原田內務大臣ハ此點ニ付テ如何ニ御考ニナッテ居ルカ(拍手)

隨テ私ハ卽チ今日以後ノ醫療制度トシテ、非營利ヲ原則トシテ――營利主義デナイ、非營利主義デアリ、相互扶助主義デアリ、而シテ自力更生ノ精神ヲ持チ、計畫的ニ統制的デアリ、非營利デアルガ故ニ、豫防醫學ニ進出スルコトノ出來ル所ノ制度トシテ、醫療組合ノ如キハ實ニ私ハ適切ナル醫療制度デアルト考ヘテ居ルノデゴザイマス、況ヤ反産運動ヲ緩和スル上ニ於キマシテモ、醫療組合ダケハ皆助カルカラ、之ニ入ッテ與レ、御承知ノ通リ埼玉縣浦和ニ於キマシテハ、反産運動ノ此間迄ハ大家デアッタ米屋ノ諸君ガ中心ニナッテ、産業組合法ニ依ル醫療組合ヲ作リ出シタ、今度ハ醫者ガ産業組合法ニ依ル消費組合ヲ作ッテ、之ニ對抗シツヽアルト云フ事實ヲ、河原田內務大臣ハ御認メニナルカドウデアルカト云フコトヲ私ハ御伺シタイノデアル

兎モ角昨日行吉代議士モ申サレマシタ通リ、醫療ハ營業デナイト日本ニ於テモ規定サレテ居ル、ケレドモ今日ノ開業醫ノ制度ハ營利主義デアル、獨逸ノ醫師法デハ、醫師ハ各個人ト國民全體ノ健康ノ爲ニ、挺身貢獻スルヲ以テ職務トス、醫師ハ其法ニ規定セラレタル公務ヲ遂行スルモノトス、醫師ノ業務ハ營業ニ非ズト規定セラレテ居ル、我國醫師ニ付テモ、日本ノ法律ガ營業税ヲ取ラナイ點カラ見テ獨逸ト精神ハ同ジデアルト考ヘルガ、醫師ガ非營利デアルト云フ限リニ於テハ、今日ノ開業醫制度ダケニ委セルコトハナクシテ――併ナガラ私ハハ今アル開業醫ヲ潰セト言フノデハナイ、經過的ニ之ヲ認メテ、段々非營利病院ノ醫者ヲ醫者ノ無イ村ヘ配置スレバ、開業醫モ助カッテ來ルノデアルカラシテ、開業醫一本建主義デ行カズニ、開業醫制度ト醫療組合制度トヲ我國醫療ノ二大柱トシテ、之ヲ交交奬勵發達セシムル意思アリヤ否ヤト云フ

コトヲ、內務大臣竝ニ總理大臣ニ御聽ヲシテ置キタイト考ヘルノデアリマス(拍手)而シテ醫療組合ノ現數ニ付テ、昨日私ハ不眞面目ナル議論ヲ聞キマシテ痛憤ヲ感ジタ、一體何處カラア、云フ材料ヲ持ッテ來タカ、今日醫療組合ノ數ハ皆樣ガ御考ニナッテ居ルヨリカズット殖エテ居リマス、醫療組合ノ數ハ委員會ニ於テ農林省ニ一ツ材料ノ提出ヲ御求メナサイ、昭和十一年ニ於テハ二百バカリデハアリマセヌゾ、六百七十八出來テ居リマス、區域市町村數ハ十八市、二百五十五町、一千五百五十村ニ亙ッテ居ルノデアル、世帶數ガ四十一万五千九十三、其家族員數ニ至リマシテハ二百五十万ニ及ンデ居ルノデアル、而シテ赤字ガ大部分デアッテ、黑字ハ十七ト言ハレタガ、ドウ云フ數字デアルノカ、醫師會ノ發表シタ材料デアラウケレドモ、嘘ヲ言ッチヤイカヌ、赤字ノアリマスノハ僅カ六分カ七分、一割程度ノ赤字ダケデアッテ、其他ハ全部黑字ニ轉化シツヽアルト云フ事實ヲ、皆サンハ御承知デアルカドウカ、ノミナラズ黑字ニナラウガ、ソンナコトハ問題ヂヤナイ、是ハ相互扶助精神ニ依ル共同ノ組合デアル、皆ガ健康ニナリサヘスレバ宜イヂヤナイカ、信用組合、購買組合、販賣組合ノ剩餘金ヲ以テ、只デ組合員ヲ診テヤッテモ、全部缺損ニナッテモ、株式會社トハ違フノダカラ、ソレニ依ッテ農村ガ更生シ、健康ガ良クナレバ、是ハ赤字デモ結構デアル、寧ロ餘リ儲ケナイヤウニ之ヲ監督シナケレバイカナイノデアルニ拘ラズ、自分ノ頭ト向フノ頭トヲゴッチヤニシテ、儲カル〳〵ト言ハレルノデハ、國民ハ之ニ對シテ傾聽シナイト考ヘル、斯ノ如キ無責任ナル言説ニ對シテ、政府ノ權威ノ上ニ於テモ之ヲ訂正サレル意思アリヤ否ヤヲ、先ヅ伺ッテ置キタイノデアル(拍手)

次ニ我國ノ醫療ヲ阻碍致シマシタル大キナ理由ト致シマシテ、醫療行政ノ失敗致シマシタ大キナ事由ト致シマシテハ、醫師會ノ存在デアルト考ヘルノデアル、醫師會ハ御承知ノ通リ醫師法竝ニ醫師會令ニ依リマシテ、國法ニ依ッテ制定セラレタル公益法人デアル、而シテ醫師會ノ目的ハ何處ニアルカト云フナラバ、醫事衞生ノ發達ヲ圖ルコトヲ目的ト爲スノデアル、此醫師會ガ今日マデ日本ノ醫事衞生ノ發達ニ貢獻シタルヤ否ヤ、私ノ見ル所ヲ以テスルナラバ、醫師會ハ開業醫ノ利益、私利ヲ守ル「ギルド」同業組合ト化シ、殆ド醫事ノ發達ニ無貢獻デアッタバカリデナシニ、苟クモ良イ組織ニ對シマシテハ全力ヲ擧ゲテ是ガ反對ニ狂奔シタ、醫事衞生ノ發達ヲ妨害シタ組織デアッタト考ヘルノデアル(拍手)事實ニ就テ申上ゲルナラバ、第一ハ三千五百ノ村ニ醫者ガ居ラヌノヲ、日本醫師會ハ醫事衞生ノ發達ノ見地カラ、無醫村ニ醫者ヲ配置スルコトニ何等カノ對策ヲ效果的ニ實行サレタ事實ガアルヤ否ヤ、第二ニ醫師會ハ勢力爭ヒニ終始シ、其大會ハ終始勢力爭ヒデ徒消シ、何等社會ノ進歩ニ寄與スル言説ナク、徒ニ嗟嘆愁訴、開業醫華ヤカナリシ過去ヲ追フノミデアッテ、是ハ何ノ爲ニ大會ヲ開イテ居ルカ、心アル者ハ醫師會ノ大會ハ、地方大會タルト全國大會タルト、是ガ一體紳士ノ集マリデゴザイマスルカト言ッテ居ッタノガ、今日迄ノ實例ト私ハ考ヘテ居ルガ、此事實ヲ內務大臣ハ認メテ居ラレルノカ、而シテ開業醫ノ多クガ一タビ資格ヲ獲得セラレマスレバ、日進月歩ノ醫術ノ進歩ニ追隨スルコトヲ考ヘテ居ラナイカラ、醫師會ガ之ヲ指導シテ、强制的ニ引張ッテ、醫術ヲ「レベル」マデ上ゲナケレバナラヌガ、斯ノ如キ事ニ對シテ醫師會ハ何等カノ貢獻ヲ爲シタカ、而シテ醫事衞生ノ進歩ニ對シテハ、殆ド總テ反對シタノハ醫師會デアル、勞働者ノ健康保險ガ制定サレヤウトスルヤ、之ニ全力ヲ擧ゲテ反對シタノハ醫師會デアル、一タビ是ガ制定サレマスヤ、「サボタージュ」ヲシタノハ醫師會デアル(拍手)而シテ今日我國ノ勞働者ガ零細ナ金ヲ積ンデ居ッテ、サウシテ醫療內容ガ虐待サレタ、低下シテ居ルト云フ點ニ付テノ不平ノ大部分ハ、醫師會ノ態度ニアルト云フコトヲ、內務大臣ハ認メテ居ラレルカドウカ云フコトヲ承リタイ、而シテ醫藥分業ニ對シテ反對シ、衞生組合法人化ニ對シテ反對シ、更ニ實費診療所、個人又ハ市町村――多年鬪ッテ居ラレル鈴木梅四郎氏ノ實費診療所ノ鬪ヒハ、終始迫害ノ鬪ヒデアル、斯ノ如キモノニ反對シ、醫療組合ガ出來ルナラバ、惡イ材料ダケ持ッテ行ッテ之ヲ天下ニ放送シ、飽クナキ惡罵中傷ヲ加ヘテ、民衆ノ總意ニ依ッテ苦心慘憺シテ作ッテ居リマス醫療組合ヲ妨害シタノガ、卽チ醫師會ノ態度デアッタト考ヘルガ、內務大臣ハ此點ニ付テ如何御考ニナッテ居ルノデアルカ(拍手)而モ獨リ反産運動ノ尻馬ニ乘ッテ、醫療組合ニ反對サレタダケデハナイ、苟モ民衆ニ有利ナ施設ニハ全部反對シテ居ル、東京ノ中小工業者ガ實業組合聯合會ニ於テ實業病院ヲ作ッテ、店員ヤ自分達ガ經費低廉ニ良イ醫者ニ掛カラウト考ヘマシタラ、之ニ反對サレタノハ醫師會ヂヤナイカ、到頭醫師會ノ反對ニ依ッテ東京ニ於ケル中小工業者ノ實業病院ハ握リ潰サレタノデアル、中外商業新報社ガ横濱ニ於テ診療所ヲ作ラウトシタ時ニ、新聞社ノ診療所ニモ反對シテ居ルノハ、諸君、醫師會デハナイカ、而モ宗教團體デアル東京淺草ニ於ケル淺草寺、淺草ノアノ觀音サンノ淺草寺ガ病院ヲ作ッテ、サウシテ宗教團體ガ進出ショウトスル時ニ、大會ヲ開イテ、宗教團體ノ病院ニマデ反對スルニ至リマシテハ、良キモノニハ總テ反對スルト云フ譏リヲ受ケマシテモ、私ハ之ヲ免カルヽコトガ出來ナイト考ヘルガ、一體內務大臣ハ此點ニ付テ如何ニ御考ニナルカ承リタイノデアリマス(拍手)

而シテ更ニ今回ノ此保健政策ニ對スル醫師會ノ態度ハ一體何デアルカ、國民健康保險法ニモ反對シ、結核診療所ノ問題モ之ヲ握リ潰サセヨウトシ、或ハ保健所ノ問題モ握リ潰サセヨウトシテ居ル、斯ノ如キ態度(「馬鹿ナコトヲ言フナ」ト呼フ者アリ)サウ

チヤナイカ――吾々ノ不審ニ堪ヘナイ點ハ、昨日行吉代議士ガ本議場ニ於テ指摘サレマシタ如ク、內務省ガ警告ヲ發セラレマシタニモ拘ラズ、反對運動ノ政治資金トシテ秋田市デハ醫師一人ヨリ五圓ノ寄附ヲ取リ、神戸デハ十圓ヲ寄附ノ名義ニ於テ取リ、東京市醫師會ニ於テハ會長交際費ノ名前ニ於テ一圓ヅツヲ取リマシタト云フ事實ニ付テ、何等ノ取締ヲナサラヌ、是ガ一體醫事衛生ノ發達ヲ圖ルベキ公益法人ノヤルベキ仕事デアルカ、之ニ對スル取締ハ一體何ヲヤッテ居ルカト云フコトヲ私ハ承リタイ、而モ斯ノ如キコトニ依ッテ大騷ギヲヤッテ、サウシテソレノミナラズ虛僞ノ事實ヲ流布シタト云フ事實デアル、科學者ト云フモノハ善イ惡イニ拘ラズ事物ノ本質ヲ辨ヘナケレバ駄目デアル、醫者モ科學者デアル、然ルニ醫療組合ニ對シテ虛僞ノ放送ヲ爲シ、越ケ谷順正會ニ對シテ虛僞ノ放送ヲ爲シテ居ル、之ニ對シテ一體內務省ハ默ッテ宜イノデアルカ、越ケ谷町長ハアノ埼玉縣廳ノ百万圓事件ニ關シテソレニ連坐シタ、此町長ハ此順正會ニ對シテ反對シタ男デアル、反對シタ位遲レタ男ダカラサウ云フ事ヲヤッタノデアリマセウガ、ソレヲ醫師會ノ幹部ハ見テ來テ居リナガラ、全ク關係ノナイ瀆職町長ガヤッテ居ルノダカラ、順正會ナドハ問題ニモナラナイト言ッテ、國法ガ認メタ公益法人ノ大會ニ於テ公然叫ンデ居ル、嘘ノコトヲ承知シテ叫ンデ居ルコトニ對シテ、何等取締ヲナサラヌト云フコトハ、一體何事デアルカト云フコトヲ私ハ承リタイノデアル、而モ越ケ谷順正會ニ於ケル事實ハ私ハ二回行ッテ之ヲ見テ參ッタノデアリマス、昨日演說ヲオヤリニナリマシタ諸君ハ――是カラ後ニ立タレル田中養達君ハ行ッテ見ラレタサウデアルガ、昨日反對サレテ、越ケ谷順正會ノ惡口ヲ言ハレタ諸君ハ一遍行ッテ御覽ナサイ、目ト鼻ノ間ニアルモノヲ見テ來ズニ、醫師會ダケノ一方的材料ヲ其儘朗讀サレマシテハ、是ハ政治家ノ權威何處ニアリヤヲ私ハ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)而モ越ケ谷順正會ノ出來マシタ歷史ヲ調ベルナラバ、私ハ越ケ谷順正會ノ歷史ニ付テ淚ナキヲ得ナイ、御承知ノ通リ越ケ谷ノ町政ガ紊亂シテ、サウシテ町債ガ嵩マッテ、非常ニ戸數割ハ多クナッタ、稅金ノ滯納者ガ多クナッテ來タ、ソコデ納稅組合ヲ作リマシテ、町ノ有志ガ每日掛金ヲ集メニ行ッテ滯納ヲ減ラサウトシタノデアル、サウシテヤッテ居ッタ所ガ、每日金ヲ集メニ行クト、病氣デ氣ノ毒デ取レナイノガ出テ來ル、是ハ何トカ納稅ヲ完納サセル爲ニハ醫療保護ヲヤラナケレバイカヌト云フノデ、納稅組合ノ運動ガ卽チ順正會ノ運動トナリ、國民保險法ノ類似組合トナッタノデアル、關係當事者ノ苦心慘憺タルヤ殆ド無報酬デ以テ連日連夜奮鬪サレマシタ、其努力ニ對シテ、而シテオ醫者サンノ收入ガ却テ良クナッテ居ルノニ對シテ、良クナッタト云フ報告ハ之ヲ削ッテ、惡クナッタト云フ報告ダケ「パンフレット」ニシテ出ス、斯ノ如キ虛僞ナル事實ヲ放送スルニ付テ、內務大臣ハ何等ノ取締ヲナサラヌト云フコトハ何事デアルカト云フコトヲ私ハ承ハリタイノデアリマス

○議長(富田幸次郎君)　三宅君ニ御注意致シマス、制限時間ハ超過致シマシタ、御注意ヲ願ヒマス

○三宅正一君(續)　醫師會令第三十五條第一項ニハ次ノ如キコトガアル「內務大臣ハ日本醫師會ノ議決又ハ施行スル事項ガ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ理由ヲ示シテ其ノ議決ヲ取消シ、其ノ施行スル事項ノ廢止、停止若ハ變更ヲ命シ又ハ其ノ解散ヲ命スルコトヲ得」トアル、斯ノ如キ行動ガ公益ニ反シテ居ルコトハ明白デアル、內務大臣ハ日本醫師會ニ對シテ、醫事衛生ノ發達ヲ妨害シ、斯ノ如キ國策ノ遂行ヲ妨害スル私利私慾ノ團體化シテ居ル日本醫師會ニ對シテ、之ニ解散ヲ命ゼラレルコトガ法ノ精神ヨリシテ適當ナリト考ヘルガ、ドウ考ヘルカ、是ハ單ニ私ガ言フノデハナイ、醫師會ノ內部ノ進步的ナオ醫者サンヤ、平醫者ハ、吾々ハ醫師會ノ幹部ノヤリ方ニ反對デアルカラ、ドウカヤッツケテ吳レト言ウテ種々ノ材料ガ我共ノ手許ニ入ッテ來テ居ル時ニ、斯ノ如キコトニ付テ明確ナ答辯ガナイナラバ、第二質問ニ於テ私ハ勞働者健康保險ニ於テ頭ヲハネタリ、色色ノ酒色ニ使ッタリシテ多クノ累積セル材料ニ依ッテ、斯ノ如キ取締怠慢ヲヤラレマシタ內務當局ヲ糺彈スルト共ニ、色々ノ事實ヲ暴露シテ質問ヲシタイト考ヘルガ、之ニ付テ明確ナル御答辯ヲ得タイモノデアル(拍手)

時間ガナイト言ハレマスルノデ、更ニ私ハ醫師會ノ問題ニ付キマシテ、斯ノ如キ狀態ナルガ故ニ醫師法、醫師會令等ヲ改正シテ、時代ニ卽シタ醫師法トシ、醫師會令トシテ、醫者ガ總テ衛生發達ノ爲ニ努力スルコトノ出來ルヤウニ醫師法、醫師會令ヲ改正サレル意思アリヤ否ヤト云フコトヲ承ッテ置キタイノデアリマス

更ニ私ノ見ル所ヲ以テスレバ今日ノ醫療ノ低下ト云フモノハ、醫學教育ノ徹底的失敗ニアルト考ヘル、時間ガナイカラ私ハ詳クハ申上ゲマセヌ、唯例ヘバ保健所ヲ內務省ガ御造リニナッタ所ガ、今ノ醫學校ヲ出タ醫者デ以テ保健所ノ仕事ガ出來ルカ、今ノ醫者ハ個人ノ脉ヲ診ルコトシカ知ラナイ、社會衛生學ヲ知ラズ、統計學、社會學ヲ知ラズ、經濟學ヲ知ラナイ、斯ノ如キ醫者ガ保健所ニ頑張ッテ居ッテモ、結局ハ病人ガ來テモ其環境ヲ良クスルコトヲ指導ズルコトガ出來ナイ、勞働條件ヲ指導スルコトガ出來ナイ、オ前ハ風邪ダカラ「アスピリン」ヲ飲ミナサイト云フコトデ、保健所ノ「ヘルス・センター」ガ「メディカル・センター」ニナルヨリ仕方ガナイ、此一點ヲ以テシテモ今日ノ醫學教育ハ根本的ニ改正サレ、更ニ人格ニ付テモモット培養サレル途ガ必要デアルト考ヘルガ、如何御考ヘデアルカ承リタイノデアリマス

更ニ此失敗ハ藥劑師ヲ尊重シナイ點ニアル、醫師會ノ勢力ヨリ藥劑師ノ勢力ガ弱イカラ、藥劑師ヲ尊重スルコトヲ知ラズ、藥劑師ノ使命ヲ果サセテ居ナイ、賣藥ノ番頭ノヤウナコトシカヤッテ居ナイ、コンナコトデハイカヌ、藥劑師モ醫者ト同ジ立場ニ立ッテ、出來ルダケ醫藥分業ノ原則ヲ確立スルト共ニ、醫者ト共ニ國民保健向上ノ爲ノ指導員トシテ、之ヲモット尊重スル態度ヲ執ラレルコトガ私ハ正シキ政治ト考ヘマスガ、內務大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ

更ニ私ハ最後ニ勞働者保護ノ法規ノ缺如ガ今日勞働者ノ健康ヲ惡クシテ居ル原因デアルト思フ、コンナ狀態デ健康ガ惡クナッテ行クコトハ分リ切ッタコトデアル、然ルニ今日日本ノ勞働者ハ十二時間、十三時間、十四時間モ働カサレテ居ル、幼年工ヲ使用セルコト、工場設備ノ劣惡、女工其他ガ結核ニナルト風邪ト云ッテ總テ田舍ニ歸ヘス、私ハ委員會デ以テ內務大臣ニ材料ヲ以テ迫リタイト考ヘルガ、勞働法規ノ完備、勞働者保護ニ付テ考ヘナケレバ衛生ハ駄目ナリト考ヘルガ如何デアルカ

結論ヲ申上ゲル、以上ノ諸原因ヲ把握シテ鞏固ナル國策トシテノ一省ヲ設ケ、其長官ハ內務大臣、大藏大臣、陸海軍大臣以上ノ實力ヲ持タセナケレバ國民體位向上ハ出來ナイト考ヘルガ、內務大臣ハ之ニ對シテ必要ト考ヘラレルカ、不必要ト考ヘラレルカヲ承リタイノデアリマス、偖テ、私ハ愈々本論ニ入リタイノデアリマスルガ、今回提案ノ健康保險諸法案ニ對シマスル――モウ時間ガアリマセヌカラ細目ハ殆ド委員會ニ讓ル、但シ重大ナル點ダケハ申上ゲタイ、第一私ガ問ヒタイ點ハ、今回ノ國民健康保險法ハ十年ニ亙ル勞働者健康保險ノ貴重ナル體驗ヲ基礎トシテ、其短所ヲ捨テ、長所ヲ御採リニナッテ、經驗ヲ十分ニ攝取サレタカドウカト云フ點ヲ承リタイ、第二ハ醫療費一部負擔ノ問題ニ付テ承リタイ、第三ハ保險金負擔方法ニ關スル問題ニ關シテ承リタイ、第四ハ、補助金ノ問題ニ付テ承リタイ、併ナガラ是ハ私ハ時間ヲ省キマシテ申上ゲマセヌ、唯重要ナル問題三點ニ付テ申上ゲル、第一ハ、此保險制度ハ窮迫セル農民ノ爲ノ制度ナルガ故ニ、醫師ノ民衆搾取機關タラシメザルコトガ必要デアル、第一、醫師會ノ發表ニ依リマシテモ、農村ニ於テハ醫療費ノ五割ハ不拂ニナッテ居ルノデアル、隨テ國民健康保險組合ガ出來ルナラバ、ソレガ全部組合カラ拂ハレマスカラ、醫者ノ收入ハ倍ニナル勘定デアル、而シテ今マデハ富山ノアンポン丹ヤゲンノショーコデ辛抱シテ居ッタ連中ガ、今度ハ醫者ニ掛ルカラ患者ガ殖エル、之ニ依ッテ醫者ノ收入ハズット殖エル、ダカラ私ハ醫療費ノ單價ニ付テハ、勞働者ノ健康保險ノ單價ノ程度マデ下ゲロト申上ゲルノデハナイケレドモ、少クトモ相當ノ程度之ヲ下ゲテ、醫者モ生活ガ安定スルガ、併ナガラ農民ノ生活ハ之ニ依ッテ尚ホ安定スルト云フ所マデ下ゲマシテ、單價ガ下ッタカラト云ッテ、醫療內容ノ低下シナイヤウニスル用意ヲシナケレバナラヌト考ヘルガ、其點デ私ハ醫師會トノ團體契約ニ對シテ絕對反對デ、原案ヲ支持シタイト考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テ內務大臣ハ確ッカリシタ肚ガアルカドウカ承リタイノデアリマス

更ニ私ハ一番重大ナ問題ハアト二點デアルガ、先ヅ醫師會トノ團體契約ノ問題ニ付テ申上ゲタイ

○議長(富田幸次郎君)　成ベク簡單ニ願ヒマス

○三宅正一君(續)　醫師會ガ團體契約ヲ主張シテ居リマス唯一ノ理由ハ、醫師選擇ノ自由ト云フコトナンデアリマス、掛リタイ醫者ニ誰デモ掛レルヤウニシロト云フコトガ、醫師會ノ主張スル所以デアルガ、今日ノ勞働者ノ健康保險ハ、醫師會ト團體契約ヲシテ居リナガラ、開業醫五万ノ中三万二千位シカ保險醫ニナッテ居ラナイ、一万八千ハ保險醫ニナッテ居ラナイ、隨テ開業醫ガ居リナガラ、保險醫ガ居ラナクテ、被保險者ガ健康保險ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ナイ村ガ、內務省ノ發表ニ依ルト三百九十三町村、其村ニハ五百二十二人ノ醫者ガ居ル、而シテ被保險者ハ一万八千七十九人アリマスガ、保險醫ガ居ラナイ爲ニ掛レナイ、工場數ニ於テハ千三百六十ガ掛レナイ、東京市內ニ於キマシテハ開業醫ハ七千人デアルガ、保險醫ハ四千人位シカナラナイカラ、團體契約ヲヤッテモ、三割以上ハ實際ニ於テ保險醫ニナッテ居ラナイト云フ事實ハ、團體契約ト云フモノハ駄目デアルト云フコトノ、私ハ具體的ナ證據デアルト考ヘルノデアル(拍手)特ニ酷イノハ聖路加病院ニ於テ三十人ノ醫者ガ居リマスガ、稻田博士、鹽田博士等ノ如キ、東大ノ教授ヲヤラレマシタ權威者ハ、保險醫ヲ受ケテ居ラナイノデアル、十人位上ノ方ノ醫者ハ保險醫ヲ受ケテ居ラナイ、後ノ貧弱ナル醫者ニシカ被保險者ハ掛レナイノデアル、何ノ爲ニ日本醫師會ト云フ團體契約ヲスルノデアルカ、ソレダケデハナイ、醫療組合ノ醫師ヨリ保險醫ヲ剝奪シ、工場醫局ヨリ保險醫ノ權利ヲ剝奪シテ居ル、ソレダケデハナイ、更ニ甚シキニ至ッテハ、醫師會ノ幹部ノ御機嫌ヲ損ジテ居ル開業醫カラハ、ドシドシ保險醫ヲ剝奪シテ居ルト云フ、此不合理ナル事實ニ付テ、內務省ハ之ヲ御認メニナッテ居ルカドウカト言フノデアル、現ニ御承知ノ如ク吉岡彌生女史、是ハ女子醫專ヲ經營シテ居ラレ、病院ヲ二ツ持ッテ居ラレルガ、數年前千歳烏山ニ分院ガ出來タ、其處ニハ入院設備ノアル醫者ハナイ、併シ被保險者ハ千人以上モアルノデ、警視廳デモドウカ其病院ヲ健康保險病院ニ指定シタイト希望スルケレドモ、醫師會ノ幹部ハ吉岡女史ノ數年前出シタ保險醫指定願ヲ握潰シテ保險醫ニ指定セズ、立派ナ設備ガアッテモ、其地方ノ者ガソレヲ利用出來ナイ、サウシテ會費ダケハ彌生女史ハ取ラレテ居ルト云フ狀態デアルト云フコトデハ、是ハ公益法人ノ趣旨ニ反スルシ、是デハ團體契約主義ト云フモノハ、絕對ニ駄目デアルト云フコトヲ、私ハ御認メニナルト思フガドウカ、ソレダケデハナイ、大阪市醫師會保險部長西起三郎ト云フ人ハ、杏林時報ニ團體契約ノ不可ヲ論ゼラレテ居ル、ソレカラ所謂倉敷勞働科學研究所ト云フ權威アル團體、八幡製鐵所、鐵道病院等ガ團體契約主義ヘイケナイ、制限撰擇主義ガ監督ガ出來テ宜イ、若クハ工場醫局制度ガ宜

イ、專屬醫制度ガ宜イト云フコトヲ、本當ニ勞働者ノ保護ノ見地カラシテ進言シテ居ル事實ヲ、御認メニナラナカッタカドウカ、私ハ是ダケ承リタイ

最後ニ第九條ノ代行問題デアル、第九條ノ法文ヲ其儘讀ミマスト「營利ヲ目的トセザル社團法人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケ組合ノ事業ヲ行フコトヲ得」トアリマスガ、國民健康保險ガ旨ク行クカ行カナイカハ此一條ニ懸ルト思フ、何モ醫療組合ダケノ問題デヤナイ、商業組合ニモ御委セニナッタラ宜イ、工業組合ニモ御委セニナッタラ宜イ、醫療組合ニ委セルダケデナシニ、産業組合ニ御委セニナレバ宜イ、農村デハ組合ガ多過ギテ困ル、前ノ質問者ガ言ッテ居ラレル通リ、四百戸五百戸位ノ村デ新シイ組合ヲ作ッタッテ駄目デス、産業組合ニ併設サレルナラバ事務費モ儉約ガ出來ルシ、基礎モ鞏固ニナル、信用、販賣、購買ノ剩餘金等ヲ運用スレバ、組合員ニ苦痛ヲ與ヘナイト云フ意味ニ於キマシテモ、亦御醫者サンノ支拂ヲ滯ラセナイト云フ意味ニ於キマシテモ、産業組合ニオヤラセニナッタ方ガ、却テ御醫者サンノ爲デモアルト云フ點ヲ、私ハ主張シタイノデゴザイマス、此點ニ付テ內務大臣ハ如何ニ御考ニナルカ

○議長（富田幸次郎君）　三宅君、更ニ注意ヲ喚起シマス

○三宅正一君（續）　モウ一點申上ゲル、ソレハ何デアルカト云フナラバ、一體越ケ谷ノ順正會ノ成功シテ居ルノハ、納稅組合ト云フ相互扶助組合ノ訓練ガ既ニ出來テ居ルカラデアル、勞働者ノ健康保險デ成功シテ居ルノハ、工場、鑛山ニ於ケル共濟組合ガアッテ、互助組合トシテノ訓練ガ出來テ居ルコトガ成功シテ居ルノデアル、隨テ産業組合ノ此相互扶助ノ訓練ノ出來タ所へ持ッテ行カナケレバ、國民健康保險組合ハ成功シナイノデアルカラ、此點ニ付テハ飽マデ原案ヲ支持シテ、全國ノ農民ノ爲ニ頑張ル意思ガアルカドウカト云フコトヲ、更ニ私ハ最後ニ念ヲ入レマシテ、內務大臣ノ丁寧ナル御答辯ヲ希望スル次第デアリマス

（國務大臣河原田稼吉君登壇）

○國務大臣（河原田稼吉君）　只今三宅サンカラ實ニ傾聽スベキ御言葉ト御意見ヲ承リマシテ、私共保健行政ニ當ル者ニ付テハ、非常ナ參考ニナッタノデアリマス、尙ホ國家ノ發展、國民ノ體位ノ上昇ト云フコトニ付テハ、單ニ醫療問題バカリデナク、各種ノ方面カラ卽チ勞働行政ノ方面、或ハ榮養ノ方面、サウ云フモノト綜合的ニヤッテ行カナケレバナラヌト云フコトニ付キマシテハ、洵ニ御同感デアリマシテ、是等ノ點ニ付キマシテ十分ナル勉强ヲ致シタイト思ヒマス、唯保健省等ヲ作ルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテヘ、先程私ガ御答致シマシタヤウニ、行政機構一般ノ問題トシテ、今日尙ホ御答スル時機ニ到達シテ居リマセヌ、サリナガラ私ハ不敏デハアリマスガ、保健行政ヲ擔任スル者トシテ、別ニ獨立機關ノアルト否トヲ問ハズ、保健行政ニ付テハ全責任ヲ以テ努力致ス積リデアリマスカラ、御諒承ノ程ヲ願ヒマス、團體契約ヲ法規ノ中ニ公定ヲシテ、之ヲ强制スルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、私ハソレニハ反對デアリマス、第九條ノ點ニ付キマシテハ、是ハ色々御意見ガアルヤウデアリマスルガ、餘リニ範圍ヲ擴メルト云フコトハドウデアラウ、餘リニ範圍ヲ擴メルノハ却テ宜シクナイヤウニ思フノデアリマス

（三宅正一君登壇）

○三宅正一君　只今內務大臣ハ、私ノ質問致シマシタ數々ノ點ニ付テ、殆ド三ツカ二ツシカ御答辯ヲ得ナカッタノデアリマスケレドモ、自分一人デ時間ヲ取リマスルコトハ甚ダ恐縮デアリマスルノデ、私ハ一點ダケヲ伺ッテ置キタイト考ヘルノデゴザイマス、卽チ勞働保護ニ關スル規定ガ缺ケテ居ル點ガ、非常ニ勞働者ノ結核ヲ多クシテ居ル、死亡率ヲ高クシテ居ル、ソコデ昔カラ見マスルナラバ、勞働者ノ數モ、工場ノ數モ、勞働强化モ、非常ニ多クナッテ居ルノデアルカラシテ、勞働者ノ工場衞生監督官ト云フモノヲモット御殖シニナル意思ガアルカドウカ、之ヲ私ハ希望ト共ニ伺ッテ置キタイト考ヘルノデアリマス

更ニ私共ハ本法ニ付キマシテ、非常ナ重大性ヲ感ジテ居ルノデゴザイマス、御承知ノ通リ本法ガ出ルニ至リマシタ動機ト云フモノハ、一昨日ノ議場ニ於テ、或ル代議士ガ申サレマシタ通リ、是ハ郵便貯金ノ利息ガ下ゲラレタ結果ト致シマシテ、此法案ガ出テ參ッタノデアル、社會政策ト云フモノハ、金持ノ方カラ取ッテ來テ、貧乏人ノ方ヲ潤スノガ、社會政策デアルト考ヘテ居ッタラバ、此社會政策ハ貧乏人ノ貯金ノ利息ヲヘッツテ、ソレデ貧乏人ヲ助ケテヤラウト云フ、コンナ蛸配社會政策ハ拜見シタコトハナイ、貧乏人ノ貯金ヲヘッテオヤリニナル社會政策デアルナラバ、何處マデモ勤勞大衆ノ爲ニナル社會政策ヲヤッテ戴カナケレバナラヌト私ハ考ヘマス、特ニ交付金問題ニ付テ、農村議員ハ全部奮起シタノデアリマスルケレドモ、階級的ニ見マスルナラバ、交付金ノ問題ヨリモ、貧農ニ取ッテ此法案ノ影響ハ大キイノデアル、交付金ガ廢止ニナッタッテ、戸數割五十錢納メル者ハ三十錢ノ影響シカナイ、三十錢納メル者ハ二十錢ノ影響シカナイノデアリマスルケレドモ、此法案ガ通ルナラバ、一家ノ家族五人トスレバ、一軒ニ付テドンナ貧乏ノ家デモ五圓ノ補助金ノ恩澤ガ及ブト云フ點ニ付キマシテハ、交付金ノ問題ヨリモ、階級的ニ見ルナラバ、私ハ貧農ニ取ッテ重大ナル問題デアルト考ヘルノデゴザイマス（拍手）私ハ此點ニ付キマシテ、若シ政府ニ於カレマシテモ、議會ニ於カレマシテモ、此點ニ付テ交付金ダケノ熱意ヲ議會ガ示スコトナク、醫師會等ノ策動ニ依ッテ、之ヲ改惡スルガ如キコトガアルナラバ、全國ニ於ケル勤勞大衆ハ、議會ハ結局地主、資本家ノ本據デアルト云フコトヲ考ヘルデアラウト云フコトヲ、私ハ警告シテ置キタイト考ヘルノデゴザイマス（拍手）此點ニ付テ重ネテ內務大臣ノ御決意ヲ伺ッテ置キタイト考ヘルノデゴザイマス（拍手）

（國務大臣河原田稼吉君登壇）

○國務大臣（河原田稼吉君）　産業ノ發達ニ連レマシテ、工場、鑛山等ニ於ケル勞働者ノ保健衞生ノ助長、監督ニ付テ、モット意ヲ致スベキモノデアルト云フコトニ付キマシテハ、全ク御同意デアリマス、ソレ等ノ手段方法等ニ付テ、更ニ又勞働法制ト云フモノヲ、此時勢ニ合フヤウニ再檢討スル必要アリヤ否ヤニ付テモ、十分當局トシテハ調査研究ヲ致シタイト思ッテ居リマス、唯實際ノ働キトシテハ、工場監督官等ノ數ヲ增サヌデモ、ヤハリ其目的ヲ達スルヤウニ、大體ノ方針ヲ決メテ努力ヲ致ス積リデアリマスカラ、左樣御諒承ヲ願ヒマス、更ニ此問題ハ私トシテハ交付金ニモ劣ラザル――交付金ノ問題モ極メテ重要デアリマスルガ、是ニモ劣ラザル重要ナル問題ト存ジマス

○三宅正一君　只今ノ御答辯ニ付キマシテモ、不滿足ノ部分ハ多々アリマス、併シナガラ私共ハ所謂社會立法ニ對シマシテハ、常ニ政府ノ原案ヲ維持スルコトガ、吾々ノ力ノ最高限度デアル、退職積立金法案ニ於テ、是ガ改惡サレヤウトシ、或ハ此法律ガ改惡サレヤウト云フ事實ニ對シマシテハ、私共少クトモ原案ヨリハ惡クサレナイ程度ニ於テ、議會ヲ通シタイト云フ熱意ヲ以テ、國家ノ爲ニ奮闘シタイト考ヘルノデアルカラ、政府當局ニ於テモ腰ヲ決メテ、若シ斯ノ如キ問題ガ通ラナカッタナラバ、解散ヲ賭シテモヤルト云フ御覺悟ヲ以テ當ラレンコトヲ望ミマス（拍手）此議會ニ於テ、私ハ一言取消ヲ申シテ置キタイト考ヘルノデアリマスルガ、先程富山ノアンポン丹ト申シマシタノハ、千金丹ノ間違デアリマスカラ、取消シテ置キマス

○議長（富田幸次郎君）　此際土倉宗明君ヨリ議事進行ニ付テ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許可致シマス――土倉宗明君

（土倉宗明君登壇）

○土倉宗明君　本案上程中、三宅正一君ノ質疑ノ演說中、富山ノアンポン丹ト云フ言辭ヲ弄セラレタノデアリマス、富山ニハアンポン丹ナル藥名ノ賣藥ハ發賣致シテ居リマセヌ

（「取消シタヂヤナイカ」ト呼フ者其他發言スル者多シ）

○議長（富田幸次郎君）　靜肅ニ

○土倉宗明君（續）　是ハ自ラ御取消ニナッタヤウデアリマスカラ、是レ以上私ハ追窮ハ致シマセヌガ、少クトモ議員ノ言動ハ、公開ノ席上ニ於テハ爾來御注意アルベシト云フコトヲ警告申上ゲマス（拍手）

○議長（富田幸次郎君）　北勝太郎君

（北勝太郎君登壇）

○北勝太郎君　本法案ハ農村ニ深イ關係ヲ有ツノデアリマスガ、總ジテ政府モ、議會モ、農村問題ニ對シマシテハ甚ダ熱意ヲ缺ク、誠意ヲ缺ク、否寧ロ農村イヂメノ感ガアリマスルコトハ、私農業者ノ立場ヨリ甚ダ遺憾ニ感ズル者デアリマス、今ヤ全國農民ノ不滿ハ最高潮ニ達シテ居ルノデアリマス、是レ決シテ單ナル地方財政交付金ノ問題ダケデハナイノデアリマス、一體農民生活ガ如何ニ慘メナモノデアルカ、其狀態ガ如何ニ氣ノ毒ナモノデアルカト云フコトニ付テ、當局ハ御知リニナラヌノヂヤナイカ、知ッテ尙ホ之ヲ知ラヌ顏ヲシテ居ラレルノデアラウカ、私ハ洵ニ怪訝ニ堪ヘヌノデアリマス、農業ヲ、又農民ヲ斯ノ如ク輕視シ、蔑視スル所ノ政府、竝ニ議會ノ態度ソレ自身ガ、農村ヲシテ益〻窮乏ニ陷ラシメテ行クモノデアルコトヲ記憶シテ戴キタイノデアリマス、政府ハ從來農村ノ醫療ニ對シマシテモ甚ダ不親切デアル、農民ノ負債ガ四十幾億ニ達シテ居リマスガ、其四割以上ハ醫療費ニ依ル負債デアル、斯ウ言ハレテ居ルコトニ依ッテモ窺知ルコトガ出來ルノデアリマスガ、是ハ內務當局ガ、先程モ三宅君ガ言ハレタ通リ、日本醫師會ノ運動ノ爲ニ、此醫療社會化ヲ停頓セシメテ來タ、是ガ大キナ原因ニナッテ居ルノデアリマス、是ガ爲ニ農村ノ醫療ニ少カラズ障碍ヲ與ヘテ來タモノデアリマス、最近壯丁ノ體位ノ低下、或ル農村健康狀態ノ不良、斯ウ云フヤウナ點ガ際立ッテ目立ツヤウニナリマシテカラ、漸ク本案ノ提案ヲ見ルヤウニナッタモノト思フノデアリマスガ、私ハ甚ダ遲キニ過ギタト思フノデアリマス、而モ現內閣ハ此僅少ナル豫算サヘモ半減致シテ居ルノデアル、洵ニ殘酷モ聊カ度ガ過ギルヂヤナカラウカト思ハレルノデアリマス、本案ニ依リマスルト、多大ノ保險料ヲ組合員ニ負擔サスルヤウニナッテ居ルノデアリマスルガ、疲弊シ切ッテ居ル農村ガ、果シテコンナ餘裕ガアリマセウカ、又農民ガ悅ンデ之ニ參加スルコトガ出來マセウカ、是ガ重大ナル難點デアルト思フノデアリマス、成程貧富ノ差ニ依ッテ負擔ヲサセルコトニシテハ居リマスガ、是ガ又至難ナ業ナノデアリマス、私共ノ長イ間ノ經驗ニ依リマスルト云フト、大凡斯ル精神的ノ事業デ、繼續的ニ多大ノ費用ヲ伴フ所ノ團體ヲ作ルト云フコトヘ、洵ニ是ハ面倒ナコトデアリマシテ、決シテ一朝一夕ニ出來ルモノデハナイノデアリマス、ソレガ爲ニ折角斯ウ云フヤウナ立派ナ法案ガ出來マシテモ、畫餅ニ歸スルノデハナイカ、繪ニ畫イタ餠ニナルノデアリマス、之ヲ私ハ惧レルノデアリマス、政府ハ自ラ是ガ爲ニ支出致シマスル補助金ノ外ニ、何等カ此負擔緩和ノ方法ニ付テ用意ガアリマスルナラバ、私ハ承リタイト思フノデアリマス

次ニ私ハ此事業ハ、農村デハ産業組合ヲ母體ニシテヤラセナケレバイカヌト云フコトニ付テ、一言申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、農村ニハ團體ガ多過ギルト云フ聲ガ高イノデアリマス、斯ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ、此種ノ組合ヲ又作ルト云フコトハ甚ダ面倒デアリマス、ノミナラズ假初ニモ是ハ保險事業デアリマス、デアリマスルカラ基礎ガ鞏固デアルモノデナケレバ信用ガ得ラレナイ、イザト云フ時ニ賴リニショウト云フノデアルカラ、サウ信用ノ得ラレナイモノニハ入ッテ來ナイ、卽チ組合ノ成立ガ出來ナイノデアリマス、而モ難カシイコトニハ、此事業ハ其性質上組合員ノ負擔ヲ極度ニ輕減シナケレバナラヌ、輕イ率デ經營シテ行カナケレバナラヌ、玆ニ一ツノ惱ミガアルノデアリマス、ソレガ爲ニ

經營上ニ赤字ノ出ルコトモ、豫メ覺悟シナケレバナラヌノデアリマス、斯ウ云フヤウナ場合ニ資力薄弱ナ團體デアリマスルト、ソレハ保險給付金ノ支拂ニモ困ルデアラウシ、御醫者サンノ報酬ヲ支拂フニモ困ルデアリマセウ、ソレガ爲ニ怠ケ破綻ニ陷ルコトハ、火ヲ睹ルヨリモ明カデアルト存ズルノデアリマス、現ニ埼玉縣ノ越ケ谷ニ於キマシテハ、此町ハ相當裕福ナ町デアリマス、ソコニ保險類似組合ガ出來テ居リマスガ、此保險類似組合ハ三井報恩會其他ノ各種ノ寄附ガナケレバ、一日モ立ッテ行ケヌト云フコトヲ立證シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、ヨリ以下ノ窮乏シテ居ル所ノ農村ニ於キマシテハ、是ハ產業組合ノ力ヲ藉ラナケレバ斷ジテ出來ナイト申上ゲテモ、私ハ過言デナイト思フ、產業組合ハ御承知ノヤウニ既ニ二十年、三十年ト云フ年所ヲ經テ居リマス、又精神的ニモ經濟的ニモ基礎ガ確立シテ居ルノデアリマス、場合ニ依リマシテハ、其剩餘金ノ一部ヲ以チマシテ、此組合費ノ負擔ヲ輕減スル方法モアル、又赤字ガ出マシテモ、之ニ對シテ對應スル所ノ彈力性ガアルノデアリマス、前內閣ハ此產業組合ニ對シテ課稅ヲ目論マレタノデアリマス、併シ產業組合ガ非營利、公益性ノモノデアリマシテ、理論的ニモ之ニ課稅スルト云フコトハ筋道ガ通リマセス、若シ理不盡ニモ之ヲ前內閣ガ強行シテ居ッタトスルナラバ、恐ラク竹槍席旗ノ不祥事ヲ捲起サナカッタト確ガ保證シ得タデアリマセウカ、幸ニ是ハ御取止メニナリマシタガ、斯ウ云フヤウナ吝ン考ヘ方カラ持チマシテ、產業組合ノ本質ニ鑑ミ、之ヲ社會的ニ手ガナケナル、是デス、是ガ劃一的ニ日本醫師會ト契約スル、或ハ道府縣醫師會ト契約スルト云フコトノ不可能ナル所以ノデアリマス、保險經營ノ生命線ハ、私ハ玆ニアルト思フノミナラズ、本法ノ總則ニハ「相扶共濟ノ精神」ト言ッテアリマス、此相扶共濟ノ精神ニ則ルベキモノデアリマシテ、保險組合ハ其村ニ於ケル自治的經營デアリマシテ、各町村毎ニ負擔ガ違フノデアリマス、隨テ住民中多少デモ資力ノアル者ハ貧村程非常ニ重イ負擔ヲシナケレバナラヌ、ガ、併シ之ニ小言ヲ言ハズニ行ク所ニ、所謂本法成立ノ餘地ガアルノデアリマス、先程ドナタカカラ此制度デアルト、富裕ナル村カラ先ニ出來テ、貧乏ノ村ガ後ニナルト言ハレタ、是ハ大間違ヒ、團結ヲ良クスル、相扶共濟ノ精神ノ徹底シタ村ガ先ニ出來ル、幾ラ金持村デモ扶ケ合フト云フ精神ノ缺如シタ村ハ、後廻シニナルノデアリマス、大間違ヒデアリマス、カルガ故ニ其町村內ニ居住スル醫師モ、亦率先シテ相扶共濟ノ精神デ範ヲ他ニ示シテ行カナケレバナラヌノデアリマス、此互助意識ニ缺ケタ所ノ、不眞面目ナ彼保險者ヤ、又此互助意識ニ缺ケタ所ノ貪慾ナル醫者ノ存在ト云フコトハ、實ニ此保險組合經營上ニ於ケル大ナル暗礁デアルノデアリマス、然ルニ醫師ダケヘ此精神ノ埒外ニ立タレ、除外例ヲ求メヨウト云フノガ、此團體契約ノ主張ノ現レデアルノデアリマシテ、自己ノ營利的立場ヲ有利ニ導イテ行カウ、斯ウ云フ考ハ全ク此立法ノ精神ニ背反スルモノデアリマス、從來醫師會ト云フモノガ、動モシマスルト營利的傾向ガアッタノデアリマス、勞働者ノ健康保險ニ於キマシテハ試驗濟デアリマス、或ハ差別待遇ヲシタトカ、或ハ內容ノ低下ヲシタトカ、或ハ濫診濫療ニ陷ッタトカ云フコトデアリマス、此濫診濫療ニ付キマシテハ、此處ニ調査シタモノガアリマスカラ、御參考マデニ私ハ讀ンデ見ヨウト思ヒマスガ「輕症ヲ重症ニ診斷スル場合、一箇月休業セシ肺尖炎患者出業ニ際シ健康診斷ヲ行ヒシニ他覺的變化ヲ認メズ、發病當時ノ主訴ヲ尋ネシニ發熱四十度ニ上リ頭痛全身倦怠アリシト云フ、保險醫ハ肺尖炎ト診斷シ散水二劑ヲ與ヘ二週間ノ休業ヲ與ヘタリ、發熱以外ニハ自覺症ナク（咳嗽、咯痰、盜汗等ナク）發熱ハ二日間ニテ常溫ニ復シ爾來自覺症ナカリシト云フ、恐ラクハ流行性感冒ナリシナランモ保險醫ハ「レントゲン」檢査ニヨリ肺尖炎ト診斷セリ、然ルニ被保險者ハ肺尖炎ト診斷セラレ肺病ハ初期ニ治療セザレバ癒ラヌト聞キ一箇月間休業セリト、被保險者トシテハ無理カラヌコトナレド之レ剩費診療ニシテ必要診療ニアラズ、感冒トカ胃「カタール」トカニテハ一日一劑一點シカ請求シ得ザルモ、肺結核、胸膜炎等慢性疾患ナレバ散水二劑ノ外ニ注射ヲ認メラルヽニ基因スル診療報酬ノ請求點數引上ゲ策ニアラザルカ」ト斯ウ云フ工合ニ言ッテ居ルノデアリマス、又病的生理ヲ診斷スル場合、是モ書

イテアリマス、「稜業六時間働クモノハ勞働時間實ニ十四時間ヲ算ス、カヽル勞働ガ二三日續ケバ必ズヤ肩ノ凝リ、脊痛、腰痛ヲ訴フ、之ハ過勞ノ結果ニシテ一種ノ疲勞現象ナリ、休養セシムルカ睡眠ヲ十分ニ與ヘレバ自然ニ消散ス、然ルニ多クノ勞働者ハ醫師ノ門ヲ叩イテ治療ヲ乞フ、保險醫ノ多クハ肺尖炎、心筋炎ノ神經痛等ノ病名ノ下ニ投藥シ注射ヲ行フ、カヽル場合睡眠、入浴、「マッサージ」等ニヨリ恢復スルモノヘ、宿醉ガ疾病ニアラザルト同樣健康保險ノ範圍外ニ屬スベキモノト思考ス、然ルニ保險醫ヨク、被保險者ハ我々ノ御得意デアル、診斷果レ治療シテ果レテ云ッテ來タラ診療シテ差支ヘナイバカリカ診療シテヤラナケレバナラナイノデアルト」斯ウ云フ工合ニ言ッテ居ル、斯ノ如キ濫療濫診ヲ爲シ得ルノデアリマス、其他保險醫ノ指定權ヲ醫師會ガ獨占ヲ致シマシテ、醫師會ノ爲ニ少シデモ不利ト思フモノニ對シテハ之ヲ除外致シ、例ヘバ醫療利用組合ノ如キモノニ對シテハ、之ヲ除外致シテ居ルノデアリマス、全ク自己本位ノ偏見狹量ヲ暴露致シテ居ルノデアリマス、然ルニ却テ此法律運用ノ方ニ於キマシテハ、醫師選擇ノ自由ヲ原則ト致シテ居ル、ソレガ爲ニ一部ノ者ガ專屬ニナルトカ、或ハ一部ノ者ハ除外サレルト云フヤウナ憂ガナイコトニナッテ居ルノデアリマスルカラ、公正ナル頭ヲ持ッタ醫師デアルナラバ、之ニ反對サレル筈ハナイト私ハ思フ、唯併シ此場合內務省令其他デ、被保險者ノ醫師選擇自由ノ一點ヲ明瞭ニシテ置カレル方ガ私ハ宜イト思フノデアリマスガ、當局ニ其意思アリヤ否ヤト云フコトヲ承リタイノデアリマス

最後ニ一言、此重要ナル社會立法ガ、醫師側ノ誤解ト自我ト感情ニ依リマシテ、萬一ニモ握潰シノ運命ニデモナリマスルナラバ、恰モ彼ノ米穀自治管理法ノ經緯ノ如ク、大衆ノ反動トナリ、天下ノ物情ヲ起スモノト思フノデアリマスルカラ、此解決ノ遷延ハ私ハ兩者ノ爲ニ取ラザル所デアリマス、國民ハ假令負擔ガ重クトモ、或ハ現在健康者デ今直チニ此保險組合ヲ必要トシナイ者モ、國家意識ノ下ニ奉仕的觀念デ、之ニ全面的支持ヲ致シテ居リマス、獨リ御醫者サンダケガ、此場合自我ヲ固執シテ讓ラヌト云フコトハ、平素自ラ紳士ヲ以テ任ジテ居ラレル御醫者サントシテハ、私ハ取ラザル所デアルト、斯ウ思フノデアリマス、ノミナラズ論爭ノ中心點、團體契約ノコトデアリマスガ、是ハ結局醫師側ガ本法ノ運用上ニ付テ、過分ノ心配ヲサレルカラ起ルノデアル、私ハ實質上サウ云フコトガ起リサヘシナケレバ、ソレデ宜イノデヤナイカ、組合側ダカラト云ウテ、決シテ非常識ナ要求ヲスルモノデハナイト私ハ信ジテ居ル、縱ンバソンナコトガ稀ニアリマシテモ、官廳ガ中ニ立ツノデアリマスカラシテ、斯ウシタ心配ハ私ハナイト思フ、實際ハ案ズルヨリ產ムガ易イノデアリマシテ、一切ハ雙方ノ常識ニ依ッテ立派ニ解決ヲ付ケ得ルト私ハ感ズル、餘リ「ヒステリー」的ナ過分ノ取越苦勞ハ省令デ醫師選擇ノ自由ヲ規定セラルヽ所ノ御考ガナイカ、其次ハ產業組合ヲ社會事業ニ進出サセテ、其公益性ヲ一層發揮サセル所ノ御考ハナイカ、此四點デアリマス、前段ノ三ツノ點ハ內務大臣カラ答辯ヲ得タイト思ヒマス、後段ノ產業組合問題ハ、農林省ノ關係者デ宜シイト思ヒマスガ、詳細ナル御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス

〔農林省ハ誰モ居リハセヌヨ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（岡田忠彥君）　北君、アナタノ今ノ演說中ニ、此案ニ——ト云フコトヲ言ヒマシタガ……

○北勝太郎君　イヤ、サウ言ヒマセヌ、反對サレテハイカヌト言ッタノデス

〔イヤ、言ッタ、言ッタ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（岡田忠彥君）　アナタノ發言中ニ——ト云フコトガアッタナラバ、取消シヲ命ジマス

○北勝太郎君　——トハ何事デアルカト言フノデアッテ、——トハ言ッテ居ラヌ、ハッキリシテ置キマス

〔「言ッタ、言ッタ」「速記錄ヲ調ベレバ分ル」「議長橫暴ダ」其他發言スル者多シ〕

○副議長（岡田忠彥君）　靜ニナサイ——河原田內務大臣

〔田淵豐吉君「議長、言論ノ自由ヲ何故壓迫スルカ、議長、サウ云フ言論ノ壓制ハイカヌ、議長、議長、橫暴」ト呼フ〕

○副議長（岡田忠彥君）　田淵君、靜ニナサイ、田淵君、靜ニナサイ

〔田淵豐吉君「議長、議長、議長ノ言葉ヲ取消セ、アレヲ取消セ」ト呼フ〕

○副議長（岡田忠彥君）　田淵君――田淵君、注意シマス、靜ニナサイ

（田淵豐吉君「何故言論ヲ壓迫シタ、取消セ」ト呼フ）

○副議長（岡田忠彥君）　靜ニナサイ、田淵君、田淵君、注意シマス――注意シマス

（田淵豐吉君「取消セ、何故壓迫シク」ト呼ヒ、其他「退場々々」「議事ノ妨害ニナル」ト呼フ者アリ）

○副議長（岡田忠彥君）　田淵君、注意シマス、靜ニナサイ――靜肅ニ願ヒマス

（國務大臣河原田稼吉君登壇）

○國務大臣（河原田稼吉君）　只今ノ北サンノ御質ニ御答ヲ致シマス、第一ニ、現在ノ農村ハ……

（田淵豐吉君「議長、取消シナサイ、言論ノ壓迫ダ」ト呼ヒ、又「退場ヲ命ジロ」其他發言スル者多シ）

○副議長（岡田忠彥君）　田淵君、注意シマス、御注意ナサイ

○國務大臣（河原田稼吉君）（續）　現今ノ我國農村ガ非常ニ負擔ノ上カラ見テモ貧弱デアッテ、斯ウ云フ組合ヲ作ッテモ負擔ノ點ニ於テ困ルコトガアリハセヌカ、斯ウ云フ御質デアリマシタ、之ニ付キマシテハ、大體ニ於テ極ク貧弱ナル町村ニ對シマシテハ、國費ノ補助モ若干斟酌ヲシテ、多少多ク支給スルト云フ途モ考ヘラレ得ルノデアリマス、ソレカラ又御承知ノ通リ、此國民健康保險組合費ハ醫療費ニ代ハルノデアリマシテ、從來拂ッテ居リマシタ醫療費ヲ組合費トシテ納メルノデアリマスルカラ、新シク負擔ヲ重課スル意味デナイコトハ御承通ノ通リデアリマス、更ニ此組合ノ組合費ヲ納入スルニ當リマシテモ、或ハ收穫期ヲ利用スルトカ、金ノ入ッタ時納メサセルトカ、或ハ又收穫物、即チ物納ヲモ許ス積リデアリマスルカラ、隨ヒマシテ農村住民ノ負擔ノ上カラ申シマシテ、非常ニ樂ニナルト思フノデアリマス

第二ニ、現在ア或ハ產業組合其外ノ色色ナ組合ヲ利用シテ、此國民健康保險組合ニ代ラシタラ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御質デアリマシタガ、是ハ先日來私ガ申上ゲマスルヤウニ、國民健康保險組合ト云フモノヲ中心ニ致シタイノデアリマシテ、餘リニ範圍ヲ擴ゲマスルコトハ却テイカヌカト思フノデアリマス、例ヘバ產業組合ハソレゾレ產業組合トシテノ目的ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、ヤハリ本筋ノ醫療ノ問題ハ、國民健康保險組合ト云フモノデヤラシテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

ソレカラ第三ノ醫師ノ選擇ノ自由ヲ認メルヤウニ省令等ニ於テ規定スルヤ否ヤ、斯ウ云フ御質デアリマシタガ、是ハ大體ニ於テサウ云フ積リデアリマス、即チ先程來私ガ申上ゲマスヤウニ、法律ノ中ニ團體契約ヲ強制シテ法定スルコトニハ反對デアリマスガ、併シ省令ノ中ニ於テ醫師選擇ノ自由ヲ認メセルヤウニシタイ、斯ウ云フ積リデアリマス（拍手）

○副議長（岡田忠彥君）　北君、モウ宜シウゴザイマスカ

○北勝太郎君　農林省ノ御答辯ハアリマセヌカ

○副議長（岡田忠彥君）　農林省ノ御答辯ハアリマセヌヤウデス

○北勝太郎君　ナケレバ、私ハ只今ノ內務大臣ノ御答辯ニ對シテハ不滿ノ點ガアリマス、併ナガラ時間ノ關係上委員會ニ讓リタイト思ヒマスカラ、此程度デ私ノ質問ヲ打切リマス

○副議長（岡田忠彥君）　伊藤壑君

（伊藤壑君登壇）

○伊藤壑君　本案ハ相互扶助ノ趣旨ニ依リマシテ、農村ニ醫療ヲ普及セシメタイト云フ法案デアリマスルガ故ニ、我ガ同盟ト致シマシテハ、其精神ヲ諒トスルモノデアリマス、併ナガラ此法案ニ付キマシテハ、既ニ多數ノ議員カラ御質問ガアリマシタケレドモ、尙ホ二三質疑ヲ持ッテ居リマスルノデ、之ヲ更ニ政府ニ質シマシテ、御明答ヲ得タイト思フ次第デアリマス

第一ニ私ガ政府ニ伺ヒタイコトハ、保險金ニ對スル政府ノ補助ガ餘リニ少額ニ過ギハセヌカト云フ點デアリマス、今回ノ補助ハ一戶當リ五圓程度ト承ッテ居リマスルガ、先ヅ或ル千戶單位ノ町村ヲ考ヘマスルト云フト、其町村ニ於ケル一戶平均ノ醫療費二十五圓ト見マシテ、政府補助ノ五圓ヲ差引キ、アト一戶平均二十圓ノ保險料ヲ負擔シナケレバナラヌ結果ニナリマス、隨テ此千戶單位ト致シマスレバ、二萬圓ト云フコトニナルノデアリマス、町村ノ戶數割ハ千戶單位ノ町村ニ於テ見マスルト云フト、約一萬五千圓程度ト考ヘラレマス、此一萬五千圓程度ノ戶數割サヘ餘リニ負擔ガ重イ、負擔ニ堪ヘナイ、此意味ニ於キマシテ廢止ノ運動ガアリ、地方財政交付金ノ運動ガアルノデアリマス、此戶數割負擔ノ過重ニ苦シミ、其撤廢ヲ運動シテ居ル際ニ當リマシテ、戶數割以上ノ負擔ヲ强ヒルト云フコトニ於テ、此案ハ非常ナ困難ガ伴フノデハナイカト考ヘル次第デアリマス、成程一般公共ノ爲ノ行政費ノ支出ト云フコトト、自分ノ病氣ノ爲ニ備フル爲ノ負擔トハ、其氣持ニ於テ相當ノ差違ガアルコトハ認メマスケレドモ、事實ニ於テ病氣シタ時ト違ヒマシテ、病氣ノ災難ニ遭フ場合ノ用意ノ爲ニ、日頃ニ相當ノ負擔ヲ强ヒラレルト云フ點ニ於テ、ヤハリ戶數割同樣ノ負擔ノ苦シミガアルト考ヘルノデアリマス、靜岡縣ノ醫師會ニ於テ、三万人ノ患者ニ付テ調査シタ所ニ依リマスト云フト、本當ニ醫療費ヲ支拂ヒ得ル者ハ五六%ニ過ギナイ、斯ウ云フコトヲ發表シテ居リマス、靜岡縣ハ全國ニ於テモ富裕ナル縣デアリマス、隨テ全國平均ノ一般農村ニ於キマシテハ、或ハソレ以下ノ階級ノミガ醫療費ヲ支拂ヒ得ル程度デハナイカト考ヘマス、斯ノ如ク戶數割以上ノ負擔、竝ニ其醫療費ヲ負擔シ得ル程度ノ農民ガ半數以下デアルト云フ點カラ考ヘマシテ、此政府補助ノ五圓ヲ尙ホ增額シ、或ハ之ヲ半額程度マデ補助ヲ增額シテ戴カナケレバ、本案ノ實施ハ困難デハナイカト考ヘル次第デアリマスルガ、政府ハ如何ニ御考ニナリマスカ

第二ノ問題ハ、保險料ノ決定ヲスルニ當リマシテ、組合員ノ地位トカ、或ハ資力ニ依リマシテ等級ヲ決定スルト云ッテ居リマス、此等級ノ決定ノ方法如何、之ヲ先ヅ伺ヒタイ、私ハ今日マデ戶數割ノ決定ニ付キマシテ、各地方ノ町村ニ於テ相當ナル弊害ヲ來シテ居ルコトヲ知ッテ居リマス、隨テ此問題ニ付キマシテモ、相當困難ナル問題ガ起リハシナイカト憂フルモノデアリマス、政府ハ此問題ニ付テ如何ニ御考ニナリマスカ、政府ノ此案ニ對スル御考ハ、大體自治的ニ行キタイト云フ御方針ノヤウデアリマスルガ、私ハ此等級ノ決定トカ、色々ナ難問題ヲ解決スルニ當リマシテハ、相當ニ强制的ノ內容ヲ含ム所ノ規約ヲ設ケル必要ガアリハセヌカト考フルモノデアリマス、醫師會ノ反對、所謂代行機關問題、或ハ團體契約問題、斯ウ云フ問題ハ監督ノ强化トカ、或ハ其運用上ノ手心、色々ノ方法ニ依リマシテ圓滿妥協ノ途ヲ講ジ得ルカト考ヘマスケレドモ、此等級ノ決定問題、負擔ノ均衡問題ハ、一步誤ルト本制度ノ相互扶助ノ目的ヲ踏ミ外シ、殆ド收拾スルコトノ出來ナイヤウナ羽目ニ陷リハセヌカト云フコトヲ憂フルモノデアリマス、政府ハ此點ニ付テ何等ノ心配ガナイ、支障ガナイヤウニ、十分ノ御用意ガアリマスカドウカ

更ニ第三ニ御伺シタイコトハ等級問題、負擔ノ均衡問題ヲ圓滿ニ解決スル爲ニ、此法案ノ中心點ヲ相互扶助ニ置イタコトト考ヘラレマス、所ガ相互扶助ノ美風トシテ云フモノハ、大字單位ニ於テハマダ存スルモノト思ヒマスケレドモ、今日ノ五百戶、千戶、府ハ此制度ニ付テドノ程度ニ御熱意ガアルカト云フ點デアリマス、巷間傳フル所ニ依リマスレバ、郵便貯金ノ利子引下ヲヤッテ、サウシテ庶民階級ニ相當ナル犧牲ヲ拂ハシタ其代償トシテ、本案ノ經費ヲ大藏省ハ承諾シタ、斯ウ云フコトニ聞イテ居リマス、果シテ是ハ事實デアルカドウカ、前內閣以來庶政一新トカ、或ハ生活ノ安定トカ、斯ウ云フコトヲ吾々ハ屢、耳ニシテ居リマス、併ナガラ此立法コソハ、此聲明ニ相應シイ、其內容ハ第二ト致シマシテ、此立法ダケハ確ニ國民生活安定ノ聲明ニ相應シイ社會立法ダト考ヘテ居ル次第デアリマス、斯ノ如ク重要ナル社會立法ニ對シマシテハ、政府ハ國防費ト同樣ニ、ヨリ以上ニ此經費ヲ重大視シナケレバナラヌ、增稅デモ宜シイ、公債デモ宜シイ、思切ッテ此經費ヲ出サナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、斯ノ如キ經費ニ對シマシテハ國民モ反對シナイ、貧困ノ爲ニ十分醫療ヲ受ケルコトノ出來ナイ農民ノ爲ニ――疾病ノ爲ニ貧困ニ陷リツヽアル所ノ農民ノ爲ニ之ヲ救濟シ、積極的ニ其健康ヲ增進シ、更ニ年々低下シツヽアル青年ノ體格ヲ向上シ、國民保健衞生ノ完璧ヲ期スルト云フコトハ、廣義國防ノ意味ニ於キマシテ、國家トシテ何ヨリモ眞ッ先ニ講ジナケレバナラヌ重大ナル政策デアルト考ヘマス、此重大ナル問題ニ當ッテ、僅ニ郵便貯金ノ利子引下ノ代償的意味ヲ持ッテ云フコトハ、甚ダ遺憾ニ思フ次第デアリマス、私ハ斯ノ如キ重大ナル社會立法、此問題ニ付テハ繰返シ申シマスガ、國防費以上ノ熱意ヲ以テ、政府ハ相當ナル經費ヲ出スベキデアルト思フノデアリマス（拍手）內務大臣ハ此社會立法ヲ完全ニ遂行スル爲ニ、今後相當ナル補助ヲ要求シ、サウシテ圓滿ナル運行ヲスルダケノ熱意アリヤ、此點ヲ伺ヒタイノデアリマス

（國務大臣河原田稼吉君登壇）

○國務大臣（河原田稼吉君）　只今ノ御尊ノ第一ハ、組合ニ對スル補助ガ甚ダ少イデハナイカ、斯ウ云フコトニ伺ッタノデアリマス、是ハ私ガ先程來申上ゲマスヤウニ、國家トシテ出來ルダケノ援助ガ出來ルコトハ、最モ望マシイコトデアリマスガ、一面ニ於キマシテ國家財政ノ關係モ見ナケレバナラヌノデアリマスカラ、初カラ十分ナル譯ニハ行カヌト云フコトニ付キマシテハ、御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、且又此制度ハ成ベク普及スルコトヲ望ミマスカラ、唯若干ノ箇所ニ十分ノ補助ヲヤルト云フヨリモ、多少ハ少クテモ成ベク普及スル方ガ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、且又農村ニ於キマシテハ、ドウセ今マデモ醫者ニ掛リ藥ヲ飲ンデ居ルノデアリマシテ、其醫療費ガ代ッテ組合ノ保險料ニナルノデアリマスルカラ、是ガ爲ニ別ニ住民ノ負擔ヲ增スト云フ譯デハナイノデアリマス、而シテ其上ニ若干ナリトモ國家カラ補助ガ出ルノデアリマスルカラ、餘程此點ニ付キマシテハ、非常ナ便宜ヲ得ルコトト思フノデアリマス、第二ニ、組合員ノ資力ニ付テ等級ヲ附スルガ、從來ノ戶數割等ノ例ニ付テ

ンナ矛盾ガアルカ、是ガ法律デヤラレルナラバ已ムヲ得ナイガ、先ヅ之ヲ止メテ貰フ、而シテ全縣一致平等ニ醫師會トモ協定スル、町村立病院、公立病院、産業組合病院トモ協定スル、而シテ全縣民ハドノ醫者デモ自由ニ選擇シ得ルヤウニシテヤッテ戴キマセヌト、折角デハアリマスガ、此法案ノ趣旨ガ沒却サレルノデアリマス(拍手)素人ノ人ハ或ハ五人カ十人カノ醫者ヲ、是ハ内科ノ博士デ宜カラウ、是ハ外科ノ博士デ宜カラウ、大體五六人ト契約シテ置ケバ宜カラウト御考ニナルカモ知レナイガ、患者ノ氣持ハサウデハナカラウ、病氣デ永ラクニナリ、都合ニ依ッテハ死ヌノデハナイカト云フヤウナ時ニナルト、折角博士ニ掛ッテ居ッテモ、隣村ノ他ノ醫者ニモ一遍掛ッテ見タイト云フ氣持ハ、是ハ患者ノ實際ノ心情デアルノデアリマス(拍手)之ヲ阻止シテハナラヌノデアリマス、其立前カラ私ハ醫師會ガ一人握ルト言フノデハナイ、最モ廣ク自由ニ患者ガ醫者ノ選擇ガ出來ルヤウニ、何故之ヲシテヤッテ戴ケナイノカ、是程正シイ道理ガアルニモ拘ラズ、内務大臣ハ折角此案ヲ御出シニナッテ、横槍ガ入ッテ詰ラヌコトニコダハッテオキデニナリマスガ、若シ産業組合トカ、今ノ利用組合ヲ代行爲サルト云フコトニナリマスト、此組合長ガ神様ナラ宜シイ、其附近ノ醫者ガ悉ク神様ノヤウナ人ナラ宜シイ、人間凡夫、サウハ行カヌ、ソコデ全體、此組合長ハ何處ヲ目安ニ協定爲サルノデゴザイマスカ、五人ニショウト、十人ニショウト、二十人ニショウト、之ヲドウ爲サル積リカ、若シ此人ガサモシイ人デアルト假定スルナラバ、茲ニ色々ナ問題ガ起ルデハナイカ、其又周圍ニ若シサモシイ醫者ガ居ルトスレバ、ソコニ測ラザル、思ハザル醜關係ガ起ラヌト誰ガ明言スルコトガ出來マスカ、若シモ斯ノ如キ協約ガ出來タラ誰ガ迷惑スルノデスカ、組合員自體ガ直接迷惑スルノデハナイカ、何故私ハアナタガ是程分リ易イ道理ガ分ラナイノダラウト思ヒマス、アナタノ支配下ニ於テデスヨ、行ク〳〵之ヲ爲サルト一万何ボノ組合ヲ作ッテ、ソレガ各〻此組合ハ五人ノ醫者、アノ組合ハ十人、是ハ三十人ト、ドウシテ此不公平ヲ統制ナサル御積リデアリマスカ、アナタガ眞劍ニ、本當ニ此案ヲ完全無缺ナモノトシ、今日惱ミ苦ンデ居ル是等大衆ヲ救ヒタイト云フ氣持ガアレバ、今少シク大所高所カラ之ヲ眺メ、國家ノ目カラ見テ、全縣民、全國民平等ナル、斯ノ如キ間違ノ豫メ起ラヌヤウニシテ置クト云フコトガ、爲政者ノ最モ爲スベキコトデアルト私ハ斯様ニ思フ(拍手)只今北君カラモ、是ハ組合デ代行シテモ宜カラウト云フ御説、ケレドモ私ハ斯ウ考ヘマス、醫者トノ協定ハ内務大臣ハ地方長官ニ御命ジニナッテ宜シイ、大體ニ於テ協約シテシマフ、産業組合ハ其町村ニ出來タ組合ノ經濟的ノ方面ダケノ世話ヲシテヤッテ戴キタイ、其村々ニ依ッテ、或ハ掛金ニ色々ノ都合モアルダラウ、或ハ處ニ依ッテハ現物出資ヲセンナラヌ處モアルデセウ、ソレ等現物出資ト組合費ノ色々ナ立替、其他經濟的ノ方面ダケハ、是ハ是非組合ニ依ッテヤッテ戴キタイト私ハ斯様ニ思フ(拍手)其産業組合ガ何故是ハ醫者ト協定センナラヌノデアリマスカ、ドウ云フコトカ、私ニハドウシテモ此處ノ事ガ分ラヌ、産業組合ガ醫者ト徒ニ協定サレルト云フコトハ、觀方ニ依リマスト、産業組合ガ醫業ヲヤルノデアリマス、産業組合ニ醫者ハ生業ヲ奪ハレルノデアリマス、默ッテ見テ居レルカナ、今日地方ニ於ケル産業組合、私ハ農村ノ協同運動ノ爲ニ、此産業組合ノ健全ナル發達ヲ希ウテ居リマス、併ナガラ此産業組合ガ徒ニ其地方ノ生業ヲ奪ヒ、ソレガ爲ニ反産運動ト云フ社會問題ヲ起スト云フコトデアルト、是ハ考慮センナラヌコトデハナイカ、此點ハアナタハドウ全體御考ニナルカ、此事ハ將來ニ及ボス大問題デアリマス、十二分ノ御考慮ガ願ヒタイ、私共ハ醫者デアルガ故ニ、醫師會ノ爲ニト云フ、ソンナサモシイ根性デ申シテ居ルノデナイノデアリマス、實際惱ミ苦シンデ居ル患者ノ心情ヲ知ルノハ、醫者デナイト分ラヌノデアリマスヨ、ソレダカラ其立場カラ私ハアナタニ申上ゲル、若シコンナモノヲ産業組合ノ二三ノ幹部トカ、或ハ地方ニ居ルサモシイ醫者等ノ爲ニ、若シ此法律ガ枉ゲラレルヤウナコトニナリマスト、是ガ今日惱ンデ居ル大衆ノ不幸ニナルノデアリマス、ドウゾ此點ハ内務大臣特ニ誤解ノナイヤウニ、國家ノ爲ニ、アノ惱ンデ居ル大衆等ノ爲ニ、冷靜ニ考ヘテヤッテ戴キタイ、私ハ斯ウ云フ揚足取リノヤウナコトハ申上ゲタクナイノデアリマスガ、一ツ聽イテ戴キタイ、ソレハ昨日青木代議士ノ質問ニ對シテ、内務大臣ハ今埼玉縣ノ越ケ谷ノアノ順正會、如何ニモアレガ非常ナ好成績ヲ擧ゲテ居ルコトハ、天下周知ノ事實トハッキリアナタハ仰シヤッテ居リマス、是ガ組合ノ「サンプル」ノヤウニアナタハ仰シヤッテ居リマス、今三宅君ノ御説ヲ拜聽致シマシテモ、此問題ガ出テ居リマス、併シ内務大臣ニ私ハハッキリ申上ゲルガ、アナタハ之ヲ成績ガ擧ッテ居ルト重ネテ茲ニ御答ニナル勇氣ガアリマスカ、私ハ此問題ハ豫テ研究シテ居リマス、ケレドモガ少クトモ此演壇ニ立ッテ責任ノアル言論ヲスルニハト思ッテ態〻私ハ見ニ行ッタガ、其内容ニ幾多ノ缺陷ヲ見テ來タ、而モ數ハ少イガ、最近何人カ此組合ヲ脱退シタ人カラ直接ニ話ヲ聽イテ來タノデアリマス

(副議長退席、議長著席)

私ハ此趣旨ニ反對スルノデハナイノデアリマス、斯ノ如キ公開ノ席上デ折角生レントスル此順生會ヲ潰ス意思デハナイノデアリマスカラ、其積リデ居ッテ貰ヒタイガ、併シ内務大臣ハ此席上デ之ヲ良成績ノモノナリト、其「サンプル」ノ如ク仰シヤルト云フコトニナルト、若シ是ガ全國ニ普及スルヤウナコトニナッタラ、容易ナラザル問題ガ起ルノデアリマス(「ノー〳〵」)内務大臣ニハッキリ私ハ申上ゲル、私ノ見解トアナタトハ完全ニ違フ、是ハアナタノ御考ニナルヤウナ好成績デハナイ、是カラ先キ直サレルノハソレハ別デス、現在ニ於テハアナタノ考ヘナサルヤウナモノデハナイ、ソレデ私ハアナタニ申ス、アナタガモウ一遍此處ニ立ッテ、

是ハ好成績ヲ收メタ「サンプル」トシテモ恥シクナイ結果ヲ收メテ居ルモノナリトアナタガ言ヒナサルナラバ、私ハサウデハナイ、私ハ徒ニアナタト言葉ノ取ヤリハ御免蒙ル、若シアナタモ責任ヲ以テ是ガ良イト此處デ言ヒナサル以上ハ、全責任ガアリマスヨ、間違ナレバ責任ガアル、アナタト私ハ日ヲ期シテ出掛ケヨウヂヤアリマセヌカ、最モ公平デアルベキ新聞記者諸君ニハ御氣ノ毒デアルガ、煩ハシテ、アナタト私ト二人ガ出掛ケテ行ッテ、此事實ヲ調査ショウヂヤナイカ、ドウデス、其代リ若シモ私ノ言ッタコトガ間違デアルナレバ、私ハ自ラノ職責、自ラノ責任トシテ代議士ヲ辭メマス(拍手、笑聲)而シテ滿天下ニ其罪ヲ謝ス、其代リデスヨ、内務大臣ニ間違ガアルナラバ、アナタハ辭メルカ(笑聲、拍手)諸君、此事ハ私ハ徒ラナコトヲ申スノデハナイ、大體今日議會政治ノ信用地ニ墜チ、誰言フトナク議會ヲ否認セントスルヤウナ形ニナッタ最大ナル原因ハ、何處ニアルカト言ヘバ、議員モ亦何カ知ラヌガ無責任ナ演説ヲシ、當局者又オ座ナリノ答辯ヲ爲サル所ニ、議會信用ガ失墜シタノデハナイカト私ハ思フ、少クトモアナタモ私モ此演壇デ責任ヲ以テノ言葉ノ取ヤリデアリマス、ハッキリト肚ヲ決メテ此事ダケハ御返事ヲ願ヒマス(拍手)(「餘リ興奮スルナ」ト呼フ者アリ)興奮デハナイガ、是程大事ナコトデス

第三ニハ曩ニ御尋シタ、若シ誰ト協定サレマシテモ、治療費ハ何ヲ目安ニサレルカ、多分政府ハ今マデ十年間ヤッテ來タアノ保健組合、或ハ濟生會、ソレ等ヲ一ツノ目安ト爲サレルノデハナイカト私ハ思フ、併ナガラ若シ左樣ナモノガ目安ニナルト云フコトデアレバ、曩ニ申上ゲルヤウニ健康組合、濟生會ノ失敗ハ茲ニアルノデアリマスカラ、是ハ一ツ特ニ考ヘテ戴キマセヌト、安イ金デ澤山治療ガ出來テ、如何ニモ形ノ上デハ宜イヤウデアリマスケレドモ、本當ニ親ガ死ヌカ生キルカ、本當ニ可愛イ息子ガ死ヌルカ生キルカト云フ時ニナッテ見マスト、其安イ切符ヲ持ッテ醫者ノ家ヘ行ク人ハナイノデアリマス(拍手)茲ニ缺陷ガアル、患者ハ無論、其家族モ自尊心ヲ傷ツケラレルガ爲ニ、折角救療シテヤラナケレバナラナイ一番苦シンデ居ル時ニ、徒ニ借金シテ普通ノ醫者ニ診テ貰ハウト云フノガ今日ノ實情デアリマスゾ、私ハアナタ方ガ何カ知ラヌガ、安ケレバ宜イ、私ハ此點ヲ國民ノ健康增進、差當リハ治療、其點ニ付テ一番憂ヘルノデアリマス、是ハ物ノ賣買ト違フ、三錢ヤ四錢損ガ行ッタ、儲カッタト云フノトハ違フ、一ツ間違ヘバ命ニ係ル大問題デアリマスゾ、今日マデノ官僚ノ頭デ安ケレバ宜イ、此安ケレバ宜イト云フ所ニ根本ノ誤リガアルノデアリマス(拍手)私共ハ今日ノ日本ノ財政、是ヨリ金ガナイカラ、僅カデハアルガ、是デヤッテ呉レヌト云フコトニ反對スルノデハナイノダ、宜シイカ、安ウヤレト云フノト、十分ニシタイケレドモ、ナイカラ已ムヲ得ヌカラ辛抱シテ貰ヒタイト云フノトハ、自ラ根柢ガ違ヒマスヨ(拍手)私ハ之ヲ正シテ置イテ戴キタイ、ソレデ此給付ヲ契約ナサル時ニハ、大體日本ノヤウナ小サナ所ハ、人情風俗ガ決ッテ居リマス、生活狀態モ大體決ッテ居ル、ソレデ各府縣ニハ醫師團ガ自ラ藥代ヲ決メテ居リマス、之ヲ目安ニナサッタラドウデス、ソレハ此健康保險ヲ目的ニ拵ヘタ藥價デハナイノデアリマス、何十年カノ間、其地方ノ人情風俗、其地方ノ經濟狀態ニ合フヤウニ、色々ト織込マレテ出來タノガ、今日ノ藥價規定デアリマス(「ノー〳〵」)之ヲ一歩モ入ッテハ相成ラヌ、何故私ハ斯ウ云フコトヲ申上ゲルカト言ヒマスト、當局者ハ醫者ガ高イト仰シヤル、ソレデ二割カ三割引クト云フ、若シモ左樣ナ馬鹿ナコトヲ爲サルト――今日醫者ハ最前三宅君ガ申サレマシタヤウニ、地ノ利ヲ得タ者ト、得ヌ者ニ依ッテ大變收入ガ違ヒマス、地ノ利ヲ得ヌデモ、親ガ醫者デアッタ、先祖ガ醫者デアッタト云フ爲ニ、收入ガ少イ所ニ辛抱シテ居ル醫者ハ可ナリ多數ニナッテ居リマス、之ヲ一律平等ニ値下ゲヲシタラ、全體地ノ利ガ惡イ爲ニ收入ノナイ醫者ハドウスルノデス、生活ガ出來ナクナッテ何處カヘ行クデハナイカ、又國家ハ此處ヘ何トカシテ醫者ヲ連レテ行カナケレバナラヌト云フ、馬鹿氣タ矛盾ガ事實上ニ於テ起ルデハナイカ、之ヲドウショウト仰シヤルカ、ソレダカラ私ハアノ藥價規定ハ負ケテハ相成ラヌ(笑聲)御聞キナサイ、本案ヲ實施スレバ是デ初メテ醫者ノ全收入ガ分ルノデス、サウデセウ、悉ク請求書デ取ルノデスカラ、醫者ノ全收入ガ分ルノデアルカラ、地ノ利ヲ得タ人、其他ノ爲ニ特別ノ暴利、特別ノ儲ケガアル人ナラバ、是ハ社會通念ニ依ッテ如何樣ナ方法ニ依ッテデモ御取リニナッテ差支ナイデハナイカ、諸君、此點ハ非常ニ大切ナ點デアリマス、此事ハドウゾ將來トモ特ニ此醫療ノ爲ニハ、給付藥價ノ爲ニハ特別ノ御心遣ヲ願ヒマセヌト、曩ニ申スヤウニ安イノガ宜イノデハナイ、私ハ自分デ患者ヲ診テ愈〻病重イト、ドンナ高イ御藥デモ宜イカラ良イ御藥ガ戴キタイ、皆サウ申シマス、今日日本ノ藥價ハドウデス、私ハ六大都市、是ハ別ニ考ヘテ戴キタイガ、大體日本ノ農村ハ藥代モ、診察料モ一ツデアリマス、是ガ日本醫道獨特ノモノデ、天下ニ誇ルベキモノハ是デアリマス、診テモヤル、藥モヤル、其時金ガナケレバ半年後デモ宜イ、是ガ世界ニ誇ル醫道デアル、假ニ今日水散合セテ五十錢デセウ、是ガ日本ノ藥價デス、醫者ガ診テ一日五十錢ノ藥ガ何ガ高イノデアリマス(「高イ」ト呼フ者アリ)ドナタカ高イト仰シヤルガ、コンナ安イノハ世界ニナイノデス(「ノー〳〵」)ソレハ診察料ト藥價ガ別ニナッテ居ルカラ高イノデアリマス、此認識ガナイ、若シ日本デ醫藥分業ヲスルナレバ、都會ハ私ハ先ヅ問ハヌ、今日農村ノ負擔ハ二重ニナリ、堪ヘ切レルモノデナイノデアリマス、私ハ幸ニ日本ガ今日今尚ホ醫藥分業ニナラヌコトヲ、是等農村、窮迫セル是等ノ階級ノ人ノ爲ニ、寧ロ心カラ喜ンデ居リマス、私ハ是ハ今申スヤウニ、醫者ハ暴利ト云フノデナイ、請求書ヲ出シテ收入ガ全部分ルノデアリマスカラ、

ソコデ多分ニ收入ガ入ッタラ取レ、其人カラ何カノ方法ニテト云フノガ、何ガ惡イノデス、此位正シイ道理ハナイデハナイカ、アノ窮乏セル露西亞、麵麭ノ一片ヲスラ節約スル露西亞ガ、醫者ニハ自動車ト邸宅ヲ供シテ居リマス、ソレドウ云フコトダラウ、今現在結核患者ナド二百万人ト稱テ居リマスヨ、此恐ルベキ傳染ノ結核患者ノ中ヘ日夜、時ニハ寢食ヲ忘レテ、己ノ生命ヲ危險ニ暴シ活動シテ居ル者ハ、醫者デアリマスゾ（拍手）隨テ國家トシテ此醫者ニ對シテ少シデモ心身休養ヲ與ヘントスル此趣旨カラ、アノ露西亞ガ自動車ヲ提供シ、邸宅ヲ提供シテ居ル事實ガアルデハナイカ、ソレニ可哀相ニ、最高ノ學府ヲ卒業シ、大學ヲ卒業シタ醫學士ガ自轉車デ患者宅ヲ步イテ、細君ハ子供ヲ負ッテ皆其手傳ヲヤッテ居ル、此事實ヲアナタハ御存ジアルマイ、何ガ高イ、私ハ高イノデナイ、地ノ利其他デ特別儲カル人ガアルノデアリマス、ソレヘ取ッテモ宜シイ、地ノ利ノ惡クテ取レヌ人ガドレ程アルカ分ラヌ、諸君等ハ此處ヘ醫者ヲヤレト言ハレルヂヤナイカ、ソレヲ頭ヲハネテドウナサル、是ハドウカ考ヘテ下サイ、眞劍ニ私モ勞働者ノ爲メ、農民ノ爲ヲ憂ヘレバコソ此言ヲスルノデアリマスカラ、此點ダケハドウゾアナタ方モ特ニ御考ヲ戴イテ、私ハ是ハ決シテ醫者本位デ申上ゲルノデハナイノデアリマスカラ、特ニ申上ゲテ置キマス、此三點ニ特別ノ御答辯ヲ戴キタイ

尚ホ一ツ結核豫防ト國民健康法、是ハ私ハ重要ナル法案デ、一ツ〳〵デモヤリタイガ、時間ガアリマセヌカラ一括シテ……大體是ハ國民健康增進ノ目的デアルコトハ申ス迄モナイ、全體今日國民ノ健康ガ低下スルコトヲ非常ニ憂ヘテ居リマス、是ハ軍部尊スル、今一ツハ非醫者ノ行爲デアリマス、或ハ指壓療法トカ、或ハ電氣トカ、私ハ是等ガイカヌト言フノデハナイ、併ナガラ是等ノ療法ガ效クナラバ、醫者ノ命ニ依ッテヤルベキモノデハアルマイカト私ハ思フ、唯此取締ガ不十分デアル、今日本ニハ非醫者二万、按摩其他ヲ加ヘルト九万居リマス、之ヲ止メヨト云フノデハナイノデハナイノデアリマス、何カ之ニ法規ヲ拵ヘテ、醫者ノ治療行爲ノ一ツトナサラヌト、將來トモ醫事衞生ノ爲ニ容易ナラザル問題ガ起ルコトヲ憂ヘルカラ私ハ申上ゲマス、此取締ヲドウ爲サルカ承リタイ

今一ツハ結核デアリマス、今日ノ日本ノ健康低下ノ最大ノ原因ハ是デアリマス、御承知ノ通リ結核デ年々二十万死ニマス、今現在ニ百万寢テ居リマス、此結核デ寢ルマデノ患者ガ一千万人以上アルノデアリマス、是ガデスヨ、而モ年若イ人デス、是ガ健康低下ノ今日ノ最大原因デアリマスガ、大體結核ハ諸外國ハヂリ〳〵ト減リマス、ソレニ日本ダケ殖エルノハ何故デアル、結核ハ世界中特殊ナ治療法ハナイノデアリマス、日本ノミ獨リ此結核ガ多イト云フコトハ、アノ疲勞困憊シテ居ル榮養不良ノ農民トカ、可哀相ナアノ勞働者トカハ、休養ノ時間モナク、榮養モナク、アノ蒼白イ是等ノ總テノ階級コソ、結核ノ好イ溫床ニナッテ居ルノデアリマス、隨テ政府ハ本案ニ依リ是カラ十年繼ッテ結核病床五万ヲ拵ヘルト云フノデアルガ、何ト云フコトデアルカ、現ニ今二百万居リマス、一千万將ニ寢ントシテ居ル者ガ居ル、十年後ニ五万病床ヲ作ル、是ハ本當ニ二階カラ眼藥ドコロデハナイノデアル、全體斯樣ナモノデドウシテ結核ノ撲滅ガ出來ルカ、殊ニ結核ハ國際聯盟ノ結核豫防會デハ、病床主義デハ駄目ト決ッテ居リマス、ソレヂヤナシニ結核豫防ヲ爲サウト欲スルナラバ、是等ノ生活狀態ヲ改善スルニアラザレバ、結核ハ斷ジテ減ラス（拍手）私ハ是ニ至ッテ軍部ニ御考シタイ、軍部ハ滿洲事變以來廣義國防ヲ御說キニナッテ居リマス、國民生活ノ安定ヲ御說キニナッテ居ル、ソレト同時ニ國民ノ健康低下ヲ御憂ヘニナッテ居リマス、無理カラヌコトデアル、是ガ爲ニ五・一五事件、二・二六事件、此尊イ軍ハ犧牲ヲ御拂ヒニナッタノデハナイカ、然ルニ私ハ今回馬場財政ガ地方交付金二億二千万圓、是デ足レリトハ言ハヌガ、差當リ農村負擔ガ幾分カ是デ輕減シ、少シデモ生活ニ餘裕ガ出來、體モテハ延イテハ結核豫防ノ方面ニモ、健康增進ニモ非常ニ好結果ヲ來スモノト思ッテ喜ンデ居ッタモ拘ラズ、此事實ガアルニモ拘ラズ、アナタハ今度ノ結城財政ニ依ッテ、此二億二千万圓ヲタッタ七千万圓ニサレタ、可哀相ニ町村ハモウ今貰ヘルト思ッテ——飴玉ヲ持ッタ子供ノ手カラ飴ヲ引チギッタヤウナ目ニ遭シタノデハナイカ、私ハ國民生活ノ安定ダケデナシニ、アナタガ今御憂ヘニナッテ居ル結核豫防、體質低下防止ノ爲ニデモ、如何ナル形ヲ以テモ、如何ナル方法ヲ以テモ、ナゼアナタハ閣議デ力說シテ戴ケナンダカ、如何ニ軍部ガ健康低下ヲ御憂ヘニナリマシテモ、生活安定ナシニハ出來ナイノデアリマス、私ハ是ト併セ考ヘテ見タイ、昨年特別臨時議會デ退職積立金法案、是モ例ノ修正ヲサレタ（「簡單」ト呼フ者アリ）其時モ軍ハ相變ラズ何等ノ此爲ニ努力ヲ拂ハレナカッタ

（「簡單々々」ト呼フ者アリ）

○議長（富田幸次郎君）　田中君ニ注意致シマス

○田中養邇君（續）　是等ノ生活ノ爲ニ、アナタハ何等ノ努力ヲ爲サラヌト斯ウ申上ゲテモ、アナタハ緋明ノ言葉ハナイト思フ、私ハ憂フルノデアリマス、今日何カ知ラヌガ、軍民離間ヲ唱ヘラレテ居リマス、私ハ斯ノ如キ事實ヲ事實トシテ、軍ガ怪シカラヌト云フ所ニ、軍民離隔ノ恐ルベキ原因ガ出來ルノデハナイカト思フ、アナタハ今其處ニ陸軍ノ服ヲ著テオキデニナルガ、一タビ農村ヘアナタノ足ヲ御入レニナッタラ、町村長ハ或ハ一片ノ儀禮ニ依ッテ羽織袴デ迎ヘルカ知ラヌガ、鋤ヲ持チ鍬ヲ手ニセル百姓等ハ、怨ミコソスレ、斷ジテ敬意ハ拂ヒマセヌヨ、私ハ國防ノ見地カラ、特ニ陸軍大臣ハ何カ積極的ノ何トカスル意思ハナイカ、之ヲ御尋スル

モウ一寸一言許シテ戴キタイ（「簡單簡單」ト呼フ者アリ）今一ツハ陸軍大臣ノ支配下ニアルアノ赤十字社病院ノコトデアリマス、大體赤十字社病院ノ根本ノ目的ハ、申ス迄モナク戰時病者ノ手當救療デアルノニ、近頃日本ニアルアノ赤十字社ハ悉ク營業行爲デアリマスヨ、營利本位デアリマスヨ、コレコソ御尋シタイコトハ、先程滿洲ニ行ッタ兵隊、可哀相ニ近頃ノ入營兵ハ入營シタカト思フト出征、而モ氣候ノ激變ノ爲ニ澤山ノ結核患者ガ還送サレルト云フ事實ヲ私ハ聞イテ居リマス、然ルニアナタノ支配下ニアル病院ガ、此結核ノ爲ニ還送サレタ者ヲ、指收容出來ヌノハドウ云フコトカ、私ハ此處ニ山口縣砲兵第四十二聯隊長カラ山口縣ノ醫師會長宛ノ公文書ヲ持ッテ居リマスガ、折角赤十字社ニハ病床ガアルニモ拘ラズ、其送リ還サレタ患者ガ、可哀相ニ普通ノ患者ガ入ッテ居ルガ爲ニ收容出來ヌデ、縣醫師會デ手當シテ貰ヒタイト云フ文章デアル、ナゼ私ハ陸軍省ハ此營業本位ヲ廢メテ、斯ノ如キ可憐ナル患者ヲ悉ク收容シテ、十二分ノ處置ヲ爲サラヌカ、（拍手）ソレニ附加ヘテ續イテ赤十字社病院ヲ全部開放シテ——今アナタノ御憂ヘニナッテ居ル國民健康低下ノ第一ニアル結核豫防ノ爲ニ、之ヲ全部開放シテ戴ク譯ニハ行キマスマイカ、此事ヲ私ハ御尋申上ゲル、私ハマダ聞キタイガ、アナタ方ノ御迷惑ト紳士協定ガアルノデ、殘念デアルガ是デ止メマス、何レ委員會デ篤ト御尋致シタイガ、ドウカ一ツ特旨ハ省令等デ規定ヲ致シタイ、隨ヒマシテ實際ノ狀況トシテハ、醫師會トノ間ノ一ツノ團體的ノ契約ガ出來ルコトガ多カラウト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、併ナガラ醫師會ト云フヤウナ一ツノ非常ニ有力ナル團體、即チ其團體ト云フモノハ、或ハ藥價マデモ公定スル權利ヲ持ッテ居ルノデアリマスルガ、法律ニ依ッテ非常ニ强イ力ヲ與ヘラレテ居ル醫師會ト云フモノニ對シテ、團體契約ヲ必ズシナケレバナラヌト云フヤウナ、又特別ノ特權ヲ法律ニ依ッテ與ヘルト云フコトハ、今日適當デナカラウ、且又大體ニ於テハ健康保險組合ト云フモノモ、ヤハリ其自治的ノ發達ニ委セル方ガ宜シイ、ソレアルガ爲ニ即チ醫師會トノ間ニ適當ノ協定モ出來テ、切磋琢磨シテ醫療ノ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ此健康保險組合ノ目的ト云フモノハ、是亦私ガ度々申上ゲマスルヤウニ、氣ノ毒ナ人ヲシテ醫療ノ機會ヲ得セシムルト云フ所ニアリ、隨ヒマシテ成ベク安イ金デ、失費ヲ掛ケズ、又醫療費ヲ出ス方法ヲ簡單ニサセヨウ、斯ウ云フ所ニ出デテ居リマスルノデ、唯無暗ニ醫者ノ藥價或ハ醫療費ヲ低下セシムルト云フダケノ目的デハナイノデアリマス、且又之ニ依ッテ開業醫等ガ壓迫ヲサレテ、所謂失業等ノ問題ヲ起スノデヤナイカト云フ御話モアリマシタケレドモ、併ナガラ是亦私ガ度々御說明申上ゲマシタ通リ、從來自分ノ生活ノ困窮ノ爲ニ、病氣ニナッテモ醫者ニ掛リ得ナカッタヤウナ階級ノ人ヲシテ、醫者ニ掛ケ得ル機會ヲ得セシムルノデアリマス、而モ從來ハ御醫者サンニ掛リマシテモ、盆暮ノ拂モ十分ニ行カナカッタ場合ニ於キマシテモ、今回保險ノ組織ニ依テ組合ヲ作ッテ、組合ガ支拂ノ保障ヲスルヤウナ恰好ニナルノデアリマスルカラ、醫者ニ掛ル患者ノ數モ殖エ、且又御醫者トシテハ支拂ノ保障ヲ

於テハ紐育「ヘラルド・トリビューン」ハ既ニ十一月十二日ニ之ヲ掲載シ、倫敦「タイムス」ハ十一月十八日ニ之ヲ社說ヲ以テ論ジテ居ッタノミナラズ、更ニ驚クベキコトヘ、此大體ノ傾向ガ昨年三月既ニ紐育ニ於テ印刷サレマシタ大平洋會議ノ「プログラム」ノ中ニ盛ラレテ居ルト云フ如ク、天下日本以外ノ國々ニ於テ知レ渡ッテ居ッタ事件ヲ、日本ノ國内ニ於テ餘リニ秘密ニ致シテ居リマシタ爲ニ、國民ハ當時ノ政府ノ政策ヲ支持セント欲スルモ、之ヲ支持スベキ材料スラ持タナカッタヤウナ狀態デアッタ、由來我國ニ於キマシテハ、外交ニ關シテハ之ヲ議會ニ於テ十分ニ討論ヲ致ス習慣ガナイ爲ニ、外交ニ關シテハ恰モ腫物ニ觸ルルヤウニ之ヲ取扱ッテ居リマシタ爲ニ、却テ世界ノ常識トナッテ居ルヤウナ事件スラ、日本國民自身ハ之ヲ知ラズシテ、政府ヲ支援スルコトスラ出來ナカッタト云フコトハ、寔ニ遺憾ナコトデアッタト思フノデアリマス(拍手)

私ハ固ヨリ外交ノ內容ガ悉ク議會ニ、或ハ國民ニ公表セラルベシト申スノデハアリマセヌケレドモ、過去ニ於ケル如キ極端ナル彈壓、機密ノ方法ヲ以テ致シテハ、眞ニ國民ノ同情ト熱情ヲ動員シテ、力アル國民外交ヲ行フコトガ出來ナイト思フカラ、過去ニ於ケル斯ノ如キ事件ヲ非難致シマスヨリハ、將來ニ亙ッテ外務大臣ガ之ニ對シ如何ナル御考ヲ有セラレ、如何ナル措置ヲ執ラレルカヲ、私ハ御伺致シテ置キタイノデアリマス

第二ハ私ハ日獨協定ノ問題ニ付テ御伺ヲ致シタイノデアリマス、日獨協定ノ成立自身ニ付テ、私ハ前內閣ニ御伺致シタイ色々マシテ、日「ソ」關係ニ言及セラレテ、何等カノ打開策ヲ發見シテ、兩國ノ關係ヲ良好ナル點ガアッタノデアリマスガ、併ナガラ其ノ點ニ去ッタル今日、私ハ既往ヲ論ゼント致スノデハナイノデアリマス、唯今儼トシテ存スル日獨協定ノ運用ヲ、現內閣ハ如何樣サレタノデ、漫然トシテ之ヲ聽ケバ「コミンテルン」ノ存在スル限リ、兩國關係ノ明朗化ハ困難デアルカノ如キ印象ヲ與ヘラレタノデアリマスガ、恐ラクハ外務大臣ノ眞意ハ其處ニハナカッタト思フノデアリマスガ、尙ホ此機會ニ於テ御諚ヲ致シテ置クノデアリマス、私ハ日「ソ」關係ノ重點ハ、日本ト「ソ」聯邦トガ國境ヲ接シテ居ルト云フ點ニアルト思フノデアリマス、吾々ハ三千年來海ニ圍マレテ居リマシタ爲ニ、國境ヲ隔テテ異民族ト對峙スル經驗ヲ持タナカッタカラ、國境ニ對スル觀念ガ歐洲各國ノ民ノ如ク熾烈デナイノデアリマスルガ、此接壤國ヲ新ニ滿洲國ヲ通シテ吾々ガ持ッタト云フコトハ、帝國ノ將來ニ對シテ深刻ナ影響ヲ持ツト思ヒマスル、故ニ私ハ此國境問題ノ解決ニ當ッテ、現內閣ガ如何ナル御用意ヲ持タレルカヲ伺ッテ置キタイノデアリマス、東洋ニ於テハ、從來國境ヲ隔テ、一觸即發ト云ヤウナ危險ナル狀態ヲ吾々ハ持ッテ居ナカッタノデアッテ、斯ノ如キ國境觀念ハ、東洋的ノ觀念デハナカッタノデアリマスル故ニ、吾々ハ此國境ノ觀念ノ明朗化ト云フモノガ、將來ノ日本ノ爲ニ洵ニ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、此點ニ付テ私ハ外務大臣ガ如何ナル對策ヲ御考ナッテ居ルカヲ伺ッテ置キタイノデアリマス、日獨協定ノ成立自身ニ付テ、私ハ前內閣ニ御伺致シタイ色々マシテ、日「ソ」關係ニ言及セラレテ、何等カノ打開策ヲ發見シテ、兩國ノ關係ヲ良好ナラシムル爲ニ致サナケレバナラナイト言ッテ居ラレルノデアリマスルガ、併シ外務大臣ハ其說明ヲ、要スルニ英國トハ出來ルダケ協調ヲ保ッテ行キタイト云フ御考デアリマス、ソレハ抽象論トシテハ其通リデアルト思フノデアリマス、併ナガラ具體的問題トシテ、英國ト日本ノ關係ヲ眺メマスルト云フト、明白ニ吾々ノ利害ハ世界ノ到ル處ニ於テ衝突ヲ致シテ居ルノデアリマス、今日日本ノ移民ハ英國ノ領土內到ル處ニ於テ排斥ヲ致サレテ居リ、日本ノ商品ハ英國ノ領內ハ申スニ及バズ、英國ノ勢力ノアル國々ニ於テ、亦排斥ヲ受ケテ居ルノデアリマス、卽チ日英親善ト云フ希望ト、利害ノ衝突ト云フ現實トヲ、外務大臣ハ如何樣ニ御調和ニナルカヲ伺ヒタイノデアリマス、例ヘバ通商ノ關係ニ於キマシテ、昭和七年以來日本ノ貿易ガ目覺シキ勢ヲ以テ世界ニ擴ガッテ居ッタニ拘ラズ、最近ニ至リマシテハ到ル處ニ於テ重大ナル障碍ニ面接ヲ致シテ、今ヤ停頓セントスル危險ヲスラ見テ居ルノデアリマス、殊ニ英國ノ王領植民地「セーロン」ノ如キハ、割當制實施以來四分ノ一ニ減退シ、英國ノ勢力下ニアル埃及ノ如キモ、二分ノ一ニ減退ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、加奈陀、濠洲、印度等ニ於テ協定ハ成立致シマシタケレドモ、吾々ノ希望ヲ未ダ十分ニ認メテ居ルト看做スコトハ出來ナイノデアリマス、而モ驚クベキコトハ、英國ハ單ニ英國領土內ニ於ケル日本商品ノ輸入ヲ防遏セント致スノミナラズ、英國以外ノ第三國ニ於テモ、日本商品ノ輸出ヲ防遏セント致シテ居ルコトヲ、私ハ昨年倫敦ニ於テ英國人ヨリ聽キマシテ一驚ヲ喫シタノデアリマスガ、此英國ノ海外貿易ニ對スル態度ガ纖細致シマスル限リ、日本ノ生命線ノ一ツデアル海外輸出貿易ノ前途ハ、洵ニ寒心スベキモノガアリマスル故ニ、私ハ日英親善工作ヲ致サレルト云フ御趣旨ニハ、滿幅ノ贊成ヲ致シマスルケレドモ、一方ニ於テ斯ノ如キ事實ヲ如何樣ニ解決セラレルノデアルカヲ御伺致シテ置キタイノデアリマス

次ニ私ハ日米關係ニ付テ御諚ヲ致シタイノデアリマス、日米ノ間ニ只今存在スル問題ハ、或ハ移民法ノ改正、或ハ通商問題モアリマスルケレドモ、ソレハ私ハ今日之ヲ論ジナイノデアリマス、今日米ノ間ニアル現實ノ問題ハ、海軍軍縮ノ問題デアリマスルガ、併ナガラ何故ニ海軍ノ問題ガ、日米ノ間ニ於テ斯ノ如ク重大ナッテ來タカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、ソレハ要スルニ支那ニ對スル發言權ノ問題デアルト私ハ眺メルノデアリマス、故ニ日本ト亞米利加トノ間ニアリマスル最モ重要ナル問題ハ、對支政策ニ付テ日本ノ態度ト亞米利加ノ政策トガ相容レザルモノデアルカ、或ハ協調可能ナルモノデアルカト云フ點ニ窮極ヲ致スト思フノデアリマス、然ルニ亞米利加ノ對支政策ハ「ジョン・ヘイ」ノ門戶開放政策ハ純粹ナル經濟政策デアリマシタ所、大正十一年華盛頓ニ於テ締結セラレタル所ノ九國條約ガ、領土保全ト稱スル政治的內容ヲ盛リマシタ爲ニ、遂ニ對支政策ノ內容ガ變化ヲ致シテ參リマシタケレドモ、米國ノ對支政策ノ內容ガ果シテ經濟的ナモノデアルカ、或ハ政治的ノモノデアルカト云フコトハ、吾々ガ更ニ檢討ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、卽チ滿洲事件當時ニ於テ不承認ノ原則ト云フモノガ唱道セラレマシタガ、ソレハ米國ノ對支政策ノ中心ヲ政治的ノモノト考ヘタル結果起ッタモノデアッタガ、吾々ノ眺メタ所デハ此米國ニ於ケル所ノ對支政策ノ眼目ハ次第ニ今變更ヲシテ本來ノ經濟政策ニ引返サント致シテ居ルト思フノデアリマス、若シ然ラバ日本ノ支那ニ於ケル所ノ眞意ガ眞實ニ米國ニ諒解サレマスナラバ、私ハ日本ト亞米利加トノ間ニ於ケル最モ重要ナル對支政策ニ付テハ、意見ノ衝突ハ無イモノト思フノデアリマスガ、此點ニ付テ外務大臣ハ日本ノ對支政策ノ眞實ノ姿ヲ、米國民ニ對シテ說明セラレ、其ニ於テ關係ヲ有シ、利權ヲ有スル是等ノ國々ト協力スルコトナクシテ、目的ヲ達成シ得ルト御考ニナルカドウカト云フコトデアリマス、ソレハ第一ニ日本ガ全世界ニ於テ貿易ノ進出ヲシテ參ッタ一ツノ原因ハ、吾々ガ對支貿易ガ激減致シマシタ爲ニ、之ヲ補フ爲ニ進出致シテ、英國ト全面的ニ衝突ヲ致シテ居ルノデアルカラ、若シ英國ト日本トノ具體的ナル協調ガ可能デアルト致スナラバ、ソレハ支那ノ問題デアルト私ハ眺メルノデアリマスルガ、其支那ノ新外務大臣ハ從來ノ行懸リヲ水ニ流シテ、平等ノ立場ニ立ッテ出直シテ見タイト申サレタノデアリマス、其根本ノ趣旨ニ於テ吾々ガ何等ノ異存ナキコトハ洵ニ當然デアリマスルケレドモ、ソレハ極ク抽象的ナル議論デアリマスルガ、吾々ノ知ラント欲スルノハ、然ラバ斯ノ如キ抽象論ヲ如何ニシテ具體的ニ國策ノ上ニ實現セラレルカト云フコトデアリマス、私ハ西安事件以後ニ於ケル支那ノ形勢ハ、非常ニ變化ヲ致シテ居ルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ソレハ一ニハ支那自身ノ變化デモアリマスルガ、今一ツハ第三國卽チ英國ノ態度デアリマス、英國ガ最近ニ至ッテ支那ニ對シテ本腰ニナッテ、援助ノ態度ヲ執ッテ參ルヤウニナリマシタ爲ニ、支那ノ形勢ガ變ッテ參ッテ居ルト思フノデアリマスガ、然ラバ私ガ玆ニ外務大臣ニ御伺致シタイコトハ滿洲ノ問題或ハ北支ノ問題ニ付テハ、日本一國ノ力ヲ以テ之ヲ解決致スコトモ出來ルデアリマセウガ、申支南支ノ問題ニ付テ政府ハ長ク支那ニ於テ關係ヲ有シ、利權ヲ有スル是等ノ國々ト協力スルコトナクシテ、目的ヲ達成シ得ルト御考ニナルカドウカト云フコトデアリマス、ソレハ第一ニ日本ガ全世界ニ於テ貿易ノ進出ヲシテ參ッタ一ツノ原因ハ、吾々ガ對支貿易ガ激減致シマシタ爲ニ、之ヲ補フ爲ニ進出致シテ、英國ト全面的ニ衝突ヲ致シテ居ルノデアルカラ、若シ英國ト日本トノ具體的ナル協調ガ可能デアルト致スナラバ、ソレハ支那ノ問題デアルト私ハ眺メルノデアリマスルガ、其支那ノ具體的ノ問題トシテ私ガ外務大臣ニ御伺ヲ致シテ置キタイコトハ、今日支那ノ關稅稅率ハ甚ダ高率デアル、其爲ニ、日本ノ對支貿易ガ甚ダ阻碍セラレテ居ルノデアル、而モ關稅自主權ノ回復ノ爲ニ率先シテ之ヲ援助致シタノハ、日本デアッタト云フコトヲ考ヘテ見マスト、今日ノ支那ガ日本ノ致シタ良キ事ハ之ヲ忘レテ、單ニ日本ノ致シタ事デ彼等ノ不平トスル所ノミヲ強調致シテ居ルノハ正當デハナイ、此高率ナル關稅ノ存在致ス限リ、日支間ノ經濟提携ハ洵ニ困難デアル實情ニ鑑ミマシテ、私ハ現外務大臣ガ此關稅改訂ノ問題ニ如何ニシテ指ヲ染メラレルカニ付テ、具體的ニ御伺ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス、今一ツハ私ハ日本國民ハ支那ノ復興ニ對シテ深甚ナル同情ヲ有シマスルガ故ニ、支那ノ經濟復興ニ對シテ吾々ハ積極的ノ援助ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマスルガ、其具體的ナ問題トシテハ、私ハ現前日本ノ前ニアリマスル所ノ問題ハ、對支投資ノ問題デアルト思フノデアリマス、然ルニ英國ハ既ニ西安事件以後ニ於テ、人ヲ派シテ支那ニ於テ投資ヲ實行セント致シテ居リマスル現狀デアリマスルガ故ニ、若シ日本ガ今日意ヲ決シテ此問題ノ解決ニ當ラザル限リハ立遲レトナッテ、將來日支提携ヲ阻碍ヲ及ボスノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、此點ニ關シマシテ私ハ外務大臣ハ日本ノ對支投資ニ關シテハ、他ノ國々ト協力ヲ致シテ之ヲ爲ス御考ガアルカドウカヲ、伺ッテ置キタイノデアリマス

トハ、世界ニ對シテ我ガ大陸政策ノ限界ヲ示セト云フコトデアリマス、日本ハ何處マデ來ルノカト云フコトガ、支那ノ大衆ノ懐イテ居ル不安デアリマス(「ヒヤ〳〵」拍手)日本ハ何處マデ行クノカト云フコトガ、吾吾國民ノ懐イテ居ル不安デアリマス(拍手)故ニ今日此點ヲ明白ニ決定スルコトガ、我ガ外交國策樹立ノ出發點ナリト考ヘルモノデアリマス(拍手)最近政府ハ日支ノ經濟的協力ヲ力說シテ居ラレマスコトハ、吾々國民トシテハ洵ニ喜ンデ居ル所デアリマスガ、此經濟提携ヲ行フニハ、何ヨリモ先ニ日支兩國ノ間ニ蟠ル不安ノ空氣ヲ一掃シナケレバナラヌト思フ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ日支ノ政治的折衝ヲ有利ニ行フノデナケレバ、本當ノ經濟提携ハ行ハレ得ナイモノデアルト考ヘルノデアリマス、又經濟提携ノ實行ニ際シテハ、從來ノ如ク政府ノ息ノ掛ッタ仕事バカリデナク、廣ク民間實業家ノ創意ヲ以テ、日支經濟界ノ本當ノ提携ヲ圖ルベキモノデアルト吾々ハ考ヘル(拍手)政府ハ此點ニ付テ如何ナル見解ヲ持ッテ居ラレルカ、伺ヒタイノデアリマス、元來今日マデ日支兩國ノ協力ガ豫想ノ如クニ進捗シナカッタト云フ原因ハ、一方ニハ平和的ノ努力ヲシナガラ、他方ニハ之ヲ破壞スルガ如キ行動ガ、白晝公然ト行ハレテ居ッタ爲メデアル(拍手)國民ガ外交一元化ノ必要ヲ痛感シタト云フコトハ、固ヨリ當然デアルト思ヒマス(拍手)私ハ茲ニ一ツノ例ヲ申上ゲル、日支交渉ガ南京ニ行ハレツヽアッタ其眞最中ニ、綏遠事件ガ白熱點ニ達シタ、日支交渉ハ之ヲ契機トシテ立往生シタコトハ御承知ノ通リデアリマス、其當時ノ支那ノ新聞ヲ披イテ見レバ、此事件ガ如何ニ支那民衆ノ結束ヲ鞏固ニシタカハ一見シテ明白デアリマス、廣東ノ刑務所ニ於テハ、獄ニ繫ガレタル多クノ囚徒ガ、食フ物ヲ食ハナイデ、之ヲ綏遠軍ニ獻金シテ居ルノデアリマス、斯樣ニ日支關係ニ重大ナ波紋ヲ與ヘタ事件ガ、我國ニ於テハ、我國ニ於テノミ其眞相ガ掩ハレテ、國民ハ五里霧中ニ彷徨シテ居ッタ(拍手)ケレドモ事件ノ眞相ハ知ル人ゾ知ル、私ハ遡ッテ過去ノ事實ヲ咎メヨウト云フノデハアリマセヌ、ケレドモ將來、少クトモ將來斯ノ如キ過チヲ再ビ繰返スコトノナイヤウニ、嚴重ニ警メナケレバナラヌト考ヘテ居リマス(拍手)佐藤外務大臣ハ日支兩國ハ平等ノ立場ニ立ッテト申サレタ、言換ヘレバ與ヘテ取ルト云フコトデアリマス、日支關係ノ整調ニハ大局ノ上カラ見テ、共存共榮ノ具體的政策ヲ用意シナケレバナラヌノデアリマスガ、從來ト雖モ我國ニ若シ明敏ナル政治家ガアッタナラバ、支那ヲ援助スル機會ハ屢々捉ヘルコトガ出來タ筈デス、一昨年ノ幣制改革ニ於テモ、昨年ノ西安事件ニ於テモ、絕好ノ機會ヲ眼前ニ見ナガラ、之ヲ逸シ去ッテ、徒ニ支那ヲ歐洲諸國ノ懐ロノ中ニ飛込マシテシマッタ、林内閣ハ果シテドノ程度マデ支那ト協力スル具體的ノ案ヲ持ッテ居ルノデアルカ、又我ガ大陸政策ノ眼界ヲ明白ニ表明スルダケノ決心ヲ持ッテ居ラル、カドウカ、此點ヲ伺ヒタイノデアリマス

最後ニ私ハ外交國策ノ根本ニ付テ、私ノ卑見ヲ申述ベテ政府ノ所信ヲ伺ヒタイト存ジマス(「緊急質問」ト呼ブ者アリ)近頃我國ノ外交ガ八方行詰リノ狀態ニアルコトハ、吾々國民ノ齊シク憂トスル所デアリマス、何ヲ以テ我國ノ外交ガ行詰ッタト言フノカ、今日ノ外交ハ不幸ニシテマルデ機動ノ自由ヲ失ッテ居ル、支那ニ對シテモ、「ソビエト」ニ對シテモ、或ハ又英米ニ對シテモ相手ノ思フ儘ニ引摺ラレテ、此方ハ手ヲ拱イテ呆然トシテ居ル形デアリマス、今日迄歷代ノ政府ハ外交ノ自主積極ノ看板ヲ揭ゲテ居ッタケレドモ、積極政策ノ如キハ實ハ藥ニシタクモ見當ラナカッタ、其間ニ周圍ノ情勢ハ益々惡化シテ、何時ノ程ニカ日本包圍ノ網ハ隈ナク張廻サレテシマッタ、此孤立ノ形勢ニ焦慮シタ廣田内閣ハ、僅ニ獨逸トノ協定ニ依ッテ世間體ヲ糊塗ショウト努メタノデアリマス、斯樣ニ歷代政府ノ其日暮シノ政策ニ依ッテ或國ハ洵ニ全面的ノ行詰リニ當面シテ居ル、行先ハ戰爭カ平和カト云フ岐路ニ立ッテ、國民ハ等シク不安ノ中ニ迷ッテ居ルノデアリマス、林内閣ハ此難局ヲ切拔ケルニ付テ、一層其責任ノ重大ナルコトヲ痛感セラレナケレバナラヌ、端的ニ申セバ今日我國ノ禍ハ、國民ガ進ムベキ明白ナル目標ガ示サレテナイト云フコトデアリマス(拍手)迷ッテ居ル民衆ヲ指導スベキ强イ力ガ無イト云フコトデアリマス、國内ノ政治ニ强力ナル中心ガナイガ如ク、外交國策ニ於テモ指導精神ヲ失ッテ居ルト思ヒマス、時ハ非常時デアルト言ヒ、國防ノ充實ハ一日モ忽セニスベカラズト言ヒツヽモ、其目標ハ何處ダト問ヘバ、或ル者ハ黑龍江ノ風雲急ナリト答ヘ、或ル者ハ太平洋ノ波高シト答ヘル、斯樣ニ國論ガ區々ニ岐レテ、國民ハ四方八方ニ精力ヲ分散シテ居ル、國民ノ多數ハ其嚮フベキ所ニ迷ッテ居ル、而モ外部ノ情勢ハ目ニ見エナイ力ヲ以テ、日一日ト我國ニ迫ッテ來テ居ル、是ガ現狀デアリマス、固ヨリ吾々ハ我ガ民族ノ將來ニ十分ノ確信ヲ持ッテ居ル、ソレ故ニコソ吾々ハモット落著イテ確乎タル國策ヲ定メテ、此國策ニ向ッテ精力ヲ集中シナケレバナラナイト主張スルノデアリマス(拍手)例ヘバ日本ガ全精力ヲ傾注スベキ滿洲國ニ付テモ、今日ノ狀態デ果シテ安心ガ出來ルノカ、多クノ點ニ付テ出直サナケレバナラナイ問題ヲ控ヘテ居ルノデハナイカ、滿洲國ノ發達、强化ノ爲ニ政府ハ全日本ノ智能ト財力トヲ動員スベキデハナイカ、是等ノ問題ハ國民ノ等シク聽カント欲スル點デアリマス、併ナガラ滿洲國ノ指導ニ精力ヲ集中スル爲ニハ、國力ヲ八方ニ分散スルコトハ嚴ニ戒メナケレバナラヌ、殊ニ領土的野心ヲ以テ長城ノ外ニ武力ヲ行使スルガ如キハ、斷ジテ戒メナケレバナラヌト思ヒマス(拍手)勿論平和的發展ノ爲ニハ五大洲到ル處ニ、堂々トシテ進出スル政策ヲ立ツベキデアル、吾々ノ前ニハ日本ノ輸出貿易ヲ阻害スル爲ニ、幾多ノ障碍ガ加ヘラレテ居リマス、ソレニモ拘ラズ過去數年ニ亙ッテ、我國ノ對外貿易ハ躍進ニ躍進ヲ重ネテ來タ、故ニ政府ハ此際宜シク通商自由ノ大旆ヲ揭ゲテ邁進スベキデアル、正義ト公平ノ精神ノ下ニ、世界資源

ノ公開ヲ主張シテ、一段ト積極的ナ努力ヲ爲スベキデアルト考ヘマス(拍手)是ダケノ氣魄サヘモ持合セノナイ爲ニ、北支ノ密輸入ニ片棒ヲ擔グガ如キ疑ヲ受ケテ、八方陳辯ニ是レ努メタノハ、國民ノ今尙ホ深ク遺憾トスル所デアリマス(拍手)林内閣ハ國體明徵ヲ其政策ノ劈頭ニ揭ゲテ居ラレル、其精神ハ恐ラク正義ノ國家ヲ打樹テルト云フ御趣意デアリマセウ、日本ハ未ダ曾テ武力ヲ以テ世界ヲ征服ショウナドト考ヘタコトハアリマセヌ、日本精神ハ正義ヲ以テ世界ニ臨ムコトヲ本質トスルノデアル、若シ林總理大臣ノ言ハレル祭政一致ト云フ言葉ガ、此正義國家ノ建設ヲ意味スルノデアルナラバ、吾々モ亦之ヲ支持スルニ決シテ吝デナイト云フ意ヲ表明シテ私ノ質問ヲ終リマス(拍手)

(國務大臣佐藤尙武君登壇)

○國務大臣(佐藤尙武君) 諸君、本日ハ鶴見君竝ニ芦田君ヨリ熱誠ヲ籠メテ、此重要ナル時期ニ際シマシテ、日本ノ外交ノ根本ハ何處ニアルカト云フコトニ付テ、詳博ナル御議論ヲ拜聽シタノデゴザリマス、之ニ對シマシテ御答ヲスルト云フコトハ、短イ時間デ果シテ出來ルカ、可ナリ困難ナ程重要ナ問題デゴザリマス、併ナガラ此議場ニ是ダケノ議員諸君ガオ居デニナリマシテ、而シテ是等ノ重要ナル諸問題ニ關シテ、政府ノ意向ヲ御聽質シニナリタイト云フ其御考ハ洵ニ御尤ナコトデゴザリマス、私自身自分ノ出來ルダケノ力ヲ以チマシテ御說明ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、先ヅ事ノ順序ト致シマシテ、私ハ兩君ノ質問ノ諸點ヲ擧ゲマシテ、而シテソレニ付キ一々御答辯申上ゲタイト思ヒマスル、併シ問題ガ問題デゴザリマシテ、又兩君ノ御話モ可ナリ似寄ッタ所ガゴザリマスルカラ、或ハ一括御返事ヲ申上ゲルト云フコトガアルカモ知レマセヌ

先ヅ鶴見祐輔君ノ第一問デアル歐洲ノ政情ニ關シテノ御見解デアリマスルガ、歐洲ニハ果シテ戰爭ガ勃發スルヤウナ危機ガ、其處ニ存在シテ居ルノカドウカト云フコトニ付キマシテハ、私ハ或ハ樂觀論者デアルカモ知レマセヌケレドモ、成程國際間ノ關係ハ頗ル逼迫シテハ居リマス、ケレドモ其逼迫其モノガ果シテ戰爭ヲ誘致スル性質ノモノデアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、私ハ多大ノ疑問ヲ持ッテ居リマス、成程戰爭ノ危險ハアルカモ知レナイ、各國ガ軍備ヲ是程蓄ヘテ、國境相接シテ居ル今日ニ於キマシテ、戰爭ノ危險ガ絕對ニナイトハ誰モ言ヘマスマイ、併ナガラ戰爭ト云フモノハ、果シテソレ程簡單ニ勃發スルモノデゴザイマセウカ、私ハサウデナイト云フ大キナ信念ヲ持ッテ居リマス、何トナラバ戰爭ノ勃發ヲ防止スル力ガ、又ソコニ反對ニ湧イテ來ツヽアルカラデアリマス、是ハ國際間ノ輿論デゴザイマス、輿論ノ力、ソレハ平和ヲ欲シテ居リマス、此輿論ノ力ヲ認メナイト云フコトハ、私ハ間違ッテ居ルト思ヒマス、日本モ併ナガラ戰爭ノ勃發スル危險ノ有ル無シニシロ、現在ノ問題トシテ、經濟上デハ各國ノ關係ハ是程逼迫シテ居ルデハナイカ、各國皆國家經濟主義ヲ採ッテ、自國ノ安立ヲノミ是レ事トシテ居ル、斯ウ云フ狀態ニ於テハ、國際間ノ關係ガ惡化スル一方デアル、成程其通リデアリマス、故ニ進ンデ日本モ自存ノ爲ニ必要デアルナラバ、滿洲其他ノ經濟上ノ所謂「ブロック」ヲ拵ヘテ、ソシテ此大勢ニ當ルベキデアルト云フ御說ヲ、鶴見君カラ承ッタト思フノデアリマスルガ、洵ニ御尤ナコトト思ヒマス、但シ果シテ現在ノ狀態ハ其處マデ行ッテ居ルカドウカ、私ハサウハ思ヒマセヌ、サウ云フ經濟上ノ「ブロック」ヲ拵ヘルト云フコトハ、是ハ切羽詰ッタ時ノ話デアッテ、現在ニ於テハ、少クトモ日本其モノノ生存ヲ開拓スベク、吾々ハマダ〳〵突進シ、且ツ努力ヲシナケレバナラヌ方面ガ澤山アルト思フノデアリマシテ、ソレ等ガ總テ不成功ニ終ッタ時ニ、初メテサウ云フコトモ研究サルベキデアルト思ヒマス

ソレカラ進ンデ祕密外交ニ付テノ御考ガアリマシタ、成程外交其モノハ國家ノ外交デアリマシテ、國民ガ其内容、外交ノ趣向ヲ知リタイト云フ希望ニ充チ滿チテ居ルノハ、是ハ極メテ諒解シ易イ所デアリマシテ、又今日ノ外交ニ於キマシテハ、國民ノ背景ナシニ、輿論ノ支持ナシニ外交ト云フモノハ行ハレルモノデナイ、ソレハ何人モ異存ノナイ所デアリ、又サウナクテハナラヌ所デアリマスル、併ナガラ國民ガ知ラント欲スル所ト、國家ノ利益ヲ如何ニ調和スルカト云フコトガ、私ハ最モ困難ナル問題ト思ッテ居リマス、成程國民ハ一日モ早ク知リタカラウ、併シ之ヲ知ラサンガ爲ニ、外交ノ內容ヲ發表スルト云フコトガ、若シ其時ノ情勢ニ於テ、國家ノ利益デナカッタトシタナラバ如何デゴザイマスカ、私ハ已ムヲ得ズ國家ノ利益ヲ先ニシテ、而シテ或ル解決ニ到著シタ場合ニ、初メテ國民ヲシテ知ラシメルト云フ外ハナイダラウト思ヒマス、而シテ外交ト云フモノニハ、ソレデハ祕密ハ絕對ニ必要ハナイノカト申シマスルト、是ハサウデハナイノデアリマシテ、例ヘバ個人々々ノ談判ニ於キマシテモ、亦ハ商談ニ於キマシテモ、祕密ハ常ニ作ッテ居リマス、前以テ自分カラ先ニ斯ウ云フ手デオ前ト談判スルノダ、斯ウ云フ內容デ以テオ前ト話ヲスルノダ、商談ヲ進メルノダトハ、誰モ申シマスマイ、私ハ國家ノ利益ヲ最モ多ク代表スル所ノ此外交ニ於キマシテ、前以テ自分ノ手ヲ公開スルト云フコトハ有リ得ナイト思フノデアリマス、總テ私ハサウ云フ場合ニ國家本位デ考ヘタイノデアリマシテ……

(發言スル者多シ)

○議長(富田幸次郎君) 靜肅ニ

○國務大臣(佐藤尙武君)(續) 果シテ國民ニ或ル時期ニ之ヲ發表スルカドウカト云フコトハ、總テ其時ノ情勢ニ依ッテ考フベキモノダト云フコトヲ附言シテ置キマス

進ンデ日獨協定ノ問題ニ付テ御質問ガゴ

ザイマシタ、本協定ハ御承知ノ如ク世界革命ヲ目的トシテ居ル「コミンテルン」ト云フモノノ破壞工作ニ對シテ、共同防衞ヲ爲スヲ本旨トスルト云フコトハ、既ニ明白デアリマス、締約國ノ國家ノ體裁若クハ國政ノ運用トハ、何等ノ關係ノナイ問題デアリマシテ、申ス迄モナク帝國ハ萬邦無比ノ獨特ナル國體ヲ有スルモノデアリマスカラ、帝國ガ所謂「ファッショ」ノ「ブロック」ニ參加シテ、共和國、民主國ニ對抗スルト云フガ如キコトハ、ソレ自體全ク意味ヲ成サナイ所デアリマス、本協定ハ「ファッショ」國タルト、民主國タルトヲ問ハズ「コミンテルン」ノ脅威ヲ感ズル一切ノ國ノ參加ヲ認メテ居ルノデアリマス、又特定國ニ對抗セントスルモノデハアリマセヌ、デアルカラ之ニ依ッテ他國トノ友交關係ガ害セラレルベキ筋ノモノデハナイト心得マスル、尤モ此點ニ付キマシテハ、可ナリノ誤解ガ作ッタノデアリマスルガ、今日ニ於テハ大分左樣ナ誤解モ解ケタト見受ラレマスルシ、隨テ本協定ニ依ッテ我國ガ古イ友邦ヲ失ッタトハ考ヘテ居リマセヌ、尙ホ今後モ一層此問題ニ付キマシテ、對外啓發ニ意ヲ用ヒルト共ニ、各方面ニ於ケル帝國ノ現實ノ行動ニ依リマシテ、右誤解ノ一掃ヲ期スルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、此協定ノ目的ガ只今申上ゲタヤウナ次第デゴザリマスルカラシテ、本協定ノ爲ニ我國ガ直接歐洲ノ政局ニ捲込マレルト云フ慮ハ、私共ハ一ツモ持ッテ居ナイノデアリマス

更ニ進ミマシテ日支間ノ問題ニ付テ御說明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、是ハ鶴見君ノ御質問ニ答ヘルノデアリマシテ、更ニ後段デハ芦田君ノ御質問ニモ亦御答スルコトニナルト思ヒマス、滿洲問題ニ對シテ、果シテ政府ハ之ヲ日支間ノ交涉ニ於テ、又再ビ問題トスルヤウナコトガアリハスマイカ、若クハ接壤國トノ治安ニ關シテ、日本ハ可ナリ大キナ利害關係ヲ持ッテ居ルガ、ソレヘドウスル積リデアルカ、更ニ進ンデハ支那ノ再建ト云フコトニ付テ、日本ハ積極的ニ援助スル考ハナイカト云フヤウナ、重要ナ點ニ付テ御質問ガアッタノデアリマス、固ヨリ滿洲國ノ儼トシテ存在シテ居ル今日ニ當リマシテ、而シテ又其滿洲國ニ關シテハ、歷史的ノ緊密ナル關係ヲ持ッタ日本トシマシテ、日支間ニ再ビ交涉ガ始マッタトシマシテモ、私共ハ此滿洲國ノ問題ニ關シマシテ、之ヲ再ビ兩國ノ問題トシテ取扱フ意思ハ一ツモ持合セヘゴザイマセヌ、接壤國ノ地方ニ關スル權益、之ヲ又如何ニシテ擁護スベキヤ、是亦私共ノ緊密ニ考ヘテ居ル所デゴザイマシテ、而シテ是モ亦如何ニ支那トノ間ニ協定スベキヤト云フコトニ付テモ、勿論愼重ナル考ヲ以テ攻究シテ居ルノデアリマス、支那ノ再生ニ關スル積極的ノ援助、是亦政府ト致シマシテ、何等問題トスル必要ナシト考ヘテ居ルノデアリマシテ、ソレハ卽チ積極的ニ支那ガ統一ヲシ、且ツ再生セントスル其運動ニ對シマシテハ、吾々ハ勿論滿腔ノ同情ヲ持ッテ之ヲ見、且ツ出來ルダケノ援助ヲシタイ、又シナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス

最後ニ鶴見氏ノ御話ハ、亞米利加トノ關係デアッタト思フノデアリマス、種々有益ナル御意見ノ御陳述ガアリマシテ、私共モ傾聽シタノデアリマス、帝國トシマシテハ、中支及ビ南支ニ對シテ門戶開放主義ヲ、依然トシテ持スルコトハ當然ナコトデアリマス、又我國トシテハ支那全土ニ亙ッテ、其主義ヲ尊重シテ行カウト云フ決心デアリマスル、亞米利加トノ關係ハ、窮極ノ所對支政策ニ關スル問題デアルト云フ御意見モ、全然御同感デゴザイマス、若シ日本ノ對支政策ナルモノガ、極メテ公明正大ナル基礎ニ築カレテ、米國ノミナラズ、各國ニ對シテ之ヲ公開シテ何等恥ヅル所モナク、又何等遲疑スル所モナイ、サウ云フ政策デアリマシタナラバ、私ハ亞米利加ガ特ニ日支間ノ關係ニ關心ヲ持ツ必要ハナクナル筈デアリマシテ、斯クシテ初メテ日米間ノ關係ガ全然常道ニ上ッテ、何等ノソコニ蟠リガナク、極メテ明朗ナル國際關係ニ入ルコトガ出來ルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、私ガ過日貴族院デ述ベマシタ平等論ニ關シテハ、鶴見君ハ、是ハ抽象的ノ議論デアル、是デハ單ニ如何ナル態度ヲ以テ臨ムカト云フコトガ言ヒ現サレタダケデアッテ、實際上ノ問題ニ關シテハ何等觸レテ居ラナイ（「其通リ」ト呼フ者アリ）其通リデアリマス、併ナガラ私ノ欲シマシタ所ハ、日支關係ガ可ナリ此數年來停頓シテ居リマシテ、其間ニ打開ノ緒ヲ見出スコトガ不幸ニシテ今日マデ出來ナカッタ現狀ニ於キマシテハ、何等カ交涉再開ノ爲ニ土臺ヲ拵ヘル、若クハ雰圍氣ヲ拵ヘルト云フコトガ必要デアルト云フ風ニ考ヘタノデアリマシテ、而シテ其爲ニハ私ノ申述ベタ此極メテ平凡ナル考ガ、其土臺ノ根本デナクテハナラヌト云フ風ニ私ハ信ジテ居ルノデアリマス、而シテ此極メテ陳腐ナル考サヘモ、亦茲ニ改メテ申述ベナケレバナラナイト云フ程、日支關係ガ停頓シテ居ッタト云フコトハ、洵ニ悲シムベキコトダト思フノデアリマス、私ハ此土臺ニ立チマシテ、而シテ虛心坦懷支那ノ責任者ト話スコトガ出來タナラバ、或ハ互ニ緒ヲ見付ケ、徐々ニ進ンデ行クト云フコトガ出來ハシナイカト云フ風ニ思フノデアリマシテ、私ハ現在ノ所其方針デ進ム外ナイト信ジテ居ルノデアリマス

更ニ平等論ヲ唱ヘテ、而シテ其裏面ニ非常ニ大キナ心配ハナカラウカ、今迄サウ云フ關係デハナカッタノニ、一朝平等ノ立場ニ立ツトスレバ、其結果ハドウデアラウカト云フコトニ付テノ御心配ガアリマシタ、私ハ其懸念ハ絕對ニナイトハ申シマセヌケレドモ、若シ吾々ノ方策トシテ支那ニ臨ム、其方策ガ極メテ公正ナモノデアッテ、又吾々ノ有スル權益ヲ擁護スベキ最小限ノ註文デアッタナラバ、私ハ之ヲ天下ニ示シテ、支那ト交涉スルニ當リマシテ何等遲疑スル必要ハナシ、又其最小限ノ註文ヲ吾々ガ死守スルト云フコトモ、決シテ無理ナコトデハナク、列國カラ見マシテモ當然ノコトデナケレバナラナイト思フノデアリマス、斯クシテ初メテ吾々ノ態度ハ鮮明ニナリ、支那ニ乘ゼラレル虞モナクナルト思フノデアリマシテ、若シ其交涉サヘモ不調ニ終ルナラバ、吾々ハ已ムヲ得ズ其相手國ノ態度ガ變ルマデ忍耐ヲ以テ、此儘維持スル外ハナイト思フノデアリマス

（發言スル者アリ）

○議長（富田幸次郎君）　靜肅ニ

○國務大臣（佐藤尙武君）（續）　次ニ芦田君ノ質問ニ移リマス、國防ト財政ト外交ノ調和ノ必要ガアルト思フガ、ドウデアルカト云フ御質問デアリマス、國防ハ之ニ關スル財政及ビ外交トガ、渾然一體ヲ成シテ、國策ノ遂行ニ當ラナケレバナラヌト云フコトハ、當然ノ御說ト思ヒマス、申スマデモナク政府ハ國際關係ヲ改善シテ、一層之ヲ明朗ナラシメル爲ニ、外交上最善ノ努力ヲ爲ス考デアリマス

次ニ日「ソ」關係ニ付テ種々ノ御質問ガゴザイマシタ、私ハ之ニ關シテ一括御答シタイト思フノデアリマス、去ル八日私ガ貴族院デ御話シマシタ、其中ニ「ソビエト」聯邦ノ中ニ、所謂「コミンテルン」ナル特殊ノ團體ガ存シテ居ラナカッタナラバ、日「ソ」間ハ固ヨリ、「ソビエト」ト諸外國トノ關係ハ、餘程明朗ニナルダラウト申シマシタ、之ニ對シテ「ソ」聯ハ――是ハ無意味ナコトヲ言ッタモノデアル、「コミンテルン」ガ「ソビエト」聯邦內カラ去ッテシマフ如キハ、到底行ハレザル問題デハナイカ、隨テ其解消若クハ退去ヲ待ッテ居ルヤウデハ、「ソビエト」トノ國交改善、若クハ各般ノ問題解決ノ如キハ、百年河淸ヲ俟ツガ如シト言フ人モアリマス、或ハ又日「ソ」間ノ諸問題ハ、右ノヤウナ强力ナ特殊團體ガ存在スルト否トニ拘ラズ、兩國間ノ問題トシテ殘存スルモノデアッテ、日本ハ其圓滿ナル解決ヲ欲求シテ居ルモノデアル、其解決ガ日本ニ取ッテハ必要ナノデアルト云フヤウナ批判ガ唱ヘラレマシタ、私モ此批評ハ確ニ當ッテ居ルト思ッテ居リマス、併シ私ノ所論ハ是等ノ觀念ヲ全然排除シテ申述ベタノデハナイノデアリマス、此「コミンテルン」ナル特殊ナル團體ガ存在スルガ爲ニ、「ソビエト」ノ隣國モ之ニ對シテ特殊ナル考量ヲ拂ハザルヲ得ナイノデアリマス、此「コミンテルン」ナル團體ガ世界的運動ヲ目途トシテ居リマスル以上、之ニ依ッテ危險ヲ感ズル諸國ハ、勢ヒ國際的手段ヲ以テ防護方法ヲ講ゼザルヲ得ナイト云フコトモ、當然ナコトト思ヒマス、而シテ是等ノ國際的防衞ヲ講ズルニ於キマシテ、其處ニ種々ノ猜疑、危惧ガ生ズルト云フコトモ、現時ノ國際關係ニ於キマシテハ已ムヲ得ナイ所デゴザイマスル、日獨協定ノ如キハ、正ニ以上ノ道程ヲ辿ッテ出來タモノデアリマス、又其結果トシテ只今申述ベマシタヤウナ猜疑心、若クハ危惧ノ念ヲ齎ラシタノデゴザイマス、斯ク論ジテ參リマスレバ、「コミンテルン」ナルモノノ存在ガナカッタナラバ、防共協定ナドト云フヤウナモノヲ考ヘル必要モナカッタモノデアリマシテ、隨テ同協定ノ結果、日「ソ」ノ間ニ起キタル誤解ナドモ避ケ得タ筈デアリマス、卽チ日「ソ」ノ間ノ關係ハ、モット能ク明朗デアリ得タノデアリマセウ、併シ防共協定其モノハ、洵ニ日「ソ」間ノ國交ノミカラ見マスレバ、不幸ナ出來事デアッタニ相違アリマセヌ、ガ斯ウ云フ團體ノ存在シテ居ル以上、洵ニ已ムヲ得ナカッタ所ト申ス外ハナイノデアリマス、偖テ日「ソ」ノ間ニハ現ニ懸案トシテ存在スル諸種ノ問題ガアリマス、サウ云フ懸案ノ解決、又ハ國交ノ調整改善ノ必要ニ至リマシテハ、我ガ帝國トシマシテモ全力ヲ盡サナケレバナラナイコトハ、日「ソ」兩國ガ境ヲ接シテ存在シテ居ル以上、私カラ申セバ當然過ギル程當然ノコトデアリマシテ、是ハ「コミンテルン」ナルモノノ存在ト否トニ拘リマセズ、政府トシテ當然試ミルベキ要ノアル問題デアリマシテ、此點ハ慥カ芦田君モ左樣ニ仰セラレタト思ヒマス、全然御同感デゴザイマスル、又私モ其決心ヲ以テ是カラ事ニ當リタイト考ヘテ居リマスル、而シテ之ヲ過去ノ事實ニ徵シテ見マスレバ、昭和元年北京デ締結セラレマシタ芳澤「カラハン」協定ト云フモノガゴザリマスルガ、其結果「シベリヤ」出兵、「ニコライエフスク」等ノ悲慘ナル事件ガアッタ後ヲ承ケテ、尙且ッ「ソビエト」ト日本トノ國交ハ完全ニ恢復シマシタ、數年ニ亙ッテ敦厚ナル交際ヲ續ケルコトガ出來タノデアリマス、私ハ「ソビエト」國人ト、日本人トノ間ニハ感情上一脈ノ相通ズルモノガアルト云フ風ニ考ヘテ居リマスルノデ、今後モ兩國ノ當局者ニ於テ虛心坦懷ニ平和ヲ欲シ、誠意ヲ以テ事ニ當リマシタナラバ、十二年前ノ先例ヲ繰返スト云フコトハ決シテ不可能ノコトデハナイト云フ風ニ存ジテ居リマス（「ヒヤ〳〵」）

對支政策ニ關シマシテ、芦田君ハ、何カ林總理、杉山陸相ト私トノ間ニ、其言フ所ハ必シモ一致シテ居ナカッタ、隨テ林內閣ニハ確固タル對支政策ヲ認メ得ナイ虞ガアルト云フ御質問デアリマスル、先日私ガ貴族院デ對支政策ヲ新ナル立場カラ見直シタイト云フコトヲ申述ベマシタ、其問題ニ付キマシテ、右ハ總理及ビ陸相ノ答辯ト一致シテナイヤウニ見受ケルト云フ御議論デゴザイマスルガ、私ハ帝國ノ對支根本方針ニ付テ別段變更ノ要ヲ認メテ居ル者デハアリマセヌ、唯從來ノヤリ口ニ付テ再檢討ヲ行ヒタイト思ッテ居ルノデアリマス、私ノ所言ト總理竝ニ陸相ノ所言トノ間ニハ、其結果トシマシテ何等不一致ノ點ガアルトハ存ジテ居リマセヌ、私ノ考デハ、前內閣ノ主義若クハ原則ト云フモノハ吾々ノ到達スベキ目的ヲ示シタモノデアッテ、其目的地ニ達スル迄ノ行キ方ハ色々アルト思ヒマス、私ハ其點ニ重キヲ置キマシテ、平等互惠ノ立場ニ立ッテ、支那ノ心配スル所モ聽キ、又吾々ノ緊密トスル權益ニ關スル主張モ十分ニ聽イテ貰ッテ、最小限ノ要求ニ對シマシテハ、吾々

ハソレヨリ一歩モ退クコトガ出來ナイト云フ立場ヲ執ッテ進ミタイト云フ風ニ思フノデアリマスル

最後ニ外交ノ國策ノ根本方針ニ付テ政府ノ所見ヲ御質問ニナリマシタ、成程我國ハ現時ノ狀態ニ於テハ或ハ八方塞リノヤウニ見エルカモ知レマセヌ、又芦田君ノ言ハレル所デハ、現時ニ於テハ平和カ戰爭カト云フ岐路ニ立ッテ居ッテ、國民ハ迷ッテ居ルト云フ御說デゴザイマシタ、日本內地デ當時能ク唱ヘラレタ言葉デアリマスルガ、三十五六年ノ危機ト云フコトガ常ニ人ノ口ニ上タノデアリマス、三十五六年ヲ經テ、而シテ現今カラ之ヲ顧ミテ見マスルト、果シテドウデアッタカ、危機ト云フ言葉ハ何ヲ言現ハスカ、若シ其危機ナル言葉ガ戰爭ヲ意味シテ居ラヌト云フコトデアレバ、私ハ當時、三十五六年ニ至ッテモ戰爭ハナイ、隨テ其意味ノ危機ナラバ有リ得ナイト云フ風ニ考ヘ、又當時日本ヘ歸ッテ居リマシテ、各方面デ其御話ヲ致シマシタ、若シ又其危機ナル言葉ガ國際關係ノ逼迫デアルト云フ意味ニ解スベキモノナラバ、ソレハ三十五六年ヲ待タズ、滿洲事件以來常ニ日本ハ危機ニ瀕シテ居ルノデアル、併シソレハ日本バカシノ特殊ノ問題デハナイ、歐羅巴ニ於テハ每日危機デアリマス、國ト國トノ境ヲ接シ、飛行機ノ如キハ一二時間ヲ爭フト云フ、サウ云フ地理的狀況ニ於テ、國際間ノ關係ニ融和ヲ缺キ、互ニ軍備ヲ整ヘテ居ルト云フ今日ニ於テハ、其危機ハ每日每時刻ニ存在シテ居ルノデアリマシテ、何モ日本ニ限ッテソレヲ氣ニ病ンデ、焦躁ナ氣分ニナルト云フ必要ハ一ツモナイト云フコトヲ私ハ申上ゲマシタ(拍手)其後三十五六年ヲ經テ、今現在三十七年ニナッテ之ヲ考ヘテ見マスルノニ、私ハ國際間ノ危機ト云フモノヲサウ云フ意味ニ解スルナラバ、而シテ又戰爭ト云フモノガ眼ノ前ニブラ下ッテ居ルト云フヤウナ意味ニ解スルナラバ、私ノ申シマシタコトガ理窟ガアッタト云フ風ニ感ズルノデアリマス、私ハ日本國ノヤウナ國柄ハ、出來ルダケ國民ヲ落著ケテ、此焦躁氣分ヲナクスト云フコトガ最モ必要ナコトト思ヒマス(拍手)勿論其爲ニハ國策ト云フモノヲ立テマシテ、之ヲ明ニシ、國民ノ歸趨ヲ示ス、國民ノ赴ク所ヲ示スト云フコトガ必要デアルノモ全ク御名論ダト思ヒマスル、私ハ國民ニ斯ウ云フコトヲ諒解シテ貰ヒタイト思フノデアリマス、本當ノ意味ノ危機、詰リ戰爭ノ勃發ト云フ意味ノ危機、日本ガ之ニ直面スルノモ、シナイノモ、私ハ日本自體ノ考ヘ如何ニ依ッテ決ルノデアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマス(拍手)若シ自分ガ其意味ノ危機ヲ欲スルナラバ、危機ハ何時デモ參リマス、之ニ反シテ、日本ハ危機ヲ欲シナイ、サウ云フ危機ハ全然避ケテ行キタイト云フ氣持デアルナラバ、私ハ日本ノ考ヘ一ツデ其危機ハ何時デモ避ケ得ルト確信致シマス(拍手)諸君、私ハ率直ニ甚ダ憚デゴザイマシテ、明ニ自分ノ意向ヲ表明スルコトガ出來ヌカモ知レマセヌケレドモ、私ハ今日ノ日本、ソレハ七十年ノ歷史、努力ヲ以テ、此處マデ築上ゲタ此日本ヲ何ノ必要ガアッテ、堂々タル態度ヲ執ッテ、堂々タル道ヲ步キ得ナイノカ、ソレヲ私ハ不審ニ感ズルノデアリマス(拍手)今日マデ進ミマシタ日本ハ、私ノ考デハ極メテ公明ナル方策ヲ立テマシテ、權謀術數ナドト云フコトハ、頭ノ中カラ全ク去ッテシマッテ、而シテ國際間ニ處シマシテ、坦々タル道ヲ大手ヲ振ッテ步ケバ、私ハ宜イト思フノデアリマス(拍手)斯クスレバ國民モ其外交政策ナルモノニ對シテ、十分ナル了解ヲ持チ得マセウシ、又國際間ニ處シマシテモ、誰シモ吾々ノ國策、外交政策ト云フモノニ對シテ、危惧ノ念ヲ懷クベキ筈ハナイノデアリマシテ、此大キナル國策ヲ背ニ脊負ヒマシテ、輿論ノ力ヲ以テ、而シテ自分達ノ前ニ開拓シマシタル明カナル大道ヲ、自分達ノ目的ニ向ッテ濶步シテ行キタイト思フノデアリマス(拍手)是ハ極メテ陳腐ナコトヲ申上ゲマスノデ、何モ新奇ヲ衒タ譯デモ何デモナイノデアリマス、私ハ外交ナルモノニ新奇ヲ衒フコトハ、大キナ間違ダト思ヒマス(拍手)極メテ普通ノ考カラ、極メテ單純ナル道ヲ、自分ノ持ッテ居ル常識ニ依ッテ判斷シテ、其道ヲ唯進ンデ行ケバ宜イト云フヤウニ考ヘルノデアリマシテ、斯クシテコソ初メテ國民モ一緒ニナルコトガ出來マセウシ、所謂吾々ノ欲スル擧國一致ノ外交政策ト云フモノガ、立チ得ルノデアルト思ヒマス、私ハ議會ハ勿論ノコト、政府、軍部、實業方面、新聞、其他皆此極メテ了解シ易イ國策ニ向ッテ、一致ノ態度ヲ執ッテ、而シテ此纏ッタ力ニ依ッテ、纏ッタ國論ニ導カレテ、而シテ吾々ニ與ヘラレタル此眞直グナ道ヲ、進ンデ行キタイノデアリマス、是ガ私ノ執ラントスル方策デゴザイマス(拍手)

○鶴見祐輔君　簡單デアリマスカラ、自席ヨリ發言ヲ御許ヲ願ヒマス

○議長(富田幸次郎君)　許可致シマス

○鶴見祐輔君　只今ノ外務大臣ノ最後ノ部分ニ關シマシテハ、吾々ハ十分ノ滿足ノ意ヲ表シマス、唯一點私ノ質問致シマシタル點ニ付テ、全然反對ノ御了解ヲ得タヤウデアリマスカラ、之ヲ申上ゲテ置キマス、即チ私ハ歐羅巴ニ斯ノ如キ戰雲ガ蠢イテ居ルノハ、極端ナル鎖國的ナル國民的經濟政策ヲ執ッタ結果デアッテ、ソレヲ是正スル方面ニ日本ハ行カナケレバナラナイ、「經濟的ブロック」ノヤウナ考デハイケナイト申シタノデアリマス(拍手)

○松永東君　殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君)　松永君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君)　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後七時三十五分散會

衆議院議事速記錄第十八號中

正誤

頁	段	行	誤	正
四二二	二	八	現內閣	前內閣
四二二	四	三三	財政	財源
四二四	二	九	前內閣ノ	前內閣ハ
四二四	四	四	當局者	當業者
四二五	二	一六	爲シタ	要求シタ
四二六	三	九	商工業	小工業
四二六	一	六	金融ガ	金融ト
四二六	二	二九	化學化	科學化
四二六	三	九	人間ノ人的	人的
四二六	三	二二	軍工業	重工業
四二六	四	四	有期	長期
四二六	四	二八	陸海軍	陸軍
四二七	三	三	斷然	斷乎
四二七	三	七	林內閣ハ成立シ	成立シ
四二七	三	二六	演說	理由

內閣印刷局

昭和十二年三月十四日印刷　昭和十二年三月十四日發行
第三種郵便物認可

官報

號外

昭和十二年三月十四日

○第七十回帝國議會衆議院議事速記錄第二十一號

昭和十二年三月十三日（土曜日）
午後一時三十九分開議

議事日程　第二十二號
昭和十二年三月十三日
午後一時開議
第一　小運送業法案（政府提出）　第一讀會
第二　日本通運株式會社法案（政府提出）　第一讀會
第三　帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第四　朝鮮事業公債法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第五　朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第六　昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第七　昭和七年法律第一號中改正法律案（滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會
第八　船員法改正法律案（政府提出）　第一讀會
第九　揮發油及アルコール混用法案（政府提出）　第一讀會
第十　貿易組合法案（政府提出）　第一讀會
第十一　貿易調整法案（政府提出）　第一讀會
第十二　工業組合法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第十三　昭和七年法律第十二號中改正法律案（造船局資金拂出ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會
第十四　日本銀行條例中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第十五　日本銀行參與會法廢止法律案（政府提出）　第一讀會
第十六　橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第十七　東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第十八　製鐵事業法案（政府提出）　第一讀會
第十九　大正九年法律第五十三號中改正法律案（關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會
第二十　地方鐵道補助法中改正法律案（政府提出）　第一讀會
第二十一　大正九年法律第五十六號中改正法律案（北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會
第二十二　防空法案（政府提出）　第一讀會
第二十三　海外移住組合聯合會ニ對スル政府貸付金ノ出資等ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第二十四　農村負債整理資金特別融通及損失補償法案（政府提出）　第一讀會
第二十五　帝國燃料興業株式會社法案（政府提出）　第一讀會
第二十六　人造石油製造事業法案（政府提出）　第一讀會
第二十七　商法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十八　肥料取締法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第二十九　酒造組合法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十　日本無線電信株式會社法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十一　特許法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十二　商標法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十三　不正競爭防止法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十四　裁判所構成法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十五　大正十年法律第百二號中改正法律案（定年ニ因ル退職判事檢事ノ恩給ニ關スル件）（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十六　兵役法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十七　產業組合中央金庫法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第三十八　產業組合自治監査法案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第四十　刑事訴訟法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第四十一　外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第四十二　軍事救護法中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）
第四十三　救護法中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（政府提出）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（委員長報告）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（政府提出）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（委員長報告）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（政府提出）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（委員長報告）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（政府提出）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（委員長報告）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（政府提出）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（委員長報告）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（政府提出）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（委員長報告）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（政府提出）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（委員長報告）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（政府提出）
昭和十一年度特別會計歲入歲出ノ追加更正ニ關スル法律案（委員長報告）

絲價安定施設特別會計法案（政府提出）
絲價安定施設特別會計法案（委員長報告）

移民保護法案（政府提出）
移民保護法案（委員長報告）

報告書

一軍事救護法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年三月十一日

委員長　川島正次郎

衆議院議長富田幸次郎殿

報告書

一救護法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年三月十一日

委員長　川島正次郎

衆議院議長富田幸次郎殿

報告書

一母子保護法案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年三月十一日

委員長　川島正次郎

衆議院議長富田幸次郎殿

（川島正次郎君登壇）

○川島正次郎君　只今上程セラレマシタ軍事救護法中改正法律案外二件ニ對シマスル委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、以上三案ハ社會施設的法律デアリマシテ、現在ノ國情ニ鑑ミマシテ、極メテ緊切且ツ重要ナル點アルヲ認メマシテ、委員會ニ於キマシテハ極メテ熱心ニ、即チ二月二十六日以來七日間ニ亙リマシテ、内務、大藏、司法、陸軍、海軍ノ各省大臣、若クハ政府委員ノ出席ヲ求メテ、質疑應答竝ニ意見ノ交換ヲ致シタノデアリマス、委員會大體ノ意向ハ、本案ノ内容ハ廣義國防ノ意味カラ見テモ、亦救貧政策ノ上ヨリ見テモ、極メテ不徹底デアッテ、更ニ一層擴大充實スルノ必要アリト云フニアリマシタ、委員中ニハ本案ノ各條ニ付テ改正ノ意向ヲ有ッテ居ル者少クナイノデアリマス、社會政策ノ立場ヨリ考ヘテ、極メテ重大ナリト考ヘマスルガ故ニ、其中主ナル點二三ニ付キマシテ、玆ニ御報告申上ゲタイト思フノデアリマス

軍事救護法ハ法律ヲ軍事扶助法ト改メマシテ、其内容ニ於キマシテハ、扶助ヲ受クベキ傷病兵竝ニ家族遺族ノ範圍ヲ擴張シ、同時ニ扶助條件ヲ緩和スルノデアリマス、其第五條ニ於テ、從來ハ生活不能ノ者ノミヲ救助シテ居ッタノデアリマスルガ、之ヲ生活困難ト云フコトニ改メル法案ニナッテ居リマス、然ラバ生活不能ト生活困難トノ差ハ、ドウ云フ方法ニシテ之ヲ定メルノカト云フ委員ノ質問ニ對シテ、政府ノ答辯ハ、從來一日ノ收入三十錢以下ヲ生活不能者ト認メテ來タガ、今回ノ改正ニ依ッテ三十五錢ニ改メタンダ、言換ヘレバ、生活困難ト生活不能トノ差ハ、僅カニ金ニ積ッテ五錢ダト、斯樣ナ御答辯デアッテ、之ニ對シテハ、委員悉ク不滿足ノ意ヲ表シタノデアリマス、而モ本法ノ改正ニ依リマシテ、將來扶助スベキ人員ガ當然増加サレルノデアリマスルガ、此増加人員竝ニ之ニ要スル費用ノ見積ニ付テモ、政府ノ見積ハ甚シク過小ニ失シテ、本案改正ノ曉ニ於テハ、政府ノ御發表ノ人員竝ニ豫算デハ極メテ不足デアル、尚ホ一層經費ヲ増額スル必要ナキカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ノ御答辯ハ、本法ハ補充課目デアルカラシテ、費用ガ足リナクナレバ、當然豫備金ヨリ支出スルノダト云フ御答辯デアリマス、併ナガラ此點ニ付テモ豫メ豫算ヲ決メテアルノダカラシテ、大體ハ是デ濟ム積リダト云フ御答辯ノ半面ニ於テハ、此豫算ノ範圍内デ行カナケレバナラヌト云フノデアリマスルカラシテ、豫算ニ制限サレテ、折角法律ハ改正シテモ、救濟スベキ人ヲ救濟シ得ナイ結果ニナルノデハナイカト云フ、強キ委員間ノ意見ガゴザイマス、更ニ軍事救護法ニ付テ最モ問題トナッタノハ、本法ニ於テハ内縁關係ニアル妻ヘ救濟サレナイ、併ナガラ農村一般ノ實際的ノ情勢ハ、正式ニ婚姻シタモノデモ入籍シ得ザルモノガ幾多アルノデアッテ、内縁關係ニアルモノヲ救濟サレナイノデハ、實際ノ庶民生活ニ當嵌ラナイ、宜シク本法ニ依ッテ内縁關係ノ者マデモ救濟スベシト云フ意見デアリマスケレドモ、之ニ對スル政府ノ御答辯ハ、元來本法ハ軍人ノ名譽ヲ重ズル法律デアル、隨テ法律的ニ認メラレナイ婚姻者ヲ、此法律ニ依ッテ救濟スルコトハ避ケタイ、サウ云フ人々ニ對シテハ、他ノ扶助團體ノ救濟ニ俟ツコトニシタイノダト云フ御答辯ガアリマシタ、之ニ對シテモ委員會トシテハ不滿足ノ意ヲ表シタノデアリマス

又母子保護法案ニ付キマシテハ、本法ハ夫ヲ喪ッタ母ガ貧困デアリマシテ、子供ヲ養育スル任務ヲ盡シ得ナイ者ニ對シテ、之ヲ救濟ヲシテ、次代國民ノ健全ナル發達ヲ圖ルト云フ趣意デアルノデアリマスガ、其第一條ニ「貧困ノ爲生活スルコト能ハズ」ト斯ウナッテ居ル、同ジク軍事救護法デハ、今回特ニ條文ヲ改メテ生活困難トシタノデアリマスカラシテ、軍事救護法ト均衡ヲ取ル爲ニ、此母子保護法モ生活不能者ノミナラズ、生活困難ナル者ヲモ救ッテハドウカト云フ意見ガアリマシタケレドモ、之ニ對スル政府ノ御答辯ハ、軍事救護法ト母子法ト、立法ノ根本ノ精神ガ違フ、母子保護法ハ救貧政策ニ立脚シテ居ルノダカラシテ、先ヅ貧困ノ爲メ生活スルコト能ハズト云フ程度ノ者ヲ救フガ宜イト云フ御意見デアリマシタ、モウ一ツ本法ニ依ルト、年齢十三歳以下ノ子供ヲ擁シテ居ル者ヲ救フト云フコトニナッテ居リマスガ、之ニ對シテ工場法ト同ジク十五歳以下トシタラドウカト云フ御意見ガアリマシタガ、政府ノ御答辯ハ、現行ノ救護法第一條ト均衡ヲ保ツ爲ニ、十三歳以下トシタト云フコトデアリマシタ、而シテ此法律ガ新シク發布サレマシテ、救助サルベキ人員ノ見込ハ、九万五千五百二十三人デ、其豫算ハ十二年度ニ於テハ六十四万八千圓、平年度ニ於テハ二百五十九万二千圓ト云フコトニ相成ッテ居リマス

更ニ救護法ニ付キマシテハ、本法ノ改正ノ要旨ハ、現行ノ補助率ガ等シク二分ノ一以内トナッテ居ルノヲ、道府縣市及ビ私人ノ負擔ニ係ルモノニ付テハ二分ノ一、町村ノ負擔ニ係ルモノニ付テハ十二分ノ七トスト云フ改正デアリマシテ、本案ニ付キマシテモ、從來ノ救護費ハ其單價ガ低イノデアルカラシテ、相當ニ高メル必要ガアルノヂヤナイカト云フ質疑ガアリマシテ、質疑ノ内容、重要ナモノハ以上ノ通リデアリマシテ、委員會ニ溢レテ居ル所ノ空氣ト云フモノハ、政府ノ社會政策ニ對スル熱意ガ極メテ不足デアッテ、折角改正ヲサレルナラバ、何故ニモット擴充シタ、モット充實シタ提案ヲナサラヌカト云フノニアッタノデアリマス

討論ニ入リマシテ、松本治一郎君ヨリ母子保護法ニ付キマシテハ

一、第十三條ノ年齢十三歳以下トアルヲ工場法ニ於ケル幼年工ノ保護規定ト同ジク滿十五歳以下トスルコト

二、第一條ノ一號中「精神又ハ身體ノ障碍」トアル次ニ「失業」ヲ加フルコト

三、第二條中母ノ地位ニ代ッテ子ヲ養育スルモノトシテ祖母ノ外ニ姉及伯叔母ヲ加フルコト

四、第三條中「性行其ノ他ノ事由ニ因リ」トアル制限ヲ削除スルコト

五、第四條ノ全文ヲ削除スルコト

六、第五條ノ方面委員ヲ市町村長ノ補助機關トスルノ規定ハ本法ニ限リ別箇ノ母子保護委員ヲ設置スルコト

七、第六條ノ扶助ノ限度ヲ定メタル内「子ノ養育」ノ次ニ「教育」ヲ加フルコト

八、第六條第四項ニ依ル勅令發布ノ場合ニハ扶助ノ種類、方法、金額等ニ付充分社會的事情及母子ノ立場ヲ理解スル社會事業家、學識經驗アル女性ヲ加ヘタル委員會ヲ設置シ之ニ諮問スルコト

九、姙婦ヲ本法ニ依ッテ保護スル規定ヲ設ケ第六條ノ扶助ノ種類ノ中ニ「助産」ヲ加フルコト

十、扶助費ハ之ヲ全額國庫負擔トスルコト

又救護法ニ付キマシテハ

一、第一條ノ「六十五歳以上」ヲ「六十歳以上」トシ「十三歳以下」ヲ「十五歳以下」トスルコト

二、第一條第四項ノ「精神又ハ身體ノ障碍」ノ次ヘ「失業」ヲ加フルコト

三、第二條ハ全文削除スルコト

四、第二十五條ノ救護費ハ之ヲ全額國庫負擔トスルコト

軍事救護法ニ付テハ

一、本法ノ名稱ヲ「軍事補償法」トシ以下各條ノ「扶助」ヲ「補償」トスルコト

二、第五條ノ「扶助ハ生活ニ必要ナル限度ヲ超ユルコトヲ得ス」トアルヲ「補償ハ生活ニ必要ナル限度ヲ下ルコトヲ得ス」トスルコト

三、第十三條ノ二ノ「二十日以内」ヲ「三月以内」トスルコト

四、第十四條ノ「三月内」ヲ「六月内」トスルコト

五、第十五條ノ「三月内」ヲ「六月内」トスルコト

六、入營又ハ出征兵士一家族當年額百八十圓ヲ兵士家族生活補償金トシテ國庫ヨリ支出シ之ヲ月割ニテ毎月末各家族ニ現金ヲ以テ交付スルノ兵士家族生活補償ニ關スル法律案ヲ次期議會ニ提出セラレタキコト

以上ヲ修正案トシテ提出シタイノデアルケレドモ、此際ハ之ヲ修正案トシテ出サズニ、將來政府ニ於テ此點ヲ考慮シテ、適當ニ改正シテ貰ヒタイト云フ意見ヲ附シテ贊成スルト云フ御演說ガアリマシタ、又升田憲元君ヨリ、本法ニ對スル修正動議トシテ

一、軍事救護法ノ名稱ヲ「軍事保障法」ニ改メ以下「救護」ヲ「保障」ニ改ムルコト

二、第一條ヲ「傷病兵、其ノ家族若ハ遺族又ハ下士官兵ノ家族若ハ遺族ハ本法ノ定ムル所ニ依リ保障ヲ受クルノ權利ヲ有ス」ニ改ムルコト

三、第二條ニ「保障ハ保障ヲ受クベキ者ノ居住地ノ市町村長之ヲ行フ」ト規定スルコト、以下順次條文ヲ繰下ルコト

四、第三條第一項第二號中「傷病兵ノ兵役ヲ免ゼラレタル時」ヲ「傷病兵ノ轉役又ハ兵役ヲ免ゼラレタル時」ニ改メ以下各條ニ於テモ同ジクスルコト

五、第三條第一項第三號中「傷病兵ニ依リ扶養ヲ受クベキ者」ノ次ニ「又ハ其生活ヲ維持シタル者」ヲ加ヘ第四條第三號ニ於テモ同趣旨ニ改ムルコト

六、第四條第三號中「下士官兵ノ入營若ハ應召シタル時又ハ傷病兵ノ兵役ヲ免ゼラレタル時」トアルヲ「下士官兵又ハ傷病兵ノ死亡ノ時」ニ改ムルコト

七、第十三條ノ二中「二十日」ヲ「一月」ト云フ修正動議デアリマス、更ニ石坂豐一君ヨリ

一、社會政策立法ノ擴充ヲ期スルコト

二、内縁ノ妻及私生兒ヲ扶助スルノ要アリト認ムルヲ以テ將來此點ニ關シ研究ヲ進メラレタキコト

三、母子法第一條ノ「貧困ノ爲生活スルコト能ハズ」トアルヲ「生活困難」トスル點ニ付テ將來訂正サレタキコト

ノ三點ノ希望ヲ附シマシテ贊成ノ御意見ガアリマシタ、更ニ岡田春夫君ヨリ、「各案ニ對シテ扶助ノ實際ニ當ッテハ各府縣區々ノ點ガアルカラ、將來統一ヲ圖ルヤウ注意ヲシ、不公平ニ亙ルガ如キコトノナイヤウニ愼重留意サレタシ」トノ條件ヲ附シテ贊成ノ御意見ガアリマシタ

委員會ハ採決ニ當リマシテ、先ヅ母子保護法案ト救護法中改正法律案ノ可否ヲ諮ヒマシタ所ガ、滿場一致原案ニ贊成ヲ致シマシテ、更ニ軍事救護法中改正法律案ニ付キマシテ、先ヅ升田憲元君ノ修正意見ヲ諮リマシタ所、起立者升田君一人デ、否決ヲ致サレマシタ、原案ハ大多數ヲ以テ可決サレタノデアリマス、以上御報告申上ゲマス（拍手）

○議長（富田幸次郎君）　討論ノ通告ガアリマス、之ヲ許可致シマス――岡田春夫君

附帶決議

一　絲價低落ヨリ來ルベキ損失ヲ養蠶家ノミニ轉嫁セシメザル爲絲價安定委員會及繭價協定委員會ノ運用竝產繭處理統制組合ノ機能ヲ發揮セシムルニ遺憾ナキヲ期スベシ

一　政府ハ速ニ普通蠶種ノ國家管理竝桑園ノ調整ニ關スル適切ナル方策ヲ樹立スベシ

一　國用生絲需要增進ノ爲品位ノ向上ト取引ノ公正ヲ期スルハ極メテ緊要ナリ仍テ政府ハ國用生絲檢查所ノ普及ニ對シ助成ノ途ヲ講ズベシ

報告書

一絲價安定施設特別會計法案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年三月十二日

委員長　紫安新九郎

衆議院議長富田幸次郎殿

〔紫安新九郎君登壇〕

○紫安新九郎君　諸君、只今上程セラレマシタル絲價安定施設法案及ビ絲價安定施設特別會計法案ノ委員會ニ於ケル經過竝ニ結果ヲ一括御報告致シマス

本案ハ我ガ蠶絲對策ノ核心ヲ成ス絲價安定ニ關スル施設デアリマシテ、其手段トシテハ、製絲業者ヲシテ絲價安定施設組合ヲ作ラセ、其組合ヲシテ生絲ノ賣買又ハ共同保管ヲ行ハシメル、而シテ政府ハ其組合ノ施設ヲ援助スル爲ニ、政府ガ現在持ッテ居ル所ノ五万俵ノ生絲ト、更ニ七千万圓ノ資金ヲ融通ノ途ヲ講ジテ、絲價ノ異常ナル高値ヲ抑ヘテ、需要ノ減退ヲ防ギ、他方ニ於テハ異常ナル安値ヲ喰止メテ、生產機構ノ破壞ヲ防止セントスルノデアリマス、隨テ頗ル廣汎且ツ强力ナル統制ガ企圖サレテ居リマス、委員會ニ於テハ熱心ニ且ツ愼重ニ審議致シマシタ、其中ニ於テ議論ノ焦點トナリマシタルモノハ施設法案第十一條デアリマス、第十一條ニ依レバ、生絲ノ買入價格ヲ決定スルニ當リテ、生絲ノ生產費ノミハ、現金支出ハ全額ナルモ、勞力ナドノ自給費ハ之ヲ一定割合ニ止メテ居ルノハドウ云フ譯デアルカ、是ハ製絲業者ニ厚クシ、養蠶家ニ薄クシテ居ルノデハナイカト云フノデアリマス、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、金錢支出ハ養蠶家ト致シマシテハ現實ニ出シタ金デアルカラ、セメテ是ダケ補償シテ貰ヘバ、非常ニ自分等ハ安心ダト云フコトガ、各方面デ盛ニ唱ヘラレテ居タノデ、金錢支出ハ是非補償シタイ、併シ自給費ト云フモノハ、養蠶經營ノ相當ノ部分ヲ占メテ居ルモノデアリマスルカラ、其或ル部分ヲ補償セヨト、養蠶經營ト云フモノノ眞ノ安定ガ期シ難イト云フノデ、ソレニ一定ノ割合ヲ加ヘタノデアル、隨テドノ程度ニ竝ベバ養蠶農家トシテ十分ニ補償サレルカト云フト、此一定割合ノ加ヘ方如何ニアルノデアル、本案ノ構成自體ハ決シテ製絲家ヲ保護スル意味デ、養蠶家ヲ輕クスルト云フモノデハナイ、元々繭ノ買上デハナク絲ノ買上デアルカラ、絲ノ値段ノ買入價格ヲ構成スル以上ハ、斯ウ云フ立テ方デナイト所期ノ目的ヲ達セラレナイト云フノデアリマス、又政府ハ此施設ダケデ總テガ養蠶農家ノ保護ニナルト云フ風ニハ考ヘテ居ラヌ、養蠶農家トシテ非常時ノ場合ニ一ツノ安全瓣ガアレバ、或ル程度ノ安心ヲ與ヘルト云フ所カラ、此施設ガ出來テ居ルノデアルト云フノデアリマス

而シテ兩案ヲ採決スルニ當リマシテ、民政黨ノ百瀨君、政友會ノ橫川君、昭和會ノ靑木君ヨリ、斯樣ノ附帶決議ガ提出セラレタノデアリマス

一　絲價低落ヨリ來ルベキ損失ヲ養蠶家ノミニ轉嫁セシメザル爲絲價安定委員會及繭價協定委員會ノ運用竝產繭處理統制組合ノ機能ヲ發揮セシムルニ遺憾ナキヲ期スベシ

一　政府ハ速ニ普通蠶種ノ國家管理竝桑園ノ調整ニ關スル適切ナル方策ヲ樹立スベシ

一　國用生絲需要增進ノ爲品位ノ向上ト取引ノ公正ヲ期スルハ極メテ緊要ナリ仍テ政府ハ國用生絲檢查所ノ普及ニ對シ助成ノ途ヲ講ズベシ

而シテ本案及ビ附帶決議共ニ大多數ヲ以テ可決セラレタノデアリマス、何卒委員會ノ決定通リ御贊成アランコトヲ希望致シマス（拍手）

○議長（富田幸次郎君）　討論ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許可致シマス——佐竹晴記君

〔佐竹晴記君登壇〕

○佐竹晴記君　私ハ本法案ニ反對ヲ致シマス、其要旨ハ第一、養蠶農民ノ立場ニ立チマシテ反對ヲ致シマス、農民ノ最小限度ニ於ケル繭生產費スラ補償サレナイ、本法案ハ結局養蠶農民ヲ犧牲トシテ絲價ノ安定ヲ策スル結果トナリ、歸著スル所、製絲業者保護政策ニ墮スルヲ以テ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、第二ハ、本法案ガ企圖致シマスル價格統制ノ方法ニ依リマシテ、絲價安定ハ斷ジテ期シ得ラレナイト考ヘルノデアリマス、第三ニハ、本法案ニ依リマシテ期セント致シマス絲價ノ統制ニハ、ソレ自體行詰リヲ來ス處ガアルノミナラズ、諸種ノ弊害ヲ伴フ危險ガアリマスノデ、以上三點ノ理由ニ依リマシテ反對ヲ致シマス、以下第一ヨリ其內容ヲ說明致シタイト存ズルノデアリマス

第一、本法案ノ第十一條ニ於テハ賣渡價格卽チ最高價格、及ビ買入價格卽チ最低價格決定ノ方法ヲ規定致シテ居リマス、所謂制高制低價格ヲ公定致シマシテ、絲價安定操作ノ基準トナサント致シテ居ルノデアリマス、所ガ此規定中、養蠶農民ニ取リマシテ極メテ重大ナ關係ヲ持ッテ居リマスル繭ノ生產費ニ付テハ、「生產費中ニ於ケル現金支出額ニ自給費ノ一定割合ノ金額ヲ加ヘタル モノ」ト明記致シマシテ、生產

費全部ノ加算ハ、之ヲシナイト云フコトガ明定サレテ居ルノデアリマス、若シ左ニ相成リマスレバ、此規定ハ養蠶農民ノ最少限度ノ生產費スラ、之ヲ顧慮サレナイコトニナルノデアリマス、更ニ一步進ンデ之ヲ考ヘマスルノニ、繭ノ生產費ガ一體ドレダケ掛ルカト云フコトハ、實際問題トシテ極メテ困難デアリマス、地理的ニモ違ヒマセウシ、養蠶家一人々々ノ經營方法ニ付テモ相違ヲ來スデアリマセウ、或ハ自作農ト小作農、或ハ桑園ノ工合等ニ依リマシテモ、色々ノ相違ヲ來スデアリマセウ、全國養蠶聯合會調查ニ依リマスレバ、昭和十一年ノ春繭ニ於テ、最低沖繩ニ於テノ二四一錢ニ對シテ、最高長野ノ五圓三十五錢ト云フ、驚クベキ開キヲ示シテ居リマス、農林省ノ實態調查ニ依リマスレバ、昭和九年ノ春秋繭ヲ通ジマシテ、最高愛媛ノ中川村ノ四圓五十四錢四厘ニ對シマシテ、最低埼玉縣中川村ノ一圓九十六錢五厘、其差額實ニ二圓五十七錢九厘ト云フ狀態ヲ示シテ居ルノデアリマス、一縣一村ノ相違ニ於テスラ斯ノ如キ大ナル開キガアルト致シマスナラバ、個々ノ養蠶家ノ間ニ於ケル生產費ノ相違ハ測リ知ルベカラザルモノガアルト言ハナクチヤナラヌノデアリマス、ソコデ本案ノ制高制低價格ハ、一體ドノ生產費ヲ基準トシテ之ヲ定メヤウトスルノカ、米ノ生產費ノ如キハ、一石十七圓位カラ四十三圓マデノ間、其中ノ異常ナモノヲ除外致シマシタ平均ヲ取ッテ定メルト云フコトニナッテ居リマスガ、一體ドノ邊ガ異常デアルカト云フコトニ付テハ、之ヲ決メル人ノ心持ニ依ッテ變ルノデアッテ、確固タル基準ト云フモノハアリ得ナイノデアリマス、斯ク致シマシテ、先ヅ中間ノ平均價格程度デ、其生產費ヲ定メマシテ、之ヲ基準ト致シマスナラバ、ソレハ以上ノ生產費ヲ要シマシタ農民ニ取リマシテハ、全ク損害ヲ蒙ラザルヲ得ナイノデアリマス、詰リ公定價格ノ基準トナリタル生產費ヨリモ、尙ホ高イ生產費ヲ出シマシタ養蠶農民ハ、其農民ダケガ損ヲスルコトニ依ッテ、大製絲家ノ爲ノ絲價安定ヲナサシメル結果トナリ、結局一部養蠶農民ヲ犧牲ニ供スルコトニ依ッテ、製絲業者ノ生活安定ヲ得セシムルト云フ結果ニナラザルヲ得ナイノデアリマス（拍手）

更ニ一步進ンデ考ヘンケレバナラヌノハ、本法案第三十一條ノ生產制限ノ問題デアリマス、政府ハ蠶絲業組合法ニ依ル養蠶團體ニ於ケル自治的生產調節ノミニ期待シテ居ルデアリマセウガ、是ハ恐ラク期待ガ外レルノデハナイカト思フノデアリマス、養蠶農民ノ殆ド大部分ガ一定ノ桑園ノ上ニ、長キニ亙ッテ耕作ヲ致シマシテ、家族ノ勞力ヲ以テ營マレテ居ル所ノ、所謂家族的經營方法デアルノデアリマス、繭ノ値段ガ引合ハウト引合ハナイトニ拘リマセズ、養蠶家ハルコトトナッテ、其シキ苦痛ヲ農民ガ嘗メナクチヤナラヌト云フ狀態ニアリマス、今又茲ニ絲價安定施設法ヲ提出致シマシテ、農民ノ犧牲ニ依ッテ絲價安定ヲ期ショウト致シマスコトハ、一體農民ニ對シテ政府當局ノ値ガ下ッタラト云ッテ、養蠶ヲ止メラレナイノミカ、却テ餘計ニ飼育致シマシテ、其損害ヲ埋合セヤウト致シマスノハ、農民通常ノ心理デアルノデアリマス、隨ヒマシテ本法案ニ於ケル、最低價格決定ノ基準タル生產費ヨリモ、尙ホ高イ生產費ヲ支出致シタ農民、或ハ生產制限ニ伴ヒマシテ、其仕事ヨリ離レナケレバナラヌ農民ノ損失ヲ補償スルノ制度ヲ立テ、最小限度ノ農民生活ヲ安定セシムルノデナケレバ、農民ハ徒ニ本法案ノ犧牲者トナルモノト言ハナケレバナラナイノデアリマス、獨逸ノ「ナチス」ニ於テハ、農業ハ全然公益事業デアル、營利事業デナイ、隨テ農民ノ生活維持ハ、國家ガ義務トシテ之ヲ負擔スベキモノデアルト云フ、確固タル「イデオロギー」ノ上ニ立ッテ居ルト云フコトデアリマス、洵ニ私共ハ左樣アルベキモノデアルト思フ、然ルニ我國養蠶農民ハドウデゴザイマセウ、曩ニ產繭處理統制法ガ制定サレマスルヤ、相當救ハレルモノト思ッテ居リマシタガ、却テ逆ニ苦シメラレツヽアルノ狀態デアリマス、乾繭貯藏ノ便ハ、徒ニ製絲家經營ノミノ安定ニ寄與スル所アルノミナラズ、却テ之ニ依ッテ製絲家ノ負擔致シテ參リマシタ莫大ナル危險ガ、農民ニ轉嫁サレルノデアリマス、ソコデ本案ノ如キハ、一體ドノ生產費ヲ基準トシテ之ヲ定メヤウトスルノカ、今又茲ニ絲價安定施設法ヲ提出致シマシテ、農民ノ犧牲ニ依ッテ絲價安定ヲ期ショウト致シマシタ桑園ノ上ニ於ケル繭生產費スラ補償サレナイ、本法案ハ結局養蠶農民ヲ犧牲トシテ絲價ノ安定ヲ策スル結果トナリ、歸著スル所、製絲業者保護政策ニ墮スルヲ以テ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、第二ハ、本法案ガ企圖致シマスル價格統制ノ方法ニ依リマシテ、絲價安定ハ斷ジテ期シ得ラレナイト考ヘルノデアリマス、第三ニハ、本法案ニ依リマシテ期セント致シマス絲價ノ統制ニハ、ソレ自體行詰リヲ來ス處ガアルノミナラズ、諸種ノ弊害ヲ伴フ危險ガアリマスノデ、以上三點ノ理由ニ依リマシテ反對ヲ致シマス、以下第一ヨリ其內容ヲ說明致シタイト存ズルノデアリマス

第一、本法案ノ第十一條ニ於テハ賣渡價格卽チ最高價格、及ビ買入價格卽チ最低價格決定ノ方法ヲ規定致シテ居リマス、所謂制高制低價格ヲ公定致シマシテ、絲價安定操作ノ基準トナサント致シテ居ルノデアリマス、所ガ此規定中、養蠶農民ニ取リマシテ極メテ重大ナ關係ヲ持ッテ居リマスル繭ノ生產費ニ付テハ、「生產費中ニ於ケル現金支出額ニ自給費ノ一定割合ノ金額ヲ加ヘタル モノ」ト明記致シマシテ、生產

他ニ轉業ヲスルコトヲ許サナイ運命付ケラレタ下ニアリマスル譯ニ、更ニ其生產致シマシタ生絲ハ、殆ド其全部ガ米國一箇國ニ對スル宿命的輸出ニ依ラナケレバナラナイ狀態ニ置カレテ居リマス關係上、此生絲ノ不安ガ是ヨリ發スルモノト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、若シ繭ニ代作物ガアッテ、安イ時ニハ他ノ仕事ニ轉ジ、高イ時ニハ何時デモ增產スルコトガ出來、又生絲モ米國ガ安ケレバ他ノ國ニ向ッテ、何時デモ輸出ガ出來ルト云フコトデゴザイマスナラバ、絲價ハ必ズヤ安定スルデアリマセウ、此自由ナキ所ニ絲價ノ不安ガアルト思フノデアリマス（「然リ〳〵」ト呼フ者アリ）此根本的ノ蠶絲機構ノ改善ガ行ハレナイ限リ、斷ジテ絲價ノ安定ヘ期シ得ラレナイト思フ、若シ無統制ガ幾分ナリト絲價不安ニ影響スルモノガアリト致シマスナラバ、ソレハホンノ枝葉末節ノコトデアルト思フノデアリマス

次ニ人絹ノ關係デアリマス、人絹ハ最近目覺シキ進出ヲ致シテ居リマスコト、實ニ驚クベカリデアリマシテ、其驚的ノ膨脹ハ、大正十一年ニ比シテ昭和七年ニハ五倍ニ達シ、其價格ハ又次第ニ低落ヲ致シマシテ、驚クベキ狀態ヲ示シテ居ル、即チ恐慌以前ニ於ケル百封度ニ對シ百圓ノモノガ、最近五十圓程度デ生產サレル有樣デアル、更ニ品質ハ非常ナ改良ヲ來シマシテ、天然絹絲ヲ壓スル所ノ高級ノモノモ、次第ニ生產サレヤウアル狀態デアリマス、此人絹ニ壓セラレマシテ、今日ノ絲價不安ヲ來シテ居リマスコトハ、餘リニモ明白ナ事實デアッテ、此不安ハ決シテ蠶絲家ノ統制ニ依ッテ防ギ得ラルベキ性質ノモノデハナイノデアリマス、敍上ノ原因ノ外、貨幣價値ノ異常ナル騰貴、繭生絲生產ノ增加等々、相俟ッテ絲價不安ノ狀態ヲ惹起シテ居ルモノト致シマスナラバ、本法案ノ如キ統制方法ニ依ッテ、其窮狀ヲ救ヒ得ルモノトハ斷ジテ考ヘ得ナイノデアリマス

次ニ短期ノ絲價變動ノ關係ヨリ之ヲ觀察致シマスノニ、絲價構成ノ波動ハ、其道ノ人ノ深キ研究ノ結果ヲ發表セラレタ所ニ依リマスレバ、次ノ通リニナッテ居ルノデアリマス、即チ月別變動ヲ統計學ニ言フ多元相關係數ノ公式ニ依ッテ之ヲ示シマスナラバ、內地絲價ハ、「イクオール」一・〇八九內地一般物價、「プラス」〇・二八五九繭育對日物價、「プラス」〇・二三二四生絲需要指數ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、要スルニ絲價ノ變動ハ、其日ガ替、繭育物價、生絲ノ內外市場各月ノ供給高及ビ賣行高ニ依ッテ決定サレマシテ、無統制ガ絲價不安ノ原因ト見マスナラバ、是ハ全ク机上ノ空論デアリマシテ、無統制ガ絲價不安ニ影響アルト致シマスナラバ、ソレハ一割五分ノ中、マダ其幾分ノ一ニモ當ラナイト云フコトガ實證サレテ居ルノデアリマス、果シテ然リト致シマスルナラバ、絲價ノ安定ハ敍上ノ諸原因ノ中ノ惡イ條件ヲ取除クト云フコトガ、極メテ必要デアリマス、此中內地物價卽チ圓ノ對內價値、紐育物價卽チ弗ノ對內價値、爲替卽チ圓ノ對外價値ノ安定ガ、容易ニ之ヲ得ラレナイモノト致シマシテモ、需給ノ數量的變化ダケデモ安定サセル工作ガ、急務中ノ急務デアルト思フノデアリマス、然ルニ何ゾヤ本法案ニ於キマシテハ、販賣統制ヲ除外シテ居ルデハアリマセヌカ、本法案ノ第九條ニ於キマシテ、輸出生絲問屋及ビ生絲輸出業者ハ任意加入トスルコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、所ガ此問屋、輸出業者ノ加入ハ望マレナイノデアリマス、茲ニ政府ガ輸出生絲ノ販賣統制機關ト致シマシテ、輸出生絲取引ニ於ケル制高制低價格ノ設定ヲ目論ミマシタガ、當業者ヨリ絕對反對ノ聲ガ起リマシテ、遂ニ名稱モ輸出生絲取引法ト改メ、共同金庫ノ制度ヲ創除シタデハアリマセヌカ、又岡田內閣當時ニ於テ、二千六百万圓ト云フ經費ヲ豫算ニ計上致シマシテ、蠶絲業更生計畫ヲ樹立セント致シマシタ時ニ、輸出商、問屋、取引所ハ此價格安定施設タルト販賣統制ノ制度ニ、强烈ナル反對ヲ唱ヘタデハアリマセヌカ、今日問屋、輸出業者ハ生絲取引ノ重要ナル機關デアリマシテ、殊ニ生絲輸出商ハ日本蠶絲業ノ最高ノ支配者デアルト言ッテ差支ナイノデアリマス、彼等ノ一擧手一投足ハ忽チニシテ絲價ノ變動ニ、生絲ノ價格ノ變動ニ影響ガアルノデアリマス、日本輸出ノ七割以上ヲ占メ居リマスル三菱系ノ日本生絲、三井物產及ビ旭「シルク」、是等財閥ノ行動ヲ規律スルコトナクシテ絲價安定ヲ、生絲ノ價格安定ヲ期セントスルガ如キハ全ク木ニ縁ッテ魚ヲ求ムルニ等シイモノナリト論斷セザルヲ得ナイノデアリマス、敍上有ユル方面ヨリ觀察致シマシテ、本法案ガ企圖致シマスル所ノ絲價安定ノ如キハ、全ク机上ノ空論トシテ斷乎反對ヲセザルヲ得ナイノデアリマス、

更ニ第三、進ンデ本法案ノ實施ハ早晩行詰リヲ來ス虞ガアリマス、又其期セントスル所ノ絲價統制ハ、種々ノ弊害ヲ惹起スル危險ガ多分ニアリマスノデ、以下之ヲ申上ゲマシテ反對セントスル者デアル、先ヅ其一ツヘハ、本案ノ眼目デゴザイマス所ノ第十三條、第十四條、第十五條ノ所謂「ストック」政策ニ依リマシテ、制高制低絲價操作ヲショウト致シテ居リマスガ、果シテ是ガ行詰リナクシテ遂行サレルデアリマセウカ、政府ガ或量ノ生絲ヲ買上ゲマシテ、一定價格ニ達スル時ハ、直チニ賣出ヲショウト云フ委勢ノ下ニ、市場ヲ監視致シテ居リマス時ニハ、生絲ノ市價ハ到底賣出價格ヲ拔クコトノ出來ナイト云フコトハ、是ハ事實ガ證明シテ餘リアルノデアリマス、サウナルト致シマスト、生絲ヲ買上ゲル機會ハゴザイマシテモ、之ヲ賣出ス機會ト云フモノハ、容易ニ廻ッテ來ナイノデアリマス、過去ノ共同保管ヤ滯貨生絲ノ苦キ經驗ガ、イヤナホド程此事實ヲ證明シテ餘リアルノデハアリマセヌカ、其結果政府ガ買上資金ニ行詰リマシテ、又價格ノ壓迫ノ點デ以テ蹉跌ヲ來シマシテ、必ズヤ重大ナル難關ニブッカルノデハナカラウカト、私共ハ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、其二ハ、政府ガ手持生絲ヲ何時デモ賣出スゾト云フ姿勢ヲ以テ市場ヲ睨ンデ居リマス時ニハ、結局低價政策、絲價引下政策ニ陷ルノ結果ニナルデアラウト私共ハ憂ヘル者デアリマス、其三ハ、其結果ハ更ニ進ンデ生產制限ニ依リマシテ、絲價ノ騰貴ヲ目論ムコトニナルカモ分リマセヌガ、若シサウデモナリマセウモノナラバ、農民ノ立場ヲ如何ニスベキカ、冒頭申上ゲマシタ農民福利ノ爲ニ、又考ヘ及バザルヲ得ナイノデアリマス、養蠶農民ニ對シマシテ生產制限ニ依ル損失補償ヲ爲シマセヌ限リ、之ヲ實行スルコトハ不可能デアル、之ヲ斷行ショウト致シマスコトハ、ソレハ農民ノ血ヲ吸リ、骨ヲシヤブッテ、生絲安定ニ資スルノ結果ニ外ナラヌト私ハ思フノデアル、玆ニ本案ノ第三十一條、生產制限ノ規定ガ、若シモ完全ニ行ハレマシタナラバ、ソレハ曾ニ農民ニ對スル關係ノミヂヤゴザイマセヌ、我國蠶絲業ニ全面的ニ重大ナル問題ガ惹キ起ルノヂヤナイカト思フ、先ヅ護謨ノ制限ハ蘭領印度其他ノ護謨生產ニ、或ハ米國ノ護謨再製品ノ發達ニ、甚シキ影響ヲ與ヘマシタト同ジク、又米國ノ棉花統制等ノ失敗ニ鑑ミマシテモ、若シモ我國ノ農業政策ヤ蠶絲業政策ノ都合ニ依リマシテ、任意ニ生產制限ヲヤッタ時ニハ、支那、伊太利、露西亞ノ生絲ノ進出ヲ促シ、重大ナル結果ヲ生ズルデハナイカト私ハ思フノデアリマス、現ニ私ノ手許ヘ屆イテ居リマス蠶絲學報一月號、木幕農學博士ノ支那蠶絲業發達ノ狀況ニ關スル論說ヲ精讀致シマスル時ニ、一層其感ヲ深ウセザルヲ得ナイノデアリマス

以上各方面ヨリ觀察致シマシテ、本法案ハ之ヲ制定スルコトニ依ッテ、農民ノ生活ヲシテ却テ不安定タラシムルデハナイカ、又害ガナケレバ宜イノデアリマスガ、將來ヘノ害毒ニ付テ甚シキ危險ヲ伴ヒマスコト敍上ノ通リデアリマスノデ、私ハ本法案ニ對シマシテ、絕對反對ノ意思ヲ表示スル者デゴザイマス（拍手）

○議長（富田幸次郎君）　最上政三君

（最上政三君登壇）

○最上政三君　私ハ只今上程ノ絲價安定施設法案竝ニ同特別法案ニ對シ、委員長ノ報告ヲ認メ、之ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、以下聊カ其趣旨ヲ述ベタイト思ヒマス、最近我國ノ製絲界ハ人絹ノ進出ト海外ニ於ケル經濟關係、竝ニ問屋筋ノ思惑等ニ依ッテ、絲價ハ屢〻動搖シテ居ルノデアリマス、其結果製絲家竝ニ養蠶家ノ打擊ヲ蒙ルコトハ實ニ大デアリマス、昨年本議場ニ於テモ輸出生絲販賣統制ニ關聯シテ、重大ナル附帶決議ヲ付議シタコトハ御承知ノ通リデアリマス、是ガ爲カ政府ハ今回此絲價安定施設法案ヲ提出シ、平時ニ於テ豫メ暴騰落ニ對スル對策ヲ講ジヨウトスルコトニ相成ッタノデアリマス、絲價ノ安定ニ關スル政府ノ施設ハ、之ヲ遠ク彼ノ第一次帝蠶會社ノ設立ニ遡リマシテ、其後生絲共同保管資金ノ融通デアルカ、或ハ絲價安定融資補償法竝ニ同擔保生絲買收法等ガ公布サレ、又最近ニ於ケル原蠶種ノ國家管理法案又ハ產繭處理統制法案ガ當議場ニ於テ可決シタコトハ御承知ノ如クデアリマス

元來絲價ノ變動ハ國內的ノ事情ヨリカ、對外的ノ經濟關係ニ負フコトガ多イノデアリマス、第一次帝蠶會社ノ設立當時ニ於テハ、彼ノ歐洲大戰物發前後ノ米國ニ於ケル經濟界ノ不況ガ、其因ヲ成シテ居ルノデアリマス、又第二次帝蠶會社ノ設立當時ハ、歐洲大戰後ノ世界的不況ガ其因ヲ成シテ居ルノデアル、其後ニ於ケル絲價ノ變動ハ、何レモ外國ニ於ケル經濟事情ガ其因ヲ成シテ居ルコトハ明デアルノデアリマス、之ヲ昭和五年當時ノ情勢ヲ見レバ如何デアリマセウ、昭和五年五月ニ於テハ、絲價ハ千二百圓內外ヲ傳ヘラレテ居ッタノデアル、然ルニ其後政府ハ絲價安定融資補償法ヲ布キ、三千万圓ノ融資補償ヲ爲スト共ニ、關係銀行ヨリ多額ナル資金ノ融通ヲ爲シ、其他種々ナル對策ヲ講ジタニモ拘ラズ、昭和六年ニ於テハ絲價ハ七百圓トナリ、或ハ六百圓トナリ、越エテ昭和七年春ニハ四百圓ヲ割リ、又繭價モ之ニ追從シテ、二圓臺ニナッタト云フコトハ、皆サンモ御承知デアリマセウ、是ニ於テ政府ハ議會ニ擔保生絲ノ買收法案ヲ提出シ、是ガ議會ノ決定ヲ見ルヤ、直チニ滯貨生絲十万俵ヲ一括買收シテ、サウシテ絲價ノ安定ヲ期シタト云フコトハ、當時ノ狀況ヲ見レバ詳カデアリマス、斯ノ如ク絲價ハ米價トハ異リ、國內的事情ニ依リ動搖スルコトハ少イノデアリマス、米ハ國內ニ於テ產シ、又國內ニ於テ消費スルモノデアルカラ、其調節モ自由デアリ、又可能デアリマセウ、然ルニ絲價ハサウ云フヤウナ關係ハ甚ダ薄イノデアリマス、隨テ歷代政府ノ苦心スル所ハ此點デアリマス

偖テ本施設法案ノ內容ヲ見マスルニ、政府ハ製絲業者ヲシテ强制的ニ絲價安定施設組合ヲ組織セシメ、又輸出生絲業者竝ニ本法施行地以外ノ製絲業者ヲモ、組合員タルコトガ出來ルト云フ規定ヲ立案シタノデアリマス又此組合ハ豫メ政府ノ定メタ最高最低ノ値段ノ範圍ニ於テ、有事ノ際ニ生絲ノ賣渡又ハ買入ヲ爲ス機關ヲ成スモノデアリマス、其他組合員ノ製絲ノ共同保管デアルトカ、組合ノ事業ニ關スル統制デアルトカ、組合員ノ斯業改善ニ關スル施設等ヲ兼ネ行フノ機關デアリマス、玆ニ多少ノ問題トスベキハ、只今社會大衆黨ノ佐竹君モ共點ニ付テ述ベラレタノデアリマスガ、此資渡又ハ買入價格ノ點デアリマス、本案ニ依レバ、主務大臣ハ第十一條ノ規定ニ依リ價格ヲ定メ、絲價委員會ニ諮問スルコトニナッテ居リマス、卽チ第十一條ニハ「勅令ノ定ムル所ニ依リ競爭纖維ノ價格、繭生產費中ニ於ケル現金支出額ニ自給費ノ一定割合ノ金額ヲ加ヘタルモノ及生絲ノ製造販賣ニ要スル費用竝ニ物價其他ノ經濟事情ヲ參酌シテ主務大臣之ヲ定ム」トアリマス、本條文

ハ用語甚ダ煩瑣デアリ、隨テ多少誤解サレ易キ點ガアルノデアリマス、委員會ニ於テモ此點ニ付テ種々ナル質問ガアリマシタ、特ニ篠原委員ノ如キハ、此問題ニ付テハ相當政府ニ力說シタノデアリマス、吾々モ此問題ニ付テ大イニ政府ノ所信ニ付テ質ス所ガアッタガ、政府當局ニ於テハ之ニ對シテ種種辯明シタ結果、其事情ヲ諒トシ之ヲ認メルコトト致シタノデアリマス、唯繭ノ生產費ノ算出方法ニ付テハ、後段ニ於テ多少述ベタイト考ヘルノデアリマス

尙ホ組合ノ理事及ビ副理事ノ選任、竝ニ絲價安定委員會ノ委員ノ任命ニ付テデアリマス、從來此種ノ選任又ハ任命ハ、兎角官僚主義ニ依リ人選スル嫌ヒガアッタノデアリマス、今回ハ此弊風ヲ矯メ、各方面ノ有爲ナル人材ヲ網羅スルコトガ必要デアル、例ヘバ理事長、副理事長ノ如キモ官僚出身者バカリヲ選バズ、時代ニ適應シタル新鮮味ヲ帶ビタ人選ヲ爲スコトガ適當デアルト思フ、又絲價委員會ノ如キモ、官吏トカ學識經驗者バカリデナク、製絲業者ハ勿論デアリマスガ、吾々ノ要望スル所ハ、養蠶農民ノ代表ヲ是非トモ加ヘナケレバナラヌト强ク主張スルノデアリマス、次ニ政府ハ是ガ達成ノ爲メ、絲價安定ノ施設特別法案ヲ玆ニ提出致シマシタ、其內容ハ運用資金最高七千万圓ト共ニ、買收法ニ依ッテ買入レタル滯荷生絲ノ殘リノ五万俵ヲ、同會計ニ引繼グコトトナッタノデアリマス、吾々ハ此金額ヲ以テ、我國蠶絲對策トシテハ、甚ダ其金額ノ少イコトヲ憾ムノデアリマス、併ナガラ一面我國ノ財政狀態ヲ見ルニ、今ヤ非常ニ行詰ッテ居ルノデアリマス、故ニ已ムヲ得ズ此額ヲ承認スルノデアリマスガ、政府ハ其運用ニ當ッテハ、此範圍內ニ於テ適切有效ナル施設ヲナサレンコトヲ、此際特ニ政府ニ要求スル者デアリマス、同時ニ養蠶家ノ爲ニモ、私ハ政府ノ一考ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、最近政府ノ施設ヲ見ルト、ドウモ製絲家ニ厚クシテ養蠶家ニ輕キ感ヲ懷クノデアリマス

斯ク申シタトテ私ハ本案ニ決シテ反對スルノデハアリマセヌ、唯十二年度豫算案ノ內容ヲ見マスト、產繭處理統制施設費ニ於テモ相當削減サレテ居リマス、又桑園ノ整理改植助成費ニ付テモ相當削減サレテ居リマス、是等ヲ以テシテモ、政府ノ養蠶農民ニ對スル態度ハ、甚ダ冷淡デアルコトヲ、窺フニ足ルノデアリマス(拍手)此點ニ付テハ、吾黨ヨリノ希望條件トシテ委員會ニ於テ之ヲ決定致シマシタガ、卽チ絲價ノ下落ニ依ッテ養蠶家ニ損害ヲ與ヘザルヤウ最善ノ努力ヲナスベク、玆ニ改メテ政府ニ警告ヲ致スモノデアリマス、尙ホ絲價安定策トシテハ色々アリマス、其一ハ、生產ノ統制デアリマス、是ハ先ヅ桑園ノ整理調整ガ目下ノ場合急務デアルト考ヘルノデアリマス、一部ニ於テハ、生絲又ハ蠶種ニ依リ調整スベシトノ意見モアリマスガ、勿論其方法モ一ツデアリマセウ、併ナガラ我國ノ桑園ヲ全國的ニ之ヲ整理スルニ於テハ、現在ノ養蠶農民ノ蒙ル損失ハ相當輕減サレルノデアリマス、唯其ヤリ方ニ付テ私ハ一言シタイ、政府ハ宜シク主要養蠶地ト然ラザル土地ニ付テ相當考慮ヲ拂ッテ、適切ナル對策ヲ講ゼラレンコトヲ希望シタイノデアリマス、更ニ生絲ノ需要增進ヲ圖ル爲メ積極的手段ヲ執ッテ貰ヒタイコトデアリマス、聞ク所ニ依レバ政府ハ、最近當業者ヲシテ米國其他ニ對シテ販路擴張ヲ爲シツヽアルト云フコトデアリマス、勿論現在供給シテ居ル米國方面ニ對シテ、是ガ販路擴張ヲスルノハ當然デアリマスガ、私ハ更ニ新販路開拓ニ付テ善處セラレンコトヲ要望スルノデアリマス、卽チ彼ノ歐洲方面トカ、或ハ南米方面ニ對シ相當宣傳ヲ爲シ、益々我國ノ生絲ヲ各方面ニ輸出スルヤウ對策ヲ執ラレンコトヲ政府ニ希望スルノデアリマス

ソレト同時ニ國內ノ需要ニ對シテモ、一段ノ考慮ヲ拂ッテ戴キタイト思フノデアリマス、今日國內ニ於テハ僅ニ生絲ヲ織物ニシテ居ル位デスガ、更ニ多クノ織物ヲ產出シ、サウシテ內地ノ需要ニ供スルト共ニ、海外ニモ其織物ノ輸出ヲ獎勵スベキデアリマス、ソレニハ國內ノ生絲需要者ニ對シ製絲ノ品位ト重量ニ付テ安心ヲ與ヘナケレバナラヌノデアリマス、卽チ國用生絲ニ對シテモ、輸出生絲同樣ニ檢査ヲスルコトガ必要デアル、現在國用生絲ノ檢査所ハ福井、石川、京都ノ三縣シカアリマセヌ、而モ其規模ハ小サク、又費用モ不十分デアリマス、故ニ私ハ此設備ヲ改善スルト共ニ、他ノ主要織物地ニ對シテハ、是非共此檢査所ヲ新設スベキデアルト思フノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、群馬縣ノ如キハ其最モ必要ヲ感ジテ居ル縣デアリマス、又昨今問題トナッテ居ルノハ、大製絲家ノ兼營スル所ノ蠶種製造ト、中小蠶種業者ノ對立デアリマス、此事ハ自由經濟主義ノ今日ニ於テハ已ムヲ得ナイトハ言ヘ、我國ノ中小蠶種業者ガ我ガ蠶絲界ニ貢獻シタコトハ多大ナルモノガアリマス、我國ノ生絲ガ其品質ニ於テ世界ニ誇リ得ルモノハ、彼ノ四千五百人ノ蠶種業者ニ與ッテ力ガアルモノト申シテ差支ナイノデアリマス、而シテ彼等ハ今日ノ如キ優良蠶種ヲ得ルマデニハ、有ユル苦心慘憺ヲシ、大キナ犧牲ヲ拂ハレタコトハ事實デアリマス、然ルニ昨今是等蠶種業者ハドウデアリマセウカ、大製絲家ノ蠶種製造ニ壓迫サレ、其生活權ガ奪ハレントスル情勢ニアルノデアリマス、其結果勢ヒ販賣上ノ競爭トナリ、過剩蠶種ノ製造トナリ、品種ノ下落ヲモ來シテ居ルコトハ政府ノ能ク知ラルヽ所デアリマス、此見地カラシテモ、普通蠶種ノ國家管理ヲ必要トスルモノデ、輿論モ亦玆ニ一致シテ居ルノデアリマス、政府ハ宜シク速ニ此對策ヲ講ゼラルベキデアリマス、我黨ニ於テハ此點ヲ留意シテ、委員會ニ於テソレヲ希望條件トシテ附シタ次第デアリマス

以上ハ大體我黨ノ本案ニ對スル贊成ノ趣旨デアリマスガ、私ハ此場合以下聊カ大衆黨ノ本案ニ對スル反對意見ニ付テ、其所信ヲ述ベテ見タイト思フノデアリマス、只今大衆黨ヲ代表シテ此處ニ登壇セラレタ佐竹君ガ種々反對說ヲ述ベラレタガ、此案ニ於

ケル十一條ニ付テ申上ゲルナラバ、生產費ヲ補償シテ居ラナイカノ如キ說ガアルノデアリマス

(議長退席、副議長著席)

私ハ此問題ハ先ニ申シタ如ク、多少條文ガ煩瑣デアッテ、吾々ガ誤解シ易キ點モアルノデアリマス、卽チ繭ノ生產費中ニ於ケル現金支出ニ自給費ノ一定割合ヲ云々トシテアルナドソレデアリマス、之ヲ見ルト繭ノ生產費ハ、其中ノ一定割合ノ金額ヲ差引イテ計算シ、又製絲家ノ生產費ハ、此差引ヲ見込マザルト云フヤウナ點デアルノデアリマス、此點ニ付テハ私モ先申ス如ク、養蠶家ニ對シ甚ダ薄イ所ノ政策デアルト思フノデアリマスガ、併ナガラ是ハ養蠶家ト製絲家トノ間ニ於ケル繭ノ取引キ關係スル所デハナイノデアリマス、政府ハ之ニ依ッテ豫メ、十一條ニ依ッテ豫メ最高最低値段ヲ作リ、生絲ノ暴落スルト云フヤウナ場合ニ於テ、是ガ發動スルト云フ意味デアリマスカラ、之ヲ以テ直チニ製絲家ガ養蠶家カラ繭ヲ買入レル金額ト見ルコトハ、甚ダ間違ッテ居ル見解ト思ハレマス、殊ニ此絲價ハ先ニモ申シタ如ク、外國ノ經濟事情ニ依ッテ左右サレルノデアリマスシ、又人絹ノ發達ニ依ッテモ影響スルノデアルカラ、此問題ニ付テ吾々ハ相當研究シナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ政府委員ノ答辯ニ依ッテ見マスルト、此十一條中ノ卽チ現金支出ト自給費ノ一定割合ト云フ項ヲ除クニ於テハ、或ハ恐ルヽ、此法ノ發動ニ依ッテ絲價ヲ安定スルコトガ出來ナイト云フ處ガアルノデアリマス、吾々ハ此政府ノ言明ヲ是認シテ、サウシテ此案ニ贊成シタノデアリマスガ、例ヘテ申シマスレバ、此案ガ假ニ佐竹君ノ言フガ如ク、現在我國ノ蠶絲業ニ取ッテ宜クナイ案デアル、宜クナイ案デアルト申シテモ、之ヲ立法化スルコトニ依ッテ、多少デモ地方ノ養蠶家竝ニ製絲家ガ、是ノ恩典ニ與ルト、云フ場合ニ於テ、此法案ヲ否決スルヨリモマシデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、之ヲ具體的ニ申セバ、此案ニ關係ナク申上ゲルノデスガ、往年普通選擧案ガ此議場ニ付議サレタ、ソレハ大正十四年ノ、第五十議會デアリマス、此普選案ニ對シテハ私ハ今尙ホ滿足ハ致シテ居リマセヌ、或ハ比例代表制デアルトカ、或ハ年齡ノ低下デアルト云フ點ニ於テ、今日デサヘ私ハ之ニ贊成シテ居ラナイノデアリマス、然ルニ其當時ノ事情ニ於テハ、斯ル不徹底ノ普選案デアルガ、之ヲ通過セシメナケレバナラヌト云フヤウナ事情ニ立至ッタノデアリマス、其結果我ガ議會ハドウデアルカ、今日反對スル所ノ大衆黨ノ諸君モ、此普選案ガ通過シタカラ堂々ト當選シテ來テ、サウシテ自己ノ所信ヲ天下ニ發表シ得ル機會ガ與ヘラレタデハナイカ、本案ニ對スル態度モ是ト同ジデアリマス、吾々ハ此法案ハ餘リ理想的デハナイガ、併シ第一歩トシテ此案ニ贊成スルト云フ次第デアリマス、其他佐竹君ノ御意見等モアリマシタガ、私ハ以上ヲ以テ佐竹君ニ對スル反對ノ意思ヲ表スルモノデアリマス

最後ニ一言シタイノハ、今議會ニ政府ノ提案セル農村關係法律案ハ、本案ヲ初メトシ、漁船保險法案、森林保險法案等ガアルガ、是等ハ何レモ部分的ノモノデアリマス、又負債整理組合法ニ關聯スル法律案モ提出サレマシタガ、之ニ依ッテ能ク四十餘億ノ農村ノ負債ガ整理サレルト云フコトヲ、考ヘラレナイノデアリマス、故ニ私ハ庶政一新ヲ標榜スル林內閣ノ治下ニ於テハ、今一段農村問題ニ對シテ眞劍味ガアッテ欲シイノデアリマス、此時偶々外電ハ米國ニ於ケル新農村政策ノ事實ト、全米農村會議ノ開催ヲ報道シテ居リマス、又曩ニハ農業調整法ヲ實施シ、農村ノ負債ヲ整理スルト共ニ、生產統制、價格ノ吊上策ヲ執ッタコトハ御承知ノ如クデアリマス、其成績ノ如何ハ別トシテ、此「ルーズベルト」氏ノ農村對策ハ、全米農民ニ多大ナル衝動ヲ與ヘタコトハ事實デアリマス、故ニ私ハ山崎農相ニ一言セントスルノハ、來議會ニ於テハ全國民ノ爲メ、一大革新農業政策ヲ提出セラレンコトヲ希望シ、本案ニ贊成ヲスルモノデアリマス(拍手)

○副議長(岡田忠彥君)　横川重次君

(横川重次君登壇)

○横川重次君　私ハ只今議題ニナッテ居リマスル絲價安定施設法案、竝ニ絲價安定施設特別會計法案ニ對シマシテ、委員長報告ノ如ク附帶決議三項ヲ附シテ贊成ヲ致スモノデアリマス、尙ホ此法案中ニハ多少不滿ノ點ガアルノデアリマスルガ、是等ヲ檢討致シマシテ、贊成ノ理由ヲ簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、生絲ノ價格ノ安定ハ長年朝野ノ熱望デアリマシテ、昭和六七年來ノ蠶絲恐慌以來、我黨政友會ニ於キマシテモ、熱心ニ是ガ達成ヲ努メテ居リマシタノデ、是ガ爲ニ夙ニ我黨ニ於キマシテハ、原蠶種國家管理、產繭處理統制案及ビ輸出生絲販賣統制ノ蠶絲對策、根本對策ヲ樹立致シマシテ、常ニ議會ニ於キマシテ是ガ達成ニ努力ヲ致シ、政府ヲ指導シ來ッタノデゴザイマス、曩ニ前二案ハ既往ノ議會ニ於キマシテ既ニ成立ヲ致シマシテ、第三ノ輸出生絲販賣統制案ニ付キマシテ、前議會ニ於テ院議トシテ其提出ヲ政府ニ要望シテ居ッタノデアリマスルガ、此販賣統制案ハ、名前ハ統制ト云フ點ニゴザイマスルガ、其內容ハ絲價ノ安定ニアッタノデアリマシテ、今回政府ガ提出致シマシタル絲價安定施設法案ノ目的ト、全ク其趣旨ニ於キマシテ一致スル所デアルノデゴザイマス、併ナガラ本案ノ成敗ハ、其運用ノ如何ニ依リマシテ決セラレルモノデアリマシテ、而モ具體的ノ決定ハ、殆ド勅令ノ事項ニ委ネラレテアルノデアリマスカラ、其運用ノ宜シキヲ得ザル時ハ、所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノミナラズ、或ハ暴騰ヲ激成シ、或ハ暴落ニ救急ノ用ヲ爲サザルノ憂ガ多分ニアルノデアリマス

本案ノ要點ハ大體二ツノ點ニ要約セラレルト思フノデアリマス、卽チ政府ガ上値ト下値トヲ定メマシテ、此上値ガ出マシタ場合ニハ、政府手持ノ五万梱ノ生絲ヲ、市況ニ應ジマシテ生絲安定施設組合ニ賣渡ヲ爲シテ、上値ヲ超ユル所ノ暴騰ヲ防ギ、又

下値ガ出タ場合ニ於キマシテハ、其定メラレタル値段ニ於テ、絲價安定施設組合カラ絲ノ買入ヲ爲シマシテ、下値以下ノ暴落ヲ防グト云フ仕組ニナッテ居ルノデアリマス、此爲ニ七千万圓ノ特別會計ヲ立テ、居ルノデアリマス、他ノ一ツノ要點ハ、下値ニ近イ値段ニ於テ絲價安定施設組合ニ於テ生絲ノ共同保管ヲ爲シ、或ハ爲サシメマシテ、下値豫防ノ働キヲ爲スト云フ、以上二點ニ要約セラレルノデアリマス、此定メラレマス上値、即チ賣渡價格、及ビ下値、即チ買入價格ノ定メ方ニ依ッテ、本案ノ生命ガ左右セラルヽノデアリマシテ、是ガ法案ノ第十一條ニ規定シテアルノデアリマス、法案ノ朗讀ハ省略致シマスルガ、凡ソ物價ノ騰落ハ、經濟界全體ノ情勢ニ依ッテ支配セラレル場合ト、商品ソレ自體ノ理由ニ依ッテ左右セラレル場合ト、大體二ツニ大別サレルノデアリマス、第一ノ場合ハ是ハ大體ニ於テ不可抗力的ナモノデアリマシテ、經濟全般ノ對策ニ俟ツ以外ニハ其對策ハナイノデアリマス、即チ政府ノ謂フ所ノ異常ナル高値ト申シマスノハ、現行絲價カラノ異常ナル高値ト云フモノヲ意味スルノデハナクシテ、策ヲ樹立スルト云フ主張ト背馳スルバカリデハアリマセヌ、論理上許サレザル所ノ重大矛盾デアルト思フノデアリマス、而モ此法文中ニ於キマシテハ、總テノ要因ヲ參酌スルト云フ文字ガ加ヘラレテアリマスカラ、必シモ現在ニ於テ政府ノ所信ガ、所謂生產費全額ヲ計算ノ基礎ニ入レルコトニ依リマシテ、制低値段ガ高イ所ニ落著クト云フコトカラ、或ハ增產ヲ誘致スルヤウナ處ガアルノデアラウナラバ、ソレハ參酌ト云フ文字ニ依リマシテ、寧ロ其下値ニモ決メ得ルノデアリマスルカラシテ、斯樣ナ立前カラ致シマスルナラバ、養蠶家ト製絲家トヲ異ナル取扱ニ致シマスル所ノ不公正ヘ、ドウ致シマシテモ許シ得ナイコトト思フノデアリマス、要スルニ此法律ニハ不滿ノ點ヲ多々含ムノデアリマス、而モ是ガ運用ノ如何ニ依リマシテハ、實際絲價ガ既ニ暴落ヲシテカラ後ニ發動致シマシテ、六日ノ菖蒲、十日ノ菊ト云フヤウナ、遺憾ナル結果ヲ現ハス處ガ多々アルノデアリマス、而モ上値ハ人絹價格ニ依ッテ制約セラレテ居ルノデアリマスルカラ、他ノ經濟的要因ノ變化ニ依ッテハ、却テ急激ナル騰貴ヲ誘致スルノ虞モアルノデアリマス、爰ニ絲價安定融資補償法ノ發動ノ場合ニ於キマシテハ、當路者ハ其以前ノ高値ノ記錄ニ囚ハレマシテ、國庫ニ多大ノ損失ヲ與ヘタコトニナッテ居リマスガ、今ヤ此法案ニ於キマシテハ、低値ノ記錄ニ囚ハレマシテ、十分ナル安定ニ資シ得ナイ憾ミヲ、ソコニ藏スルノデハナイカト私ハ憂フルモノデアリマス

以上、遺憾ノ點ノ多々アルノデアリマスルガ、是等ハ其運用ニ依ッテ或ハ補足シ得ルモノト考ヘマシテ、又此法案以外ノ新シキ施設ノ加味增設ニ依リマシテ、此案ニ贊成ヲ得ルコトヲ期待致シマシテ、此爲メ附帶決議三項ヲ附シテ、本案ノ擴充補填ニ充テルベク吾々委員ノ意思ヲ表明シタ次第デゴザイマス

殊ニ附帶決議第二項ニアリマスル「政府ハ速ニ普通蠶種ノ國家管理竝桑園ノ調整ニ關スル適切ナル方策ヲ樹立スベシ」此第二項ニ付キマシテハ、所謂生產調節ヲ意味スルモノデアリマス、絲價安定ニドウシテモナクテハナラヌ一ツノ要因デアリマシテ、最モ重大ナル關係ガアルノデアリマス、而モ此第二項ノ實現ニ依リマシテ、養蠶農家ノ經濟ヲ向上セシメ、蠶種業ヲ安定スルコト、重大ナル約束ヲ含ムモノト思ヒマスノデ、此點ニ付キマシテハ政府ハ特ニ深キ注意ヲ拂ハレテ、速ニ實現ノ方途ヲ立テラレンコトヲ希望致シマシテ、贊成ノ意思ヲ表示ヲ致ス次第デゴザイマス（拍手）

○副議長（岡田忠彥君）　青木精一君

（青木精一君登壇）

○青木精一君　私ハ只今議題トナッテ居リマスル絲價安定施設法案外一件ニ付キマシテハ、民政黨、政友會、昭和會、三派ノ一致協定ノ下ニ成案シマシタ所ノ附帶決議ヲ附シテ可決スルト云フ、委員長ノ報告ニ贊成ヲ致ス者デアリマス

只今橫川君ノ述ベラレマシタ通リ、絲價安定策ノ確立ノ要望ハ、多年來ノ重要ナル懸案デゴザイマシテ、蠶絲業關係官民ノ間ニ、久シク論議研究サレテ來ッタ所ノ問題デアルコトハ御承知ノ通リデアリマス、又最上君ノ述ベラレタ通リ、今日マデ幾多ノ蠶絲業關係ノ立法ガ制定セラレテ參リマシタガ、是等ノ蠶絲業立法モ、畢竟スルニ絲價安定問題解決ヘノ段階的基礎工事ニ過ギナカッタト云フコトガ言ヘルト思フノデアリマス、茲ニ絲價安定施設法案ノ成立ヲ見ントスルニ當ッテ、初メテ一聯ノ脈絡アル蠶絲業對策ノ大體ノ機構ガ出來上ルノデアルト言フテモ宜シイノデアリマス、サレバト言ッテ、本案ヲ以テ必シモ蠶絲業對策ノ最終的ノ立法デアルト申スコトハ勿論出來マセヌガ、少クトモ重要ナル結論的立法ノ一デアルト云フコトダケハ言ヒ得ルト考ヘルノデゴザイマス

而シテ本案ノ狙フ所ハ、今マデ討論セラレタル所ノ諸君ノ述ベラルヽ通リ、單ニ今マデ唱ヘラレテ居ッタル所ノ絲價安定ト云フ概念トハ、少シ其內容ト趣ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマス、即チ生絲ノ有力ナル競爭機維トシテ、世界的ニ進出シッヽアル所ノ人造絹絲ニ對シテ、將來生絲ノ消費分野ヲ確保シ、且ツ是ガ發展ヲ圖ラントスル所ノ、所謂人絹對策ト云フ所ニ、大キナ國策的ノ特色ヲ把持スルモノデアリマシテ、本案ノ實施ニ依ッテ齎サントスル所ノ效果ニ付テハ、相當大キナ期待ヲ約束付ケルモノトサレテ居ル

統制モ、實ニ能ク保タレテ居リマシテ、且ツ生產費ノ低廉ナル點ニ於テモ、一大特異性ヲ發揮シテ居リマスガ故ニ、生絲ノ實渡價格及ビ買入價格ノ公定制度ノ下ニ、生絲價格ノ異常ナル騰落ヲ抑制調節シテ、如實ニ價格ノ統制ヲ斷行セントスル所ニアルノデアリマス、此點ハ正ニ斯業ノ最大缺陷ニ向ッテ一大鐵槌ヲ下シタモノト言フベキデアリマセウ、吾々ガ本案ニ對シ、昨年制定セラレマシタ所ノ產繭處理法ト相俟ッテ、所謂車ノ兩輪ノ如キ關聯ニ於テ贊意ヲ表スル理由モ、此點ニアルノデゴザイマス

併シ具サニ本案ノ內容ヲ檢討シマスルニ、本案ノ骨子タル所謂制高制低ヲ規定スル第十一條ノ條項中、買入價格決定ノ基準ニ付テ、繭ノ生產費ノ全額保障ノ立前ガ採ラレナカッタ爲ニ、繭絲價ノ低落ヲ誘發シ、養蠶農民保護ノ點ニ於テ、大イニ缺ケル所ガアルデハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、

他ノ諸君ノ熱心ニ論難セラルヽ通リ、相當ノ異論ガアルノデアリマス、此點ニ對シテハ私モ他ノ諸君ト共ニ憂ヲ同ジクシ、頗ル遺憾ニ思フ次第デゴザイマス、今又佐竹君ハ、本案ノ施行ノ結果ハ、却テ生絲ノ價段引下政策ニ墮スルノデハナイカト御懸念ヲサレテ居リマス、是モ頗ル養蠶農民ニ對スル所ノ御親切ナル御考方デアルトハ思ヒマスルガ、此點ニ付キ、又前段述ベマシタ所ノ生產費ノ問題ト共ニ政府ノ緯明ヲ聽キマスルト云フト、是ハ競爭繼維トノ關係モアッテ、今後ノ蠶絲業ノ安定ト發達トヲ圖ッテ行クガ爲ニハ、繭絲價ノ高クナルコトバカリヲ望ムノハ、頗ル困難ナル情勢ニアルノデアル、隨テ現下ノ實情ニ即シテ考ヘレバ、繭ノ生產費ノ全額ヲ保障スル制度ヲ樹立スルコトハ、實際上ノ問題トシテハ、目下ノ所デハ不可能ノコトデアル、且ツ本案ハ繭絲價ノ暴落ノ非常時ニ於テ、養蠶農民ノ經營上、耐ヘ難キ事態ノ發生スルコトヲ防止セントスル趣旨ニ出デタルモノデアッテ、平常時ニ於ケル所ノ繭價ヲ適正ナラシムル對策トシテハ別ニ其途ガアル、即チ之ニ付テハ養蠶團體ノ强化、竝ニ產繭處理統制ニ關スル所ノ運用等ニ依ッテ、所期ノ目的ヲ達スル考デアルト云フノデアリマス、併シナガラ率直ニ申シマスレバ、養蠶農民ハ蠶絲形態ノ重大要素ヲ成スモノデアルコトハ御承知ノ通リデアル、其養蠶農民ガ依然トシテ犧牲的ノ立場ニ押込メラレテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、何トシテモ不滿ヲ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、相變ラズ養蠶農民ニ對

シテ無理解デアル、不親切デアルト云フ所ノ非難ヲ政府當局ガ受ケルノハ、大體論トシテハ當然デアラウト考ヘルノデアリマス

翻ッテ考ヘマスルニ、本案ノ目指ス所ハ、蠶絲業ノ全面的更生刷新ニアルノデアル、又蠶絲業ノ世界的躍進ノ姿ヲ强化スルニアルノデアル、既ニ此狙ヒ所ヲ承認スル以上ハ、右申上ゲタ點ニ於テ遺憾デハアリマスルガ、是モ過渡時代ノ一時的變則ト致シマシテ、暫ク之ヲ忍ブノモ亦已ムヲ得ザルモノガアルノデハナイカトモ考ヘラレマス、何トナレバ、斯ノ如ク養蠶農民ヲ打チノメス所ノ咎ノ下ニモ、少クトモ二ツノ指導精神ガ躍動シテ居ルト云フコトヲ見遁シテハナラナイノデアリマス、即チ其一ツハ、ココデ繭ノ生産費ヲ完全ニ保障スルトスレバ、自然ニ繭ノ増産ヲ誘發スルコトニナルト云フコトガ懸念サレテ居ルノデアル、其二ハ、蠶絲業ノ維持發展ヲ圖ル爲ニハ、生産費ヲ低下スルコトガ必然條件トサレテ居ルノデアルカラシテ、之ヲ玆ニ示唆スルノデアルト云フノガ、當局ノ考ヘ方デアッタラシイノデアリマス、ソコデ當局ハ此二ツノ指導精神ヲ一種ノ謎トシテ、此條文ノ中ニ隱シテ置クモノト私ハ解スルノ外ナイノデアリマス、果シテ然ラバ曾テ吾々ノ大先輩ノ言ハレタ通リ、謎デハ政治ハ行ヘナイノデアリマス、當局ハ其指導精神ヲ具現化シ、總テノ機關制度ヲ運用動員致シテ、之ヲ實際ニ活カシテ行ッテ、蠶絲業ノ實際的更生健全化ニ向ッテ、更ニ一段ノ眞劍味ヲ以テ努力セラレナケレバナラヌノデアリマス、サウシテ一日モ早ク斯ノ如キ養蠶農民ニ對スル所ノ無理解ナル差別待遇的條項ヲ撤廢スルヤウニ心掛ケテ貰ヒタイノデアリマス(拍手)

更ニ人造絹絲ノ躍進ニ對抗シテ、生絲ノ發展ヲ圖ッテ行カウト云フコトニ付キマシテハ、生絲ノ利用增進ニ關スル所ノ試驗研究ヲモット盛ナラシムルコトガ必要デアラウト考ヘルノデアリマス、元來植物性ノ人造絹絲ト動物性ノ天然絹絲トハ、其纖維ノ性情ニ於テ自ラ異ルモノガアルノデアリマスルカラシテ、此兩纖維ノ競爭途上ニ於キマシテ、兩者ノ摩擦關係ヲ維持シテ行ク間ニモ、自ラ其消費分野ノ歸趨ガ定マッテ行クベキ筈デアルト考ヘマス、隨テ是ガ利用增進ノ方途ニ付テハ、費用ナドハ吝ム必要ハナイ、吝ンデ居ル時デハアリマセヌ、十分ニ是ガ機關ノ擴充動員ヲ圖ラレンコトヲ要望致シテ置キマス、其他ノ點ニ付テハ、附帶決議ニ依ッテ吾々ノ意思ハ表明セラレテ居リマスルカラシテ、重複ヲ避ケル爲ニ省略致シマス

最後ニ一言致シマス、回顧スレバ昭和四年、蠶絲業ノ非常時ニ落込ンデ以來、今日ニ至ル迄我ガ蠶絲業ハ幾多ノ困難危機ヲ切拔ケテ參リマシタガ、其當時ハ我ガ蠶絲業ハ全然無方針無統制ノ狀態デ、唯成行任セニ放任セラレテ居ッタノデアリマス、此苦キ試練時代ヲ經テカラ、漸ク官民協力ノ歩調ガ整ッテ參リマシテ、昭和八年頃カラシテ當局ニ於テモ蠶絲業ノ更生刷新ニ關スル所ノ施設計畫ニ乘出シ始メタノデアリマス

先ヅ其對策方針ト致シマシテハ、蠶絲類ノ優良品ノ廉價生産、生産販賣ノ統制、需要ノ增進等ノ三大目標ヲ確立セラレマシテ、著々其方策ヲ施設化サレテ來タノデアリマス、而シテ今期議會ニ至リマシテ、漸ク玆ニ蠶絲業ノ中心機構トナルベキ所ノ本案ガ、此議政壇上ヨリ産聲ヲ擧ゲントスルニ至ッタノデアリマス、私ハ國民經濟ノ動脈タル蠶絲業ノ前途ノ爲ニモ、將又久シク不安ニ鎖サレテ居リマシタ所ノ内外生絲市場ノ爲ニモ、眞ニ祝福ヲ禁ジ得ナイノデアリマス

最近歷代内閣ヲ通ジマシテ、蠶絲業ニ關スル施設ダケハ、兎ニモ角ニモ官民協調ノ實ヲ示シテ參リマシテ、稍〻一貫セル方針ノ下ニ、著々建設的施設ヲ進メテ參リマシテ、漸ク蠶絲業對策ノ機構的屋臺骨ダケハ組立テラレントスルニ至リマシタコトヲ喜ブト共ニ、玆ニ農林當局ノ不斷ノ努力ト、議會ノ協調トニ對シテ、聊カ多トスルニ足ルベキモノガアルコトヲ確信致スノデアリマス、重ネテ政府當局ハ本案ノ運用其宜シキヲ得テ蠶絲業更生ノ實績ヲ擧ゲラレンコトヲ切ニ要望致シマシテ、本案ニ對スル所ノ贊成ノ意思ヲ表明致シマス(拍手)

○副議長(岡田忠彦君) 平野力三君

〔平野力三君登壇〕

○平野力三君 私ハ本案ニ關シマシテ、三ツノ希望條項ヲ附シテ贊成ヲセントスル者デアリマス、社會大衆黨ノ本案ニ對スル反對ノ御意見ニ對シマシテハ、其議論ノ中ニ於キマシテハ、大イニ傾聽スベキモノアリト信ズル者デアリマスルガ、本案ガ我國千五百万人ノ養蠶農民ノ爲ニ、今日現實ノ經濟上ノ問題ニ對シマシテ、其利益ヲ擁護スルト云フ點ニ付キマシテハ、私ハ本案ハ相當ニ有益ナルモノデアルト云フコトヲ信ズル一人デアリマス、併ナガラ本案ニ對スル政友會、民政黨、昭和會ノ三派ニ依リマスル所ノ附帶決議ノ中ニ於キマシテ、其附帶決議ノ精神其モノニ對シマシテハ、十分吾吾ハ諒解致シマスノデアリマスルガ、繭ノ生産費ヲ保障スベシト云フ點ニ關スル所ノ御主張ト云フモノニ對シマシテ、稍〻薄弱ノ點ナキカト云フコトヲ考ヘマスルガ故ニ、私ハ獨自ノ希望條項ヲ附シマシテ、本案ニ對スル所ノ贊成ヲシタイト思フノデアリマス

議論ヲ進メマスル上ニ於キマシテ、先ヅ私ノ希望致シマスル所ノ條項ヲ讀上ゲマシテ、其上ニ於テ私ハ議論ヲ進メタイト思フノデアリマス

一、本法案運用ニ當リ常ニ養蠶農民ノ立場ヲ留意シ繭ノ生産費ヲ保障スベシ

二、絲價安定委員會ニハ必ズ養蠶農民ノ代表ヲ入ルベシ

三、政府ハ蠶絲業對策ヲ樹ツルニ當リ養蠶業ヲ以テ主タル産業トスル府縣ト然ラザル府縣トヲ劃一的ニ取扱フコトナク前者ニ對シテハ特ニ考慮ヲ拂フベシ

以上三項デアリマス、第一ノ私ノ希望條項ノ一ツデアリマスル所ノ、繭ノ生産費ヲ保障スベシト云フ點ニ對シテ、山崎農林大臣ハ、本案ノ特別委員會ニ於テ屢〻吾々ニ對シマシテ、其心持ト云フモノハ十分之ヲ諒トスルト云フコトヲ繰返シ答辯サレテ居リマス、又蠶絲局長ハ此點ニ於キマシテ、繭ノ生産費ヲ必シモ本案ハ擁護スベキモノデハナイト雖モ、本案運用ニ當ッテ養蠶農民ノ立前ト云フモノヲ、吾々ハ十分考慮スベキモノデアルト云フコトヲ、附言サレテ居ルト思フノデアリマス、私ハ此點ニ於キマシテ農林大臣ニ希望ヲ申シマスルコトハ、常ニ農業政策ガ議會ニ提案サレマスル時ニ、其所管農林大臣ガ、其案ニ對シテセラレマスル答辯ト云フモノハ、何時モ農民階級救護ト云フコトニ對シマシテ、洵ニ言葉ノ上ニ於テハ誠意ガアルヤウデアリマスガ、愈〻是ガ運用サレマスト、甚ダ農民ノ期待ヲ裏切ルト云フコトガアリマスルガ故ニ、本案ニ關シマシテハ、斷ジテ其點ナキヤウト云フコトヲ、農林大臣ニ篤ト私ハ希望スル者デアリマス

次ニ本案ニ對シテ吾々ガ質問ヲ致シマシタ重點ノ中ニ、本案運用ノ途上ニ當リマシテ、製絲業者ト養蠶業者ノ利害ガ相反スルコトガ起ラナイカト云フ問ニ對シマシテ、當局ハ本案運用ノ途上ニ當ッテハ、製絲業者ト養蠶業者ノ利害ハ概ネ相一致スルト云フ答辯ヲサレテ居リマス、併ナガラ私ハ本案運用ノ途上ニ於キマスル所ノ、製絲業者對養蠶業者ノ利害ニ對シマシテ、必ズ是ガ一致スルト云フ見解ヲ持ッテ居ラレル點ニ付キマシテハ、私ハ必シモ贊成出來ナイノデアリマス、何トナレバ本案ノ第十一條ニ於テ、本日此處ニ於テ委員長モ説明サレマシタ通リ、十一條ノ運用ニ依リマシテ、製絲業者ハ其製造販賣ニ關スル費用ト云フモノガ、完全ニ擁護サル、ト云フコトハ、法ノ明記スル所デアリマスガ、併シ生絲ノ値段ガ決定致シマシテモ、繭ガ出來上リマシテ一擧ニ市場ニ繭ガ殺到シマシタ時ニ於テ、其繭ヲ成ベク安ク買取ラウトスルコトハ、是レ製絲業者ノ當然ノ心理デアリマスガ故ニ、其場合前議會ニ於テ通過致シマシタ産繭處理統制法ト云フモノヲ以テ、十分是ガ統制ヲ爲シ得ルモノデアルト云フ、蠶絲局長玆ニ農林大臣ノ御答辯デアリマスケレドモ、此點ニ關シマシテハ、特ニ十二分ノ注意ヲ以テ、其運用アランコトヲ私ハ希望シテ已マナイ者デアリマス

次ニ私ハ本案ノ運用ニ當リマシテ、生産費ヲ保障スベシト云フ言葉ニ對シテ、稍〻當局ニ難點ガアルヤウニ考ヘラレマスケレドモ、是ハ私ノ見解ヲ以テ致シマスナラバ、繭ノ生産費ト云フモノノ内容ヲ仔細ニ點檢致シテ見マス時ニ、其生産費ノ大部分ヲ占メルモノハ桑デアルト云フコトハ、何人モ御承知デアリマセウ、繭ノ原料ハ即チ桑デアル、其桑ノ原料ハ何デアルカト申シマスト、是ハ肥料デアリマス、今日全國ノ統計ニ依ッテ、蠶絲局カラ發表サレマシタ、繭一貫目ニ對スル所ノ生産費ト云フモノヲ見マスト、一貫目四圓四十四錢一厘ト發表サレテ居リマス、其四圓四十四錢一厘ノ中ニハ、桑ノ代金ガ二圓十二錢九厘含マレテ居リマス、即チ約半分デアリマス、是ハ帝國農會ノ調ニ依リマシテモ、全國蠶絲業聯合會ノ調ニ依リマシテモ、略〻同一ノ統計ニナッテ居ルコトヲ見マスレバ、要スルニ繭ノ生産費ノ五割ガ桑代デアルト云フコトハ明瞭デアリマス、然ラバ其桑ノ生産費ト云フモノハ、如何ナル狀態ニアルカト申シマスト、玆ニ私ハ山梨縣松里村ニ於キマスル養蠶實行組合ガ調ベテ居ル實際ノ調査ヲ見マスト、一反歩ノ畑ヨリ生産サレマス所ノ桑ガ約四百束、其四百束ノ中ニ於テ、繭一貫目ヲ作ルニ要シマスル桑ヲ十三束ト致シマシテ、一反歩カラ三十貫ノ繭ヲ取ルノデアリマス、三十貫ノ繭ヲ一貫目五圓ニ賣ッタト致シマスト、其收入ハ百五十圓、併シ此調査ノ中ニ於キマシテハ、一反歩ニ對スル所ノ小作料ト云フモノガ三十圓、肥料代金ガ二十五圓含マレテ居リマス、即チ小作料ト肥料代金ガ合計五十五圓デアリマシテ、百五十圓ノ繭ヲ作ル中ニ、肥料代ト小作料ト云フモノガ、約三分ノ一以上アルト云フコトハ、如何ニ養蠶農民ガ繭ノ生産費ヲ低下ショウト思ヘバ、肥料代金ト小作料ト云フモノニ重點ガアルカト云フコトヲ、一見明瞭デアラウト思フノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、私ハ農林大臣ニ希望ガアリマス、農業政策ト云フモノハ、肥料統制法ハ肥料ダケノコト、繭ノ統制法ハ繭ダケノコト、米ノ統制法ハ米ダケノコトト云フヤウニ、總テノ法案ヲ縱ニノミ解釋サレテ、米ノコトハ是デ宜イ、繭ノコトハ是デ宜イト云フ見解ノ下ニ、農業政策ヲ樹テラルベキモノデハナイ、何トナレバ總テノ政策ト云フモノハ米ノ問題デアル、繭ノ問題デアル、肥料ノ問題デアルニアラズシテ、其背後ニアル農民ノ生活ト云フコトニ、如何ナル影響ガアルカト云フコトガ重點デナクテハナラヌ、斯ウ考ヘマスル時ニ、繭ノ生産費ヲ低下セントスルナラバ、先ヅ昨年ノ議會ニ於テ通過致シマシタ重要肥料統制法ナル法律ニ依ッテ、肥料ノ値段ト云フモノヲ、今日相當ニ低下セシムルト云フコトハ、是レ農林大臣ガ本案ノ施行ニ當リマシテ、當然考慮ニ入レラレナケレバナラヌ問題デアルト私ハ確信スル者デアリマス、即チ此意味ニ於キマシテ、私ハ本案ト昨年通過致シマシタ重要肥料統制法ト云フ二ツノ法律案ヲ見ル時ニ、若シモ今回出來ル絲價安定法案ノ中ニ於ケル所ノ、絲價安定委員會ニ於キマシテ、養蠶農民ノ生産費ト云フモノヲ、農民階級ガ犧牲ニシナケレバナラヌト云フ時ガアルナラバ、一方ニ於テハ肥料統制委員會ニ於テ、肥料會社ハ肥料ノ生産費ヲ割ッテモ、之ヲ農民ニ供給スルト云フ考ガナクテハナラヌト云フコトヲ斷言シテ憚ラナイ者デアリマス、斯ウ云フ風ナ考カラ致シマシテ、本法案ハ嘗ニ繭ノ問題、生絲ノ問題デアルバカリデナク、是ハ我國ノ農業政策ノ根幹ニ當ル所ノ、千五百万ノ農民ニ對シテ重大ナル影響アル法案デアルト云フコトヲ考ヘマスル時ニ、其他ノ法律案ト之ヲ相併用致シマシテ、少クトモ私ノ第一ノ希望條件デアル、繭ノ生産費ヲ絶對ニ農民ニ保障スベシト云フ一點ニ對シマシテハ、私ハ此演壇ヨリ確カト山崎農林大臣ニ希望スル次第デアリマス

第二ノ希望條件デアリマスル所ノ、「絲價安定委員會ニハ必ズ養蠶農民ノ代表ヲ入ル

ベシ」ヘ、此點ニ付キマシテ農林大臣ハ屢〻委員會ニ於テ說明ヲサレタ所ニ依リマスルト、アナタ方ノ之ニ對スル希望ト云フモノハ十分ニ分ッテ居ル、絲價安定委員會ニ農民ノ意見ヲ反映スベシト云フコトヘ、十分ニ考慮スルト云フコトヲ、幾タビカ約束ヲサレテ居リマスルノデ、私ハ此點ニ關シマシテハ、暫ク農林大臣ノ言明ヲ信用致シマシテ、私ハ本問題ニ對シマシテハ是レ以上論及ヲ致シマセヌ

第三ノ政府ハ蠶絲業對策ヲ樹ツルニ當リ、養蠶業ヲ以テ主タル產業トスル府縣ト、然ラザル府縣ト云フモノヲ、別箇ニ扱ヘト云フ議論ニ付テ、若干ノ說明ヲシタイト思フノデアリマスルガ、全國ノ繭ノ生產費ト云フモノヲ見マスルト、言フ迄モナク相當ニ是ハ全國ニ於テ開キガアリマス、而シテ養蠶ヲ以テ主タル使命ト致シテ居リマスル長野縣、愛知縣、群馬縣、埼玉縣、山梨縣、茨城縣、岐阜縣等ニ於キマシテハ、其受ケル打擊ト云フモノハ、繭價ノ低下ニ依ッテ莫大ナル損害ヲ受ケルノデアリマスガ、故ニ苟モ農民ヲ救濟スルト云フ見地ニ立ッテ蠶絲業政策ヲ立ツルナラバ、是等ノ養蠶ヲ以テ主タル產業ト爲ス縣ト、然ラザル縣ニ對スル區別ヲ立テラレルト云フコトハ、是レ豈ニ蠶絲業ノ問題ノミニ非ズシテ、我國ノ農業、副業ニ對スル政府ノ方針ト致シマシテ、絕對ニ考ヘラルベキ理由ガアルト私ハ信ズル者デアリマス、此意味ニ於キマシテ、私ハ此三ツノ希望條件ヲ山崎農林大臣ニ篤ト希望シ、而モ委員會ニ於ケル答辯ヲシテ單ナル議會ニ於ケル答辯ニアラズ、之ヲ全農民ノ前ニ眞實ナル所ノ答辯ト致シマシテ、本案運用ニ關シテ萬遺憾ナキヲ期セラレタイト云フ希望ヲ附シマシテ、以テ本案ニ贊成ヲ致シマス（拍手）

○副議長（岡田忠彥君） 是ニテ討論ハ終局致シマシタ、兩案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

（贊成者起立）

○副議長（岡田忠彥君） 起立多數、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○松永東君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○副議長（岡田忠彥君） 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（岡田忠彥君） 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

絲價安定施設法案　第二讀會
絲價安定施設特別會計法案　第二讀會

○副議長（岡田忠彥君） 別ニ御發議モアリマセヌカラ委員長報告通リ決シマシタ、是ニテ兩案ノ第二讀會ハ終リマシタ

○松永東君 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○副議長（岡田忠彥君） 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（岡田忠彥君） 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

絲價安定施設法案　第三讀會
絲價安定施設特別會計法案　第三讀會

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（岡田忠彥君） 別ニ御發議モアリマセヌカラ、兩案トモ第二讀會議決ノ通リ可決確定致シマシタ（拍手）

○松永東君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ此際政府提出、一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、對支文化事業特別會計法中改正法律案及ビ一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案ノ三案ヲ一括議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○副議長（岡田忠彥君） 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（岡田忠彥君） 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、特別會計歲出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、對支文化事業特別會計法中改正法律案、一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長木暮武太夫君

一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案（政府提出）
　第一讀會ノ續（委員長報告）
對支文化事業特別會計法中改正法律案（政府提出）
　第一讀會ノ續（委員長報告）
一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案（政府提出）
　第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年三月十三日

委員長　木暮武太夫

衆議院議長富田幸次郞殿

報告書

一對支文化事業特別會計法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年三月十三日

委員長　木暮武太夫

衆議院議長富田幸次郞殿

報告書

一一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年三月十三日

委員長　木暮武太夫

衆議院議長富田幸次郞殿

（木暮武太夫君登壇）

○木暮武太夫君 只今議題ニ相成リマシタ法律案三案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、先ヅ順序ト致シマシテ、最初各法律案ノ趣旨ヲ御說明申上ゲルコトガ適當カト存ジマス

第一ハ、今日ノ財政狀況竝ニ各特別會計ノ餘裕アル狀況ニ鑑ミマシテ、毎年豫算ノ定ムル所ニ依ッテ、應分ノ金額ヲ各特別會計カラ一般會計ノ歲出ノ財源ニ充ツル爲ニ繰入レルト云フ案デゴザイマシテ、而シテ將來一般會計ニ於キマシテ餘裕金ガ出來マシタ場合ニハ、特別會計ノ方ニ之ヲ返還スルト云フ案デアルノデゴザイマス、而シテ其金額ノ合計ハ六千百八十九万圓デアリマシテ、鐵道會計カラ入レマス三千万圓ヲ最大ナルモノトシテ、通信事業費特別會計カラ千二百六十四万圓、朝鮮總督府特別會計カラ九百四十五万圓、臺灣總督府特別會計カラ五百二十五万圓、樺太廳特別會計カラ百九十五万圓、關東局特別會計カラ百五十万圓、南洋廳特別會計カラ百十万圓、合セテ六千百八十九万圓ヲ一般會計ノ歲出ノ財源ニ充ツル爲ニ繰入レルト云フ案デアリマス

二番目ノ法律案ハ、對支文化事業特別會計法中改正法律案デアリマシテ、現行法ニ依リマスト、此特別會計ノ資金ハ國債或ハ大藏省預金部ニ之ヲ預入レテ置キマシテ、之ヲ運用スルト云フ規定ニナッテ居ルノデアリマスガ、此特別會計ノ使命ノ重大ナルニ鑑ミマシテ、此運用ノ方法ヲ擴張シテ、由テ以テ從來ハ文化的ノ日支間ノ提携ニノミ從事シテ居ッタモノヲ進メテ、經濟的ノ提携ヲモ促進セシムルコトニ必要ナル資金ヲ運用シタラ宜カラウ、斯ウ云フ案デゴザイマス、又御承知ノ通リ山東問題ガ解決致シマストキニ、條約竝ニ細目ノ協定ニ依リマシテ、支那カラ受取ッタ四千万圓ノ膠濟鐵道ノ債權ト云フモノガ我國ニアリマス、是ハ對支文化事業ノ方ノ特別會計ニ於テハ一千四百五十万圓ヲ保管シ、殘リノ二千五百十万圓ト云フモノハ、一般會計ニ於テ保管シテ居ル實情デアルノデアリマスガ、今回ハ此一般會計ニ保管スル所ノ二千五百五十万圓ヲ、此對支文化事業特別會計ノ方ニ移スコトガ穩當デアルト云フ趣旨ニ依ッテ移サウ、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ル ノガ第二ノ法律案デアリマス

モウ一ツ第三ノ法律案ハ、御承知ノ通リ今年ノ四月一日カラ郵便貯金利子二厘四毛ヲ引下ゲマス結果トシテ、大藏省預金部デ約八百万圓ノ餘裕金ヲ生ズルノデアリマス、此生ズル八百万圓ノ餘裕金ノ本質ニ鑑ミマシテ、是ハ社會政策ノ施設ニ使フベキモノデアルト政府デ之ヲ御認メニナッテ、此中六百万圓ヲ一般會計ノ歲出ノ財源ニ充當スル爲ニ繰入レマシテ、社會政策的ノ施設費トシテ、殘リノ二百万圓ハ郵便貯金事務改善ノ方ニ使ハウ、是ガ第三案デアルノデアリマス

斯ノ如キ三案ノ委員會ハ、二月二十七日以來數回ニ互リマシテ開キマシテ、本日モマダ繼續シテ開イテ居ルヤウナ譯デ、洵ニ御熱心ニ質疑應答ガ行ハレタノデアリマシテ、質問者ノ御名前ヲ擧ゲレバ、小谷節夫君、氏家清君、川俣淸音君、綾川武治君、片山秀太郎君、中村嘉壽君、松岡俊三君、渡邊銕藏君、牧山耕藏君、田川大吉郞君ト云フヤウナ御方々カラ、熱心ニ各特別會計ノ內容ニ付キマシテ切實ナル所ノ御質問ガアリ、政府モ亦之ニ對シ極メテ周到懇切ナル御答辯ガアッタノデアリマス、此處デ此質問竝ニ議論ノ中ニ現レマシタル委員會ノ空氣ヲ、一二申上ゲテ置ク必要ガアルト思ヒマス

ソレデ第一案ニ付キマシテハ、各特別會計カラ一般會計ノ歲出ノ財源ニ充ツル爲メ、六千万圓以上ノモノヲ繰入レルト云フ案デゴザイマス爲ニ、各特別會計各〻其設定ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、マダ爲スベキ仕事ガ非常ニ多イヂヤナイカ、其仕事ヲマダヤラヌデ居テ、無理ナコトヲシテ、繰入金ヲ爲スト云フコトハ、愼マナクテハイカヌヂヤナイカト云フヤウナ御議論ガ頗ル多カッタ、殊ニ朝鮮總督府特別會計ニ關シマシテハ、北鮮國境ノ「ソ」聯ニ接壤スル地帶ノ警備施設充實、竝ニ其地方ノ移民開拓ト云フヤウナ問題ハ、朝鮮總督府ト致シマシテハ十分ニ努メナケレバナラナイ問題デアルノニ拘ラズ、ソレ等ノコトヲ等閑ニ附シテ置イテ、此千万圓以上ノ金ヲ一般會計ニ繰入レルト云フヤウナコトハドウカ、大ニ今後ハ此點ヲ注意シナケレバナラヌト云フヤウナ御意見ガ多カッタ、又臺灣ニ付テハ河川ノ整理改修、或ハ南方ヘノ通商貿易關係ノ充實ト云フヤウナ、大キナ仕事ガヤハリアルノデアリマスカラ、斯ウ云フコトニ努メルコトガ、先ヅ第一義デアラウト云フヤウナ御議論モアッタ、殊ニ遞信省卽チ通信事業ニ付キマシテハ、遞信省關係ノ下級ノ從業員ノ人々ノ待遇ト云フモノガ、鐵道省ノソレ等ノ人々ニ比較致シマシテ、甚シイ懸隔ガアル今日、此待遇ヲ改善シナケレバナラナイト云フコトハ焦眉ノ急デハナイカ、又我國ニ於ケル通信施設ト云フモノガ、未ダ完璧ヲ得タモノトハ言ヒ難イ、ドウシテモ郵便局ヤ電信局ト云フモノヲ、地方ニ充實スル必要ガアルノデハナイカ、ソレダノニ年々八千百万圓ノ納付金ヲシテ、更ニ又澤山ノ金ヲ此處ヘ出スト云フコトハ、先ヅ自ラノ方ノ仕事ヲ十分ヤッテカラ、一般會計ニ繰入シタラ宜クハナイカト云フヤウナ御議論ガアッテ、無理ヲシテ今後繰入ヲスルト云フコトハ愼マナケレバナラヌト云フヤウナ御意見ガアッタ、政府モ大體ニ於テ質問者ノ趣旨ヲ諒ト致シマシテ、明年カラ御注意下サルヤウナ御答辯ガアリマシタ、第二ノ對支文化事業特別會計法中改正法律案ニ關聯致シマシテハ、對支交渉ノ不手際ニ付テ、殊ニ川越大使ノ

身上ニ關シマシテハ、可ナリ痛烈ナル反對的ノ御發言ガ多カッタガ、本會議ニ於テ之ヲ御紹介スルコトハ私ハ差控ヘマス、詳細ハドウゾ委員會ノ速記錄ニ讓リマスカラ、御覽ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、而シテ對支文化事業ト云フモノガ、從來動トモスルト引込ミ思案デアッテ、洵ニ國民ノ期待ニ副ハザルモノ甚シキモノガアルカラ、今回此資金運用ヲ擴張シタルヲ好機會ニ、積極的ニ活動致シマシテ、日支間ノ友誼的提携ノ基礎ニナルヤウナ働キヲ致シタラドウダト云フヤウナ御意見ガ盛ニアッタノデアリマス

斯ク致シマシテ本日午後各案ヲ別々ニ採決ヲ致シマシタ結果、第一案、即チ一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、此案ニ付キマシテハ多數決ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、第二案ノ對支文化事業特別會計法中改正法律案及ビ一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、此二、三ノ兩案ニ對シマシテハ、全會一致ヲ以テ可決確定ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、此點御報告ヲ申上ゲマス(拍手)

○副議長(岡田忠彦君) 討論ノ通告ハアリマセヌ、三案中第一及ビ第三ノ兩案ニハ反對ガアリマスカラ、先ヅ此兩案ヲ一括シテ審議ヲ爲シ、次ニ第二案ヲ審議スルコトニ致シマス、是ヨリ一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、及ビ一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案ノ審議ニ入リマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(贊成者起立)

○副議長(岡田忠彦君) 起立多數、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○松永東君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案　第二讀會

一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案　第二讀會

○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、委員長報告通リ決シマシタ、是ニテ兩案ノ第二讀會ハ終リマシタ

○松永東君 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○副議長(岡田忠君彦) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案　第三讀會

一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案　第三讀會

○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、兩案トモ第二讀會議決ノ通リ可決確定致シマシタ(拍手)次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ審議ニ入リマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○松永東君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

對支文化事業特別會計法中改正法律案　第二讀會(確定議)

○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、本案ハ委員長報告通リ可決確定致シマシタ(拍手)

(副議長退席、議長著席)

○松永東君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際日程第四及ビ第五ヲ繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 松永君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ、日程第四、第五ハ便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第四、朝鮮事業公債法中改正法律案、日程第五、朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス――拓務大臣結城豐太郎君

第四　朝鮮事業公債法中改正法律案　第一讀會
(政府提出)

第五　朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案　第一讀會
(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案

朝鮮事業公債法中左ノ通改正ス

第一條中「六億九千六百二十萬圓」ヲ「八億四千百五十萬圓」ニ改ム

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案

朝鮮鐵道用品資金會計法中左ノ通改正ス

第一條　鐵道及自動車交通事業ノ用品ヲ購入貯藏及製作修理シ朝鮮鐵道ノ運輸營業及建設事業竝鐵道ニ關聯シ經營スル自動車交通事業ノ需用ニ應スル爲朝鮮鐵道用品資金ヲ置キ特別ノ會計ヲ立テシム

第三條中「鐵道用品」ヲ「鐵道及自動車交通事業ノ用品」ニ改ム

附　則

本法ハ昭和十二年度ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣結城豐太郎君登壇)

○國務大臣(結城豐太郎君) 只今議題トナリマシタ朝鮮事業公債法中改正法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、朝鮮總督府特別會計ニ於テ、昭和十二年度以降ノ繼續費トシテ計上致シマシタル、鐵道建設及改良費ノ追加額一億二千九百五十餘万圓、竝ニ港灣修築改良費追加額ノ一部千九百五十万圓ハ、同特別會計歳計ノ現狀ニ顧ミマシテ、是ガ財源ヲ公債ニ依ルコトト致シマシタコト等ニ依リ、現行朝鮮事業公債法ノ公債發行限度ヲ改訂スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望スル次第デアリマス

次ニ朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、朝鮮ニ於テ國有鐵道ニ關聯シテ經營スル自動車交通事業ノ用品ノ購入貯藏等ハ、之ヲ朝鮮鐵道用品資金會計ニ於テ經理スルヲ適當ト存ジマスノデ、本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長(富田幸次郎君) 質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許可致シマス――信太儀右衛門君

(信太儀右衛門君登壇)

○信太儀右衛門君 只今上程ニナリマシタ朝鮮ニ關スル二ツノ法案ニ付キマシテ、質疑ヲ致サント欲スル者デアリマス、御承知ノ通リ朝鮮ハ、統治既ニ二十七年ノ星霜ヲ經過シテ居リマス、隨テ内鮮融和ノ實ヲ完全ニ擧ゲマシテ、今ヤ雞林八道ニ於キマシテ、皇風ガ全ク普ネカラントシテ居リ、又普クコトヲ私共モ確信シテ居リマス、洵ニ國家ノ爲ニ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマス、植民政策ノ至難中ノ至難デアルト云フコトハ、是ハ諸君モ既ニ御承知ノ通リデアリマス、一朝ニシテ是ガ過チヲ致シタ時ニ於キマシテハ、折角ノ努力モ亦犧牲モ、何等爲ス所ナクシテ、延イテハ内政問題ニ波及スル由々シイ問題ヲ惹起スルコトハ、是ハ東西植民ノ歴史ニ徴シテ見マシテモ、既ニ明瞭ナル事實デアリマス、此度ノ朝鮮ニ關スル二ツノ法律案ニ付キマシテ、私ハ檢討致シタイト思ヒマスルガ、本年度即チ昭和十二年度ニ於キマシテハ、其事業ノ公債ハ六億九千六百二十万圓デアリマス、是ガ明年度、昭和十三年度ニ於テハ、一躍八億四千百五十万圓ト云フ所ノ、大ナル數字ヲ示シテ居リマス、驚ク勿レ、其累進額ハ一億四千五百三十万圓デアリマス、之ヲ比較スルノハ如何デアリマスルガ、此度各派ヲ通ジテ滿場一致、所謂血ミドロニナッテ吾々ノ主張シタ地方農村ノ交付金ノ問題ハ三千万圓デアリマス、斯ノ如ク一絲亂レザル議員ノ主張ヲ以テ叫ンデ居ッタ所ノ問題ハ、僅ニ三千万圓デアリマス、勿論此朝鮮ノ事業年度計畫ニ付キマシテハ、今更主ヲ變ヘル譯ニハ行キマセヌケレドモ、如何ニ此植民ノ爲ニ我ガ國帑ガ消費セラレルカト云フコトニ付キマシテ、吾々ハ之ニ對スル關心ヲ更ニ新シクスル次第デアリマス

私ハ概要産業問題ト交通問題ノ二點ニノミ止メマシテ、質疑ヲ打切ラウト思フノデアリマスガ、先ヅ第一ニ人口問題カラ論及シタイト思ヒマス、朝鮮ノ人口ノ躍進ハ、我ガ内地ニ殆ド匹敵シテ居リマス、殊ニ南部六道ニ於キマスル所ノ人口ノ増加ト云フモノハ、非常ニ激甚ヲ極メテ居リマス、隨テ内地ニ是等ノ過剩人口、ソレハ主トシテ勞働者デアリマスガ、其勞働者ガ内地ニ參リマシテ、ソレガ爲ニ内地ハ勞働者ノ過剩トナリマシテ、色々ノ社會問題ガ勃發シテ居ルコトハ、諸君モ御承知デアリマセウ、是ハ洵ニ悲シムベキ事態デアリマス、朝鮮ノ圖ヲ繙イテ見レバ直チニ分リマスガ、南部六道ハ人口稠密デアリマスガ、人口ヲ單ニ一地方ニノミ抑ヘテ居ルト云フコトハ、植民政策ノ上カラ申シマシテモ、本意デハナイノデアリマス、之ヲ北鮮ノ天然資源ノ豐富デアル所ノ、而シテ土地ノ廣大デアル所一帶ニ之ヲ移住セシメ、延イテハ之ヲ滿洲ヘ、日本内地ト滿洲ト連繫スル所ノ第一線ニ朝鮮ノ方々ヲ立タセルト云フコトハ、植民政策トシテモ實ニ意義深甚デアルコトト私ハ考ヘテ居リマス、次ニ朝鮮ノ産業ノ主タルモノハ産米デアリマス、今ヤ朝鮮ノ米ハ、吾吾内地ノ米ト殆ド其差別ハアリマセヌ、價格ニ於キマシテモ、亦質其モノニ付キマシテモ、完全ナル米トシテ世間ノ稱讚ヲ博シテ居ルノデアリマス、是ガ幸ニシテ天惠ニ浴シ、五穀豐穰ト云フコトニナッタ時ニ當リマシテハ、文字通リ生産過剩トナリマシテ、折角收穫ヲ得テ喜ビニ堪ヘナイ所ノ鮮人ハ、價格ノ暴落ニ依リマシテ、喜ビガ變ジテ災ヒニナルコトハ、諸君モ御承知デアリマセウ、併シ是ハ獨リ朝鮮米ニ限ラズ、經濟的カラ申シマシテモ、生産過剩ト云ッタヤウナコトハ、又値段ノ暴落或ハ暴騰ト云フヤウナコトハ、一片ノ法律ヤ制度ニ依リマシテ、之ヲ抑ヘ付ケルコトハ出來マセヌ、或ル程度ニハ之ヲ抑制スルコトガ出來マセウガ、之ヲ若シモ無理ニ抑ヘントスレバ、茲ニ由々シイ所ノ國家的ノ社會問題ガ惹起スルノデアリマス、諸君モ御承知ノ通リ、此度比律賓ガ獨立ヲ聲明シテ居ルト云フ裏面ヲ考ヘテ御覽ナサイ、比律賓ニ於キマシテハ、非常ニ安イ勞力ヲ以チマシテ、彼ノ特産物デアル所ノ製糖業ガ非常ニ進歩發達ヲシテ居リマス、是ガ一朝輸出ヲ致シマシテ、亞米利加内地ニ行ク時ニ當ッテ、亞米利加内地ノ製糖業等ハ大ナル脅威ヲ感ジ、ドウシテモ是ト角逐スルコトハ出來ナイト云ッタヤウナ、一種ノ經濟的觀念カラシテ、遂ニ比律賓ヲ獨立セシメテモ宜

シイト云フヤウナ空氣ヲ釀成シタト云フコトハ、是ハ既ニ賢明ナル諸君ハ御承知ノ通リデアリマセウ、斯ウ云フヤウニ頗ル重大性ヲ帶ビテ居ルノデアリマス、獨リ又此産米ノミニ限ラズ、農産物ニ付キマシテモ、内地ヘ參ル時ニ當リマシテハ、種々ナル植物檢査、所謂病毒ノ檢査ト稱シマシテ、其内地ニ進出スルコトヲ阻止シテ居リマス、是デハ折角朝鮮總督府ガ非常ナル犧牲ヲ拂ヒ、努力ヲ以テ指導奬勵ヲ致シマシテモ、其結果ハ洵ニ悲シムベキ所ノ現狀ニアルノデアリマス、是等ニ對シマシテ政府當局ノ或ル程度マデノ確信ヲ私ハ聽カント欲スル者デアリマス

次ニ又交通問題ニ付キマシテ御尋シタイト思ヒマス、足一タビ朝鮮ノ釜山ニ上陸致シマス時ニ、見ル一山、一木、一草、近來ハ稍〻生色、綠色ヲ呈シテ居リマスガ、全ク是ハ荒涼無趣味ナ風光デアリマス、日清戰爭ニ當リマシテ、釜山ト京城ヲ結ブ所ノ線ハ一ノ軍用線ト致シマシテ、何等經濟的ノ觀念ナク、何等鐵道ノ技術ヲ考慮セズシテ、急速ニ之ヲ敷設致シタノガ彼ノ京釜鐵道デアリマス、又ソレニ稍〻幾ラカノ科學的技能ヲ加味シテ居リマスノガ、日露戰爭直後ニ於テ出來タ京城ト新義州ヲ結ンデ居ル所ノアノ線デアリマスルガ、是モヤハリ京釜鐵道ト殆ド同一軌道ヲ歩ンデ居ルヤウニ考ヘマス、隨テ朝鮮總督府自ラ聲明シテ居ル所ニ依リマスト、朝鮮ノ資源ヲ見ント欲セバ、此幹線ニ依ルノハ非常ニ不便デアルト云フコトヲ、朝鮮總督府自ラ申シテ居リマス、申スマデモナク、此鐵道ハ都會ト都會ヲ結ビマシテ、サウシテ交通ノ利便ニ貢獻スルコトガ、鐵道敷設ノ目的デアリマスルケレドモ、敍上ノ如キ事情ニ依リマシテ、朝鮮鐵道ノ大半ハ軍用鐵道ト云フヤウナ空氣ニ依リマシテ、是ガ蔽ハレテ居ルヤウニ私等モ考ヘ、又諸君モ御同感デアラウト思ヒマス、是等ノ幹線ニ慊ラズシテ、更ニ釜山ト京城ヲ結ブ所ノ主要貫通線ヲ開通セントシタノハ最近ノコトデアリマス、其貫通スル所ノ鐵道ノ區域ト云フモノハ山又山、ソレハ九十九折デアリマス、文字通リニ何等經濟的ノ價値ノナイ處デアルニモ拘ラズ、之ヲ貫通致サントスルコトハ、ヤハリ軍事的方面カラト云フヤウナコトヲ承ッテ居リマスガ、吾々ハ朝鮮ノ鐵道ノ大半ハ、此軍事鐵道ニ依リマシテ、經濟的ヲ全ク打破、考慮ナクシテ之ヲ敷設スルト云フコトニ對シマシテハ、大ナル遺憾ノ意ヲ表スル次第デアリマス、勿論軍事的其モノハ、吾吾ハ之ヲ協贊スルニ、決シテ吝カナルモノデハアリマセヌ、朝鮮ノ内外共ニ生産的ニ、或ハ交通ノ完成ヲ圖リマシテ、一旦有事ノ際ニハ東西相應ジテ、内地ノ自給自足ニ若シ缺陷ガアッタナラバ、朝鮮ノ物資ヲ内地ニ移入シテ、以テ吾々東亞大帝國ノ建設ヲ期待スルコトハ、皆サンモ御異論ハナカラウト思ヒマス、此點カラ見マスルト、今度ノ事業公債ノ發行ト云フモノハ、主トシテソレニ一貫シテ居ルト云フコトハ、吾々ハドウシテモ此點ニ付キマシテハ、檢討ヲ更ニ新シクシナケレバナラヌト思ヒマス(拍手)殊ニ今ノ拓務大臣ハ、拓務大臣デアリ又大藏大臣デアリマス、最近アナタハ金ノ直送ヲヤッテ居リマス、一千五百万圓ノ金ノ直送ヲヤッテ居リマシテ、日本ノ經濟價値ノ信用ヲ高メントシテ居ルコトハ、是ハ吾々モ共鳴シテ居リマス、併ナガラ此金ハ如何ナル方法ニ依ッテ、如何ナル地ニ之ヲ求メルカト云フコトハ、現在デハナクシテ將來性ヲモ私ハ考ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、唯徒ニ早急ノ應急手段トシテ之ヲ行フト云フノデハナク、永久的ノアナタノ御考ヲ以テ致サレタイノハ、私等ノ切ナル希望デアリマス、此點ヲ考ヘテ見マスト云フト、朝鮮ニハ今ヤ鑛業トシテ一億万圓ノ産出ヲ致シテ居リマス、殊ニ此産金、金ノ産額ハ朝鮮總督府ガ相當ナル保護助長ヲ致シタナラバ、更ニ數倍ノ累進率ヲ出スコトト私ハ確信致シテ居リマス(拍手)何卒此點ハ唯鐵道、道路ニノミ支出シナイデ、多岐多樣、所謂多角的ニ、立體的ニ朝鮮ノ産業開發ノ爲ニ、又交通ノ完成ノ爲ニ、吾々ハ切ナル要求ヲ致サントシテ居ルモノデアリマス、此點ニ付キマシテ當局ノ御懇切ナル御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス(拍手)

(政府委員大野綠一郎君登壇)

○政府委員(大野綠一郎君) 只今信太サンカラノ御質問ニ對シマシテ御答辯ヲ申上ゲマス、鐵道及ビ港灣ノ追加ノ費用ガ一億四千餘万圓デアリマシテ、隨分莫大ノヤウデアルガト云フ御話デアリマシタガ、今日ノ朝鮮ノ狀況カラ申シマシテ、鐵道ノ整備ガ産業、國防各方面カラ極メテ重大デアリマスノデ、サウ云フヤウナ費用ガ追加サレタ譯デアリマス、尤モ此費用ハ昭和十二年度以降九箇年ニ亙ル繼續費デゴザイマシテ、一年ノ追加額ト致シマシテハ二千餘万圓位ノ見當ニナッテ居リマス、是ハ今日ノ朝鮮ノ情勢トシテハ、發達ノ必要上當然左樣ナ金額ガ要ルコトト考ヘテ居リマス

ソレカラ人口問題ニ付キマシテ、朝鮮六道ノ人口ガ隨分稠密ノ狀態ニナッテ居ル、之ニ付テ御承知ノヤウニ内地ニ渡航スルコトニ付キマシテハ、色々ト調節ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、之ヲ更ニ北部ノ朝鮮、又滿洲ノ方ニ移住セシメル方策ニ付テ、考慮シタラドウカト云フ御話デゴザイマスルガ、此點ニ付キマシテハ、既ニ計畫ヲ立テマシテ、北鮮ノ可ナリ人口ノ疎ラナ土地ニ付キマシテハ、ソレ〳〵計畫ヲ立テマシテ、北鮮移民ノ費用モ豫算ノ中ニ組入レテ居リマシテ、逐次其計畫ヲヤッテ行クコトニナッテ居リマス、ソレカラ滿洲移民ニ付キマシテハ、昨年鮮滿拓殖會社ヲ創立致シマシテ、ソレソレ滿洲國ノ官憲トモ連絡ヲ致シマシテ、移住ノ奬勵ヲ致シテ居リマシテ、段々其手順ガ整ッテ居リマスル次第デアリマス

ソレカラ産業ニ付テ、米ノ生産ニ付テ、米價ガ著シク上ッタリ、或ハ下ッタリスルト云フヤウナコトガ、非常ニ朝鮮農民ニ不安ヲ與ヘル虞ガアルデハナイカト云フ御懸念デゴザイマシタガ、此點ニ付キマシテハ幸ニ米穀統制法、又自治管理法ノ施行ニ依リマシテ、大體ノ見當ガ付キマシタノデ、暫理法ハ未ダ發動ハ致サレマセヌケレドモ、

左樣ノ點ニ付テハ比較的私ハ安心ガ出來ルコトト考ヘテ居リマス

尙ホ交通ノ問題ニ付テ、國防上重要ナル點モ述ベラレマシテ、尙ホ其他ニモ産業上十分鐵道ノ收支ノ採レルヤウニ考慮シタラドウカト云フ御話デゴザイマスガ、此點ニ付キマシテモ、沿道ニ可ナリノ物資ガゴザイマスルシ、是ハ農産物モゴザイマスルシ、又鑛産物モ只今御示シノヤウニ澤山ゴザイマスノデ、是等ノ開發ニ付テハ十分ノ力ヲ入レマシテ、産業ノ方面ニ於テモ十分ノ效果ヲ擧ゲルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、大體ノ御答辯ヲ致シマス

○信太儀右衛門君 簡單デアリマスルカラ此席カラ御許ヲ願ヒマス

○議長(富田幸次郎君) 許可致シマス

○信太儀右衛門君 此問題ニ付キマシテハ、私モ相當ノ成案ヲ持ッテ居リマスルカラシテ、他日或ル機會ニ於キマシテ相見エルコトガ出來マセウカラ、私ノ質問ハ之ヲ以テ終リマス

○議長(富田幸次郎君) 是ニテ質疑ハ終局致シマシタ、兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○松永東君 日程第四及ビ第五ノ兩案ハ、一括シテ政府提出、樺太市制案委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 松永君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○松永東君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ此際日程第六及ビ第七ヲ繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 松永君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ――日程第六及ビ第七ハ同種ノ議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第六、昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、日程第七、昭和七年法律第一號中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス――大藏大臣結城豐太郎君

第六 昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第七 昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第一條 政府ハ昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外四億八千七百五十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ昭和十二年度一般會計歲出豫算翌年度繰越額ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外昭和十三年度ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得但シ前條ノ規定ニ依ル公債又ハ借入金ト通ジテ前條ノ制限額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 前二條ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補塡スル爲必要アル場合ニ於テハ前二條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年法律第一號中改正法律案

昭和七年法律第一號中左ノ通改正ス

「九億九千四百五十萬圓」ヲ「十二億六千萬圓」ニ改ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣結城豐太郎君登壇)

○國務大臣(結城豐太郎君) 只今議題トナリマシタ昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ御說明申上ゲマス、昭和十二年度一般會計ニ於キマシテ、既ニ成立致シテ居リマスル公債法ニ依リ發行スル公債金額、竝ニ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ發行スル公債金額ノ外ニ、歲入ノ不足ヲ補塡スル爲メ四億八千七百五十万圓ノ公債發行ヲ必要トスルノデアリマスルガ、是ガ爲ニハ別ニ起債ノ權能ヲ得ルコトガ必要デアリマス、尙ホ昭和十二年度ノ歲出ニ於キマシテモ、其中若干ノ金額ハ例年ノ如ク翌年度ニ繰越サレル結果ニナルデアラウト存ゼラレマスガ、其繰越額ノ財源ハ必シモ十二年度内ニ起債スルコトヲ必要ト致シマセヌ爲メ、翌年度ニ於テ發行シ得ルコトト爲スヲ適當ト認メマス、右ノ理由ニ依リ本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス

次ニ昭和七年法律第一號中改正法律案提出ノ理由ヲ御說明申上ゲマス、滿洲事件ニ關スル經費ニ關シマシテハ、去ル第六十一回、第六十二回、第六十四回、第六十五回、第六十七回、及ビ第六十九回帝國議會ノ協贊ヲ經、其財源ニ充ツル爲メ公債ヲ發行スルコトヲ得ルノ法律ノ制定ヲ見タノデアリマシテ、之ニ依ッテ昭和十一年度マデノ經費ヲ支辨シ得ル次第デアリマスルガ、昭和十二年度分ノ經費トシテ、更ニ二億八千七百三十餘万圓ヲ必要トスルノデアリマス、右ノ中特別會計ノ分ハ、全部普通財源ヲ以テ支辨致シマスルガ、一般會計ノ分ニ付キマシテハ、滿洲國國防費分擔金受入等ニ相當スル金額ヲ加減致シマシテ、二億六千五百四十餘万圓ハ、今日ノ財政狀況竝ニ本經費ノ性質ニ顧ミマシテ、從來ノ如ク公債財源ニ依ルコトト致シマシタ爲メ、現行滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律ニ依ル發行限度ヲ改正增加スルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマ

シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望スル次第デアリマス

○議長（富田幸次郎君）　質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許可致シマス――松田正一君

（松田正一君登壇）

○松田正一君　私ハ上程ニナッテ居リマスル昭和十二年度歳出補塡ノ爲ノ、世ニ所謂赤字公債、及ビ滿洲事件費ニ基ク赤字公債、是等ノ赤字公債ヲ消化スルト云フ其見透シニ付テ、大藏大臣ノ意見ヲ承リタイノデアル、御承知ノ如ク公債ノ消化ハ、國民ノ蓄積餘力ニ俟ツト云フコトハ論ヲ俟タヌコトデアルガ、唯ソレノミニ依ッテ公債ガ消化出來ルカドウカ、此公債ノ消化ト云フモノハ、少クトモ國民ノ愛國心ト義務ノ觀念ガナケレバ、公債ノ消化ト云フモノハ圓滑ニ圖ルコトハ出來ナイ、元々高橋大藏大臣當時ニ、所謂赤字公債ト云フモノガ曲リナリニ消化ヲシテ來タト云フ、ソレハヤハリ高橋大藏大臣ニ對スル國民ノ信頼、其公債ヲ發行スルト云フ理由ヲ、國民ガ理解ヲ致シテ居ッタカラ、此赤字公債ト云フモノハ消化ガ出來テ來タノデアル、何故高橋元大藏大臣ニ對シテ信頼ヲ致シテ居ッタカト云フト、其財政ノ立テ方及ビ豫算ノ査定ニ付テハ、事ニ譬ヘレバ、主人ガ家族ヲ伴レテ百貨店ニ物ヲ買ヒニ行ク、斯ウ云フ事ガアルトシマシテ、所デオ前達幾ラモ欲シイ物ガアルダラウガ、懷ロニ一万圓シカ金ハ無イノダカラ、此一万圓デ買ヘルダケニシテ置ケヨト云フノガ、高橋大藏大臣ノ豫算査定ノ方針デアッタ、所ガ明年度發行スル、此公債ノ高ヲ出シタ原因デアル所ノ、前ノ馬場大藏大臣ハ豫算竝ニ財政方針ト云フモノハ、結城大藏大臣ガ其根幹ヲ踏襲致シテ居ル、其前馬場大藏大臣ノ豫算ノ査定ト云フモノハ、主人ガ家族ヲ伴レテ百貨店ヘ物ヲ買ヒニ行ッテ、今日ハオ前達ノ好キナ物ヲ買ウテヤル、金ハ俺ノ懷ロニアル金デ足リルカ足リヌカ分ラヌガ、足ラナカッタラ借金ヲシテ來テヤル、借金ガ出來ナカッタラ、人ノ懷ロニ手ヲ突込ンデモ取ッテ來テヤル カラ買ヘ、斯ウ云フ風ナヤリ方ノ豫算ノ査定ノ仕方デアル、ソレガ爲ニ財界竝ニ市場ト云フモノト政府ノ對立ガ起ッテ、昨年ノ十月ノ下旬ニ至ッテ、政府ガ發行致シタ昭和二十四年償還ノ三分五厘ノ公債ト云フモノハ、發行價格ヲ三十錢割ッタコトニナル、其時ニハ驚イタ、日本銀行モ驚イタ、是カラドレダケ公債ヲ發行シナケレバナラヌカ分ラヌノニ、モウ今ニシテ發行價格ヲ三十錢割ッタ、其時ニ今ノ結城大藏大臣モ、日本興業銀行ノ總裁ヲ致シテ居リマシタ、其當時ノ結城總裁モ、預金部カラ二千万圓ノ金ヲ出シテ來テ、市場工作ニ掛ッタコトガアル、アノ狼狽ノ仕方ハドウデアルカ、結局國民ト政府トノ對立ガ起ッタ、ソレデ大藏大臣ニ承リタイノデスガ、日本銀行ノ元ノ總裁深井サンガ御辭メニナルト云フコトヲ言出シテ、今デハ辭メテ居ラレル、アレハドウ云フ譯デ深井サンガ辭メルト言出シタカ、ソコナンデス、一方ニ增稅ヲヤルワ、一方ニ公債ヲ出スワ、市場ト政府ハ對立シテ來タワ、到底此公債ノ圓滿ナル消化ハ圖ルコトハ出來ヌ、此市場ト政府トノ對立ヲ、日本銀行ノ總裁トシテ圓滿ナル解決ヲ圖ル譯ニハ行クマイ、寧ロ足下ノ明ルイ內ニ辭メタ方ガ賢明ノ策ダト云フヤウナ考デ、辭表ヲ出シタト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルガ、是等ノ點ニ付テ大藏大臣ガ御承知ナラバ承リタイ、斯ウ云フ風ナ譯デ、今ヤ赤字公債ノ發行ニ付テハ、國民ハ之ヲ果シテ消化スルダケノ理解ヲ持ッテ居ルカドウカ、何處ヲ摑ンデ大藏大臣ハ之ヲ消化サスト云フ考ガアルカ（拍手）ソレヲ承リタイノデアリマス

ソレカラ元ノ大藏大臣ガ增稅案ヲ發表致シマシテカラ以來ト云フモノハ、昨年ノ秋カラ本年ノ一月ノ末ニ掛ケテ、社債ノ發行ト云フモノハチョトモ出來ナカッタ、地方債ノ發行モチョトモ出來ナカッタ、是ハ大藏大臣御承知ノ通リデアリマス、何故ソンナニナッタカ、綜合課稅ニスルトカ云フ稅率カラ見ルト利廻ガ安定シナイ、ソレガ爲ニヤレナカッタ、ケレドモ事業ハ擴ゲテ居ル、金ハ社債ヲ發行シテ集メラレヌ、仕方ガナイカラ銀行ヘ金ヲ借リニ行ッテ、サウシテ事業ヲ繼續致シテ居ッタ、ソレガ爲ニ御承知デアリマセウガ、銀行ノ收入ガ殖エタ、預金ハ減ッテ、貸出ハ多クナッテ、ソレカラ低金利政策デ支拂ノ利息ハ少イワ、一方貸出ノ利息ハ餘計取レルワト云フコトデ、丁度六大銀行ハ昨年ノ下半期ニ千百八十三万四千圓ト云フ利益ガ前期ヨリ多カッタ、是ハニコ〳〵致シテ居ル、斯ウ云フ結果ニナッテ來テ居ルケレドモ、銀行ハヤハリ手持金ヲ餘計ニシテ居ッテ公債消化ヲヤッテ居ラヌ、昨年ノ一月ニ赤字公債ハ一億二千万圓賣レテ居ル、今年ノ一月ハ僅ニ二千万圓シカ賣レテ居ラナイ、一月二月ヲ合計シテ見マシテ、昨年ノ二月ノ末ノ計算デハ二億七千万圓バカリ賣レテ居ッタ、本年ハ只ノ六千六百万圓シカ賣レテ居ラナイ、昨年ト比較スレバ二億圓少イ、コンナ形勢デスガ、此形勢ヲ眺メテ、アナタハ何處ヲ摑ンデ此赤字公債ヲ消化ササウト云フノカ、其理由ヲ承リタイ、成程アナタニナッテカラ、綜合課稅ガ源泉課稅ニナッタト云フノデ、漸ク鐘淵紡績ノ社債トカ、或ハ東邦電力、宇治電、ソレカラ東横電鐵、或ハ京城電軌トカ、滿鐵等ノ社債ガ發行サレ掛ッテ居ルケレドモ、兎ニ角銀行ハ手持金ヲ殖ヤシテ居ッテ、三月カラ後ノ金ノ動キヲ見越シテ、其手持金ヲ以テ公債ヲ買ハウトハシテ居ラヌ、此見透シヲドウ云フ風ニ付ケテ居ラレルカ、之ヲ承リタイノデアリマス

ソレト結城大藏大臣ノ聲明カラ考ヘテ見マスルト、軍備ノ充實、產業ノ擴充、ソレカラ大陸政策ト云フモノガアル、此大陸政策ノ方針ニ基イテ、年々アノ滿洲ニ流レ出テ居ル金ハドレダケアルカ、滿洲事件費及ビ事業資金ト云フモノヲ合計致マスレバ、四億八千万圓カラノ金ガ滿洲ニ流レテ行ッテ居ル、ザット五億万圓ノ金ガ年ニ今デモ流レテ行ッテ居ルノデアリマス、ソレニ又今度ハ滿洲產業五箇年計畫ト云フモノヲ樹テテ、五箇年ノ間ニ、二十三億圓ノ金ヲ滿洲ニ流レササウト云フ計畫ガアル、其內譯ヲ申シマスト、滿洲國ハ二十三億圓ノ中六億圓、日本政府ガ一億圓、日本興業銀行ガ一億圓、ソレカラ財界人ガ直接投資スルノガ六億圓、滿鐵ヲ經テ出資スル金ガ九億圓ト云フコトニナッテ居リマスルガ、是レ及ビ北支ノ經濟ノ工作ノ爲ニ、內地カラ流レテ行ク金ト云フモノガ斯ノ如ク殖エテ來ルナラバ、ソレガ爲ニ日本ノ貨幣ノ動キガ頻繁ニナッテ來ル、斯クナッテ來ルト、ヤハリ預金モ減ッテ來ル、貸出ハ殖エテ來ル、是デ公債ノ消化ガドウシテ圖ラレルカ、國民ガ之ヲ心配致シテ居ルノデアル、之ニ對スル大藏大臣ノ御考ハドウ云フ考ヲ有ッテ居ラレルカ

ソレカラ近頃保險會社ヲ大藏省ガ共管スルト云フ話ガアル、是ハドウ云フ譯デサウ云フコトヲ爲サルノカ、何モ理由サヘ分レバ私ハ反對スルノヂヤナイ、其理由ガ少シモ分ラヌ、何十年ノ間保險會社ハ大藏省ノ監督ヲ受ケナカッタ、今度大藏省デ共管ヲヤルト云フヤウナコトヲ承ッタガ、ソレハ一體ドンナ理由デ共管ヲサレヨウト云フノカ、保險會社ハ玆ニ申シマスル三十三社ノ運用資金カラ申シマスト、丁度證券擔保以外ノ公債消化ハ、二十五億圓消化致シテ居リマス、ソレデ其保險會社ノ資金ハ四分ニナッテ居リマス、保險會社ハ四分利ノ利息ヲ拂ッテ居リマス、ソコデ三分五厘ノ公債ヲ持テド言ッテモ、是ガ持テマスカ、ソレデモ忍ンデ大藏省ヤ日本銀行カラ保險協會ニ話ガアッタカラ、涙ヲ呑ンデ二十五億圓マデ公債ヲ消化致シテ居リマス、今年々保險會社ハ三億圓ノ運用資金ガ殖エテ居ル、其內デ一億圓ダケハ公債ノ消化ニ充テ、居リマス、ソレヲ今度共管ニデモシテ、殘リ二億圓モ共ニ公債ヲ消化サシタイト、斯ウ言ハレルノカ、外ニ又理由デモアルノカ、假ニ此殘リ二億圓ヲ消化サセルト言ヘバ、此二億圓ハ產業資金ニ出テ行ッテ居ル金デアリマスカラ、之ヲ公債ニ廻シテ來レバ、產業資金ガ涸渇シテ來ル、アナタノ政策ニ產業擴充ト云フコトガアリマスガ、サウスルト產業ガ萎靡沈滯シテ來マス、少クトモ產業資金ノ金ガ利息ガ高クナッテ來ル、之ヲドウナサル御考デアルカ、若シ共管サレヨウトスルノナラバ、ドウ云フ意思デ共管サレルト云フノカ、愈〻共管スレバ、サウ云フ風ナ考ヲ持タレテ居ルノヂヤナカラウカ、ソレハ今マデ大藏省ハ銀行ノ監督ヲ致シテ居ル、ソレデ今度保險會社ヲ共管シテ、ヤハリ銀行ヲ監督スルヤウニ監督シヨウト云フノカ、一體アノ銀行ノ監督ヲ爲サルノニ、檢査員ガ銀行ヘ來タ時ニドウデセウ、前ノ馬場大藏大臣ガ日本勸業銀行ノ總裁ヲ致シテ居ル時ニ、大藏省ノ檢査官ガ銀行ヲ檢査シタ、アノ時ニ馬場サンガ言ウタト云フコトガ新聞ニ載ッテ居ッタ、大藏省ノ銀行檢査官ハ重箱ノ隅ヲ穿クルヤウナコトヲシテ、大局ヲ失ウテ、人ヲイヂメントスルヤウナ方法ヲ執ッテ居ル、アレヂヤイカヌト云フコトヲ、馬場サンガ日本勸業銀行總裁ノ當時ニ言ッテ居ッタ、今ノ大藏大臣ハ日本興業銀行ノ總裁ヲ致シテ居ッタノデスガ、大藏省ノ役人ガ銀行ヲ檢査スルコトハ、御經驗ガアルダラウト思ハレル、此銀行ノ檢査ト云フモノハ、一體騷々シイバカリデ、チットモ事實ノ檢査ニナッテ居ラヌ、兎ニ角「ドアー」ヲ明ケテ銀行ヘ入ッテ來テ金庫ヲ明ケヨ、有金ヲ出セ、斯ウ云フ態度デアル（拍手）ソレデ給仕ガ驚イテ警察ヘ電話ヲ掛ケヨウトスル、サウスルト待テ〳〵、俺ハ大藏省ノ銀行檢査官ダ、「ピストル」持ッテ居ラヌカラ安心セイト言ッタト云フ（笑聲）斯ウ云フヤリ方デ檢査ヲ爲サル、檢査ヲヤッタ其結果ノ答申書ヲ御覽ナサイ、大藏省ノ銀行局ニアリマスカラ、金ヲ預ッテ貸シテ居ル、貸シテ居ッテモ金ハ殘ッテ來タ、殘ッテ來タ金デ株ヲ持ッタ、是ハ法律デ許シテ居ル權利デアル、其株ヲ持ツナト言ハンバカリニ、成ベク貸付ケヨト斯ウ言フ、貸付ケヨト云ッテモ、擔保モナシ、信用モナイ者ニハ貸付ハ出來ナイ、貸付ケテ取レナンダラソレマデデアル、大藏省ハ別段ソレヲ償ウテ吳レル譯ヂヤナイ、貸スニモ貸セヌ金ガ其處ニアルカラ、ソレヲ遊バシテ置イテハイカヌカラ、法律ガ許シタ株ヲ持ッテ居ル、其株ヲ持ツナト、斯ウ言フ、サウスルトドウセイト言フノカ、詰リ公債ヲ持テト云フコトニナル、ソンナラソレデ膝詰デハッキリ其譯ヲ言フガ宜イ、公債ヲ持テナラ持テト言フガ宜シイ、廻リ廻ッテ嚇シ廻ル、是ハドウモ銀行ト政府ノ對立關係ニナッテ來マスカラ、赤字公債消化ノ上ニ非常ナ支障ヲ來シマス、此保險會社ヲ愈〻共管スルト云フコトニナルナラバ、其理由ハドウカ、果シテ共管シテドウショウト言フノカト云フ意見ヲ簡單ニ承リタイ

ソレカラ公債ヲ郵便局デ賣ルト云フコトガ近頃新聞ニ出テ居ル、成程是ハ好イ考デ、吾々ハ反對ハ致サヌ、反對ハ致サヌケレドモ、今日本ノ國民ノ蓄積餘力ノ資金ニ對スル利息ハドレダケカト言フト、國民ノ貰ッテ居ル利息ハ、郵便貯金ガ今度利下ニナッテ、四月一日カラ二分七厘六毛ニナル、ソレカ、但シハ銀行ノ定期預金ニ入レテ置イテ、サウシテ利息ヲ貰フトスレバ三分三厘、是デ稅金ヲ引クト丁度二分八厘チョット上ニナル、サウスルト郵便貯金ト定期預金トヲ平均スルト、國民ノ金ヲ吸收スル其利息ト云フノガ、先ヅ二分八厘デ國民ノ金ト云フモノハ吸收サレテ居ル、ソレダカラ今度公債ヲ郵便局ノ窓口デ賣ルコトニナッタナラバ、三分五厘公債デ、發行價格カラ單利ニ廻セバ三六厘三毛位ニナリマセウ、サウスルトソレハ稅金ヲ引イテモ三分三厘位ニナリマス、ザットノ計算ガ、國民ハ公債ヲ郵便局デ買ヘバ、普通ノ預金若クハ貯金致シテ居ルノカラ、五厘ダケ餘計ノ利息ヲ貰ヘルコトニナルカラ、是ハ宜シイ、是ハ宜シイト致シマシテモ、サウスルト銀行ノ定期預金ハ減ッテ來マス、銀行ノ定期預金ハ減ッテ來ルコトニナリマス、ソレカラ政府ノ預金部ノ金ハ減ッテ來マス、一方二分七厘六毛デ預ケテ居ル郵便貯金ヲ引ッ張リ出シテ、三分三厘ノ公債ヲ持タウト云フコトニナルノハ、是ハ當然デアリマスカラ、キット預金部ノ金ガ涸渇シテ來マス、銀行ノ定期預金ガ減ッテ來マス、銀

行カラ考ヘテ見マスト、今マデノ預金ノ總高カラ申シマスト、預金ノ殘ッタ金ノ四割ハ公債ノ消化ニ充テ、居ッタ、六割ハ產業資金ニ充テ、居ッタ、ソレガ郵便局ノ窓口デ公債ヲ賣ルヤウニナッテ來テ、定期預金ノ期限ガ來タラ、皆引揚出シテ公債ヲ買フヤウニナッタラバ、今マデ銀行ノ預金ノ四割ヲ以テ公債ヲ消化シテ居ッタモノヘ、皆出シテシマヒ、ソレ以上ニ產業資金ニ廻ッテ居ッタ六割ノ預金ト云フモノモ、ヤハリ引ッ張リ出シテ公債ヲ買フコトニナリマスカラ、サウスルト銀行ノ產業資金ニ廻ル金ハ少クナッテ來マス、サウスルト親銀行ガ日本銀行カラ金ヲ借リテ來テ、其金ヲ又普通銀行ガ借リテ、ソレヲ產業資金ニ貸シタラバ、二重ノ天引利息ヲ引カレマスカラ、產業資金ガ高クナッテ來マス、サウスルトアナタノ言フ產業ノ擴充トカ云フコトハ、果シテ望マレマスルカドウカ、之ヲ承リタイ

ソレトモウ一ツ、公債ヲ國民直接ニ買フ結果ニ付テ御尋致シタイノデアルガ、國民ガ公債ヲ郵便局カラ買ウテ、其公債ヲ資ル時ニハドウナサル、郵便局ノ窓カラ時價デ買ウテ呉レマスカドウカ、之ヲ承ッテ置キタイ、サウ云フコトデ郵便局ノ窓カラ時價デ買ウテ呉レバ宜シイ、呉レナカッタナラバ證券會社ヘ持ッテ賣リニ行ク、足下ヲ見ルカラ安ク買フ、銀行ニ擔保ニ入レル、是ハ利ガ高イ、結局國民ハ公債ヲ持ッテ路頭ニ迷フコトニナリマスガ、サウスルト又國民ノ經濟ヲ破壞シテ來ルコトニナリマス、是ハドウデス、サウ云フコトニナッタトシタラドウナルカ、郵便局デ果シテ資ルト云フコトニナッタラドウナルカ、之ヲ承リタイ

ソレカラモウ一ツ、低金利政策ヲヤッテ居ル、是ハ公債消化ノ一便法トシテヤッテ居ルガ、是ハ何モ惡イコトヂヤナイ、惡イコトヂヤナイガ、低金利政策ガ下國民ニ徹底ヲ致シテ居ルカト云フコトヲ承リタイ、唯大資本家トカ、大會社トカ、政府ノ半官半民ノ銀行ダトカ云フノダケガ、低金利デ暴利ヲ貪ッテ居ルガ、下國民ニ對シテ低金利ガ平等ニ行渡ッテ居ルカドウカト云フコトヲ承リタイ、大藏大臣ハ斯ウ云フコトヘ是ハ御承知ダラウト思フ、農工銀行ガ元低金利政策ノ行ハレヌ前ニハ七分五厘、年ニ七分五厘カラ七分ノ農工債券ヲ發行シテ居ッタ、國民ノ金ヲ七分デ吸收シテ居ル、サウシテ貸スノハ八朱八厘デ貸シテ居ッタ、サウスルト一朱八厘ダケ利鞘ヲ取ッテ農工銀行ガ生キテ居ッタ、ソレガ低金利政策ニナッタカラ、近頃農工債券ヲ發行スルノハ、先ヅ三分八厘カラ四分、マダ高イモノモ多少アリマスカラ、平均四分ト見マシテモ、其金ヲソンナラ一朱八厘ノ利鞘デ貸シテ居ルカト云フト、決シテ貸シテ居ラヌ、ソレデ一番安イノデ六分六厘、マダズット高イモノモアリマス、七分、七分二厘、七分三厘ト云フモノガアリマス、平均致シマスルト云フト、今ノ所デハ農工銀行ノ貸付ノ平均利率ト云フモノハ七分一厘ニナッテ居ル、サウスルト元ハ七分デ金ヲ吸收シテ、一分八厘ノ利鞘ヲ取ッテ生キテ居ッタ農工銀行ガ、今度ハ低金利政策ヲヤッタ爲ニ、二分一厘ノ利鞘ヲ取ッテ居ル、其處ニ金ヲ持ッテ行ッテ勞働者ニ貸付ケル途ヲ開イテ、之ニ高利貸連中ガ段々ト手ヲ擴ゲテ來タ、勞働者ハ日々計算デ、一日ノ日給ヲ貰ッテ來レバソレデ宜シイガ、ソレハ手數ダカラト云ッテ、先ヅ月ニ二回位ノ計算デ、十五日ニ一遍位シカ賃銀ハ拂ッテ呉レヌ、ケレドモ勞働者ハ十五日間待テヌ、米ヲ買フ金ガナイ、待テヌ、ソレヲ見付ケテ金ヲ貸シテヤラウト云ッテ金ヲ貸シニ行ク、其金ハ一圓ニ付テ十五日ノ間ノ利息ガ二錢、サウスルト十五日デ二錢ダカラ一箇月四錢デス、サウスルト一年經ッタラ利息ガ一圓ニ對シテ四十八錢、コンナ利息ヲ取ッテ勞働者ニ金ヲ貸シテ居ル、サウスルト一万圓ノ金ヲ是デ廻セバ年ニ四千八百圓ノ利息ガ取レル、同ジ一万圓デ赤字公債ヲ持ッタナラバ、三分三厘カ四厘シカ取レヌ、ソレニ稅ヲ引カレルノデアルカラ、一万圓ノ金ハ僅ニ三百三四十圓位モ取レナイノニ、一方ハ四千八百圓取レルト云フノデハ、此開キハ餘リニ廣過ギマス、サウスルト此貸シ方ガ流行ッテ來ルト、預金ヲ引揚リ出シテ貸ス、終ヒニハ財產ヲ擔保ニ入レテ銀行カラ借リタ金ヲ之ニ貸ス、斯ウ云フコトニナッテ來ルト結局預金ガ減ル、貸付ハ殖エル、サウシテ而モ勞働者ハ是ガ爲ニ高イ利息ヲ拂フ、斯ウ云フ風ナ事實ガ今アリマスガ、大藏大臣ハ御承知カ、高利貸ヲ取締ルニアラザレバ、赤字公債ト云フモノノ消化ニ支障ヲ來シハセヌカ、餘リ事實ガ荒ッポイ事實デアルカラ、松田ハ囑ヲ言ッテ居ルノヂヤナイカト思ハレルカモ知レナイ、今内務大臣ハ居ラレナイガ、內務省ノ土木局ノ河川ノ係リノ直轄工事ノ人夫ヲ調ベテ貰ヒタイ、現在モシテ居ル、サウ云フ風ナコトニナッテ、低金利政策ノ爲ニ、上ノ者ハ宜イケレドモ、下勞働者、農民ト云フモノハ、斯ノ如ク犧牲ニナッテ踏臺ニサレテ居ルト云フ事實ガアル、ダカラナゼ此高利貸ヲ取締ラナイカ、アナタハ御承知ナイカモ知レヌガ、恩給ヲ擔保ニシテ貸スコトハナラヌト言ッテモ止メサセルコトハ出來ナイ、アレデモマダ法網ヲ潛ッテ二億二千万圓モ貸シテ居ル、所ガ今ノハチットモ法律デハ禁ジテ居ラヌ、成程訴訟ガ起ッテ、之ヲ法定利率カラ云フト違反ニナルカモ知レヌガ、是ハ分ラヌ、而モコンナ高利貸ハ稅金ヲ免レテ居ル、斯ウナッテ來テ、是ガ段々低金利政策デイヂメラレルト、其金ヲ利息ニ廻スコトニ苦ンデ、其爲ニ勞働者ヲ脅シ、農民ヲ脅カス貸スノハ宜イ、宜イケレドモ、モット利息ヲ安クシテヤラナケレバ、結局此勞働者、農民ト云フモノハ、低金利政策ノ犧牲ニナッテ居ル、斯ウ云フヤウナ點ハ御承知デヤナイカ、若シ御承知デナクテモ、コンナコトガ世ノ中ニアルトスルナラバ、此高利貸ヲ取締ル御考ガナイカト云フコトヲ承ッテ置キタイノデアリマス、尚ホ物價騰貴ト赤字公債ノ關係、「オープン・マーケット・オペレーション」ガ賓ニモ買ニモ發動スルト云フヤウナ件、其他七八件アリト雖モ、餘リ時間ヲ費シテハ何デアリマスカラ、簡單デアリマスガ、以上ノコトダケ大藏大臣ニ承ッテ、其

御意見ヲ聽キタイノデアリマス（拍手）

〔國務大臣結城豐太郎君登壇〕

○國務大臣（結城豐太郎君）　松田君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、今後中々公債ノ發行ガ多イダラウガ、ソレ等ニ付テ見透シガアルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ御話ノ通リ、根本ハ資金ノ蓄積ニアリマス、ソレカラ一面ハ公債ニ對スル信用、詰リ御話ノヤウニ、高橋サンノヤウナ方ニ對スル信賴ト云フモノガ、公債ヲ消化致サセマスルノデ、資金ノ蓄積ト同時ニ、國ノ財政ニ對スル信賴ト云フコトニ付テ十分ニ意ヲ用ヒテ、公債ノ消化ヲ滑カニスルヤウニ努メタイト思ッテ居リマス、ソレカラ保險會社ヲ大藏省ノ共管ニスルト云フコトハ、ドウ云フ理由カト云フ御尋デアリマシタガ、保險會社ハ御承知ノ通リ、非常ニ大キクナリマシテ、金融機關トシテモ、投資機關トシテモ、絕大ナル力ヲ持ツヤウニナッタノデアリマス、是ハサウ云フ點カラ大藏省ノ方デモ商工省ト一緒ニ、其邊ノ投資ニ付テ間違ヒナイヤウニ、見テ行キタイト云フ考カラ起リマシタ次第デアリマス、ソレカラ公債ノ郵便局賣出ハ、銀行ノ定期預金ノ減少ヲ來ス處ハナイカト云フコトデアリマスルガ、從來公衆ハ公債ヲ持ツコトノ習慣ガ餘リ付イテ居リマセヌ、公債ノ民衆化ト云フコトハ、是非圖ラネバナラヌノデアリマシテ、其爲ニハ今回ノヤウニ郵便局ヲ通シテ賣出スヤウナ方法ヲ採ッテ、徐々ニ民衆化ヲ圖ッテ見タイト思フノデアリマシテ、何レ他ノ機會ニ於テ徹底的ニ質問スルコトト致シマシテ、私ノ質問ヲ打切リマス（拍手）

○議長（富田幸次郎君）　大本貞太郎君

〔大本貞太郎君登壇〕

○大本貞太郎君　私モ公債政策ニ對シマシテ、簡單ニ四五ノ事柄ニ付テ大藏大臣ニ質問シタイト思フノデアリマス

第一ニ公債消化ノ問題デアリマスガ、是ハ只今松田君カラモ御質問ガアリマシテ、大藏大臣ノ御答辯ガアリマシタガ、大藏大臣ノ御答辯ハ餘リニ廣漠デアリマシタカラ、私ハ今少シク具體的ニ御答辯ガ願ヒタイノデアリマスガ、御承知ノ通リニ我國ノ金融事情ハ、昨年一昨年ニ比較致シマシテ、著シク情勢ガ異ナッテ居ルノデアリマス、政府ハ急激ナル通貨ノ膨脹ヲ招來セズシテ、少クトモ現在ノ利率ヲ引上ゲズニ、又發行價格ヲ引下ゲズシテ、十億圓ニ垂ントスル所ノ昭和十二年度ノ公債ノ消化ニ確信ガアリマスルカドウカ、之ヲ具體的ニ承リタイト思フノデアリマス

第二ハ、大藏大臣ノ屢〻聲明サレテ居ル所ノ生產能力ノ擴充政策ト、低金利ノ維持促進政策ハ、少クトモ惡性「インフレーション」ノ招來ヲ防止セントスル財政政策ノ上ニ於テハ、相當ノ相剋ガアルモノト思ヒマスルガ、大藏大臣ハ如何ナル政策方法ヲ以テ、是ガ相剋ヲ避ケントスルモノデアリマスカ、又生產能力ノ擴充ノ爲ニハ、或ル程度マデノ金利ノ昂騰、或ハ「インフレーション」ノ發生ハ、免レザルモノト御考ニナッテ居ルノデアリマスルカ、御所信ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

第三ハ、五分利公債、四分利半公債ノ低利公債ヘノ借換ハ、金利調整ノ意味カラ申シマシテモ、亦國家財政ノ上カラ申シマシテモ、緊切ナル事柄デアルノデアリマスルガ、大藏大臣ハ近ク借換ヲ行フ御意思ガアルノデアリマスルカドウカ、伺ヒタイト思フノデアリマス

第四ハ、我國ニ現存シテ居リマスル所ノ外貨債ニ對シマスル課税ニ付キマシテハ、現内閣ノ方針ハ、前内閣ノ馬場藏相案ニ比較致シマシテ、著シク緩和ノ方針ヲ採ッテ居ラレルノデアリマス、元來我國ニ現存致シテ居リマスル所ノ外貨債ノ多クハ、御承知ノ通リ昭和六年ノ金再禁止ノ直前ニ、所謂弗買ノ手段トシテ輸入サレタモノデアリマシテ、是ガ爲ニ莫大ノ正貨ガ流出シ、國民思想ノ上ニ非常ナル悪影響ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、五・一五事件ノ如キハ、是ガ原因ノ一ツトナッテ居ルト傳ヘラレテ居ルノデアリマスルガ、此外貨債ニ對シマシテ、何ガ故ニ現在ノ如キ好利廻ニ放置シテ優遇セネバナラヌ理由ガアルノデアリマスルカ、承リタイト思フノデアリマス

第五ニ、昨年末カラ御案内ノ通リニ、各種商品ヲ初メ有價證券ノ思惑熱、投機熱ガ頗ル昂進致シテ居ルノデアリマス、固ヨリ是ハ我國ダケノ現象デハゴザイマセヌノデ、見様ニ依ッテハ世界的ノ趨勢デアリマスルガ、此過當トモ見ルベキ思惑熱、投機熱ハ、勢ヒ資金ノ偏在ヲ來シマシテ、公債消化ニ支障ヲ與ヘ、又公債市價ニ悪影響ヲ及ボスモノト思フノデアリマスルガ、之ニ對スル大藏大臣ノ御所信ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、又過當ノ騰貴ノ後ニハ、必ズ深刻ナル反動ガ附物デゴザイマシテ、其曉ニハ往々財界ノ恐慌ヲ來ス虞ガアルノデアリマスルガ、大藏大臣ハ現在ノ如キ思惑熱、投機熱ノ旺盛ニ對シマシテ、此反動ヲ未然ニ防グ所ノ、何カノ政策ノ發動ヲサレル意思ガアリヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、私ノ質問ハ洵ニ簡單デアリマスルガ、併シ大藏大臣ノ之ニ對スル御答辯ノ一言一句ハ、財界ニ非常ナル衝動ヲ與ヘルモノト考ヘマスルカラ、出來得ル限リ具體的ニ愼重ニ御答辯アランコトヲ御願致シマス（拍手）

（國務大臣結城豐太郎君登壇）

○**國務大臣（結城豐太郎君）**　御答ヲ申上ゲマス、公債ノ消化ニ關シテ具體的ノ方針ヲ示セト云フコトデアリマスルガ、其一ツトシテ、今後發行價格ヲ維持シテ行ク積リカト云フ御話デアリマスルガ、是ハ其時ノ情勢ニ依ッテ考ヘネバナリマセヌノデ、豫メ申上ゲル譯ニハ參リマセヌガ、併ナガラ發行價格ヲ引下ゲテ發行致シマスルコトニナルト、發行ノ時ニハ極メテ消化ガ容易デアリマスルガ、既發ノ公債ノ市價ニ非常ナ影響ヲ來スト云フコトヲ御考置キヲ願ヒタイト思ヒマス、其邊ノ所ハ十分ニ其時々ニ研究ヲシテ、愼重ニ處理致シタイト考ヘテ居リマス

第二ニ生産能力ノ擴充ト云フコトト、低金利ノ促進ト云フコトニ、相剋狀態ヲ來スコトガナイカト云フコトデアリマス、事實生産能力ガ擴充サレマシテ、其方ニ資金ヲ多分ニ要スルコトニナリマスルト、自然ニ低金利ノ促進ヲ阻止サル、結果ニナラウト思ヒマス、其邊ノ調和ガ金融業者トシテ、殊ニ中央銀行ノ當局者トシテ苦心ノ存スル所ダラウト思ヒマス

ソレカラ第三ノ公債ノ借換ヲ行ハントスル考ガアルカト云フ御尋デアリマスルガ、是ハ情勢ガ許シマスルナラバ、ソレヲ致シタイト存ジマス、併シ何時ソレヲ致シマストカ、ドウ云フ條件デ致シマスルトカ云フコトハ、其時ニナッテ見ナイト御答ノ致シヤウガナイノデアリマス

ソレカラ外貨債ニ對シテ課税ノ緩和スル必要ガナイヂヤナイカト云フ御話デアリマス、必シモ是ハ弗買ノ所産ト云フ風ニモ考ヘテ居リマセヌ、又外貨債ニ對シマシテハ、最初ニ買入レタ人カラ段々ニ其時ノ市價デ轉々致シマシテ、今持ッテ居ル人ガ非常ナル利益ヲ受ケテ居ルト云フ風ニモ考ヘラレマセヌノデ、其所有者ニ對シテ不當ナル課税ヲスルト云フコトモ出來ニクイノデアリマス、其邊ノ所ヲ考ヘマシテ、適當ナル課税率ヲ定メマシタヤウナ次第デアリマス

最後ニ最近ニ思惑、投機熱ガ非常ニ激シイヤウデアルガ、ソレヲ抑制スル考ガナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ日本ダケノ事情ニ因ルノデハゴザイマセヌ、世界的ノ影響ヲ受ケテ居ルコトガ中々多イノデアリマス、隨テ此方ダケデ直チニ之ヲ行政手段其他ニ依ッテ抑制スルト云フヤウナコトハ、如何カト考ヘテ居リマス、併ナガラ其邊ノコトニ付キマシテハ、金融業者其他各種ノ方面ニ於テ行過ギノナイヤウニ、又ソレガ反動ノ結果悪影響ヲ來スヤウナコトガナイヤウニ、其邊銘々ニ自重スルコトヲ望ンデ居ルヤウナ次第デアリマス、以上御答ヲ申上ゲマス

○**大本貞太郎君**　簡單デゴザイマスカラ、此席ヨリ御許ヲ願ヒマス

○**議長（富田幸次郎君）**　宜シウゴザイマス

○**大本貞太郎君**　大藏大臣ノ御答辯ハ、頗ル抽象的デ要領ヲ得ナイト考ヘマスガ、何レ委員會ニ於テ御質問スルコトニ致シマシテ、私ノ質問ハ是デ打切リマス（拍手）

○**議長（富田幸次郎君）**　加藤鯛一君

（加藤鯛一君登壇）

○**加藤鯛一君**　私ハ現内閣ノ公債政策ニ付キマシテ疑ヲ懷イテ居ル一人デアリマス、故ニ之ヲ質シマシテ、政府ノ明確ナル御答辯ヲ承リマシテ、本案ノ贊否ヲ決スル資材ニ致シタイト存ズルノデゴザイマス、公債政策ハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、一度之ヲ過チマスルナラバ、恐シイ「インフレーション」ヲ惹起致シマシテ、經濟機構ノ根本ヲ破壞スル虞ナシトシナイノデアリマス、故ニ公債政策ハ愼重ノ上ニモ愼重ニ之ヲ行ハナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、此公債政策ニ對シマシテ、前ノ大藏大臣デアリマシタ馬場氏ハ、何ノ根據ニ依ラレタカ存ジマセヌガ、我國ノ國民經濟力ニ應ジマシテ、約ソ十億圓位ノ公債ナラバ消化スルコトガ出來ルト云フ意味ノコトヲ、色々ノ機會ニ於キマシテ、度々聲明セラレタノデアリマス、然ルニ吾々ハ其根據、信念ニ對シマシテ御伺スル機會ガナカッタコトヲ、洵ニ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、然ルニ現内閣ノ結城大藏大臣ハ、先般議員ノ質問ニ對シマシテ、ヤリヤウニ依ッテハ公債ノ消化ハ十三億、十五億デモ出來ルト云フ意味ノ御陳述ガ、此議場デアッタノデアリマス、私ハ十億ノ公債消化力ガアルト云フコトニ對シマシテモ、若干ノ疑問ヲ持ッテ居リマシタガ、結城大藏大臣ハ如何ナル信念ニ依ッテ、如何ナル根據ニ基イテ、十三億デモ、十五億デモ、ヤリヤウニ依ッテハ消化スルト云フコトヲ仰シヤイマシタガ其ヤリヤウト云フノハ、ドンナヤリヤウヲ爲サル御考デアリマスルカ、之ヲ第一ニ承リタイノデアリマス（拍手）諸君此ヤリヤウト云フコトハ、其時ニヤルンダカラ言ヘナイト仰シヤルカモ知レマセヌガ、ソレデハ國民ハ安心スルコトハ出來マセヌ、一度公債政策ヲヤリ損ヒマシテ、恐ロシイ「インフレーション」ヲ起シテ、其時ニ大藏大臣ガ假令責任ヲ執リマシテモ、國民ノ迷惑ハソレデハ救ハレマセヌ、ヤリヤウニ依ッテ出來ルト云フコトヲ言ハレマシタ以上ハ、凡ソ斯ウ云フヤリ方ヲ考ヘテ居ルト云フコトノ、大筋ダケノコトハ國民ニ御説明下サイマシテ、國民ガ此問題ニ付テ安心スルコトガ出來ルヤウニシテ戴キタイト思フノデアリマス

第二ハ、大藏大臣ハ度々産業ノ擴充ト云フ言葉ヲ使ッテオ居デニナリマスガ、此産業ノ擴充モ無條件デゴザイマシタナラバ、産業ハ跛行的ニ擴充セラレマシテ、著シク財界ヲ不安ナラシムルコトガナイトハ言ヘヌノデアリマスガ、此産業擴充ニ對シマシテ、如何ナル方法ニ依ッテ之ヲ爲サントシテオ居デニナルノデアリマセウカ、之ヲ御伺致シタイノデアリマス、又第三ニハ大藏大臣ノ貨幣制度ニ對スル御信念ヲ承リタイノデアリマス、此三ツノ問題ニ對シマシテ、大藏大臣ノ御答辯ヲ求メマスルガ、最後ニ總理大臣ニ對シマシテ御伺ヲ致シマスガ、ソレハ現内閣ノ政綱ト公債政策トノ關聯ニ付テデアリマス

先ヅ第一ニ其方法ニ付テ御伺ヲ致シマスガ、大藏大臣ノヤリヤウニ依ッテハト云フ、其ヤリヤウニ依ッテハノ、ヤリヤウヲ承リタイノデアリマスルガ、大藏大臣ハ今後ノ公債ノ發行ハ、ヤハリ從來ノヤウニ日本銀行ニ引受セシメルノ方法ニ依ラレルノ御考デアリマセウカ、如何デアリマスカ、先程モ郵便局カラモ賣出スト云フ意味ノ御話ガアリマシタガ、郵便局ノ窓カラ賣出シ得ル公債ノ額ト云フモノハ、凡ソ限度ガアルト思ヒマスガ、此郵便局ノ窓ヨリ賣出ス外ニ、一般財界カラ公募スルヤウナ方法ヲ御執リニナル御考ハ考ヘテオ居デニナラヌノデアリマセウカ、如何デアリマスカ、大藏大臣ハ事モナク十三億、十五億デモ、ヤリヤウニ依ッテハ消化シ得ルト云フ意味ノ御話ヲナサイマシタガ、今日ノ金融情勢カラ考ヘテ見マスルト、國際的ニハ金ノ現送ヲセナケレバナラナイ情勢ニナッテ居リマス、國内的ニハ非常ニ公債ノ賣行ガ悪イ、金融情勢ガ昨年ノ十一月頃ヨリ非常ニ變ッテ來テ居ルノデアリマス、先程モ松田君ガ申述ベラレマシタガ、公債ノ賣レ方ガ非常ニ悪イ、昨年ノ一月ハ一億四千三百万圓、二月ハ一億一千三百万圓賣レテ居リマスガ、本年ノ一月ハ僅ニ二千三百万圓、二月ハ四千三百万圓、合計本年ノ一月、二月デハ六千六百万圓デアリマスガ、昨年ノ一月二月ニ於テハ二億五千九百万圓賣レテ居ルノデアリマス、所ガ昨年ノ七八月頃ノ金融情勢ハ、何人ト雖モ昨年末ノヤウニ、金融ガ逼迫スルコトヲ豫想シタ人ハ、恐ラク私ハ一人モナカッタデアラウト思フノデアリマス、是ガドウシテ斯ウ云フ風ニナッタカト云フコトハ色々アリマセウガ、馬場財政ノ國民經濟ニ適應セザル政策ガ色々發表サレタコトガ、重大ナル原因ト相成ッテ居ルト思フノデアリマス、卽チ此馬場財政ガ色々ノ關係デ、物價ノ騰貴ヲ豫想セシメマシタガ爲ニ、著シク輸入ハ増大シタノデアリマス、正金銀行ハ此輸入ノ資金ヲ決濟スル爲ニ、市中ノ短資ヲ非常ニ吸收シタコトハ事實デアリマス、之ニ政府ハ驚キマシテ、遂ニ興業銀行ヲ通ジテ、一億一千六百万圓ノ資金ヲ正金銀行ニ貸與ヘテ、正金銀行ハ市中銀行ニ其金ヲ以テ短資ヲ償還シテ、是デ年末ノ金融ヲ切拔ケル一助ニナサイマシタコトモ、私ハ其通リダト思フノデアリマス、斯ウ云フ情勢デアリマシテ、又一方銀行預金ノ増加率ト云フモノモ、昨年頃カラ停頓ノ狀態ニナッテ居リマス、昨年ノ十一月下旬頃ノ銀行預金ノ殘高ハ、前年ニ比シマシテ約二億圓位ノ預金ガ殖エテ居ルト思ッテ居リマスガ、貸出ノ方ハ五億數千万圓ニナッテ居リマシテ、産業資金ノ貸出ノ方ガ著シキ増加率ヲ示シテ居ルニ反シマシテ、銀行預金ノ増加率ハ稍々停頓ノ狀態ニ相成ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ内外ノ情勢ニアル時ニ當リマシテ、何ノ根據ニ依ッテ——十三億、十五億ノ公債ガヤリヤウニ依ッテハ消化シ得ルト云フ言明ヲ此處デナサイマシタル其御信念、其根據ニ付テ、吾吾國民ノ安心スルコトガ出來ルヤウナ、御親切ナル御説明ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス（拍手）

又産業ノ擴充ト云フコトヲ時々仰セニナッテ居リマスガ、産業ヲ無條件デ擴充致シマシタナラバ、或ハ産業ハ旺盛ニナリマスル結果ハ、其處ニ退職貨幣ガ銀行預金ニ變化シテ參リマシテ、一方カラ參リマスルナラバ、公債消化ノ一助ニナルカモ知レマセヌガ、併シナガラ此産業ノ擴充ハ、ヤリ方ニ依リマシテハ非常ナ悪イ結果ニナルト云フコトヲ恐レルノデアリマス、卽チ無條件デ産業ノ擴充ヲ致シマスナラバ、從來度々經濟恐慌ヲ經テ參リマシタル平和産業、例ヘバ纖維工業ノ如キモノハ資金ヲ得ルコトハ容易デアリマシテ、何處マデデモ比較的容易ク産業ノ擴充ヲスルコトガ出來ルノデアリマス、之ニ反シマシテ軍需工業、新興工業ハ信用ノ程度ガ淺イノデアリマスルカラ、資金ヲ得ル途ガ困難デアラウト考ヘラレルノデアリマス、其結果紡績

業ノ如キ、今日ドシ／＼ト擴充サレテ參リマスガ、而モ三割ノ操短ハ其儘維持セラレテ居ルノデアリマス、所ガ此跛行的ノ產業擴充ノ結果ハ、ドウナルカト云フコトニナリマスト、平和產業ノ方ガ著シク擴張サレルニ反シマシテ、軍需工業及ビ新興工業ハ資金ヲ得ル途ガ困難デアリマスカラ、十分ニ擴充サレテ行クコトガ普通ノ儘デハ困難デアルト思フノデアリマス、其結果ハドウナルカト言ヘバ、莫大ナ軍需品ガ必要デアリマスルガ、是ハ勢ヒ輸入ニ仰ガナケレバ實際ノ用ヲ足サナイト云フ結果ニナルト思フノデアリマス、其結果ハ即チ輸入ノ增大トナリ、輸出ノ減少トナラザルヲ得ナイト思フノデアリマスガ、サウ云フ風ニナリマスト、國際貸借ハ惡化セザルヲ得ナイノデアリマス、斯ウ云フ輸入ノ增大、輸出ノ減少、既ニ其徵候ハ今日現ハレテ居ルノデアリマス、此國際貸借ガ惡化致シマシタ時ニ、大藏大臣ハ如何ナル對策ヲ持ッテオ居デニナルノデアリマスカ、吾々國民ノ安心ノ出來ルヤウナ御親切ナル御說明ヲ願ヒタイノデアリマス

最近聞ク所ニ依リマスト、金ノ現送ヲシテオ居デニナルラシイノデアリマスガ、是ハ一體金ノ保有政策ガ根本的ニ改變セラレタノデアリマスカ、又今日ノ貿易情勢ニ於テ先ノコトハ考ヘテ居レヌノデアリマスカラ、兎ニ角之ヲヤラナケレバナラヌト云フ當面ヲ糊塗スル爲ニ、金ヲ現送サレルモノデアリマスカ、此金保有政策ニ對シマシテ大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナリマスカ、之ヲ御伺致シタイノデアリマス

諸君、今日ノ貿易情勢ハ私ハドウシテモ輸入ノ增大スルコトヲ免レヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ風ニナッテ參リマスト、一體內地ノ物價ハ騰貴セザルヲ得ナイ、此物價ノ騰貴ニ對シマシテ大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナルノデアリマセウカ、此年々殖エテ參リマスル公債ヲ適當ニ消化シテ行クニ付キマシテハ、ドウシテモ此公債消化ニ對シマシテ併セテ考ヘナケレバナラヌコトハ、金融統制、貿易統制ト、物價統制ト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、貿易ハ調整法案ガ出テ居リマシテ、不日上程サレマシタナラバ、其時ニ御意見ヲ承リタイト思ッテ居リマスガ、今日金融統制ハオヤリニナルヤウナ風ニ見エナイ、サウ云フ議案ガ出テ居ラヌヤウデアリマス、物價ノ統制ニ對シマシテモ、サウ云フ具體的ノ議案ハ出テ居ラヌヤウニ思フノデアリマスガ、今後ドウ云フ御考ヲ持ッテオ居デニナルノデアリマセウカ、又國內ニ於キマシテモ非常ニ資金ハ各方面ニ澤山要ルノデアリマス、承ル所ニ依リマスト、對滿投資ニ致シマシテモ、滿鐵ノ社債ニ致シマシテモ、昭和十二年度ノ滿鐵ノ社債ハ一億八千万圓ヲ要スルト云フ話デアリマシタガ、ドウシテモ此話ガ出來ナイガ爲ニ、一億二千万圓デ話ガ付イタトカ、付キサウダトカ云フコトヲ聞イテ居リマスルガ、尙又滿洲五箇年計畫ニ依リマスルト、二十三億五千万圓ノ資金ヲ要スルト云フ話デアリマス、北支那ノ經濟開發ニモ三億圓前後ノ資金ヲ要スルト云フ話デアリマスガ、斯ウ云フ資金ハ迚モ調達ガ困難デアラウト云フ見込ノ下ニ、其五箇年計畫ガ改變セラレタルヤノ噂ヲ聞クノデアリマスガ、眞相ハ果シテドウナッテ居リマスカ、又國內ニ於キマシテモ此軍事豫算ガ相當ノ年限ガ繼續サレマスル結果ハ、非常ニ玆ニ產業ガ擴張セラレツヽアルノデアリマシテ、此產業資金ヲ相當ニ必要トスルト思ヒマス（「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ）此產業資金ノ問題ニ對シマシテモ日本銀行ノ總裁ノ池田サンハ、就任當日日本銀行ハ產業資金ヲ大イニ出スノデアルト云フヤウナ意味ノ御聲明ヲ爲サレマシテ、其後之ヲ取消スヤウナ御聲明ハアリマセヌ、此日本銀行ノ池田總裁ノ聲明ト、結城大藏大臣ノ產業擴充ト云フコトノ御話トヲ併セテ考ヘテ見マスト、產業資金ヲ、興業債券ヲ發行セシメテ之ヲ日本銀行ガ引受ケテ、相當ニ出スヤウナ風ニ受取レタノデアリマスガ、之ヲ致シマスニ付テハ、或ハ日本銀行條例ノ改正ヲ必要トスルモノガアルカモ知レマセヌ、併ナガラ內規デ出來ルモノハ澤山アルカモ知レマセヌガ、此日本銀行條例ノ改正案ノ御提案ニナリマシタノヲ見マスルト、斯ウ云フコトニハ觸レテ居リマセヌ、僅ニ參與會ヲ廢シテ參與理事ヲ置クト云フヤウナ有名無實ノ改正案ニ過ギナイト思ヒマスガ、此日本銀行ノ產業資金投資ノ方法ハ、新總裁ノ聲明サレタ通リニ御行ヒニナル御考デアリマスカ、サウ云フ風デハナイノデアリマスカ、如何ナル御考ヲシテオ居デニナリマスカ、之ヲ承リタイノデアリマス

又最近ノ貿易情勢カラ考ヘテ見マシテ、輸入ノ增大、輸出ノ減少ノ結果ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、國際貸借ハ惡化セザルヲ得ナイト思フノデアリマス、玆ニ於テ金ノ現送ヲナサレマスガ、其金ノ現送ヲナサレマスル結果ハ、一體ドウナルノデアリマス、此我國ノ貨幣制度ニ對シマシテ、大藏大臣ハ如何ナル信念ヲ持ッテオ居デニナルノデアリマセウカ、或ハ將來平價ノ切下ナドヲ行フヤウナ考ヘ持ッテオ居デニナルノデアリマスカ、如何デアリマスカ、若シサウ云フコトガアリト致シマスルナラバ、金ノ保有量ト云フモノガ重大ナ關係ヲ持ッテ來ルノデアリマスガ、斯ウ云フコトニ對シマシテ如何ナル御見透シヲ持ッテオ居デニナルノデアリマセウカ、軍事費ナドノ將來ハ相手ノアルコトデアリマスルカラ、見透シガ付カヌト云フコトデ無理ハナイカモ知レマセヌガ、此貨幣制度ニ對スル御信念ニ對シマシテハ、將來ノコトハ分ラヌデハ國民ハ安心スルコトガ出來ナイト思フノデアリマス、大體此三項目ニ付キマシテ、御親切ナル御答辯ヲ承リタイト思フノデアリマス

又最後ニ私ハ總理大臣ニ御伺ヲ致シマスガ、林內閣ハ政綱ノ第一ニ國體明徵ト云フコトヲ揭ゲテオ居デニナリマス、國體明徵ト云フコトハ近頃各方面デ叫バレテ居リマスル日本精神ヲ盛ニスルコトデアラウト思ヒマスルガ、果シテ然ラバ日本精神トハ一體ドンナモノデアリマセウカ、諸君、吾々日本ノ國民ガ今日世界ノ三大强國ノ一ニ數ヘラレマシテ、此幸福ヲ味ヒ、此世界萬邦無比ノ國民トシテノ名譽ト矜ヲ誇リ得ル生活ヲ爲スコトガ出來マシタノハ、固ヨリ上御皇室ノ御稜威ノ然ラシムル所デハアリマセウガ、又吾々ノ先祖ガ三千年間粒々苦心シテ、國家ノ經營ニ當ッタコトモ感謝セナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ此幸福ヲ味ヒ、名譽ヲ感ジ、矜ヲ誇ト致シマシテ、而モ此經濟上ノ負擔ダケハ後世ノ子孫ニ之ヲ負擔セシメルト云フコトガ、果シテ日本精神ニ適フノデアリマセウカ、此問題ニ付キマシテ總理大臣ノ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス、自分ガ言ヒタイコトヲ言ヒ、ヤリタイコトヲヤリ、幸福ヲ味ヒ、而シテ其經濟上ノ負擔ダケハ後世ノ子孫ニ負ヘシメテヤッテ行クト云フコトハ、日本精神ノ精神ニ反スルト思フノデアリマスガ、總理大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナルノデアリマセウカ、先ヅ之ヲ承リマシテ、第二次ノ質疑ニ入リタイト思フノデアリマス（拍手）

（國務大臣結城豐太郞君登壇）

○國務大臣（結城豐太郞君）　加藤君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、第一ハ公債ノ消化ニ付テノ御質問デアリマシタガ、是ハ市場ノ狀況ガ惡イ時ニハ二億三億ノ公債モ發行ガ出來ナイ、其狀況ガ好ケレバ十億以上ノ公債モ發行出來ヌコトハナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタコトデアラウト思フノデアリマスガ、ヤリヤウニ依ッテハト云フヤウナ、サウ手品師ノヤウナ意味デハナイ、ドウシテモ是ハ公債ノ消化ニ付キマシテハ根本ハ資金ノ蓄積デアリマス、一面ニハ國ニ對スル信用デアリマス、財政ニ對スル信用ト申上ゲマシタ方ガ宜イト思ヒマス、其二ツガ揃ヒマシテ、サウシテ市場ノ狀況ガ消化ニ便利デアルヤウニ出來テ居リマスルコトニナルト、日本ノ經濟力カラ申シマシテ、必シモ悲觀スベキモノデハナイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

第二ニ生產ノ擴充ト云フコト、其實現方法ヲドルスルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ將來ノコトヲ考ヘマシテ、物資ノ需給關係ヲ能ク究メマシテ、サウシテソレニ相應スルヤウニ、成ベクハ外國カラノ輸入ヲ仰ガヌヤウニ、國內デ需給ノ調節ガ取レマスヤウニ、必要ナ產業ヲ育テ、行クヨリ外ナイト思フノデアリマス、其爲ニハ一時機械類ノ輸入デアリマストカ、或ハ原料ノ輸入デアリマストカ、輸入ノ增加ハ又已ムヲ得ヌト思ヒマスガ、ソレガ一應濟ミマスルト、今度ハ本當ニ國內デ以テ物資ノ需給ノ調節ガ出來ルヤウニナルダラウト考ヘマスルノデ、サウ云フ域ニ達スルマデ生產ノ擴充ヲスルコトガ必要デアラウト思フノデアリマス

第三ニ貨幣制度ニ對スル信念ト云フコトノ御質問ガアリマシタガ、是ハ將來金ノ保有政策ヲ抛擲シテ、ドシ／＼正貨ヲ海外ニ出シテ、平價ノ切下デモナイカト云フヤウナ、御話ヲ承ッテ居リマスルト、サウ云フ御考ノヤウデアリマスガ、私ニハ全クソンナ考ハナイノデアリマス、唯日本ノ國際貸借ノ關係カラ申シマスト、或ル時代ニ於テ或ル程度ノ國際貸借尻ヲ正貨ニ依ッテ斷フト云フコトハ、已ムヲ得ヌコトデアリマスノデ、ソレヲ必シモ決濟ヲ怠ッテ居ッテ、徒ニ正貨ヲ握ッテ居ルト云フヤウナコトヲスル必要ガナカラウ、ヤハリ必要ナ時ニハ正貨ヲ送ッテ其邊ノ決濟ヲスルコトガ差支ナイ、又其程度ノ正貨ヲ送リマシタ所ガ、ソレニ依ッテ非常ナ動搖ヲ來スヤウナ日本ノ經濟界ガ幼稚ナ薄弱ナ經濟界デナイ、斯ウ考ヘマシテ、先達テ金ノ現送ヲ致シタヤウナ次第デアリマスルガ、其爲ニ將來平價ノ切下ヲスルトカ云フヤウナ考ハ私ハ毛頭持ッテ居リマセヌ

ソレカラ公債ヲ發行スルニ付テ從來ノヤウニ日本銀行其他「シンジケート」ト申シマスカ、サウ云フ風ナモノニ依ッテ發行――賣出ヲスルヤウナコトヲ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマスガ、是等ハ何レ日本銀行當局者ノ考ニ依ルコトデアリマスルガ、大體ハ變リナカラウト思ヒマス、唯郵便局カラ賣出スコトニ致シマシタノハ、先刻御答ヲ致シマシタヤウニ、公債ノ民衆化、國民ニ公債ト云フモノヲ持ッテ蓄ク習慣ヲ付ケタイ、斯ウ云フコトカラ段々ニ公債ノ賣出ヲ致シマスヤウナ次第デアリマシテ、之ニ依ッテ大量ノ公債ヲ消化シヨウト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ次第デアリマス、御答ヲ申上ゲマス

（國務大臣林銑十郞君登壇）

○國務大臣（林銑十郞君）　只今ノ加藤君ノ私ニ御尋ニナリマシタ點ハ、政綱ノ最初ニ國體觀念ノ明徵ト云フコトヲ言ッテ居ルガ、然ラバソレハ日本精神ヲ昂揚スル意味デアラウガ、公債ヲ澤山募ッテ將來ノ國民ノ負擔ヲ大ニスルノハ日本精神ニ合スルカドウカ、自分ノヤリタイ事ダケヲヤッテ、他日迷惑ヲ掛ケルノデハナイカ、斯ウ云フ御質疑ノヤウデアリマス、其政綱ノ第四項ニ帝國ヲ安泰ニシ其興隆ヲ擁護ス、是ガ爲ニ國防軍備ヲ增大シナケレバナラヌト云フコトヲ述ベテ居リマスガ、國防軍備ヲ增大スル爲ニ已ムヲ得ズ巨額ノ費用ガ要ル、其爲ニ此公債ヲ募ルノデアリマス、隨テ私ハ此公債ヲ募ッテ此國家ヲ維持シ、國家ノ興隆ヲ圖ルト云フコトハ、所謂祖宗ニ對シ、子孫ニ對シ、洵ニ必要デアル、現代人ノ爲スベキコトト考ヘテ居リマス（拍手）

（加藤鯛一君登壇）

○加藤鯛一君　只今大藏大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマシタガ、先般大藏大臣ハ本議場ニ於テ確ニヤリヤウニ依ッテハ十三億十五億デモ消化スルト云フ言葉ヲ仰シヤッタニ違ヒナイト私ハ感ジテ居リマス、サウシテ周圍ノ色々ナ條件ガ好ケレバ十三億デモ十五億デモ出來ル、惡ケレバ十億以內デモ出來ナイ、斯ウ云フコトハ子供デモ知ッテ居ルコトデアリマシテ、斯ウ云フ抽象論ヲ承リマシタダケデハ、國民ハ安心スルコトガ出來ナイト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ議論ヲ繰返シハ致シマセヌ、結局公債ノ消化力ト云フモノハ國民經濟力ニ適應シタモノデナケラネバ、當面ニ糊塗スルコトハ出來マシテモ、結局ハ行詰ラザルヲ得ナイト思フノデアリマス、其國民經濟力ハ一體ドノ位アルト云フ御見込デアリマセウカ、我ガ國民ノ所得ハ最近一年ニドノ位アル御見込デアリマスカ、正確ナル調査ハ最近ナイヤウデアリマスガ、相當前ノコトデアリマシタガ、國勢調査ノ時ニ依リマスト、百億ト勘定サレテ居ル、今日ハ景氣モ好クナッテ居リマスカラ、專門ノ學者ハ百二十億圓位ト勘定シテ居ル人モアリマスシ、或ハ百五十億アルト云フ人モアリマスガ、先ヅ百二三十億ト云フモノガ國民所得ノ、大體其邊デハナ

カラウカト考ヘラレルノデアリマス、果シテ然ラバ此國民所得ノ何割迄ガ公債ヲ消化シ得ルト云フ御見込ヲ持ッテオ居デニナリマスカ、サウ云フ御研究ハ致シテオ居デニナラヌノデアリマスカ、之ヲ承ッテ置キタイノデアリマス

又此公債ノ發行ニ對シマシテモ、利率、條件等ハ大體今日ノ三分五厘ヲ維持セラレル御考デアリマセウカ、結局ハ國民經濟ニ依ラナケレバナリマセヌガ、當面ヲ糊塗スル、當面ノ消化方法ナラバ、ソレハ幾ラデモアルノデアリマス、郵便局ノ窓カラ賣出スダケデハ、私ハ一年ニ一億圓以上ハ困難ヂヤナイカト思ヒマス、ソレハヤリ樣ニ依ッテ違ヒマセウケレドモ、サウ云フコトヲ致シマス外ニ、消化方法ノ手段トシテ、或ハ日本銀行ガ公債ヲ普通ノ銀行カラ買入レマシテ、又時價ニ依ッテ賣下ゲルト云フコトヲヤッテ居リマスガ、之ヲ改メマシテ普通銀行其他カラ、公債ヲ日本銀行ガ買受ケマスケレドモ、或ル一定ノ期間ダケナラバ買入レタ價格ニ依ッテ賣渡シテヤル、サウシテ其經過利子ヲ計算スル、斯ウ云フコトヲ執リマスルト、金融業者ハ非常ニ公債ガ持チ良クナルノデアリマス、又公債ノ消化方法ノ一ツトシテハ、從來ノヤウナ期限ノミデナクシテ、短期ノ五年トカ、六年トカ云フヤウナ短期ノ公債ヲ發行セラレルコトモ、一ツノ方法デアリマセウ、或ハ現在ノ大藏省證券制度ノ改革ヲ致シマシテ、此一年以內ト云フ年度內ト云フコトヲ多少延長スルコトモ、一ツノ方法ノヤウニ考ヘラレマスガ、是ハ結局ハ國民ノ經濟力ニ副ハナケレバ歲入ガ駄目デアリマセウガ、一時ハ之ニ依ッテ餘程公債ノ消化ヲ助ケルコトガ出來ルト思ヒマス、サウ云フヤウナコトハ考ヘテオイデニナラヌノデアリマセウカ、如何デアリマスカ、又此公債ノ問題ハ、今大藏大臣ガ仰シヤッタノデアリマスガ、成程今色々ノ點カラ考ヘマシテ、具體的ニ仰シヤルコトハ困難デアリマセウガ、モウ少シ具體的ニ仰シヤッテ戴カナイト、國民ハ安心ガ出來ヌト思フノデアリマス

ソレカラ總理大臣ハ、只今國家ヲ興隆ニスルコトハ祖先ニ對シテモ、子孫ニ對シテモ必要ダト仰シヤルガ、ソレニ異議ヲ言フ國民ハ一人モアリマセヌガ、國家ヲ興隆ニスルト思ヒマシテモ、其結果ガ反對ニ行クヤウナ場合ガナイトハ言ヘナイ、ソコデドウ云フ方法デソレヲオヤリニナルカ、斯ウ云フコトヲ聽イテ置キマセヌト、ソレナラバ宜シイ、是ナラバ成程國家ヲ興隆ニスルコトガ出來ルダラウト云フヤウニ、國民ガ安心シテ林內閣ヲ後援スルコトガ出來ルヤウナ御說明ガ願ヘレバ、極メテ幸ヒダト思フノデアリマス（拍手）

（國務大臣結城豐太郞君登壇）

○國務大臣（結城豐太郞君）　加藤君ニ御答ヲ申上ゲマス、公債消化ニ付テ國民所得トノ數字的關係ヲ御聽キニナッタヤウデアリマスルガ、是ハ數字的ニ出シマスコトハ中中ムヅカシイノデアリマス、出シ樣ガ幾通リモゴザイマセウシ、出シテ見タ所ガ本當ニソレデ實情ガ分ルノデハナカラウト思ヒマス、私ハサウ云フ數字ニ依ッテドノ位ト云フヤウナコトノ檢討ヲ致シタコトハナイノデアリマス、ソレカラ三分五厘公債ヲ維持スル考ガアルカト云フ御尋ハ、成ベクソレヲ維持シテ行キタイト思ッテ居リマス、ソレカラ郵便局カラ賣ッテモ高々五千万、一億程度ニ過ギナイデハナイカト云フ御話デアリマスルガ、御尤デアリマス、是ハ大量ノ公債ヲ郵便局カラ賣ルト云フ考デハナシニ、先刻モ申上ゲマシタヤウニ公債ノ民衆化、幾ラカ公衆ニ公債ヲ持ッテ貰フト云フ意味ニ過ギナイノデアリマスルカラ、大部分ハヤハリ銀行、保險會社、信託會社其他ノ方面ニ消化シテ戴クヨリ外ナカラウト思ヒマス、只今ノ短期ノ公債ヲ出シタラ宜カラウト云フ御話、又一年ノ大藏省證券ニ類似シタモノヲ出シタラ宜カラウト云フ、ソレ等ノコトニ付キマシテハ、色々ナ關係カラ考慮シナケレバナリマセヌノデ、具體的ノコトヲ私カラ申上ゲル譯ニハ參リ兼ネルノデアリマス

（國務大臣林銑十郞君登壇）

○國務大臣（林銑十郞君）　只今ノ御尋ハ、國家興隆ノ爲ニ盡ス積リデモ、サウ行カヌカモ知レヌガ、果シテ行ク見込ガアルカ、斯ウ云フ御質疑ノヤウデアリマスガ、此豫算ガ通過シマシテ、之ヲ諸般ノ施設ノ上ニ現シテ行キマスレバ、國家興隆ノ上ニ於テ必ズ若干ノ進步ヲ見ルコトト信ジマス（拍手）

○議長（富田幸次郞君）　加藤君、宜シイデスカ

○加藤鯛一君　宜シウゴザイマス

○議長（富田幸次郞君）　是ニテ質疑ハ終局致シマシタ、兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○松永東君　日程第六及ビ第七ノ兩案ハ一括シテ、政府提出一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案外二件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（富田幸次郞君）　松永君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（富田幸次郞君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○松永東君　殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長（富田幸次郞君）　松永君提出ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（富田幸次郞君）　異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——明十四日ハ午前十時ヨリ特ニ本會議ヲ開キマス、書記官ヲシテ議事日程ヲ報告致サセマス

（書記官朗讀）

衆議院議事日程　第二十三號

昭和十二年三月十四日（日曜日）

午前十時開議

第一　決議案（五箇條御誓文渙發七十周年記念ノ件）（小泉又次郞君外四十四名提出）

○議長（富田幸次郞君）　本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時二十八分散會

衆議院議事速記錄第一八號中正誤

頁	段	行	誤	正
四二六	一	一二	一億四千万圓	十四億萬圓
四二七	四	二四	原因	理由
四二九	二	一四	反對	判斷

內閣印刷局

官報　號外

昭和十二年三月十五日

○第七十回帝國議會　衆議院議事速記錄第二十二號

昭和十二年三月十四日（日曜日）

午前十時三十五分開議

議事日程　第二十三號

昭和十二年三月十四日

午前十時開議

第一　決議案（五箇條御誓文渙發七十周年記念ノ件）（小泉又次郞君外四十四名提出）

○議長（富田幸次郞君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、諸君、本日ハ畏クモ五箇條ノ御誓文ヲ奉戴致シマシテヨリ、滿七十周年ノ記念スベキ日ニ當リマス、仍テ本日ハ日曜日デアリマスガ、特ニ本會議ヲ開イテ、之ニ關スル決議ヲ院議ニ付スル次第デアリマス、日程第一、決議案、此議事ヲ開キタイト思ヒマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——提出者岡田忠彥君

第一　決議案（五箇條御誓文渙發七十周年記念ノ件）（小泉又次郞君外四十四名提出）

決議案

決議

明治天皇慶應四年三月十四日ヲ以テ五箇條ノ御誓文ヲ渙發セラレ萬機公論ニ決スルノ國是ヲ樹テタマヘリ爾來憲法ヲ制定セラレ民意愈〻暢達シ國運年ト共ニ隆昌ヲ加フ本年ハ正ニ其ノ第七十周年ニ當ル

衆議院ハ斯ノ嘉辰ニ於テ回顧ヲ新ニシ御誓文ノ旨趣ヲ遵奉シ憲法ノ條章ヲ恪守シ至誠協力倍〻淬勵シテ憲政有終ノ美ヲ濟シ以テ上聖明ノ叡慮ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス

右決議ス

（岡田忠彥君登壇）

○岡田忠彥君　諸君、各派共同提案ニ係ル決議案ニ付キ趣旨辯明ヲ致シマスコトハ、私ノ深ク光榮ト致ス所デアリマス、玆ニ先ヅ決議案ヲ朗讀致シマス

明治天皇慶應四年三月十四日ヲ以テ五箇條ノ御誓文ヲ渙發セラレ萬機公論ニ決スルノ國是ヲ樹テタマヘリ爾來憲法ヲ制定セラレ民意愈〻暢達シ國運年ト共ニ隆昌ヲ加フ本年ハ正ニ其ノ第七十周年ニ當ル

衆議院ハ斯ノ嘉辰ニ於テ回顧ヲ新ニシ御誓文ノ旨趣ヲ遵奉シ憲法ノ條章ヲ恪守シ至誠協力倍〻淬勵シテ憲政有終ノ美ヲ濟シ以テ上聖明ノ叡慮ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス

右決議ス

（拍手起ル）

案ハ只今朗讀ノ通リデゴザイマス、畏クモ明治天皇ニハ維新ノ洪業ヲ創建シ給フニ方リマシテ、慶應四年三月十四日、卽チ七十年前ノ本月本日ヲ以テ、公卿諸侯ヲ率ヰ紫宸殿ニ出御遊バサレ、天神地祇ヲ祭ラセ給ヒ、五箇條ノ御誓文ヲ渙發セラレ、同時ニ勅語ヲ下サレマシタ、今謹ンデ之ヲ捧讀致シタイト思ヒマス

（總員起立）

勅語

我國未曾有ノ變革ヲ爲ントシ朕躬ヲ以テ衆ニ先ンシ天地神明ニ誓ヒ大ニ斯國是ヲ定メ萬民保全ノ道ヲ立ントス衆亦此旨趣ニ基キ協心努力セヨ

御誓文

一　廣ク會議ヲ興シ萬機公論ニ決スヘシ

一　上下心ヲ一ニシテ盛ニ經綸ヲ行フヘシ

一　官武一途庶民ニ至ル迄各其志ヲ遂ケ人心ヲシテ倦マサラシメン事ヲ要ス

一　舊來ノ陋習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クヘシ

一　智識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スヘシ

更ニ又同日ヲ以チマシテ御宸翰ヲ下サレ、天下ニ大御心ヲ御宣明ニ相成ッテ居リマス、其御趣旨ヲ拜察致シマスノニ

中葉朝政衰テヨリ、武家權ヲ專ラニシ、表ハ朝廷ヲ推尊シテ實ハ敬シテ是ヲ遠ケ億兆ノ父母トシテ絕テ赤子ノ情ヲ知ル事能サルヤウ計リナシ

ト宣ヒ、朝威ハ有名無實ニ陷リ、上下相離ル、コト霄壤ノ如クナリシコトヲ御嘆キ遊バサレ、更ニ

今般朝政一新ノ時ニ膺リ天下億兆一人モ其處ヲ得サル時ハ皆　朕カ罪ナレハ今日ノ事　朕自ラ身骨ヲ勞シ心志ヲ苦シメ艱難ノ先ニ立チ古列祖ノ盡サセ給ヒシ蹤ヲ履ミ治蹟ヲ勤メテコソ始テ天職ヲ奉シテ億兆ノ君タル所ニ背カサルヘシ

ト仰セラレマシテ、一君萬民ノ姿ニ復歸センコトヲ御示シ遊バサレテ居リマス、更ニ又淳々トシテ萬民安撫、開國進取、國威宣揚ノ御思召ヲ宣明セラレマシタル大御心ノ尊サハ、誠ニ感涙ニ咽ブ次第デゴザイマス（拍手）

御誓文ノ第一箇條ニ於キマシテハ、先程朗讀致シタ如ク、廣ク會議ヲ興シ萬機公論ニ決スルノ國是ヲ確立致サレマシタ、引續キ明治七年五月議院憲法頒布ノ詔、同八年四月立憲政體ヲ立ツルノ詔、同十四年十月國會開設ノ勅諭トナリ、遂ニ二十二年二月十一日ヲ以テ憲法ヲ發布セラレマシタ次第デアリマス、祖宗ノ皇謨ニ基キ、萬邦比類ナキ我國獨特ノ憲法ガ、國民歡呼ノ裡ニ欽定セラレマシタコトハ、今モ尙ホ吾々感激ヲ新ニ致シテ居ル所デアリマス（拍手）翌二十三年ニハ帝國議會ガ開設セラレマシテ、爾來民意愈〻暢達シ、國運益〻進ミ、以テ今日ノ盛大ヲ致シタ次第デアリマス

諸君、明治維新ヲ以テ新日本ノ黎明ナリト見ルナラバ、此曉ノ空ニ萬丈ノ光焰ヲ放ツモノハ、實ニ五箇條ノ御誓文デアリマス（拍手）此御誓文コソハ、日月ト共ニ光ヲ爭フモノデアッテ、我ガ日本帝國ノアラン限リ、炳トシテ千秋萬古ヲ照スモノト信ズル次第デアリマス（拍手）

玆ニ前代未聞ノ新政ノ礎ハ築カレ、玆ニ立憲代議制ノ第一歩ガ踏出サレタト云フコトヲ思フ時、我ガ國民、特ニ吾々籍ヲ議政府ニ列スル者ハ　聖慮ノ有難キニ對シ奉リ、

慮然トシテ襟ヲ正ウスルモノガアルノデアリマス（拍手）

本年ハ恰モ御誓文ヲ奉戴シ奉リシヨリ七十周年ニ當リマス、家ヲ忘レ、身ヲ擲チ、憲政伸張ノ爲ニ刻苦精勵セラレタル先輩諸公ノ成蹟ヲ仰ギ、俯シテ我國立憲政治今日ノ姿ヲ直視致シマス時、吾々ハ深キ感慨ニ打タレルノデアリマス（拍手）又重キ責任ノ雙肩ニ在ルコトヲ痛感セザルヲ得マセヌ（拍手）

冀クハ爾今益、御誓文ノ御趣旨ヲ體シ、憲法ノ條章ヲ恪守シ、至誠協力倍、淬勵シテ憲法有終ノ美ヲ濟シ、以テ上　聖明ニ對ヘ奉リ、下國民ノ倚託ニ酬ヒタイト存ズル次第デゴザイマス

（拍手起ル）

○議長（富田幸次郎君）　採決致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

（總員起立）

○議長（富田幸次郎君）　起立總員、仍テ本案ハ全會一致可決セラレマシタ

（拍手起ル）

○議長（富田幸次郎君）　議事日程ハ終了致シマシタ、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十時四十五分散會

内閣印刷局

官報號外

昭和十二年三月十七日

○第七十回帝國議會衆議院議事速記錄第二十三號

昭和十二年三月十六日（火曜日）

午後二時十分開議

議事日程　第二十四號

昭和十二年三月十六日

午後一時開議

質問

一　退職積立金及退職手當法ノ運用ニ關スル質問（鈴木正吾君提出）

二　政府事業ニ於ケル土地買收ニ際シ小作人ノ被リタル損失補償等ニ關スル質問（三宅正一君提出）

三　議會報告竝時局批判演說會ニ際シ官公營造物使用ニ關スル質問（高岡大輔君提出）

四　第十二回國際オリンピック大會準備速進ニ關スル質問（笠井重治君提出）

第一　昭和七年法律第十二號中改正法律案（造幣局資金拂出ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會

第二　日本銀行條例中改正法律案（政府提出）　第一讀會

第三　日本銀行參與會法廢止法律案（政府提出）　第一讀會

第四　東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關渉ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會

第五　地方鐵道補助法中改正法律案（政府提出）　第一讀會

第六　小運送業法案（政府提出）　第一讀會

第七　日本通運株式會社法案（政府提出）　第一讀會

第八　帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會

第九　船員法改正法律案（政府提出）　第一讀會

第十　揮發油及アルコール混用法案（政府提出）　第一讀會

第十一　貿易組合法案（政府提出）　第一讀會

第十二　貿易調整法案（政府提出）　第一讀會

第十三　工業組合法中改正法律案（政府提出）　第一讀會

第十四　橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會

第十五　製鐵事業法案（政府提出）　第一讀會

第十六　大正九年法律第五十三號中改正法律案（關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會

第十七　大正九年法律第五十六號中改正法律案（北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會

第十八　防空法案（政府提出）　第一讀會

第十九　海外移住組合聯合會ニ對スル政府貸付金ノ出資等ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會

第二十　農村負債整理資金特別融通及損失補償法案（政府提出）　第一讀會

第二十一　帝國燃料興業株式會社法案（政府提出）　第一讀會

第二十二　人造石油製造事業法案（政府提出）　第一讀會

第二十三　日本銀行金買入法中改正法律案（政府提出）　第一讀會

第二十四　商法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第二十五　肥料取締法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第二十六　酒造組合法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第二十七　日本無線電信株式會社法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第二十八　特許法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第二十九　商標法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十　不正競爭防止法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十一　裁判所構成法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十二　大正十年法律第百二號中改正法律案（定年ニ因ル退職判事檢事ノ恩給ニ關スル件）（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十三　兵役法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十四　產業組合中央金庫法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十五　產業組合自治監査法案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十六　軍機保護法改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十七　刑事訴訟法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十八　外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三十九　百貨店法案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第四十　辨理士法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第四十一　樺太市制案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會（委員長報告）

第四十二　輸出補償法中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第四十三　昭和十年度第一豫備金支出ノ件　昭和十年度特別會計第一豫備金支出ノ件　昭和十年度特別會計豫備費支出ノ件　昭和十年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件　自昭和十一年一月至同年三月昭和十年度第二豫備金支出ノ件　自昭和十一年一月至同年三月昭和十年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件　自昭和十一年一月至同年三月昭和十年度特別會計第二豫備金支出ノ件　（承諾ヲ求ムル件）

明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

自昭和十一年一月昭和十年三月至同年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
昭和十一年度第二豫備金支出ノ件
昭和十一年度特別會計第二豫備金支出ノ件
昭和十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

○議長（富田幸次郎君）　諸般ノ報告ヲ致サセマス

（書記官朗讀）

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員大野伴睦君提出精神病者ノ保護救療ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員鈴木正吾君提出退職積立金及退職手當法ノ運用ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員三宅正一君提出政府事業ニ於ケル土地買收ニ際シ小作人ノ被リタル損失補償等ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員高岡大輔君提出議會報告竝時局批判演說會ニ際シ官公營造物使用ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員笠井重治君提出第十二回國際オリムピック大會準備速ニ關スル質問ニ對スル答辯書

（以上三月十六日受領）

精神病者ノ保護救療ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十二年二月二十七日

提出者　大野　伴睦

精神病者ノ保護救療ニ關スル質問主意書

一　精神病者ハ社會ノ複雜化ト文明ノ進歩トニ伴フ時代病ニシテ逐年增加スルニ拘ラス之カ保護救療ノ施設ニ至リテハ歐米先進國ニ比シテ九牛ノ一毛ニ過キス其ノ家族カ精神上經濟上ニ被ル損害ハ想像ニ餘アリ或ハ人ヲ殺シ火ヲ放チ時トシテハ不敬罪ヲ犯シ首相ヲ狙ヒ大臣官邸ニ闖入スル等國家ノ安寧ヲ害シ秩序ヲ紊シ戰慄ニ堪ヘサルモノアリ政府ハ如何ナル方法ヲ以テ其ノ發生ヲ防止シ且是等未監濕患者ヲ保護シ取締ラムトスルヤ

一　過激ナル思想ヲ抱キテ社會ノ秩序ヲ破壞シ或ハ住所不定ノ患者ニシテ浮浪徘徊シ公安ヲ害スルノ虞アルモノ少カラス政府ハ國立精神病院ヲ設立シテ是等ノ患者ヲ收容保護スルノ意思アリヤ

一　精神病院法ハ道府縣ニ公立病院ヲ設置セシムルノ趣意アルニ拘ラス其ノ設立ヲ見タルハ僅ニ指ヲ屈スルニ過キス是レ毎年豫算ニ補助金ノ計上過少ノ結果ナリト信ス政府ハ何故ニ適當ノ金額ヲ計上シテ之カ設置ヲ奬勵促進シ重病且危險ノ虞アル患者ヲ收容保護セシムルノ意思アリヤ

一　道府縣ノ設立スル精神病院ニ對シテハ建築及增改築ニ向テ其ノ經費ノ二分ノ一ノ補助ヲ與フルニ拘ラス之カ代用トシテ指定シタル病院ノ增改築ニ對シテハ全ク此ノ事アシ政府ハ何故ニ補助ノ途ヲ講シ之カ均衡ヲ計ラサルヤ

一　精神病者ノ過半數ハ遺傳性ノモノナリト聞ク政府ハ斷種法ヲ制定シテ遺傳性精神病ヲ豫防スルノ意思アリヤ

一　中年以後ノ精神病ハ青年時ニ於ケル徵毒ニ基因スルモノ多數ナリト聞ク政府ハ花柳病ノ豫防撲滅ニ對シテ徹底的方策ヲ講スルノ意思アリヤ

一　精神病ニ關シテハ徒ニ監置ヲ主トスル精神病者監護法及醫療ヲ目的トスル精神病院法カ適用サルルモ時代ヲ異ニシタル制定ニシテ複雜煩瑣其ノ取扱區區ニシテ當事者ノ迷惑少カラスト聞ク政府ハ速ニ之ヲ統一改正スルノ意思アリヤ

右及質問候也

本質問ニ對シテハ書面ヲ以テ答辯アラムコトヲ望ム

昭和十二年三月十六日

內閣總理大臣　林　銑十郎

衆議院議長富田幸次郎殿

衆議院議員大野伴睦君提出精神病者ノ保護救療ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、精神病ノ發生ヲ防止スル方法トシテハ精神衞生思想ノ普及ヲ圖リ一面黴毒、中毒等精神病ノ原因トシテ明白ナルモノノ芟除ニ努メ居ルモ遺傳性精神病ノ發生防止ニ付テハ更ニ一層愼重ノ研究ヲ進ムル考ナリ、又社會保安上危險ナル精神病者ニ付テハ精神病者監護法、精神病院法ノ規定ニ依リ之ヲ放置スルコトナキ樣努メ居ルモ尙未監置ノモノニ付テハ精神病院施設ヲ擴充シテ其ノ保護取締ニ遺憾ナキ樣努メタキ考ナリ

一、精神病者ハ全國ニ散在シ且其ノ疾病ノ性質上之ヲ遠隔ノ地ニ送致スルコト困難ナルヲ以テ各道府縣ニ公立精神病院ヲ普及シ其ノ道府縣ノ病者ヲ收容スルコトニ努メツツアリ、尙特殊ノ病者ヲ收容スル爲國立精神病院ノ設置ニ關シテハ更ニ考究セントス

一、公立精神病院建設ニ對スル補助豫算ハ現在ノ財政ノ都合上極メテ少額ヲ計上シアリ、其ノ結果公立精神病院ノ普及未ダ十分ナラザルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ、將來財政ノ許ス限リ補助豫算ヲ增額シテ公立精神病院ノ擴充ヲ圖ラントス

一、代用精神病院ハ公立精神病院ノ不足ヲ補フ爲ニ既設ノ病院ヲ利用スルノ本旨ナルヲ以テ其ノ新築ニ對スル場合ト同樣增改築ニ對シテモ公立病院同樣國庫補助ノ途ヲ開クノ考ナシ

一、遺傳性精神病者ノ發生防止ノ目的ヲ以テ斷種法ヲ制定スルノ可否ハ極メテ重大ナル問題ナルヲ以テ目下愼重ニ調査研究中ナリ

一、花柳病ノ豫防ニ關シテハ娼妓取締規則、花柳病豫防法等ニ依リ種々施設ヲ講ジ居ルモ今後一層之ヲ充實シ取締ヲ嚴ニスルト共ニ一般民衆ニ對シテモ豫防知識ノ普及ニ努メ花柳病豫防ノ徹底ヲ期セントス

一、精神病者ノ監護法竝精神病院法ノ改正ニ付テハ政府モ既ニ其ノ必要ヲ認メ夙ニ地方長官ニ照會シ更ニ民間專門家ノ意見ヲ徵シ目下調査研究中ナリ

右及答辯候也

昭和十二年三月十六日

內務大臣　河原田稼吉

退職積立金及退職手當法ノ運用ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十二年二月二十七日

提出者　鈴木　正吾

退職積立金及退職手當法ノ運用ニ關スル質問主意書

退職積立金及退職手當法ノ運用ニ關シ次ノ二點ヲ御諮ネ致シマス

第一ハ退職積立金及退職手當法ニ關スル官報號外　昭和十二年三月十七日　衆議院議事速記錄第二十三號　議長ノ報告

ル官廳ノ事務取扱ノ方針ニ付テアリマス

本年一月一日ヨリ施行セラレ居ル本法ニ依リ各事業主ニ於テハ第十七條ノ規定ニ依ル者モ第三十條ノ規定ニ依ル者モ共ニ各、其ノ事業沿革、現在ノ從業員ニ對スル規定等ヲ參酌シテ自工場ニ適應シタル退職積立金竝退職手當ニ關スル規程案ヲ作製シ當該地方長官ニ對シテ其ノ許可又ハ認可ヲ申請シテ居ルノデアリマス

此ノ場合成ルベク許可又ハ認可ヲ速ニシテ民間業者ニ遂惑ヲ掛ケナイヤウ注意スルコトハ本法審議ノ委員會ニ於テ當局ノ言明セラレタ所デアリマスガ現前ノ實情ハ其ノ認可ガ中々手間取ッテ當該官廳モ民間業者モ共ニ困ッテ居ルノデアリマス

何故ソウナッテ居ルカト云ヘバ同一ノ事業主ノ工場又ハ鑛山ガ他府縣ニモアル場合ニ於テ事業主ノ立場トシテハ各工場（鑛山）ヲ同一ノ規定ニ依テ律シタイト云フ經營上當然ノ理由カラ同一ノ規程案文ヲ各工場（鑛山）カラ當該地ノ行政官廳ニ提出スル之ヲ受取ッタ道府縣當局者ハ內務省カラノ通牒「退職積立金及退職手當法ニ關スル事務取扱方針」ノ第三十條ノ四――同一ノ事業主ノ工場又ハ鑛山ガ他府縣ニモ在ル場合ニ於テ同一ノ退職手當規定ヲ定メントスル希望アル場合ハ勞働部ニ協議ノ上許可スルコト――ト云フ指令ニ基キ其ノ認可又ハ許可ニ付社會局ニ相談スルノデアリマス

卽チ各府縣ノ官廳デハ退職規定ノ許可又ハ認可申請ハ受付ケルガ單獨デ許可又ハ認可スルコトハ出來ナイ形式上デハ地方長官ガ許可又ハ認可スルコトニナッテ居ルガ實際ハ社會局勞働部ト協議シナケレバナラナイ所ガ各府縣ノ當局者ハ必ズシモ意見ガ一致シテ居ルト云フ譯デハナイカラ思ヒ思ヒノ見解ニ基キ認可又ハ許可ノ申請ニ對シテ事業主ト折衝スル勿論事業各地方事情各工場ノ特殊事情ニ依テ定マルモノ又ハ各工場ノ等モアリ必ズシモ同一ノ規定ヲ必要トシナイ就業規則ノヤウナモノデアレバ各府縣ノ單獨意思ニ依リ或ハ單獨ノ折衝ニ依テ許可又ハ認可シテ貰ッテ良イノデアルガ退職手當ヤ積立金ノ規定ノ如キハ其ノ工場又ハ鑛山ノ所在地如何ニ拘ラズ同一規定ヲ必要トスル場合ハ其レデハ困ル又各府縣ノ官廳デ色々審査ヲシテミタ所デ結局實質的ニハ社會局ノ勞働部ガ其ノ規定ヲ決裁スルコトニナル斯ンナコトナラ最初カラ社會局ノ勞働部ニ其ノ規程案ヲ提出シテ其ノ許可又ハ認可ヲ得コトニスレバ手數ガ省ケテ府縣モ事業主モ共ニ便利デアリマスガ法文ノ組立ガ行政官廳ノ許可又ハ認可ト云フコトニナッテ居ルノガ陰ニ隱レテ何處マデモ府縣ヲ表面ニ立テテ居ルカラ仕事ガ遲レルノミナラズ各府縣ノ工場課ニ於テモ結局自分達デ審査シテモ社會局デドウ取扱フカ判ラナイカラ無駄ナ手數ガ掛カル許リデアルト云フ氣ニナッテ益、事ガ捗ラナイノデアリマス

其處ガ斯ル事務取扱方針ヲモット簡易化スル爲政府ニ御諮ネ致シタイ所ハ

同一ノ事業主ノ工場又ハ鑛山ガ他府縣ニモ在ル場合ニ各工場（鑛山）ニ共通ノ退職規定ヲ希望スル向キニ對シテハ其ノ事業ノ本社又ハ主タル工場（鑛山）所在地ノ行政官廳ニ對シ先ヅ其ノ規定ノ許可又ハ認可ノ申請ヲ爲シ其ノ許可又ハ認可ヲ得タル上ハ其ノ旨ヲ附記シテ從タル工場（鑛山）所在地ノ行政官廳ニ許可又ハ認可ノ申請ヲ爲スコト

此ノ場合本社又ハ主タル工場（鑛山）所在地ノ地方長官ハ其ノ規定ノ許可又ハ認可ヲ爲スニ當リ社會局ト十分協議シテ愼重ニ之ヲ決定セラレルコトハ勿論デアリマスガ從タル工場（鑛山）所在地ノ府縣當局ハ其ノ許可又ハ認可ノ申請ニ對シテハ同一ノ規定ニ依ル者モ共ニ各、其ノ事業沿革、現在ノ從業員ニ對スル規定等ヲ參酌シテ自工場ニ適應シタル退職積立金竝退職手當ニ關スル規程案ヲ作製シ當該地方長官ニ對シテ其ノ許可又ハ認可ヲ申請シテ居ルノデアリマス

右ノ通リ其ノ取扱方針ヲ簡易化スレバ官廳モ民間モ共ニ非常ナル便宜ヲ得ルコトニナリマスノデ現ニ各府縣當局ニ於テモ斯ウナルコトヲ希望スル空氣アルヤニ聞キ及ビマス政府ガ速ニ本法ノ事務取扱方針ヲ右ノ樣ニ定メ各府縣ニ指令ヲ出シテ頂キタイト思ヒマスガ政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ

第二ハ本法適用ノ範圍ヲ更ニ擴張セラレル御考ハナイカドウカト云フ點デアリマス

申ス迄モナク本法適用ノ範圍ハ常時五十人以上ノ勞働者ヲ使用スル工場法ノ適用ヲ受クル工場ト鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ノ二ツニ（第一條）限ラレテ居リマスガ退職者保護ノ意味カラ云ヘバ右ノ範圍ヲ擴張スルコトハ望マシイコトデアル殊ニ事業主ニ於テモ之ヲ擴張スル氣持ガアレバ政府ハ進ンデ之ヲ奬勵スベキデアルト思ヒマス

現在各種ノ工場ニ於テハ主タル工場內ノ職場デ生產ニ從事シテ居ル職工以外ニ門衞、小使、食堂ノ炊事夫、倉庫人夫等附屬ノ仕事ニ携ッテ居ル者モ少クナイ此等ノ從タル仕事ニ從事シテ居ル勞働者ニ對シテモ其ノ退職ノ場合工場法ノ適用ヲ受クル職工ト同額ノ手當ヲ支給スルコトハ工場經營上カラモ又社會政策的見地カラモ望マシイコトデアル事業主ガ此等ノ規定ヲ退職手當ニ關スル規定ノ中ニ包括スルコトハ現在ニ於テモ退職手當法ノ適用ヲ當然受クベキ職工ト之ニ準ズル從タル勞働者ハ現在ノ財政ノ都合上極メテ少額ヲ計上シアリ、其ノ結果公立精神病院ノ普及未ダ十分ナラザルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ、將來財政ノ許ス限リ補助豫算ヲ增額シテ公立精神病院ノ擴充ヲ圖ラントス

一、代用精神病院ハ公立精神病院ノ不足ヲ補フ爲ニ既設ノ病院ヲ利用スルノ本旨ナルヲ以テ其ノ新築ニ對スル場合ト同樣增改築ニ對シテモ公立病院同樣國庫補助ノ途ヲ開クノ考ナシ

一、遺傳性精神病者ノ發生防止ノ目的ヲ以テ斷種法ヲ制定スルノ可否ハ極メテ重大ナル問題ナルヲ以テ目下愼重ニ調査研究中ナリ

一、花柳病ノ豫防ニ關シテハ娼妓取締規則、花柳病豫防法等ニ依リ種々施設ヲ講ジ居ルモ今後一層之ヲ充實シ取締ヲ嚴ニスルト共ニ一般民衆ニ對シテモ豫防知識ノ普及ニ努メ花柳病豫防ノ徹底ヲ期セントス

一、精神病者ノ監護法竝精神病院法ノ改正ニ付テハ政府モ既ニ其ノ必要ヲ認メ夙ニ地方長官ニ照會シ更ニ民間專門家ノ意見ヲ徵シ目下調査研究中ナリ

右及答辯候也

昭和十二年三月十六日

內務大臣　河原田稼吉

退職積立金及退職手當法ノ運用ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十二年二月二十七日

提出者　鈴木　正吾

退職積立金及退職手當法ノ運用ニ關シ次ノ二點ヲ御諮ネ致シマス

第一ハ退職積立金及退職手當法ニ關スル官報號外　昭和十二年三月十七日　衆議院議事速記錄第二十三號　議長ノ報告

トノ間ニハ次ノ如キ取扱上ノ差違ガアリ又法ノ保護ヲ受ケテ居ラヌ事實ガアル

一　本法ニ於テハ支拂賃金ノ百分ノ二ノ額ヲ强制的ニ積立テルコトニナッテ居ルガ從タル勞働者ハ事業主ニ於テ其ノ取扱ヲスルコトガ出來ナイ從ッテ勞働者ノ方カラ言ハバ退職ノ際主タル職工ハ退職手當ノ外ニ自己積立金モ手取ニナルガ積立ヲ强制サレテ居ラヌカラ其レダケ退職ノ際ノ手取リ金額ガ少クナル

二　主タル職工ハ普通ノ郵便通帳ノ外ニ積立金ハ別ノ通帳デ預リ得ルノデアルガ從タル勞働者ニハ其ノ特典ガナイ（郵便貯金ノ通帳ハ一人一冊ニ定メラレテ居ル）

三　事業主ガ退職手當支給ノ爲ノ準備金ノ積立ニハ免稅ノ特典ガアルガ從タル勞働者ハ法ノ保護ガ及バナイカラ是等ノ勞働者ノ爲ノ事業主ノ積立金モ免稅ノ特典ナク別途ニ之ヲ積立テネバナラヌ

四　法ノ適用ヲ受ケル主タル職工ノ退職手當ハ差押ヘラレヌト云フ法ノ保護ガアルガ從タル勞働者ハ本法ノ保護ヲ受ケナイカラ差押ノ危險ニ曝サレル

大體以上四ツノ差別待遇ヲ受ケルコトニナッテ居リマスガ元來本法ノ精神ハ出來ルダケ廣範圍ノ勞働者ヲ保護スルニアルベキ筈ナルガ故ニ工場法ノ適用ヲ受クル職工ト其ノ他ノ勞働者ヲ併セ併用シテ居ル事業主ガ後者ニ對シ前者ト同樣ナル取扱ヲ爲サントス希望スル場合ハ上述ノ如キ差別扱ヲ廢シ本人ノ積立金、事業主ノ準備積立金其ノ他凡テノ取扱ヲ同一ニスル方針ニ改メラレタイト思ヒマスガ當局ノ御所見ハ如何デアリマスカ若シ之ヲ否ナ

リトセラレルナラバ其ノ理由ヲ明示セラレタイ

右及質問候也

昭和十二年三月十六日

内閣總理大臣　林　銑十郎

衆議院議長富田幸次郎殿

衆議院議員鈴木正吾君提出退職積立金及退職手當法ノ運用ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員鈴木正吾君提出退職積立金及退職手當法ノ運用ニ關スル質問ニ對スル答辯書

第一　退職積立金及退職手當法第三十條ノ規定ニ依ル許可ノ取扱ニ付テハ地方長官及鑛山監督局長ヲシテ出來得ル限リ速カニ其ノ手續ヲ取運バシメツツアリ

同一事業主ノ經營スル工場又ハ鑛山ガ數府縣ニ存在スル場合ニ於テ當該事業主ヨリ各事業ニ付同一ノ退職手當規定ヲ制定シ度キ希望ヲ附シ地方長官又ハ鑛山監督局長ニ許可ヲ申請シタル場合ニハ許可ノ際社會局勞働部ニ協議スル取扱ト爲シ居ルモ、其ノ事業主ノ主タル工場鑛山ノ所在地ノ行政官廳ヨリ勞働部ニ協議アリタル場合ニハ便宜勞働部ヨリ其ノ他ノ工場鑛山ノ所在地ノ行政官廳ニ對シテ適宜連絡ヲ取リ許可ノ手續ヲ簡易ナラシムルコトトシ法律施行ノ圓滑ヲ期シ居ル次第ナリ

第二　退職積立金及退職手當法ノ適用範圍ノ問題ニ付テハ、本法ガ工場法ノ適用ヲ受クル工場又ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ニ適用セラルル關係上本法ノ適用ヲ受クル勞働者モ工場法又ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル勞働者ヲ謂フモノナリ、門衞、小使、賄夫、人夫等工場法又ハ鑛業法ノ適用ナキ者ニ付テハ本法外ニ於テ福利施設トシテ適宜ノ制度ヲ設クルコトヲ奬勵シ其ノ保護ヲ圖ル方針ナリ

右及答辯候也

昭和十二年三月十六日

内務大臣　河原田稼吉

政府事業ニ於ケル土地買收ニ際シ小作人ノ被リタル損失補償等ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十二年二月二十七日

提出者　三宅　正一

政府事業ニ於ケル土地買收ニ際シ小作人ノ被リタル損失補償等ニ關スル質問主意書

一　鐵道敷設其ノ他ノ政府事業ニ於テ土地ヲ買收スルニ際シ耕作權ニ對スル補償若ハ作離料ハ由來小作人ニ直接支拂ハス其レ等ヲ含メテ地主ニ土地代金トシテ手交スルヲ以テ往々ニシテ地主ハ其ノ金額ヲ私シ小作人ハ一文ノ迷惑料ヲモ受クルヲ得ス徒ニ耕作地ヲ失フニ止マルノ事例頗ル多シ政府ハ斯ル不合理ニ對シ適正ナル方法ヲ講スルノ意思ナキヤ

二　鐵道工事其ノ他ノ政府事業ガ請負ニ付セラルル際ニ於テ元請負人ハ其ノ工事ノ一部ヲ下請負人ニ、下請負人ハ更ニ下下請負人ニ請負ハシムルハ斯界ノ常態ナリ然ルニ下請負人ハ往々勞働賃銀不拂ノ儘逃亡シ或ハ小賣商人ノ賣掛代金ヲモ支拂ハサルコトアリ之ヲ元請負人ニ請求スルモ責任ヲ回避スルノ事例多シ政府ハ政府事業ニ付テ斯ル不合理ヲ絶滅シ元請負人ニ其ノ責任ヲ負ハシメ是等一切ノ不都合ヲ生セサルヤウ適當ノ規定ヲ設クルノ意思ナキヤ

右及質問候也

昭和十二年三月十六日

内閣總理大臣　林　銑十郎

衆議院議長富田幸次郎殿

衆議院議員三宅正一君提出政府事業ニ於ケル土地買收ニ際シ小作人ノ被リタル損失補償等ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員三宅正一君提出政府事業ニ於ケル土地買收ニ際シ小作人ノ被リタル損失補償等ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、永小作權若ハ賃借權ノ登記アル場合又ハ土地賣買ノ慣習アル場合ハ其ノ慣習ニ準據シ小作人ヲモ關係人トシテ直接協議ヲ爲シ地上物件又ハ作離料等ノ補償ヲ爲スモ其ノ他ノ場合ニ於テハ土地所有者ヲ通シ補償ノ解決ヲ爲サシムルノ方法ヲ採リ來レリ

尙土地所有者ニシテ前述ノ補償ヲ理由ナク私スル者アラハ之等ニ對シテハ遺憾ナキ方策ヲ講スヘシ

二、鐵道其ノ他政府事業ノ工事ノ請負人ハ資力信用共ニ確實ナルモノヲ選ヒ其ノ現場代人及下請負人ニ對シテモ充分注意ヲ爲シ以テ勞働賃銀又ハ小賣商人ヨリノ賣掛代金ヲ不拂ノ儘逃亡スルカ如キコトナカラシムル樣努メツツアルモ猶萬一斯ノ如キ事態ノ生スル場合ニ於テハ請負人ニ對シテ嚴重警告ヲ爲シ地方ニ迷惑ヲ掛ケサル樣取扱ヒツツアリ尤モ政府ノ直接施行スル河川道路港灣等ノ事業ニ在リテハ請負ニ附スルコトナシ

右及答辯候也

昭和十二年三月十六日

農林大臣　山崎達之輔

鐵道大臣　伍堂　卓雄

内務大臣　河原田稼吉

大藏大臣　結城豐太郎

議會報告竝時局批判演説會ニ際シ官公營造物使用ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十二年三月二日

提出者　高岡　大輔

議會報告竝時局批判演説會ニ際シ官公營造物使用ニ關スル質問主意書

衆議院議員選擧ニ當リテハ小學校舍ヲ始メ官公營造物ヲ演説會場トシテ借リ得ルガ議會報告或ハ時局批判演説會ニハ右營造物ノ管理人ノ意思如何ニ依ルハ甚ダ不都合ナルモノト思フ議會報告ハ代議士ノ義務ナリ然ルニ右ノ管理人ハ取締ノ煩シサヲ理由ニ往々市町村當局者ノ所謂反對黨所屬ノ代議士ニハ借用セシメズ從テ村落ニ在リテハ農民ノ議會報告演説ヲ要望スルモノ多多アルニモ拘ラズ之ヲ爲シ得ザル現況ナリ政府ハ國民ノ政治教育ノ觀點ヨリシテ議會報告竝時局批判演説會ニ對シテハ選擧ノ際ニ於ケルト同樣官公營造物ヲ損料ヲ徴收シテ差支ナキ限リ申込次第使用セシムルノ意思アリヤ否ヤ

右及質問候也

昭和十二年三月十六日

内閣總理大臣　林　銑十郎

衆議院議長富田幸次郎殿

衆議院議員高岡大輔君提出議會報告竝時局批判演説會ニ際シ官公營造物使用ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員高岡大輔君提出議會報告竝時局批判演説會ニ際シ官公營造物使用ニ關スル質問ニ對スル答辯書

代議士ガ議會報告演説會或ハ其ノ他ノ政談演説會ノ會場トシテ小學校ノ校舍ヲ使用セントスルトキハ授業ニ差支ナキ限リ之ヲ使用セシムル樣文部省ヨリ地方廳ニ通牒シアル所ナルモ之ヲ選擧ニ於ケルト同樣ノ扱ニ改ムルコトニ付テハ尙篤ト考究ノ要アルモノト認ム

右及答辯候也

昭和十二年三月十六日

内務大臣　河原田稼吉

文部大臣　林　銑十郎

第十二回國際オリムピック大會準備速進ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十二年三月六日

提出者　笠井　重治

第十二回國際オリムピック大會準備速進ニ關スル質問主意書

第十二回國際「オリムピック」大會ハ昭和十五年東京ニ開催スルコトニ決定セリ時恰モ建國二千六百年ニ方リ之カ成否ハ國運ノ消長ニ多大ノ影響ヲ有スルヲ以テ政府ハ速ニ之ニ關スル指導精神ヲ明示シ國民精神ノ作興ト保健衞生ノ向上トニ資シ且我カ國文化ヲ海外ニ宣揚スルコトニ努力セサルヘカラス何故ニ政府ハ速ニ之カ準備ニ著手スルト共ニ「オリムピック」組織委員會ヲ鞭撻セサル乎

右及質問候也

昭和十二年三月十六日

内閣總理大臣　林　銑十郎

衆議院議長富田幸次郎殿

衆議院議員笠井重治君提出第十二回國際オリムピック大會準備速進ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員笠井重治君提出第十二回國際オリムピック大會準備速進ニ關スル質問ニ對スル答辯書

第十二回國際オリムピック大會ハ恰モ皇紀二千六百年ニ東京ニ開催セラルルニ付キ、之ヲ單ニ國際的運動競技會ニ了ラシムルコトナク此ノ機會ニ於テ日本文化ノ宣揚國民精神ノ作興國民體育ノ振興等ヲ圖ルベキ必要アリ依ツテ是ガ準備竝ニ實行ニ關シテハ擧國一致之ニ當ル趣旨ノモトニ、政府ハ曩ニ大會直接ノ施行團體タル組織委員會ノ成立ヲ助ケ其ノ進行ニ關シテモ適當ナル指導ト協力トヲ與ヘ來レリ、而シテ昭和十二年度豫算ニ「オリムピック大會指導監督費ヲ計上シタルノミナラズ最近組織委員會ヨリ申請ノ大會經費ニ關シ國庫補助金ヲ交付スベキ意圖ヲ以テ目下種々研究中ナルニ付不日十二年度追加豫算トシテ計上ノ豫定ナリ

右及答辯候也

昭和十二年三月十六日

文部大臣　林　銑十郎

一昨十五日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

（左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス）

百貨店法案

辨理士法中改正法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鄕又ハ町村祿高ニ對スル公債證書給與ニ關スル法律案

提出者

寺田　市正君　東鄕　實君

井上　知治君　天辰　正守君

（以上三月十三日提出）

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

帝都防火建築ニ關スル質問主意書

提出者　深澤豐太郎君

外務大臣ノ演説ニ關スル質問主意書

提出者　清瀨　一郎君

對滿對支政策ニ關スル質問主意書

提出者　中村　嘉壽君

（以上三月十三日提出）

機船底曳網ニ關スル質問主意書

提出者

北　昤吉君　田邊　熊一君

三宅　正一君　内藤久一郎君

（以上三月十五日提出）

一去十三日常任委員補闕選擧ノ結果左ノ如シ

第一部選出
豫算委員　南雲正朔君（坂東幸太郎君補闕）

第一部選出
懲罰委員　大石大君（馬場元治君補闕）

第二部選出
請願委員　中野邦一君（湊季松君補闕）

第三部選出
豫算委員　勝田永吉君（渡邊銕藏君補闕）

第五部選出
請願委員　仲井間宗一君（高野喜六君補闕）

第九部選出
決算委員　江藤源九郎君（中原謹司君補闕）

一去十三日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案（政府提出）外二件委員
辭任今井　新造君　補闕田川大吉郎君

關税定率法中改正法律案（政府提出）外四件委員
辭任渡邊　泰邦君　補闕大石　大君

絲價安定施設法案（政府提出）外一件委員
辭任粟山　博君　補闕松尾　四郎君
辭任助川啓四郎君　補闕小林　錡君
辭任最上　政三君　補闕高木粂太郎君
辭任生田　和平君　補闕益谷　秀次君
辭任篠原　義政君　補闕登坂　良作君

輸出補償法中改正法律案（政府提出）委員
辭任馬場　元治君　補闕木村　武雄君

鐵道敷設法中改正法律案（政府提出）委員
辭任大石　倫治君　補闕石川　定辰君
辭任林　讓治君　補闕大木貞太郎君

樺太市制案（政府提出）委員
辭任服部　教一君　補闕牧山　耕藏君

一昨十五日常任委員理事補闕選擧ノ結果左ノ如シ

請願委員
理事大島　寅吉君（理事高野嘉六君本月十二日委員辭任ニ付其ノ補闕）

一昨十五日特別委員理事補闕選擧ノ結果左ノ如シ

樺太市制案（政府提出、貴族院送付）委員
理事川崎末五郎君（理事服部教一君本月十三日委員辭任ニ付其ノ補闕）

一昨十五日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案（政府提出）外二件委員
辭任北原阿智之助君補闕宮澤　胤勇君

絲價安定施設法案（政府提出）外一件委員
辭任瀨川　嘉助君　補闕東條　貞君
辭任百瀨　渡君　補闕多田　滿長君

國民健康保險法案（政府提出）外二件委員
辭任小林　三郎君　補闕勝田　永吉君

關税定率法中改正法律案（政府提出）外四件委員
辭任松岡　俊三君　補闕松山常次郎君

農地法案（政府提出）委員
辭任杉山元治郎君　補闕川俣　淸音君

○議長（富田幸次郎君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ致シマス、第二部選出豫算委員平川松太郎君、第八部選出豫算委員川橋豐治郎君、第七部選出豫算委員杉山元治郎君、第八部選出豫算委員北勝太郎君、第三部選出建議委員角源泉君、右常任委員辭任

日本銀行條例第十一條、第十二條ヲ改正シテ、日本銀行ノ金融對象物ニ云フモノヲモットウント擴張シテ、サウシテ產業金融ニ乘出ス所ノ御意思ガアルカドウカ、又意思ガアッテ現在研究シテ、來ルベキ次ノ議會ニ御提案ニナルヤウナ御考デアルカドウカト云フコトヲ、第二ニ御伺致スノデアリマス、何故カト申スト、結城大藏大臣ハ二月十五日本院ニ於キマスル初メテノ財政演說ノ中デ斯ウ言ウテ居ル、「產業ノ助長發展ノ爲ニハ政府ノ諸施設ノ外、生產力擴充等ノ爲メ金融機關ノ活躍ヲ期待スル次第デアリマス」ト申サレテ居ルノデアリマス、其後ノ委員會或ハ本會議ノ質問應答ヲ通ジテ見マシテモ、大藏大臣ガ今回ノ厖大ノ豫算ノ圓滑ナル遂行ニ當ッテ、物價ノ暴騰ヤ惡性インフレノ襲來スルコトヲ極力防止スル必要ヲ痛感シテ、現在著シク不足シテ居ル所ノ生產力ノ擴充ヲ急務ト認メマシテ、產業資金ノ潤澤ナ供給ヲ圖ルト云フコトヲ、御自分ノ金融政策ノ中心トシテ居ルト云フコトハ、吾々ニモ察知サレルノデアリマシテ、又斯クナケレバ今日ノ厖大ナル豫算ヲ圓滑ニ實行スルコトハ出來ナカラウカト思ヒマス、サウシタナラバ大藏大臣ノ御考ニナッテ居ルヤウナ、生產力擴充ノ必要ノ爲ニ、豐富ナル潤澤ナル產業資金ヲ供給スルト云フヤウナコトガ、必要デアッタトシタナラバ、日本銀行現行條例デハ不便デハアリマセヌカ、十一條、十二條ヲ改正シテ、サウシテ金融ノ對象物ト云フモノヲモット擴大シテ、初メテ積極的ニ金融ヲ援助スルコトガ出來ルノデハナイカト私共ハ考ヘマス

元來日本銀行條例ハ明治十五年、今カラ丁度五十五年前ニ、松方大藏卿ノ時ニ出來タ、洵ニ古色蒼然タルモノデアリマシテ、其後瑣末ノ點ニ付テハ幾ラカ改正ガアリマシタケレドモ、根本的ノモノニハ改正ガイノデアリマス、歐洲大戰後總テノ經濟機構ガ變化、進轉致シマシタ今日、日本銀行條例ダケガ、何時マデモ舊態依然タルコトハ、斷ジテ我國ニ於テモ許サレナイモノガアルト信ズルノデアリマス、日本銀行ノ營業ハ初メカラ極メテ窮屈ニ規定セラレマシテ、日本銀行ノ現在ノ條例ノ儘ニ仕事ヲ行ヒマスルナラバ、日本銀行ガ通貨ノ一般ノ經濟界ニ送出ス所ノ通路ニ云フモノハ、僅ニ算ヘ上位シカアリマセス、第一ハ商業手形ノ割引ト貸付、第二ハ金銀ノ買入及ビ金銀ヲ抵當トスル貸付、第三ガ政府發行手形、第四ガ公債證書ノ買入、第五ガ公債證書、政府發行手形及ビ政府保證ノ證券ヲ抵當トスル貸付ト云フダケニ止マッテ居ルノデアリマシテ、皆サンガ御考ヘ下サイマスレバ分リマスガ、吾々國民ノ產業界カラ發生スル所ノ有價物ノ殆ド總テト云フモノハ、日本銀行ノ條例ノ上カラ見レバ金融ノ對象物デハナイ、僅ニ金銀ト商業手形ダケガ條例ノ上カラ見テ、金融ノ對象物ト相成ッテ居ルノデアリマス、我國ニ於テハ昔カラ商業ニ所謂手形ノ割引デ融通サレテ、金融ヲ付ケルト云フヤウナ習慣ガ、割合ニ乏シイノニ加ヘマシテ、國際貿易ノ爲替手形ガ盛ンニ金融市場ニ出廻ハルト云フヤウナコトモ、澤山ハナイノデアリマスルカラ、明治ノ初年ニ於キマシテハ、洵ニオ互民間ニ於テ必要ノナカッタモノヽ、甚ダ乏シキモノニダケ金融スルト云フヤウナ、極メテ商業手形偏重ノ金融制度デアッタ申上ケテ差支ナイノデアリマス、勿論公債ニ付テハ、政府ガ幾ラデモ金ヲ出スコトヲ、此條例ニ於テ日本銀行ニ許シマシタケレドモ元來政府保證ノ證券トカ公債トカ云フモノハ、國民ノ產業界ノ持ツ資產デハナイノデアリマシテ、市中銀行ガ自分デ持ッテ居ル所ノ資產ノ一部デアル公債ヲ犧牲ニシテ、間接的ニ產業界ヲ潤ホス止マリマシテ、產業界自ラガ直接ニ日本銀行カラ金融ヲ受ケルト云フヤウナ途ガナカッタ、斯ウ云フ商業手形偏重、商業金融偏重ノ日本銀行條例ト云フ窮屈ナモノヲ、何時カハ其缺陷ヲ暴露スル時期ガ來タノデアリマス、既ニ早ク明治二十三年ニハドウモ斯ウモ——商業手形偏重ノ日本銀行條例デハ、明治二十二年ノ好景氣ノ後ヲ受ケタ反動的ノ不景氣、銀ノ値打ノ世界的昂騰ニ依ッテ生ジタ恐慌、之ヲ克服スルコトガ出來マセヌデ、コヽデ初メテ保證準備ヲ七千万圓カラ八千五百万圓ニ擴張シタガ、マダソレデモ恐慌ヲ克服スルコトガ出來ナイ、已ムヲ得ズ商業手形偏重ノ日銀條例ノ中ニ、變態的デハアルガ、有價證券ヲ擔保ト致シマスル所ノ融通手形ニ金融ヲスルト云フ、今日ノ所謂見返擔保ノ制度ト云フモノガ、明治二十三年ニ初メテ出來タノデアル、斯ウ考ヘテ參リマスト今日、明治二十三年ニ既ニ日本銀行ノ商業手形偏重ノ缺陷ガデハヤリ切レナイト云フコトガ分ッテ、見返擔保ト云フモノガ出來タコトヲ考ヘテ見マスト、今日十一條、十二條ヲ擴張シテ、サウシテ金融ノ對象物ヲ殖ヤシテ行クト云フコトハ、サウ吾々ガ見テ突飛ナ改正デハナイ、寧ロ當然デハナイカト考ヘルノデアリマス、ヨク健全通貨論者其他ノ人ハ、外國ノ中央銀行ニ於テ健全ナル商業手形ノミヲ相手トシテ、商業金融中心ノコトヲ致シテ居ルカラ、日本銀行モ亦其條例ヲ改正スベカラズト云フ、御議論ヲ爲サル方モアリマスケレドモ、最近ニ於キマシテハ各國ノ中央銀行ト云フモノヲ、其動向ト云フモノハ著シク變ッテ來テ、昔ノヤウニ商業金融ノミヲ中心トシテ居ル中央銀行ハ段々ト減ッテ、各國ノ中央銀行ハ商業金融バカリデハナク、進ンデ產業金融、殊ニ工業金融ニ手ヲ染メナケレバナラヌト云フコトヲ自覺シテ來タノデアリマス、佛蘭西ニ於テ然リ、獨逸ニ於テ然リ、亞米利加ニ於テ然リ、殊ニ正統派ト稱セラル、商業金融ノミヲ掌ルヤウニ考ヘラレテ居ッタ所ノ英蘭銀行ニ於テサヘモ、思想上、實際上ドウシテモ產業金融、工業金融ト云フモノニ乘出サナケレバナラヌト云フコトガ、今日ノ實際ノ狀態ト相成ッテ來タノデアリマス、御承知ノ通リ二千九百三十三年デアリマシタカ、不況ニ虐ゲラレタ所ノ工業ヲ助クル爲ニ、「バンカース・インダストリアル・デベロープメント・カンパニー」ト云フモノヲ設立シタト云フコトモ、即チ英蘭銀行ガ古イ正統派的ノ商業金融專門ノミノ生キテ行クコトガ出來ナイ立派ナ立證デアルト言ハナクテハナリマセヌ、日本銀行ノミガ獨リ此方面ニ意情デアリ、非常ニ聽病デアルト云フ理由ヲ、私ハ日本ノ產業金融ノ爲ニ解スルコトガ出來ナイモノデアリマス（拍手）

ソコデ第三ニ政府ニ御伺シタイコトハ、政府ハ一體明治二十三年ニ日本銀行條例ガ餘リ窮屈デ、商業手形ニ偏重シテ居ルコトガ禍ヲ爲シテ、當時ノ恐慌ヲ救ヒ得ザル爲ニ、變態的ニ許シタ一時ノ方便、便宜、緩宜ノ處置デアッタ見返擔保制度ノミニ依ッテ、今後ノ產業資金ノ潤澤ナル融通ト云フコトヲ賄ヒ得ル御確信ガアルカ、又賄ヒ來テ居ッタモノト大藏大臣ハ御考ニナッテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、元來日本銀行ノ今日通例見返擔保ト言ッテ居ル所ノ制度ト云フモノハ、日本銀行條例カラ見レバ、私共ハ嚴格ニ判斷スレバ違法ダラウト思フ、日本銀行條例十二條第一ノ不動產及ビ銀行又ハ諸會社ノ株券ヲ抵當トシテ貸金ヲ爲スコトヲ禁ジテ居ル所ノ條項カラ、或ハ同ジク十二條第三ノ直接間接ヲ問ハズ工業ニ關係スルコトヲ禁止シテ居ル所ノ條項カラ見マスルト、有價證券ヲ見返品トシテ融通手形ニ金ヲ貸出ト云フコトハ、嚴格ナ意味ニ於テハ違リノ仕事デアルト私ハ考ヘル、唯必要ニ迫ラレテ明治二十三年ニ此

見返制度ト云フモノガ出來タノデスカラ、見返制度ヲ作ラナケレバナラナカッタ其事自體ガ、日本銀行條例ノ改正ノ必要ヲ的確ニ物語ッテ居ルモノデアラウト私ハ信ジテ居ルノデアリマス（拍手）近頃日本銀行ノ一般貸出ノ中デ割引手形ガ非常ニ多イ、而モ其割引手形ノ中デモ見返品擔保附ノ融通手形ニ對スル貸出ガ又多イト云フコトヲ見テ、所謂見返制度ニ依ッテ產業資金ヲ潤澤ニ賄ヒ得テ居ルヤウニ御考ニナル人ガアリマスガ、是ハ思ハザルノ甚シキモノデゴザイマシテ、此見返擔保ノ手形ノ中ノ大部分ハ、昭和二年ノ恐慌ノ時ノ特融ニ基クモノデ埋マッテ居ルノデゴザイマス、數字ヲ擧ゲテ申上ゲマスルト直グ分ル、昨年六月ノ日本銀行ノ一般ノ貸出金ヲ見ルト、割引手形ニ依ル貸付ト云フモノガ八二%强デアル、一般貸出ノ中デ割引手形ニ依ル貸出ト云フモノガ八二%强デアル、此割引手形ノ中ニ、ソレデハ昭和二年ノ勅令第五十五號ノ五億圓ノ特融ノ貸付ノ焦付ガ幾ラアルカト云フト、八五%强ノ多キニ達シテ居ルノデアル、サウシテ見返マスラバ、此見返擔保ノ制度ガ今日產業金融ニ非常ニ役立ッテ居ルト云フヤウナコトヲ斷ジテ言フコトハ出來ナイノデアリマス、政府ハ一體此邊リノ仕事デアルト見返擔保ノ制度ダケニ依賴シテ宜シイカ、既ニ有價證券、或ハ會社債ト云フコトヲ擔保ニシテ貸出ヲスルコト便宜ノ方法トシテ、所謂一時ノ方便ナリトハ言ヒナガラ、今日恆久的ニ日本銀行ノ營業デオヤリニナッテ居ルノナラバ、ナゼ寧ロ進ンデ正々堂々ト條例十一條、十二條ヲ御改正ニナッテ此等ニ對スル貸付ヲオヤリニナラヌカト、私ハ伺ヒタクナルノデアリマス

ソレカラ第四ニ御伺シタイコトハ、今回御提出ニナリマシタ所ノ所謂參與理事ノ制度ノコトデゴザイマスガ、一體十一條、十二條ノ改正ヲオヤリニナッテ、日本銀行ノ活動範圍ヲ擴張スルト云フコトガ、參與理事制ト云フモノヲ決議機關トシテ新ニ置ク必要ガアルノデハナイカ、十一條、十二條ヲ改正スルニナラズ、從來ノ儘ノ日本銀行ノ活動範圍デ此マッテ居ルナラバ、參與理事制ト云フモノハ無意味デハアリマセヌカ、少クトモ其效果ヲ半減スルモノヤウニ私ハ考ヘルノデアリマスガ如何デアリマスカ、御承知ノ通リ高橋サンノ御創意ニ依ッテ御作リニナッタ所ノ日本銀行參與制ト云フモノハ、其效能ヲ發揮致シマセヌデ、月一回金融情況ヲ聽イテ御飯ヲ食ベルト云フ飯食ヒノ會ニナッテシマッタト云フコトハ、是ハ高橋サンノ創意ガ惡イノデハナイ、制度ガ惡イノデハナイ、卽チ之ヲ運用スル人ガ骨拔ニシタコトニ缺點ガアルノデ、大藏大臣ノ今ノ御說明ノヤウニ、一般產業界、一般金融界ト日銀ト密接ナル連絡ヲ取ルコトノ爲ニ、今回ノ制度ヲ設ケルト云フノデアリマシタナラバ、今マデノ高橋サンノ創意ニ依ッテ出來タ今迄ノ參與制度ト云フモノヲ屢、開クコトニ依ッテ、其目的ハ達スルコトガ出來ルノデハナカラウカ、何ヲ苦ンデ決議機關トシテ此新シイ法律ヲ御作リニナルカトモ云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、ソコデ五十五年前ノ古イ條例、時代遲レノ條例ニ依ッテ外貨ノ買ヒニ資向ハナカッタト云フコトガ、重大ナル爲替操作ノ失敗デアルト、併ナガラ正金銀行ノ爲替操作ノ失敗バカリヲ責メル譯ニハ行カマイト思フ、何故ナラバ正金銀行ガ日本ノ基準デアル所ノ一志二片ヲ維持シヨウト致シマシタ場合ニ、政府ハ何等ノ補償ヲ致シテ居ラナイノデアル、正金銀行ノ「リスク」ニ對シテハ何等ノ補償ヲシテ居ラナイ、前ニ井上大藏大臣ノ時正金銀行ガ弗ヲ賣向ッタ、此時井上サンハチヤント、善イカ惡イカハ兎モ角トシテ、政府ガ一札ヲ正金銀行ニ代ヘヨウト思ッタ、併シ自動車ハ買ヘヌカラ相變ラズ馬車ヲ使ッテ居ルト云フノニ、氣ヘ入レテ居ル、ソコデ正金銀行ハ腰ヲ入レテ、アノ操作ヲチヤントヤッタノデアリマス、然ラバ政府ハ少シモ構ッテ呉レズ、一ツノ營利會社デアル所ノ正金銀行ガ本腰ヲ入レテ、國策デアル所ノ爲替統制ト云フモノニ、殺然トシタ態度ヲ以テ邁進スルト云フコトヲ望ムコトハ、蓋シ無理デハナカラウカト思フ、正金銀行ガ初メ出來タ時分ハ、ソレハ日本銀行カラ金ヲ借リテ、サウシテ日本ノ唯一ノ貿易銀行トシテノ仕事ヲヤッテ居リマシタラウガ、今日ハ他ノ爲替銀行ト同ジ立場ニ立ッテ競爭ヲシ營業ヲシテ居ル所ノ一ノ營利會社ニ過ギナイ、外ノモノト同ジニ竝ンデ商賣ヲシテ居ル所ノ正金銀行ニ、他ノモノヲ率ヒテ行クヤウナ統制ノ力ヲ與ヘテ置クト云フコトニ、既ニ缺陷ガアルノデハナカラウカ、傳ヘラルル所ニ依レバ、此國策ヲ利用シテ正金銀行ガ利益ヲ得テ居ルヤノ噂サヘ市場ニハアル今日、政府ハ餘程御考ニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス、又正金銀行ガ國策デアル所ノ、一志二片ヲ維持スル所ノ爲替統制ヲ行フ爲ニハ、外國ニ澤山ニ金ヲ在外資金ニ云フモノヲ擁シテ居ラナイト、是ハ大部分ハ御承知ノ如ク無利子デセウ、無利子ノ數億ノ在外資金ヲ持タナクチヤナラヌガ、ソレハ何處カラ持ッテ行クカト云フト、內地デ「コール」ヤ其他ヲ吸收シテ、是ニハ「コスト」ヲ掛ケテ呉レヌ、營利會社デアル所ノ正金銀行ガ國策ノ爲ニ「リスク」ヲ冒シ、而シテ「コスト」ヲ自ラ負擔シテ居ルト云フヤウナ制度ノ上ニ一大缺點ガアルノデハアリマセヌカ、斯ウ考ヘテ見マシタ場合ニハ、日本銀行ガ乘出シテ、サウシテ他ノ諸國ノ中央銀行ト同ジヤウニ、爲替政策ニ云フモノガ通貨政策ノ一形態デアル事實ニ鑑ミマシテ、日本銀行ノ責任ニ於テ爲替統制ヲ擔當セシムルコトガ必要デアルト信ズルノデ

アリマス

私ノ質問ハ大體是デ終リマシタガ、唯本質問ヲ終ルニ當リマシテ一言ダケ申上ゲテ置キマスガ、中央銀行ノ――中央銀行ト申シマスルカ、我ガ日本銀行ノ重大ナル目的ト云フモノハ、要スルニ飽マデモ通貨ノ調節ト云フコトニアリマス、能ク通貨ノ調節ト云フコトヲ消極的ニノミ御取リニナル論者ガアリマスガ、私ハ之ヲ積極的ニ取リタイ、具體的ニ申上ゲマスレバ、一國ノ産業能力ヲ十分ニ活動セシムルニ必要ナル過不足ナキ通貨ノ量ヲ供給シテ、其通貨ノ價値ヲ內外ニ安定セシムルト云フコトガ、日本銀行ノ重大ナル使命デアルコトハ論ヲ俟タナイノデアリマス、ソレデアルカラ私ハ日本銀行ノ金融對象物ト云フモノヲ廣ク天下ニ求メテ、日本銀行ノ通貨調節ノ力ヲ強化致シマシテ、サウシテ日本銀行ノ活動力ノ範圍ト云フモノヲ自由ニシテ、活潑ナラシメタイト云フコトノ念願ノ爲ニ、此質問ヲ致シタ次第デアリマス、而シテ大藏大臣ガ在野ニ於ケル所ノ色々ノ御言明、或ハ本會議、委員會ヲ通ジテ御正月頃ノ御話ト、三月頃ノ御話ト餘程違フ、餘程世間ニ迷ヒガアリマスカラ、ドウゾ一般ノ迷ハヌヤウニ、事ハ苟モ日本ノ金融政策ヲ掌ル日本銀行ノ條例改正ニ關スル問題デアリマスカラ、率直ニ所懷ヲ開陳サレンコトヲ切望シテ私ノ質問ヲ終リマス（拍手）

（國務大臣結城豐太郎君登壇）

○**國務大臣（結城豐太郎君）**　木暮君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、現行日本銀行條例ニ對スル見方ガドウデアルカ、何故根本的改正ヲヤラヌカ、斯ウ云フ御話デアリマス、御話ニモアリマシタヤウニ、生産ノ擴充ノ爲ニ金融機關ノ活動ヲ期待スル、殊ニ中央銀行ノ活動ヲ期待スルコトニ於テハ御同感デアリマス、ソレデ只今迄ノ日本銀行ノ條例ノ立テ方ト致シマシテハ、御話ノ通リニ古イ條例デアリマシテ、其時分ノ經濟界ノ實情カラ申シマシテ、商業手形ノ再割引ト云フコトガ主タル業務デアル、其後ニ公債擔保ノ割引ト云フコトガ仕事ニナッテ居リマスルガ、産業金融ノ方ニ對スル連絡ガ不十分デアッタト云フコトハ、御話ノ通リデアリマス、是ハ條例ノ立法ノ精神ガサウデアリマシタガ、併ナガラ年ヲ經過致シマスル其時ノ當局者ノ運用次第ニ依ッテ、敢テ其條例ニ違反スルトカ、或ハ條例ヲ潛ルトカ云フヤウナコトヲ致シマセヌデ、今ノ條例ニ依ッテ産業金融ニ對スル連絡ガ出來ルノデアリマス、今回モ金融機關ノ活動ニ俟ツト云フコトハ、私共ノ考トシテハ、只今ノ日本ノ金融機關ノ缺陷ト致シマシテハ、各種ノ機關ノ連絡統制ガ不十分デアル、斯ウ云フコトガ考ヘラレマスノデ、其邊ハ日本銀行ヲ中心ニシテ連絡協調ヲ圖ラネバナラヌ、斯ウ考ヘテ居リマス、隨テ條例ヲ改正致シマシテモ、直接ニ産業資金ニ日本銀行ガ融通ヲスルト云フヤウナコトハ、曾テ考ヘタコトモアリマセヌガ、其邊ノ連絡ニ依ッテ、ソレ〳〵ノ職分ヲ有ッテ居リマス金融機關ニ活動ヲサセル、斯ウ云フコトガ目的デアルノデアリマス、ソレデ只今ノ條例ヲ改正致シマセヌデモ、サウ云フコトハ出來マスノデアリマス、併ナガラ御話ノヤウニ、日本銀行條例ト云フモノガ古イノデアリマスルカラ、之ヲ御覽ニナリマスルト、條文カラ致シマシテ、甚ダ現代ニ副ハナイモノガ澤山アルノデアリマス、ソレデ是ハ一二ノ改正ヲ行フヨリハ、全體ヲ通ジテ條例ノ改正ヲ考ヘテ、サウシテ御審議ヲ願フ方ガ宜シイ、併ナガラ今期ノ議會ハ如何ニモ會期ガ切迫シテ居ルノデ、其點ノ研究ニ付キマシテハ、大藏省ト日本銀行ト一緒ニナッテ、全體ノ條例ニ付テノ十分ノ檢討ヲ行フ必要ガアル、斯ウ云フコトカラ今回十一條、十二條ノ改正ノ提案ヲ致スコトヲ見合セタノデアリマシテ、他ニ何等ノ考ハアリマセヌ、コチラノ考ノ變ッタト云フヤウナコトモナイノデアリマス、唯世間デハ日本銀行ノ條例ノ改正ト云フコトハ、如何ニモ大シタ飛躍的トカ、今御言葉ニアリマシタヤウニ、或ハ非常ナ改革ヲスルヤウナコトニ考ヘル人ガアルノデアリマスルガ、サウ云フコトハ是ハ努メテ避クベキコトデアリマシテ、御承知ノ通リニ改革ヲ致シマスニシテモ、急激ナル改革ヲ避ケテ、徐々ニ改ムルコトガ必要デアルノデアリマスルガ、只今ノ條例ニ於テサウ云フ連絡統制ヲ圖ッテ、ソレ〳〵ノ機關ヲシテ十分ノ活動ヲサセルト云フコトニ於テハ、何等ノ支障ガナイノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ、今回ハ條例全般ニ對スル改正案ト云フモノヲ見合セタヤウナ次第デアリマス

ソレカラ産業金融ニ積極的ニ乘出ス考ガアルカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、ドウシテモ生産ノ擴充ヲヤリマス爲ニハ、其邊ニ金融ノ援助ヲ必要ト致シマスルノデ、背後ニ日本銀行ガソレ等ノ援助ヲスルコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、併ナガラ直接ニソレ等ノ資金ヲ日本銀行カラ融通スルト云フヤウナコトハ、時トスルト累ヒヲ貽スヤウナコトニナリマスノデ、是ハソレゾレノ機關ヲ通ジテ出スヤウナコトニ致スベキデアッテ、産業金融ト云フコトニ付テハ十分ニ働キマスガ、直接ニ之ヲヤルベキデヤナイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

見返擔保ノコトニ付テ、是ハ違法デハナイカト云フ御話モアリマシタガ、少シモ違法デハナイノデアリマス、條例ノ面カラ見マスルト、商業手形ノ割引ト云フコトガ主ニナッテ居リマスガ、併ナガラヤハリ確實ナル有價證券ヲ擔保ニシテ貸出スト云フコトハ、當然出來ルノデアリマシテ、立法ノ趣旨ガサウナッテ居ル爲ニ、多少ノ便宜ヲソコニ行ッタコトデハアリマスルガ、少シモ法律ニ違反シテ居ルヤウナ點ハナイノデアリマス、是ハ産業金融其他ニ於テ洵ニ便利ナ制度デアリマシテ、今後ニ於テモ此制度ニ依ッテ産業金融ヲ賄ヒマシテ、例ヘバ社債其他ヲ擔保ニシテ融通ヲスルト云フコトハ、一向ニ差支ナイト思フノデアリマス、日本銀行ノ金融ノ對象物ハ狹クナイカト云フコトデアリマスガ、只今ノ所デハサウハ考ヘテ居リマセヌ

ソレカラ參與制度ヲ廢シテ參與理事ト云フコトニ致シマシタニ付テハ、是ハ今マデノ參與ニ付テハ、御話ノヤウナ餘リ效果ハナカッタノデアリマス、寧ロ參與理事ト致シマシテ、ソレ等ノ方ニ責任ヲ取ッテ貰フ方ガ却テ效果アルモノダラウ、斯ウ云フヤウナコトカラ、參與理事ト云フコトニ致シタヤウナ次第デアリマス、隨テ却テ練達堪能ノ外部ノ人ヲ參與セシムルコトニナリマシテ、色々日本銀行ノ施設ヲスル上ニ於テ、效果ガアルダラウト思フノデアリマス、是ハ十一條、十二條ノ改正ニ伴ハナイデモ、組織ノ上ニ於テ是ダケノコトヲ致スコトハ必要デアラウト思フノデアリマス、通貨ノ調節ニ付キマシテハ、御考至極私ハ同感デアリマス、御答申上ゲマス

○**議長（富田幸次郎君）**　木暮君、宜シウゴザイマスカ

○**木暮武太夫君**　御答辯漏ガアリマスカラ自席カラ申上ゲマス、只今御質問申上ゲマシタ中ノ最後ノ、日本銀行ニ爲替統制ヲ擔當セシムル御意思ガアルカドウカト云フ點ヲ御答願ヒマス

（國務大臣結城豐太郎君登壇）

○**國務大臣（結城豐太郎君）**　其事ヲ御答スルノヲツイ忘レマシタガ、只今爲替ノ統制ハ正金銀行ハヤッテ居リマセヌ、大藏省ガヤッテ居リマス、併ナガラ事實ハ日本銀行ノ當局者、正金銀行ノ當局者、ソレ等ト能ク協議ヲ致シマシテ、責任ハ大藏省ノ當局者ガ取ッテ居ル譯デアリマス

○**議長（富田幸次郎君）**　河野密君

（河野密君登壇）

○**河野密君**　私ハ只今議題トナッテ居リマスル日本銀行條例ノ改正案ニ對シマシテ、社會大衆ノ名ニ於テ極メテ簡單ニ御質問申上ゲマス、私ガ此問題ニ付テ發言ヲセントシマスル理由ハ、第一ニ此案ガ結城財政ノ根幹ヲ成スモノデアリ、第二ニ此案ニ依ッテ日本ノ財政政策ガ一定ノ方向ヲ取ルト感ズルカラデアリ、第三ニ今日國民大衆ノ一齊ニ憂慮シテ居リマス「インフレーション」ガ愈〻本格的トナリ、所謂惡性「インフレーション」ノ可能性ガ深マッテ來、其結果大衆ノ生活ヲ脅威スルニアラザルカヲ感ズルカラデアリマス、勿論今日提案セラレマシタ日本銀行條例ノ改正ハ、極メテ局部的ノモノデアリマシテ、當初傳ヘラレマシタモノトハ違ッテ居ルノデアリマスルガ、其底ヲ流レテ居ルモノハ、結城、池田兩氏ヲ結ブ所謂生産力擴充財政ノ根本精神デアルコトニハ變リハナイノデアリマス、此根本精神ハ、銀行ノ銀行トシテノ日本銀行ノ機能ヲ、資本融通ヲ本位トスル産業金融ノ機能ニ轉換セントセシムルモノデアリマシテ、日本銀行ヲ名實共ニ國民ノ銀行カラ、資本家ノ銀行タラシメントスルモノデアルト私ハ考ヘタノデアリマス（拍手）ソコデ私ノ御尋セントスル點ハ次ノ通リデアリマス

第一ニ結城、池田兩氏ガ企テテ居リマスル日本銀行條例ノ改正案ナルモノハ、昭和二年ニ制定セラレマシタ銀行法ノ精神――私ハ條文トハ申シマセヌ、精神デアリマスルガ、精神ニ反スルモノニアラザルカト云フ點デゴザイマス、昭和二年銀行法ノ制定ヲ見マシタ當時ニ於テ、論爭ノ中心トナリマシタ點ハ、日本ノ銀行ヲ英吉利型ノ商業銀行ノ型ニ從ハシムルノデアルカ、ソレトモ獨逸型ノ産業銀行型ニ從ハシムルノデアルカト云フコトニアッタト存ズルノデアリマス、而シテ私ノ解スル所ニシテ誤リガナカッタトシマスルナラバ、産業資金ノ融通ハ其大宗ヲ興業銀行ニ依ラシメ、投資ヘノ融通ハ主トシテ根本ヲ勸業銀行ニ依ラシメ、一般ノ銀行ハ商業銀行タル方向ニ向ヒ、日本銀行ハ所謂銀行ノ銀行トシテ、一般銀行ノ王座ヲ占ムルト云フコトニアッタト信ズルノデアリマス、其後我國ニ於キマシテモ、亦諸外國ニ於キマシテモ、相踵グ恐慌ニ依ッテ、中央銀行ノ機能ニ著シイ變化ノアッタコトハ事實デアリマスルガ、一時ノ急ニ應ズル爲ニ、中央銀行ノ機能ニ變革ヲ加ヘマシタ國ハ、概シテ其成績ガ惡ク、産業資本ノ大規模的ナル融通ノ爲ニハ、日本ノ興業銀行ヲ擴大スルガ如キ、特殊ノ機關、例ヘバ産業復興會社トカ、産業金融會社トカ云フモノヲ建設シテ、ソレニ依ッテ居タト私ハ思フノデアリマスルガ、今結城大藏大臣竝ニ池田日本銀行總裁ヲ貫イテ、兩者ニ依ッテ企テラレテ居リマスル計畫ナルモノハ、其逆ヲ行カントスルモノデアルヤウニ考ヘマス、是ハ昭和二年ノ銀行法以來ノ我國ノ銀行政策ト、甚シク矛盾スルモノニアラザルカト考ヘルノデアリマスルガ、大藏大臣ノ所見ヲ伺フノデアリマス

第二ニ此改正ニ依リマシテ、日本銀行ノ負フベキ所ノ危險性ノ負擔ト云フモノガ增大スル點デアリマス、從來ノ日本銀行條例ハ先程木暮君カラモ御話ガアリマシタヤウニ、商業手形ニ對スル金融ニ限ッテ、株券社債等ニ融資スルコトヲ禁ジテ來タノデアリマス、勿論事實ニ於テハ、此運用ハ所謂見返擔保ノ便法ニ依リマシテ、大イニ緩和セサレタトハ申シマスルガ、尙ホ此鐵則ダケハ儼然トシテ存シテ來タノデアリマス、然ルニ今日之ニ反スル方向ヲ執ッタナラバ、ドウ云フ結果ニナルデアリマセウ、從來鐵則ヲ守ッテ來タノハ、長期金融ニ依ッテ融資ノ固定性ヲ來スコトヲ恐レ、日本銀行ノ機能トスル通貨ノ伸縮ヲ通ジテ金融經濟界ヲ巧ミニ「リード」シテ行ク機能ノ麻痺センコトヲ惧レタカラデアリマス、然ルニ今結城大藏大臣ノ改正案ヲ貫ク指導精神ヲ見マスルノニ、愈〻此禁ヲ破ッテ、所謂長期ノ産業資金ノ融通、資本ノ融通ヲ爲スト云フコトニ依ッテ「インフレーション」ヲ起シ、ソレニ依ッテ生産力ノ擴大ヲ人爲的ニ圖ラントスル如クデアリマス、併シ斯ノ如キ資本融通ノ方法ハ、金本位制ヲ維持セル當時ニ於テモ、危險性ヲ導クノデアリマスルガ、況ヤ金本位制ヲ離脫シテ居リマスル今日ニ於キマシテハ、常ニ惡性「インフレーション」ヲ招來スル所ノ危險性ガ潛在シテ居ルノデアリマシテ、此方法ニ依ッテ尙ホ拍車ヲ掛ケラレル結果トナルト存ズルノデアリマスルガ、大藏大臣ニ此點ニ對スル所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

第三ノ點ハ、日本銀行ハ所謂資本融通ニ依リマシテ、先程木暮君カラモ御話ノアリマシタヤウニ、苦イ經驗ヲ嘗メテ居ル筈デアリマス、震災手形ノ融通ニ依リマシテモ、昭和二年金融恐慌ノ當時ニ於ケル融資ニ依リマシテモ、非常ニ苦イ經驗ヲ嘗メテ居ル筈デアリマス、此爲ニ私ハ國庫ニ莫大ナ損失ガ掛ケラレタト存ズルノデアリマスルガ、其明確ナル數字ヲ示シテ戴キタイト思フノデアリマス、當局ノ方ハ或ハ當時ニ於ケル金融ナルモノハ、震災或ハ恐慌ニ依ッテ無クナッタモノニ對スル融通デアルガ故ニ、是ハ損ヲスルノガ當然デアル、斯樣ニ御考ヘニナルカモ知レマセヌケレドモ、將來産業ニ對スル融通トシマシテハ、無ニ對スル融通ニ於テハ何等變ル所ハナイト私ハ信ズルノデアリマス、之ニ依ッテ人工的ニ作ラレタ資本、人工的ニ作ラレタ生産力ノ擴大ト云フモノハ、謂ハヾ架空的ノ資本デアリ、架空的ノ生産力ノ擴大ニ過ギナイノデアリマス、而モ其融資ガ軍需工業ニ主トシテ向クノデアリマスカラ、常ニ一定ノ「インフレーション」ヲ增大シテ、其軍需工業ヲ刺戟シテ行カナケレバナラナイノデアリマス、若シ、常ニ「インフレーション」ヲ增大シ、刺戟スルコトヲ停止スルナラバ、直チニ回轉ハ止マッテシマフ、結果ニナルト思フノデアリマス、謂ハヾ坂ニ向ッテ車ヲ押スヤウナモノデアリマシテ、其結果ノ危險負擔ナルモノハ、是ハ懸ッテ日本銀行ニ在ルト存ズルノデアリマスガ、大藏大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ、而モ斯ノ如キ適度ノ「インフレーション」ヲ起ス積リデ、始終資本ノ融通ヲスルト云フコトヲヤッテ行クト、其ノ結果利益ヲ見マスモノハ、其得タル資金ヲ一定ノ限度ニ於テ、之ヲ踏倒シテ行ク所ノ可能性ヲ有スル産業資本家ノミデアッテ、結局其損失ハ國庫ノ負擔トナリ、一般大衆ノ負擔トナルト信ズルガ如何デアリマセウカ（拍手）

第四ノ正貨現送トノ關係デアリマス、政府ハ在外資金ノ涸渇ヲ來シタ爲ニ、正貨ノ現送ヲ企テマシテ、既ニ其第一回ノ現送ヲ實行シタノデアリマスガ、今日「ブロック」經濟ノ時代ニ於キマシテ、金ノ保有ガ如何ナル意味ヲ有ツカト云フコトニ付テハ、政府當局ニ於テ萬々御承知ノコトト存ズルノデアリマス、而モ此正貨現送ニ依ッテ狙ヒマス目的ハ、爲替相場ノ維持ト、爲替ノ下落ヲ通ジテ起ラントスル國内的ナル「インフレーション」ヲ阻止スルニ在リト信ジマスガ、然ルニ一方ニ於テハ金ヲ現送シ、他方ニハ産業資金ヲ放出シ、大規模ナル授信作用ニ依ッテ「インフレーション」ヲ人工的ニ起シテ行カウトスルナラバ、爲替相場ガ薄弱ニナルコトハ是ハ當然デアリマス、益〻大規模ナル金ノ現送ヲシナケレバナラナクナルノデアリマス、其結果ハ加速度的ニ「インフレーション」ニ拍車ヲ掛ケラレマス、政府ハ金ノ現送ヲ圖ルト共ニ、日本銀行ヲシテ時價ヲ以

テ産金ヲ買上ゲシメ、産金買上ニ對スル差金ヲ補償シテ居リマスガ、其補償限ノ度ヲ最近二億カラ四億ニマデ増大セントシテ居ラレルノデアリマスガ、斯ノ如ク金紙ノ開キガ増大シテ行クコトハ、ソレ自身重大ナル事デアリマシテ、軈テ平價ノ切下ヲ必然ナラシメ「インフレーション」ノ惡化ヲ招來セシメルト思ヒマスガ、當局ノ御考ハ如何デアリマスカ、而モ此産金買上政策ニ依リマシテ直接ノ利益ヲ受クルモノハ、所謂少數ノ産金業者、三井、三菱、住友等ノ産金業者ヲ裨益スル結果ニナルト考ヘマスガ、政府ノ御考ハ如何デアリマセウカ(拍手)

第五ノ點ハ主トシテ組織ノ點デアリマスガ、參與會ヲ廢シテ參與理事制ヲ採ラレマシタ理由ハ、如何ナル點ニアリマセウカ、私ノ御尋セントスルモノハ、之ニ依ッテ日本銀行ニ對スル國家ノ統制力ヲ増大セントスルノデアリマセウカ、ソレトモ別箇ノ意圖ニ基クモノデアリマセウカ、伺ヒタイノデアリマス、新ニ設ケラレル參與理事ニハ、如何ナル人物ヲ据エントスルノデアリマセウカ、例ヘバ一般國民ノ代表者ヲ之ニ參加セシメル御考デアリマスカ、セメテハ貴衆兩院ノ代表者ヲ之ニ入レル位ノ精神ガオアリデアリマセウカ、伺ヒタイノデアリマス、此處ニ佐藤外務大臣モ居ラレマスガ(「居ナイ」ト呼フ者アリ、笑聲)佐藤外務大臣ノ御存ジノ如ク、昨年「レオン・ブルム」ノ内閣ガ成立致シマシタ時ニ、佛蘭西中央銀行ノ理事ノ中ニハ、所謂佛蘭西勞働總同盟「セー・ゼー・テー」ノ「ゼネラル・セクレタリー」ヲシテ居リマス「ジュオー」ガ選バレタコトハ、大藏大臣モ御存ジト存ジマスガ、吾々ハ勿論今日ノ日本ニ於テ、斯ノ如キ急激ナル所ノ要求ヲセントスル者デハゴザイマセヌガ、日本銀行ノ理事中ニハ、少クトモ貴衆兩院ノ代表者各一名位ヲ入レルコトハ當然ナリト、吾々ハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

第六ノ點ハ、日本銀行ノ機能ハ國民中樞ノ銀行デアリマスガ故ニ、國家ノ之ニ對スル監督權ヲ强力ナラシメ、日本銀行ノ營業成績ノ如キハ之ヲ議會ニ報告シテ、議會ノ承認ヲ經ルト云フガ如キ方面ニ、改正ノ方針ヲ向ハシムルコトガ、今日ノ趨向デアルト存ジマスガ、大藏大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ、今回ノ大藏大臣ノ改正ノ方向ヲ見マスルト、如何ニモ國家ノ監督權ノ増大ヲ拒否致シマシテ、其日本銀行ノ持ツ至大ナル權能ヲ、一切擧ゲテ財界人ノ獨裁ニ之ヲ委ネントスル傾向ガ强イヤウニ思ヘレルノデアリマスガ、大藏大臣ハ果シテ如何デアリマスカ、大藏大臣ノ御存ジノ如ク、ツイ本年ノ一月三十日ニ獨逸ノ中央銀行ノ機能ニ變化ガゴザイマシテ、獨逸ニ於キマシテハ銀行ニ對スル國家ノ統制力ヲ强メタノデアリマスガ、一體中央銀行ニ對スル國家ノ統制力ヲ强メルカドウカト云フ點ニ付テノ、大藏大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス、獨逸ノ中央銀行ノ機能ニ國家ノ統制權ヲ强メ、國家ノ獨裁權ノ下ニ之ヲ置カウトシタト云フコトニ付キマシテハ、色々ノ理由モアルト存ジマスガ、兎ニ角中央銀行ガ産業資金ノ方面ニ出動ショウトスルナラバスル程、私ハ中央銀行ニ對スル國家ノ統制權ト云フモノヲ高メナケレバナラナイト信ズルノデアリマス、然ルニ大藏大臣ハ、一方ニ於テハ中央銀行ノ産業資金ニ對スル出動ヲ奬勵シナガラ、一方ニ於テハ國家ノ中央銀行ニ對スル統制權ヲ弱メントスルガ如キ態度ヲ執ルノハ、其間ニ甚シキ矛盾アリト信ズルノデアリマスガ、大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ズルノデアリマス

第七ノ點ハ、日本銀行ガ産業資金ノ融通方面ニ出動致シマシテ、所謂低金利政策ヲ愈々本格的ニ實行致シマスルコトニナリマスルト、直接ニ困ルモノハ中小商工業者、中小生産者デアリマス、中小商工業者、中小生産者ノ資金難ト云フモノハ、既ニ低金利政策ヲ謳歌致シマシタ馬場財政ノ下ニ於テモ、現實ノ問題トナッテ經驗ヲセラレタコトデアリマスガ、結城大藏大臣ハ中小商工業者、中小生産者ノ資金難ヲ緩和スベキ、或ヘ庶民金庫ヲ御創リニナルトカ、此方面ニ對シテハ洵ニ御同情ト御理解トヲ持タナイカノ如クニ吾々ハ見受ケルノデアリマスガ、日本銀行ノ産業資金貸出ニ出動セラレルト同時ニ、中小商工業者、中小生産者融資ノ方面ニ對シテ、如何ナル御考ヲ持ツカ、私ハ之ヲ承リタイノデアリマス、要スルニ日本銀行條例ノ改正案ハ、極メテ簡單ナル提案デアリマスルガ、其背後ニ流レテ居リマスル所ノ政策ハ、極メテ重大デアルト私ハ信ズルノデアリマス、吾々ハ結城、池田兩氏ノ「コンビ」ニ依ッテ、所謂生産力擴充ノ爲ノ過剩投信作用ガ、結局彼ノ震災手形善後處理ノ如クニ莫大ナル損失ヲ政府ニ掛ケ、惡性ノ「インフレーション」ヲ惹起シ、一方ニハ過剩ノ投信作用ニ助ケラレタル日本ノ「スチンネス」ヲ生ミ出ス如キ結果ニ陷ルコトヲ恐レルノデアリマス(拍手)吾々ハ彼ノ銀行法ノ制定ガ、昭和二年金融恐慌ノ序曲ヲ爲シタルガ如ク、今回提案ニナッタ日本銀行條例ノ改正ガ、昭和十二年度ニ於ケル惡性「インフレーション」ノ序曲トナルコトヲ恐レルノデアリマス(拍手)此點ヲ嚴ニ當局ニ警告ヲ致シマスルト共ニ、當局者ノ責任アル御答辯ヲ希ヒマシテ、私ノ簡單ナル質問ヲ終ル次第デアリマス(拍手)

(國務大臣結城豐太郎君登壇)

○國務大臣(結城豐太郎君) 河野君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、昭和二年ノ銀行法ノ改正ノ時分ニ、是ハ普通銀行デアリマス、ヤハリ英吉利流ニ從フカ、獨逸流ニ從フカト云フ議論ハ確ニアリマシタ、ソレハ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、短期ノ金融ヲスルカ、長期ノ金融ヲスルカト云フコトニアルノデアリマスルガ、普通銀行トシテハ短期ノ金融ニ應ジナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ナコトニ改正サレタコトハ事實デアリマス、ソレト中央銀行、日本銀行ハ普通銀行ノ銀行ト云フノデハアリマセヌデ、ヤハリ各種ノ特殊銀行、其他金融機關ノ全般ニ對スル中央ノ機關ト云フコトニ考ヘテ宜カラウト思フノデアリマスガ、併ナガラ發券銀行トシテ、是亦長期ノ金融ニ對シテ焦付ケヲスルヤウナコトハ、是ハ斷然避ケネバナラヌノデアリマシテ、斯ウ云フ風ナ意味ハナイノデアリマス、ソレデ長期ノ金融ヲシテ、其爲ニ「インフレーション」ヲ起ストカ、惡性ノ貸出ヲスルヤウニナラヌカ、通貨膨脹ヲ來サヌカト云フヤウナ御懸念デアリマスルガ、サウ云フコトハ日本銀行トシテ斷ジテナカラウト思フノデアリマス

震災善後策ノ處置トシテ特別融通ニ付テノ御質問ガアリマシタガ、ソレハマダ處理ガ十分ニ出來テ居リマセヌノデ、金額モ未確定デアリマス、ソレカラ正貨ノ現送ニ付テ御質問ガアリマシタガ、是ハ爲替相場ヲ維持スル上ニ於キマシテ、又日本ノ國際貸借尻ヲ決濟スル上ニ於テ、相當ノ正貨ヲ送リマスコトハ、何等ノ懸念モナイノデアリマシテ、ソレノ爲ニ産金業者ヲ利益セシムルトカ、或ハ大キナ資本家ヲドウスルト云フヤウナコトハ、是ハ御懸念ハナカラウト思フノデアリマス、ソレカラ次ノ參與理事ハマダ人ハ決ッテ居リマセヌガ、大體ノ趣旨ハ經濟界ノ各方面ノ練達堪能ノ士ヲ集メテ、サウシテ日本銀行ノ仕事ニ參與シテ貰ハウ、ソレ等ノ人ノ考ヲ聞イテ日本銀行トシテ仕事ヲショウト、斯ウ云フノデアリマス、詰リ各方面ノ連絡協調ヲ圖ルト云フコトガ主タル目的デアリマス爲ニ、其目的カラ人選ヲスルダラウト思フノデアリマス、ソレカラ日本銀行ニ對スル國家ノ監督統制ト云フコトハ、是ハ何等ノ變更ハナイノデアリマシテ、從來通リヤハリ國家ガ十分ニ監督シテ行クコトニナルノデアリマス、最後ニ中小商工業者ニ對スル金融ニ付テモ考ヘテ居ルカト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ常ニ考ヘテ居ルコトデアリマシテ、庶民金庫ヲ此議會ニ出サヌト云フコトハ、庶民金融ハ殊ニ大切ナ問題デアルダケニ、十分ニ案ヲ練ラナケレバナラヌト云フコトカラ出シマセヌノデアリマシテ、不必要ナ爲ニ出サヌト云フノデハアリマセヌ、ソレデ中小商工業ニ對スル金融ニ付テハ、從來カラ非常ナ心配ヲシテ居リマスト云フコトヲ重ネテ申上ゲマス

○議長(富田幸次郎君) 河野君、宜シウゴザイマスカ

○河野密君 宜シウゴザイマス

○議長(富田幸次郎君) 是ニテ質疑ハ終局致シマシタ、各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○中山福藏君 日程第一乃至第三ノ三案ヲ一括シテ、一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案外二件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 中山君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ――日程第四、東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス――大藏大臣結城豐太郎君

第四 東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案

昭和十一年度末現在ノ東京帝國大學資金ニシテ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ノ用ニ供スルモノ及昭和十一年度東京帝國大學ノ歳入殘餘ニシテ同帝國大學農學部附屬農業教員養成所ニ關シ生ジタルモノハ之ヲ學校及圖書館資金ニ編入スベシ

前項ノ規定ニ依リ編入シタル資金ニシテ歳入殘餘ヨリ成リタルモノハ之ヲ東京農業教育專門學校ノ資金トシテ區分整理スベシ

昭和十一年度帝國大學特別會計歳入歳出豫算中翌年度ニ繰越ヲ要スルモノニシテ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ニ關スルモノハ之ヲ學校及圖書館特別會計ニ繰越使用スベシ

附 則

本法ハ昭和十二年度ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣結城豐太郎君登壇)

○國務大臣(結城豐太郎君) 只今議題トナリマシタ東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ說明致シマス、農業教育ノ普及徹底ヲ圖ル爲メ、現在ノ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ハ、之ヲ昭和十二年度ヨリ獨立セシメマシテ、東京農業教育專門學校ト致シマスル關係上、昭和十一年度末現在ノ東京帝國大學資金ノ中、東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ノ用ニ供シマスルモノ、昭和十一年度東京帝國大學ノ歳入殘餘ニシテ、同帝國大學農學部附屬農業教員養成所ニ關シ生ジマシタルモノハ、之ヲ學校及ビ圖書館資金ニ編入スル等ノ規定ヲ設クル必要ガアリマス、仍テ本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協贊アランコトヲ希望致シマス

○議長(富田幸次郎君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○中山福藏君 本案ハ政府提出、一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案外二件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 中山君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ――日程第五、地方鐵道補助法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス――鐵道大臣伍堂卓雄君

第五 地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

地方鐵道補助法中改正法律案

地方鐵道補助法中左ノ通改正ス

第一條 政府ハ豫算ノ範圍内ニ於テ地方鐵道ニ對シ建設費ノ百分ノ四ニ相當スル金額ヨリ益金ヲ控除シタル殘額以内ニ於テ運輸數量ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依リ計算シタル金額ヲ補給スルコトヲ得

補助ヲ爲ス地方鐵道ノ範圍竝ニ前項ノ建設費、益金及運輸數量ノ算出方法ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 補助金ノ使途ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則第二項ヲ左ノ如ク改ム

第一條ノ規定ニ依ル補助金ハ昭和十七年四月一日以後ノ期間ニ付テハ之ヲ交付スルコトヲ得ズ

附 則

本法ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ附則第二項ニ揭グル地方鐵道以外ノ地方鐵道ニ對シテハ申請ニ依リ仍從前ノ第一條ノ規定ニ依リ補助ヲ爲スコトヲ妨ゲズ但シ昭和十二年四月一日以後ニ補助ヲ爲ス場合ニ於テハ同條中百分ノ五トアルハ百分ノ四トス

(國務大臣伍堂卓雄君登壇)

○國務大臣(伍堂卓雄君) 只今上程サレマシタ地方鐵道補助法中改正法律案ノ提案理由ヲ御說明申上ゲマス、現行補助法ハ營業開始後十年間補助スルモノデアリマスガ、昭和十二年一月一日以後ニ營業ヲ開始シタ地方鐵道ニハ、之ヲ適用スルコトヲ得ナイコトニナッテ居リマス、地方鐵道ハ概ネ國有鐵道ト密接ナ關係ヲ有シ、交通脈絡上重要ナ役割ヲ演ズルモノデアリマシテ、公益上其存續ヲ必要トスルモノデアリマスカラ、其運營ヲ保持シ、更ニ進ンデ施設ノ改善等ヲ行ハシムルコトニ依リ、獨立自營ノ域ニ達スルヤウニ之ヲ誘導シ、益々公益ヲ增進セシメナケレバナラナイノデアリマス、此目的ヲ達スル爲ニハ、單ニ現行補助法ノ年限ヲ延長スルコトニ代ヘ、現在ノ事情ニ卽シテ適切ナ政策ヲ施スベキモノト考ヘ、此趣旨ニ依ル新補助制度ヲ設ケヤウトスル次第デアリマス、何卒愼重審議ノ上御協贊アランコトヲ希望致シマス

○議長(富田幸次郎君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○中山福藏君 本案ハ政府提出、鐵道敷設法中改正法律案委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 中山君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ――日程第六及ビ第七ハ關聯セル議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君)　御異議ナシト認メマス、仍テ日程第六、小運送業法案、日程第七、日本通運株式會社法案、右二案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス――鐵道大臣伍堂卓雄君

第六　小運送業法案(政府提出)　第一讀會

第七　日本通運株式會社法案(政府提出)　第一讀會

小運送業法案

小運送業法

第一條　本法ニ於テ小運送業トハ左ニ掲グル事業ヲ謂フ

一　鐵道、軌道若ハ自動車運輸事業ノ爲ス物品運送又ハ此等ノ運送機關ト通運送ヲ爲ス運送機關ニ依ル通物品運送ノ運送取扱業又ハ運送代辨業

二　鐵道、軌道又ハ自動車運輸事業ニ附隨シ又ハ之ヲ利用シテ爲ス陸上ノ物品運送業

第二條　小運送業ヲ營マントスル者ハ主務大臣ノ免許ヲ受クベシ

第三條　小運送業者ハ運賃、料金其ノ他ノ取扱條件ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第四條　主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ運賃料金其ノ他ノ取扱條件ノ變更、設備共同使用ノ協定、集配區域ノ協定其ノ他事業ノ實施及改善ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

前項ノ協定ニ付當事者間ノ協議調ハザルトキハ主務大臣之ヲ裁定ス

第五條　主務大臣ハ小運送業者ヲシテ其ノ事業ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ部下ノ官吏ヲシテ其ノ事業ノ狀況ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ官吏其ノ職務ヲ執行スル場合ニ於テハ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

第六條　小運送業者其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第七條　小運送業ノ讓渡又ハ小運送業ヲ營ム會社ノ合併若ハ解散ノ決議若ハ總社員ノ同意ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

相續人ガ被相續人ノ小運送業ヲ承繼シタルトキハ相續人ハ小運送業ノ免許ヲ受ケタルモノト看做ス此ノ場合ニ於テハ相續人ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ主務大臣ニ屆出ヅベシ

第八條　免許又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ノ條件ハ公益上必要アルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得

第九條　小運送業者其ノ事業ニ關スル協定ヲ爲シタルトキハ之ヲ主務大臣ニ屆出ヅベシ之ヲ變更又ハ廢止シタルトキ亦同ジ

前項ノ協定ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アルトキハ主務大臣ハ協定ノ全部若ハ一部ヲ取消シ又ハ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十條　小運送業者ハ認可ヲ受ケタル運賃及料金ヲ公示スベシ

小運送業者ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ小運送業ニ付テハ公示シタル運賃及料金以外ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ因リテ爲シタル特別ノ作業ニ付相當ノ報酬ヲ受クルハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條　鐵道營業法第十三條ノ三ノ規定ハ小運送業ニ之ヲ準用ス

第十二條　小運送業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ主務大臣ハ免許ノ全部若ハ一部ヲ取消シ又ハ事業ノ全部若ハ一部ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

一　本法ニ基ク命令ニ違反シタルトキ

二　免許又ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

三　事業ノ經營不確實又ハ資産狀態ノ著シキ不良其ノ他ノ爲事業ヲ繼續スルニ適セザルトキ

四　公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキ

五　第十條ノ規定ニ違反シ運賃及料金ヲ公示セズ又ハ不當ノ報酬ヲ請求シタルトキ

第十三條　第三條乃至第五條、第八條乃至第十條及前條ノ規定ハ運送品ノ荷造、保管及仕分、保險契約ノ締結、代金ノ取立、立替其ノ他小運送業ニ通常附帶シテ爲ス業務ニ之ヲ準用ス

第十四條　免許ヲ受ケズシテ小運送業ヲ營ミタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス自己ノ免許名義ヲ他人ニ利用セシメタル者亦同ジ

第十五條　小運送業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　本法ニ基ク命令ニ違反シタルトキ

二　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ認可ヲ受ケテ爲スベキ事項ヲ之ヲ受ケズシテ爲シタルトキ

三　免許又ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

四　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル屆出若ハ報告ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ屆出若ハ報告ヲ爲シタルトキ

五　第五條ノ規定ニ依ル檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ

六　第十條ノ規定ニ違反シ運賃及料金ヲ公示セズ又ハ不當ノ報酬ヲ請求シタルトキ

第十六條　小運送業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

本法ノ罰則ハ法人ニ在リテハ理事、取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ニ在リテハ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條　本法ニ定ムル主務大臣ノ職權ノ一部ハ之ヲ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監トス)又ハ鐵道局長ニ委任スルコトヲ得

第十八條　第一條ニ掲グル事業以外ノ陸上ニ於ケル物品運送業(鐵道、軌道又ハ自動車ニ依ル物品運送業ヲ除ク)又ハ陸上ニ於ケル物品運送ノ運送取扱業若ハ運送代辨業ニ於ケル運賃、料金其ノ他ノ取扱條件ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法公布前小運送業ヲ開始シタル者又ハ其ノ承繼人ニシテ本法施行ノ際現ニ小運送業ヲ營ムモノハ本法施行後三月內ニ主務大臣ニ其ノ旨ノ屆出ヲ爲ストキハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依リ小運送業ノ免許ヲ受ケタル者ト看做ス

本法公布ノ日以後ニ小運送業ヲ開始シタル者ニシテ本法施行ノ際現ニ小運送業ヲ營ムモノ又ハ其ノ承繼人ハ本法施行後三月內ニ限リ小運送業ヲ營ムコトヲ得此ノ期間內ニ免許ノ申請ヲ爲ストキハ免許又ハ免許ノ拒否ノ日迄亦同ジ

日本通運株式會社法案

日本通運株式會社法

第一條　日本通運株式會社ハ小運送業ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲左ノ事業ヲ營ムコトヲ目的トスル株式會社トス

一　小運送業者ノ取引ヨリ生ズル債權債務ノ決濟ニ關スル事業

二　貨物引換證ノ整理及保證ニ關スル事業

三　小運送業ノ助長ニ必要ナル事業

四　小運送業及之ニ附帶スル事業

日本通運株式會社ハ小運送業又ハ之ニ關聯スル事業ニ投資スルコトヲ得

第二條　日本通運株式會社ノ資本ハ三千五百萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ增加スルコトヲ得

第三條　日本通運株式會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上、資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人若ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得

第四條　政府ハ日本通運株式會社ノ資本ノ半額ヲ限リ其ノ株式ノ引受ヲ爲スコトヲ得

前項ノ株式引受ニ因ル拂込金ハ帝國鐵道會計ノ資本勘定ノ歲出トシ政府ガ該引受ニ因リ取得シタル株式ハ同會計ノ資本所屬物件トス

第一項ノ規定ニ依ル株式ノ株金拂込ハ其ノ他ノ株式ノ株金拂込ト之ヲ異ニスルコトヲ得

第五條　日本通運株式會社ニ社長副社長各一人、理事五人以上及監事二人以上ヲ置ク

第六條　社長ハ日本通運株式會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副社長ハ社長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ社長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

副社長及理事ハ社長ヲ輔佐シ日本通運株式會社ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ日本通運株式會社ノ業務ヲ監査ス

第七條　社長及副社長ハ主務大臣之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ主務大臣之ヲ命ジ其ノ任期ヲ三年トス

第八條　日本通運株式會社ノ社長、副社長及理事ハ他ノ職業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九條　日本通運株式會社ハ毎營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ第四條第一項ノ規定ニ依ル株式以外ノ株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年六分ノ割合ニ達スル迄第四條第一項ノ規定ニ依ル株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セズ

毎營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ第四條第一項ノ規定ニ依ル株式以外ノ株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ハ總株式ニ對スル利益配當ガ拂込ミタル株金額ニ對シ均一ノ割合ニ達スル迄第四條第一項ノ規定ニ依ル株式以外ノ株式ノ拂込ミタル株金額及第四條第一項ノ規定ニ依ル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ一ト五トノ割合ヲ以テ之ヲ配當スベシ

第十條　主務大臣ハ日本通運株式會社ノ業務ヲ監督ス

第十一條　主務大臣ハ部下ノ官吏ヲシテ何時ニテモ日本通運株式會社ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

主務大臣ハ日本通運株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十二條　定款ノ變更、社債ノ募集、利益金ノ處分、合併及解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十三條　日本通運株式會社其ノ事業ヲ休止セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十四條　主務大臣ハ日本通運株式會社ノ決議又ハ社長、副社長、理事若ハ監事ノ行爲ガ法令、法令ニ基ク命令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ議決ヲ取消シ又ハ社長、副社長、理事若ハ監事ヲ解任スルコトヲ得

第十五條　日本通運株式會社本法又ハ本法ニ基ク命令ニ違反シタルトキハ社長又ハ社長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副社長ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス副社長又ハ理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ副社長又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同ジ

第十六條　社長、副社長又ハ理事第八條ノ規定ニ違反シタルトキハ二百圓以下ノ過料ニ處ス

第十七條　非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附　則

第十八條　本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條　日本通運株式會社左ノ事項ニ付登記ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ登錄稅ノ額ハ左ノ額トス但シ登錄稅法ニ依リ算出シタル稅額ガ左ノ額ヨリ少キトキハ其ノ稅額ニ依ル

一　設立

金錢出資ニ依ル拂込株金額ノ千分ノ五ト金錢以外ノ財產ノ出資ニ依ル拂込株金額ノ千分ノ一トノ合計額

二　設立ノ際ニ於ケル出資ノ目的タル不動產又ハ船舶ニ關スル權利ノ取得

不動產又ハ船舶ノ價格ノ千分ノ三

北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ日本通運株式會社ニ對シ前項ニ規定スル不動產又ハ船舶ニ關スル權利ノ取得ニ關シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

第二十條　主務大臣ハ設立委員ヲ命ジ日本通運株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第二十一條　日本通運株式會社ノ設立ニ際シ金錢以外ノ財產ヲ出資ノ目的ト爲ス者アル場合ニ於テハ設立委員ハ出資ノ目的タル財產ノ價格ニ付評價委員會ニ諮問スベシ

前項ノ評價委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　設立委員ハ定款ヲ作成シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ株式總數ヨリ政府ニ割當ツベキ株式及前條ノ金錢以外ノ財產ノ出資ニ對シテ割當ツベキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スベシ

第二十三條　株式申込證ニハ定款認可ノ年月日竝ニ商法第百二十六條第二項第二號、第四號及第五號ニ規定スル事項ヲ記載スベシ

第二十四條　設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ主務大臣ニ提出シ其ノ檢査ヲ受クベシ

第二十五條　設立委員ハ前條ノ檢査ヲ受ケタル後遲滯ナク各株式ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

前項ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スベシ

創立總會ニ於テハ第七條第二項ノ規定ニ準ジ理事ヲ選任スベシ

第二十六條　創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ日本通運株式會社社長ニ引渡スベシ

(國務大臣伍堂卓雄君登壇)

○國務大臣(伍堂卓雄君)　只今議題トナリマシタ小運送關係ニ法律案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、小運送ハ國民經濟上極メテ重要ナル意義ヲ有スルノデアリマスガ、現行制度ノ下ニ於キマシテハ、其經營ヲ自由ニ放任致シテアリマス結果、小運送業ノ堅實ナル發達ヲ期待シ得ナイバカリデナク、一般利用者ニ對シテモ尠カラザル不便、不利ヲ與ヘテ居ル實情デアリマス、仍テ此際小運送業ヲ免許營業ト致シマシテ、資力薄弱、信用不確實ナルモノノ簇出ヲ防止スルト共ニ、免許業者ニ對シマシテ適當ナル監督取締ヲ加ヘタイト存ズルノデアリマス、又小運送業ハ其業務ノ性質上、業者間ニ於ケル貸借ノ決濟、業務ノ連絡、其他ノ統轄事務ヲ行フ機關ヲ必要トスルモノデアリマシテ、此機關ヲシテ業者間ノ連絡ト事業ノ助成トヲ行ハシムルコトガ、小運送改善ノ捷徑デアルト考ヘルノデアリマスガ、現在ノ如キ數箇ノ營利會社ニ之ヲ委ネマスコトハ、公益上不適當デアリマスシ、又直接國家ノ經營トスルコトモ實情ニ副ハヌ虞ガアリマスノデ、此際新ニ半官半民ノ特殊會社ヲ設立シ、國家ガ適當ニ之ヲ監督助長致シマシテ、統轄機能ノ完全ナル運用ヲ圖リタイト存ズルノデアリマス

尙ホ小運送改善ノ問題ハ、業界二十年來ノ懸案デアリマシテ、鐵道省ハ從來色々ノ方策ヲ講ジマシタガ、孰レモ徹底シタ成果ヲ收メルニ至ラズ、又帝國議會ニ於キマシテモ、此小運送改善ガ屢〻問題ニナッタノハ御承知ノ通リデアリマス、鐵道省ハ之ニ鑑ミ、昨年朝野ノ權威者ヲ網羅シタ小運送制度調査會ヲ設ケ、愼重審議ヲ御願シ、其答申ヲ得マシタノデ、之ニ基キ茲ニ兩法案ヲ提出致シタ次第デアリマス、業界ヲ根本的ニ改善シテ國利民福ニ寄與スルニハ、是非共此兩法ノ實施ニ俟タネバナラヌト信ズル次第デアリマスカラ、何卒御審議ノ上御協贊ヲ賜ハランコトヲ御願致シマス

○議長(富田幸次郎君)　此際新ニ議席ニ著カレマシタ議員ヲ御紹介致シマス、北海道第五區選出議員木下成太郎君

(木下成太郎君起立)

(拍手起ル)

○議長(富田幸次郎君)　質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許可致シマス――三好榮次郎君

(三好榮次郎君登壇)

○三好榮次郎君　私ハ茲ニ上程サレマシタ兩法案ニ付テ質疑ヲ致シタイト思フノデアリマス、本法案ノ運輸行政上ノ事務的檢討ノ前ニ、私ハ幸ヒ鐵道大臣ガ我ガ商工業ノ問題ニ對スル商工大臣ヲ兼務セラレテ居ルガ爲ニ、此問題ヲ通ジマシテ、現政府ノ懷カレテ居ル我ガ產業經濟ニ對スル、其御信念ヲ一ツ伺ヒタイト思フノデアリマス

現內閣ハ議會開會中ノ政變ニ依リマシテ組閣セラレ、隨テ議會ニ提案サレマシタル豫算案ヲ初メト致シ、之ニ關聯致シタル法律案、――施政ハ、總テ一時ノ便法ナリト政府モ唱ヘラレテ居ルノデアリマス、隨テ幾多ノ重要ナル法律案、或ハ農地法ト云ヒ、或ハ國民健康保險法ト云ヒ、或ハ商法ノ改正法案ト云ヒ、或ハ又茲ニ提出サレマシタル法案ノ如ク、重要ナル法案ダト唱ヘラレテ居リマスルガ、果シテ是等ノ重要法案ニ對シテ、政府ハ國政ノ大局ヨリ見テ、偉大ナル信念ノ下ニ、是等ノ法案ヲ發案サレタルヤ否ヤニ多少ノ迷ヒヲ私ハ生ズルノデアリマス、コヽ二三年此方、我國ノ產業經濟界ニハ色々ナ波紋ガ生ジマシテ、或時ハ統制經濟ガ論ゼラレ、或ハ資本主義ノ是正ガ唱ヘラレ、更ニ進ミマシテハ營利追求ノ資本主義ヲ打破致シテ、公益第一主義ノ經濟機構ヲ樹立シナケレバナラヌト云フヤウナ議論モ出テ參ッタノデアリマス、是ガ爲ニ我國ノ產業經濟界ニ於キマシテハ、非常ナ危惧ノ念ヲ懷キマシテ、是ガ爲ニ多少タリトモ我國ノ產業經濟ノ發展ヲ、一時的ニセヨ多少ノ阻止ヲ見タルコトハ、私共ノ洵ニ遺憾トスル點デアッタノデアリマス、現內閣ガ成立セラレマシテカラ、私共ハ是等國民ノ不安ノ念ヲ懷イテ居リマスル產業經濟對策ニ對シテ、政府ノ所謂抱負經綸ヲ伺フコトノ出來マセヌコトハ、洵ニ遺憾ニ考ヘテ居リマスルガ、去ル本會議ニ於キマシテモ、總理大臣ハ是等ノ問題ニ對シテ、斯樣ナコトヲ仰セラレテ居ルノデアリマス、「產業ノ振興ハ內外ノ經濟情勢ニ適應セシメ、保護ノ施設ヲ講ズルト共ニ適切ナル統制ヲ實施スルコトガ緊要デアリマス、尤モ是ガ爲ニ國民ノ創造力ヤ企業心ヲ沈滯萎靡セシムルコトガアッテハナラヌノデアリマシテ、寧ロ進ンデ之ヲ助長スベキデアルト存ズルノデアリマス」、斯樣ニ總理大臣ハ仰セラレテ居リマス、又大藏大臣ハ其施政ノ演說ニ於キマシテ、斯樣ナコトヲ仰セラレテ居ル、「我國經濟界ハ重大ナル時期ニ遭遇シテ居リマスカラ、是ガ根本對策ノ樹立ハ、極メテ愼重ヲ期スルノ要ガアルノデアリマス、經濟界ノ組織ハ本來極メテ微妙ナルモノデアリマシテ、一部ノ不調和ハ忽チ全體ノ運營ノ圓滑ヲ阻礙スルモノデアリマスカラ、單ニ一部的觀察ニ基キ、部分的必要ノ爲ニ全體ノ發展ヲ阻礙スルガ如キハ、嚴ニ戒ムベキデアラウト存ジマス、故ニ政府ト致シマシテハ、今後ノ經濟政策ノ樹立ニ當リマシテハ、常ニ全體ト一部トノ雙方ニ留意シ、先ヅ全體トシテノ歸趨ヲ考察シ、其方向、其線ニ沿ウテ各部門ノ調和的漸進ヲ期シタイト考ヘテ居ルノデアリマス」、サウシテ「平地ニ波瀾ヲ生ズルガ如キコトハ、努メテ之ヲ避クベキモノデアルト信ズルノデアリマス、何事モ極端ナ事ハ行ヒ易イノデ、中庸ヲ得ルコトハ困難デアリマスガ、私ハ其難キヲ執ル心構ヲシテ居ルノデアリマス」、斯樣ニ總理大臣ト大藏大臣ハ、施政ノ演說ニ於テ、其產業經濟對策ノ指針トシテ、仰セラレテ居ルノデアリマス、併シ私共ハ此總理大臣、大藏大臣ノ我國ノ產業經濟ニ關スル此信念ヲ伺ッテ、コ、二三年ノ間、私共ガ其歸趨ニ迷ッテ居リマシタ日本ノ產業經濟政策ハ、如何樣ナコトニ依ッテ進步發達スベキモノデアルカト云フ此迷ヒガ、此施政ノ演說ダケニ依ッテハ、私共ハ氷解スルコトガ出來ヌノデアリマス、元來私共ハ財政政策ニ依ッテ、國家ノ產業經濟ガ指導セラレマスルコトハ能ク承知ヲ致シテ居リマス、併シ其國家ノ財政ノ基本ハ何處ニ置クベキカト言ヘバ、申上ゲル迄モナク國民經濟力ノ充實ニアル、其國民經濟力ノ充實ハ申上ゲル迄モナク、所謂產業經濟ノ發展ニアルコトハ申上ゲル迄モナイ、是ニ於テ私共ハ財政政策ヲ考慮スルト同時ニ、所謂一國ノ產業經濟政策ト云フモノガ茲ニ樹立スルニアラザレバ、吾等ガ進步發達スル國家ノ其財政ヲ燮理致スノニハ、洵ニ困難ノ感ゼザルヲ得ヌト思フノデアリマス、是ニ於テ私ノ政府ニ御尋致シタイノハ、此案ヲ通ジマシテ、政府ハ我國ノ產業經濟機構ニ對シテ如何ナル信念、如何ナル經濟理念ヲ持ッテ之ヲ指導セラレントスルノデアルカト云フコトデアリマス、本法案ヲ通讀致シマスルト、只今鐵道大臣ノ說明セラレマシタル如ク、半官半民ノ特殊會社ヲ作リ、小運送ヲ政府ノ免許制度ニ依ッテ、サウシテ運輸行政上ノ統制ヲ圖ルト云フ御趣意ノヤウデアリマス、故ニ一面ヨリ之ヲ見マスルト、所謂民主官從、民業ヲ主ト致シマシテ、鐵道省ハ唯之ヲ指導スルト云フ意味デアルガ如クニモ解サレルノデアリマスルガ、又一面カラ之ヲ見マスルト、其實質ニ於キマシテハ、卽チ鐵道省ガ直營スルカノ如クニモ、亦之ヲ見ルコトガ出來ルノデアリマス、私共ハ本案ヲ運輸行政上ノ事務的問題トシテ檢討スル時、二三ノ質

疑ガアルノデアリマスルガ、其前ニ當リマシテ、斯ノ如キ半官半民ノ仕事ニ依ッテ鐵道省ガ指導ショウトスル、其經濟理念ハ何處ニ根據ガアルカ、卽チ所謂國營事業、官營事業ニ對シテ、色々私ハ批評スベキ事柄ガアルト思フノデアリマスルガ、政府ハ我國ノ產業經濟ヲ指導致スノニ、所謂自由資本主義是正ノ立場ヨリ、如何ナル經濟理念ヲ以テ之ヲ指導セラレントスルノデアルカ、昨年電力問題ガヤカマシクナリマシタル時ニ、國家社會主義デアルトカ、色々ナ所謂經濟理念ニ付キ、「イデオロギー」ニ付キ、論議サレタコトガアルノデアリマス、國民ノ間ニハ是等ノ問題ニ對シテ非常ナ迷ヒヲ生ジテ居ル、希クハ政府ハ斯樣ナ機會ニ於キマシテ、吾々ハ斯樣ナ經濟上ノ信念ヲ以テ我國ノ產業經濟ヲ指導スルノデアルト云フ、其御考ヲ御示ニナルコトガ當然デアッテ、吾々ハ之ヲ聽イテ、實業人、經濟人ハ之ヲ基礎ト致シテ諸般ノ計畫ヲ樹テルコトガ出來ルト思フノデアリマスルカラ、是等ノ點ニ付テノ政府ノ御所信ヲ私ハ伺ヒタイト思フノデアリマス

本案ノ事務的問題ト致シマシテハ、私ハ第一ニ本案ニ依ッテ日本通運株式會社ト云フ半官半民ノ會社ヲ御作リニナル、其半官半民ノ會社ニハ、現在存在致シテ居リマスル所ノ國際通運ノ關係ヲ基礎ト致シテ、之ヲ現物出資サセテ、之ニ政府ガ半額ノ出資ヲシテ、茲ニ特殊會社ガ出來ルコトニナッテ居ルト云フヤウデアリマスルガ、此國際通運ヲ特殊會社ニ買收セラル丶、其財物出資ノ見積等ハ、如何ナル標準ニ依ッテ之ヲ爲サントスルノデアルカ、是ハ委員會ニ於テモ吾々ノ同僚カラ色々御質問ノアルコトト思ヒマスルガ、其大綱ダケヲ一ツ御示ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

第二ニハ、新ニ出來マスル日本通運株式會社ト鐵道省トノ關係デアリマス、法案ニ依リマスルト、所謂小運送ノ指定、非指定、今マデ指定サレテ居ッタ者モ、指定サレザル者モ、兩者共今回ノ法律ニ依ッテ、所謂免許セラレテ、サウシテ日本通運株式會社ノ關係ニ包容サレルコトニナルノデアリマスカ否カ、又左樣ダトスルナラバ、其結果ト致シテ、果シテ現在ヨリモ小運送費ト云フモノガ、如何樣ナ程度ニ低下スルコトガ出來ルヤ否ヤ、是ノ大體ノ御見込ガ決ッテ居ルト思ヒマスルカラ、其點ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

第三ハ、本案ニ依リマスルト、小運送ヲ扱ヒマスル者ハ總テ免許制度ニ依ル、斯ク致シマスルト、全國各地ノ小運送ヲ扱ヒマスル者ハ、所謂官許ニ依ッテ、免許ニ依ッテ其地位ヲ得ルコトニナリマスルカラ、其結果ト致シテ獨占ノ弊ニ流レハセヌカ、私共ノ今日マデ知リ得タ所ニ依リマスルト、今日マデノ國際通運ノ取扱ニ於キマシテモ、鐵道省ガ運送店ヲ指定致シマスルガ爲ニ、實際荷物ヲ依託スル者ノ方カラ申シマスルト、色々不便ノアッタコトヲ私共ハ承知ヲ致シテ居ル、然ルニ今回ノ法律ニ依リマシテ、更ニ是ガ嚴格ニ、所謂免許制度ニ依ル、サウ致シマスルト、結論ニ於テハ一驛一店主義ニ或ハ段々ナルカモ知レナイ、一驛一店主義ニナリマシタル時ニ、依託者ノ方カラ申シマスルト、相當ナ不便ヲ感ズルコトガアリハセヌカト私ハ疑問ヲ持ツノデアリマス、是ニ於テ免許制度デアッテ、斯樣ナ組織ニナリマスルト、業界ハ獨占ノ弊ニ移リマシテ、遂ニ先程申上ゲマシタヤウニ、恰モ鐵道省ガ直營ヲスルガ如ク、世ノ中ニ言ハレマスル所ノ所謂官僚獨善ノ弊ニ陷リハセヌカ、是ガ爲ニ蒙リマスル一般依託者ノ不便ト不利益ハ相當大キイモノデハナイカト云フヤウナ疑問ヲ私ハ懷クノデアリマス、是等ノ點ニ付テノ政府ノ御答ヲ私ハ伺ヒタイト思フノデアリマス

以上申上ゲマシタ四點、卽チ大局ノ上カラ見マシテ、日本ノ產業經濟政策ノ立場カラ、此案ヲ通ジテ見マスル所ニ依リマスルト、所謂產業政策、經濟政策ハ、其政府ノ有セラル丶信念ハ、卽チ國家社會主義ト唱ヘラレ、或ハ官僚獨善ト唱ヘラレ、所謂現內閣ノ施政方針ノ中ニ言ハレマシタ如ク、大藏大臣ノ仰セラレルガ如ク、急激ナル變化ヲ與ヘズシテ中庸ヲ得ル――中庸ヲ得ルト云フヤウナコトダケデハ、吾々國民ハ了解スルコトガ出來ナイノデアリマス、モウ少シ明ニ、例ヘバ公益主義ト營利主義トヲ竝行サセル、サウシテ民業ヲ自由ニ發達セシムルコトヲ考慮スルト云フノカ、或ハ公益主義ヲ第一ト致シテ、營利主義ヲ第二トスルヤウナ、新シキ經濟機構ヲ御考ニナッテ居ルノカ、斯樣ナ大切ナル產業、經濟政策ニ對スル政府ノ御信念ヲ私ハ伺ヒタイト思フ、第二ニハ事務的問題ト致シマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ、卽チ國際通運ノ買收ニ當リマシテ、其見積ノ標準ヲ何處ニ御決メニナッテ居ルカ、日本通運ト鐵道省トノ關係ニ於キマシテ、指定、非指定ノ運送店ノ取扱ニ關スル點、是ガ爲ニ小運送賃ノ低下スル程度ヲ御見込ニナッテ居ルナラバ、其程度、及ビ免許制度ノ結果獨占ノ弊ニ移リマシテ、却テ依託者ニ非常ナル不便ヲ及ボスモノデハナイカト云フ此疑問、此四點ニ付テ政府ノ御答辯ヲ御願申上ゲタイト思フノデアリマス(拍手)

(國務大臣伍堂卓雄君登壇)

○國務大臣(伍堂卓雄君)　第一ニ統制經濟ニ對スル根本政策ニ付テ御質問ガアリマシタガ、是ハ首相、大藏大臣、又私モ色々ノ機會ニ於テ申述ベタノデアリマスルガ、要スルニ今日ノ世界ノ經濟情勢ニ鑑ミマシテ、又我國ノ國防上ノ見地カラ考ヘマシテ、國策上竝ニ公益上必要ナモノニ對シテ、適當ナ統制ヲ行ハナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスルガ、其統制ハ強度ノ統制ト云フ意味デハアリマセヌノデ出來ルナラバ自主的ノ統制ニ依ッテ、ソレデモイカナイモノニ對シテハ、適度ノ統制ヲ行ヒタイト云フノデアリマシテ、是ガ一般ノ政府ノ執ラントスル政策デアリマス、此小運送法案ト、ソレカラ日本通運會社法案ハ、少シ今日論議サレテ居リマス統制問題トハ趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、是ハ先程法案ノ說明ヲ致シマシタ時ニ申述ベマシタ通リ、此數箇年間ニ起ッタ問題デハアリマセヌ、實ニ遡レバ二十年來ノ懸案デアッタノデアリマシテ、關聯上簡單ニ申上ゲマスト、小運送制度ノ改善ニ對シマシテハ、長年ノ間意ヲ用ヒテ、色々ノ政策、色々ノ手段ヲ用ヒタノデアリマス、遡リマスト大正八年ニ公認制度ヲ實施致シマシテ、要スルニ小運送業者ニ鐵道省ノ「レッテル」ヲ貼ッテ信用ヲ得セシメタノガ初メデアリマシテ、其後大正十五年ニ、全國運送店ノ合同ヲ行ッテ見タノデアリマス、是ハ驛前ノ運送店ヲ合同サセ、又當時存在シテ居リマシタ統轄會社、內國通運、明治運送、國際運送、是等ヲ合同サセマシテ、國際通運ト致シタコトハ御承知ノ通リデアリマス、ケレドモ是ハ自由主義デ繼續シテ參リマシタ爲ニ、其後ニ色々ノ多數ノ小運送業者ガ簇生シ、又其後統轄會社等モ出來マシテ、此時ニ行ヒマシタ合同ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、要スルニ今回ノ二法案ノ目的ハ、決シテ是ハ官營ニシ、直營ニスルト云フ意味デハナイノデアリマス、現存シテ居リマス小運送店ヲ全部認メマス外、統轄會社トシマシテ、五ツカ六ツカアリマスノヲ、ソレヲ一ツニ纏メマシテ、サウシテ鐵道若クハ軌道、其他ノ運輸施設ニ依ル運送ノ兩端ニ於キマス所ノ、交互計算業務ヲ一ツノ會社デ統轄スル、卽チ從來ノ小運送業者ハ此五ツ六ツノ交互計算會社ヲ經テ、債權債務ノ決算ヲ

セル缺點ヲ、此小運送商業組合ノ組織ニ依リマシテ、補正スルノ計畫アリヤ否ヤヲ御伺スルノデアリマス、私ガ特ニ小運送商業組合結成ノ促進ニ關スル政府ノ指針ヲ御伺スル所以ノモノハ、鐵道省ハ是迄非指定運送店ガ商業組合組織ヲ自衞上ノ立場ヨリ申請セルモノヲ、商工大臣ニ對シテ指定運送店強化ノ爲メニ、反對答申ヲサレテ居ルト云フ事實ガアルノデアリマス、是ガ爲ニ北海道小運送商業組合モ、九州小運送組合モ成立不能ニ陷ッテ、業者ノ悲痛ノ叫ビヲ聞イテ居ルノデアリマス、是ニ於テ私ハ敢テ政府ニ對シテ、此商業組合結成ニ對スル方針ヲ御伺スルノデアリマス

指定及ビ非指定運送業者ノ相剋整調ト事業ノ合理化ハ、現在指定運送店ガ持ツ各種ノ特權ヲ解放スルノデナクテハナラヌト思フノデアリマス、此點ニ公益的ノ統制ヲ加ヘナクテハ、經營ノ合理化ニ依ル冗費節約ノ根本目的ハ、逸脱スルモノデアルト私ハ思フノデアリマス、政府ハ此指定店ガ有スル特權ヨリ生ズル獨占的利潤ヲ驛毎ノ指定、非指定店ヲ合一スル小運送業組合ニ統制分配スルノ覺悟ヲ御持チニナッテ居リマスカ、御伺シタイノデアリマス、其特權トハ宅扱貨物集配作業、貨物積込取卸及ビ貨車手押作業、手小荷物配達作業、鐵道倉庫貨物取扱、省營自動車線發著貨物取扱等ノ一手請負及ビ運賃料金後拂、驛構内鐵道用地ノ貸付、無賃乘車證交付等デアリマシテ、非指定運送店ハ是等ニ對シテハ何等ノ恩惠ガナイノデアリマス、繼子扱ヒモ甚シイノデアリマス、元來是等ノ特權付與ハ、過去ニ於テ非指定運送店ヲ撲滅スル爲メノ手段トシテノ、指定運送店利潤強化策ヨリ出デタルモノデアリマスカラ、本法案ガ指定及ビ非指定店ノ一視同仁主義ヨリ萌芽セルモノデアル以上、是等ノ特權ノ統制ハ必然的デナクテハナラヌト思フノデアリマスガ、政府ノ御考ハ如何デアリマスカ、若シ此特權ガ小運送業者一般ニ無差別的ニ解放サレズシテ、政府ノ事業統制下ニ置カレ、非指定店ガ唯一ノ生存手段タル強度ノ自由競爭ニ掣肘ヲ加ヘラレタナラバ、長年ノ壓縮政策ノ爲メ、經濟内容ノ劣勢トナレル非指定運送店ノ運命知ルベキノミト思フノデアリマス、現在非指定運送店ハ店員、仲仕、倉方、家族等三十餘万人ヲ擁シ、最低生活線ニ喘イデ居ルノデアリマス、是ガ經濟ノ破綻ハ由々シキ社會問題デアルト思フノデアリマスガ、政府ノ所見ハ如何デアリマスカ、各驛毎ニ小運送業者組合ヲ結成セシメテ、其組合ニ前記ノ特權ヲ解放スルコトコソ、指定、非指定店ノ相剋激化ヲ整調シマシテ、經營ノ合理化、作業ノ融合統制ガ出來、冗費節約ノ目的ヲ貫徹シ、荷主大衆ノ負擔輕減トナルモノデアルト考ヘルノデアリマスガ、政府ノ御意見ヲ御伺致シタイノデアリマス

之ヲ要スルニ本法案ノ最重要性ヲ公益的統制ニ置キ、其觀點ヨリ現在國際通運株式會社ニ不當ニ特權付ケラレタル不合理性ヲ是正シテ、日本通運株式會社ヲ出現セシメ、一方非指定運送店絶滅策トシテ、有ユル特權ヲ指定運送店ニ集中強化シタル、非社會性ノ部分層ヲ統制シテ、一般業者ニ再分配スルノ方途ヲ講ジテ、以テ小運送料金ノ低減ヲ圖リ、一般民衆ノ福利ヲ增進スベキデアルト思料致シマスガ、政府ノ率直ニシテ親切ナル答辯ヲ要求スル次第デアリマス（拍手）

（國務大臣伍堂卓雄君登壇）

○國務大臣（伍堂卓雄君）　御答致シマス、勿論此法案ハ國民生活ニ貢獻スル爲ニ計畫サレタノデゴザイマシテ、運送店ノミヲ利シテ、荷主ニ迷惑ヲ及ボスヤウナコトガナイノミナラズ、荷主ニ積極的ノ利益ヲ與ヘル爲ニ出來タノデアリマシテ、ソレハ先程申シマシタ通リ運賃ノ低下ヲ圖リ、事業ノ正確、其他「サービス」ノ點ニ於テ、是マデ缺陷ノアリマシタ所ヲ是正ショウト云フノデアリマス、ソレカラ指定運送業者ト非指定運送業者ヲ差別待遇スルコトハ宜クナイト云フ御話デアリマス、是ハ御趣意ニ於テハ同感デアリマスルガ、先程モ申シマシタ通リ、全運送業者ヲ指定トスルコトハ、非常ニ事業ノ關係カラ難カシイノデアリマス、卽チ宅扱貨物ニ對スル請負デアリマスカラ、是ハヤハリ一定ノ數ニ止メテ置カナケレバナラヌ、併ナガラ今日指定サレテ居ルモノハ、是迄ノ歷史モアリマスシ、ソレヲ廢サセル譯ニハ行キマセヌカラ、將來補闕等ノ場合ニハ適當ニ考ヘテ行キタイト思フノデアリマス、ソレカラ此統轄會社ニ不當利潤ヲ與ヘルコトニ對シテハ、嚴ニ監督ヲ要スルコトハ勿論デアリマシテ、永山君ノ言ハレマシタ如キ理想ヲ以テ、監督指導シテ行キタイト思フノデアリマス、卽チ指定者、非指定者ノ協調ニ對シテハ十分ニ努力致シマシテ、其間ニ摩擦ノナイヤウニ致スコトハ最モ強キ念願デアリマシテ、今回ノ兩法案ノ上程ニ付キマシテハ、非指定、指定兩方共全國カラ多數見エマシテ、是ガ速ニ上程セラレンコトヲ、竝ニ其成立ヲ希望シテ居ルコトニ依リマシテモ、如何ニ此兩法案ガ業者ノ爲ニ利益デアルカト云フコトヲ御推察ヲ願ヒタイノデアリマス

○永山忠則君　此席カラ御許ヲ願ヒマス――多々御伺シタイ點モゴザイマスガ、是デ私ノ質問ハ後日ニ讓リマシテ終リマス

○副議長（岡田忠彥君）　是ニテ質疑ハ終局致シマシタ、各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○中山福藏君　日程第六乃至第七ノ兩案ヲ一括シテ、議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（岡田忠彥君）　只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（岡田忠彥君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決定シマシタ

○中山福藏君　議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ此際小林錡君外一名提出、大正十二年法律第五十二號中改正法律案、及ビ手代木隆吉君外三名提出、大正十二年法律第五十二號中改正法律案ヲ一括議題ト爲シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

（「贊成」ト呼フ者アリ）

○副議長（岡田忠彥君）　只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（岡田忠彥君）　御異議ナシト認メマス――政府ハ此議事日程ノ變更ニ同意致シマシタ、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、小林錡君外一名提出、大正十二年法律第五十二號中改正法律案、手代木隆吉君外三名提出、大正十二年法律第五十二號中改正法律案、右二案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス、順次提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス――提出者小林錡君

大正十二年法律第五十二號中改正法律案（小林錡君外一名提出）　第一讀會

大正十二年法律第五十二號中改正法律案（手代木隆吉君外三名提出）　第一讀會

大正十二年法律第五十二號中改正法律案

大正十二年法律第五十二號中左ノ通改正ス

第一項中「昭和十二年十二月三十一日迄」ヲ「昭和十七年十二月三十一日迄」ニ改ム

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年法律第五十二號中改正法律案

大正十二年法律第五十二號中左ノ通改正ス

第一項中「昭和十二年十二月三十一日迄」ヲ「昭和十七年十二月三十一日迄」ニ改ム

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（小林錡君登壇）

（「司法省ノ政府委員ノ出席ヲ願ヒマス」ト呼フ者アリ）

○小林錡君　只今議題トナリマシタ大正十二年法律第五十二號中改正法律案ノ提案ノ趣旨ヲ御說明申上ゲマス、此法律卽チ大正十二年法律第五十二號ハ、次ノ如ク規定シテ居リマス、「明治二十六年司法省令第九號辯護士試驗規則ニ依ル試驗ノ受驗ヲ出願シタル者ニシテ昭和十二年十二月三十一日迄ニ勅令ヲ以テ定ムル試驗ニ合格シタル者ハ辯護士法第三條ノ規定ニ拘ラズ辯護士試補タルコトヲ得」ト云フノデアリマス、卽チ大正十二年度以前ノ辯護士試驗規則ニ依リマスト、特別ナル資格ナクトモ我國ノ臣民ハ辯護士試驗ニ應ジテ、之ニ合格スレバ辯護士タルコトガ出來ル規定デアッタノデアリマス、然ルニ高等試驗令ノ改正ニ依リマシテ、辯護士モ亦中學ヲ出テ、法律科ノ專門部、或ハ學部ノ法科ヲ出ナケレバ、辯護士試驗ニ應ズルコトガ出來ナクナッタノデアリマス、併ナガラ大正十二年度ニナルマデ、多年ノ間法律ノ勉強ヲ致シマシテ、此試驗ニ「パス」シテ辯護士タルコトヲ終生ノ希望トシテ、營々トシテ努力シテ來タ者ガ澤山ニ殘ッテ居タノデアリマスカラ、社會政策上玆ニ大正十二年法律第五十二號ト云フモノガ發布サレテ、是等ノ人々ニ大正十一年度マデニ試驗ニ應ジタ者ニハ、受驗資格ヲ與ヘルト云フコトニナッテ今日マデ來タノデアリマス、併ナガラ其間ニハ色々ノ經過ガゴザイマシテ、大體五年毎ニ此期間ヲ限ッテ居ッタノデアリマス、卽チ昭和七年度頃デアッタト思ヒマスガ、其期間ヲ延バシマシテ、昭和十二年十二月三十一日マデト云フコトニ相成ッテ今日ニ來タノデアリマス、併ナガラ此爲ニマダ救濟サレザル所ノ、試驗ヲ受ケヨウトシテ勉強シテ居ル者ガ、尙且ツ千數百人アルト云フコトデアリマス、併ナガラ此儘ニシテ置キマスルナラバ、本年ノ十二月三十一日ニ資格ヲ失フノデアリマスカラ、此議會ニ之ヲ提出シテ、更ニ十七年ノ十二月三十一日マデ、卽チ五年間ノ延期ヲスルト云フコトガ、社會政策上極メテ重要ナルコトダト思ッテ、本案ヲ提出シタ所以デアリマス、卽チ更ニ五年間ノ猶豫ヲ致シマシテ、是等ノ人々ヲ救濟シ、其目的ヲ達成セシメタイト云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、御承知ノ如ク是等ノ人々ハ、今日マデ非常ナル苦學研鑽ヲ續ケラレタル人々ガ多クアリマシテ、其家族ノ人々モ、其試驗ニ合格シテ辯護士タルコトヲ神ニ祈ルヤウナ熱心サヲ持ッテ來テ居ルノデアリマス、然ルニ此儘ニシテ、此資格ヲ剝奪スルト云フコトハ、一種ノ既得權ヲ奪フモノデアリマシテ、本人ノ落膽ハ固ヨリデアリマスガ、其家族親族ノ悲歎モ亦思ヒヤルダニ同情スベキ點ガ少クナイノデアリマス、若シ之ヲ奪フト云フコトニ依ッテ、是等受驗者、其家族ヲ自暴自棄ニ陷レシメ、延テハ危險思想ニ陷ルヤウナコトガアルナラバ、洵ニ是マデ取リ來ッタ寬大ナル措置ト云フモノガ無ニナルコトニナルト考ヘマス、仍テ本案ヲ提出シタノデアリマスガ、幸ニ政府モ此點ヲ諒トセラレマシテ、日程ヲ變更サレテマデ本案ノ上程ニ同意ヲサレタノデアリマスルカラ、滿場ノ諸君モ是非是等ノ人々ノ境遇ニ同情サレマシテ、速ニ本案ニ贊成セラレンコトヲ切ニ御願スル次第デアリマス（拍手）

○副議長（岡田忠彥君）　提出者手代木隆吉君

（手代木隆吉君登壇）

○手代木隆吉君　只今上程セラレマシタ大正十二年法律第五十二號中改正法律案ノ理由ニ付キマシテ、只今述ベラレマシタ小林錡君ノ說明ニ補足ヲ致シマシテ、此法律改正案提出ノ理由ヲ辯明致シタイト思ヒマス、只今小林君カラ大體ヲ述ベラレマシタ通リ、從來辯護士ノ受驗資格ニハ學歷ヲ問ハナカッタノデアリマス、其後受驗資格ニ制限ガ設ケラレマシテ、小林君ノ言ハレル通リ、中等學校ヲ卒業シ、若クハ專門學校入學檢定試驗ニ合格シ、而シテ三年以上法律ノ專門學校ニ學ンデ、之ヲ修了シタル者ト云フ制限ヲ受ケルニ至ッタ譯デアリマス、而シテ其改正前ヨリ長イ間此司法試驗ヲ受クル目的ノ爲ニ、苦學力行ヲシテ居リマシタ多數ノ受驗生ハ、之ニ依ッテ其進路ヲ遮ラレルコトニナッタノデアリマス、是ニ於テ大正十二年法律第五十二號ニ依リマシテ、是等ノ受驗生ヲ救フノ途ヲ設ケラレタノデアリマスルガ、其期限ハ正ニ本年十二月三十一日ヲ以テ滿了致スノデアリマス、然ルニ尙ホ玆ニ受驗資格ヲ有スル者ニシテ救ハレザル者千五百名ニ上ルノデアリマス、其多數ノ中ニハ長イ間苦學ヲ致シマシテ、既ニ齡六十ヲ超エル者モアルノデアリマス、併シ尙ホ目的ヲ捨テズ、孜々トシテ其目的ノ貫徹ニ努メテ居ルノデアリマスルガ、或ハ家族ヲ扶養シ、其日ノ生活ヲ支ヘツヽ、努力ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、今遽ニ此途ヲ塞ガレルヤウナコトガアリマスルナラバ、ソレ等ノ者ノ失望落膽ハ言フ迄モナク、是ガ又社會ニ及ボス所ノ影響モ、只今小林君ノ言ハレタ通リデアリマス、左樣ナ點カラ致シマシテ、何トカシテ此殘ッテ居ル多數ノ篤學者ヲ、是非救濟ヲ致シタイト考ヘルノデアリマシテ、先年來當局ニ對シテモ屢〻陳情ヲ致シ、或ハ議會ニ請願ヲ致シ、議會ニ於